資料２－２

# 「田園回帰」に関する調査研究
# 中間報告書（案）

平成29年3月

総務省　地域力創造グループ　過疎対策室

# 第１章　人口移動に関するデータ分析

## １－１．調査の概要

### （１）調査の目的

「田園回帰」の実態を統計的に捉えるため、平成 12 年及び平成 22 年の国勢調査の個票データを用いて、過疎地域への移住者数の推移や特徴等について分析した。

### （２）本集計分析における用語の定義

**＜過疎地域＞**

以下のⅰ～ⅲの地域（平成 28 年 4 月 1 日現在)。

| | 定　　義 | 市町村数 | 本章での表記 |
|---|---|---|---|
| ⅰ | 過疎地域自立促進特別措置法(過疎法)第 2 条第 1 項に規定する市町村 | 616 | 全域過疎 |
| ⅱ | 過疎法第 33 条第 1 項の規定により過疎地域とみなされる市町村<br>(合併前の過疎地域市町村の人口又は面積が一定以上であり、全域が過疎地域とみなされる市町村) | 30 | みなし過疎 |
| ⅲ | 過疎法第 33 条第 2 項の規定により過疎地域とみなされる地域<br>(合併前の旧市町村の区域のみが過疎地域として指定される地域) | 151(※) | 一部過疎 |

※一部過疎地域を有する市町村数。

**＜移住者＞**

国勢調査において、各調査時点の「現住地」と「5 年前の常住地」が異なる地域（県内他市町村、他県、国外）である者。

**＜都市部＞**

三大都市圏及び大都市（下記の 11 都府県＋20 政令市及び東京都特別区）のうち、全部過疎及びみなし過疎を除いた地域。

（※三大都市圏及び大都市にある一部過疎市町村については、当該市町村の全域を都市部に含めている)。

| | |
|---|---|
| 三大都市圏 | 首都圏:埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県<br>中京圏:岐阜県、愛知県、三重県<br>近畿圏:京都府、大阪府、兵庫県、奈良県<br>※三大都市圏は、国土利用計画(全国計画)(平成 27 年 8 月 14 日閣議決定)による。 |
| 大都市 | 札幌市・仙台市・さいたま市・千葉市・東京都特別区・横浜市・川崎市・相模原市・新潟市・静岡市・浜松市・名古屋市・京都市・大阪市・堺市・神戸市・岡山市・広島市・北九州市・福岡市・熊本市<br>※いずれも都市の区域は平成 28 年 4 月 1 日時点。 |

（下線は三大都市圏以外の大都市）

＜世帯の家族類型＞

国勢調査では、集計に当たり世帯の家族類型を下記のように区分している。本集計においては、下線を付した６項目で集計を行った。

| 区　　分 | | 内　　容 |
|---|---|---|
| 親族のみの世帯 | | 二人以上の世帯員から成る世帯のうち、世帯主と親族関係にある世帯員のみからなる世帯 |
| | 核家族世帯 | (1) 夫婦のみの世帯<br>(2) 夫婦と子供から成る世帯<br>(3) 男親又は女親と子供から成る世帯 |
| | 核家族以外の世帯 | 夫婦と両親から成る世帯、夫婦とひとり親から成る世帯、<br>夫婦、子供と両親から成る世帯、兄弟姉妹のみから成る世帯、など |
| 非親族を含む世帯 | | 二人以上の世帯員から成る世帯のうち、世帯主と親族関係にない人がいる世帯 |
| 単独世帯 | | 世帯人員が一人の世帯 |

＜地域ブロック＞

・東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、新潟県
・関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、山梨県、長野県
・東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
・北陸：富山県、石川県、福井県
・近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
・中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
・四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県
・九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県

### （３）集計対象としたデータ

○　平成 12 年国勢調査（以下「H12 国勢調査」と略記）及び平成 22 年国勢調査（以下「H22 国勢調査」と略記）について、「移住者」のみの個票データを申請取得し、集計を行った。

○　H12 国勢調査では、人口移動の集計対象は５歳以上の人口である一方、H22 国勢調査は 5 歳未満の人口も集計対象としており、異なっているため、経年比較ができるように、H22 国勢調査についても移住者数の集計は５歳以上を対象とした。

○　個票データの集計は、H12 国勢調査、H22 国勢調査のいずれも、H12 国勢調査時点（平成 12 年 10 月 1 日時点）における市町村の区域単位で行った（ただし、集計対象地域の過疎地域の当否は、平成 28 年 4 月 1 日時点の過疎地域の指定状況に基づいて判別した）。

### （４）分析内容

「移住者」を次の類型に分け、それぞれの人数等を集計した。

| 類　　型 | 集計方針 |
|---|---|
| ①過疎地域への移住者 | 「現住地」と「5年前の常住地」が異なる地域（県内他市町村、他県、国外）であり、かつ、「現住地」が過疎地域である者について集計した。 |
| ②都市部から過疎地域への移住者 | 「現住地」と「5年前の常住地」が異なる地域（県内他市町村、他県、国外）であり、かつ、「現住地」が過疎地域、「5年前の常住地」が都市部である者について集計した。 |

※過疎地域、移住者、都市部の定義は(2)に示すとおり。

また、①、②との比較を行うため、一部の分析では、次の移住者についても集計した。

| 類　　型 | 集計方針 |
|---|---|
| ③全国の移住者 | 「現住地」と「5年前の常住地」が異なる地域（県内他市町村、他県、国外）である者について集計した。 |
| ④都市部からの移住者 | 「現住地」と「5年前の常住地」が異なる地域（県内他市町村、他県、国外）であり、かつ、「5年前の常住地」が都市部である者について集計した。 |

**【データ集計に係る前提条件等】**

○　H12 国勢調査と H22 国勢調査では、調査項目に 5 年前に住んでいた場所を問う項目があり、「5 年前の常住地」は、この調査項目から把握したものである。

○　H12 国勢調査に基づく移住者とは、平成 12 年の現住地と平成 7 年の常住地が異なる地域（県内他市町村、他県、国外）である者のことであり、H22 国勢調査に基づく移住者とは、平成 22 年の現住地と平成 17 年の常住地が異なる地域（県内他市町村、他県、国外）である者のことである。すわなち、本調査は、平成 22 年の現住地と平成 12 年の常住地を比較したものではない。

○　（2）のとおり、国勢調査において、各調査時点の「現住地」と「5 年前の常住地」が異なる地域（県内他市町村、他県、国外）である者を「移住者」としている。

しかし、平成 12 年以降、全国的に市町村合併が行われたため、単純に、それぞれの国勢調査において「現住地」と「5 年前の常住地」が異なる地域の者を「移住者」として集計してしまうと、市町村合併前であれば異なる市町村間の移動として「移住者」に計上されていた移動が、市町村合併後には、合併後の同一市町村内の移動として「移住者」に計上されなくなるケースが出てくるため、そのままでは、H12 国勢調査に基づく結果と、H22 国勢調査に基づく結果を適切に比較することができない。

そのため、H12 国勢調査と H22 国勢調査それぞれの「現住地」と「5 年前の常住地」について、平成 28 年 4 月 1 日時点の市町村の姿で考えた場合に同一市町村内の移動となる者については、「移住者」から除いて集計している。

○　このため、本章における「全国の移住者」の値は、各年の国勢調査の結果として公表されている全国の移住者数（下表参照）とは異なる。

○　国勢調査において、5 年前に住んでいた市町村は、合併後の市町村名で回答する。そのため、5 年前の常住地が一部過疎市町村である場合、一部過疎市町村内の過疎地域から移動したのか、非過疎地域から移動したのかが判別できない。そのため、都市部の中の一部過疎市町村は、当該市町村の全域を都市部に含めて集計している。

○　一方、現住地については、当該現住地が合併前旧市町村のどの地域であるかの判別が可能であるため、平成 12 年 4 月 1 日時点の市町村の区域を 1 区域として、当該区域人口に対する転入者の割合についても分析を行った。

**【参考】各年国勢調査における移住者数の推移**

| | 総人口 | 常住者 | 移住者数（前住地が自市区町村内以外） | | | | 移住者の割合 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | （0～4歳含む） | （5歳以上） | （5歳以上） | 県内他市町村から | 他県から | 国外から | 対総人口 | 対常住者 |
| S55 | 117,060,396 | 108,473,617 | 18,313,985 | 9,184,687 | 9,019,847 | 109,451 | 15.6% | 16.9% |
| H2 | 123,611,167 | 116,791,913 | 16,607,315 | 7,307,004 | 8,889,160 | 411,151 | 13.4% | 14.2% |
| H12 | 126,925,843 | 120,793,184 | 16,870,218 | 7,857,604 | 8,389,386 | 623,228 | 13.3% | 14.0% |
| H22 | 128,057,352 | 122,760,604 | 13,094,388 | 5,858,833 | 6,669,704 | 565,851 | 10.2% | 10.7% |

（資料）各年国勢調査より。
※「移住者数」は各年国勢調査において「5年前の常住地」が①県内他市町村、②他県、③国外である者の合計。

## １－２．結果のポイント

○ 本調査では、H12 国勢調査とH22 国勢調査の個票データのうち、5 年前に住んでいた場所を問う調査項目について結果を集計し、平成 7 年から平成 12 年と、平成 17 年から平成 22 年の人口移動について分析を行った。特に「過疎地域への移住者」、さらにその中でも「都市部から過疎地域への移住者」について、その数や属性などを分析した。

○ 過疎地域への移住者の数は、H12 国勢調査では約 107 万人、H22 国勢調査では約 84 万人であり、約 23 万人減少した（21.4％減）。この間、非過疎地域への移住も含めた全国の移住者数についても減少しており、H12 国勢調査の約 1,622 万人から、H22 国勢調査では約 1,306 万人へと約 316 万人減少している（19.5％減）。

なお、全国の移住者のうち、過疎地域への移住者の割合は、H12年国勢調査では6.6％、H22年国勢調査では 6.5％であり、ほぼ同じである。

○ 過疎地域への移住者の数自体は減少しているが、H22 国勢調査では、男女ともに 60 代の移住者の数は増えており（男性 5,897 人増、女性 1,715 人増）、平成 17 年から平成 22 年のまでの間に、いわゆる「団塊の世代」における過疎地域への移住が多かったことが明らかになった。

○ 過疎地域への移住者のうち、都市部からの移住者についてみると、H12国勢調査では約38万人（35.1％）、H22 国勢調査では約 27 万人（31.7％）であり、約 11 万人減少している（29.1％減）。

○ さらに、都市部から過疎地域への移住者について、転入元の内訳をみると、三大都市圏からの転入者は、H12 国勢調査では約 26 万人（68.1％）、H22 国勢調査では約 17 万人（65.4％）である。

都市部から過疎地域への移住者のうち、他の都道府県の都市部からの移住者は、H12 国勢調査、H22 国勢調査ともに約 70％を占める。

また、都市部から過疎地域への移住者のうち、他の地域ブロックの都市部からの移住者は、H12 国勢調査では 54.1％、H22 国勢調査では 51.6％を占めており、約半数となっている。

○ 都市部から過疎地域への移住者について、年代別内訳をみると、H12 国勢調査、H22 国勢調査ともに、20 代が最も多い（H12 国勢調査：31.5％、H22 国勢調査：25.0％）。

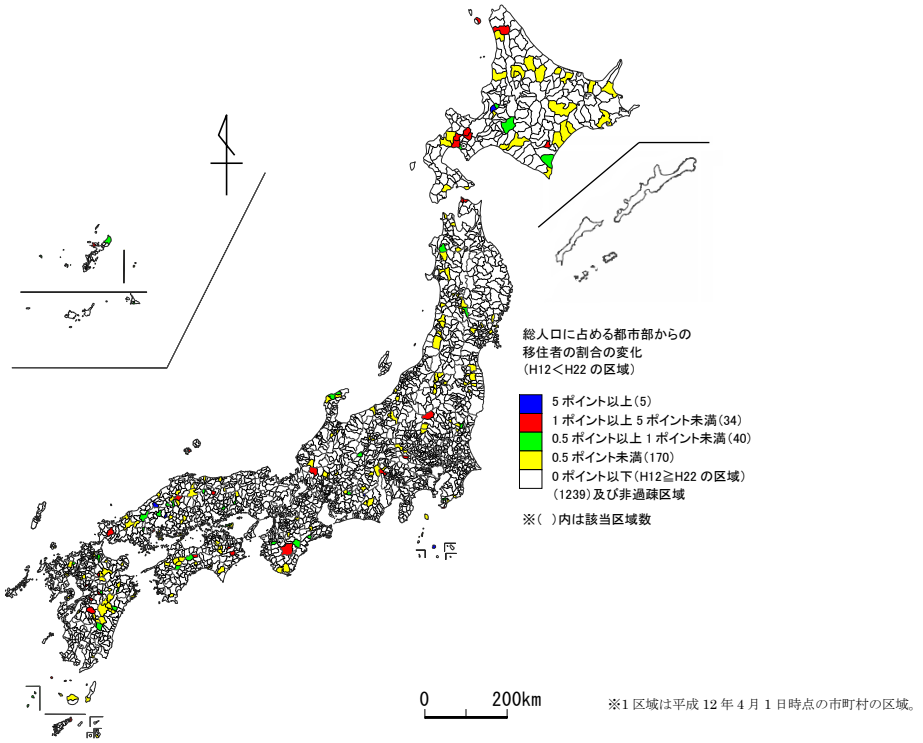
そのうち、H22国勢調査では、20代の割合と30代の割合の差が縮小しており（H12国勢調査：9.5ポイント、H22 国勢調査：1.9 ポイント）、過疎地域への移住の志向が 30 代にも広がっている傾向がうかがえる。

とりわけ、30 代女性の割合は、H22 国勢調査では、北海道から沖縄までの 10 の地域ブロック全てで、H12 国勢調査より高くなっている。

○ 都市部から過疎地域への移住者について、世帯構成の内訳をみると、H22国勢調査では、北海道から沖縄までの 10 の地域ブロック全てで、「夫婦のみの世帯」及び「非親族を含む世帯」の割合が、H12 国勢調査より高くなっている。

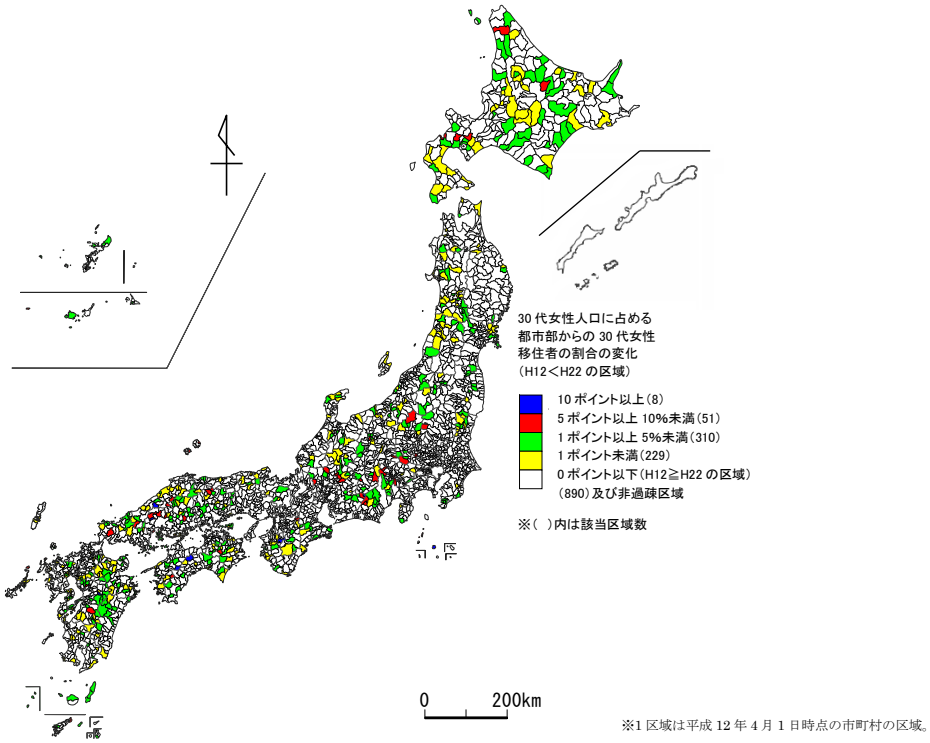
○ 過疎地域における、平成 12 年 4 月 1 日時点の旧市町村の区域を 1 区として、当該区域への都市部からの移住の状況を図示すると、全国全ての区域で、都市部からの転入者がいることが明らかになった。

当該区域の総人口に対する都市部からの移住者の割合をみると、5%以上の区域が、H12 国勢調査では 191 区域（全国の区域の 12.8%）、H22 国勢調査では 117 区域（全国の区域の 7.9%）であり、この割合が拡大している区域は 249 区域（全国の区域の 16.7%）であった（区域数の合計は 1,488）。




※1 区域は平成 12 年 4 月 1 日時点の市町村の区域。

また、過疎地域の区域単位で、30 代女性人口に占める都市部からの 30 代女性移住者の割合について、H12 国勢調査と H22 国勢調査を比べると、40.2%の区域（598 区域）でその割合が拡大しており、20 代男女や 30 代男性よりも多くの区域で増えている。




※1 区域は平成 12 年 4 月 1 日時点の市町村の区域。

## １－３．集計結果

### （１）過疎地域への移住者の状況

#### ①過疎地域への移住者の数と人口に占める割合

○過疎地域への移住者の数は、H12 国勢調査では約 107 万人、H22 国勢調査では約 84 万人であり、約 23 万人減少している(21.4%減)。

(この間、過疎地域の総人口は、H12 国勢調査では約 1,291 万人、H22 国勢調査では約 1,136 万人であり、約 156 万人減少している(12.1%減)。)

○一方で、全国の移住者の数は、H12 国勢調査では約 1,622 万人、H22 国勢調査では約 1,306 万人であり、約 316 万人減少している(19.5%減)。

(この間、全国の総人口は、H12 国勢調査では約 1 億 2,693 万人、H22 国勢調査では約 1 億 2,806 万人であり、約 113 万人増加している。)

○全国の移住者のうち、過疎地域への移住者の割合は、H12 国勢調査では 6.6%、H22 国勢調査では 6.5%である。

■ 総人口と移住者数

| | 過疎地域 (A) | | 非過疎地域 (B) | | 全国 (A+B) | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | H12 | H22 | H12 | H22 | H12 | H22 |
| 総人口 | 12,911,794 (100.0%) | 11,355,109 (100.0%) | 114,014,049 (100.0%) | 116,702,243 (100.0%) | 126,925,843 (100.0%) | 128,057,352 (100.0%) |
| 全国の総人口に対する割合 | 10.2% | 8.9% | 89.8% | 91.1% | 100.0% | 100.0% |

| | 過疎地域への移住者 (A) | | 非過疎地域への移住者 (B) | | 全国の移住者 (A+B) | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | H12 | H22 | H12 | H22 | H12 | H22 |
| 移住者数 | 1,071,865 | 842,767 | 15,152,219 | 12,217,964 | 16,224,084 | 13,060,731 |
| （総人口に対する割合） | (8.3%) | (7.4%) | (13.3%) | (10.5%) | (12.8%) | (10.2%) |
| 全国の移住者に対する割合 | 6.6% | 6.5% | 93.4% | 93.5% | 100.0% | 100.0% |

## ②過疎地域への移住者の数と人口に占める割合【地域ブロック別】

○過疎地域への移住者が過疎地域の人口に占める割合を地域ブロック別でみると、H12 国勢調査、H22 国勢調査ともに、割合が最も高いのは沖縄であり、1割超となっている(H12:国勢調査 11.9%、H22 国勢調査:11.8%)。沖縄に次いで、北海道も、過疎地域への移住者が過疎地域の人口に占める割合が高く、H12 国勢調査では 11.4%、H22 国勢調査では 10.0%となっている。

○一方、東北や北陸では、過疎地域への移住者が過疎地域の人口に占める割合が低く、H22 国勢調査では5%台となっている。

■ 過疎地域の総人口と過疎地域への移住者数

| 地域ブロック | H12 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 北陸 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄 | 合計 |
| 過疎地域の総人口 | 1,959,208 | 3,189,687 | 684,997 | 455,758 | 265,266 | 729,528 | 1,472,344 | 936,342 | 3,108,926 | 109,738 | 12,911,794 |
| | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) |
| 過疎地域への移住者数 | 224,044 | 201,188 | 56,886 | 33,695 | 15,514 | 58,166 | 123,851 | 73,030 | 272,446 | 13,045 | 1,071,865 |
| | (11.4%) | (6.3%) | (8.3%) | (7.4%) | (5.8%) | (8.0%) | (8.4%) | (7.8%) | (8.8%) | (11.9%) | (8.3%) |

| 地域ブロック | H22 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 北陸 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄 | 合計 |
| 過疎地域の総人口 | 1,719,732 | 2,813,242 | 589,521 | 390,728 | 229,895 | 635,991 | 1,298,400 | 811,154 | 2,762,310 | 104,136 | 11,355,109 |
| | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) |
| 過疎地域への移住者数 | 172,491 | 155,982 | 43,043 | 25,089 | 12,504 | 42,336 | 98,535 | 57,398 | 223,116 | 12,273 | 842,767 |
| | (10.0%) | (5.5%) | (7.3%) | (6.4%) | (5.4%) | (6.7%) | (7.6%) | (7.1%) | (8.1%) | (11.8%) | (7.4%) |

### ③過疎地域への移住者の属性（性別・年代別）

○過疎地域への移住者について、男女比を全国の移住者と比べると、H12 国勢調査、H22 国勢調査ともに、過疎地域への移住者の方が、全国の移住者よりも女性の割合がやや高い。

○過疎地域への移住者の年代別内訳をみると、H22 国勢調査では、30 代以上の各年代が占める割合が、H12 国勢調査と比べて増えている。

○過疎地域への移住者のうち最も多い年代は、H22 国勢調査では 20 代であるが、全国の移住者では、30 代が最も多くなっている。

○過疎地域への移住者と全国の移住者について、H22 国勢調査における年代別内訳をみると、50 代以上の各年代の割合は、過疎地域への移住者の方が、全国の移住者よりも高くなっている。

■移住者の属性　　※H12＜H22に網掛け

| | | 過疎地域への移住者（A） | | 非過疎地域への移住者（B） | | 全国の移住者（A+B） | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | H12 | H22 | H12 | H22 | H12 | H22 |
| 移住者数 | | 1,071,865<br>(100.0%) | 842,767<br>(100.0%) | 15,152,219<br>(100.0%) | 12,217,964<br>(100.0%) | 16,224,084<br>(100.0%) | 13,060,731<br>(100.0%) |
| 性別 | 男性 | 552,255<br>(51.5%) | 434,127<br>(51.5%) | 7,959,173<br>(52.5%) | 6,344,491<br>(51.9%) | 8,511,428<br>(52.5%) | 6,778,618<br>(51.9%) |
| | 女性 | 519,610<br>(48.5%) | 408,640<br>(48.5%) | 7,193,046<br>(47.5%) | 5,873,473<br>(48.1%) | 7,712,656<br>(47.5%) | 6,282,113<br>(48.1%) |
| 年代別 | 5～9歳 | 76,566<br>(7.1%) | 53,440<br>(6.3%) | 959,576<br>(6.3%) | 760,749<br>(6.2%) | 1,036,142<br>(6.4%) | 814,189<br>(6.2%) |
| | 10代 | 103,165<br>(9.6%) | 70,768<br>(8.4%) | 1,573,815<br>(10.4%) | 1,035,130<br>(8.5%) | 1,676,980<br>(10.3%) | 1,105,898<br>(8.5%) |
| | 20代 | 323,259<br>(30.2%) | 211,279<br>(25.1%) | 5,060,084<br>(33.4%) | 3,295,359<br>(27.0%) | 5,383,343<br>(33.2%) | 3,506,638<br>(26.8%) |
| | 30代 | 238,298<br>(22.2%) | 202,965<br>(24.1%) | 3,848,999<br>(25.4%) | 3,561,618<br>(29.2%) | 4,087,297<br>(25.2%) | 3,764,583<br>(28.8%) |
| | 40代 | 122,230<br>(11.4%) | 96,865<br>(11.5%) | 1,568,645<br>(10.4%) | 1,536,000<br>(12.6%) | 1,690,875<br>(10.4%) | 1,632,865<br>(12.5%) |
| | 50代 | 97,290<br>(9.1%) | 83,132<br>(9.9%) | 1,091,043<br>(7.2%) | 812,699<br>(6.7%) | 1,188,333<br>(7.3%) | 895,831<br>(6.9%) |
| | 60代 | 54,773<br>(5.1%) | 62,385<br>(7.4%) | 532,483<br>(3.5%) | 593,034<br>(4.9%) | 587,256<br>(3.6%) | 655,419<br>(5.0%) |
| | 70代 | 27,587<br>(2.6%) | 25,332<br>(3.0%) | 287,339<br>(1.9%) | 295,306<br>(2.4%) | 314,926<br>(1.9%) | 320,638<br>(2.5%) |
| | 80代～ | 28,697<br>(2.7%) | 36,565<br>(4.3%) | 230,235<br>(1.5%) | 327,347<br>(2.7%) | 258,932<br>(1.6%) | 363,912<br>(2.8%) |

○過疎地域への移住者のうち、男性の年代別内訳について H12 国勢調査と H22 国勢調査を比べると、H22 国勢調査では 30 代と 50 代以上の各年代の割合が拡大している。特に、50 代以上の各年代の割合を合計すると、H12 国勢調査では、19.5%、H22 国勢調査では 25.3%であり、5.8 ポイント増となっている。

○過疎地域への移住者のうち、女性の年代別内訳について H12 国勢調査と H22 国勢調査を比べると、H22 国勢調査では、30 代以上の各年代の割合が拡大している。

○過疎地域への移住者の数は、H12 国勢調査から H22 国勢調査にかけて、男性と女性ともに減少している。一方で、60 代の移住者は増えている。これは、全国の移住者についても同様である。

■移住者の属性

※H12＜H22に網掛け

| | | 過疎地域への移住者 (A) | | 非過疎地域への移住者 (B) | | 全国の移住者 (A+B) | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | H12 | H22 | H12 | H22 | H12 | H22 |
| 男性・年代別 | 移住者数 ： 男性 | 552,255<br>(100.0%) | 434,127<br>(100.0%) | 7,959,173<br>(100.0%) | 6,344,491<br>(100.0%) | 8,511,428<br>(100.0%) | 6,778,618<br>(100.0%) |
| | 5～9歳 | 39,048<br>(7.1%) | 27,311<br>(6.3%) | 490,403<br>(6.2%) | 388,905<br>(6.1%) | 529,451<br>(6.2%) | 416,216<br>(6.1%) |
| | 10代 | 55,526<br>(10.1%) | 39,406<br>(9.1%) | 822,825<br>(10.3%) | 546,624<br>(8.6%) | 878,351<br>(10.3%) | 586,030<br>(8.6%) |
| | 20代 | 153,544<br>(27.8%) | 99,840<br>(23.0%) | 2,621,514<br>(32.9%) | 1,696,089<br>(26.7%) | 2,775,058<br>(32.6%) | 1,795,929<br>(26.5%) |
| | 30代 | 119,309<br>(21.6%) | 98,370<br>(22.7%) | 2,011,509<br>(25.3%) | 1,790,326<br>(28.2%) | 2,130,818<br>(25.0%) | 1,888,696<br>(27.9%) |
| | 40代 | 77,092<br>(14.0%) | 59,030<br>(13.6%) | 937,936<br>(11.8%) | 896,799<br>(14.1%) | 1,015,028<br>(11.9%) | 955,829<br>(14.1%) |
| | 50代 | 59,141<br>(10.7%) | 52,741<br>(12.1%) | 636,323<br>(8.0%) | 492,063<br>(7.8%) | 695,464<br>(8.2%) | 544,804<br>(8.0%) |
| | 60代 | 31,080<br>(5.6%) | 36,977<br>(8.5%) | 274,884<br>(3.5%) | 325,220<br>(5.1%) | 305,964<br>(3.6%) | 362,197<br>(5.3%) |
| | 70代 | 10,903<br>(2.0%) | 11,770<br>(2.7%) | 109,273<br>(1.4%) | 125,881<br>(2.0%) | 120,176<br>(1.4%) | 137,651<br>(2.0%) |
| | 80代～ | 6,612<br>(1.2%) | 8,657<br>(2.0%) | 54,506<br>(0.7%) | 82,089<br>(1.3%) | 61,118<br>(0.7%) | 90,746<br>(1.3%) |
| 女性・年代別 | 移住者数 ： 女性 | 519,610<br>(100.0%) | 408,640<br>(100.0%) | 7,193,046<br>(100.0%) | 5,873,473<br>(100.0%) | 7,712,656<br>(100.0%) | 6,282,113<br>(100.0%) |
| | 5～9歳 | 37,518<br>(7.2%) | 26,129<br>(6.4%) | 469,173<br>(6.5%) | 371,844<br>(6.3%) | 506,691<br>(6.6%) | 397,973<br>(6.3%) |
| | 10代 | 47,639<br>(9.2%) | 31,362<br>(7.7%) | 750,990<br>(10.4%) | 488,506<br>(8.3%) | 798,629<br>(10.4%) | 519,868<br>(8.3%) |
| | 20代 | 169,715<br>(32.7%) | 111,439<br>(27.3%) | 2,438,570<br>(33.9%) | 1,599,270<br>(27.2%) | 2,608,285<br>(33.8%) | 1,710,709<br>(27.2%) |
| | 30代 | 118,989<br>(22.9%) | 104,595<br>(25.6%) | 1,837,490<br>(25.5%) | 1,771,292<br>(30.2%) | 1,956,479<br>(25.4%) | 1,875,887<br>(29.9%) |
| | 40代 | 45,138<br>(8.7%) | 37,835<br>(9.3%) | 630,709<br>(8.8%) | 639,201<br>(10.9%) | 675,847<br>(8.8%) | 677,036<br>(10.8%) |
| | 50代 | 38,149<br>(7.3%) | 30,391<br>(7.4%) | 454,720<br>(6.3%) | 320,636<br>(5.5%) | 492,869<br>(6.4%) | 351,027<br>(5.6%) |
| | 60代 | 23,693<br>(4.6%) | 25,408<br>(6.2%) | 257,599<br>(3.6%) | 267,814<br>(4.6%) | 281,292<br>(3.6%) | 293,222<br>(4.7%) |
| | 70代 | 16,684<br>(3.2%) | 13,562<br>(3.3%) | 178,066<br>(2.5%) | 169,425<br>(2.9%) | 194,750<br>(2.5%) | 182,987<br>(2.9%) |
| | 80代～ | 22,085<br>(4.3%) | 27,908<br>(6.8%) | 175,729<br>(2.4%) | 245,258<br>(4.2%) | 197,814<br>(2.6%) | 273,166<br>(4.3%) |

### ④過疎地域への移住者の属性（性別）【地域ブロック別】

○過疎地域への移住者について、男女別内訳を地域ブロック別でみると H12 国勢調査では、九州を除き、男性の方がやや多くなっている。H22 国勢調査では、全ての地域ブロックにおいて、男性の方がやや多くなっている。

○また、H22 国勢調査では、近畿、中国、四国及び九州を除く地域ブロックで、女性の割合がやや増えている。

■ 過疎地域への移住者の属性

| 地域ブロック | | H12 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 北陸 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄 | 合計 |
| 過疎地域への移住者数 | | 224,044 | 201,188 | 56,886 | 33,695 | 15,514 | 58,166 | 123,851 | 73,030 | 272,446 | 13,045 | 1,071,865 |
| | | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) |
| 性別 | 男性 | 122,051 | 102,150 | 29,575 | 17,589 | 8,001 | 29,168 | 63,765 | 36,897 | 135,871 | 7,188 | 552,255 |
| | | (54.5%) | (50.8%) | (52.0%) | (52.2%) | (51.6%) | (50.1%) | (51.5%) | (50.5%) | (49.9%) | (55.1%) | (51.5%) |
| | 女性 | 101,993 | 99,038 | 27,311 | 16,106 | 7,513 | 28,998 | 60,086 | 36,133 | 136,575 | 5,857 | 519,610 |
| | | (45.5%) | (49.2%) | (48.0%) | (47.8%) | (48.4%) | (49.9%) | (48.5%) | (49.5%) | (50.1%) | (44.9%) | (48.5%) |

※H12＜H22に網掛け

| 地域ブロック | | H22 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 北陸 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄 | 合計 |
| 過疎地域への移住者数 | | 172,491 | 155,982 | 43,043 | 25,089 | 12,504 | 42,336 | 98,535 | 57,398 | 223,116 | 12,273 | 842,767 |
| | | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) |
| 性別 | 男性 | 93,498 | 79,118 | 22,049 | 13,001 | 6,330 | 21,318 | 51,293 | 29,173 | 111,742 | 6,605 | 434,127 |
| | | (54.2%) | (50.7%) | (51.2%) | (51.8%) | (50.6%) | (50.4%) | (52.1%) | (50.8%) | (50.1%) | (53.8%) | (51.5%) |
| | 女性 | 78,993 | 76,864 | 20,994 | 12,088 | 6,174 | 21,018 | 47,242 | 28,225 | 111,374 | 5,668 | 408,640 |
| | | (45.8%) | (49.3%) | (48.8%) | (48.2%) | (49.4%) | (49.6%) | (47.9%) | (49.2%) | (49.9%) | (46.2%) | (48.5%) |

## ⑤過疎地域への移住者の属性（年代別）【地域ブロック別】

○過疎地域への移住者について年代別内訳を地域ブロック別でみると、関東では、60代の割合がH12国勢調査では5.8%、H22国勢調査では10.0%であり、大きく拡大している。

○過疎地域への移住者のうち20代の割合が最も高いのは、北陸であり、H12国勢調査では35.9%、H22国勢調査では 28.2%である。二番目は東北であり、H12 国勢調査では 32.9%、H22 国勢調査では27.6%となっている。

■ 過疎地域への移住者の属性

| 地域ブロック | | H12 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 北陸 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄 | 合計 |
| 過疎地域への移住者数 | | 224,044 | 201,188 | 56,886 | 33,695 | 15,514 | 58,166 | 123,851 | 73,030 | 272,446 | 13,045 | 1,071,865 |
| | | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) |
| 年代別 | 5～9歳 | 13,969 | 13,910 | 4,079 | 2,231 | 937 | 4,173 | 8,298 | 5,303 | 22,448 | 1,218 | 76,566 |
| | | (6.2%) | (6.9%) | (7.2%) | (6.6%) | (6.0%) | (7.2%) | (6.7%) | (7.3%) | (8.2%) | (9.3%) | (7.1%) |
| | 10代 | 24,995 | 15,931 | 5,156 | 3,050 | 1,054 | 5,568 | 13,868 | 6,655 | 25,778 | 1,110 | 103,165 |
| | | (11.2%) | (7.9%) | (9.1%) | (9.1%) | (6.8%) | (9.6%) | (11.2%) | (9.1%) | (9.5%) | (8.5%) | (9.6%) |
| | 20代 | 66,883 | 66,218 | 16,131 | 10,650 | 5,562 | 17,669 | 39,949 | 22,544 | 73,788 | 3,865 | 323,259 |
| | | (29.9%) | (32.9%) | (28.4%) | (31.6%) | (35.9%) | (30.4%) | (32.3%) | (30.9%) | (27.1%) | (29.6%) | (30.2%) |
| | 30代 | 48,167 | 48,106 | 12,920 | 7,622 | 3,479 | 13,005 | 25,395 | 16,067 | 60,295 | 3,242 | 238,298 |
| | | (21.5%) | (23.9%) | (22.7%) | (22.6%) | (22.4%) | (22.4%) | (20.5%) | (22.0%) | (22.1%) | (24.9%) | (22.2%) |
| | 40代 | 28,113 | 22,584 | 6,261 | 3,449 | 1,479 | 5,682 | 12,626 | 7,703 | 32,562 | 1,771 | 122,230 |
| | | (12.5%) | (11.2%) | (11.0%) | (10.2%) | (9.5%) | (9.8%) | (10.2%) | (10.5%) | (12.0%) | (13.6%) | (11.4%) |
| | 50代 | 22,561 | 16,080 | 5,193 | 3,065 | 1,313 | 4,794 | 10,823 | 6,330 | 26,048 | 1,083 | 97,290 |
| | | (10.1%) | (8.0%) | (9.1%) | (9.1%) | (8.5%) | (8.2%) | (8.7%) | (8.7%) | (9.6%) | (8.3%) | (9.1%) |
| | 60代 | 9,403 | 8,932 | 3,318 | 1,829 | 716 | 3,388 | 6,507 | 4,072 | 16,140 | 468 | 54,773 |
| | | (4.2%) | (4.4%) | (5.8%) | (5.4%) | (4.6%) | (5.8%) | (5.3%) | (5.6%) | (5.9%) | (3.6%) | (5.1%) |
| | 70代 | 4,939 | 4,658 | 1,729 | 927 | 420 | 1,894 | 2,980 | 2,131 | 7,734 | 175 | 27,587 |
| | | (2.2%) | (2.3%) | (3.0%) | (2.8%) | (2.7%) | (3.3%) | (2.4%) | (2.9%) | (2.8%) | (1.3%) | (2.6%) |
| | 80代～ | 5,014 | 4,769 | 2,099 | 872 | 554 | 1,993 | 3,405 | 2,225 | 7,653 | 113 | 28,697 |
| | | (2.2%) | (2.4%) | (3.7%) | (2.6%) | (3.6%) | (3.4%) | (2.7%) | (3.0%) | (2.8%) | (0.9%) | (2.7%) |

※H12＜H22に網掛け

| 地域ブロック | | H22 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 北陸 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄 | 合計 |
| 過疎地域への移住者数 | | 172,491 | 155,982 | 43,043 | 25,089 | 12,504 | 42,336 | 98,535 | 57,398 | 223,116 | 12,273 | 842,767 |
| | | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) |
| 年代別 | 5～9歳 | 9,774 | 9,770 | 2,579 | 1,378 | 705 | 2,530 | 5,702 | 3,613 | 16,545 | 844 | 53,440 |
| | | (5.7%) | (6.3%) | (6.0%) | (5.5%) | (5.6%) | (6.0%) | (5.8%) | (6.3%) | (7.4%) | (6.9%) | (6.3%) |
| | 10代 | 16,415 | 10,783 | 3,223 | 1,947 | 1,158 | 3,761 | 9,104 | 5,114 | 18,516 | 747 | 70,768 |
| | | (9.5%) | (6.9%) | (7.5%) | (7.8%) | (9.3%) | (8.9%) | (9.2%) | (8.9%) | (8.3%) | (6.1%) | (8.4%) |
| | 20代 | 43,049 | 43,032 | 9,963 | 6,217 | 3,527 | 10,645 | 26,547 | 14,240 | 50,993 | 3,066 | 211,279 |
| | | (25.0%) | (27.6%) | (23.1%) | (24.8%) | (28.2%) | (25.1%) | (26.9%) | (24.8%) | (22.9%) | (25.0%) | (25.1%) |
| | 30代 | 41,092 | 40,251 | 9,785 | 5,935 | 3,036 | 10,073 | 23,013 | 13,810 | 52,640 | 3,330 | 202,965 |
| | | (23.8%) | (25.8%) | (22.7%) | (23.7%) | (24.3%) | (23.8%) | (23.4%) | (24.1%) | (23.6%) | (27.1%) | (24.1%) |
| | 40代 | 23,014 | 18,028 | 4,607 | 2,753 | 1,216 | 4,285 | 10,014 | 5,681 | 25,714 | 1,553 | 96,865 |
| | | (13.3%) | (11.6%) | (10.7%) | (11.0%) | (9.7%) | (10.1%) | (10.2%) | (9.9%) | (11.5%) | (12.7%) | (11.5%) |
| | 50代 | 18,906 | 14,368 | 4,065 | 2,418 | 947 | 3,402 | 9,023 | 5,301 | 23,288 | 1,414 | 83,132 |
| | | (11.0%) | (9.2%) | (9.4%) | (9.6%) | (7.6%) | (8.0%) | (9.2%) | (9.2%) | (10.4%) | (11.5%) | (9.9%) |
| | 60代 | 9,662 | 9,617 | 4,287 | 2,207 | 871 | 3,494 | 8,162 | 4,932 | 18,283 | 870 | 62,385 |
| | | (5.6%) | (6.2%) | (10.0%) | (8.8%) | (7.0%) | (8.3%) | (8.3%) | (8.6%) | (8.2%) | (7.1%) | (7.4%) |
| | 70代 | 4,345 | 4,039 | 1,758 | 930 | 366 | 1,584 | 2,770 | 1,935 | 7,344 | 261 | 25,332 |
| | | (2.5%) | (2.6%) | (4.1%) | (3.7%) | (2.9%) | (3.7%) | (2.8%) | (3.4%) | (3.3%) | (2.1%) | (3.0%) |
| | 80代～ | 6,232 | 6,091 | 2,774 | 1,302 | 677 | 2,562 | 4,190 | 2,768 | 9,785 | 184 | 36,565 |
| | | (3.6%) | (3.9%) | (6.4%) | (5.2%) | (5.4%) | (6.1%) | (4.3%) | (4.8%) | (4.4%) | (1.5%) | (4.3%) |

## ⑥過疎地域への移住者の属性（性別・年代別）【地域ブロック別】

○過疎地域への移住者のうち男性の年代別内訳を地域ブロック別でみると、全ての地域ブロックで、60代、70代及び80代以上の割合が、H12国勢調査からH22調査国勢調査にかけて拡大している。

○北陸では、10代の男性がH12国勢調査からH22国勢調査にかけて、移住者の数、割合ともに拡大している。

■ 過疎地域への移住者の属性

| 地域ブロック | | H12 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 北陸 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄 | 合計 |
| 男性・年代別 | 過疎地域への移住者数：男性 | 122,051 (100.0%) | 102,150 (100.0%) | 29,575 (100.0%) | 17,589 (100.0%) | 8,001 (100.0%) | 29,168 (100.0%) | 63,765 (100.0%) | 36,897 (100.0%) | 135,871 (100.0%) | 7,188 (100.0%) | 552,255 (100.0%) |
| | 5～9歳 | 7,043 (5.8%) | 7,064 (6.9%) | 2,118 (7.2%) | 1,103 (6.3%) | 461 (5.8%) | 2,121 (7.3%) | 4,179 (6.6%) | 2,812 (7.6%) | 11,514 (8.5%) | 633 (8.8%) | 39,048 (7.1%) |
| | 10代 | 13,832 (11.3%) | 8,583 (8.4%) | 3,030 (10.2%) | 1,743 (9.9%) | 589 (7.4%) | 3,241 (11.1%) | 7,304 (11.5%) | 3,650 (9.9%) | 12,940 (9.5%) | 614 (8.5%) | 55,526 (10.1%) |
| | 20代 | 34,998 (28.7%) | 29,809 (29.2%) | 7,885 (26.7%) | 5,086 (28.9%) | 2,555 (31.9%) | 8,298 (28.4%) | 18,920 (29.7%) | 10,426 (28.3%) | 33,772 (24.9%) | 1,795 (25.0%) | 153,544 (27.8%) |
| | 30代 | 25,484 (20.9%) | 23,703 (23.2%) | 6,302 (21.3%) | 3,853 (21.9%) | 1,802 (22.5%) | 6,263 (21.5%) | 13,004 (20.4%) | 7,825 (21.2%) | 29,354 (21.6%) | 1,719 (23.9%) | 119,309 (21.6%) |
| | 40代 | 18,048 (14.8%) | 14,432 (14.1%) | 3,930 (13.3%) | 2,253 (12.8%) | 1,009 (12.6%) | 3,483 (11.9%) | 8,168 (12.8%) | 4,817 (13.1%) | 19,730 (14.5%) | 1,222 (17.0%) | 77,092 (14.0%) |
| | 50代 | 14,056 (11.5%) | 10,532 (10.3%) | 3,189 (10.8%) | 1,941 (11.0%) | 873 (10.9%) | 2,713 (9.3%) | 6,498 (10.2%) | 3,760 (10.2%) | 14,819 (10.9%) | 760 (10.6%) | 59,141 (10.7%) |
| | 60代 | 5,380 (4.4%) | 5,201 (5.1%) | 1,944 (6.6%) | 1,033 (5.9%) | 416 (5.2%) | 1,864 (6.4%) | 3,704 (5.8%) | 2,282 (6.2%) | 8,927 (6.6%) | 329 (4.6%) | 31,080 (5.6%) |
| | 70代 | 1,914 (1.6%) | 1,785 (1.7%) | 701 (2.4%) | 364 (2.1%) | 175 (2.2%) | 754 (2.6%) | 1,176 (1.8%) | 853 (2.3%) | 3,099 (2.3%) | 82 (1.1%) | 10,903 (2.0%) |
| | 80代～ | 1,296 (1.1%) | 1,041 (1.0%) | 476 (1.6%) | 213 (1.2%) | 121 (1.5%) | 431 (1.5%) | 812 (1.3%) | 472 (1.3%) | 1,716 (1.3%) | 34 (0.5%) | 6,612 (1.2%) |

※H12＜H22に網掛け

| 地域ブロック | | H22 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 北陸 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄 | 合計 |
| 男性・年代別 | 過疎地域への移住者数：男性 | 93,498 (100.0%) | 79,118 (100.0%) | 22,049 (100.0%) | 13,001 (100.0%) | 6,330 (100.0%) | 21,318 (100.0%) | 51,293 (100.0%) | 29,173 (100.0%) | 111,742 (100.0%) | 6,605 (100.0%) | 434,127 (100.0%) |
| | 5～9歳 | 4,951 (5.3%) | 4,986 (6.3%) | 1,329 (6.0%) | 676 (5.2%) | 361 (5.7%) | 1,336 (6.3%) | 2,941 (5.7%) | 1,832 (6.3%) | 8,469 (7.6%) | 430 (6.5%) | 27,311 (6.3%) |
| | 10代 | 9,157 (9.8%) | 6,124 (7.7%) | 1,889 (8.6%) | 1,164 (9.0%) | 780 (12.3%) | 2,290 (10.7%) | 5,028 (9.8%) | 2,973 (10.2%) | 9,582 (8.6%) | 419 (6.3%) | 39,406 (9.1%) |
| | 20代 | 21,599 (23.1%) | 19,430 (24.6%) | 4,968 (22.5%) | 2,780 (21.4%) | 1,600 (25.3%) | 5,137 (24.1%) | 12,697 (24.8%) | 6,677 (22.9%) | 23,512 (21.0%) | 1,440 (21.8%) | 99,840 (23.0%) |
| | 30代 | 21,103 (22.6%) | 18,812 (23.8%) | 4,687 (21.3%) | 2,932 (22.6%) | 1,371 (21.7%) | 4,735 (22.2%) | 11,445 (22.3%) | 6,592 (22.6%) | 25,087 (22.5%) | 1,606 (24.3%) | 98,370 (22.7%) |
| | 40代 | 14,663 (15.7%) | 11,139 (14.1%) | 2,716 (12.3%) | 1,752 (13.5%) | 736 (11.6%) | 2,476 (11.6%) | 6,301 (12.3%) | 3,370 (11.6%) | 14,892 (13.3%) | 985 (14.9%) | 59,030 (13.6%) |
| | 50代 | 12,900 (13.8%) | 9,496 (12.0%) | 2,550 (11.6%) | 1,568 (12.1%) | 620 (9.8%) | 1,992 (9.3%) | 5,676 (11.1%) | 3,243 (11.1%) | 13,753 (12.3%) | 943 (14.3%) | 52,741 (12.1%) |
| | 60代 | 5,618 (6.0%) | 5,910 (7.5%) | 2,480 (11.2%) | 1,323 (10.2%) | 530 (8.4%) | 2,060 (9.7%) | 4,942 (9.6%) | 2,919 (10.0%) | 10,641 (9.5%) | 554 (8.4%) | 36,977 (8.5%) |
| | 70代 | 1,938 (2.1%) | 1,813 (2.3%) | 849 (3.9%) | 455 (3.5%) | 181 (2.9%) | 743 (3.5%) | 1,289 (2.5%) | 897 (3.1%) | 3,441 (3.1%) | 164 (2.5%) | 11,770 (2.7%) |
| | 80代～ | 1,569 (1.7%) | 1,405 (1.8%) | 579 (2.6%) | 350 (2.7%) | 151 (2.4%) | 549 (2.6%) | 967 (1.9%) | 667 (2.3%) | 2,360 (2.1%) | 60 (0.9%) | 8,657 (2.0%) |

○過疎地域への移住者のうち女性の年代別内訳を地域ブロック別でみると、全ての地域ブロックで、30代、40代、60代及び80代以上の割合が、H12国勢調査からH22国勢調査にかけて拡大している。

■ 過疎地域への移住者の属性

| 地域ブロック | | H12 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 北陸 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄 | 合計 |
| 女性・年代別 | 過疎地域への移住者数：女性 | 101,993 | 99,038 | 27,311 | 16,106 | 7,513 | 28,998 | 60,086 | 36,133 | 136,575 | 5,857 | 519,610 |
| | | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) |
| | 5～9歳 | 6,926 | 6,846 | 1,961 | 1,128 | 476 | 2,052 | 4,119 | 2,491 | 10,934 | 585 | 37,518 |
| | | (6.8%) | (6.9%) | (7.2%) | (7.0%) | (6.3%) | (7.1%) | (6.9%) | (6.9%) | (8.0%) | (10.0%) | (7.2%) |
| | 10代 | 11,163 | 7,348 | 2,126 | 1,307 | 465 | 2,327 | 6,564 | 3,005 | 12,838 | 496 | 47,639 |
| | | (10.9%) | (7.4%) | (7.8%) | (8.1%) | (6.2%) | (8.0%) | (10.9%) | (8.3%) | (9.4%) | (8.5%) | (9.2%) |
| | 20代 | 31,885 | 36,409 | 8,246 | 5,564 | 3,007 | 9,371 | 21,029 | 12,118 | 40,016 | 2,070 | 169,715 |
| | | (31.3%) | (36.8%) | (30.2%) | (34.5%) | (40.0%) | (32.3%) | (35.0%) | (33.5%) | (29.3%) | (35.3%) | (32.7%) |
| | 30代 | 22,683 | 24,403 | 6,618 | 3,769 | 1,677 | 6,742 | 12,391 | 8,242 | 30,941 | 1,523 | 118,989 |
| | | (22.2%) | (24.6%) | (24.2%) | (23.4%) | (22.3%) | (23.2%) | (20.6%) | (22.8%) | (22.7%) | (26.0%) | (22.9%) |
| | 40代 | 10,065 | 8,152 | 2,331 | 1,196 | 470 | 2,199 | 4,458 | 2,886 | 12,832 | 549 | 45,138 |
| | | (9.9%) | (8.2%) | (8.5%) | (7.4%) | (6.3%) | (7.6%) | (7.4%) | (8.0%) | (9.4%) | (9.4%) | (8.7%) |
| | 50代 | 8,505 | 5,548 | 2,004 | 1,124 | 440 | 2,081 | 4,325 | 2,570 | 11,229 | 323 | 38,149 |
| | | (8.3%) | (5.6%) | (7.3%) | (7.0%) | (5.9%) | (7.2%) | (7.2%) | (7.1%) | (8.2%) | (5.5%) | (7.3%) |
| | 60代 | 4,023 | 3,731 | 1,374 | 796 | 300 | 1,524 | 2,803 | 1,790 | 7,213 | 139 | 23,693 |
| | | (3.9%) | (3.8%) | (5.0%) | (4.9%) | (4.0%) | (5.3%) | (4.7%) | (5.0%) | (5.3%) | (2.4%) | (4.6%) |
| | 70代 | 3,025 | 2,873 | 1,028 | 563 | 245 | 1,140 | 1,804 | 1,278 | 4,635 | 93 | 16,684 |
| | | (3.0%) | (2.9%) | (3.8%) | (3.5%) | (3.3%) | (3.9%) | (3.0%) | (3.5%) | (3.4%) | (1.6%) | (3.2%) |
| | 80代～ | 3,718 | 3,728 | 1,623 | 659 | 433 | 1,562 | 2,593 | 1,753 | 5,937 | 79 | 22,085 |
| | | (3.6%) | (3.8%) | (5.9%) | (4.1%) | (5.8%) | (5.4%) | (4.3%) | (4.9%) | (4.3%) | (1.3%) | (4.3%) |

※H12＜H22に網掛け

| 地域ブロック | | H22 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 北陸 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄 | 合計 |
| 女性・年代別 | 過疎地域への移住者数：女性 | 78,993 | 76,864 | 20,994 | 12,088 | 6,174 | 21,018 | 47,242 | 28,225 | 111,374 | 5,668 | 408,640 |
| | | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) |
| | 5～9歳 | 4,823 | 4,784 | 1,250 | 702 | 344 | 1,194 | 2,761 | 1,781 | 8,076 | 414 | 26,129 |
| | | (6.1%) | (6.2%) | (6.0%) | (5.8%) | (5.6%) | (5.7%) | (5.8%) | (6.3%) | (7.3%) | (7.3%) | (6.4%) |
| | 10代 | 7,258 | 4,659 | 1,334 | 783 | 378 | 1,471 | 4,076 | 2,141 | 8,934 | 328 | 31,362 |
| | | (9.2%) | (6.1%) | (6.4%) | (6.5%) | (6.1%) | (7.0%) | (8.6%) | (7.6%) | (8.0%) | (5.8%) | (7.7%) |
| | 20代 | 21,450 | 23,602 | 4,995 | 3,437 | 1,927 | 5,508 | 13,850 | 7,563 | 27,481 | 1,626 | 111,439 |
| | | (27.2%) | (30.7%) | (23.8%) | (28.4%) | (31.2%) | (26.2%) | (29.3%) | (26.8%) | (24.7%) | (28.7%) | (27.3%) |
| | 30代 | 19,989 | 21,439 | 5,098 | 3,003 | 1,665 | 5,338 | 11,568 | 7,218 | 27,553 | 1,724 | 104,595 |
| | | (25.3%) | (27.9%) | (24.3%) | (24.8%) | (27.0%) | (25.4%) | (24.5%) | (25.6%) | (24.7%) | (30.4%) | (25.6%) |
| | 40代 | 8,351 | 6,889 | 1,891 | 1,001 | 480 | 1,809 | 3,713 | 2,311 | 10,822 | 568 | 37,835 |
| | | (10.6%) | (9.0%) | (9.0%) | (8.3%) | (7.8%) | (8.6%) | (7.9%) | (8.2%) | (9.7%) | (10.0%) | (9.3%) |
| | 50代 | 6,006 | 4,872 | 1,515 | 850 | 327 | 1,410 | 3,347 | 2,058 | 9,535 | 471 | 30,391 |
| | | (7.6%) | (6.3%) | (7.2%) | (7.0%) | (5.3%) | (6.7%) | (7.1%) | (7.3%) | (8.6%) | (8.3%) | (7.4%) |
| | 60代 | 4,044 | 3,707 | 1,807 | 884 | 341 | 1,434 | 3,220 | 2,013 | 7,642 | 316 | 25,408 |
| | | (5.1%) | (4.8%) | (8.6%) | (7.3%) | (5.5%) | (6.8%) | (6.8%) | (7.1%) | (6.9%) | (5.6%) | (6.2%) |
| | 70代 | 2,407 | 2,226 | 909 | 475 | 185 | 841 | 1,481 | 1,038 | 3,903 | 97 | 13,562 |
| | | (3.0%) | (2.9%) | (4.3%) | (3.9%) | (3.0%) | (4.0%) | (3.1%) | (3.7%) | (3.5%) | (1.7%) | (3.3%) |
| | 80代～ | 4,663 | 4,686 | 2,195 | 952 | 526 | 2,013 | 3,223 | 2,101 | 7,425 | 124 | 27,908 |
| | | (5.9%) | (6.1%) | (10.5%) | (7.9%) | (8.5%) | (9.6%) | (6.8%) | (7.4%) | (6.7%) | (2.2%) | (6.8%) |

### ⑦過疎地域への移住者の世帯構成

○過疎地域への移住者について、世帯構成の内訳を全国の移住者と比較すると、H12 国勢調査、H22 国勢調査ともに、過疎地域への移住者の方が、「核家族以外の世帯」と「男親又は女親と子供から成る世帯」の割合が高くなっている。

○過疎地域への移住者のうち、最も多い世帯構成は、H12 国勢調査、H22 国勢調査ともに「夫婦と子供から成る世帯」であり、次いで「単独世帯」である。

○過疎地域への移住者と全国の移住者のいずれも、「夫婦と子供から成る世帯」や「核家族以外の世帯」の割合は、H12 国勢調査から H22 国勢調査にかけて減少している。一方、「男親又は女親と子供から成る世帯」と「非親族を含む世帯」の割合は拡大している。

■移住者の世帯構成

| | | | 過疎地域への移住者（A） | | 非過疎地域への移住者（B） | | 全国の移住者（A+B） | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | H12 | H22 | H12 | H22 | H12 | H22 |
| 移住者数 | | | 1,071,865 | 842,767 | 15,152,219 | 12,217,964 | 16,224,084 | 13,060,731 |
| | | | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) |
| 世帯の家族類型 | 核家族世帯 | 夫婦のみの世帯 | 132,117 | 101,663 | 2,228,768 | 1,917,012 | 2,360,885 | 2,018,675 |
| | | | (12.3%) | (12.1%) | (14.7%) | (15.7%) | (14.6%) | (15.5%) |
| | | 夫婦と子供から成る世帯 | 347,066 | 236,150 | 5,809,484 | 4,412,858 | 6,156,550 | 4,649,008 |
| | | | (32.4%) | (28.0%) | (38.3%) | (36.1%) | (37.9%) | (35.6%) |
| | | 男親又は女親と子供から成る世帯 | 66,095 | 59,479 | 793,104 | 727,809 | 859,199 | 787,288 |
| | | | (6.2%) | (7.1%) | (5.2%) | (6.0%) | (5.3%) | (6.0%) |
| | 核家族以外の世帯 | | 204,620 | 144,594 | 1,498,085 | 1,061,281 | 1,702,705 | 1,205,875 |
| | | | (19.1%) | (17.2%) | (9.9%) | (8.7%) | (10.5%) | (9.2%) |
| | 非親族を含む世帯 | | 5,296 | 12,701 | 143,483 | 265,318 | 148,779 | 278,019 |
| | | | (0.5%) | (1.5%) | (0.9%) | (2.2%) | (0.9%) | (2.1%) |
| | 単独世帯 | | 230,668 | 204,429 | 4,056,336 | 3,216,848 | 4,287,004 | 3,421,277 |
| | | | (21.5%) | (24.3%) | (26.8%) | (26.3%) | (26.4%) | (26.2%) |

## ⑧過疎地域への移住者の世帯構成【地域ブロック別】

○過疎地域への移住者について世帯構成の内訳を地域ブロック別にみると、東北及び北陸では、H12 国勢調査、H22 国勢調査ともに、「核家族以外の世帯」が最も多い。そのほかの地域ブロックでは、H12 国勢調査では「夫婦と子供から成る世帯」が最も多かったが、H22 国勢調査では、北海道、関東及び東海においては、「単独世帯」が最も多くなっている。

○いずれの地域ブロックでも、H12 国勢調査と H22 国勢調査を比べると、H22 国勢調査では「男親又は女親と子供から成る世帯」、「非親族を含む世帯」及び「単独世帯」の割合が増えている。特に、北海道と沖縄では、「単独世帯」が3割を超えている。

○四国、九州及び沖縄では、H12 国勢調査、H22 国勢調査ともに、「男親又は女親と子供から成る世帯」の割合が他の地域ブロックと比べて高い。

■ 過疎地域への移住者の世帯構成

| 地域ブロック | | | H12 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 北陸 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄 | 合計 |
| 過疎地域への移住者数 | | | 224,044 | 201,188 | 56,886 | 33,695 | 15,514 | 58,166 | 123,851 | 73,030 | 272,446 | 13,045 | 1,071,865 |
| | | | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) |
| 世帯の家族類型 | 核家族世帯 | 夫婦のみの世帯 | 34,201 | 20,008 | 6,365 | 3,764 | 1,357 | 7,367 | 13,998 | 8,727 | 35,101 | 1,229 | 132,117 |
| | | | (15.3%) | (9.9%) | (11.2%) | (11.2%) | (8.7%) | (12.7%) | (11.3%) | (11.9%) | (12.9%) | (9.4%) | (12.3%) |
| | | 夫婦と子供から成る世帯 | 73,253 | 56,348 | 16,324 | 9,331 | 3,793 | 19,534 | 37,241 | 25,868 | 100,704 | 4,670 | 347,066 |
| | | | (32.7%) | (28.0%) | (28.7%) | (27.7%) | (24.4%) | (33.6%) | (30.1%) | (35.4%) | (37.0%) | (35.8%) | (32.4%) |
| | | 男親又は女親と子供から成る世帯 | 12,085 | 11,836 | 2,820 | 1,665 | 758 | 3,362 | 6,807 | 5,356 | 20,297 | 1,109 | 66,095 |
| | | | (5.4%) | (5.9%) | (5.0%) | (4.9%) | (4.9%) | (5.8%) | (5.5%) | (7.3%) | (7.4%) | (8.5%) | (6.2%) |
| | 核家族以外の世帯 | | 18,676 | 57,232 | 13,437 | 8,376 | 5,043 | 11,898 | 27,397 | 12,751 | 48,058 | 1,752 | 204,620 |
| | | | (8.3%) | (28.4%) | (23.6%) | (24.9%) | (32.5%) | (20.5%) | (22.1%) | (17.5%) | (17.6%) | (13.4%) | (19.1%) |
| | 非親族を含む世帯 | | 1,315 | 903 | 313 | 148 | 60 | 275 | 449 | 325 | 1,288 | 220 | 5,296 |
| | | | (0.6%) | (0.4%) | (0.6%) | (0.4%) | (0.4%) | (0.5%) | (0.4%) | (0.4%) | (0.5%) | (1.7%) | (0.5%) |
| | 単独世帯 | | 65,420 | 41,268 | 12,407 | 7,137 | 2,913 | 10,647 | 25,748 | 14,472 | 46,984 | 3,672 | 230,668 |
| | | | (29.2%) | (20.5%) | (21.8%) | (21.2%) | (18.8%) | (18.3%) | (20.8%) | (19.8%) | (17.2%) | (28.1%) | (21.5%) |

※H12＜H22に網掛け

| 地域ブロック | | | H22 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 北陸 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄 | 合計 |
| 過疎地域への移住者数 | | | 172,491 | 155,982 | 43,043 | 25,089 | 12,504 | 42,336 | 98,535 | 57,398 | 223,116 | 12,273 | 842,767 |
| | | | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) |
| 世帯の家族類型 | 核家族世帯 | 夫婦のみの世帯 | 24,521 | 14,855 | 5,412 | 2,831 | 1,133 | 5,407 | 11,244 | 7,071 | 27,753 | 1,436 | 101,663 |
| | | | (14.2%) | (9.5%) | (12.6%) | (11.3%) | (9.1%) | (12.8%) | (11.4%) | (12.3%) | (12.4%) | (11.7%) | (12.1%) |
| | | 夫婦と子供から成る世帯 | 49,174 | 38,025 | 10,173 | 5,800 | 2,821 | 11,969 | 24,650 | 16,875 | 72,727 | 3,936 | 236,150 |
| | | | (28.5%) | (24.4%) | (23.6%) | (23.1%) | (22.6%) | (28.3%) | (25.0%) | (29.4%) | (32.6%) | (32.1%) | (28.0%) |
| | | 男親又は女親と子供から成る世帯 | 10,566 | 10,617 | 2,575 | 1,421 | 698 | 3,043 | 6,049 | 4,735 | 18,719 | 1,056 | 59,479 |
| | | | (6.1%) | (6.8%) | (6.0%) | (5.7%) | (5.6%) | (7.2%) | (6.1%) | (8.2%) | (8.4%) | (8.6%) | (7.1%) |
| | 核家族以外の世帯 | | 13,006 | 42,546 | 8,996 | 5,356 | 3,266 | 7,366 | 18,965 | 8,875 | 34,992 | 1,226 | 144,594 |
| | | | (7.5%) | (27.3%) | (20.9%) | (21.3%) | (26.1%) | (17.4%) | (19.2%) | (15.5%) | (15.7%) | (10.0%) | (17.2%) |
| | 非親族を含む世帯 | | 2,460 | 2,148 | 980 | 438 | 134 | 677 | 1,138 | 825 | 3,466 | 435 | 12,701 |
| | | | (1.4%) | (1.4%) | (2.3%) | (1.7%) | (1.1%) | (1.6%) | (1.2%) | (1.4%) | (1.6%) | (3.5%) | (1.5%) |
| | 単独世帯 | | 56,148 | 35,026 | 10,385 | 6,366 | 2,759 | 8,643 | 23,227 | 13,329 | 44,724 | 3,822 | 204,429 |
| | | | (32.6%) | (22.5%) | (24.1%) | (25.4%) | (22.1%) | (20.4%) | (23.6%) | (23.2%) | (20.0%) | (31.1%) | (24.3%) |

## （２）都市部から過疎地域への移住者の状況

### ①都市部から過疎地域への移住者の数等

○過疎地域への移住者（H12 国勢調査：約 107 万人、H22 国勢調査：約 84 万人）のうち、都市部からの移住者の数は、H12 国勢調査では約 38 万人（35.1%）、H22 国勢調査では約 27 万人（31.7%）であり、約 11 万人減少している（約 29.1%減）。

○一方で、全国の移住者（H12 国勢調査：1,622 万人、H22 国勢調査：1,306 万人）のうち、都市部からの移住者の数は、H12 国勢調査では約 949 万人（58.5%）、H22 国勢調査では約 745 万人（57.0%）であり、約 204 万人減少している（約 21.5%減）。

○過疎地域への移住者のうち都市部からの移住者の割合は、全国の移住者のうち都市部からの移住者の割合よりも低くなっている。

■ 都市部からの移住者の状況

| | | | 過疎地域への移住者 (A) | | 非過疎地域への移住者 (B) | | 全国の移住者 (A+B) | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | H12 | H22 | H12 | H22 | H12 | H22 |
| 移住者数 | | | 1,071,865<br>(100.0%) | 842,767<br>(100.0%) | 15,152,219<br>(100.0%) | 12,217,964<br>(100.0%) | 16,224,084<br>(100.0%) | 13,060,731<br>(100.0%) |
| うち都市部からの移住者数 | | | 376,673<br>(35.1%) | 267,188<br>(31.7%) | 9,108,379<br>(60.1%) | 7,180,907<br>(58.8%) | 9,485,052<br>(58.5%) | 7,448,095<br>(57.0%) |
| | 転入元内訳 | 三大都市圏から | 256,430<br>(23.9%) | 174,786<br>(20.7%) | 8,066,893<br>(53.2%) | 6,351,780<br>(52.0%) | 8,323,323<br>(51.3%) | 6,526,566<br>(50.0%) |
| | | 大都市から（三大都市圏内を除く） | 120,243<br>(11.2%) | 92,402<br>(11.0%) | 1,041,486<br>(6.9%) | 829,127<br>(6.8%) | 1,161,729<br>(7.2%) | 921,529<br>(7.1%) |

※「都市部」には、過疎地域市町村のうち全域過疎とみなし過疎を含まず、一部過疎市町村は全域を含む。

○都市部から過疎地域への移住者（H12 国勢調査：約 38 万人、H22 国勢調査：約 27 万人）について、転入元となった都市部の内訳をみると、三大都市圏からの転入者は、H12 国勢調査では約 26 万人（68.1%）、H22 国勢調査では約 17 万人（65.4%）となっている。

○都市部から過疎地域への移住者のうち、同一都道府県内の都市部からの移住者は、H12 国勢調査、H22 国勢調査ともに約 30%であり、他の都道府県の都市部からの移住者は約 70%を占める。
また、他の地域ブロックの都市部からの移住者は、H12 国勢調査、H22 国勢調査ともに、約半数となっている。

■ 都市部から過疎地域への移住者の状況　　※H12＜H22に網掛け

| | | | 過疎地域全体 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | H12 | | H22 | |
| 過疎地域への移住者数（A） | | | 1,071,865<br>（100.0%） | | 842,767<br>（100.0%） | |
| うち都市部から過疎地域への移住者数（B） | | | 376,673<br>（35.1%） | [100.0%] | 267,188<br>（31.7%） | [100.0%] |
| 転入元別内訳① | | 三大都市圏から | 256,430<br>（23.9%） | [68.1%] | 174,786<br>（20.7%） | [65.4%] |
| | | 首都圏から | 127,138<br>（11.9%） | [33.8%] | 87,199<br>（10.3%） | [32.6%] |
| | | 中京圏から | 39,850<br>（3.7%） | [10.6%] | 28,808<br>（3.4%） | [10.8%] |
| | | 関西圏から | 89,442<br>（8.3%） | [23.7%] | 58,779<br>（7.0%） | [22.0%] |
| | | 大都市から（三大都市圏内を除く） | 120,243<br>（11.2%） | [31.9%] | 92,402<br>（11.0%） | [34.6%] |
| 内訳② | | 同一地域ブロックの都市部から | 173,075<br>（16.1%） | [45.9%] | 129,346<br>（15.3%） | [48.4%] |
| | | 他の地域ブロックの都市部から | 203,598<br>（19.0%） | [54.1%] | 137,842<br>（16.4%） | [51.6%] |
| 内訳③ | | 同一都道府県の都市部から | 110,286<br>（10.3%） | [29.3%] | 84,485<br>（10.0%） | [31.6%] |
| | | 他の都道府県の都市部から | 266,387<br>（24.9%） | [70.7%] | 182,703<br>（21.7%） | [68.4%] |

※（ ）内はAを基数としている。〔 〕内はBを基数としている。
※「都市部」には、過疎地域市町村のうち全域過疎とみなし過疎を含まず、一部過疎市町村は全域を含む。

## ②都市部から過疎地域への移住者の数等【地域ブロック別】

○地域ブロック別に、過疎地域への移住者のうち都市部からの移住者の割合をみると、H12 国勢調査から H22 国勢調査にかけて、関東以外の全ての地域ブロックで、割合が縮小している。

○H12 国勢調査、H22 国勢調査ともに、東海、近畿及び関東では、過疎地域への移住者のうち都市部からの移住者の割合が高い。転入元の都市部の内訳をみると、H22 国勢調査では、東海へは中京圏からが 73.0%、近畿へは関西圏からが 82.3%、関東へは首都圏からが 84.6%となっており、同一地域ブロックの都市部から移住した者の割合が非常に多い。また、関東と東海では、H12 国勢調査から H22 国勢調査にかけてその傾向が強まっている。

○地域ブロック別に、都市部から過疎地域への移住者について転入元の都市部の内訳をみると、北海道、東北、東海、近畿、九州及び沖縄では、H12 国勢調査と H22 国勢調査を比べると、三大都市圏以外の大都市からの移住者の割合が拡大している。

■ 都市部から過疎地域への移住者の状況

| 地域ブロック | | | H12 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 北陸 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄 | 合計 |
| 過疎地域への移住者数（A） | | | 224,044<br>(100.0%) | 201,188<br>(100.0%) | 56,886<br>(100.0%) | 33,695<br>(100.0%) | 15,514<br>(100.0%) | 58,166<br>(100.0%) | 123,851<br>(100.0%) | 73,030<br>(100.0%) | 272,446<br>(100.0%) | 13,045<br>(100.0%) | 1,071,865<br>(100.0%) |
| うち都市部から過疎地域への移住者数（B） | | | 70,059<br>(31.3%) | 65,859<br>(32.7%) | 25,008<br>(44.0%) | 24,279<br>(72.1%) | 4,160<br>(26.8%) | 35,818<br>(61.6%) | 46,272<br>(37.4%) | 18,331<br>(25.1%) | 82,909<br>(30.4%) | 3,978<br>(30.5%) | 376,673<br>(35.1%) |
| 転入元別内訳① | 三大都市圏から | | 27,003<br>[38.5%] | 47,877<br>[72.7%] | 23,976<br>[95.9%] | 23,200<br>[95.6%] | 3,824<br>[91.9%] | 34,971<br>[97.6%] | 24,869<br>[53.7%] | 16,019<br>[87.4%] | 51,056<br>[61.6%] | 3,635<br>[91.4%] | 256,430<br>[68.1%] |
| | | 首都圏から | 20,118<br>[28.7%] | 43,669<br>[66.3%] | 20,408<br>[81.6%] | 3,286<br>[13.5%] | 1,579<br>[38.0%] | 2,524<br>[7.0%] | 7,191<br>[15.5%] | 4,234<br>[23.1%] | 21,799<br>[26.3%] | 2,330<br>[58.6%] | 127,138<br>[33.8%] |
| | | 中京圏から | 2,551<br>[3.6%] | 2,075<br>[3.2%] | 2,036<br>[8.1%] | 17,563<br>[72.3%] | 890<br>[21.4%] | 2,325<br>[6.5%] | 2,184<br>[4.7%] | 1,482<br>[8.1%] | 8,244<br>[9.9%] | 500<br>[12.6%] | 39,850<br>[10.6%] |
| | | 関西圏から | 4,334<br>[6.2%] | 2,133<br>[3.2%] | 1,532<br>[6.1%] | 2,351<br>[9.7%] | 1,355<br>[32.6%] | 30,122<br>[84.1%] | 15,494<br>[33.5%] | 10,303<br>[56.2%] | 21,013<br>[25.3%] | 805<br>[20.2%] | 89,442<br>[23.7%] |
| | 大都市から（三大都市圏内を除く） | | 43,056<br>[61.5%] | 17,982<br>[27.3%] | 1,032<br>[4.1%] | 1,079<br>[4.4%] | 336<br>[8.1%] | 847<br>[2.4%] | 21,403<br>[46.3%] | 2,312<br>[12.6%] | 31,853<br>[38.4%] | 343<br>[8.6%] | 120,243<br>[31.9%] |
| 内訳② | 同一地域ブロックの都市部から | | 40,551<br>[57.9%] | 15,906<br>[24.2%] | 20,408<br>[81.6%] | 18,322<br>[75.5%] | －<br>－ | 30,122<br>[84.1%] | 18,494<br>[40.0%] | －<br>－ | 29,272<br>[35.3%] | －<br>－ | 173,075<br>[45.9%] |
| | 他の地域ブロックの都市部から | | 29,508<br>[42.1%] | 49,953<br>[75.8%] | 4,600<br>[18.4%] | 5,957<br>[24.5%] | 4,160<br>[100.0%] | 5,696<br>[15.9%] | 27,778<br>[60.0%] | 18,331<br>[100.0%] | 53,637<br>[64.7%] | 3,978<br>[100.0%] | 203,598<br>[54.1%] |
| 内訳③ | 同一都道府県の都市部から | | 40,551<br>[57.9%] | 8,156<br>[12.4%] | 6,776<br>[27.1%] | 12,939<br>[53.3%] | －<br>－ | 15,028<br>[42.0%] | 12,783<br>[27.6%] | －<br>－ | 14,053<br>[16.9%] | －<br>－ | 110,286<br>[29.3%] |
| | 他の都道府県の都市部から | | 29,508<br>[42.1%] | 57,703<br>[87.6%] | 18,232<br>[72.9%] | 11,340<br>[46.7%] | 4,160<br>[100.0%] | 20,790<br>[58.0%] | 33,489<br>[72.4%] | 18,331<br>[100.0%] | 68,856<br>[83.1%] | 3,978<br>[100.0%] | 266,387<br>[70.7%] |

※H12＜H22に網掛け

| 地域ブロック | | | H22 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 北陸 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄 | 合計 |
| 過疎地域への移住者数（A） | | | 172,491<br>(100.0%) | 155,982<br>(100.0%) | 43,043<br>(100.0%) | 25,089<br>(100.0%) | 12,504<br>(100.0%) | 42,336<br>(100.0%) | 98,535<br>(100.0%) | 57,398<br>(100.0%) | 223,116<br>(100.0%) | 12,273<br>(100.0%) | 842,767<br>(100.0%) |
| うち都市部から過疎地域への移住者数（B） | | | 50,897<br>(29.5%) | 42,721<br>(27.4%) | 19,045<br>(44.2%) | 16,864<br>(67.2%) | 2,981<br>(23.8%) | 24,134<br>(57.0%) | 34,486<br>(35.0%) | 12,255<br>(21.4%) | 60,128<br>(26.9%) | 3,677<br>(30.0%) | 267,188<br>(31.7%) |
| 転入元別内訳① | 三大都市圏から | | 17,799<br>[35.0%] | 29,210<br>[68.4%] | 18,342<br>[96.3%] | 16,101<br>[95.5%] | 2,770<br>[92.9%] | 23,490<br>[97.3%] | 18,933<br>[54.9%] | 10,753<br>[87.7%] | 34,134<br>[56.8%] | 3,254<br>[88.5%] | 174,786<br>[65.4%] |
| | | 首都圏から | 12,920<br>[25.4%] | 25,971<br>[60.8%] | 16,117<br>[84.6%] | 2,232<br>[13.2%] | 1,189<br>[39.9%] | 1,790<br>[7.4%] | 6,304<br>[18.3%] | 3,167<br>[25.8%] | 15,564<br>[25.9%] | 1,945<br>[52.9%] | 87,199<br>[32.6%] |
| | | 中京圏から | 2,067<br>[4.1%] | 1,605<br>[3.8%] | 1,353<br>[7.1%] | 12,316<br>[73.0%] | 633<br>[21.2%] | 1,837<br>[7.6%] | 1,596<br>[4.6%] | 1,065<br>[8.7%] | 5,831<br>[9.7%] | 505<br>[13.7%] | 28,808<br>[10.8%] |
| | | 関西圏から | 2,812<br>[5.5%] | 1,634<br>[3.8%] | 872<br>[4.6%] | 1,553<br>[9.2%] | 948<br>[31.8%] | 19,863<br>[82.3%] | 11,033<br>[32.0%] | 6,521<br>[53.2%] | 12,739<br>[21.2%] | 804<br>[21.9%] | 58,779<br>[22.0%] |
| | 大都市から（三大都市圏内を除く） | | 33,098<br>[65.0%] | 13,511<br>[31.6%] | 703<br>[3.7%] | 763<br>[4.5%] | 211<br>[7.1%] | 644<br>[2.7%] | 15,553<br>[45.1%] | 1,502<br>[12.3%] | 25,994<br>[43.2%] | 423<br>[11.5%] | 92,402<br>[34.6%] |
| 内訳② | 同一地域ブロックの都市部から | | 31,322<br>[61.5%] | 11,884<br>[27.8%] | 16,117<br>[84.6%] | 12,826<br>[76.1%] | －<br>－ | 19,863<br>[82.3%] | 13,382<br>[38.8%] | －<br>－ | 23,952<br>[39.8%] | －<br>－ | 129,346<br>[48.4%] |
| | 他の地域ブロックの都市部から | | 19,575<br>[38.5%] | 30,837<br>[72.2%] | 2,928<br>[15.4%] | 4,038<br>[23.9%] | 2,981<br>[100.0%] | 4,271<br>[17.7%] | 21,104<br>[61.2%] | 12,255<br>[100.0%] | 36,176<br>[60.2%] | 3,677<br>[100.0%] | 137,842<br>[51.6%] |
| 内訳③ | 同一都道府県の都市部から | | 31,322<br>[61.5%] | 6,070<br>[14.2%] | 6,020<br>[31.6%] | 9,413<br>[55.8%] | －<br>－ | 10,331<br>[42.8%] | 9,697<br>[28.1%] | －<br>－ | 11,632<br>[19.3%] | －<br>－ | 84,485<br>[31.6%] |
| | 他の都道府県の都市部から | | 19,575<br>[38.5%] | 36,651<br>[85.8%] | 13,025<br>[68.4%] | 7,451<br>[44.2%] | 2,981<br>[100.0%] | 13,803<br>[57.2%] | 24,789<br>[71.9%] | 12,255<br>[100.0%] | 48,496<br>[80.7%] | 3,677<br>[100.0%] | 182,703<br>[68.4%] |

※( )内はAを基数としている。〔 〕内はBを基数としている。

※「都市部」には、過疎地域市町村のうち全域過疎とみなし過疎を含まず、一部過疎市町村は全域を含む。

### ③都市部から過疎地域への移住者の属性（性別・年代別）

○都市部から過疎地域への移住者について男女比をみると、男性の割合が高い傾向にある。これは、全国の都市部からの移住者についても同様である。また、H12 国勢調査とH22 国勢調査を比べると、H22 国勢調査では男性の割合がやや拡大している。

○都市部から過疎地域への移住者の年代別内訳をみると、30 代以上の各年代の割合は、H22 国勢調査の方が H12 国勢調査よりも高くなっている。

○また、都市部から過疎地域への移住者では、H12 年国勢調査、H22 国勢調査ともに、20 代が最も多く、次に多いのは 30 代であるが、H12 国勢調査から H22 国勢調査にかけて、20 代と 30 代の割合の差は縮小している（H12 国勢調査 9.5 ポイント、H22 国勢調査 1.9 ポイント）。

■ 都市部からの移住者の属性　　※H12＜H22に網掛け

| | | 過疎地域への移住者 (A) | | 非過疎地域への移住者 (B) | | 全国の移住者 (A+B) | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | H12 | H22 | H12 | H22 | H12 | H22 |
| 都市部からの移住者数 | | 376,673<br>(100.0%) | 267,188<br>(100.0%) | 9,108,379<br>(100.0%) | 7,180,907<br>(100.0%) | 9,485,052<br>(100.0%) | 7,448,095<br>(100.0%) |
| 性別 | 男性 | 206,463<br>(54.8%) | 148,301<br>(55.5%) | 4,837,557<br>(53.1%) | 3,768,472<br>(52.5%) | 5,044,020<br>(53.2%) | 3,916,773<br>(52.6%) |
| | 女性 | 170,210<br>(45.2%) | 118,887<br>(44.5%) | 4,270,822<br>(46.9%) | 3,412,435<br>(47.5%) | 4,441,032<br>(46.8%) | 3,531,322<br>(47.4%) |
| 年代別 | 5～9歳 | 24,944<br>(6.6%) | 14,088<br>(5.3%) | 598,421<br>(6.6%) | 454,794<br>(6.3%) | 623,365<br>(6.6%) | 468,882<br>(6.3%) |
| | 10代 | 29,874<br>(7.9%) | 17,524<br>(6.6%) | 734,707<br>(8.1%) | 461,377<br>(6.4%) | 764,581<br>(8.1%) | 478,901<br>(6.4%) |
| | 20代 | 118,727<br>(31.5%) | 66,877<br>(25.0%) | 2,836,524<br>(31.1%) | 1,718,399<br>(23.9%) | 2,955,251<br>(31.2%) | 1,785,276<br>(24.0%) |
| | 30代 | 82,828<br>(22.0%) | 61,814<br>(23.1%) | 2,562,163<br>(28.1%) | 2,307,525<br>(32.1%) | 2,644,991<br>(27.9%) | 2,369,339<br>(31.8%) |
| | 40代 | 41,124<br>(10.9%) | 30,464<br>(11.4%) | 970,450<br>(10.7%) | 962,703<br>(13.4%) | 1,011,574<br>(10.7%) | 993,167<br>(13.3%) |
| | 50代 | 36,206<br>(9.6%) | 28,258<br>(10.6%) | 724,920<br>(8.0%) | 494,629<br>(6.9%) | 761,126<br>(8.0%) | 522,887<br>(7.0%) |
| | 60代 | 27,992<br>(7.4%) | 31,861<br>(11.9%) | 371,566<br>(4.1%) | 404,222<br>(5.6%) | 399,558<br>(4.2%) | 436,083<br>(5.9%) |
| | 70代 | 9,652<br>(2.6%) | 9,493<br>(3.6%) | 182,347<br>(2.0%) | 194,077<br>(2.7%) | 191,999<br>(2.0%) | 203,570<br>(2.7%) |
| | 80代～ | 5,326<br>(1.4%) | 6,806<br>(2.5%) | 127,281<br>(1.4%) | 182,934<br>(2.5%) | 132,607<br>(1.4%) | 189,740<br>(2.5%) |

※「都市部」には、過疎地域市町村のうち全域過疎とみなし過疎を含まず、一部過疎市町村は全域を含む。

○都市部から過疎地域への移住者について男女別に年代の内訳をみると、男女ともに H22 国勢調査における 30 代以上の各年代の割合は、H12 国勢調査と比べて高くなっている。特に、60 代の割合は、男性 5.2 ポイント増、女性 3.6 ポイント増となっており、全国の都市部からの移住者（男性 2.0 ポイント増、女性 1.2 ポイント増）と比べても大きく増えており、また、移住者の数も増えている。

○また、都市部から過疎地域への移住者では、男女ともに 12 年国勢調査と H22 国勢調査では 20 代が最も多く、次に多いのは 30 代であるが、H12 国勢調査から H22 国勢調査にかけて、特に女性では 20 代と 30 代の割合の差が縮小している（H12 国勢調査：10.1 ポイント、H22 国勢調査：1.1 ポイント）。

■ 都市部からの移住者の属性　　※H12＜H22に網掛け

| | | 過疎地域への移住者 (A) | | 非過疎地域への移住者 (B) | | 全国の移住者 (A+B) | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | H12 | H22 | H12 | H22 | H12 | H22 |
| 男性・年代別 | 都市部からの移住者数：男性 | 206,463 (100.0%) | 148,301 (100.0%) | 4,837,557 (100.0%) | 3,768,472 (100.0%) | 5,044,020 (100.0%) | 3,916,773 (100.0%) |
| | 5～9歳 | 12,794 (6.2%) | 7,134 (4.8%) | 305,720 (6.3%) | 233,075 (6.2%) | 318,514 (6.3%) | 240,209 (6.1%) |
| | 10代 | 16,908 (8.2%) | 10,706 (7.2%) | 385,740 (8.0%) | 244,588 (6.5%) | 402,648 (8.0%) | 255,294 (6.5%) |
| | 20代 | 62,786 (30.4%) | 35,530 (24.0%) | 1,489,613 (30.8%) | 896,711 (23.8%) | 1,552,399 (30.8%) | 932,241 (23.8%) |
| | 30代 | 44,077 (21.3%) | 31,716 (21.4%) | 1,364,013 (28.2%) | 1,175,655 (31.2%) | 1,408,090 (27.9%) | 1,207,371 (30.8%) |
| | 40代 | 26,877 (13.0%) | 19,657 (13.3%) | 582,919 (12.0%) | 569,122 (15.1%) | 609,796 (12.1%) | 588,779 (15.0%) |
| | 50代 | 21,372 (10.4%) | 17,650 (11.9%) | 415,125 (8.6%) | 296,131 (7.9%) | 436,497 (8.7%) | 313,781 (8.0%) |
| | 60代 | 16,097 (7.8%) | 19,248 (13.0%) | 191,998 (4.0%) | 221,212 (5.9%) | 208,095 (4.1%) | 240,460 (6.1%) |
| | 70代 | 4,276 (2.1%) | 4,939 (3.3%) | 71,850 (1.5%) | 85,117 (2.3%) | 76,126 (1.5%) | 90,056 (2.3%) |
| | 80代～ | 1,276 (0.6%) | 1,718 (1.2%) | 30,579 (0.6%) | 46,688 (1.2%) | 31,855 (0.6%) | 48,406 (1.2%) |
| 女性・年代別 | 都市部からの移住者数：女性 | 170,210 (100.0%) | 118,887 (100.0%) | 4,270,822 (100.0%) | 3,412,435 (100.0%) | 4,441,032 (100.0%) | 3,531,322 (100.0%) |
| | 5～9歳 | 12,150 (7.1%) | 6,954 (5.8%) | 292,701 (6.9%) | 221,719 (6.5%) | 304,851 (6.9%) | 228,673 (6.5%) |
| | 10代 | 12,966 (7.6%) | 6,818 (5.7%) | 348,967 (8.2%) | 216,789 (6.4%) | 361,933 (8.1%) | 223,607 (6.3%) |
| | 20代 | 55,941 (32.9%) | 31,347 (26.4%) | 1,346,911 (31.5%) | 821,688 (24.1%) | 1,402,852 (31.6%) | 853,035 (24.2%) |
| | 30代 | 38,751 (22.8%) | 30,098 (25.3%) | 1,198,150 (28.1%) | 1,131,870 (33.2%) | 1,236,901 (27.9%) | 1,161,968 (32.9%) |
| | 40代 | 14,247 (8.4%) | 10,807 (9.1%) | 387,531 (9.1%) | 393,581 (11.5%) | 401,778 (9.0%) | 404,388 (11.5%) |
| | 50代 | 14,834 (8.7%) | 10,608 (8.9%) | 309,795 (7.3%) | 198,498 (5.8%) | 324,629 (7.3%) | 209,106 (5.9%) |
| | 60代 | 11,895 (7.0%) | 12,613 (10.6%) | 179,568 (4.2%) | 183,010 (5.4%) | 191,463 (4.3%) | 195,623 (5.5%) |
| | 70代 | 5,376 (3.2%) | 4,554 (3.8%) | 110,497 (2.6%) | 108,960 (3.2%) | 115,873 (2.6%) | 113,514 (3.2%) |
| | 80代～ | 4,050 (2.4%) | 5,088 (4.3%) | 96,702 (2.3%) | 136,246 (4.0%) | 100,752 (2.3%) | 141,334 (4.0%) |

※「都市部」には、過疎地域市町村のうち全域過疎とみなし過疎を含まず、一部過疎市町村は全域を含む。

### ④都市部から過疎地域への移住者の属性（性別）【地域ブロック別】

○都市部から過疎地域への移住者について、男女別内訳を地域ブロック別でみると、H12 国勢調査、H22 国勢調査ともに、いずれの地域ブロックでも男性の方が多い。

○都市部から過疎地域への移住者について、H12 国勢調査と H22 国勢調査を比べると、多くの地域ブロックで男性の割合が拡大するなか、北陸、四国及び沖縄では、女性の割合がやや増えている。

■ 都市部から過疎地域への移住者の属性

| 地域ブロック | | H12 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 北陸 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄 | 合計 |
| 都市部から過疎地域への移住者数 | | 70,059 | 65,859 | 25,008 | 24,279 | 4,160 | 35,818 | 46,272 | 18,331 | 82,909 | 3,978 | 376,673 |
| | | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) |
| 性別 | 男性 | 40,767 | 36,589 | 13,581 | 12,765 | 2,419 | 18,438 | 25,120 | 10,299 | 44,382 | 2,103 | 206,463 |
| | | (58.2%) | (55.6%) | (54.3%) | (52.6%) | (58.1%) | (51.5%) | (54.3%) | (56.2%) | (53.5%) | (52.9%) | (54.8%) |
| | 女性 | 29,292 | 29,270 | 11,427 | 11,514 | 1,741 | 17,380 | 21,152 | 8,032 | 38,527 | 1,875 | 170,210 |
| | | (41.8%) | (44.4%) | (45.7%) | (47.4%) | (41.9%) | (48.5%) | (45.7%) | (43.8%) | (46.5%) | (47.1%) | (45.2%) |

※H12＜H22に網掛け

| 地域ブロック | | H22 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 北陸 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄 | 合計 |
| 都市部から過疎地域への移住者数 | | 50,897 | 42,721 | 19,045 | 16,864 | 2,981 | 24,134 | 34,486 | 12,255 | 60,128 | 3,677 | 267,188 |
| | | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) |
| 性別 | 男性 | 29,829 | 24,138 | 10,364 | 9,028 | 1,715 | 12,565 | 19,251 | 6,766 | 32,776 | 1,869 | 148,301 |
| | | (58.6%) | (56.5%) | (54.4%) | (53.5%) | (57.5%) | (52.1%) | (55.8%) | (55.2%) | (54.5%) | (50.8%) | (55.5%) |
| | 女性 | 21,068 | 18,583 | 8,681 | 7,836 | 1,266 | 11,569 | 15,235 | 5,489 | 27,352 | 1,808 | 118,887 |
| | | (41.4%) | (43.5%) | (45.6%) | (46.5%) | (42.5%) | (47.9%) | (44.2%) | (44.8%) | (45.5%) | (49.2%) | (44.5%) |

※「都市部」には、過疎地域市町村のうち全域過疎とみなし過疎を含まず、一部過疎市町村は全域を含む。

## ⑤都市部から過疎地域への移住者の属性（年代別）【地域ブロック別】

○都市部から過疎地域への移住者について年代別内訳を地域ブロック別でみると、H12 国勢調査では全ての地域ブロックで 20 代の割合が最も高かったが、H22 国勢調査では、東海で 30 代の割合が最も高くなっている。また、その他の地域ブロックでも 20 代と 30 代の割合の差が縮小している。

○H12 国勢調査と H22 国勢調査を比べると、60 代以上の各年代の割合は、全ての地域ブロックにおいて拡大している。

■ 都市部から過疎地域への移住者の属性

| 地域ブロック | | H12 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 北陸 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄 | 合計 |
| 都市部から過疎地域への移住者数 | | 70,059 | 65,859 | 25,008 | 24,279 | 4,160 | 35,818 | 46,272 | 18,331 | 82,909 | 3,978 | 376,673 |
| | | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) |
| 年代別 | 5～9歳 | 4,241 | 4,560 | 1,517 | 1,683 | 214 | 2,622 | 2,804 | 1,089 | 5,832 | 382 | 24,944 |
| | | (6.1%) | (6.9%) | (6.1%) | (6.9%) | (5.1%) | (7.3%) | (6.1%) | (5.9%) | (7.0%) | (9.6%) | (6.6%) |
| | 10代 | 6,109 | 3,940 | 2,282 | 2,126 | 250 | 3,167 | 4,212 | 1,397 | 6,038 | 353 | 29,874 |
| | | (8.7%) | (6.0%) | (9.1%) | (8.8%) | (6.0%) | (8.8%) | (9.1%) | (7.6%) | (7.3%) | (8.9%) | (7.9%) |
| | 20代 | 23,191 | 22,252 | 7,287 | 7,791 | 1,565 | 10,749 | 15,297 | 5,983 | 23,325 | 1,287 | 118,727 |
| | | (33.1%) | (33.8%) | (29.1%) | (32.1%) | (37.6%) | (30.0%) | (33.1%) | (32.6%) | (28.1%) | (32.4%) | (31.5%) |
| | 30代 | 16,693 | 15,475 | 5,038 | 5,566 | 880 | 8,030 | 9,137 | 3,410 | 17,494 | 1,105 | 82,828 |
| | | (23.8%) | (23.5%) | (20.1%) | (22.9%) | (21.2%) | (22.4%) | (19.7%) | (18.6%) | (21.1%) | (27.8%) | (22.0%) |
| | 40代 | 8,521 | 7,270 | 2,621 | 2,384 | 408 | 3,508 | 4,618 | 1,767 | 9,555 | 472 | 41,124 |
| | | (12.2%) | (11.0%) | (10.5%) | (9.8%) | (9.8%) | (9.8%) | (10.0%) | (9.6%) | (11.5%) | (11.9%) | (10.9%) |
| | 50代 | 6,612 | 5,744 | 2,529 | 2,187 | 434 | 3,153 | 4,703 | 1,873 | 8,734 | 237 | 36,206 |
| | | (9.4%) | (8.7%) | (10.1%) | (9.0%) | (10.4%) | (8.8%) | (10.2%) | (10.2%) | (10.5%) | (6.0%) | (9.6%) |
| | 60代 | 2,972 | 4,701 | 2,064 | 1,409 | 273 | 2,483 | 3,667 | 1,949 | 8,372 | 102 | 27,992 |
| | | (4.2%) | (7.1%) | (8.3%) | (5.8%) | (6.6%) | (6.9%) | (7.9%) | (10.6%) | (10.1%) | (2.6%) | (7.4%) |
| | 70代 | 1,082 | 1,404 | 839 | 649 | 97 | 1,172 | 1,149 | 646 | 2,585 | 29 | 9,652 |
| | | (1.5%) | (2.1%) | (3.4%) | (2.7%) | (2.3%) | (3.3%) | (2.5%) | (3.5%) | (3.1%) | (0.7%) | (2.6%) |
| | 80代～ | 638 | 513 | 831 | 484 | 39 | 934 | 685 | 217 | 974 | 11 | 5,326 |
| | | (0.9%) | (0.8%) | (3.3%) | (2.0%) | (0.9%) | (2.6%) | (1.5%) | (1.2%) | (1.2%) | (0.3%) | (1.4%) |

※H12＜H22に網掛け

| 地域ブロック | | H22 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 北陸 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄 | 合計 |
| 都市部から過疎地域への移住者数 | | 50,897 | 42,721 | 19,045 | 16,864 | 2,981 | 24,134 | 34,486 | 12,255 | 60,128 | 3,677 | 267,188 |
| | | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) |
| 年代別 | 5～9歳 | 2,625 | 2,126 | 932 | 1,014 | 132 | 1,402 | 1,716 | 534 | 3,418 | 189 | 14,088 |
| | | (5.2%) | (5.0%) | (4.9%) | (6.0%) | (4.4%) | (5.8%) | (5.0%) | (4.4%) | (5.7%) | (5.1%) | (5.3%) |
| | 10代 | 3,639 | 1,862 | 1,458 | 1,282 | 336 | 2,108 | 2,369 | 961 | 3,357 | 152 | 17,524 |
| | | (7.1%) | (4.4%) | (7.7%) | (7.6%) | (11.3%) | (8.7%) | (6.9%) | (7.8%) | (5.6%) | (4.1%) | (6.6%) |
| | 20代 | 13,033 | 12,714 | 4,121 | 3,836 | 909 | 5,889 | 8,694 | 3,014 | 13,667 | 1,000 | 66,877 |
| | | (25.6%) | (29.8%) | (21.6%) | (22.7%) | (30.5%) | (24.4%) | (25.2%) | (24.6%) | (22.7%) | (27.2%) | (25.0%) |
| | 30代 | 12,913 | 10,144 | 3,933 | 4,166 | 621 | 5,566 | 7,871 | 2,352 | 13,258 | 990 | 61,814 |
| | | (25.4%) | (23.7%) | (20.7%) | (24.7%) | (20.8%) | (23.1%) | (22.8%) | (19.2%) | (22.0%) | (26.9%) | (23.1%) |
| | 40代 | 7,299 | 4,849 | 1,920 | 1,868 | 272 | 2,470 | 3,583 | 1,096 | 6,611 | 496 | 30,464 |
| | | (14.3%) | (11.4%) | (10.1%) | (11.1%) | (9.1%) | (10.2%) | (10.4%) | (8.9%) | (11.0%) | (13.5%) | (11.4%) |
| | 50代 | 5,852 | 4,307 | 1,856 | 1,650 | 248 | 2,088 | 3,541 | 1,316 | 7,010 | 390 | 28,258 |
| | | (11.5%) | (10.1%) | (9.7%) | (9.8%) | (8.3%) | (8.7%) | (10.3%) | (10.7%) | (11.7%) | (10.6%) | (10.6%) |
| | 60代 | 3,700 | 4,837 | 2,833 | 1,662 | 328 | 2,480 | 4,604 | 2,169 | 8,901 | 347 | 31,861 |
| | | (7.3%) | (11.3%) | (14.9%) | (9.9%) | (11.0%) | (10.3%) | (13.4%) | (17.7%) | (14.8%) | (9.4%) | (11.9%) |
| | 70代 | 1,069 | 1,324 | 979 | 655 | 90 | 953 | 1,162 | 586 | 2,598 | 77 | 9,493 |
| | | (2.1%) | (3.1%) | (5.1%) | (3.9%) | (3.0%) | (3.9%) | (3.4%) | (4.8%) | (4.3%) | (2.1%) | (3.6%) |
| | 80代～ | 767 | 557 | 1,012 | 730 | 45 | 1,178 | 946 | 227 | 1,308 | 36 | 6,806 |
| | | (1.5%) | (1.3%) | (5.3%) | (4.3%) | (1.5%) | (4.9%) | (2.7%) | (1.9%) | (2.2%) | (1.0%) | (2.5%) |

※「都市部」には、過疎地域市町村のうち全域過疎とみなし過疎を含まず、一部過疎市町村は全域を含む。

## ⑥都市部から過疎地域への移住者の属性（性別・年代別）【地域ブロック別】

○都市部から過疎地域への移住者のうち男性の年代別内訳を地域ブロック別でみると、H22 国勢調査では、60 代以上の各年代の割合が、H12 国勢調査と比べて全ての地域ブロックで拡大している。

■ 都市部から過疎地域への移住者の属性

| 地域ブロック | | H12 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 北陸 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄 | 合計 |
| 男性・年代別 | 都市部から過疎地域への移住者数 ： 男性 | 40,767<br>(100.0%) | 36,589<br>(100.0%) | 13,581<br>(100.0%) | 12,765<br>(100.0%) | 2,419<br>(100.0%) | 18,438<br>(100.0%) | 25,120<br>(100.0%) | 10,299<br>(100.0%) | 44,382<br>(100.0%) | 2,103<br>(100.0%) | 206,463<br>(100.0%) |
| | 5～9歳 | 2,117<br>(5.2%) | 2,323<br>(6.3%) | 781<br>(5.8%) | 837<br>(6.6%) | 118<br>(4.9%) | 1,333<br>(7.2%) | 1,429<br>(5.7%) | 601<br>(5.8%) | 3,080<br>(6.9%) | 175<br>(8.3%) | 12,794<br>(6.2%) |
| | 10代 | 3,737<br>(9.2%) | 2,035<br>(5.6%) | 1,401<br>(10.3%) | 1,197<br>(9.4%) | 141<br>(5.8%) | 1,954<br>(10.6%) | 2,368<br>(9.4%) | 831<br>(8.1%) | 3,056<br>(6.9%) | 188<br>(8.9%) | 16,908<br>(8.2%) |
| | 20代 | 13,416<br>(32.9%) | 11,683<br>(31.9%) | 3,919<br>(28.9%) | 3,736<br>(29.3%) | 870<br>(36.0%) | 5,150<br>(27.9%) | 7,997<br>(31.8%) | 3,342<br>(32.4%) | 12,088<br>(27.2%) | 585<br>(27.8%) | 62,786<br>(30.4%) |
| | 30代 | 9,100<br>(22.3%) | 8,409<br>(23.0%) | 2,581<br>(19.0%) | 2,882<br>(22.6%) | 512<br>(21.2%) | 3,961<br>(21.5%) | 4,925<br>(19.6%) | 1,871<br>(18.2%) | 9,260<br>(20.9%) | 576<br>(27.4%) | 44,077<br>(21.3%) |
| | 40代 | 5,832<br>(14.3%) | 4,878<br>(13.3%) | 1,645<br>(12.1%) | 1,562<br>(12.2%) | 275<br>(11.4%) | 2,200<br>(11.9%) | 2,963<br>(11.8%) | 1,149<br>(11.2%) | 6,044<br>(13.6%) | 329<br>(15.6%) | 26,877<br>(13.0%) |
| | 50代 | 4,302<br>(10.6%) | 3,661<br>(10.0%) | 1,482<br>(10.9%) | 1,373<br>(10.8%) | 281<br>(11.6%) | 1,742<br>(9.4%) | 2,626<br>(10.5%) | 1,012<br>(9.8%) | 4,730<br>(10.7%) | 163<br>(7.8%) | 21,372<br>(10.4%) |
| | 60代 | 1,690<br>(4.1%) | 2,807<br>(7.7%) | 1,202<br>(8.9%) | 796<br>(6.2%) | 170<br>(7.0%) | 1,385<br>(7.5%) | 2,122<br>(8.4%) | 1,137<br>(11.0%) | 4,716<br>(10.6%) | 72<br>(3.4%) | 16,097<br>(7.8%) |
| | 70代 | 433<br>(1.1%) | 662<br>(1.8%) | 373<br>(2.7%) | 262<br>(2.1%) | 41<br>(1.7%) | 505<br>(2.7%) | 515<br>(2.1%) | 298<br>(2.9%) | 1,175<br>(2.6%) | 12<br>(0.6%) | 4,276<br>(2.1%) |
| | 80代～ | 140<br>(0.3%) | 131<br>(0.4%) | 197<br>(1.5%) | 120<br>(0.9%) | 11<br>(0.5%) | 208<br>(1.1%) | 175<br>(0.7%) | 58<br>(0.6%) | 233<br>(0.5%) | 3<br>(0.1%) | 1,276<br>(0.6%) |

※H12＜H22に網掛け

| 地域ブロック | | H22 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 北陸 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄 | 合計 |
| 男性・年代別 | 都市部から過疎地域への移住者数 ： 男性 | 29,829<br>(100.0%) | 24,138<br>(100.0%) | 10,364<br>(100.0%) | 9,028<br>(100.0%) | 1,715<br>(100.0%) | 12,565<br>(100.0%) | 19,251<br>(100.0%) | 6,766<br>(100.0%) | 32,776<br>(100.0%) | 1,869<br>(100.0%) | 148,301<br>(100.0%) |
| | 5～9歳 | 1,282<br>(4.3%) | 1,085<br>(4.5%) | 470<br>(4.5%) | 495<br>(5.5%) | 60<br>(3.5%) | 722<br>(5.7%) | 892<br>(4.6%) | 272<br>(4.0%) | 1,757<br>(5.4%) | 99<br>(5.3%) | 7,134<br>(4.8%) |
| | 10代 | 2,309<br>(7.7%) | 1,072<br>(4.4%) | 919<br>(8.9%) | 786<br>(8.7%) | 268<br>(15.6%) | 1,345<br>(10.7%) | 1,429<br>(7.4%) | 646<br>(9.5%) | 1,839<br>(5.6%) | 93<br>(5.0%) | 10,706<br>(7.2%) |
| | 20代 | 7,457<br>(25.0%) | 6,765<br>(28.0%) | 2,302<br>(22.2%) | 1,843<br>(20.4%) | 485<br>(28.3%) | 2,939<br>(23.4%) | 4,633<br>(24.1%) | 1,571<br>(23.2%) | 7,119<br>(21.7%) | 416<br>(22.3%) | 35,530<br>(24.0%) |
| | 30代 | 6,817<br>(22.9%) | 5,269<br>(21.8%) | 1,972<br>(19.0%) | 2,085<br>(23.1%) | 321<br>(18.7%) | 2,681<br>(21.3%) | 4,179<br>(21.7%) | 1,196<br>(17.7%) | 6,761<br>(20.6%) | 435<br>(23.3%) | 31,716<br>(21.4%) |
| | 40代 | 4,900<br>(16.4%) | 3,235<br>(13.4%) | 1,185<br>(11.4%) | 1,224<br>(13.6%) | 170<br>(9.9%) | 1,460<br>(11.6%) | 2,335<br>(12.1%) | 682<br>(10.1%) | 4,160<br>(12.7%) | 306<br>(16.4%) | 19,657<br>(13.3%) |
| | 50代 | 4,114<br>(13.8%) | 2,844<br>(11.8%) | 1,129<br>(10.9%) | 1,058<br>(11.7%) | 145<br>(8.5%) | 1,184<br>(9.4%) | 2,136<br>(11.1%) | 741<br>(11.0%) | 4,068<br>(12.4%) | 231<br>(12.4%) | 17,650<br>(11.9%) |
| | 60代 | 2,238<br>(7.5%) | 3,017<br>(12.5%) | 1,650<br>(15.9%) | 1,004<br>(11.1%) | 204<br>(11.9%) | 1,494<br>(11.9%) | 2,780<br>(14.4%) | 1,297<br>(19.2%) | 5,334<br>(16.3%) | 230<br>(12.3%) | 19,248<br>(13.0%) |
| | 70代 | 523<br>(1.8%) | 713<br>(3.0%) | 513<br>(4.9%) | 330<br>(3.7%) | 50<br>(2.9%) | 477<br>(3.8%) | 608<br>(3.2%) | 294<br>(4.3%) | 1,385<br>(4.2%) | 46<br>(2.5%) | 4,939<br>(3.3%) |
| | 80代～ | 189<br>(0.6%) | 137<br>(0.6%) | 223<br>(2.2%) | 202<br>(2.2%) | 12<br>(0.7%) | 263<br>(2.1%) | 259<br>(1.3%) | 67<br>(1.0%) | 353<br>(1.1%) | 13<br>(0.7%) | 1,718<br>(1.2%) |

※「都市部」には、過疎地域市町村のうち全域過疎とみなし過疎を含まず、一部過疎市町村は全域を含む。

○都市部から過疎地域への移住者のうち女性の年代別内訳を地域ブロック別でみると、H22 国勢調査では、60 代以上の各年代の割合が H12 国勢調査と比べて全ての地域ブロックで拡大している。

○また H22 国勢調査では、30 代、60 代及び 80 代以上の割合が、H12 国勢調査と比べて全ての地域ブロックで拡大している。

■ 都市部から過疎地域への移住者の属性

| 地域ブロック | | H12 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 北陸 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄 | 合計 |
| 女性・年代別 | 都市部から過疎地域への移住者数 ： 女性 | 29,292 | 29,270 | 11,427 | 11,514 | 1,741 | 17,380 | 21,152 | 8,032 | 38,527 | 1,875 | 170,210 |
| | | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) |
| | 5～9歳 | 2,124 | 2,237 | 736 | 846 | 96 | 1,289 | 1,375 | 488 | 2,752 | 207 | 12,150 |
| | | (7.3%) | (7.6%) | (6.4%) | (7.3%) | (5.5%) | (7.4%) | (6.5%) | (6.1%) | (7.1%) | (11.0%) | (7.1%) |
| | 10代 | 2,372 | 1,905 | 881 | 929 | 109 | 1,213 | 1,844 | 566 | 2,982 | 165 | 12,966 |
| | | (8.1%) | (6.5%) | (7.7%) | (8.1%) | (6.3%) | (7.0%) | (8.7%) | (7.0%) | (7.7%) | (8.8%) | (7.6%) |
| | 20代 | 9,775 | 10,569 | 3,368 | 4,055 | 695 | 5,599 | 7,300 | 2,641 | 11,237 | 702 | 55,941 |
| | | (33.4%) | (36.1%) | (29.5%) | (35.2%) | (39.9%) | (32.2%) | (34.5%) | (32.9%) | (29.2%) | (37.4%) | (32.9%) |
| | 30代 | 7,593 | 7,066 | 2,457 | 2,684 | 368 | 4,069 | 4,212 | 1,539 | 8,234 | 529 | 38,751 |
| | | (25.9%) | (24.1%) | (21.5%) | (23.3%) | (21.1%) | (23.4%) | (19.9%) | (19.2%) | (21.4%) | (28.2%) | (22.8%) |
| | 40代 | 2,689 | 2,392 | 976 | 822 | 133 | 1,308 | 1,655 | 618 | 3,511 | 143 | 14,247 |
| | | (9.2%) | (8.2%) | (8.5%) | (7.1%) | (7.6%) | (7.5%) | (7.8%) | (7.7%) | (9.1%) | (7.6%) | (8.4%) |
| | 50代 | 2,310 | 2,083 | 1,047 | 814 | 153 | 1,411 | 2,077 | 861 | 4,004 | 74 | 14,834 |
| | | (7.9%) | (7.1%) | (9.2%) | (7.1%) | (8.8%) | (8.1%) | (9.8%) | (10.7%) | (10.4%) | (3.9%) | (8.7%) |
| | 60代 | 1,282 | 1,894 | 862 | 613 | 103 | 1,098 | 1,545 | 812 | 3,656 | 30 | 11,895 |
| | | (4.4%) | (6.5%) | (7.5%) | (5.3%) | (5.9%) | (6.3%) | (7.3%) | (10.1%) | (9.5%) | (1.6%) | (7.0%) |
| | 70代 | 649 | 742 | 466 | 387 | 56 | 667 | 634 | 348 | 1,410 | 17 | 5,376 |
| | | (2.2%) | (2.5%) | (4.1%) | (3.4%) | (3.2%) | (3.8%) | (3.0%) | (4.3%) | (3.7%) | (0.9%) | (3.2%) |
| | 80代～ | 498 | 382 | 634 | 364 | 28 | 726 | 510 | 159 | 741 | 8 | 4,050 |
| | | (1.7%) | (1.3%) | (5.5%) | (3.2%) | (1.6%) | (4.2%) | (2.4%) | (2.0%) | (1.9%) | (0.4%) | (2.4%) |

※H12＜H22に網掛け

| 地域ブロック | | H22 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 北陸 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄 | 合計 |
| 女性・年代別 | 都市部から過疎地域への移住者数 ： 女性 | 21,068 | 18,583 | 8,681 | 7,836 | 1,266 | 11,569 | 15,235 | 5,489 | 27,352 | 1,808 | 118,887 |
| | | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) |
| | 5～9歳 | 1,343 | 1,041 | 462 | 519 | 72 | 680 | 824 | 262 | 1,661 | 90 | 6,954 |
| | | (6.4%) | (5.6%) | (5.3%) | (6.6%) | (5.7%) | (5.9%) | (5.4%) | (4.8%) | (6.1%) | (5.0%) | (5.8%) |
| | 10代 | 1,330 | 790 | 539 | 496 | 68 | 763 | 940 | 315 | 1,518 | 59 | 6,818 |
| | | (6.3%) | (4.3%) | (6.2%) | (6.3%) | (5.4%) | (6.6%) | (6.2%) | (5.7%) | (5.5%) | (3.3%) | (5.7%) |
| | 20代 | 5,576 | 5,949 | 1,819 | 1,993 | 424 | 2,950 | 4,061 | 1,443 | 6,548 | 584 | 31,347 |
| | | (26.5%) | (32.0%) | (21.0%) | (25.4%) | (33.5%) | (25.5%) | (26.7%) | (26.3%) | (23.9%) | (32.3%) | (26.4%) |
| | 30代 | 6,096 | 4,875 | 1,961 | 2,081 | 300 | 2,885 | 3,692 | 1,156 | 6,497 | 555 | 30,098 |
| | | (28.9%) | (26.2%) | (22.6%) | (26.6%) | (23.7%) | (24.9%) | (24.2%) | (21.1%) | (23.8%) | (30.7%) | (25.3%) |
| | 40代 | 2,399 | 1,614 | 735 | 644 | 102 | 1,010 | 1,248 | 414 | 2,451 | 190 | 10,807 |
| | | (11.4%) | (8.7%) | (8.5%) | (8.2%) | (8.1%) | (8.7%) | (8.2%) | (7.5%) | (9.0%) | (10.5%) | (9.1%) |
| | 50代 | 1,738 | 1,463 | 727 | 592 | 103 | 904 | 1,405 | 575 | 2,942 | 159 | 10,608 |
| | | (8.2%) | (7.9%) | (8.4%) | (7.6%) | (8.1%) | (7.8%) | (9.2%) | (10.5%) | (10.8%) | (8.8%) | (8.9%) |
| | 60代 | 1,462 | 1,820 | 1,183 | 658 | 124 | 986 | 1,824 | 872 | 3,567 | 117 | 12,613 |
| | | (6.9%) | (9.8%) | (13.6%) | (8.4%) | (9.8%) | (8.5%) | (12.0%) | (15.9%) | (13.0%) | (6.5%) | (10.6%) |
| | 70代 | 546 | 611 | 466 | 325 | 40 | 476 | 554 | 292 | 1,213 | 31 | 4,554 |
| | | (2.6%) | (3.3%) | (5.4%) | (4.1%) | (3.2%) | (4.1%) | (3.6%) | (5.3%) | (4.4%) | (1.7%) | (3.8%) |
| | 80代～ | 578 | 420 | 789 | 528 | 33 | 915 | 687 | 160 | 955 | 23 | 5,088 |
| | | (2.7%) | (2.3%) | (9.1%) | (6.7%) | (2.6%) | (7.9%) | (4.5%) | (2.9%) | (3.5%) | (1.3%) | (4.3%) |

※「都市部」には、過疎地域市町村のうち全域過疎とみなし過疎を含まず、一部過疎市町村は全域を含む。

## ⑦都市部から過疎地域への移住者の世帯構成【地域ブロック別】

○都市部から過疎地域への移住者について世帯構成の内訳をみると、全体では、H12 国勢調査、H22 国勢調査ともに「夫婦と子供から成る世帯」が最も多い。

○また、H12 国勢調査と H22 国勢調査を比べると、全体では、「夫婦と子供から成る世帯」と「核家族以外の世帯」の割合が減少する一方、「夫婦のみの世帯」、「男親又は女親と子供から成る世帯」、「非親族を含む世帯」及び「単独世帯」の割合が増加している。

○都市部から過疎地域への移住者について、世帯構成の内訳を地域ブロック別にみると、北海道、関東及び沖縄では、H12 国勢調査においては「夫婦と子供から成る世帯」が最も多かったが、H22 国勢調査では「単独世帯」の方が多くなっており、特に北海道及び沖縄では3割を超えている。

○いずれの地域ブロックでも、「夫婦のみの世帯」及び「非親族を含む世帯」の割合は、H22 国勢調査の方が H12 国勢調査よりも高くなっている。

■ 都市部から過疎地域への移住者の世帯構成

| 地域ブロック | | | H12 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 北陸 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 都市部から過疎地域への移住者数 | | | 70,059 (100.0%) | 65,859 (100.0%) | 25,008 (100.0%) | 24,279 (100.0%) | 4,160 (100.0%) | 35,818 (100.0%) | 46,272 (100.0%) | 18,331 (100.0%) | 82,909 (100.0%) | 3,978 (100.0%) | 376,673 (100.0%) |
| 世帯の家族類型 | 核家族世帯 | 夫婦のみの世帯 | 10,169 (14.5%) | 7,411 (11.3%) | 3,342 (13.4%) | 2,733 (11.3%) | 405 (9.7%) | 4,784 (13.4%) | 6,117 (13.2%) | 2,746 (15.0%) | 12,507 (15.1%) | 407 (10.2%) | 50,621 (13.4%) |
| | | 夫婦と子供から成る世帯 | 22,489 (32.1%) | 18,522 (28.1%) | 6,669 (26.7%) | 6,888 (28.4%) | 1,053 (25.3%) | 12,081 (33.7%) | 13,984 (30.2%) | 5,990 (32.7%) | 28,561 (34.4%) | 1,464 (36.8%) | 117,701 (31.2%) |
| | | 男親又は女親と子供から成る世帯 | 4,648 (6.6%) | 5,410 (8.2%) | 1,405 (5.6%) | 1,257 (5.2%) | 274 (6.6%) | 2,096 (5.9%) | 3,181 (6.9%) | 1,886 (10.3%) | 8,071 (9.7%) | 406 (10.2%) | 28,634 (7.6%) |
| | 核家族以外の世帯 | | 6,379 (9.1%) | 21,011 (31.9%) | 5,718 (22.9%) | 6,695 (27.6%) | 1,414 (34.0%) | 8,354 (23.3%) | 11,764 (25.4%) | 3,936 (21.5%) | 18,151 (21.9%) | 573 (14.4%) | 83,995 (22.3%) |
| | 非親族を含む世帯 | | 445 (0.6%) | 252 (0.4%) | 161 (0.6%) | 93 (0.4%) | 15 (0.4%) | 142 (0.4%) | 166 (0.4%) | 83 (0.5%) | 386 (0.5%) | 107 (2.7%) | 1,850 (0.5%) |
| | 単独世帯 | | 21,914 (31.3%) | 11,718 (17.8%) | 5,557 (22.2%) | 4,658 (19.2%) | 825 (19.8%) | 5,774 (16.1%) | 8,359 (18.1%) | 3,134 (17.1%) | 13,028 (15.7%) | 991 (24.9%) | 75,958 (20.2%) |

※H12＜H22に網掛け

| 地域ブロック | | | H22 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 北陸 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 都市部から過疎地域への移住者数 | | | 50,897 (100.0%) | 42,721 (100.0%) | 19,045 (100.0%) | 16,864 (100.0%) | 2,981 (100.0%) | 24,134 (100.0%) | 34,486 (100.0%) | 12,255 (100.0%) | 60,128 (100.0%) | 3,677 (100.0%) | 267,188 (100.0%) |
| 世帯の家族類型 | 核家族世帯 | 夫婦のみの世帯 | 7,692 (15.1%) | 4,821 (11.3%) | 3,058 (16.1%) | 2,041 (12.1%) | 336 (11.3%) | 3,298 (13.7%) | 4,793 (13.9%) | 1,964 (16.0%) | 9,405 (15.6%) | 552 (15.0%) | 37,960 (14.2%) |
| | | 夫婦と子供から成る世帯 | 14,405 (28.3%) | 10,294 (24.1%) | 4,062 (21.3%) | 4,237 (25.1%) | 682 (22.9%) | 6,668 (27.6%) | 8,640 (25.1%) | 3,293 (26.9%) | 17,571 (29.2%) | 991 (27.0%) | 70,843 (26.5%) |
| | | 男親又は女親と子供から成る世帯 | 3,724 (7.3%) | 3,933 (9.2%) | 1,217 (6.4%) | 1,045 (6.2%) | 195 (6.5%) | 1,748 (7.2%) | 2,598 (7.5%) | 1,357 (11.1%) | 6,432 (10.7%) | 361 (9.8%) | 22,610 (8.5%) |
| | 核家族以外の世帯 | | 4,547 (8.9%) | 13,248 (31.0%) | 3,732 (19.6%) | 4,148 (24.6%) | 836 (28.0%) | 4,901 (20.3%) | 7,635 (22.1%) | 2,434 (19.9%) | 12,081 (20.1%) | 354 (9.6%) | 53,916 (20.2%) |
| | 非親族を含む世帯 | | 715 (1.4%) | 593 (1.4%) | 364 (1.9%) | 213 (1.3%) | 33 (1.1%) | 400 (1.7%) | 401 (1.2%) | 173 (1.4%) | 990 (1.6%) | 177 (4.8%) | 4,059 (1.5%) |
| | 単独世帯 | | 16,358 (32.1%) | 8,718 (20.4%) | 4,719 (24.8%) | 3,503 (20.8%) | 556 (18.7%) | 4,424 (18.3%) | 6,338 (18.4%) | 2,422 (19.8%) | 11,104 (18.5%) | 1,205 (32.8%) | 59,347 (22.2%) |

※「都市部」には、過疎地域市町村のうち全域過疎とみなし過疎を含まず、一部過疎市町村は全域を含む。

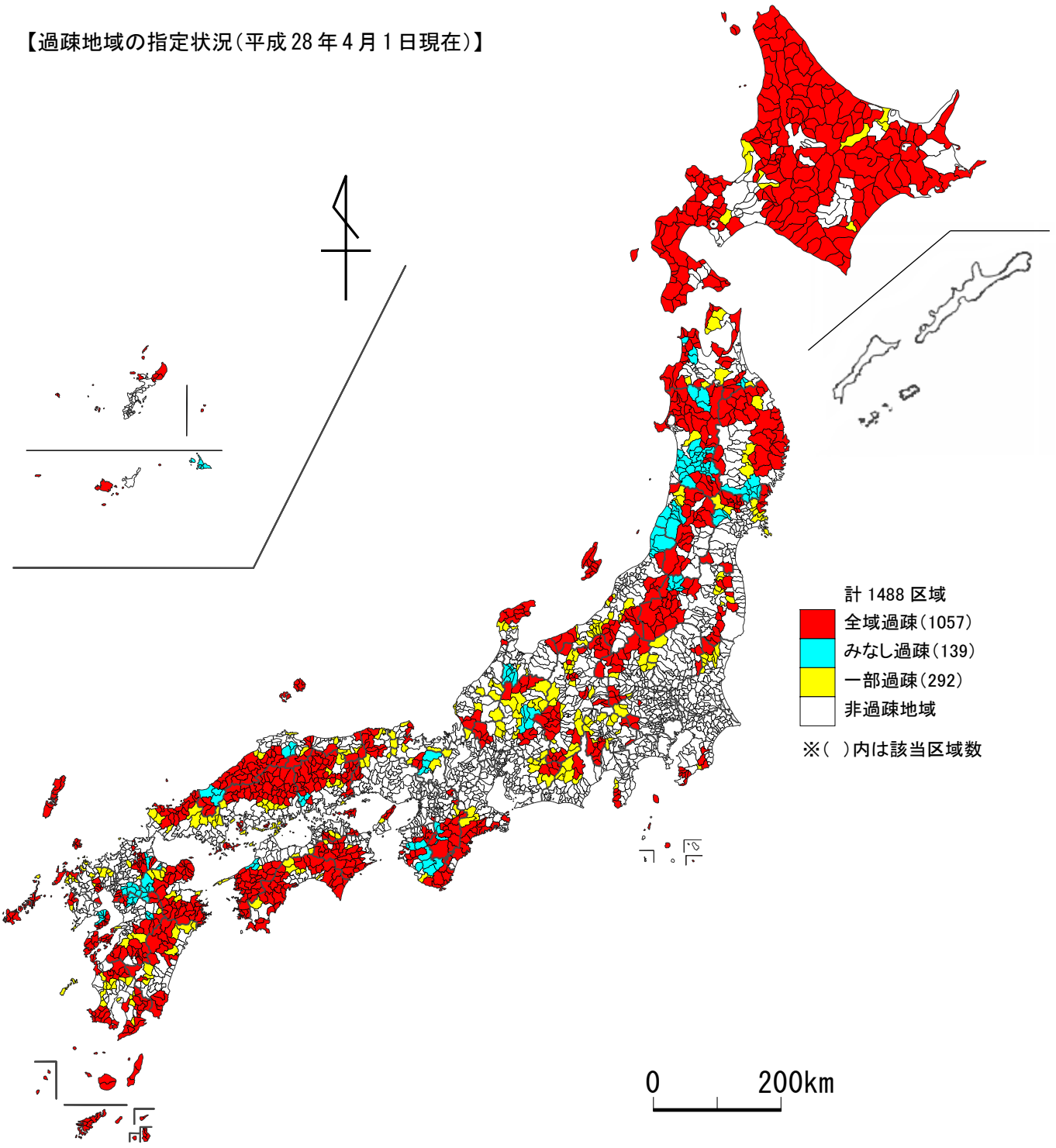
## １－４．地図でみる都市部から過疎地域への移住の状況

### 過疎地域の人口に占める都市部から過疎地域への移住者の割合

以下は、平成 28 年 4 月 1 日時点で過疎地域に指定されている地域（下図の着色した地域）について、平成 12 年 4 月 1 日時点の市町村の区域を 1 区域とし（1,488 区域）、当該区域の総人口に対する、都市部から当該区域への移住者の割合について分析した結果である。

※：平成 12 年 4 月 1 日以降に合併した市町村についても、平成 12 年 4 月 1 日時点の旧市町村の区域を 1 区域として集計した。

【過疎地域の指定状況（平成 28 年 4 月 1 日現在）】




※1 区域は平成 12 年 4 月 1 日時点の市町村の区域。

## （１）過疎地域の区域の総人口に占める都市部からの移住者の割合

○過疎地域の区域単位で、総人口に占める都市部からの移住者の割合をみると、H12 国勢調査、H22 国勢調査ともに「1%以上3%未満」の区域が最も高く、約6割を占める。また、地域ブロック内に都市部が含まれる関東、東海及び近畿では、「5%以上」の区域の割合が多くなっている。

○都市部からの移住者が0であった区域は、H22 国勢調査では 0 である(H12 国勢調査の 1 区域は、噴火のため全島避難していた東京都三宅村である)。

○過疎地域の区域単位で、総人口に占める都市部からの移住者の割合を、H12 国勢調査と H22 国勢調査で比べると、83.3%の区域で縮小している一方、16.7%の区域では拡大している。

■ 区域の総人口に占める都市部からの移住者の割合

| 地域ブロック | | H12 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 北陸 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄 | 合計 |
| 区域数 | | 176 (100.0%) | 295 (100.0%) | 130 (100.0%) | 76 (100.0%) | 35 (100.0%) | 93 (100.0%) | 205 (100.0%) | 132 (100.0%) | 323 (100.0%) | 23 (100.0%) | 1,488 (100.0%) |
| 区域の総人口に占める都市部からの移住者の割合 | 5%以上 | 22 (12.5%) | 5 (1.7%) | 35 (26.9%) | 41 (53.9%) | 2 (5.7%) | 42 (45.2%) | 19 (9.3%) | 1 (0.8%) | 19 (5.9%) | 5 (21.7%) | 191 (12.8%) |
| | 3%以上 5%未満 | 61 (34.7%) | 31 (10.5%) | 29 (22.3%) | 26 (34.2%) | 2 (5.7%) | 39 (41.9%) | 69 (33.7%) | 12 (9.1%) | 61 (18.9%) | 9 (39.1%) | 339 (22.8%) |
| | 1%以上 3%未満 | 91 (51.7%) | 238 (80.7%) | 59 (45.4%) | 9 (11.8%) | 25 (71.4%) | 12 (12.9%) | 116 (56.6%) | 108 (81.8%) | 237 (73.4%) | 9 (39.1%) | 904 (60.8%) |
| | 1%未満 | 2 (1.1%) | 21 (7.1%) | 6 (4.6%) | 0 (0.0%) | 6 (17.1%) | 0 (0.0%) | 1 (0.5%) | 11 (8.3%) | 6 (1.9%) | 0 (0.0%) | 53 (3.6%) |
| | 0% | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 1 (0.8%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 1 (0.1%) |

| 地域ブロック | | H22 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 北陸 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄 | 合計 |
| 区域数 | | 176 (100.0%) | 295 (100.0%) | 130 (100.0%) | 76 (100.0%) | 35 (100.0%) | 93 (100.0%) | 205 (100.0%) | 132 (100.0%) | 323 (100.0%) | 23 (100.0%) | 1,488 (100.0%) |
| 区域の総人口に占める都市部からの移住者の割合 | 5%以上 | 15 (8.5%) | 4 (1.4%) | 30 (23.1%) | 20 (26.3%) | 0 (0.0%) | 22 (23.7%) | 11 (5.4%) | 1 (0.8%) | 9 (2.8%) | 5 (21.7%) | 117 (7.9%) |
| | 3%以上 5%未満 | 41 (23.3%) | 13 (4.4%) | 25 (19.2%) | 35 (46.1%) | 0 (0.0%) | 40 (43.0%) | 41 (20.0%) | 5 (3.8%) | 39 (12.1%) | 6 (26.1%) | 245 (16.5%) |
| | 1%以上 3%未満 | 113 (64.2%) | 201 (68.1%) | 63 (48.5%) | 21 (27.6%) | 20 (57.1%) | 29 (31.2%) | 144 (70.2%) | 93 (70.5%) | 259 (80.2%) | 10 (43.5%) | 953 (64.0%) |
| | 1%未満 | 7 (4.0%) | 77 (26.1%) | 12 (9.2%) | 0 (0.0%) | 15 (42.9%) | 2 (2.2%) | 9 (4.4%) | 33 (25.0%) | 16 (5.0%) | 2 (8.7%) | 173 (11.6%) |
| | 0% | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) |

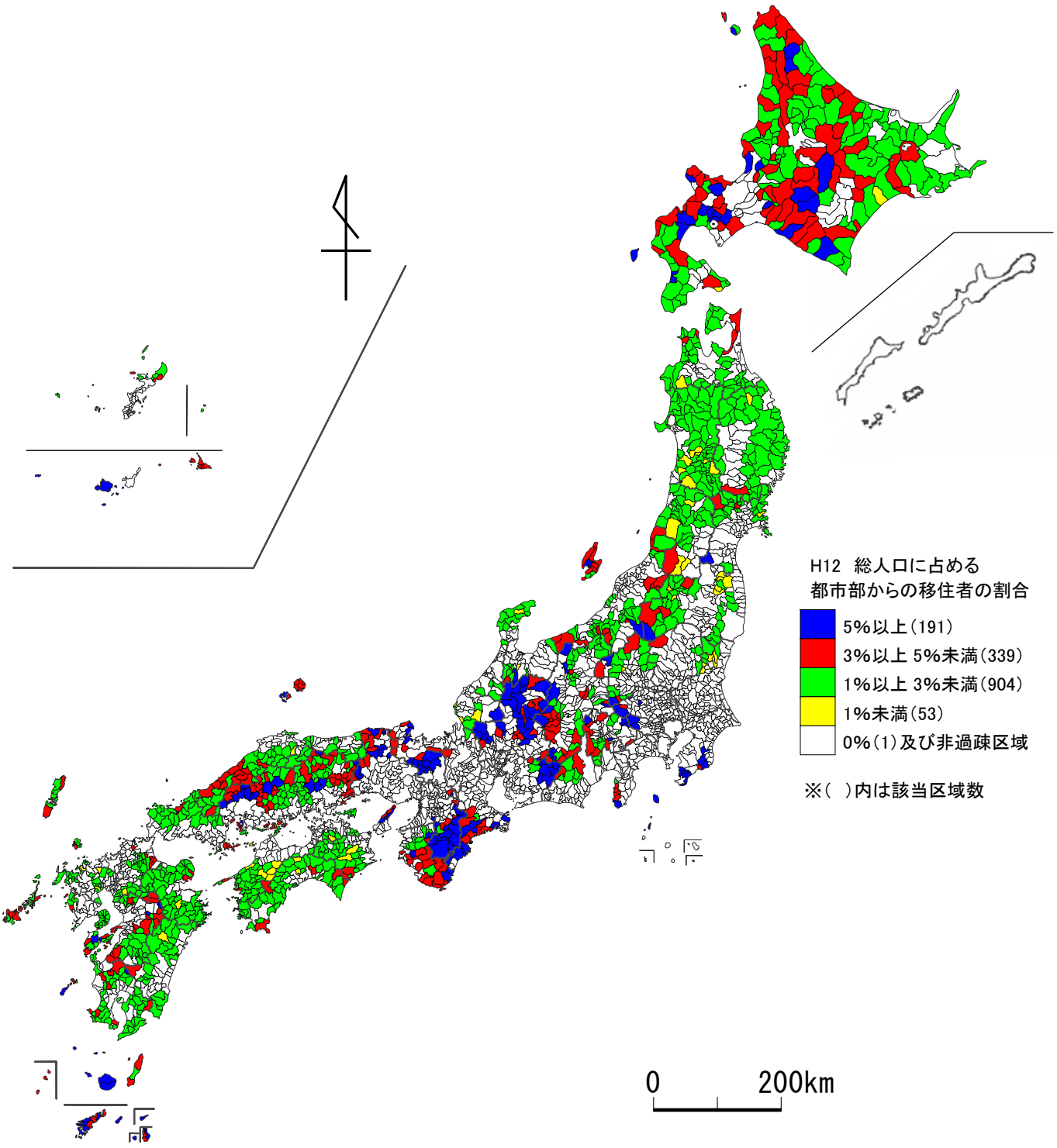
■ 区域の総人口に占める都市部からの移住者の割合の変化

| | | | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 北陸 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 区域数 | | | 176 (100.0%) | 295 (100.0%) | 130 (100.0%) | 76 (100.0%) | 35 (100.0%) | 93 (100.0%) | 205 (100.0%) | 132 (100.0%) | 323 (100.0%) | 23 (100.0%) | 1,488 (100.0%) |
| 区域の総人口に占める都市部からの移住者の割合の変化 | 拡大（H12＜H22） | | 35 (19.9%) | 40 (13.6%) | 27 (20.8%) | 11 (14.5%) | 6 (17.1%) | 9 (9.7%) | 38 (18.5%) | 28 (21.2%) | 49 (15.2%) | 6 (26.1%) | 249 (16.7%) |
| | | 5ポイント以上 | 1 (0.6%) | 0 (0.0%) | 1 (0.8%) | 1 (1.3%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 2 (1.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 5 (0.3%) |
| | | 1ポイント以上 5ポイント未満 | 7 (4.0%) | 3 (1.0%) | 4 (3.1%) | 1 (1.3%) | 0 (0.0%) | 1 (1.1%) | 6 (2.9%) | 4 (3.0%) | 7 (2.2%) | 1 (4.3%) | 34 (2.3%) |
| | | 0.5ポイント以上 1ポイント未満 | 4 (2.3%) | 2 (0.7%) | 3 (2.3%) | 2 (2.6%) | 1 (2.9%) | 3 (3.2%) | 9 (4.4%) | 3 (2.3%) | 9 (2.8%) | 4 (17.4%) | 40 (2.7%) |
| | | 0.5ポイント未満 | 23 (13.1%) | 35 (11.9%) | 19 (14.6%) | 7 (9.2%) | 5 (14.3%) | 5 (5.4%) | 21 (10.2%) | 21 (15.9%) | 33 (10.2%) | 1 (4.3%) | 170 (11.4%) |
| | 縮小（H12≧H22） | | 141 (80.1%) | 255 (86.4%) | 103 (79.2%) | 65 (85.5%) | 29 (82.9%) | 84 (90.3%) | 167 (81.5%) | 104 (78.8%) | 274 (84.8%) | 17 (73.9%) | 1,239 (83.3%) |

※1 区域は平成 12 年 4 月 1 日時点の市町村の区域。

## 過疎地域の区域の総人口に占める都市部からの移住者の割合（H12 国勢調査）

○過疎地域の区域単位で、総人口に占める都市部からの移住者の割合をみると、「1%以上3%未満」の区域が最も高く、約6割を占める（904 区域）。また、地域ブロック内に都市部が含まれる関東、東海及び近畿では、「5%以上」の区域の割合が高くなっている（H22 国勢調査も同様）。

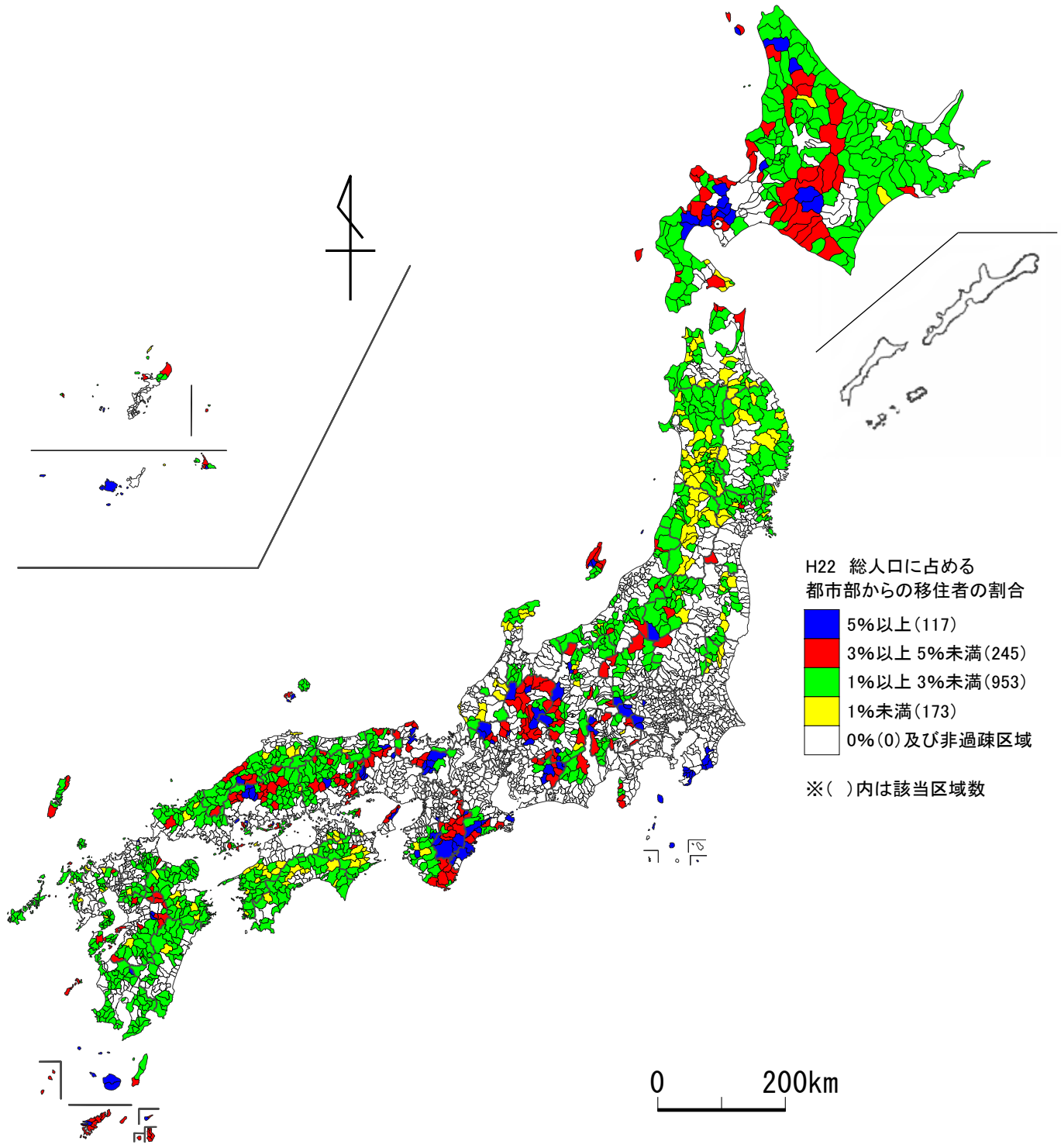



※1 区域は平成 12 年 4 月 1 日時点の市町村の区域。

## 過疎地域の区域の総人口に占める都市部からの移住者の割合（H22 国勢調査）

○過疎地域の区域単位で、総人口に占める都市部からの移住者の割合をみると、「1%以上3%未満」の区域が最も高く、約6割を占める（953 区域）。また、地域ブロック内に都市部が含まれる関東、東海及び近畿では、「5%以上」の区域の割合が高くなっている（H12 国勢調査も同様）。

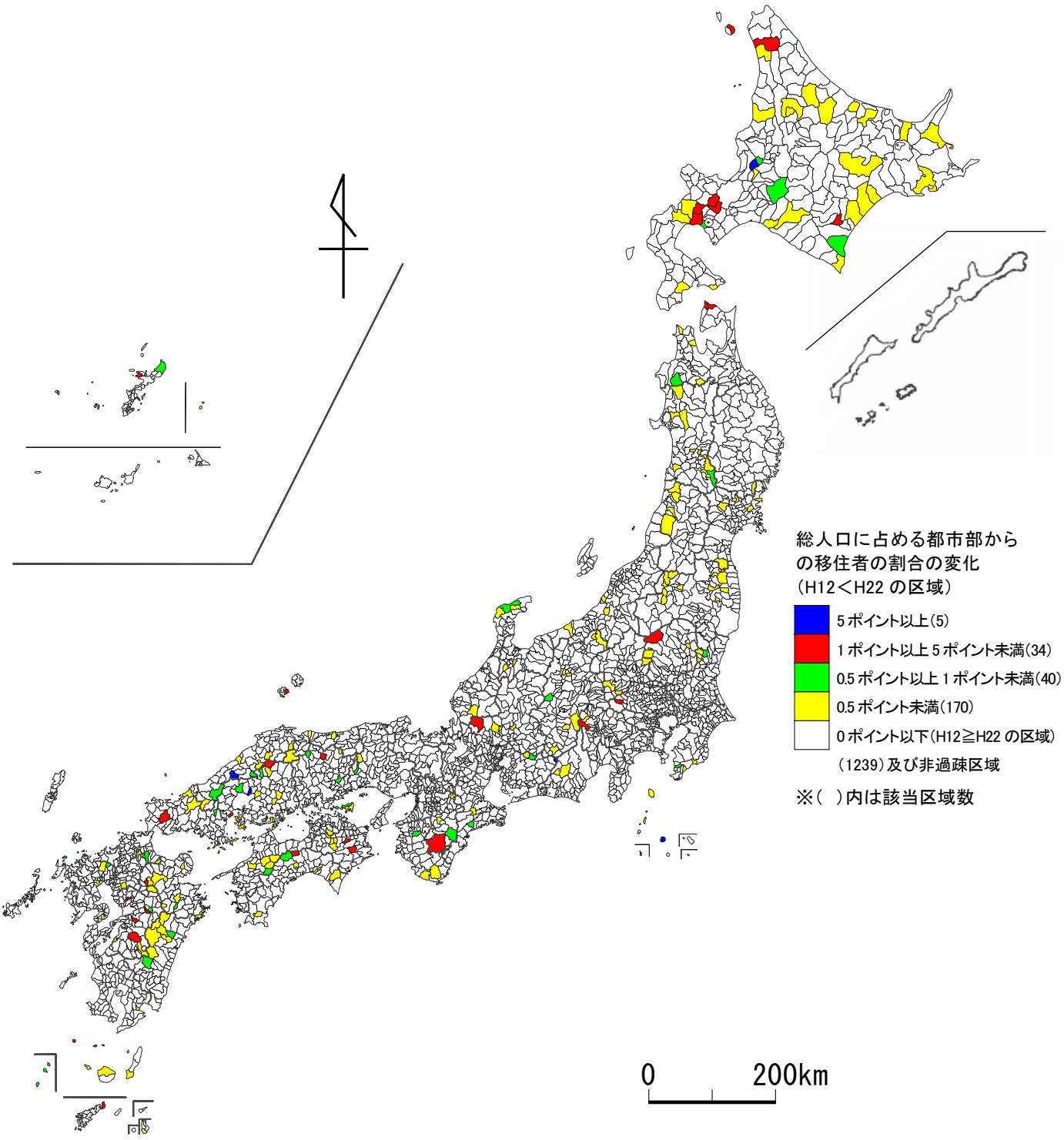
○都市部からの移住者が0であった区域は0である。




※1 区域は平成 12 年 4 月 1 日時点の市町村の区域。

過疎地域の区域の総人口に占める都市部からの移住者の割合
（H12 国勢調査と H22 国勢調査を比べて割合が増加している区域）

○過疎地域の区域単位で、総人口に占める都市部からの移住者の割合を、H12 国勢調査とH22 国勢調査で比べると、83.3%（1,239 区域）で縮小している一方、16.7%（249 区域）で拡大している。




※1 区域は平成 12 年 4 月 1 日時点の市町村の区域。

## （２）過疎地域の区域の 20 代男性人口に占める、都市部からの 20 代男性移住者の割合

○過疎地域の区域単位で、20 代男性人口に占める、都市部からの 20 代男性移住者の割合をみると、東海では、その割合が比較的高い区域が多く、特に H12 国勢調査では「30%以上」の区域が 15.8%となっている。一方で、東北や北陸では、「10%未満」の区域が約8割となっている。

○また、20 代男性人口に占める、都市部からの 20 代男性移住者の割合を、H12 国勢調査と H22 国勢調査で比較すると、北海道、関東及び沖縄では、3割以上の区域で拡大している。

■ 区域の20代男性人口に占める都市部からの20代男性移住者の割合

| 地域ブロック | | H12 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 北陸 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄 | 合計 |
| 区域数 | | 176<br>(100.0%) | 295<br>(100.0%) | 130<br>(100.0%) | 76<br>(100.0%) | 35<br>(100.0%) | 93<br>(100.0%) | 205<br>(100.0%) | 132<br>(100.0%) | 323<br>(100.0%) | 23<br>(100.0%) | 1,488<br>(100.0%) |
| 区域の20代男性人口に占める都市部からの20代男性移住者の割合 | 30%以上 | 2<br>(1.1%) | 1<br>(0.3%) | 11<br>(8.5%) | 12<br>(15.8%) | 0<br>(0.0%) | 7<br>(7.5%) | 1<br>(0.5%) | 0<br>(0.0%) | 0<br>(0.0%) | 2<br>(8.7%) | 36<br>(2.4%) |
| | 20%以上30%未満 | 11<br>(6.3%) | 5<br>(1.7%) | 10<br>(7.7%) | 25<br>(32.9%) | 1<br>(2.9%) | 15<br>(16.1%) | 13<br>(6.3%) | 4<br>(3.0%) | 7<br>(2.2%) | 4<br>(17.4%) | 95<br>(6.4%) |
| | 10%以上20%未満 | 89<br>(50.6%) | 48<br>(16.3%) | 44<br>(33.8%) | 35<br>(46.1%) | 6<br>(17.1%) | 48<br>(51.6%) | 112<br>(54.6%) | 36<br>(27.3%) | 109<br>(33.7%) | 5<br>(21.7%) | 532<br>(35.8%) |
| | 10%未満 | 74<br>(42.0%) | 241<br>(81.7%) | 64<br>(49.2%) | 4<br>(5.3%) | 28<br>(80.0%) | 23<br>(24.7%) | 79<br>(38.5%) | 91<br>(68.9%) | 207<br>(64.1%) | 12<br>(52.2%) | 823<br>(55.3%) |
| | 0% | 0<br>(0.0%) | 0<br>(0.0%) | 1<br>(0.8%) | 0<br>(0.0%) | 0<br>(0.0%) | 0<br>(0.0%) | 0<br>(0.0%) | 1<br>(0.8%) | 0<br>(0.0%) | 0<br>(0.0%) | 2<br>(0.1%) |

| 地域ブロック | | H22 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 北陸 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄 | 合計 |
| 区域数 | | 176<br>(100.0%) | 295<br>(100.0%) | 130<br>(100.0%) | 76<br>(100.0%) | 35<br>(100.0%) | 93<br>(100.0%) | 205<br>(100.0%) | 132<br>(100.0%) | 323<br>(100.0%) | 23<br>(100.0%) | 1,488<br>(100.0%) |
| 区域の20代男性人口に占める都市部からの20代男性移住者の割合 | 30%以上 | 2<br>(1.1%) | 2<br>(0.7%) | 9<br>(6.9%) | 3<br>(3.9%) | 0<br>(0.0%) | 4<br>(4.3%) | 3<br>(1.5%) | 0<br>(0.0%) | 0<br>(0.0%) | 2<br>(8.7%) | 25<br>(1.7%) |
| | 20%以上30%未満 | 6<br>(3.4%) | 2<br>(0.7%) | 8<br>(6.2%) | 18<br>(23.7%) | 0<br>(0.0%) | 8<br>(8.6%) | 8<br>(3.9%) | 1<br>(0.8%) | 8<br>(2.5%) | 1<br>(4.3%) | 60<br>(4.0%) |
| | 10%以上20%未満 | 78<br>(44.3%) | 39<br>(13.2%) | 36<br>(27.7%) | 31<br>(40.8%) | 7<br>(20.0%) | 44<br>(47.3%) | 56<br>(27.3%) | 12<br>(9.1%) | 63<br>(19.5%) | 6<br>(26.1%) | 372<br>(25.0%) |
| | 10%未満 | 90<br>(51.1%) | 248<br>(84.1%) | 76<br>(58.5%) | 22<br>(28.9%) | 27<br>(77.1%) | 36<br>(38.7%) | 134<br>(65.4%) | 107<br>(81.1%) | 248<br>(76.8%) | 13<br>(56.5%) | 1,001<br>(67.3%) |
| | 0% | 0<br>(0.0%) | 4<br>(1.4%) | 1<br>(0.8%) | 2<br>(2.6%) | 1<br>(2.9%) | 1<br>(1.1%) | 4<br>(2.0%) | 12<br>(9.1%) | 4<br>(1.2%) | 1<br>(4.3%) | 30<br>(2.0%) |

■ 区域の20代男性人口に占める都市部からの20代男性移住者の割合の変化

| | | | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 北陸 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 区域数 | | | 176<br>(100.0%) | 295<br>(100.0%) | 130<br>(100.0%) | 76<br>(100.0%) | 35<br>(100.0%) | 93<br>(100.0%) | 205<br>(100.0%) | 132<br>(100.0%) | 323<br>(100.0%) | 23<br>(100.0%) | 1,488<br>(100.0%) |
| 区域の20代男性人口に占める都市部からの20代男性移住者の割合の変化 | 拡大（H12＜H22） | | 66<br>(37.5%) | 83<br>(28.1%) | 43<br>(33.1%) | 9<br>(11.8%) | 9<br>(25.7%) | 20<br>(21.5%) | 47<br>(22.9%) | 32<br>(24.2%) | 74<br>(22.9%) | 7<br>(30.4%) | 390<br>(26.2%) |
| | | 10ポイント以上 | 3<br>(1.7%) | 1<br>(0.3%) | 3<br>(2.3%) | 2<br>(2.6%) | 0<br>(0.0%) | 2<br>(2.2%) | 4<br>(2.0%) | 0<br>(0.0%) | 2<br>(0.6%) | 1<br>(4.3%) | 18<br>(1.2%) |
| | | 5ポイント以上<br>10ポイント未満 | 11<br>(6.3%) | 4<br>(1.4%) | 9<br>(6.9%) | 2<br>(2.6%) | 2<br>(5.7%) | 4<br>(4.3%) | 6<br>(2.9%) | 3<br>(2.3%) | 8<br>(2.5%) | 1<br>(4.3%) | 50<br>(3.4%) |
| | | 1ポイント以上<br>5ポイント未満 | 37<br>(21.0%) | 42<br>(14.2%) | 18<br>(13.8%) | 4<br>(5.3%) | 4<br>(11.4%) | 8<br>(8.6%) | 24<br>(11.7%) | 17<br>(12.9%) | 43<br>(13.3%) | 4<br>(17.4%) | 201<br>(13.5%) |
| | | 1ポイント未満 | 15<br>(8.5%) | 36<br>(12.2%) | 13<br>(10.0%) | 1<br>(1.3%) | 3<br>(8.6%) | 6<br>(6.5%) | 13<br>(6.3%) | 12<br>(9.1%) | 21<br>(6.5%) | 1<br>(4.3%) | 121<br>(8.1%) |
| | 縮小（H12≧H22） | | 110<br>(62.5%) | 212<br>(71.9%) | 87<br>(66.9%) | 67<br>(88.2%) | 26<br>(74.3%) | 73<br>(78.5%) | 158<br>(77.1%) | 100<br>(75.8%) | 249<br>(77.1%) | 16<br>(69.6%) | 1,098<br>(73.8%) |

※1 区域は平成 12 年 4 月 1 日時点の市町村の区域。

## （3）過疎地域の区域の 20 代女性人口に占める、都市部からの 20 代女性移住者の割合

○過疎地域の区域単位で、20 代女性人口に占める、都市部からの 20 代女性移住者の割合をみると、東海と沖縄では、「30%以上」の区域の割合が高い。H12 国勢調査では、東海で 25.0%、沖縄で 17.4%となっている。一方、北陸、東北及び四国では、「10%未満」の区域が7～8割近くを占めている。

○また、20 代女性人口に占める、都市部からの 20 代女性移住者の割合を、H12 国勢調査と H22 国勢調査で比較すると、北海道と北陸では約4割の区域で拡大しており、四国や沖縄でも3割以上の区域で拡大している。

■ 区域の20代女性人口に占める都市部からの20代女性移住者の割合

| 地域ブロック | | H12 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 北陸 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄 | 合計 |
| 区域数 | | 176 (100.0%) | 295 (100.0%) | 130 (100.0%) | 76 (100.0%) | 35 (100.0%) | 93 (100.0%) | 205 (100.0%) | 132 (100.0%) | 323 (100.0%) | 23 (100.0%) | 1,488 (100.0%) |
| 区域の20代女性人口に占める都市部からの20代女性移住者の割合 | 30%以上 | 2 (1.1%) | 1 (0.3%) | 5 (3.8%) | 19 (25.0%) | 0 (0.0%) | 11 (11.8%) | 7 (3.4%) | 0 (0.0%) | 2 (0.6%) | 4 (17.4%) | 51 (3.4%) |
| | 20%以上30%未満 | 7 (4.0%) | 6 (2.0%) | 23 (17.7%) | 28 (36.8%) | 1 (2.9%) | 23 (24.7%) | 20 (9.8%) | 3 (2.3%) | 11 (3.4%) | 0 (0.0%) | 122 (8.2%) |
| | 10%以上20%未満 | 73 (41.5%) | 55 (18.6%) | 38 (29.2%) | 28 (36.8%) | 5 (14.3%) | 47 (50.5%) | 109 (53.2%) | 22 (16.7%) | 96 (29.7%) | 9 (39.1%) | 482 (32.4%) |
| | 10%未満 | 94 (53.4%) | 233 (79.0%) | 62 (47.7%) | 1 (1.3%) | 29 (82.9%) | 12 (12.9%) | 69 (33.7%) | 99 (75.0%) | 213 (65.9%) | 10 (43.5%) | 822 (55.2%) |
| | 0% | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 2 (1.5%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 8 (6.1%) | 1 (0.3%) | 0 (0.0%) | 11 (0.7%) |

| 地域ブロック | | H22 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 北陸 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄 | 合計 |
| 区域数 | | 176 (100.0%) | 295 (100.0%) | 130 (100.0%) | 76 (100.0%) | 35 (100.0%) | 93 (100.0%) | 205 (100.0%) | 132 (100.0%) | 323 (100.0%) | 23 (100.0%) | 1,488 (100.0%) |
| 区域の20代女性人口に占める都市部からの20代女性移住者の割合 | 30%以上 | 2 (1.1%) | 1 (0.3%) | 6 (4.6%) | 7 (9.2%) | 0 (0.0%) | 3 (3.2%) | 2 (1.0%) | 2 (1.5%) | 0 (0.0%) | 4 (17.4%) | 27 (1.8%) |
| | 20%以上30%未満 | 7 (4.0%) | 4 (1.4%) | 11 (8.5%) | 17 (22.4%) | 0 (0.0%) | 17 (18.3%) | 12 (5.9%) | 4 (3.0%) | 5 (1.5%) | 2 (8.7%) | 79 (5.3%) |
| | 10%以上20%未満 | 61 (34.7%) | 39 (13.2%) | 33 (25.4%) | 37 (48.7%) | 5 (14.3%) | 44 (47.3%) | 62 (30.2%) | 18 (13.6%) | 66 (20.4%) | 9 (39.1%) | 374 (25.1%) |
| | 10%未満 | 106 (60.2%) | 250 (84.7%) | 74 (56.9%) | 13 (17.1%) | 30 (85.7%) | 28 (30.1%) | 127 (62.0%) | 96 (72.7%) | 244 (75.5%) | 7 (30.4%) | 975 (65.5%) |
| | 0% | 0 (0.0%) | 1 (0.3%) | 6 (4.6%) | 2 (2.6%) | 0 (0.0%) | 1 (1.1%) | 2 (1.0%) | 12 (9.1%) | 8 (2.5%) | 1 (4.3%) | 33 (2.2%) |

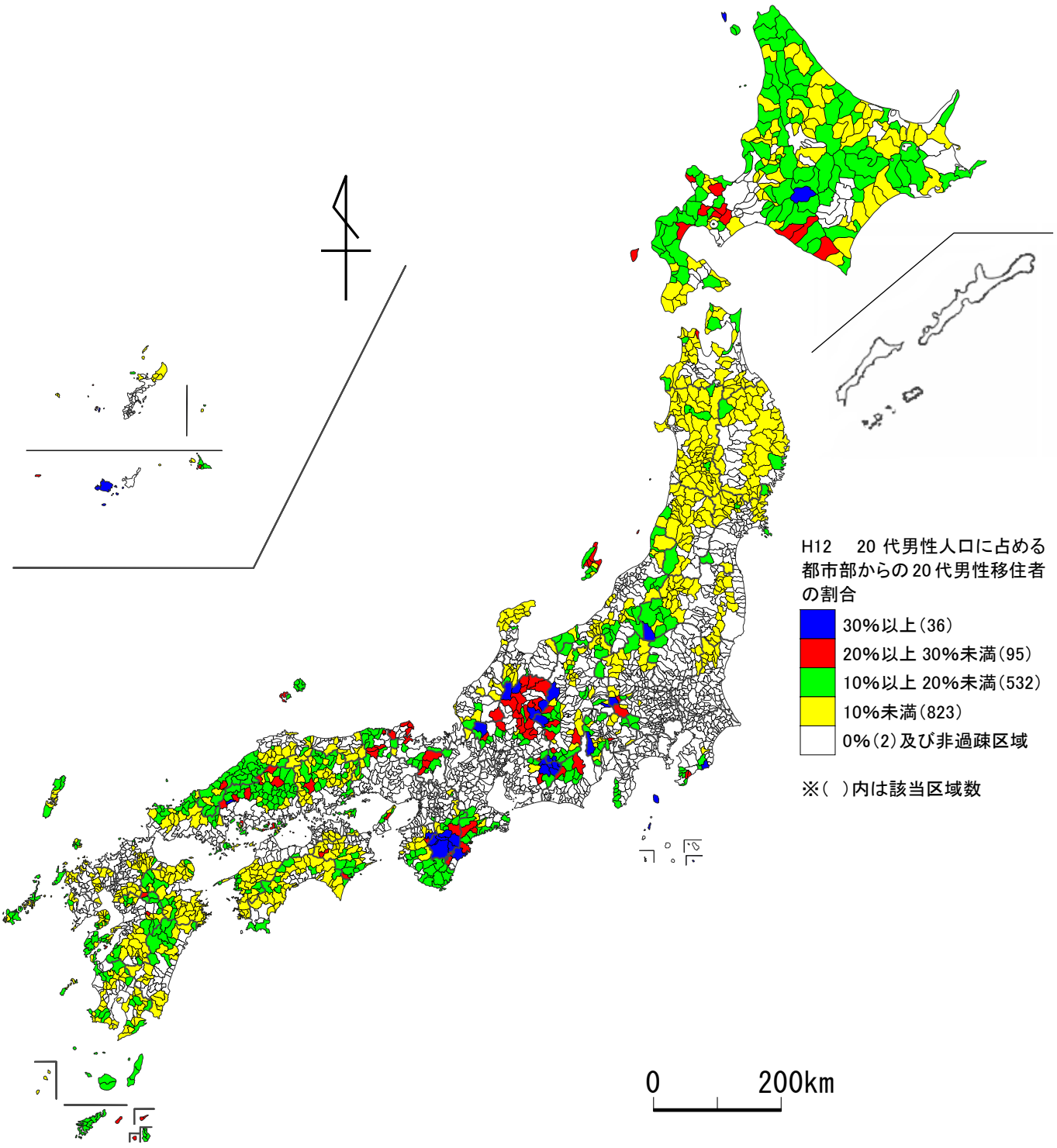
■ 区域の20代女性人口に占める都市部からの20代女性移住者の割合の変化

| | | | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 北陸 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 区域数 | | | 176 (100.0%) | 295 (100.0%) | 130 (100.0%) | 76 (100.0%) | 35 (100.0%) | 93 (100.0%) | 205 (100.0%) | 132 (100.0%) | 323 (100.0%) | 23 (100.0%) | 1,488 (100.0%) |
| 区域の20代女性人口に占める都市部からの20代女性移住者の割合の変化 | 拡大（H12＜H22） | | 69 (39.2%) | 79 (26.8%) | 32 (24.6%) | 13 (17.1%) | 14 (40.0%) | 12 (12.9%) | 45 (22.0%) | 42 (31.8%) | 79 (24.5%) | 8 (34.8%) | 393 (26.4%) |
| | | 10ポイント以上 | 4 (2.3%) | 3 (1.0%) | 4 (3.1%) | 3 (3.9%) | 0 (0.0%) | 1 (1.1%) | 4 (2.0%) | 7 (5.3%) | 1 (0.3%) | 2 (8.7%) | 29 (1.9%) |
| | | 5ポイント以上10ポイント未満 | 12 (6.8%) | 5 (1.7%) | 5 (3.8%) | 3 (3.9%) | 1 (2.9%) | 2 (2.2%) | 9 (4.4%) | 4 (3.0%) | 5 (1.5%) | 3 (13.0%) | 49 (3.3%) |
| | | 1ポイント以上5ポイント未満 | 33 (18.8%) | 46 (15.6%) | 15 (11.5%) | 6 (7.9%) | 10 (28.6%) | 5 (5.4%) | 15 (7.3%) | 18 (13.6%) | 43 (13.3%) | 2 (8.7%) | 193 (13.0%) |
| | | 1ポイント未満 | 20 (11.4%) | 25 (8.5%) | 8 (6.2%) | 1 (1.3%) | 3 (8.6%) | 4 (4.3%) | 17 (8.3%) | 13 (9.8%) | 30 (9.3%) | 1 (4.3%) | 122 (8.2%) |
| | 縮小（H12≧H22） | | 107 (60.8%) | 216 (73.2%) | 98 (75.4%) | 63 (82.9%) | 21 (60.0%) | 81 (87.1%) | 160 (78.0%) | 90 (68.2%) | 244 (75.5%) | 15 (65.2%) | 1,095 (73.6%) |

※1 区域は平成 12 年 4 月 1 日時点の市町村の区域。

## 過疎地域の区域の 20 代男性人口に占める、都市部からの 20 代男性移住者の割合
（H12 国勢調査）

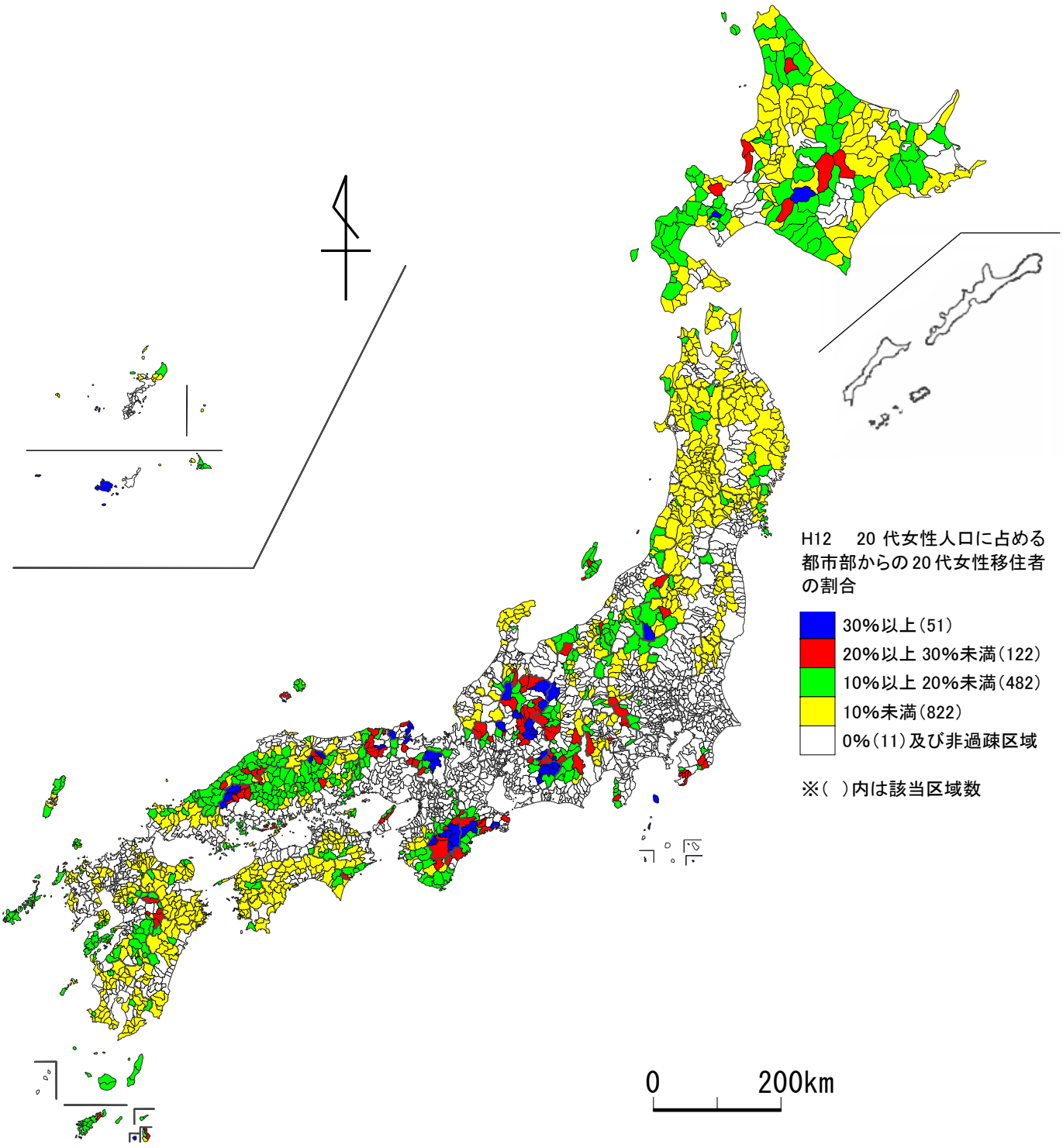
○過疎地域の区域単位で、20 代男性人口に占める、都市部からの 20 代男性移住者の割合をみると、東海では、その割合が比較的高い区域が多い。H12 国勢調査では、東海では「30%以上」の区域の割合が 15.8%となっている。一方で、東北や北陸では、「10%未満」の区域が約8割を占める。




※1 区域は平成 12 年 4 月 1 日時点の市町村の区域。

## 過疎地域の区域の 20 代女性人口に占める、都市部からの 20 代女性移住者の割合（H12 国勢調査）

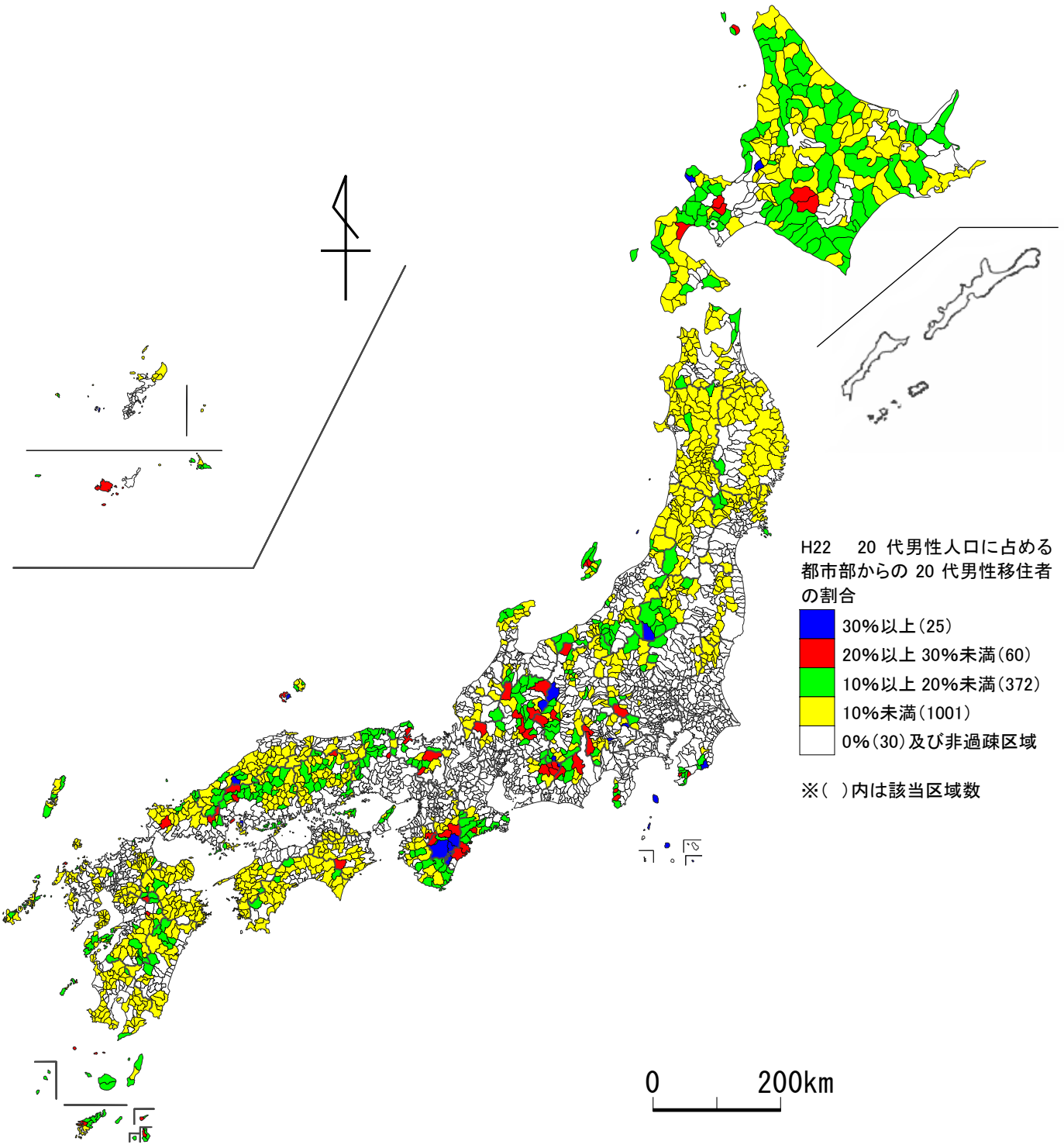
○過疎地域の区域単位で、20 代女性人口に占める、都市部からの 20 代女性移住者の割合をみると、東海と沖縄では、「30%以上」の区域の割合が高い（H22 国勢調査も同様）。H12 国勢調査では、東海で 25.0%、沖縄で 17.4%となっている。一方、北陸、東北及び四国では、「10%未満」の区域が7～8割近くを占めている（H22 国勢調査も同様）。




※1 区域は平成 12 年 4 月 1 日時点の市町村の区域。

## 過疎地域の区域の 20 代男性人口に占める、都市部からの 20 代男性移住者の割合（H22 国勢調査）

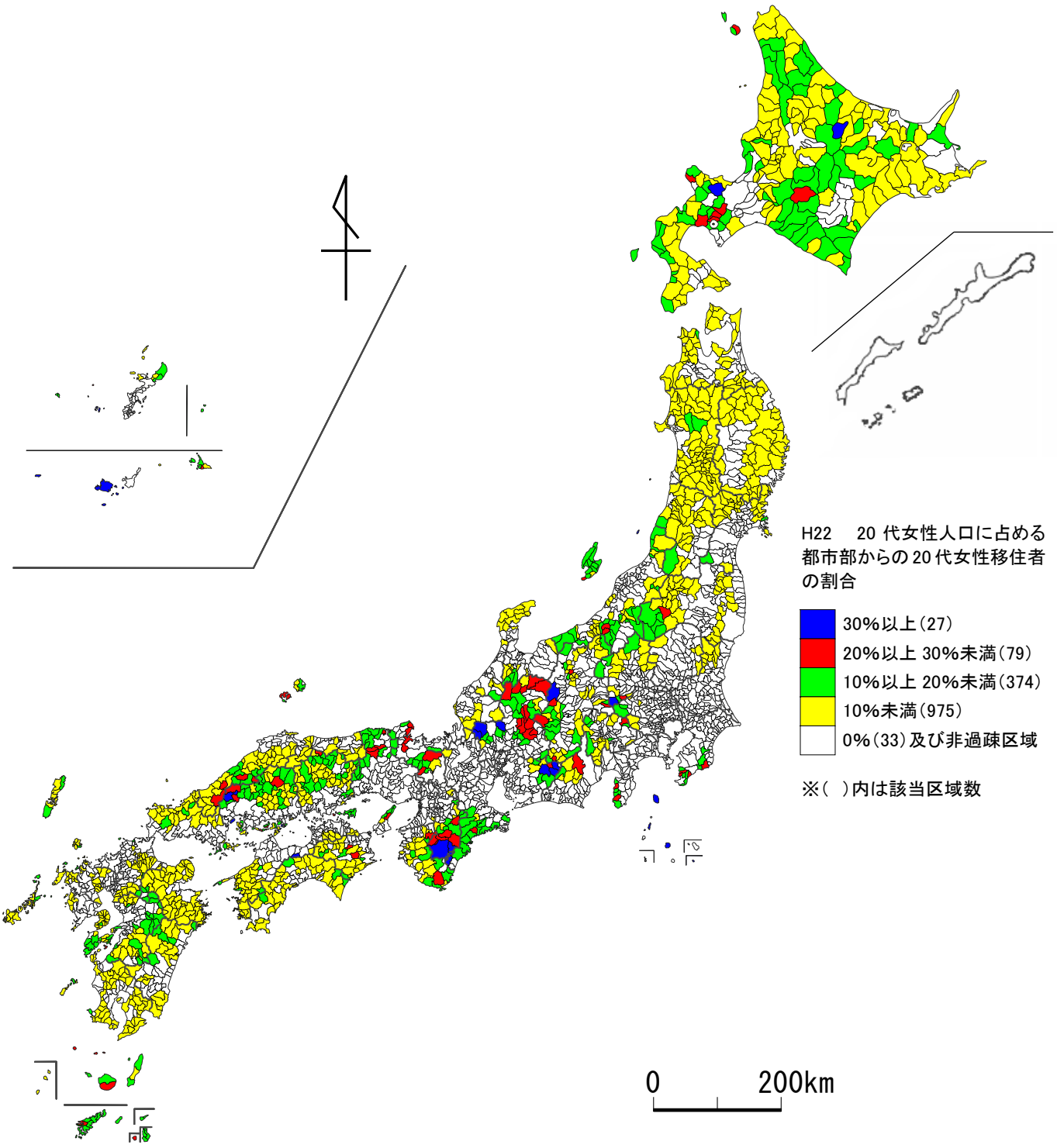
○過疎地域の区域単位で、20 代男性人口に占める、都市部からの 20 代男性移住者の割合をみると、東北、四国、北陸及び九州では、「10%未満」の区域が約8割を占める。




※1 区域は平成 12 年 4 月 1 日時点の市町村の区域。

## 過疎地域の区域の 20 代女性人口に占める、都市部からの 20 代女性移住者の割合（H22 国勢調査）

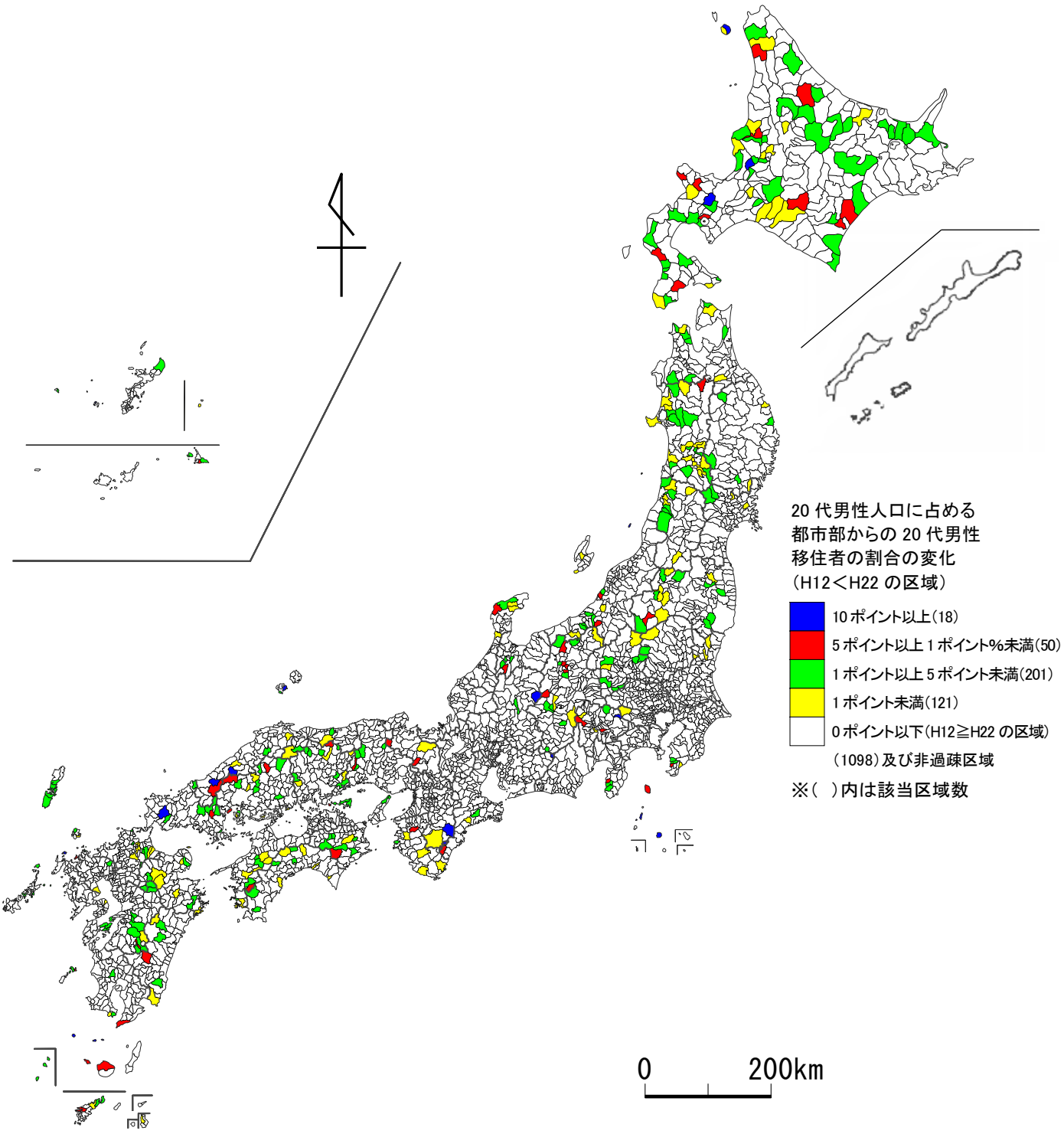
○過疎地域の区域単位で、20 代女性人口に占める、都市部からの 20 代女性移住者の割合をみると、東海と沖縄では、「30%以上」の区域の割合が高い（H12 国勢調査も同様）。H22 国勢調査では、東海で 9.2%、沖縄で 17.4%となっている。一方、北陸、東北、九州及び四国では、「10%未満」の区域が7～8割近くを占めている。




※1 区域は平成 12 年 4 月 1 日時点の市町村の区域。

## 過疎地域の区域の 20 代男性人口に占める、都市部からの 20 代男性移住者の割合
## （H12 国勢調査と H22 国勢調査を比べて割合が増加している区域）

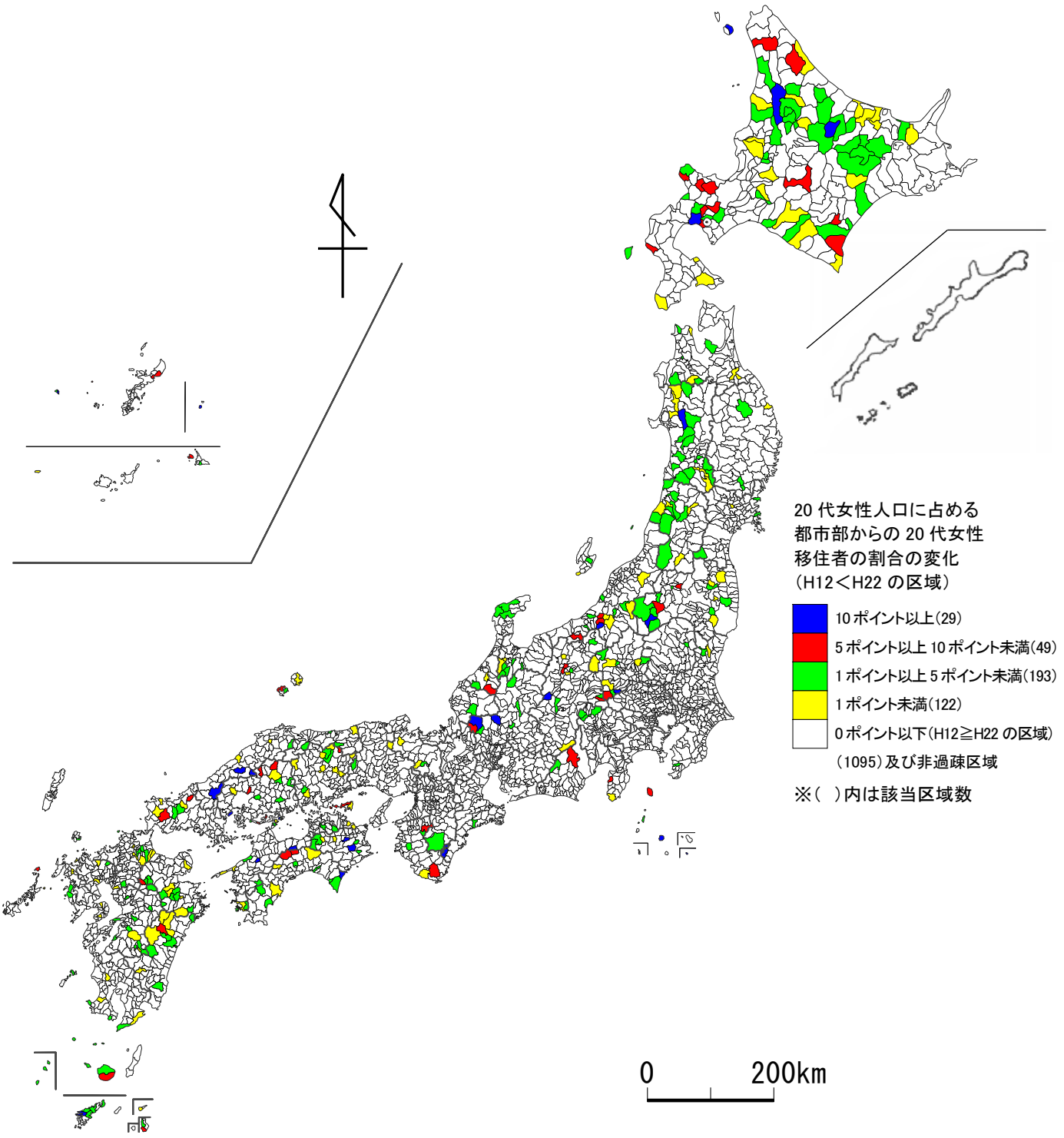
○過疎地域の区域単位で、20 代男性人口に占める、都市部からの 20 代男性移住者の割合を、H12 国勢調査と H22 国勢調査で比較すると、26.2%の区域（390 区域）で拡大している。特に、北海道、関東及び沖縄では、3割以上の区域で拡大している。




※1 区域は平成 12 年 4 月 1 日時点の市町村の区域。

## 過疎地域の区域の 20 代女性人口に占める、都市部からの 20 代女性移住者の割合
## （H12 国勢調査と H22 国勢調査を比べて割合が増加している区域）

○過疎地域の区域単位で、20 代女性人口に占める、都市部からの 20 代女性移住者の割合を、H12 国勢調査と H22 国勢調査で比較すると、26.4%の区域（393 区域）で拡大している。特に、北海道と北陸では約4割の区域で拡大しており、四国や沖縄でも3割以上の区域で拡大している。




※1 区域は平成 12 年 4 月 1 日時点の市町村の区域。

## （４）過疎地域の区域の 30 代男性人口に占める、都市部からの 30 代男性移住者の割合

○過疎地域の区域単位で、30 代男性人口に占める、都市部からの 30 代男性移住者の割合をみると、関東、東海及び近畿では、H12 国勢調査、H22 国勢調査ともに 10%以上の区域（図表中「10%以上20%未満」及び「20%以上」の区域の合計）の割合が、他の地域ブロックと比べて高くなっている。一方、東北と北陸は、H22 国勢調査では、「5%未満」の区域が8割超を占めている。
また、30 代男性人口に占める、都市部からの 30 代男性移住者の割合を、H12 国勢調査と H22 国勢調査で比較すると、北海道と関東では、3割以上の区域で拡大している。

■ 区域の30代男性人口に占める都市部からの30代男性移住者の割合

| 地域ブロック | | H12 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 北陸 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄 | 合計 |
| 区域数 | | 176 (100.0%) | 295 (100.0%) | 130 (100.0%) | 76 (100.0%) | 35 (100.0%) | 93 (100.0%) | 205 (100.0%) | 132 (100.0%) | 323 (100.0%) | 23 (100.0%) | 1,488 (100.0%) |
| 区域の30代男性人口に占める都市部からの30代男性移住者の割合 | 20%以上 | 3 (1.7%) | 2 (0.7%) | 14 (10.8%) | 16 (21.1%) | 1 (2.9%) | 8 (8.6%) | 1 (0.5%) | 1 (0.8%) | 1 (0.3%) | 0 (0.0%) | 47 (3.2%) |
| | 10%以上20%未満 | 25 (14.2%) | 20 (6.8%) | 27 (20.8%) | 36 (47.4%) | 1 (2.9%) | 49 (52.7%) | 47 (22.9%) | 7 (5.3%) | 31 (9.6%) | 7 (30.4%) | 250 (16.8%) |
| | 5%以上10%未満 | 102 (58.0%) | 87 (29.5%) | 37 (28.5%) | 22 (28.9%) | 11 (31.4%) | 26 (28.0%) | 94 (45.9%) | 29 (22.0%) | 164 (50.8%) | 14 (60.9%) | 586 (39.4%) |
| | 5%未満 | 45 (25.6%) | 185 (62.7%) | 49 (37.7%) | 2 (2.6%) | 20 (57.1%) | 10 (10.8%) | 63 (30.7%) | 90 (68.2%) | 127 (39.3%) | 2 (8.7%) | 593 (39.9%) |
| | 0% | 1 (0.6%) | 1 (0.3%) | 3 (2.3%) | 0 (0.0%) | 2 (5.7%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 5 (3.8%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 12 (0.8%) |

| 地域ブロック | | H22 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 北陸 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄 | 合計 |
| 区域数 | | 176 (100.0%) | 295 (100.0%) | 130 (100.0%) | 76 (100.0%) | 35 (100.0%) | 93 (100.0%) | 205 (100.0%) | 132 (100.0%) | 323 (100.0%) | 23 (100.0%) | 1,488 (100.0%) |
| 区域の30代男性人口に占める都市部からの30代男性移住者の割合 | 20%以上 | 1 (0.6%) | 0 (0.0%) | 9 (6.9%) | 4 (5.3%) | 0 (0.0%) | 5 (5.4%) | 5 (2.4%) | 0 (0.0%) | 2 (0.6%) | 0 (0.0%) | 26 (1.7%) |
| | 10%以上20%未満 | 17 (9.7%) | 8 (2.7%) | 25 (19.2%) | 38 (50.0%) | 1 (2.9%) | 28 (30.1%) | 19 (9.3%) | 4 (3.0%) | 17 (5.3%) | 3 (13.0%) | 160 (10.8%) |
| | 5%以上10%未満 | 87 (49.4%) | 39 (13.2%) | 35 (26.9%) | 29 (38.2%) | 1 (2.9%) | 38 (40.9%) | 79 (38.5%) | 19 (14.4%) | 109 (33.7%) | 9 (39.1%) | 445 (29.9%) |
| | 5%未満 | 70 (39.8%) | 243 (82.4%) | 56 (43.1%) | 4 (5.3%) | 30 (85.7%) | 21 (22.6%) | 99 (48.3%) | 93 (70.5%) | 191 (59.1%) | 11 (47.8%) | 818 (55.0%) |
| | 0% | 1 (0.6%) | 5 (1.7%) | 5 (3.8%) | 1 (1.3%) | 3 (8.6%) | 1 (1.1%) | 3 (1.5%) | 16 (12.1%) | 4 (1.2%) | 0 (0.0%) | 39 (2.6%) |

■ 区域の30代男性人口に占める都市部からの30代男性移住者の割合の変化

| | | | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 北陸 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 区域数 | | | 176 (100.0%) | 295 (100.0%) | 130 (100.0%) | 76 (100.0%) | 35 (100.0%) | 93 (100.0%) | 205 (100.0%) | 132 (100.0%) | 323 (100.0%) | 23 (100.0%) | 1,488 (100.0%) |
| 区域の30代男性人口に占める都市部からの30代男性移住者の割合の変化 | 拡大（H12＜H22） | | 53 (30.1%) | 59 (20.0%) | 45 (34.6%) | 17 (22.4%) | 7 (20.0%) | 11 (11.8%) | 54 (26.3%) | 28 (21.2%) | 91 (28.2%) | 4 (17.4%) | 369 (24.8%) |
| | | 10ポイント以上 | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 6 (4.6%) | 1 (1.3%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 3 (1.5%) | 1 (0.8%) | 2 (0.6%) | 0 (0.0%) | 13 (0.9%) |
| | | 5ポイント以上10ポイント未満 | 5 (2.8%) | 1 (0.3%) | 2 (1.5%) | 2 (2.6%) | 0 (0.0%) | 3 (3.2%) | 3 (1.5%) | 4 (3.0%) | 8 (2.5%) | 0 (0.0%) | 28 (1.9%) |
| | | 1ポイント以上5ポイント未満 | 35 (19.9%) | 30 (10.2%) | 20 (15.4%) | 12 (15.8%) | 2 (5.7%) | 5 (5.4%) | 27 (13.2%) | 13 (9.8%) | 44 (13.6%) | 2 (8.7%) | 190 (12.8%) |
| | | 1ポイント未満 | 13 (7.4%) | 28 (9.5%) | 17 (13.1%) | 2 (2.6%) | 5 (14.3%) | 3 (3.2%) | 21 (10.2%) | 10 (7.6%) | 37 (11.5%) | 2 (8.7%) | 138 (9.3%) |
| | 縮小（H12≧H22） | | 123 (69.9%) | 236 (80.0%) | 85 (65.4%) | 59 (77.6%) | 28 (80.0%) | 82 (88.2%) | 151 (73.7%) | 104 (78.8%) | 232 (71.8%) | 19 (82.6%) | 1,119 (75.2%) |

※1 区域は平成 12 年 4 月 1 日時点の市町村の区域。

## （５）過疎地域の区域の 30 代女性人口に占める、都市部からの 30 代女性移住者の割合

○過疎地域の区域単位で、30 代女性人口に占める、都市部からの 30 代女性移住者の割合をみると、東海では、H12 国勢調査、H22 国勢調査ともに、10%以上の区域（図表中「10%以上 20%未満」及び「20%以上」の区域の合計）の割合が、他の地域ブロックと比べて高い。特に H12 国勢調査では、「20%以上」の区域が 14.5%を占めている。一方、北陸と東北では、H12 国勢調査、H22 国勢調査ともに「5%未満」の区域が7～8割を占めている。

また、30 代女性人口に占める、都市部からの 30 代女性移住者の割合を、H12 国勢調査と H22 国勢調査で比較すると、40.2%の区域（598 区域）で拡大しており、20 代男性（26.2%）や 20 代女性（26.4%）、30 代男性（24.8%）の場合よりも多くの区域で拡大している。

■ 区域の30代女性人口に占める都市部からの30代女性移住者の割合

| 地域ブロック | | H12 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 北陸 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄 | 合計 |
| 区域数 | | 176 (100.0%) | 295 (100.0%) | 130 (100.0%) | 76 (100.0%) | 35 (100.0%) | 93 (100.0%) | 205 (100.0%) | 132 (100.0%) | 323 (100.0%) | 23 (100.0%) | 1,488 (100.0%) |
| 区域の30代女性人口に占める都市部からの30代女性移住者の割合 | 20%以上 | 0 (0.0%) | 1 (0.3%) | 13 (10.0%) | 11 (14.5%) | 0 (0.0%) | 6 (6.5%) | 0 (0.0%) | 1 (0.8%) | 0 (0.0%) | 1 (4.3%) | 33 (2.2%) |
| | 10%以上20%未満 | 22 (12.5%) | 11 (3.7%) | 29 (22.3%) | 41 (53.9%) | 2 (5.7%) | 51 (54.8%) | 40 (19.5%) | 2 (1.5%) | 27 (8.4%) | 6 (26.1%) | 231 (15.5%) |
| | 5%以上10%未満 | 90 (51.1%) | 68 (23.1%) | 36 (27.7%) | 18 (23.7%) | 3 (8.6%) | 24 (25.8%) | 86 (42.0%) | 21 (15.9%) | 118 (36.5%) | 13 (56.5%) | 477 (32.1%) |
| | 5%未満 | 64 (36.4%) | 214 (72.5%) | 50 (38.5%) | 6 (7.9%) | 30 (85.7%) | 12 (12.9%) | 77 (37.6%) | 96 (72.7%) | 177 (54.8%) | 2 (8.7%) | 728 (48.9%) |
| | 0% | 0 (0.0%) | 1 (0.3%) | 2 (1.5%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 2 (1.0%) | 12 (9.1%) | 1 (0.3%) | 1 (4.3%) | 19 (1.3%) |

| 地域ブロック | | H22 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 北陸 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄 | 合計 |
| 区域数 | | 176 (100.0%) | 295 (100.0%) | 130 (100.0%) | 76 (100.0%) | 35 (100.0%) | 93 (100.0%) | 205 (100.0%) | 132 (100.0%) | 323 (100.0%) | 23 (100.0%) | 1,488 (100.0%) |
| 区域の30代女性人口に占める都市部からの30代女性移住者の割合 | 20%以上 | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 10 (7.7%) | 9 (11.8%) | 0 (0.0%) | 4 (4.3%) | 3 (1.5%) | 0 (0.0%) | 1 (0.3%) | 1 (4.3%) | 28 (1.9%) |
| | 10%以上20%未満 | 17 (9.7%) | 7 (2.4%) | 34 (26.2%) | 44 (57.9%) | 1 (2.9%) | 38 (40.9%) | 25 (12.2%) | 4 (3.0%) | 24 (7.4%) | 5 (21.7%) | 199 (13.4%) |
| | 5%以上10%未満 | 88 (50.0%) | 46 (15.6%) | 34 (26.2%) | 22 (28.9%) | 1 (2.9%) | 33 (35.5%) | 94 (45.9%) | 16 (12.1%) | 93 (28.8%) | 12 (52.2%) | 439 (29.5%) |
| | 5%未満 | 70 (39.8%) | 235 (79.7%) | 47 (36.2%) | 1 (1.3%) | 29 (82.9%) | 16 (17.2%) | 79 (38.5%) | 100 (75.8%) | 198 (61.3%) | 2 (8.7%) | 777 (52.2%) |
| | 0% | 1 (0.6%) | 7 (2.4%) | 5 (3.8%) | 0 (0.0%) | 4 (11.4%) | 2 (2.2%) | 4 (2.0%) | 12 (9.1%) | 7 (2.2%) | 3 (13.0%) | 45 (3.0%) |

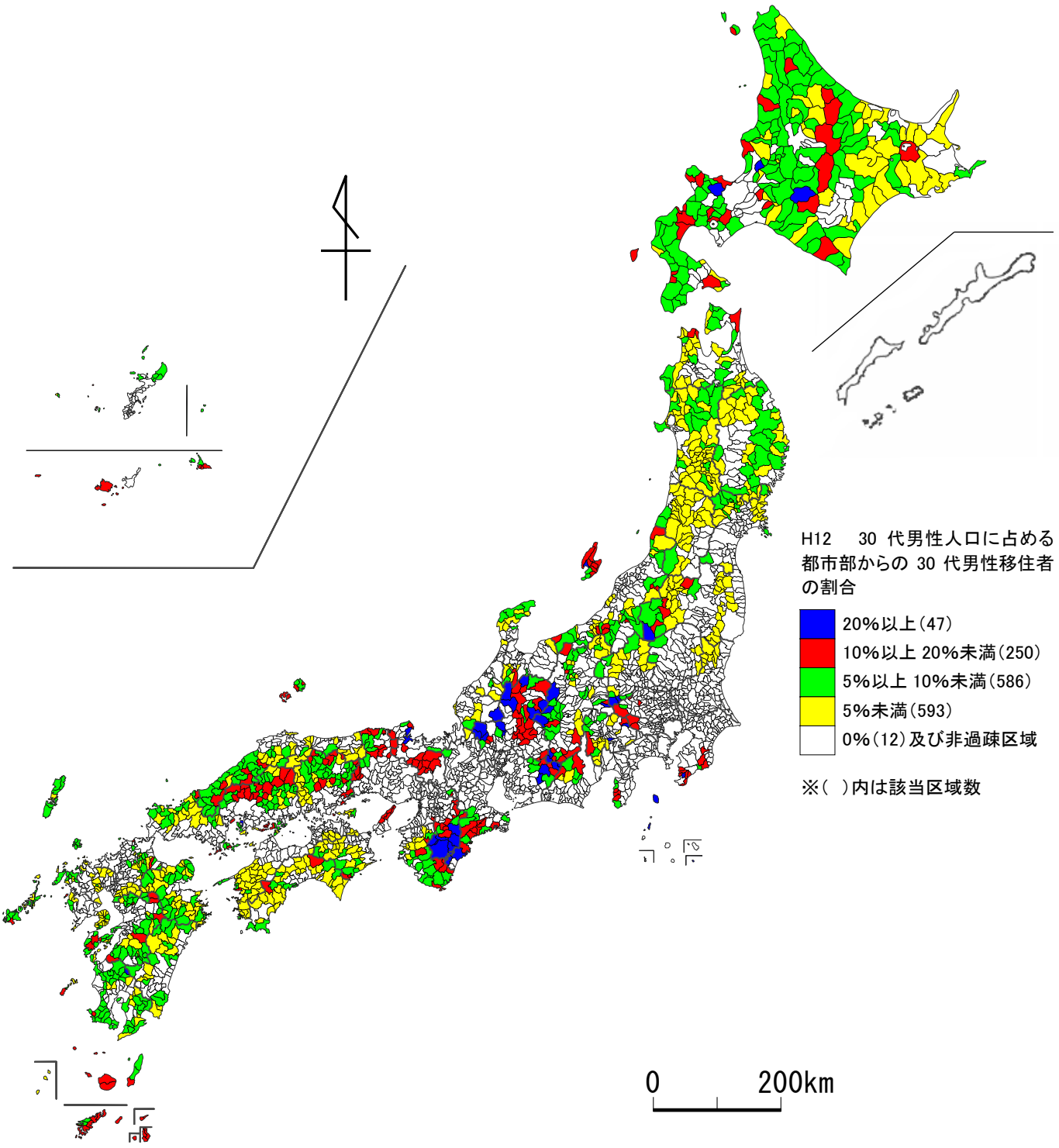
■ 区域の30代女性人口に占める都市部からの30代女性移住者の割合の変化

| | | | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 北陸 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 区域数 | | | 176 (100.0%) | 295 (100.0%) | 130 (100.0%) | 76 (100.0%) | 35 (100.0%) | 93 (100.0%) | 205 (100.0%) | 132 (100.0%) | 323 (100.0%) | 23 (100.0%) | 1,488 (100.0%) |
| 区域の30代女性人口に占める都市部からの30代女性移住者の割合の変化 | 拡大（H12＜H22） | | 75 (42.6%) | 91 (30.8%) | 60 (46.2%) | 41 (53.9%) | 14 (40.0%) | 29 (31.2%) | 89 (43.4%) | 52 (39.4%) | 139 (43.0%) | 8 (34.8%) | 598 (40.2%) |
| | | 10ポイント以上 | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 1 (0.8%) | 1 (1.3%) | 0 (0.0%) | 1 (1.1%) | 2 (1.0%) | 2 (1.5%) | 1 (0.3%) | 0 (0.0%) | 8 (0.5%) |
| | | 5ポイント以上10ポイント未満 | 5 (2.8%) | 0 (0.0%) | 12 (9.2%) | 8 (10.5%) | 0 (0.0%) | 1 (1.1%) | 16 (7.8%) | 2 (1.5%) | 6 (1.9%) | 1 (4.3%) | 51 (3.4%) |
| | | 1ポイント以上5ポイント未満 | 39 (22.2%) | 45 (15.3%) | 31 (23.8%) | 21 (27.6%) | 6 (17.1%) | 12 (12.9%) | 46 (22.4%) | 27 (20.5%) | 76 (23.5%) | 7 (30.4%) | 310 (20.8%) |
| | | 1ポイント未満 | 31 (17.6%) | 46 (15.6%) | 16 (12.3%) | 11 (14.5%) | 8 (22.9%) | 15 (16.1%) | 25 (12.2%) | 21 (15.9%) | 56 (17.3%) | 0 (0.0%) | 229 (15.4%) |
| | 縮小（H12≧H22） | | 101 (57.4%) | 204 (69.2%) | 70 (53.8%) | 35 (46.1%) | 21 (60.0%) | 64 (68.8%) | 116 (56.6%) | 80 (60.6%) | 184 (57.0%) | 15 (65.2%) | 890 (59.8%) |

※1 区域は平成 12 年 4 月 1 日時点の市町村の区域。

## 過疎地域の区域の 30 代男性人口に占める、都市部からの 30 代男性移住者の割合（H12 国勢調査）

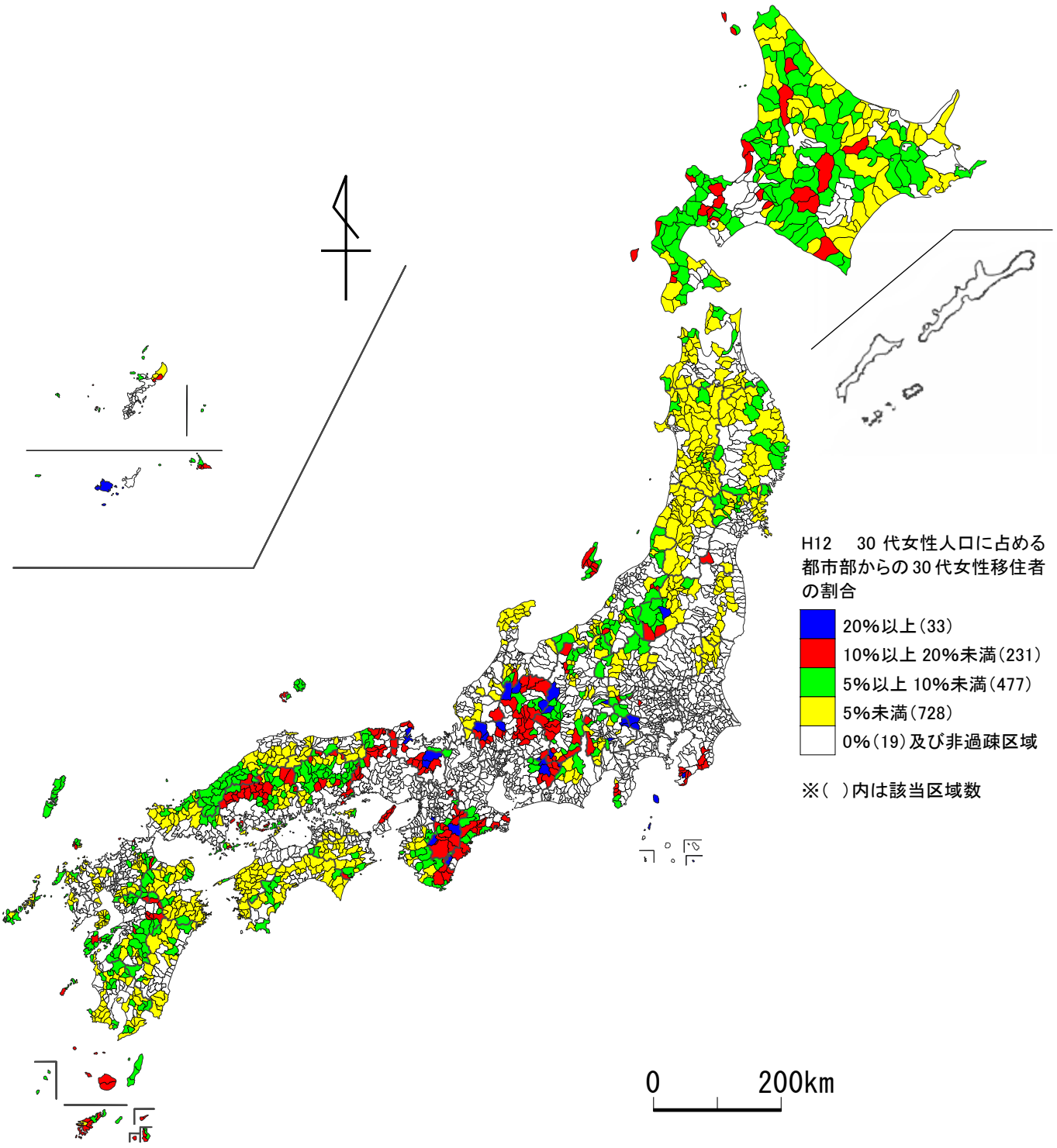
○過疎地域の区域単位で、30 代男性人口に占める、都市部からの 30 代男性移住者の割合をみると、関東、東海及び近畿では、10%以上の区域（「10%以上 20%未満」及び「20%以上」の区域の合計）の割合が高くなっている（H22 国勢調査も同様）。




※1 区域は平成 12 年 4 月 1 日時点の市町村の区域。

## 過疎地域の区域の 30 代女性人口に占める、都市部からの 30 代女性移住者の割合
（H12 国勢調査）

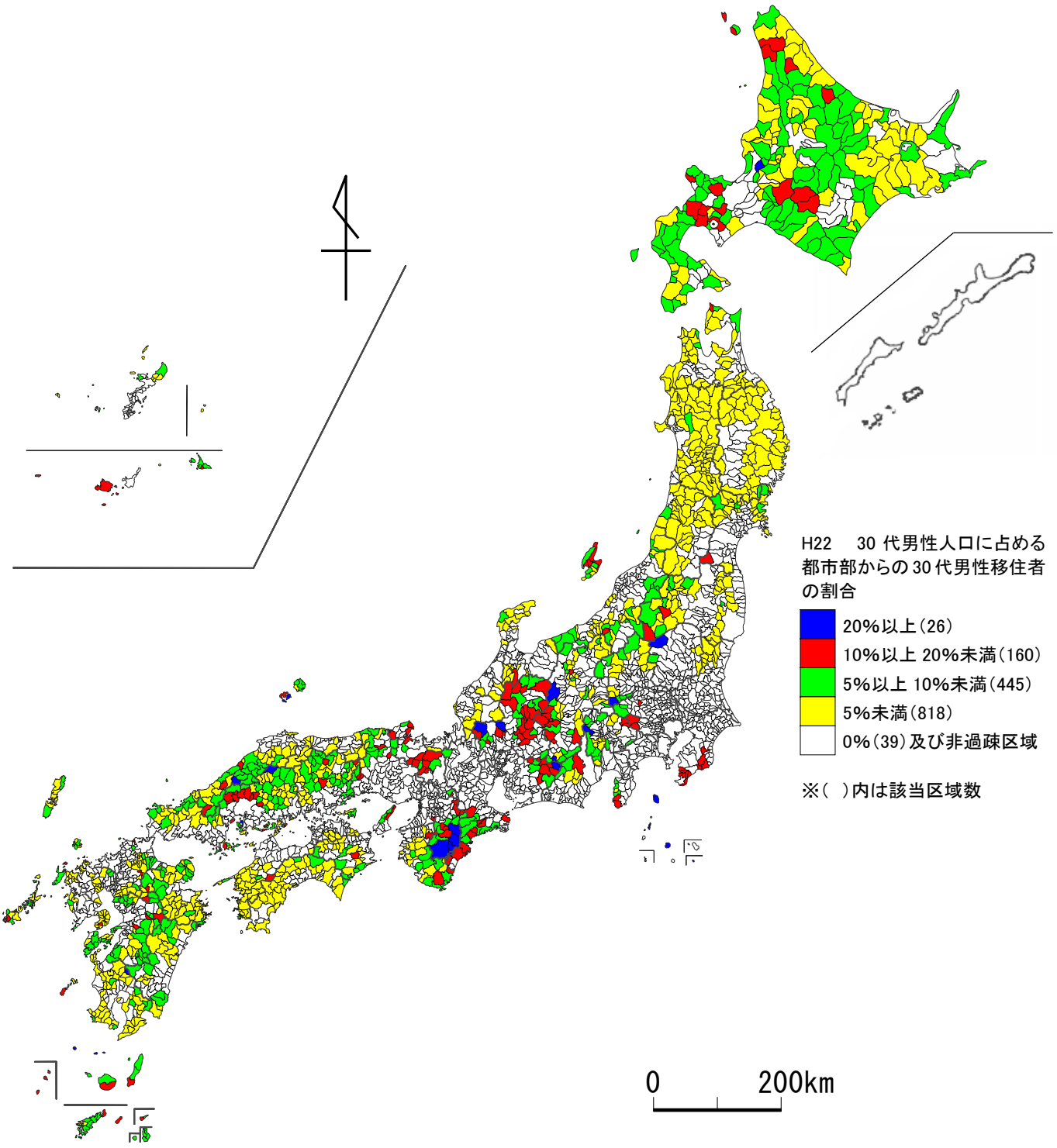
○過疎地域の区域単位で、30 代女性人口に占める、都市部からの 30 代女性移住者の割合をみると、東海では、10%以上の区域（「10%以上 20%未満」及び「20%以上」の区域の合計）の割合が高くなっており（H22 国勢調査も同様）、H12 国勢調査では「20%以上」の区域が 14.5%を占めている。一方、北陸及び東北では、「5%未満」の区域が7～8割を占めている（H22 国勢調査も同様）。




※1 区域は平成 12 年 4 月 1 日時点の市町村の区域。

## 過疎地域の区域の 30 代男性人口に占める、都市部からの 30 代男性移住者の割合
（H22 国勢調査）

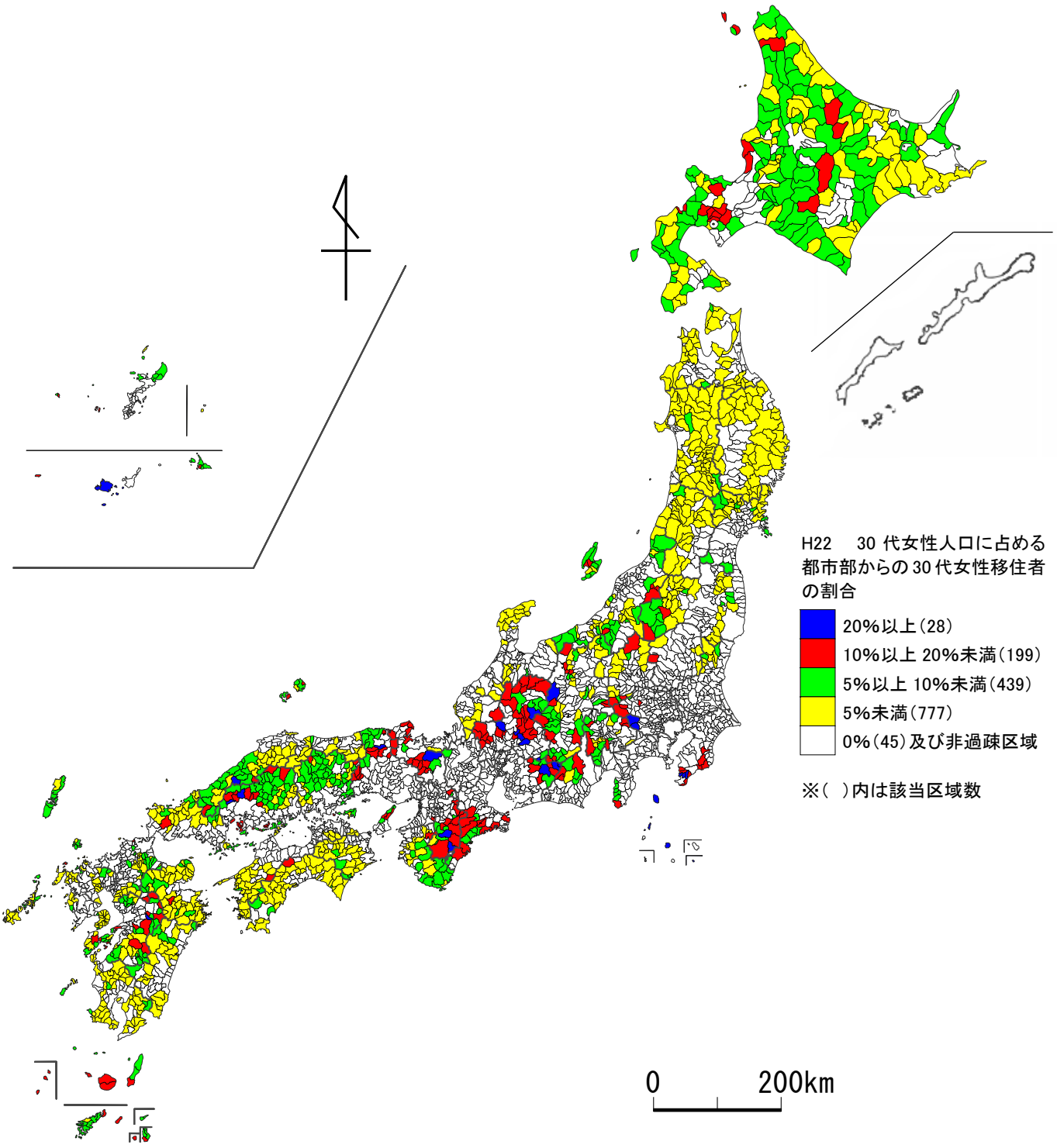
○過疎地域の区域単位で、30 代男性人口に占める、都市部からの 30 代男性移住者の割合をみると、東北と北陸は、「5%未満」の区域が8割超を占めている。




※1 区域は平成 12 年 4 月 1 日時点の市町村の区域。

## 過疎地域の区域の 30 代女性人口に占める、都市部からの 30 代女性移住者の割合
（H22 国勢調査）

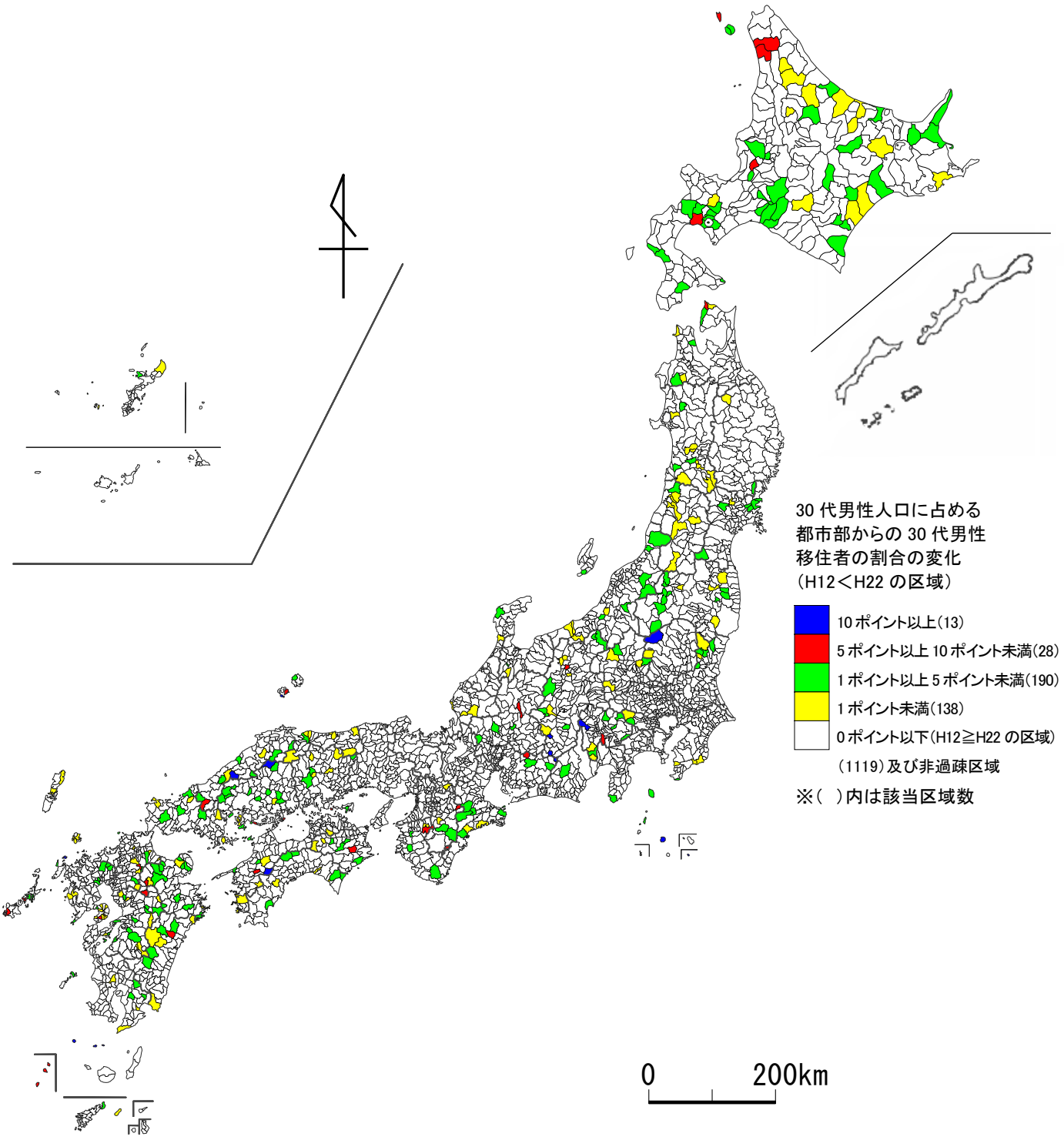
○過疎地域の区域単位で、30 代女性人口に占める、都市部からの 30 代女性移住者の割合をみると、東海では、10%以上の区域（「10%以上 20%未満」及び「20%以上」の区域の合計）の割合が高い（H12 国勢調査も同様）。一方、北陸及び東北では、「5%未満」の区域が7～8割を占めている（H12 国勢調査も同様）。




※1 区域は平成 12 年 4 月 1 日時点の市町村の区域。

## 過疎地域の区域の 30 代男性人口に占める、都市部からの 30 代男性移住者の割合
## （H12 国勢調査と H22 国勢調査を比べて割合が増加している区域）

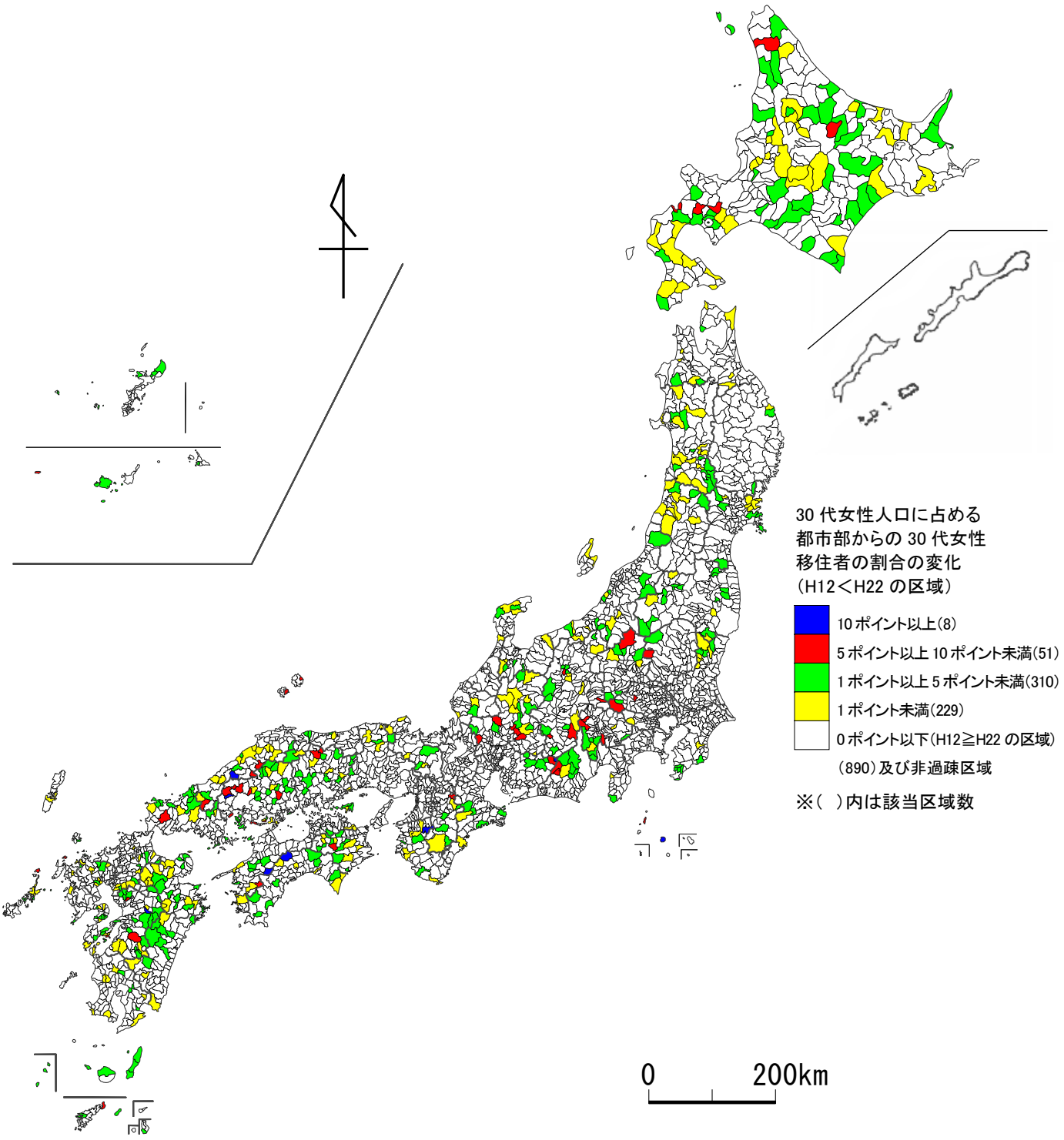
○過疎地域の区域単位で、30 代男性人口に占める、都市部からの 30 代男性移住者の割合を、H12 国勢調査と H22 国勢調査で比較すると、24.8%の区域（369 区域）で拡大している。特に、北海道と関東では、3割以上の区域で拡大している。




※1 区域は平成 12 年 4 月 1 日時点の市町村の区域。

過疎地域の区域の 30 代女性人口に占める、都市部からの 30 代女性移住者の割合
（H12 国勢調査と H22 国勢調査を比べて割合が増加している区域）

○過疎地域の区域単位で、30 代女性人口に占める、都市部からの 30 代女性移住者の割合を、H12 国勢調査と H22 国勢調査で比較すると、40.2%の区域（598 区域）で拡大しており、20 代男性（26.2%）や 20 代女性（26.4%）、30 代男性（24.8%）の場合よりも多くの区域で拡大している。




※1 区域は平成 12 年 4 月 1 日時点の市町村の区域。

## （６）過疎地域の区域の 60 代人口に占める、都市部からの 60 代移住者の割合

○過疎地域の区域単位で、60 代人口に占める、都市部からの 60 代移住者の割合をみると、H22 国勢調査では、北陸以外は「1%以上5%未満」の区域の割合が最も多く、特に東海、九州及び沖縄では8割を超えている。

○また、60 代人口に占める、都市部からの 60 代移住者の割合を、H12 国勢調査と H22 国勢調査で比較すると、69.4%の区域（1,488 区域）で拡大している。特に、沖縄では9割近くの区域で拡大している。

■ 区域の60代人口に占める都市部からの60代移住者の割合

| 地域ブロック | | H12 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 北陸 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄 | 合計 |
| 区域数 | | 176<br>(100.0%) | 295<br>(100.0%) | 130<br>(100.0%) | 76<br>(100.0%) | 35<br>(100.0%) | 93<br>(100.0%) | 205<br>(100.0%) | 132<br>(100.0%) | 323<br>(100.0%) | 23<br>(100.0%) | 1,488<br>(100.0%) |
| 区域の60代人口に占める都市部からの60代移住者の割合 | 10%以上 | 0<br>(0.0%) | 0<br>(0.0%) | 1<br>(0.8%) | 0<br>(0.0%) | 0<br>(0.0%) | 0<br>(0.0%) | 1<br>(0.5%) | 0<br>(0.0%) | 0<br>(0.0%) | 0<br>(0.0%) | 2<br>(0.1%) |
| | 5%以上10%未満 | 1<br>(0.6%) | 0<br>(0.0%) | 10<br>(7.7%) | 2<br>(2.6%) | 0<br>(0.0%) | 5<br>(5.4%) | 5<br>(2.4%) | 2<br>(1.5%) | 10<br>(3.1%) | 0<br>(0.0%) | 35<br>(2.4%) |
| | 1%以上5%未満 | 65<br>(36.9%) | 131<br>(44.4%) | 90<br>(69.2%) | 56<br>(73.7%) | 5<br>(14.3%) | 80<br>(86.0%) | 133<br>(64.9%) | 76<br>(57.6%) | 232<br>(71.8%) | 9<br>(39.1%) | 877<br>(58.9%) |
| | 1%未満 | 108<br>(61.4%) | 158<br>(53.6%) | 26<br>(20.0%) | 16<br>(21.1%) | 28<br>(80.0%) | 7<br>(7.5%) | 63<br>(30.7%) | 49<br>(37.1%) | 80<br>(24.8%) | 10<br>(43.5%) | 545<br>(36.6%) |
| | 0% | 2<br>(1.1%) | 6<br>(2.0%) | 3<br>(2.3%) | 2<br>(2.6%) | 2<br>(5.7%) | 1<br>(1.1%) | 3<br>(1.5%) | 5<br>(3.8%) | 1<br>(0.3%) | 4<br>(17.4%) | 29<br>(1.9%) |

| 地域ブロック | | H22 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 北陸 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄 | 合計 |
| 区域数 | | 176<br>(100.0%) | 295<br>(100.0%) | 130<br>(100.0%) | 76<br>(100.0%) | 35<br>(100.0%) | 93<br>(100.0%) | 205<br>(100.0%) | 132<br>(100.0%) | 323<br>(100.0%) | 23<br>(100.0%) | 1,488<br>(100.0%) |
| 区域の60代人口に占める都市部からの60代移住者の割合 | 10%以上 | 1<br>(0.6%) | 0<br>(0.0%) | 6<br>(4.6%) | 4<br>(5.3%) | 0<br>(0.0%) | 1<br>(1.1%) | 2<br>(1.0%) | 0<br>(0.0%) | 1<br>(0.3%) | 0<br>(0.0%) | 15<br>(1.0%) |
| | 5%以上10%未満 | 4<br>(2.3%) | 1<br>(0.3%) | 19<br>(14.6%) | 6<br>(7.9%) | 0<br>(0.0%) | 14<br>(15.1%) | 19<br>(9.3%) | 3<br>(2.3%) | 18<br>(5.6%) | 1<br>(4.3%) | 85<br>(5.7%) |
| | 1%以上5%未満 | 98<br>(55.7%) | 163<br>(55.3%) | 87<br>(66.9%) | 61<br>(80.3%) | 12<br>(34.3%) | 69<br>(74.2%) | 157<br>(76.6%) | 97<br>(73.5%) | 259<br>(80.2%) | 20<br>(87.0%) | 1,023<br>(68.8%) |
| | 1%未満 | 71<br>(40.3%) | 128<br>(43.4%) | 16<br>(12.3%) | 5<br>(6.6%) | 21<br>(60.0%) | 9<br>(9.7%) | 27<br>(13.2%) | 26<br>(19.7%) | 44<br>(13.6%) | 1<br>(4.3%) | 348<br>(23.4%) |
| | 0% | 2<br>(1.1%) | 3<br>(1.0%) | 2<br>(1.5%) | 0<br>(0.0%) | 2<br>(5.7%) | 0<br>(0.0%) | 0<br>(0.0%) | 6<br>(4.5%) | 1<br>(0.3%) | 1<br>(4.3%) | 17<br>(1.1%) |

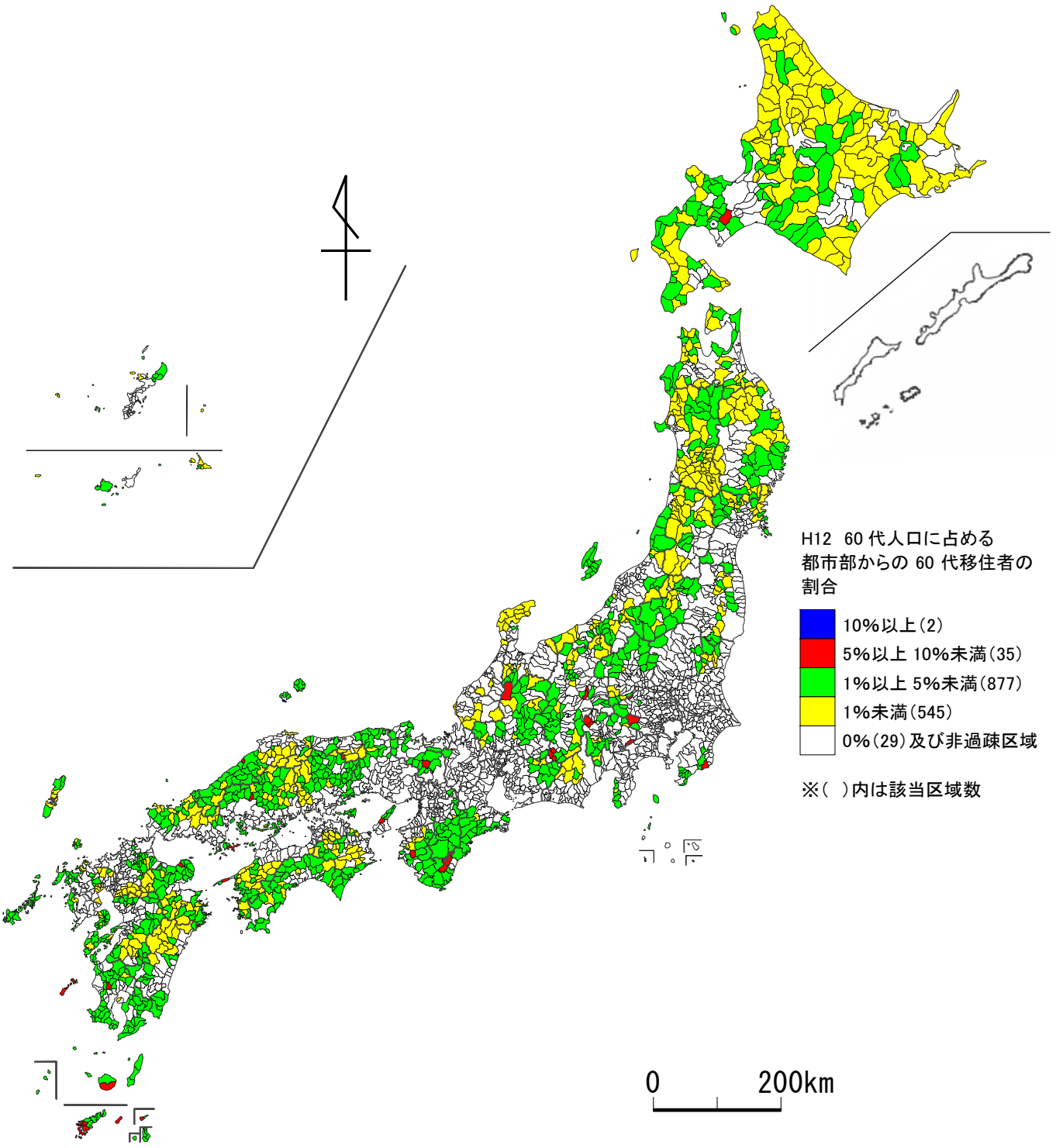
■ 区域の60代人口に占める都市部からの60代移住者の割合の変化

| | | | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 北陸 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 区域数 | | | 176<br>(100.0%) | 295<br>(100.0%) | 130<br>(100.0%) | 76<br>(100.0%) | 35<br>(100.0%) | 93<br>(100.0%) | 205<br>(100.0%) | 132<br>(100.0%) | 323<br>(100.0%) | 23<br>(100.0%) | 1,488<br>(100.0%) |
| 区域の60代人口に占める都市部からの60代移住者の割合の変化 | 拡大（H12＜H22） | | 127<br>(72.2%) | 187<br>(63.4%) | 91<br>(70.0%) | 57<br>(75.0%) | 22<br>(62.9%) | 54<br>(58.1%) | 155<br>(75.6%) | 88<br>(66.7%) | 217<br>(67.2%) | 20<br>(87.0%) | 1,018<br>(68.4%) |
| | | 10ポイント以上 | 0<br>(0.0%) | 0<br>(0.0%) | 2<br>(1.5%) | 3<br>(3.9%) | 0<br>(0.0%) | 1<br>(1.1%) | 1<br>(0.5%) | 0<br>(0.0%) | 1<br>(0.3%) | 0<br>(0.0%) | 8<br>(0.5%) |
| | | 5ポイント以上<br>10ポイント未満 | 1<br>(0.6%) | 0<br>(0.0%) | 3<br>(2.3%) | 1<br>(1.3%) | 0<br>(0.0%) | 0<br>(0.0%) | 4<br>(2.0%) | 0<br>(0.0%) | 0<br>(0.0%) | 0<br>(0.0%) | 9<br>(0.6%) |
| | | 1ポイント以上<br>5ポイント未満 | 30<br>(17.0%) | 32<br>(10.8%) | 45<br>(34.6%) | 25<br>(32.9%) | 2<br>(5.7%) | 27<br>(29.0%) | 53<br>(25.9%) | 32<br>(24.2%) | 77<br>(23.8%) | 16<br>(69.6%) | 339<br>(22.8%) |
| | | 1ポイント未満 | 96<br>(54.5%) | 155<br>(52.5%) | 41<br>(31.5%) | 28<br>(36.8%) | 20<br>(57.1%) | 26<br>(28.0%) | 97<br>(47.3%) | 56<br>(42.4%) | 139<br>(43.0%) | 4<br>(17.4%) | 662<br>(44.5%) |
| | 縮小（H12≧H22） | | 49<br>(27.8%) | 108<br>(36.6%) | 39<br>(30.0%) | 19<br>(25.0%) | 13<br>(37.1%) | 39<br>(41.9%) | 50<br>(24.4%) | 44<br>(33.3%) | 106<br>(32.8%) | 3<br>(13.0%) | 470<br>(31.6%) |

※1 区域は平成 12 年 4 月 1 日時点の市町村の区域。

## 過疎地域の区域の 60 代人口に占める、都市部からの 60 代移住者の割合（H12 国勢調査）

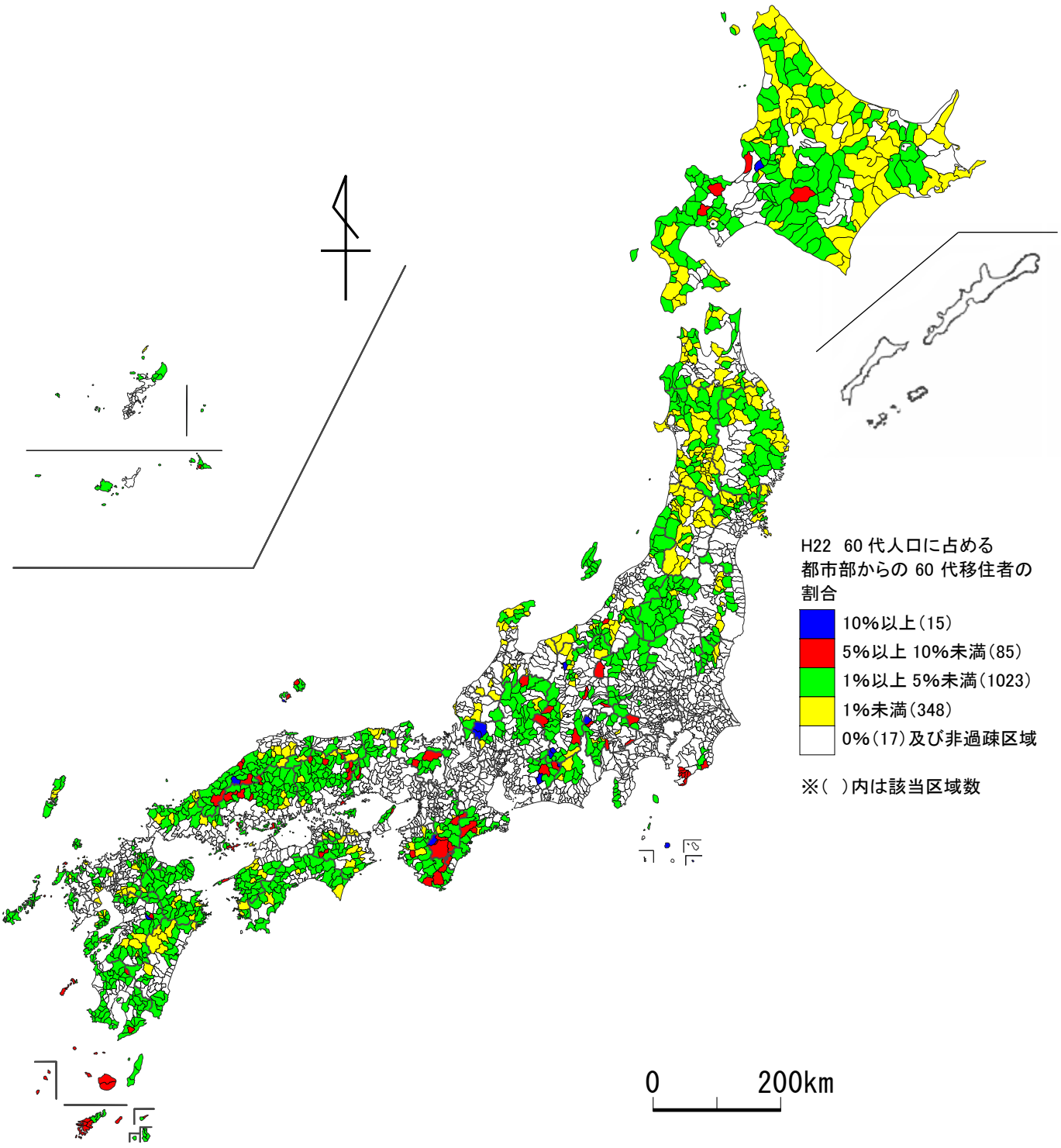
○過疎地域の区域単位で、60 代人口に占める、都市部からの 60 代移住者の割合をみると、H12 国勢調査では、北陸、北海道及び東北は「1％未満」の区域の割合が最も多くなっている。




※1 区域は平成 12 年 4 月 1 日時点の市町村の区域。

## 過疎地域の区域の 60 代人口に占める、都市部からの 60 代移住者の割合（H22 国勢調査）

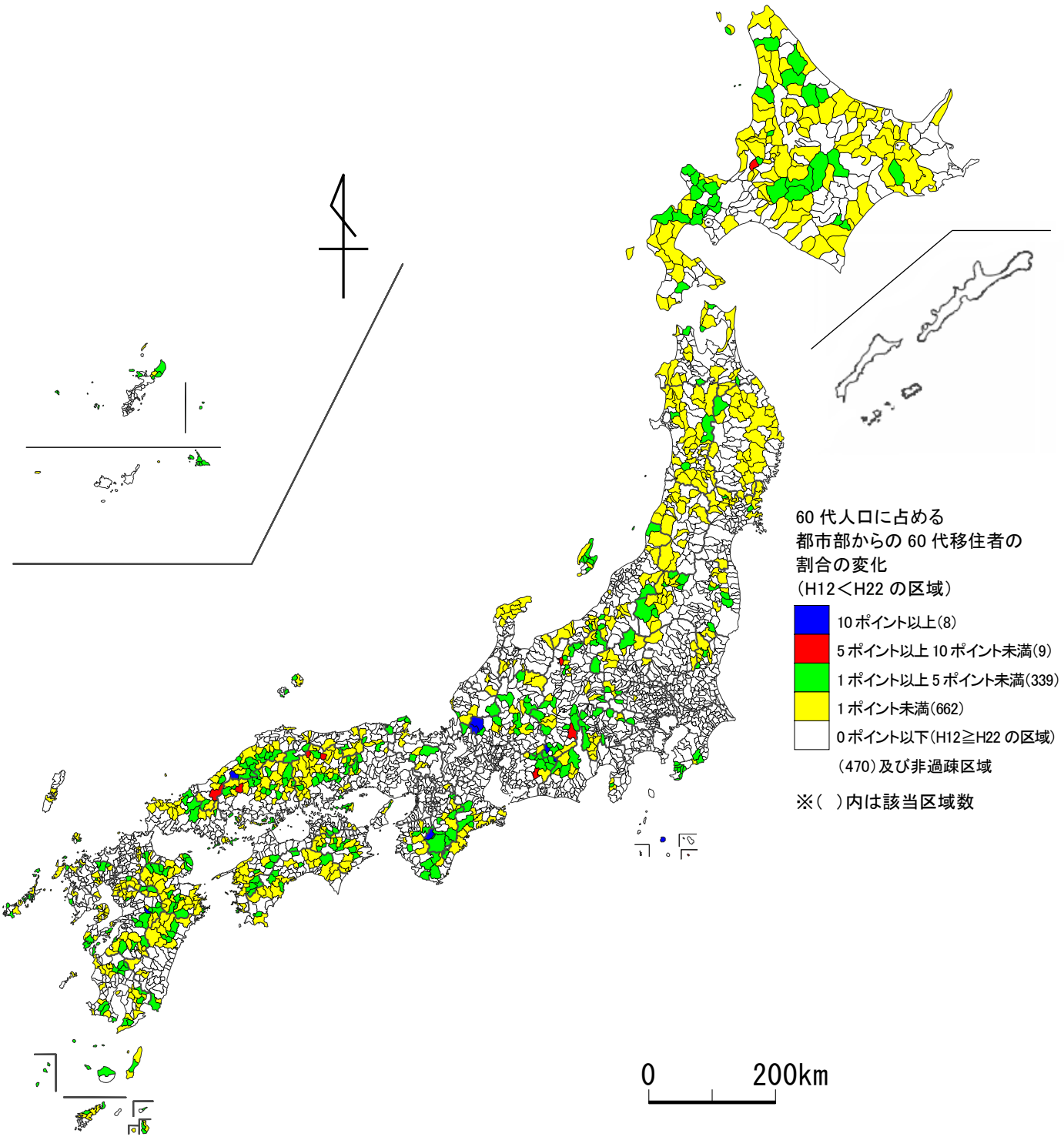
○過疎地域の区域単位で、60 代人口に占める、都市部からの 60 代移住者の割合をみると、H22 国勢調査では、北陸以外は「1％以上5％未満」の区域の割合が最も多く、特に東海、九州及び沖縄では8割を超えている。




※1 区域は平成 12 年 4 月 1 日時点の市町村の区域。

過疎地域の区域の 60 代人口に占める、都市部からの 60 代移住者の割合
（H12 国勢調査と H22 国勢調査を比べて割合が増加している区域）

○過疎地域の区域単位で、60 代人口に占める、都市部からの 60 代移住者の割合を、H12 国勢調査と H22 国勢調査で比較すると、69.4%（1,018 区域）と多くの区域で拡大している。特に、沖縄では9割近くの区域で拡大している。




※1 区域は平成 12 年 4 月 1 日時点の市町村の区域。

## １－５．都道府県別集計値（参考表）

### （１）都市部から過疎地域への移住者数の推移　〔１－３（２）②参照〕

■ 都市部から過疎地域への移住状況

| 地域ブロック（各ブロック内での「都市部」） | H12 | 過疎地域への移住者数 (A) | 都市部から過疎地域への移住者数 (B) | (B/A) | 転入元別内訳① ※[ ]内はBを基数とした構成割合 三大都市圏から | | 首都圏から | | 中京圏から | | 関西圏から | | 三大都市圏以外の大都市から | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **北海道**（札幌市） | 1 北海道 | 224,044 | 70,059 | (31.3%) | 27,003 | [38.5%] | 20,118 | [28.7%] | 2,551 | [3.6%] | 4,334 | [6.2%] | 43,056 | [61.5%] |
| **東北**（仙台市・新潟市） | 2 青森県 | 25,661 | 6,977 | (27.2%) | 5,924 | [84.9%] | 5,416 | [77.6%] | 275 | [3.9%] | 233 | [3.3%] | 1,053 | [15.1%] |
| | 3 岩手県 | 42,472 | 12,379 | (29.1%) | 9,519 | [76.9%] | 8,797 | [71.1%] | 383 | [3.1%] | 339 | [2.7%] | 2,860 | [23.1%] |
| | 4 宮城県 | 15,468 | 6,464 | (41.8%) | 2,689 | [41.6%] | 2,425 | [37.5%] | 118 | [1.8%] | 146 | [2.3%] | 3,775 | [58.4%] |
| | 5 秋田県 | 47,448 | 14,041 | (29.6%) | 11,091 | [79.0%] | 10,113 | [72.0%] | 547 | [3.9%] | 431 | [3.1%] | 2,950 | [21.0%] |
| | 6 山形県 | 22,982 | 7,074 | (30.8%) | 5,403 | [76.4%] | 4,949 | [70.0%] | 177 | [2.5%] | 277 | [3.9%] | 1,671 | [23.6%] |
| | 7 福島県 | 20,122 | 5,304 | (26.4%) | 4,612 | [87.0%] | 4,330 | [81.6%] | 137 | [2.6%] | 145 | [2.7%] | 692 | [13.0%] |
| | 15 新潟県 | 27,035 | 13,620 | (50.4%) | 8,639 | [63.4%] | 7,639 | [56.1%] | 438 | [3.2%] | 562 | [4.1%] | 4,981 | [36.6%] |
| **関東**（埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県の非過疎市町村及び一部過疎市町村） | 8 茨城県 | 4,270 | 816 | (19.1%) | 788 | [96.6%] | 756 | [92.6%] | 12 | [1.5%] | 20 | [2.5%] | 28 | [3.4%] |
| | 9 栃木県 | 2,755 | 777 | (28.2%) | 730 | [94.0%] | 653 | [84.0%] | 40 | [5.1%] | 37 | [4.8%] | 47 | [6.0%] |
| | 10 群馬県 | 9,685 | 3,123 | (32.2%) | 2,957 | [94.7%] | 2,718 | [87.0%] | 90 | [2.9%] | 149 | [4.8%] | 166 | [5.3%] |
| | 11 埼玉県 | 818 | 605 | (74.0%) | 594 | [98.2%] | 585 | [96.7%] | 3 | [0.5%] | 6 | [1.0%] | 11 | [1.8%] |
| | 12 千葉県 | 10,354 | 8,019 | (77.4%) | 7,790 | [97.1%] | 7,496 | [93.5%] | 101 | [1.3%] | 193 | [2.4%] | 229 | [2.9%] |
| | 13 東京都 | 2,725 | 2,479 | (91.0%) | 2,448 | [98.7%] | 2,407 | [97.1%] | 10 | [0.4%] | 31 | [1.3%] | 31 | [1.3%] |
| | 19 山梨県 | 7,212 | 2,400 | (33.3%) | 2,227 | [92.8%] | 1,977 | [82.4%] | 124 | [5.2%] | 126 | [5.3%] | 173 | [7.2%] |
| | 20 長野県 | 19,067 | 6,789 | (35.6%) | 6,442 | [94.9%] | 3,816 | [56.2%] | 1,656 | [24.4%] | 970 | [14.3%] | 347 | [5.1%] |
| **東海**（岐阜県・愛知県・三重県の非過疎市町村及び一部過疎市町村＋静岡市・浜松市） | 21 岐阜県 | 13,595 | 10,869 | (79.9%) | 10,625 | [97.8%] | 901 | [8.3%] | 9,106 | [83.8%] | 618 | [5.7%] | 244 | [2.2%] |
| | 22 静岡県 | 5,445 | 2,487 | (45.7%) | 1,960 | [78.8%] | 1,571 | [63.2%] | 293 | [11.8%] | 96 | [3.9%] | 527 | [21.2%] |
| | 23 愛知県 | 3,377 | 2,726 | (80.7%) | 2,565 | [94.1%] | 209 | [7.7%] | 2,247 | [82.4%] | 109 | [4.0%] | 161 | [5.9%] |
| | 24 三重県 | 11,278 | 8,197 | (72.7%) | 8,050 | [98.2%] | 605 | [7.4%] | 5,917 | [72.2%] | 1,528 | [18.6%] | 147 | [1.8%] |
| **北陸** | 16 富山県 | 4,624 | 1,296 | (28.0%) | 1,177 | [90.8%] | 601 | [46.4%] | 273 | [21.1%] | 303 | [23.4%] | 119 | [9.2%] |
| | 17 石川県 | 9,009 | 2,269 | (25.2%) | 2,088 | [92.0%] | 859 | [37.9%] | 444 | [19.6%] | 785 | [34.6%] | 181 | [8.0%] |
| | 18 福井県 | 1,881 | 595 | (31.6%) | 559 | [93.9%] | 119 | [20.0%] | 173 | [29.1%] | 267 | [44.9%] | 36 | [6.1%] |
| **近畿**（京都府・大阪府・兵庫県の非過疎市町村及び一部過疎市町村） | 25 滋賀県 | 373 | 192 | (51.5%) | 181 | [94.3%] | 13 | [6.8%] | 29 | [15.1%] | 139 | [72.4%] | 11 | [5.7%] |
| | 26 京都府 | 11,723 | 9,058 | (77.3%) | 8,863 | [97.8%] | 515 | [5.7%] | 322 | [3.6%] | 8,026 | [88.6%] | 195 | [2.2%] |
| | 27 大阪府 | 549 | 524 | (95.4%) | 512 | [97.7%] | 23 | [4.4%] | 6 | [1.1%] | 483 | [92.2%] | 12 | [2.3%] |
| | 28 兵庫県 | 12,797 | 10,071 | (78.7%) | 9,844 | [97.7%] | 420 | [4.2%] | 246 | [2.4%] | 9,178 | [91.1%] | 227 | [2.3%] |
| | 29 奈良県 | 6,718 | 5,138 | (76.5%) | 5,046 | [98.2%] | 217 | [4.2%] | 258 | [5.0%] | 4,571 | [89.0%] | 92 | [1.8%] |
| | 30 和歌山県 | 26,006 | 10,835 | (41.7%) | 10,525 | [97.1%] | 1,336 | [12.3%] | 1,464 | [13.5%] | 7,725 | [71.3%] | 310 | [2.9%] |
| **中国**（岡山市・広島市） | 31 鳥取県 | 6,145 | 1,844 | (30.0%) | 1,544 | [83.7%] | 352 | [19.1%] | 116 | [6.3%] | 1,076 | [58.4%] | 300 | [16.3%] |
| | 32 島根県 | 35,451 | 11,360 | (32.0%) | 7,598 | [66.9%] | 2,238 | [19.7%] | 659 | [5.8%] | 4,701 | [41.4%] | 3,762 | [33.1%] |
| | 33 岡山県 | 30,697 | 13,046 | (42.5%) | 7,263 | [55.7%] | 1,342 | [10.3%] | 524 | [4.0%] | 5,397 | [41.4%] | 5,783 | [44.3%] |
| | 34 広島県 | 32,469 | 14,172 | (43.6%) | 5,058 | [35.7%] | 1,923 | [13.6%] | 492 | [3.5%] | 2,643 | [18.6%] | 9,114 | [64.3%] |
| | 35 山口県 | 19,089 | 5,850 | (30.6%) | 3,406 | [58.2%] | 1,336 | [22.8%] | 393 | [6.7%] | 1,677 | [28.7%] | 2,444 | [41.8%] |
| **四国** | 36 徳島県 | 11,368 | 2,749 | (24.2%) | 2,578 | [93.8%] | 472 | [17.2%] | 208 | [7.6%] | 1,898 | [69.0%] | 171 | [6.2%] |
| | 37 香川県 | 8,176 | 2,335 | (28.6%) | 2,033 | [87.1%] | 509 | [21.8%] | 160 | [6.9%] | 1,364 | [58.4%] | 302 | [12.9%] |
| | 38 愛媛県 | 32,356 | 7,805 | (24.1%) | 6,480 | [83.0%] | 1,936 | [24.8%] | 622 | [8.0%] | 3,922 | [50.2%] | 1,325 | [17.0%] |
| | 39 高知県 | 21,130 | 5,442 | (25.8%) | 4,928 | [90.6%] | 1,317 | [24.2%] | 492 | [9.0%] | 3,119 | [57.3%] | 514 | [9.4%] |
| **九州**（北九州市・福岡市・熊本市） | 40 福岡県 | 45,218 | 13,454 | (29.8%) | 5,469 | [40.6%] | 2,842 | [21.1%] | 809 | [6.0%] | 1,818 | [13.5%] | 7,985 | [59.4%] |
| | 41 佐賀県 | 8,537 | 1,998 | (23.4%) | 1,113 | [55.7%] | 469 | [23.5%] | 184 | [9.2%] | 460 | [23.0%] | 885 | [44.3%] |
| | 42 長崎県 | 40,417 | 11,893 | (29.4%) | 7,425 | [62.4%] | 2,870 | [24.1%] | 1,542 | [13.0%] | 3,013 | [25.3%] | 4,468 | [37.6%] |
| | 43 熊本県 | 34,373 | 15,237 | (44.3%) | 5,830 | [38.3%] | 2,326 | [15.3%] | 1,105 | [7.3%] | 2,399 | [15.7%] | 9,407 | [61.7%] |
| | 44 大分県 | 43,699 | 12,315 | (28.2%) | 7,378 | [59.9%] | 3,360 | [27.3%] | 1,107 | [9.0%] | 2,911 | [23.6%] | 4,937 | [40.1%] |
| | 45 宮崎県 | 18,738 | 4,952 | (26.4%) | 3,929 | [79.3%] | 1,616 | [32.6%] | 798 | [16.1%] | 1,515 | [30.6%] | 1,023 | [20.7%] |
| | 46 鹿児島県 | 81,464 | 23,060 | (28.3%) | 19,912 | [86.3%] | 8,316 | [36.1%] | 2,699 | [11.7%] | 8,897 | [38.6%] | 3,148 | [13.7%] |
| **沖縄** | 47 沖縄県 | 13,045 | 3,978 | (30.5%) | 3,635 | [91.4%] | 2,330 | [58.6%] | 500 | [12.6%] | 805 | [20.2%] | 343 | [8.6%] |
| 合計 | | 1,071,865 | 376,673 | (35.1%) | 256,430 | [68.1%] | 127,138 | [33.8%] | 39,850 | [10.6%] | 89,442 | [23.7%] | 120,243 | [31.9%] |

■ 都市部から過疎地域への移住状況

※H12＜H22に網掛け

| 地域ブロック（各ブロック内での「都市部」） | H22 | 過疎地域への移住者数 (A) | 都市部から過疎地域への移住者数 (B) | (B/A) | 転入元別内訳 ※[ ]内はBを基数とした構成割合 三大都市圏から | | 首都圏から | | 中京圏から | | 関西圏から | | 三大都市圏以外の大都市から | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **北海道**（札幌市） | 1 北海道 | 172,491 | 50,897 | (29.5%) | 17,799 | [35.0%] | 12,920 | [25.4%] | 2,067 | [4.1%] | 2,812 | [5.5%] | 33,098 | [65.0%] |
| **東北**（仙台市・新潟市） | 2 青森県 | 18,836 | 3,987 | (21.2%) | 3,203 | [80.3%] | 2,820 | [70.7%] | 203 | [5.1%] | 180 | [4.5%] | 784 | [19.7%] |
| | 3 岩手県 | 31,013 | 6,903 | (22.3%) | 4,985 | [72.2%] | 4,483 | [64.9%] | 276 | [4.0%] | 226 | [3.3%] | 1,918 | [27.8%] |
| | 4 宮城県 | 11,991 | 4,372 | (36.5%) | 1,744 | [39.9%] | 1,529 | [35.0%] | 109 | [2.5%] | 106 | [2.4%] | 2,628 | [60.1%] |
| | 5 秋田県 | 38,103 | 9,226 | (24.2%) | 6,931 | [75.1%] | 6,077 | [65.9%] | 481 | [5.2%] | 373 | [4.0%] | 2,295 | [24.9%] |
| | 6 山形県 | 19,628 | 5,178 | (26.4%) | 3,670 | [70.9%] | 3,310 | [63.9%] | 158 | [3.1%] | 202 | [3.9%] | 1,508 | [29.1%] |
| | 7 福島県 | 15,950 | 3,617 | (22.7%) | 3,105 | [85.8%] | 2,894 | [80.0%] | 105 | [2.9%] | 106 | [2.9%] | 512 | [14.2%] |
| | 15 新潟県 | 20,461 | 9,438 | (46.1%) | 5,572 | [59.0%] | 4,858 | [51.5%] | 273 | [2.9%] | 441 | [4.7%] | 3,866 | [41.0%] |
| **関東**（埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県の非過疎市町村及び一部過疎市町村） | 8 茨城県 | 2,809 | 626 | (22.3%) | 600 | [95.8%] | 564 | [90.1%] | 19 | [3.0%] | 17 | [2.7%] | 26 | [4.2%] |
| | 9 栃木県 | 2,096 | 567 | (27.1%) | 537 | [94.7%] | 491 | [86.6%] | 23 | [4.1%] | 23 | [4.1%] | 30 | [5.3%] |
| | 10 群馬県 | 6,785 | 2,064 | (30.4%) | 1,963 | [95.1%] | 1,788 | [86.6%] | 69 | [3.3%] | 106 | [5.1%] | 101 | [4.9%] |
| | 11 埼玉県 | 493 | 401 | (81.3%) | 399 | [99.5%] | 392 | [97.8%] | 3 | [0.7%] | 4 | [1.0%] | 2 | [0.5%] |
| | 12 千葉県 | 9,134 | 6,858 | (75.1%) | 6,707 | [97.8%] | 6,484 | [94.5%] | 95 | [1.4%] | 128 | [1.9%] | 151 | [2.2%] |
| | 13 東京都 | 3,135 | 2,716 | (86.6%) | 2,664 | [98.1%] | 2,605 | [95.9%] | 14 | [0.5%] | 45 | [1.7%] | 52 | [1.9%] |
| | 19 山梨県 | 5,135 | 1,589 | (30.9%) | 1,457 | [91.7%] | 1,277 | [80.4%] | 95 | [6.0%] | 85 | [5.3%] | 132 | [8.3%] |
| | 20 長野県 | 13,456 | 4,224 | (31.4%) | 4,015 | [95.1%] | 2,516 | [59.6%] | 1,035 | [24.5%] | 464 | [11.0%] | 209 | [4.9%] |
| **東海**（岐阜県・愛知県・三重県の非過疎市町村及び一部過疎市町村＋静岡市・浜松市） | 21 岐阜県 | 9,356 | 7,151 | (76.4%) | 6,996 | [97.8%] | 565 | [7.9%] | 6,045 | [84.5%] | 386 | [5.4%] | 155 | [2.2%] |
| | 22 静岡県 | 4,185 | 1,748 | (41.8%) | 1,397 | [79.9%] | 1,078 | [61.7%] | 239 | [13.7%] | 80 | [4.6%] | 351 | [20.1%] |
| | 23 愛知県 | 2,513 | 1,838 | (73.1%) | 1,742 | [94.8%] | 106 | [5.8%] | 1,576 | [85.7%] | 60 | [3.3%] | 96 | [5.2%] |
| | 24 三重県 | 9,035 | 6,127 | (67.8%) | 5,966 | [97.4%] | 483 | [7.9%] | 4,456 | [72.7%] | 1,027 | [16.8%] | 161 | [2.6%] |
| **北陸** | 16 富山県 | 3,904 | 984 | (25.2%) | 898 | [91.3%] | 420 | [42.7%] | 234 | [23.8%] | 244 | [24.8%] | 86 | [8.7%] |
| | 17 石川県 | 7,250 | 1,695 | (23.4%) | 1,578 | [93.1%] | 697 | [41.1%] | 322 | [19.0%] | 559 | [33.0%] | 117 | [6.9%] |
| | 18 福井県 | 1,350 | 302 | (22.4%) | 294 | [97.4%] | 72 | [23.8%] | 77 | [25.5%] | 145 | [48.0%] | 8 | [2.6%] |
| **近畿**（京都府・大阪府・兵庫県の非過疎市町村及び一部過疎市町村） | 25 滋賀県 | 201 | 78 | (38.8%) | 74 | [94.9%] | 7 | [9.0%] | 13 | [16.7%] | 54 | [69.2%] | 4 | [5.1%] |
| | 26 京都府 | 8,883 | 6,533 | (73.5%) | 6,361 | [97.4%] | 383 | [5.9%] | 250 | [3.8%] | 5,728 | [87.7%] | 172 | [2.6%] |
| | 27 大阪府 | 343 | 325 | (94.8%) | 321 | [98.8%] | 6 | [1.8%] | 5 | [1.5%] | 310 | [95.4%] | 4 | [1.2%] |
| | 28 兵庫県 | 9,159 | 6,892 | (75.2%) | 6,726 | [97.6%] | 331 | [4.8%] | 162 | [2.4%] | 6,233 | [90.4%] | 166 | [2.4%] |
| | 29 奈良県 | 4,484 | 3,282 | (73.2%) | 3,227 | [98.3%] | 145 | [4.4%] | 247 | [7.5%] | 2,835 | [86.4%] | 55 | [1.7%] |
| | 30 和歌山県 | 19,266 | 7,024 | (36.5%) | 6,781 | [96.5%] | 918 | [13.1%] | 1,160 | [16.5%] | 4,703 | [67.0%] | 243 | [3.5%] |
| **中国**（岡山市・広島市） | 31 鳥取県 | 4,802 | 1,155 | (24.1%) | 993 | [86.0%] | 235 | [20.3%] | 52 | [4.5%] | 706 | [61.1%] | 162 | [14.0%] |
| | 32 島根県 | 29,373 | 9,113 | (31.0%) | 6,459 | [70.9%] | 2,260 | [24.8%] | 581 | [6.4%] | 3,618 | [39.7%] | 2,654 | [29.1%] |
| | 33 岡山県 | 24,189 | 9,214 | (38.1%) | 5,075 | [55.1%] | 1,101 | [11.9%] | 358 | [3.9%] | 3,616 | [39.2%] | 4,139 | [44.9%] |
| | 34 広島県 | 26,129 | 10,749 | (41.1%) | 3,815 | [35.5%] | 1,557 | [14.5%] | 333 | [3.1%] | 1,925 | [17.9%] | 6,934 | [64.5%] |
| | 35 山口県 | 14,042 | 4,255 | (30.3%) | 2,591 | [60.9%] | 1,151 | [27.1%] | 272 | [6.4%] | 1,168 | [27.5%] | 1,664 | [39.1%] |
| **四国** | 36 徳島県 | 8,038 | 1,738 | (21.6%) | 1,608 | [92.5%] | 340 | [19.6%] | 133 | [7.7%] | 1,135 | [65.3%] | 130 | [7.5%] |
| | 37 香川県 | 7,187 | 1,927 | (26.8%) | 1,672 | [86.8%] | 456 | [23.7%] | 129 | [6.7%] | 1,087 | [56.4%] | 255 | [13.2%] |
| | 38 愛媛県 | 25,269 | 5,132 | (20.3%) | 4,331 | [84.4%] | 1,439 | [28.0%] | 440 | [8.6%] | 2,452 | [47.8%] | 801 | [15.6%] |
| | 39 高知県 | 16,904 | 3,458 | (20.5%) | 3,142 | [90.9%] | 932 | [27.0%] | 363 | [10.5%] | 1,847 | [53.4%] | 316 | [9.1%] |
| **九州**（北九州市・福岡市・熊本市） | 40 福岡県 | 39,992 | 10,502 | (26.3%) | 3,860 | [36.8%] | 2,031 | [19.3%] | 686 | [6.5%] | 1,143 | [10.9%] | 6,642 | [63.2%] |
| | 41 佐賀県 | 7,715 | 1,423 | (18.4%) | 773 | [54.3%] | 349 | [24.5%] | 152 | [10.7%] | 272 | [19.1%] | 650 | [45.7%] |
| | 42 長崎県 | 29,645 | 7,543 | (25.4%) | 4,461 | [59.1%] | 1,851 | [24.5%] | 975 | [12.9%] | 1,635 | [21.7%] | 3,082 | [40.9%] |
| | 43 熊本県 | 27,798 | 11,601 | (41.7%) | 3,884 | [33.5%] | 1,711 | [14.7%] | 729 | [6.3%] | 1,444 | [12.4%] | 7,717 | [66.5%] |
| | 44 大分県 | 36,830 | 9,181 | (24.9%) | 5,180 | [56.4%] | 2,416 | [26.3%] | 821 | [8.9%] | 1,943 | [21.2%] | 4,001 | [43.6%] |
| | 45 宮崎県 | 14,946 | 3,704 | (24.8%) | 2,768 | [74.7%] | 1,160 | [31.3%] | 599 | [16.2%] | 1,009 | [27.2%] | 936 | [25.3%] |
| | 46 鹿児島県 | 66,190 | 16,174 | (24.4%) | 13,208 | [81.7%] | 6,046 | [37.4%] | 1,869 | [11.6%] | 5,293 | [32.7%] | 2,966 | [18.3%] |
| **沖縄** | 47 沖縄県 | 12,273 | 3,677 | (30.0%) | 3,254 | [88.5%] | 1,945 | [52.9%] | 505 | [13.7%] | 804 | [21.9%] | 423 | [11.5%] |
| 合計 | | 842,767 | 267,188 | (31.7%) | 174,786 | [65.4%] | 87,199 | [32.6%] | 28,808 | [10.8%] | 58,779 | [22.0%] | 92,402 | [34.6%] |

■ 都市部から過疎地域への移住状況

| 地域ブロック（各ブロック内での「都市部」） | H12 | 都市部から過疎地域への移住者数 | | 転入元別内訳② | | | | 転入元別内訳③ | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 同一地域ブロックの都市部から | | 他の地域ブロックの都市部から | | 同一都道府県の都市部から | | 他の都道府県の都市部から | |
| **北海道**（札幌市） | 1 北海道 | 70,059 | (100.0%) | 40,551 | (57.9%) | 29,508 | (42.1%) | 40,551 | (57.9%) | 29,508 | (42.1%) |
| **東北**（仙台市・新潟市） | 2 青森県 | 6,977 | (100.0%) | 689 | (9.9%) | 6,288 | (90.1%) | － | － | 6,977 | (100.0%) |
| | 3 岩手県 | 12,379 | (100.0%) | 2,480 | (20.0%) | 9,899 | (80.0%) | － | － | 12,379 | (100.0%) |
| | 4 宮城県 | 6,464 | (100.0%) | 3,636 | (56.3%) | 2,828 | (43.8%) | 3,617 | (56.0%) | 2,847 | (44.0%) |
| | 5 秋田県 | 14,041 | (100.0%) | 2,367 | (16.9%) | 11,674 | (83.1%) | － | － | 14,041 | (100.0%) |
| | 6 山形県 | 7,074 | (100.0%) | 1,419 | (20.1%) | 5,655 | (79.9%) | － | － | 7,074 | (100.0%) |
| | 7 福島県 | 5,304 | (100.0%) | 599 | (11.3%) | 4,705 | (88.7%) | － | － | 5,304 | (100.0%) |
| | 15 新潟県 | 13,620 | (100.0%) | 4,716 | (34.6%) | 8,904 | (65.4%) | 4,539 | (33.3%) | 9,081 | (66.7%) |
| **関東**（埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県の非過疎市町村及び一部過疎市町村） | 8 茨城県 | 816 | (100.0%) | 756 | (92.6%) | 60 | (7.4%) | － | － | 816 | (100.0%) |
| | 9 栃木県 | 777 | (100.0%) | 653 | (84.0%) | 124 | (16.0%) | － | － | 777 | (100.0%) |
| | 10 群馬県 | 3,123 | (100.0%) | 2,718 | (87.0%) | 405 | (13.0%) | － | － | 3,123 | (100.0%) |
| | 11 埼玉県 | 605 | (100.0%) | 585 | (96.7%) | 20 | (3.3%) | 442 | (73.1%) | 163 | (26.9%) |
| | 12 千葉県 | 8,019 | (100.0%) | 7,496 | (93.5%) | 523 | (6.5%) | 4,568 | (57.0%) | 3,451 | (43.0%) |
| | 13 東京都 | 2,479 | (100.0%) | 2,407 | (97.1%) | 72 | (2.9%) | 1,766 | (71.2%) | 713 | (28.8%) |
| | 19 山梨県 | 2,400 | (100.0%) | 1,977 | (82.4%) | 423 | (17.6%) | － | － | 2,400 | (100.0%) |
| | 20 長野県 | 6,789 | (100.0%) | 3,816 | (56.2%) | 2,973 | (43.8%) | － | － | 6,789 | (100.0%) |
| **東海**（岐阜県・愛知県・三重県の非過疎市町村及び一部過疎市町村＋静岡市・浜松市） | 21 岐阜県 | 10,869 | (100.0%) | 9,195 | (84.6%) | 1,674 | (15.4%) | 6,211 | (57.1%) | 4,658 | (42.9%) |
| | 22 静岡県 | 2,487 | (100.0%) | 773 | (31.1%) | 1,714 | (68.9%) | 480 | (19.3%) | 2,007 | (80.7%) |
| | 23 愛知県 | 2,726 | (100.0%) | 2,374 | (87.1%) | 352 | (12.9%) | 2,125 | (78.0%) | 601 | (22.0%) |
| | 24 三重県 | 8,197 | (100.0%) | 5,980 | (73.0%) | 2,217 | (27.0%) | 4,123 | (50.3%) | 4,074 | (49.7%) |
| **北陸** | 16 富山県 | 1,296 | (100.0%) | － | － | 1,296 | (100.0%) | － | － | 1,296 | (100.0%) |
| | 17 石川県 | 2,269 | (100.0%) | － | － | 2,269 | (100.0%) | － | － | 2,269 | (100.0%) |
| | 18 福井県 | 595 | (100.0%) | － | － | 595 | (100.0%) | － | － | 595 | (100.0%) |
| **近畿**（京都府・大阪府・兵庫県の非過疎市町村及び一部過疎市町村） | 25 滋賀県 | 192 | (100.0%) | 139 | (72.4%) | 53 | (27.6%) | － | － | 192 | (100.0%) |
| | 26 京都府 | 9,058 | (100.0%) | 8,026 | (88.6%) | 1,032 | (11.4%) | 5,541 | (61.2%) | 3,517 | (38.8%) |
| | 27 大阪府 | 524 | (100.0%) | 483 | (92.2%) | 41 | (7.8%) | 450 | (85.9%) | 74 | (14.1%) |
| | 28 兵庫県 | 10,071 | (100.0%) | 9,178 | (91.1%) | 893 | (8.9%) | 6,375 | (63.3%) | 3,696 | (36.7%) |
| | 29 奈良県 | 5,138 | (100.0%) | 4,571 | (89.0%) | 567 | (11.0%) | 2,662 | (51.8%) | 2,476 | (48.2%) |
| | 30 和歌山県 | 10,835 | (100.0%) | 7,725 | (71.3%) | 3,110 | (28.7%) | － | － | 10,835 | (100.0%) |
| **中国**（岡山市・広島市） | 31 鳥取県 | 1,844 | (100.0%) | 231 | (12.5%) | 1,613 | (87.5%) | － | － | 1,844 | (100.0%) |
| | 32 島根県 | 11,360 | (100.0%) | 3,070 | (27.0%) | 8,290 | (73.0%) | － | － | 11,360 | (100.0%) |
| | 33 岡山県 | 13,046 | (100.0%) | 5,376 | (41.2%) | 7,670 | (58.8%) | 4,712 | (36.1%) | 8,334 | (63.9%) |
| | 34 広島県 | 14,172 | (100.0%) | 8,491 | (59.9%) | 5,681 | (40.1%) | 8,071 | (57.0%) | 6,101 | (43.0%) |
| | 35 山口県 | 5,850 | (100.0%) | 1,326 | (22.7%) | 4,524 | (77.3%) | － | － | 5,850 | (100.0%) |
| **四国** | 36 徳島県 | 2,749 | (100.0%) | － | － | 2,749 | (100.0%) | － | － | 2,749 | (100.0%) |
| | 37 香川県 | 2,335 | (100.0%) | － | － | 2,335 | (100.0%) | － | － | 2,335 | (100.0%) |
| | 38 愛媛県 | 7,805 | (100.0%) | － | － | 7,805 | (100.0%) | － | － | 7,805 | (100.0%) |
| | 39 高知県 | 5,442 | (100.0%) | － | － | 5,442 | (100.0%) | － | － | 5,442 | (100.0%) |
| **九州**（北九州市・福岡市・熊本市） | 40 福岡県 | 13,454 | (100.0%) | 7,448 | (55.4%) | 6,006 | (44.6%) | 6,701 | (49.8%) | 6,753 | (50.2%) |
| | 41 佐賀県 | 1,998 | (100.0%) | 822 | (41.1%) | 1,176 | (58.9%) | － | － | 1,998 | (100.0%) |
| | 42 長崎県 | 11,893 | (100.0%) | 4,050 | (34.1%) | 7,843 | (65.9%) | － | － | 11,893 | (100.0%) |
| | 43 熊本県 | 15,237 | (100.0%) | 9,139 | (60.0%) | 6,098 | (40.0%) | 7,352 | (48.3%) | 7,885 | (51.7%) |
| | 44 大分県 | 12,315 | (100.0%) | 4,340 | (35.2%) | 7,975 | (64.8%) | － | － | 12,315 | (100.0%) |
| | 45 宮崎県 | 4,952 | (100.0%) | 851 | (17.2%) | 4,101 | (82.8%) | － | － | 4,952 | (100.0%) |
| | 46 鹿児島県 | 23,060 | (100.0%) | 2,622 | (11.4%) | 20,438 | (88.6%) | － | － | 23,060 | (100.0%) |
| **沖縄** | 47 沖縄県 | 3,978 | (100.0%) | － | － | 3,978 | (100.0%) | － | － | 3,978 | (100.0%) |
| | 合計 | 376,673 | (100.0%) | 173,075 | (45.9%) | 203,598 | (54.1%) | 110,286 | (29.3%) | 266,387 | (70.7%) |

■ 都市部から過疎地域への移住状況　　※H12＜H22に網掛け

| 地域ブロック（各ブロック内での「都市部」） | H22 | 都市部から過疎地域への移住者数 | | 転入元別内訳② | | | | 転入元別内訳③ | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 同一地域ブロックの都市部から | | 他の地域ブロックの都市部から | | 同一都道府県の都市部から | | 他の都道府県の都市部から | |
| **北海道**（札幌市） | 1 北海道 | 50,897 | (100.0%) | 31,322 | (61.5%) | 19,575 | (38.5%) | 31,322 | (61.5%) | 19,575 | (38.5%) |
| **東北**（仙台市・新潟市） | 2 青森県 | 3,987 | (100.0%) | 535 | (13.4%) | 3,452 | (86.6%) | － | － | 3,987 | (100.0%) |
| | 3 岩手県 | 6,903 | (100.0%) | 1,617 | (23.4%) | 5,286 | (76.6%) | － | － | 6,903 | (100.0%) |
| | 4 宮城県 | 4,372 | (100.0%) | 2,527 | (57.8%) | 1,845 | (42.2%) | 2,509 | (57.4%) | 1,863 | (42.6%) |
| | 5 秋田県 | 9,226 | (100.0%) | 1,834 | (19.9%) | 7,392 | (80.1%) | － | － | 9,226 | (100.0%) |
| | 6 山形県 | 5,178 | (100.0%) | 1,266 | (24.4%) | 3,912 | (75.6%) | － | － | 5,178 | (100.0%) |
| | 7 福島県 | 3,617 | (100.0%) | 436 | (12.1%) | 3,181 | (87.9%) | － | － | 3,617 | (100.0%) |
| | 15 新潟県 | 9,438 | (100.0%) | 3,669 | (38.9%) | 5,769 | (61.1%) | 3,561 | (37.7%) | 5,877 | (62.3%) |
| **関東**（埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県の非過疎市町村及び一部過疎市町村） | 8 茨城県 | 626 | (100.0%) | 564 | (90.1%) | 62 | (9.9%) | － | － | 626 | (100.0%) |
| | 9 栃木県 | 567 | (100.0%) | 491 | (86.6%) | 76 | (13.4%) | － | － | 567 | (100.0%) |
| | 10 群馬県 | 2,064 | (100.0%) | 1,788 | (86.6%) | 276 | (13.4%) | － | － | 2,064 | (100.0%) |
| | 11 埼玉県 | 401 | (100.0%) | 392 | (97.8%) | 9 | (2.2%) | 337 | (84.0%) | 64 | (16.0%) |
| | 12 千葉県 | 6,858 | (100.0%) | 6,484 | (94.5%) | 374 | (5.5%) | 3,793 | (55.3%) | 3,065 | (44.7%) |
| | 13 東京都 | 2,716 | (100.0%) | 2,605 | (95.9%) | 111 | (4.1%) | 1,890 | (69.6%) | 826 | (30.4%) |
| | 19 山梨県 | 1,589 | (100.0%) | 1,277 | (80.4%) | 312 | (19.6%) | － | － | 1,589 | (100.0%) |
| | 20 長野県 | 4,224 | (100.0%) | 2,516 | (59.6%) | 1,708 | (40.4%) | － | － | 4,224 | (100.0%) |
| **東海**（岐阜県・愛知県・三重県の非過疎市町村及び一部過疎市町村＋静岡市・浜松市） | 21 岐阜県 | 7,151 | (100.0%) | 6,101 | (85.3%) | 1,050 | (14.7%) | 4,383 | (61.3%) | 2,768 | (38.7%) |
| | 22 静岡県 | 1,748 | (100.0%) | 546 | (31.2%) | 1,202 | (68.8%) | 307 | (17.6%) | 1,441 | (82.4%) |
| | 23 愛知県 | 1,838 | (100.0%) | 1,665 | (90.6%) | 173 | (9.4%) | 1,477 | (80.4%) | 361 | (19.6%) |
| | 24 三重県 | 6,127 | (100.0%) | 4,514 | (73.7%) | 1,613 | (26.3%) | 3,246 | (53.0%) | 2,881 | (47.0%) |
| **北陸** | 16 富山県 | 984 | (100.0%) | － | － | 984 | (100.0%) | － | － | 984 | (100.0%) |
| | 17 石川県 | 1,695 | (100.0%) | － | － | 1,695 | (100.0%) | － | － | 1,695 | (100.0%) |
| | 18 福井県 | 302 | (100.0%) | － | － | 302 | (100.0%) | － | － | 302 | (100.0%) |
| **近畿**（京都府・大阪府・兵庫県の非過疎市町村及び一部過疎市町村） | 25 滋賀県 | 78 | (100.0%) | 54 | (69.2%) | 24 | (30.8%) | － | － | 78 | (100.0%) |
| | 26 京都府 | 6,533 | (100.0%) | 5,728 | (87.7%) | 805 | (12.3%) | 3,798 | (58.1%) | 2,735 | (41.9%) |
| | 27 大阪府 | 325 | (100.0%) | 310 | (95.4%) | 15 | (4.6%) | 280 | (86.2%) | 45 | (13.8%) |
| | 28 兵庫県 | 6,892 | (100.0%) | 6,233 | (90.4%) | 659 | (9.6%) | 4,515 | (65.5%) | 2,377 | (34.5%) |
| | 29 奈良県 | 3,282 | (100.0%) | 2,835 | (86.4%) | 447 | (13.6%) | 1,738 | (53.0%) | 1,544 | (47.0%) |
| | 30 和歌山県 | 7,024 | (100.0%) | 4,703 | (67.0%) | 2,321 | (33.0%) | － | － | 7,024 | (100.0%) |
| **中国**（岡山市・広島市） | 31 鳥取県 | 1,155 | (100.0%) | 132 | (11.4%) | 1,023 | (88.6%) | － | － | 1,155 | (100.0%) |
| | 32 島根県 | 9,113 | (100.0%) | 2,012 | (22.1%) | 7,101 | (77.9%) | － | － | 9,113 | (100.0%) |
| | 33 岡山県 | 9,214 | (100.0%) | 3,893 | (42.3%) | 5,321 | (57.7%) | 3,460 | (37.6%) | 5,754 | (62.4%) |
| | 34 広島県 | 10,749 | (100.0%) | 6,520 | (60.7%) | 4,229 | (39.3%) | 6,237 | (58.0%) | 4,512 | (42.0%) |
| | 35 山口県 | 4,255 | (100.0%) | 825 | (19.4%) | 3,430 | (80.6%) | － | － | 4,255 | (100.0%) |
| **四国** | 36 徳島県 | 1,738 | (100.0%) | － | － | 1,738 | (100.0%) | － | － | 1,738 | (100.0%) |
| | 37 香川県 | 1,927 | (100.0%) | － | － | 1,927 | (100.0%) | － | － | 1,927 | (100.0%) |
| | 38 愛媛県 | 5,132 | (100.0%) | － | － | 5,132 | (100.0%) | － | － | 5,132 | (100.0%) |
| | 39 高知県 | 3,458 | (100.0%) | － | － | 3,458 | (100.0%) | － | － | 3,458 | (100.0%) |
| **九州**（北九州市・福岡市・熊本市） | 40 福岡県 | 10,502 | (100.0%) | 6,165 | (58.7%) | 4,337 | (41.3%) | 5,624 | (53.6%) | 4,878 | (46.4%) |
| | 41 佐賀県 | 1,423 | (100.0%) | 601 | (42.2%) | 822 | (57.8%) | － | － | 1,423 | (100.0%) |
| | 42 長崎県 | 7,543 | (100.0%) | 2,825 | (37.5%) | 4,718 | (62.5%) | － | － | 7,543 | (100.0%) |
| | 43 熊本県 | 11,601 | (100.0%) | 7,464 | (64.3%) | 4,137 | (35.7%) | 6,008 | (51.8%) | 5,593 | (48.2%) |
| | 44 大分県 | 9,181 | (100.0%) | 3,574 | (38.9%) | 5,607 | (61.1%) | － | － | 9,181 | (100.0%) |
| | 45 宮崎県 | 3,704 | (100.0%) | 832 | (22.5%) | 2,872 | (77.5%) | － | － | 3,704 | (100.0%) |
| | 46 鹿児島県 | 16,174 | (100.0%) | 2,491 | (15.4%) | 13,683 | (84.6%) | － | － | 16,174 | (100.0%) |
| **沖縄** | 47 沖縄県 | 3,677 | (100.0%) | － | － | 3,677 | (100.0%) | － | － | 3,677 | (100.0%) |
| | 合計 | 267,188 | (100.0%) | 129,346 | (48.4%) | 137,842 | (51.6%) | 84,485 | (31.6%) | 182,703 | (68.4%) |

## （２）都市部から過疎地域への移住者の属性

### ｉ）性別　〔１－３（２）④参照〕

■ 都市部から過疎地域への移住者の属性

※H12＜H22に網掛け

| 地域ブロック（各ブロック内での「都市部」） | H12 | | 都市部から過疎地域への移住者数 | | 性別 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 男性 | | 女性 | |
| **北海道**（札幌市） | 1 | 北海道 | 70,059 | (100.0%) | 40,767 | (58.2%) | 29,292 | (41.8%) |
| **東北**（仙台市・新潟市） | 2 | 青森県 | 6,977 | (100.0%) | 3,991 | (57.2%) | 2,986 | (42.8%) |
| | 3 | 岩手県 | 12,379 | (100.0%) | 6,991 | (56.5%) | 5,388 | (43.5%) |
| | 4 | 宮城県 | 6,464 | (100.0%) | 3,511 | (54.3%) | 2,953 | (45.7%) |
| | 5 | 秋田県 | 14,041 | (100.0%) | 7,695 | (54.8%) | 6,346 | (45.2%) |
| | 6 | 山形県 | 7,074 | (100.0%) | 3,853 | (54.5%) | 3,221 | (45.5%) |
| | 7 | 福島県 | 5,304 | (100.0%) | 2,926 | (55.2%) | 2,378 | (44.8%) |
| | 15 | 新潟県 | 13,620 | (100.0%) | 7,622 | (56.0%) | 5,998 | (44.0%) |
| **関東**（埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県の非過疎市町村及び一部過疎市町村） | 8 | 茨城県 | 816 | (100.0%) | 453 | (55.5%) | 363 | (44.5%) |
| | 9 | 栃木県 | 777 | (100.0%) | 431 | (55.5%) | 346 | (44.5%) |
| | 10 | 群馬県 | 3,123 | (100.0%) | 1,820 | (58.3%) | 1,303 | (41.7%) |
| | 11 | 埼玉県 | 605 | (100.0%) | 294 | (48.6%) | 311 | (51.4%) |
| | 12 | 千葉県 | 8,019 | (100.0%) | 4,199 | (52.4%) | 3,820 | (47.6%) |
| | 13 | 東京都 | 2,479 | (100.0%) | 1,318 | (53.2%) | 1,161 | (46.8%) |
| | 19 | 山梨県 | 2,400 | (100.0%) | 1,357 | (56.5%) | 1,043 | (43.5%) |
| | 20 | 長野県 | 6,789 | (100.0%) | 3,709 | (54.6%) | 3,080 | (45.4%) |
| **東海**（岐阜県・愛知県・三重県の非過疎市町村及び一部過疎市町村＋静岡市・浜松市） | 21 | 岐阜県 | 10,869 | (100.0%) | 5,700 | (52.4%) | 5,169 | (47.6%) |
| | 22 | 静岡県 | 2,487 | (100.0%) | 1,349 | (54.2%) | 1,138 | (45.8%) |
| | 23 | 愛知県 | 2,726 | (100.0%) | 1,435 | (52.6%) | 1,291 | (47.4%) |
| | 24 | 三重県 | 8,197 | (100.0%) | 4,281 | (52.2%) | 3,916 | (47.8%) |
| **北陸** | 16 | 富山県 | 1,296 | (100.0%) | 778 | (60.0%) | 518 | (40.0%) |
| | 17 | 石川県 | 2,269 | (100.0%) | 1,278 | (56.3%) | 991 | (43.7%) |
| | 18 | 福井県 | 595 | (100.0%) | 363 | (61.0%) | 232 | (39.0%) |
| **近畿**（京都府・大阪府・兵庫県の非過疎市町村及び一部過疎市町村） | 25 | 滋賀県 | 192 | (100.0%) | 95 | (49.5%) | 97 | (50.5%) |
| | 26 | 京都府 | 9,058 | (100.0%) | 4,577 | (50.5%) | 4,481 | (49.5%) |
| | 27 | 大阪府 | 524 | (100.0%) | 229 | (43.7%) | 295 | (56.3%) |
| | 28 | 兵庫県 | 10,071 | (100.0%) | 4,923 | (48.9%) | 5,148 | (51.1%) |
| | 29 | 奈良県 | 5,138 | (100.0%) | 2,670 | (52.0%) | 2,468 | (48.0%) |
| | 30 | 和歌山県 | 10,835 | (100.0%) | 5,944 | (54.9%) | 4,891 | (45.1%) |
| **中国**（岡山市・広島市） | 31 | 鳥取県 | 1,844 | (100.0%) | 976 | (52.9%) | 868 | (47.1%) |
| | 32 | 島根県 | 11,360 | (100.0%) | 6,278 | (55.3%) | 5,082 | (44.7%) |
| | 33 | 岡山県 | 13,046 | (100.0%) | 6,917 | (53.0%) | 6,129 | (47.0%) |
| | 34 | 広島県 | 14,172 | (100.0%) | 7,803 | (55.1%) | 6,369 | (44.9%) |
| | 35 | 山口県 | 5,850 | (100.0%) | 3,146 | (53.8%) | 2,704 | (46.2%) |
| **四国** | 36 | 徳島県 | 2,749 | (100.0%) | 1,512 | (55.0%) | 1,237 | (45.0%) |
| | 37 | 香川県 | 2,335 | (100.0%) | 1,275 | (54.6%) | 1,060 | (45.4%) |
| | 38 | 愛媛県 | 7,805 | (100.0%) | 4,341 | (55.6%) | 3,464 | (44.4%) |
| | 39 | 高知県 | 5,442 | (100.0%) | 3,171 | (58.3%) | 2,271 | (41.7%) |
| **九州**（北九州市・福岡市・熊本市） | 40 | 福岡県 | 13,454 | (100.0%) | 7,041 | (52.3%) | 6,413 | (47.7%) |
| | 41 | 佐賀県 | 1,998 | (100.0%) | 1,066 | (53.4%) | 932 | (46.6%) |
| | 42 | 長崎県 | 11,893 | (100.0%) | 6,377 | (53.6%) | 5,516 | (46.4%) |
| | 43 | 熊本県 | 15,237 | (100.0%) | 7,915 | (51.9%) | 7,322 | (48.1%) |
| | 44 | 大分県 | 12,315 | (100.0%) | 6,677 | (54.2%) | 5,638 | (45.8%) |
| | 45 | 宮崎県 | 4,952 | (100.0%) | 2,727 | (55.1%) | 2,225 | (44.9%) |
| | 46 | 鹿児島県 | 23,060 | (100.0%) | 12,579 | (54.5%) | 10,481 | (45.5%) |
| **沖縄** | 47 | 沖縄県 | 3,978 | (100.0%) | 2,103 | (52.9%) | 1,875 | (47.1%) |
| | 合計 | | 376,673 | (100.0%) | 206,463 | (54.8%) | 170,210 | (45.2%) |

| 地域ブロック（各ブロック内での「都市部」） | H22 | | 都市部から過疎地域への移住者数 | | 性別 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 男性 | | 女性 | |
| **北海道**（札幌市） | 1 | 北海道 | 50,897 | (100.0%) | 29,829 | (58.6%) | 21,068 | (41.4%) |
| **東北**（仙台市・新潟市） | 2 | 青森県 | 3,987 | (100.0%) | 2,423 | (60.8%) | 1,564 | (39.2%) |
| | 3 | 岩手県 | 6,903 | (100.0%) | 3,879 | (56.2%) | 3,024 | (43.8%) |
| | 4 | 宮城県 | 4,372 | (100.0%) | 2,425 | (55.5%) | 1,947 | (44.5%) |
| | 5 | 秋田県 | 9,226 | (100.0%) | 5,126 | (55.6%) | 4,100 | (44.4%) |
| | 6 | 山形県 | 5,178 | (100.0%) | 2,891 | (55.8%) | 2,287 | (44.2%) |
| | 7 | 福島県 | 3,617 | (100.0%) | 1,988 | (55.0%) | 1,629 | (45.0%) |
| | 15 | 新潟県 | 9,438 | (100.0%) | 5,406 | (57.3%) | 4,032 | (42.7%) |
| **関東**（埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県の非過疎市町村及び一部過疎市町村） | 8 | 茨城県 | 626 | (100.0%) | 349 | (55.8%) | 277 | (44.2%) |
| | 9 | 栃木県 | 567 | (100.0%) | 350 | (61.7%) | 217 | (38.3%) |
| | 10 | 群馬県 | 2,064 | (100.0%) | 1,142 | (55.3%) | 922 | (44.7%) |
| | 11 | 埼玉県 | 401 | (100.0%) | 170 | (42.4%) | 231 | (57.6%) |
| | 12 | 千葉県 | 6,858 | (100.0%) | 3,659 | (53.4%) | 3,199 | (46.6%) |
| | 13 | 東京都 | 2,716 | (100.0%) | 1,505 | (55.4%) | 1,211 | (44.6%) |
| | 19 | 山梨県 | 1,589 | (100.0%) | 893 | (56.2%) | 696 | (43.8%) |
| | 20 | 長野県 | 4,224 | (100.0%) | 2,296 | (54.4%) | 1,928 | (45.6%) |
| **東海**（岐阜県・愛知県・三重県の非過疎市町村及び一部過疎市町村＋静岡市・浜松市） | 21 | 岐阜県 | 7,151 | (100.0%) | 3,570 | (49.9%) | 3,581 | (50.1%) |
| | 22 | 静岡県 | 1,748 | (100.0%) | 980 | (56.1%) | 768 | (43.9%) |
| | 23 | 愛知県 | 1,838 | (100.0%) | 982 | (53.4%) | 856 | (46.6%) |
| | 24 | 三重県 | 6,127 | (100.0%) | 3,496 | (57.1%) | 2,631 | (42.9%) |
| **北陸** | 16 | 富山県 | 984 | (100.0%) | 540 | (54.9%) | 444 | (45.1%) |
| | 17 | 石川県 | 1,695 | (100.0%) | 1,019 | (60.1%) | 676 | (39.9%) |
| | 18 | 福井県 | 302 | (100.0%) | 156 | (51.7%) | 146 | (48.3%) |
| **近畿**（京都府・大阪府・兵庫県の非過疎市町村及び一部過疎市町村） | 25 | 滋賀県 | 78 | (100.0%) | 36 | (46.2%) | 42 | (53.8%) |
| | 26 | 京都府 | 6,533 | (100.0%) | 3,347 | (51.2%) | 3,186 | (48.8%) |
| | 27 | 大阪府 | 325 | (100.0%) | 142 | (43.7%) | 183 | (56.3%) |
| | 28 | 兵庫県 | 6,892 | (100.0%) | 3,342 | (48.5%) | 3,550 | (51.5%) |
| | 29 | 奈良県 | 3,282 | (100.0%) | 1,775 | (54.1%) | 1,507 | (45.9%) |
| | 30 | 和歌山県 | 7,024 | (100.0%) | 3,923 | (55.9%) | 3,101 | (44.1%) |
| **中国**（岡山市・広島市） | 31 | 鳥取県 | 1,155 | (100.0%) | 591 | (51.2%) | 564 | (48.8%) |
| | 32 | 島根県 | 9,113 | (100.0%) | 5,544 | (60.8%) | 3,569 | (39.2%) |
| | 33 | 岡山県 | 9,214 | (100.0%) | 4,863 | (52.8%) | 4,351 | (47.2%) |
| | 34 | 広島県 | 10,749 | (100.0%) | 5,904 | (54.9%) | 4,845 | (45.1%) |
| | 35 | 山口県 | 4,255 | (100.0%) | 2,349 | (55.2%) | 1,906 | (44.8%) |
| **四国** | 36 | 徳島県 | 1,738 | (100.0%) | 911 | (52.4%) | 827 | (47.6%) |
| | 37 | 香川県 | 1,927 | (100.0%) | 1,018 | (52.8%) | 909 | (47.2%) |
| | 38 | 愛媛県 | 5,132 | (100.0%) | 2,805 | (54.7%) | 2,327 | (45.3%) |
| | 39 | 高知県 | 3,458 | (100.0%) | 2,032 | (58.8%) | 1,426 | (41.2%) |
| **九州**（北九州市・福岡市・熊本市） | 40 | 福岡県 | 10,502 | (100.0%) | 5,640 | (53.7%) | 4,862 | (46.3%) |
| | 41 | 佐賀県 | 1,423 | (100.0%) | 765 | (53.8%) | 658 | (46.2%) |
| | 42 | 長崎県 | 7,543 | (100.0%) | 4,161 | (55.2%) | 3,382 | (44.8%) |
| | 43 | 熊本県 | 11,601 | (100.0%) | 6,054 | (52.2%) | 5,547 | (47.8%) |
| | 44 | 大分県 | 9,181 | (100.0%) | 5,181 | (56.4%) | 4,000 | (43.6%) |
| | 45 | 宮崎県 | 3,704 | (100.0%) | 2,057 | (55.5%) | 1,647 | (44.5%) |
| | 46 | 鹿児島県 | 16,174 | (100.0%) | 8,918 | (55.1%) | 7,256 | (44.9%) |
| **沖縄** | 47 | 沖縄県 | 3,677 | (100.0%) | 1,869 | (50.8%) | 1,808 | (49.2%) |
| | 合計 | | 267,188 | (100.0%) | 148,301 | (55.5%) | 118,887 | (44.5%) |

## ⅱ）年代別　〔１－３（２）⑤参照〕

■都市部から過疎地域への移住者の属性

| 地域ブロック（各ブロック内での「都市部」） | H12 | 都市部から過疎地域への移住者数 | 年代別 | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 5～9歳 | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 80代～ |
| **北海道**（札幌市） | 1 北海道 | 70,059 (100.0%) | 4,241 (6.1%) | 6,109 (8.7%) | 23,191 (33.1%) | 16,693 (23.8%) | 8,521 (12.2%) | 6,612 (9.4%) | 2,972 (4.2%) | 1,082 (1.5%) | 638 (0.9%) |
| **東北**（仙台市・新潟市） | 2 青森県 | 6,977 (100.0%) | 595 (8.5%) | 407 (5.8%) | 2,202 (31.6%) | 1,734 (24.9%) | 750 (10.7%) | 581 (8.3%) | 530 (7.6%) | 143 (2.0%) | 35 (0.5%) |
| | 3 岩手県 | 12,379 (100.0%) | 954 (7.7%) | 842 (6.8%) | 3,782 (30.6%) | 2,947 (23.8%) | 1,555 (12.6%) | 1,116 (9.0%) | 854 (6.9%) | 251 (2.0%) | 78 (0.6%) |
| | 4 宮城県 | 6,464 (100.0%) | 425 (6.6%) | 401 (6.2%) | 2,270 (35.1%) | 1,528 (23.6%) | 701 (10.8%) | 558 (8.6%) | 399 (6.2%) | 128 (2.0%) | 54 (0.8%) |
| | 5 秋田県 | 14,041 (100.0%) | 999 (7.1%) | 846 (6.0%) | 4,768 (34.0%) | 3,325 (23.7%) | 1,463 (10.4%) | 1,122 (8.0%) | 1,093 (7.8%) | 330 (2.4%) | 95 (0.7%) |
| | 6 山形県 | 7,074 (100.0%) | 459 (6.5%) | 450 (6.4%) | 2,666 (37.7%) | 1,518 (21.5%) | 710 (10.0%) | 563 (8.0%) | 499 (7.1%) | 150 (2.1%) | 59 (0.8%) |
| | 7 福島県 | 5,304 (100.0%) | 292 (5.5%) | 286 (5.4%) | 1,779 (33.5%) | 1,119 (21.1%) | 591 (11.1%) | 529 (10.0%) | 499 (9.4%) | 156 (2.9%) | 53 (1.0%) |
| | 15 新潟県 | 13,620 (100.0%) | 836 (6.1%) | 708 (5.2%) | 4,785 (35.1%) | 3,304 (24.3%) | 1,500 (11.0%) | 1,275 (9.4%) | 827 (6.1%) | 246 (1.8%) | 139 (1.0%) |
| **関東**（埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県の非過疎市町村及び一部過疎市町村） | 8 茨城県 | 816 (100.0%) | 41 (5.0%) | 39 (4.8%) | 240 (29.4%) | 139 (17.0%) | 96 (11.8%) | 116 (14.2%) | 102 (12.5%) | 28 (3.4%) | 15 (1.8%) |
| | 9 栃木県 | 777 (100.0%) | 33 (4.2%) | 32 (4.1%) | 261 (33.6%) | 156 (20.1%) | 76 (9.8%) | 98 (12.6%) | 86 (11.1%) | 19 (2.4%) | 16 (2.1%) |
| | 10 群馬県 | 3,123 (100.0%) | 128 (4.1%) | 232 (7.4%) | 1,000 (32.0%) | 659 (21.1%) | 347 (11.1%) | 354 (11.3%) | 261 (8.4%) | 89 (2.8%) | 53 (1.7%) |
| | 11 埼玉県 | 605 (100.0%) | 58 (9.6%) | 49 (8.1%) | 134 (22.1%) | 112 (18.5%) | 64 (10.6%) | 47 (7.8%) | 38 (6.3%) | 30 (5.0%) | 73 (12.1%) |
| | 12 千葉県 | 8,019 (100.0%) | 574 (7.2%) | 1,011 (12.6%) | 2,283 (28.5%) | 1,457 (18.2%) | 721 (9.0%) | 681 (8.5%) | 632 (7.9%) | 309 (3.9%) | 351 (4.4%) |
| | 13 東京都 | 2,479 (100.0%) | 182 (7.3%) | 221 (8.9%) | 444 (17.9%) | 534 (21.5%) | 351 (14.2%) | 257 (10.4%) | 169 (6.8%) | 134 (5.4%) | 187 (7.5%) |
| | 19 山梨県 | 2,400 (100.0%) | 135 (5.6%) | 203 (8.5%) | 678 (28.3%) | 466 (19.4%) | 248 (10.3%) | 270 (11.3%) | 257 (10.7%) | 88 (3.7%) | 55 (2.3%) |
| | 20 長野県 | 6,789 (100.0%) | 366 (5.4%) | 495 (7.3%) | 2,247 (33.1%) | 1,515 (22.3%) | 718 (10.6%) | 706 (10.4%) | 519 (7.6%) | 142 (2.1%) | 81 (1.2%) |
| **東海**（岐阜県・愛知県・三重県の非過疎市町村及び一部過疎市町村＋静岡市・浜松市） | 21 岐阜県 | 10,869 (100.0%) | 811 (7.5%) | 734 (6.8%) | 3,733 (34.3%) | 2,696 (24.8%) | 1,087 (10.0%) | 922 (8.5%) | 501 (4.6%) | 218 (2.0%) | 167 (1.5%) |
| | 22 静岡県 | 2,487 (100.0%) | 129 (5.2%) | 146 (5.9%) | 813 (32.7%) | 511 (20.5%) | 267 (10.7%) | 268 (10.8%) | 215 (8.6%) | 103 (4.1%) | 35 (1.4%) |
| | 23 愛知県 | 2,726 (100.0%) | 192 (7.0%) | 421 (15.4%) | 730 (26.8%) | 534 (19.6%) | 262 (9.6%) | 255 (9.4%) | 170 (6.2%) | 77 (2.8%) | 85 (3.1%) |
| | 24 三重県 | 8,197 (100.0%) | 551 (6.7%) | 825 (10.1%) | 2,515 (30.7%) | 1,825 (22.3%) | 768 (9.4%) | 742 (9.1%) | 523 (6.4%) | 251 (3.1%) | 197 (2.4%) |
| **北陸** | 16 富山県 | 1,296 (100.0%) | 63 (4.9%) | 72 (5.6%) | 565 (43.6%) | 277 (21.4%) | 129 (10.0%) | 116 (9.0%) | 55 (4.2%) | 17 (1.3%) | 2 (0.2%) |
| | 17 石川県 | 2,269 (100.0%) | 120 (5.3%) | 152 (6.7%) | 769 (33.9%) | 483 (21.3%) | 223 (9.8%) | 250 (11.0%) | 176 (7.8%) | 68 (3.0%) | 28 (1.2%) |
| | 18 福井県 | 595 (100.0%) | 31 (5.2%) | 26 (4.4%) | 231 (38.8%) | 120 (20.2%) | 56 (9.4%) | 68 (11.4%) | 42 (7.1%) | 12 (2.0%) | 9 (1.5%) |
| **近畿**（京都府・大阪府・兵庫県の非過疎市町村及び一部過疎市町村） | 25 滋賀県 | 192 (100.0%) | 7 (3.6%) | 14 (7.3%) | 75 (39.1%) | 33 (17.2%) | 21 (10.9%) | 29 (15.1%) | 11 (5.7%) | 1 (0.5%) | 1 (0.5%) |
| | 26 京都府 | 9,058 (100.0%) | 708 (7.8%) | 1,144 (12.6%) | 2,557 (28.2%) | 2,002 (22.1%) | 846 (9.3%) | 733 (8.1%) | 532 (5.9%) | 286 (3.2%) | 250 (2.8%) |
| | 27 大阪府 | 524 (100.0%) | 51 (9.7%) | 52 (9.9%) | 111 (21.2%) | 110 (21.0%) | 66 (12.6%) | 54 (10.3%) | 28 (5.3%) | 22 (4.2%) | 30 (5.7%) |
| | 28 兵庫県 | 10,071 (100.0%) | 748 (7.4%) | 662 (6.6%) | 3,145 (31.2%) | 2,322 (23.1%) | 949 (9.4%) | 886 (8.8%) | 645 (6.4%) | 353 (3.5%) | 361 (3.6%) |
| | 29 奈良県 | 5,138 (100.0%) | 406 (7.9%) | 525 (10.2%) | 1,303 (25.4%) | 1,211 (23.6%) | 579 (11.3%) | 465 (9.1%) | 316 (6.2%) | 174 (3.4%) | 159 (3.1%) |
| | 30 和歌山県 | 10,835 (100.0%) | 702 (6.5%) | 770 (7.1%) | 3,558 (32.8%) | 2,352 (21.7%) | 1,047 (9.7%) | 986 (9.1%) | 951 (8.8%) | 336 (3.1%) | 133 (1.2%) |
| **中国**（岡山市・広島市） | 31 鳥取県 | 1,844 (100.0%) | 102 (5.5%) | 127 (6.9%) | 643 (34.9%) | 307 (16.6%) | 201 (10.9%) | 203 (11.0%) | 176 (9.5%) | 55 (3.0%) | 30 (1.6%) |
| | 32 島根県 | 11,360 (100.0%) | 679 (6.0%) | 928 (8.2%) | 3,964 (34.9%) | 2,267 (20.0%) | 1,115 (9.8%) | 1,114 (9.8%) | 921 (8.1%) | 283 (2.5%) | 89 (0.8%) |
| | 33 岡山県 | 13,046 (100.0%) | 828 (6.3%) | 1,528 (11.7%) | 4,132 (31.7%) | 2,470 (18.9%) | 1,256 (9.6%) | 1,328 (10.2%) | 981 (7.5%) | 310 (2.4%) | 213 (1.6%) |
| | 34 広島県 | 14,172 (100.0%) | 833 (5.9%) | 1,222 (8.6%) | 4,694 (33.1%) | 3,031 (21.4%) | 1,444 (10.2%) | 1,357 (9.6%) | 956 (6.7%) | 349 (2.5%) | 286 (2.0%) |
| | 35 山口県 | 5,850 (100.0%) | 362 (6.2%) | 407 (7.0%) | 1,864 (31.9%) | 1,062 (18.2%) | 602 (10.3%) | 701 (12.0%) | 633 (10.8%) | 152 (2.6%) | 67 (1.1%) |
| **四国** | 36 徳島県 | 2,749 (100.0%) | 175 (6.4%) | 173 (6.3%) | 867 (31.5%) | 528 (19.2%) | 307 (11.2%) | 275 (10.0%) | 276 (10.0%) | 99 (3.6%) | 49 (1.8%) |
| | 37 香川県 | 2,335 (100.0%) | 126 (5.4%) | 125 (5.4%) | 898 (38.5%) | 431 (18.5%) | 218 (9.3%) | 226 (9.7%) | 195 (8.4%) | 79 (3.4%) | 37 (1.6%) |
| | 38 愛媛県 | 7,805 (100.0%) | 495 (6.3%) | 551 (7.1%) | 2,578 (33.0%) | 1,521 (19.5%) | 722 (9.3%) | 791 (10.1%) | 817 (10.5%) | 264 (3.4%) | 66 (0.8%) |
| | 39 高知県 | 5,442 (100.0%) | 293 (5.4%) | 548 (10.1%) | 1,640 (30.1%) | 930 (17.1%) | 520 (9.6%) | 581 (10.7%) | 661 (12.1%) | 204 (3.7%) | 65 (1.2%) |
| **九州**（北九州市・福岡市・熊本市） | 40 福岡県 | 13,454 (100.0%) | 1,031 (7.7%) | 1,072 (8.0%) | 3,598 (26.7%) | 3,004 (22.3%) | 1,578 (11.7%) | 1,438 (10.7%) | 1,074 (8.0%) | 395 (2.9%) | 264 (2.0%) |
| | 41 佐賀県 | 1,998 (100.0%) | 140 (7.0%) | 139 (7.0%) | 666 (33.3%) | 376 (18.8%) | 231 (11.6%) | 193 (9.7%) | 156 (7.8%) | 72 (3.6%) | 25 (1.3%) |
| | 42 長崎県 | 11,893 (100.0%) | 826 (6.9%) | 753 (6.3%) | 3,765 (31.7%) | 2,541 (21.4%) | 1,339 (11.3%) | 1,093 (9.2%) | 1,079 (9.1%) | 384 (3.2%) | 113 (1.0%) |
| | 43 熊本県 | 15,237 (100.0%) | 1,100 (7.2%) | 1,105 (7.3%) | 4,565 (30.0%) | 3,435 (22.5%) | 1,717 (11.3%) | 1,435 (9.4%) | 1,278 (8.4%) | 427 (2.8%) | 175 (1.1%) |
| | 44 大分県 | 12,315 (100.0%) | 782 (6.3%) | 925 (7.5%) | 3,831 (31.1%) | 2,421 (19.7%) | 1,312 (10.7%) | 1,457 (11.8%) | 1,180 (9.6%) | 291 (2.4%) | 116 (0.9%) |
| | 45 宮崎県 | 4,952 (100.0%) | 332 (6.7%) | 420 (8.5%) | 1,418 (28.6%) | 949 (19.2%) | 550 (11.1%) | 496 (10.0%) | 599 (12.1%) | 150 (3.0%) | 38 (0.8%) |
| | 46 鹿児島県 | 23,060 (100.0%) | 1,621 (7.0%) | 1,624 (7.0%) | 5,482 (23.8%) | 4,768 (20.7%) | 2,828 (12.3%) | 2,622 (11.4%) | 3,006 (13.0%) | 866 (3.8%) | 243 (1.1%) |
| **沖縄** | 47 沖縄県 | 3,978 (100.0%) | 382 (9.6%) | 353 (8.9%) | 1,287 (32.4%) | 1,105 (27.8%) | 472 (11.9%) | 237 (6.0%) | 102 (2.6%) | 29 (0.7%) | 11 (0.3%) |
| | 合計 | 376,673 (100.0%) | 24,944 (6.6%) | 29,874 (7.9%) | 118,727 (31.5%) | 82,828 (22.0%) | 41,124 (10.9%) | 36,206 (9.6%) | 27,992 (7.4%) | 9,652 (2.6%) | 5,326 (1.4%) |

■ 都市部から過疎地域への移住者の属性

※H12＜H22に網掛け

| 地域ブロック（各ブロック内での「都市部」） | H22 | 都市部から過疎地域への移住者数 | 年代別 | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 5～9歳 | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 80代～ |
| **北海道**（札幌市） | 1 北海道 | 50,897 (100.0%) | 2,625 (5.2%) | 3,639 (7.1%) | 13,033 (25.6%) | 12,913 (25.4%) | 7,299 (14.3%) | 5,852 (11.5%) | 3,700 (7.3%) | 1,069 (2.1%) | 767 (1.5%) |
| **東北**（仙台市・新潟市） | 2 青森県 | 3,987 (100.0%) | 196 (4.9%) | 185 (4.6%) | 990 (24.8%) | 885 (22.2%) | 562 (14.1%) | 512 (12.8%) | 494 (12.4%) | 127 (3.2%) | 36 (0.9%) |
| | 3 岩手県 | 6,903 (100.0%) | 347 (5.0%) | 314 (4.5%) | 1,899 (27.5%) | 1,595 (23.1%) | 796 (11.5%) | 788 (11.4%) | 845 (12.2%) | 238 (3.4%) | 81 (1.2%) |
| | 4 宮城県 | 4,372 (100.0%) | 250 (5.7%) | 246 (5.6%) | 1,185 (27.1%) | 1,084 (24.8%) | 557 (12.7%) | 458 (10.5%) | 417 (9.5%) | 106 (2.4%) | 69 (1.6%) |
| | 5 秋田県 | 9,226 (100.0%) | 449 (4.9%) | 365 (4.0%) | 2,886 (31.3%) | 2,156 (23.4%) | 1,003 (10.9%) | 845 (9.2%) | 1,099 (11.9%) | 312 (3.4%) | 111 (1.2%) |
| | 6 山形県 | 5,178 (100.0%) | 252 (4.9%) | 263 (5.1%) | 1,777 (34.3%) | 1,265 (24.4%) | 516 (10.0%) | 382 (7.4%) | 496 (9.6%) | 164 (3.2%) | 63 (1.2%) |
| | 7 福島県 | 3,617 (100.0%) | 167 (4.6%) | 129 (3.6%) | 1,096 (30.3%) | 730 (20.2%) | 349 (9.6%) | 359 (9.9%) | 551 (15.2%) | 148 (4.1%) | 88 (2.4%) |
| | 15 新潟県 | 9,438 (100.0%) | 465 (4.9%) | 360 (3.8%) | 2,881 (30.5%) | 2,429 (25.7%) | 1,066 (11.3%) | 963 (10.2%) | 935 (9.9%) | 229 (2.4%) | 109 (1.2%) |
| **関東**（埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県の非過疎市町村及び一部過疎市町村） | 8 茨城県 | 626 (100.0%) | 29 (4.6%) | 19 (3.0%) | 121 (19.3%) | 140 (22.4%) | 51 (8.1%) | 72 (11.5%) | 137 (21.9%) | 44 (7.0%) | 13 (2.1%) |
| | 9 栃木県 | 567 (100.0%) | 22 (3.9%) | 14 (2.5%) | 147 (25.9%) | 124 (21.9%) | 73 (12.9%) | 71 (12.5%) | 88 (15.5%) | 26 (4.6%) | 2 (0.4%) |
| | 10 群馬県 | 2,064 (100.0%) | 75 (3.6%) | 105 (5.1%) | 519 (25.1%) | 425 (20.6%) | 219 (10.6%) | 216 (10.5%) | 330 (16.0%) | 100 (4.8%) | 75 (3.6%) |
| | 11 埼玉県 | 401 (100.0%) | 29 (7.2%) | 42 (10.5%) | 54 (13.5%) | 76 (19.0%) | 25 (6.2%) | 30 (7.5%) | 31 (7.7%) | 29 (7.2%) | 85 (21.2%) |
| | 12 千葉県 | 6,858 (100.0%) | 379 (5.5%) | 692 (10.1%) | 1,466 (21.4%) | 1,260 (18.4%) | 654 (9.5%) | 549 (8.0%) | 1,038 (15.1%) | 355 (5.2%) | 465 (6.8%) |
| | 13 東京都 | 2,716 (100.0%) | 136 (5.0%) | 272 (10.0%) | 426 (15.7%) | 623 (22.9%) | 342 (12.6%) | 321 (11.8%) | 227 (8.4%) | 136 (5.0%) | 232 (8.5%) |
| | 19 山梨県 | 1,589 (100.0%) | 61 (3.8%) | 74 (4.7%) | 339 (21.3%) | 326 (20.5%) | 146 (9.2%) | 170 (10.7%) | 315 (19.8%) | 103 (6.5%) | 55 (3.5%) |
| | 20 長野県 | 4,224 (100.0%) | 201 (4.8%) | 240 (5.7%) | 1,049 (24.8%) | 959 (22.7%) | 410 (9.7%) | 427 (10.1%) | 667 (15.8%) | 186 (4.4%) | 85 (2.0%) |
| **東海**（岐阜県・愛知県・三重県の非過疎市町村及び一部過疎市町村＋静岡市・浜松市） | 21 岐阜県 | 7,151 (100.0%) | 514 (7.2%) | 374 (5.2%) | 1,787 (25.0%) | 1,996 (27.9%) | 803 (11.2%) | 604 (8.4%) | 541 (7.6%) | 251 (3.5%) | 280 (3.9%) |
| | 22 静岡県 | 1,748 (100.0%) | 73 (4.2%) | 87 (5.0%) | 411 (23.5%) | 384 (22.0%) | 178 (10.2%) | 227 (13.0%) | 273 (15.6%) | 78 (4.5%) | 37 (2.1%) |
| | 23 愛知県 | 1,838 (100.0%) | 119 (6.5%) | 217 (11.8%) | 324 (17.6%) | 419 (22.8%) | 175 (9.5%) | 179 (9.7%) | 258 (14.0%) | 73 (4.0%) | 74 (4.0%) |
| | 24 三重県 | 6,127 (100.0%) | 308 (5.0%) | 604 (9.9%) | 1,314 (21.4%) | 1,367 (22.3%) | 712 (11.6%) | 640 (10.4%) | 590 (9.6%) | 253 (4.1%) | 339 (5.5%) |
| **北陸** | 16 富山県 | 984 (100.0%) | 59 (6.0%) | 35 (3.6%) | 358 (36.4%) | 242 (24.6%) | 112 (11.4%) | 79 (8.0%) | 70 (7.1%) | 18 (1.8%) | 11 (1.1%) |
| | 17 石川県 | 1,695 (100.0%) | 56 (3.3%) | 292 (17.2%) | 437 (25.8%) | 326 (19.2%) | 130 (7.7%) | 146 (8.6%) | 212 (12.5%) | 67 (4.0%) | 29 (1.7%) |
| | 18 福井県 | 302 (100.0%) | 17 (5.6%) | 9 (3.0%) | 114 (37.7%) | 53 (17.5%) | 30 (9.9%) | 23 (7.6%) | 46 (15.2%) | 5 (1.7%) | 5 (1.7%) |
| **近畿**（京都府・大阪府・兵庫県の非過疎市町村及び一部過疎市町村） | 25 滋賀県 | 78 (100.0%) | 2 (2.6%) | 2 (2.6%) | 22 (28.2%) | 16 (20.5%) | 9 (11.5%) | 8 (10.3%) | 12 (15.4%) | 3 (3.8%) | 4 (5.1%) |
| | 26 京都府 | 6,533 (100.0%) | 394 (6.0%) | 715 (10.9%) | 1,645 (25.2%) | 1,427 (21.8%) | 605 (9.3%) | 503 (7.7%) | 587 (9.0%) | 247 (3.8%) | 410 (6.3%) |
| | 27 大阪府 | 325 (100.0%) | 24 (7.4%) | 31 (9.5%) | 37 (11.4%) | 111 (34.2%) | 40 (12.3%) | 19 (5.8%) | 24 (7.4%) | 20 (6.2%) | 19 (5.8%) |
| | 28 兵庫県 | 6,892 (100.0%) | 432 (6.3%) | 410 (5.9%) | 1,764 (25.6%) | 1,688 (24.5%) | 624 (9.1%) | 601 (8.7%) | 697 (10.1%) | 268 (3.9%) | 408 (5.9%) |
| | 29 奈良県 | 3,282 (100.0%) | 207 (6.3%) | 410 (12.5%) | 584 (17.8%) | 707 (21.5%) | 360 (11.0%) | 348 (10.6%) | 354 (10.8%) | 141 (4.3%) | 171 (5.2%) |
| | 30 和歌山県 | 7,024 (100.0%) | 343 (4.9%) | 540 (7.7%) | 1,837 (26.2%) | 1,617 (23.0%) | 832 (11.8%) | 609 (8.7%) | 806 (11.5%) | 274 (3.9%) | 166 (2.4%) |
| **中国**（岡山市・広島市） | 31 鳥取県 | 1,155 (100.0%) | 51 (4.4%) | 46 (4.0%) | 357 (30.9%) | 225 (19.5%) | 88 (7.6%) | 129 (11.2%) | 189 (16.4%) | 41 (3.5%) | 29 (2.5%) |
| | 32 島根県 | 9,113 (100.0%) | 387 (4.2%) | 535 (5.9%) | 2,289 (25.1%) | 2,208 (24.2%) | 1,119 (12.3%) | 942 (10.3%) | 1,229 (13.5%) | 289 (3.2%) | 115 (1.3%) |
| | 33 岡山県 | 9,214 (100.0%) | 504 (5.5%) | 780 (8.5%) | 2,343 (25.4%) | 1,949 (21.2%) | 857 (9.3%) | 961 (10.4%) | 1,232 (13.4%) | 306 (3.3%) | 282 (3.1%) |
| | 34 広島県 | 10,749 (100.0%) | 603 (5.6%) | 817 (7.6%) | 2,706 (25.2%) | 2,581 (24.0%) | 1,030 (9.6%) | 985 (9.2%) | 1,198 (11.1%) | 371 (3.5%) | 458 (4.3%) |
| | 35 山口県 | 4,255 (100.0%) | 171 (4.0%) | 191 (4.5%) | 999 (23.5%) | 908 (21.3%) | 489 (11.5%) | 524 (12.3%) | 756 (17.8%) | 155 (3.6%) | 62 (1.5%) |
| **四国** | 36 徳島県 | 1,738 (100.0%) | 79 (4.5%) | 103 (5.9%) | 413 (23.8%) | 329 (18.9%) | 155 (8.9%) | 195 (11.2%) | 303 (17.4%) | 97 (5.6%) | 64 (3.7%) |
| | 37 香川県 | 1,927 (100.0%) | 76 (3.9%) | 72 (3.7%) | 603 (31.3%) | 402 (20.9%) | 194 (10.1%) | 192 (10.0%) | 273 (14.2%) | 82 (4.3%) | 33 (1.7%) |
| | 38 愛媛県 | 5,132 (100.0%) | 258 (5.0%) | 356 (6.9%) | 1,209 (23.6%) | 1,013 (19.7%) | 480 (9.4%) | 566 (11.0%) | 926 (18.0%) | 247 (4.8%) | 77 (1.5%) |
| | 39 高知県 | 3,458 (100.0%) | 121 (3.5%) | 430 (12.4%) | 789 (22.8%) | 608 (17.6%) | 267 (7.7%) | 363 (10.5%) | 667 (19.3%) | 160 (4.6%) | 53 (1.5%) |
| **九州**（北九州市・福岡市・熊本市） | 40 福岡県 | 10,502 (100.0%) | 682 (6.5%) | 714 (6.8%) | 2,424 (23.1%) | 2,535 (24.1%) | 1,119 (10.7%) | 1,004 (9.6%) | 1,187 (11.3%) | 388 (3.7%) | 449 (4.3%) |
| | 41 佐賀県 | 1,423 (100.0%) | 78 (5.5%) | 73 (5.1%) | 374 (26.3%) | 320 (22.5%) | 133 (9.3%) | 162 (11.4%) | 210 (14.8%) | 46 (3.2%) | 27 (1.9%) |
| | 42 長崎県 | 7,543 (100.0%) | 434 (5.8%) | 382 (5.1%) | 1,771 (23.5%) | 1,678 (22.2%) | 882 (11.7%) | 860 (11.4%) | 1,081 (14.3%) | 332 (4.4%) | 123 (1.6%) |
| | 43 熊本県 | 11,601 (100.0%) | 710 (6.1%) | 626 (5.4%) | 2,817 (24.3%) | 2,673 (23.0%) | 1,265 (10.9%) | 1,313 (11.3%) | 1,507 (13.0%) | 427 (3.7%) | 263 (2.3%) |
| | 44 大分県 | 9,181 (100.0%) | 452 (4.9%) | 511 (5.6%) | 2,188 (23.8%) | 2,071 (22.6%) | 940 (10.2%) | 1,082 (11.8%) | 1,436 (15.6%) | 355 (3.9%) | 146 (1.6%) |
| | 45 宮崎県 | 3,704 (100.0%) | 216 (5.8%) | 235 (6.3%) | 852 (23.0%) | 776 (21.0%) | 353 (9.5%) | 450 (12.1%) | 623 (16.8%) | 159 (4.3%) | 40 (1.1%) |
| | 46 鹿児島県 | 16,174 (100.0%) | 846 (5.2%) | 816 (5.0%) | 3,241 (20.0%) | 3,205 (19.8%) | 1,919 (11.9%) | 2,139 (13.2%) | 2,857 (17.7%) | 891 (5.5%) | 260 (1.6%) |
| **沖縄** | 47 沖縄県 | 3,677 (100.0%) | 189 (5.1%) | 152 (4.1%) | 1,000 (27.2%) | 990 (26.9%) | 496 (13.5%) | 390 (10.6%) | 347 (9.4%) | 77 (2.1%) | 36 (1.0%) |
| | 合計 | 267,188 (100.0%) | 14,088 (5.3%) | 17,524 (6.6%) | 66,877 (25.0%) | 61,814 (23.1%) | 30,464 (11.4%) | 28,258 (10.6%) | 31,861 (11.9%) | 9,493 (3.6%) | 6,806 (2.5%) |

## iii）性別・年代別〔１－３（２）⑥参照〕

### ①男性

■都市部から過疎地域への移住者の属性

| 地域ブロック（各ブロック内での「都市部」） | H12 | 都市部から過疎地域への移住者数：男性 | 男性・年代別 | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 5～9歳 | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 80代～ |
| **北海道**（札幌市） | 1 北海道 | 40,767 (100.0%) | 2,117 (5.2%) | 3,737 (9.2%) | 13,416 (32.9%) | 9,100 (22.3%) | 5,832 (14.3%) | 4,302 (10.6%) | 1,690 (4.1%) | 433 (1.1%) | 140 (0.3%) |
| **東北**（仙台市・新潟市） | 2 青森県 | 3,991 (100.0%) | 304 (7.6%) | 193 (4.8%) | 1,210 (30.3%) | 976 (24.5%) | 515 (12.9%) | 377 (9.4%) | 330 (8.3%) | 75 (1.9%) | 11 (0.3%) |
| | 3 岩手県 | 6,991 (100.0%) | 486 (7.0%) | 430 (6.2%) | 1,982 (28.4%) | 1,629 (23.3%) | 1,055 (15.1%) | 747 (10.7%) | 521 (7.5%) | 123 (1.8%) | 18 (0.3%) |
| | 4 宮城県 | 3,511 (100.0%) | 212 (6.0%) | 202 (5.8%) | 1,138 (32.4%) | 803 (22.9%) | 474 (13.5%) | 368 (10.5%) | 244 (6.9%) | 60 (1.7%) | 10 (0.3%) |
| | 5 秋田県 | 7,695 (100.0%) | 526 (6.8%) | 457 (5.9%) | 2,503 (32.5%) | 1,815 (23.6%) | 931 (12.1%) | 657 (8.5%) | 635 (8.3%) | 149 (1.9%) | 22 (0.3%) |
| | 6 山形県 | 3,853 (100.0%) | 214 (5.6%) | 240 (6.2%) | 1,466 (38.0%) | 803 (20.8%) | 443 (11.5%) | 322 (8.4%) | 278 (7.2%) | 74 (1.9%) | 13 (0.3%) |
| | 7 福島県 | 2,926 (100.0%) | 146 (5.0%) | 146 (5.0%) | 944 (32.3%) | 591 (20.2%) | 396 (13.5%) | 314 (10.7%) | 301 (10.3%) | 72 (2.5%) | 16 (0.5%) |
| | 15 新潟県 | 7,622 (100.0%) | 435 (5.7%) | 367 (4.8%) | 2,440 (32.0%) | 1,792 (23.5%) | 1,064 (14.0%) | 876 (11.5%) | 498 (6.5%) | 109 (1.4%) | 41 (0.5%) |
| **関東**（埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県の非過疎市町村及び一部過疎市町村） | 8 茨城県 | 453 (100.0%) | 19 (4.2%) | 19 (4.2%) | 135 (29.8%) | 73 (16.1%) | 63 (13.9%) | 68 (15.0%) | 60 (13.2%) | 14 (3.1%) | 2 (0.4%) |
| | 9 栃木県 | 431 (100.0%) | 17 (3.9%) | 13 (3.0%) | 148 (34.3%) | 89 (20.6%) | 44 (10.2%) | 60 (13.9%) | 48 (11.1%) | 5 (1.2%) | 7 (1.6%) |
| | 10 群馬県 | 1,820 (100.0%) | 63 (3.5%) | 149 (8.2%) | 544 (29.9%) | 389 (21.4%) | 236 (13.0%) | 237 (13.0%) | 151 (8.3%) | 38 (2.1%) | 13 (0.7%) |
| | 11 埼玉県 | 294 (100.0%) | 25 (8.5%) | 32 (10.9%) | 63 (21.4%) | 59 (20.1%) | 38 (12.9%) | 31 (10.5%) | 21 (7.1%) | 10 (3.4%) | 15 (5.1%) |
| | 12 千葉県 | 4,199 (100.0%) | 287 (6.8%) | 652 (15.5%) | 1,248 (29.7%) | 676 (16.1%) | 418 (10.0%) | 359 (8.5%) | 345 (8.2%) | 135 (3.2%) | 79 (1.9%) |
| | 13 東京都 | 1,318 (100.0%) | 102 (7.7%) | 140 (10.6%) | 211 (16.0%) | 255 (19.3%) | 240 (18.2%) | 159 (12.1%) | 112 (8.5%) | 57 (4.3%) | 42 (3.2%) |
| | 19 山梨県 | 1,357 (100.0%) | 71 (5.2%) | 132 (9.7%) | 413 (30.4%) | 235 (17.3%) | 147 (10.8%) | 153 (11.3%) | 143 (10.5%) | 49 (3.6%) | 14 (1.0%) |
| | 20 長野県 | 3,709 (100.0%) | 197 (5.3%) | 264 (7.1%) | 1,157 (31.2%) | 805 (21.7%) | 459 (12.4%) | 415 (11.2%) | 322 (8.7%) | 65 (1.8%) | 25 (0.7%) |
| **東海**（岐阜県・愛知県・三重県の非過疎市町村及び一部過疎市町村＋静岡市・浜松市） | 21 岐阜県 | 5,700 (100.0%) | 403 (7.1%) | 379 (6.6%) | 1,784 (31.3%) | 1,382 (24.2%) | 716 (12.6%) | 608 (10.7%) | 296 (5.2%) | 89 (1.6%) | 43 (0.8%) |
| | 22 静岡県 | 1,349 (100.0%) | 62 (4.6%) | 82 (6.1%) | 430 (31.9%) | 278 (20.6%) | 168 (12.5%) | 148 (11.0%) | 120 (8.9%) | 50 (3.7%) | 11 (0.8%) |
| | 23 愛知県 | 1,435 (100.0%) | 94 (6.6%) | 261 (18.2%) | 357 (24.9%) | 268 (18.7%) | 157 (10.9%) | 146 (10.2%) | 103 (7.2%) | 26 (1.8%) | 23 (1.6%) |
| | 24 三重県 | 4,281 (100.0%) | 278 (6.5%) | 475 (11.1%) | 1,165 (27.2%) | 954 (22.3%) | 521 (12.2%) | 471 (11.0%) | 277 (6.5%) | 97 (2.3%) | 43 (1.0%) |
| **北陸** | 16 富山県 | 778 (100.0%) | 39 (5.0%) | 41 (5.3%) | 319 (41.0%) | 162 (20.8%) | 91 (11.7%) | 88 (11.3%) | 32 (4.1%) | 6 (0.8%) | 0 (0.0%) |
| | 17 石川県 | 1,278 (100.0%) | 65 (5.1%) | 83 (6.5%) | 409 (32.0%) | 282 (22.1%) | 145 (11.3%) | 146 (11.4%) | 113 (8.8%) | 27 (2.1%) | 8 (0.6%) |
| | 18 福井県 | 363 (100.0%) | 14 (3.9%) | 17 (4.7%) | 142 (39.1%) | 68 (18.7%) | 39 (10.7%) | 47 (12.9%) | 25 (6.9%) | 8 (2.2%) | 3 (0.8%) |
| **近畿**（京都府・大阪府・兵庫県の非過疎市町村及び一部過疎市町村） | 25 滋賀県 | 95 (100.0%) | 2 (2.1%) | 12 (12.6%) | 33 (34.7%) | 15 (15.8%) | 12 (12.6%) | 15 (15.8%) | 6 (6.3%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) |
| | 26 京都府 | 4,577 (100.0%) | 361 (7.9%) | 696 (15.2%) | 1,193 (26.1%) | 955 (20.9%) | 510 (11.1%) | 394 (8.6%) | 292 (6.4%) | 122 (2.7%) | 54 (1.2%) |
| | 27 大阪府 | 229 (100.0%) | 26 (11.4%) | 24 (10.5%) | 46 (20.1%) | 43 (18.8%) | 36 (15.7%) | 27 (11.8%) | 13 (5.7%) | 7 (3.1%) | 7 (3.1%) |
| | 28 兵庫県 | 4,923 (100.0%) | 373 (7.6%) | 363 (7.4%) | 1,401 (28.5%) | 1,102 (22.4%) | 578 (11.7%) | 501 (10.2%) | 366 (7.4%) | 156 (3.2%) | 83 (1.7%) |
| | 29 奈良県 | 2,670 (100.0%) | 213 (8.0%) | 361 (13.5%) | 597 (22.4%) | 610 (22.8%) | 364 (13.6%) | 265 (9.9%) | 166 (6.2%) | 67 (2.5%) | 27 (1.0%) |
| | 30 和歌山県 | 5,944 (100.0%) | 358 (6.0%) | 498 (8.4%) | 1,880 (31.6%) | 1,236 (20.8%) | 700 (11.8%) | 540 (9.1%) | 542 (9.1%) | 153 (2.6%) | 37 (0.6%) |
| **中国**（岡山市・広島市） | 31 鳥取県 | 976 (100.0%) | 46 (4.7%) | 66 (6.8%) | 316 (32.4%) | 164 (16.8%) | 130 (13.3%) | 118 (12.1%) | 104 (10.7%) | 26 (2.7%) | 6 (0.6%) |
| | 32 島根県 | 6,278 (100.0%) | 357 (5.7%) | 561 (8.9%) | 2,060 (32.8%) | 1,248 (19.9%) | 717 (11.4%) | 639 (10.2%) | 539 (8.6%) | 129 (2.1%) | 28 (0.4%) |
| | 33 岡山県 | 6,917 (100.0%) | 411 (5.9%) | 837 (12.1%) | 2,092 (30.2%) | 1,289 (18.6%) | 803 (11.6%) | 737 (10.7%) | 560 (8.1%) | 141 (2.0%) | 47 (0.7%) |
| | 34 広島県 | 7,803 (100.0%) | 433 (5.5%) | 689 (8.8%) | 2,542 (32.6%) | 1,658 (21.2%) | 941 (12.1%) | 774 (9.9%) | 543 (7.0%) | 143 (1.8%) | 80 (1.0%) |
| | 35 山口県 | 3,146 (100.0%) | 182 (5.8%) | 215 (6.8%) | 987 (31.4%) | 566 (18.0%) | 372 (11.8%) | 358 (11.4%) | 376 (12.0%) | 76 (2.4%) | 14 (0.4%) |
| **四国** | 36 徳島県 | 1,512 (100.0%) | 101 (6.7%) | 100 (6.6%) | 448 (29.6%) | 280 (18.5%) | 211 (14.0%) | 141 (9.3%) | 176 (11.6%) | 43 (2.8%) | 12 (0.8%) |
| | 37 香川県 | 1,275 (100.0%) | 59 (4.6%) | 64 (5.0%) | 491 (38.5%) | 246 (19.3%) | 136 (10.7%) | 129 (10.1%) | 110 (8.6%) | 33 (2.6%) | 7 (0.5%) |
| | 38 愛媛県 | 4,341 (100.0%) | 282 (6.5%) | 302 (7.0%) | 1,431 (33.0%) | 818 (18.8%) | 456 (10.5%) | 440 (10.1%) | 466 (10.7%) | 122 (2.8%) | 24 (0.6%) |
| | 39 高知県 | 3,171 (100.0%) | 159 (5.0%) | 365 (11.5%) | 972 (30.7%) | 527 (16.6%) | 346 (10.9%) | 302 (9.5%) | 385 (12.1%) | 100 (3.2%) | 15 (0.5%) |
| **九州**（北九州市・福岡市・熊本市） | 40 福岡県 | 7,041 (100.0%) | 540 (7.7%) | 549 (7.8%) | 1,897 (26.9%) | 1,536 (21.8%) | 959 (13.6%) | 788 (11.2%) | 562 (8.0%) | 156 (2.2%) | 54 (0.8%) |
| | 41 佐賀県 | 1,066 (100.0%) | 77 (7.2%) | 73 (6.8%) | 350 (32.8%) | 192 (18.0%) | 146 (13.7%) | 108 (10.1%) | 82 (7.7%) | 34 (3.2%) | 4 (0.4%) |
| | 42 長崎県 | 6,377 (100.0%) | 458 (7.2%) | 383 (6.0%) | 1,930 (30.3%) | 1,305 (20.5%) | 874 (13.7%) | 627 (9.8%) | 600 (9.4%) | 165 (2.6%) | 35 (0.5%) |
| | 43 熊本県 | 7,915 (100.0%) | 585 (7.4%) | 561 (7.1%) | 2,163 (27.3%) | 1,771 (22.4%) | 1,107 (14.0%) | 800 (10.1%) | 707 (8.9%) | 180 (2.3%) | 41 (0.5%) |
| | 44 大分県 | 6,677 (100.0%) | 385 (5.8%) | 514 (7.7%) | 2,082 (31.2%) | 1,284 (19.2%) | 806 (12.1%) | 748 (11.2%) | 702 (10.5%) | 127 (1.9%) | 29 (0.4%) |
| | 45 宮崎県 | 2,727 (100.0%) | 173 (6.3%) | 221 (8.1%) | 774 (28.4%) | 523 (19.2%) | 353 (12.9%) | 261 (9.6%) | 339 (12.4%) | 76 (2.8%) | 7 (0.3%) |
| | 46 鹿児島県 | 12,579 (100.0%) | 862 (6.9%) | 755 (6.0%) | 2,892 (23.0%) | 2,649 (21.1%) | 1,799 (14.3%) | 1,398 (11.1%) | 1,724 (13.7%) | 437 (3.5%) | 63 (0.5%) |
| **沖縄** | 47 沖縄県 | 2,103 (100.0%) | 175 (8.3%) | 188 (8.9%) | 585 (27.8%) | 576 (27.4%) | 329 (15.6%) | 163 (7.8%) | 72 (3.4%) | 12 (0.6%) | 3 (0.1%) |
| | 合計 | 206,463 (100.0%) | 12,794 (6.2%) | 16,908 (8.2%) | 62,786 (30.4%) | 44,077 (21.3%) | 26,877 (13.0%) | 21,372 (10.4%) | 16,097 (7.8%) | 4,276 (2.1%) | 1,276 (0.6%) |

■都市部から過疎地域への移住者の属性

※H12＜H22に網掛け

| 地域ブロック（各ブロック内での「都市部」） | H22 | 都市部から過疎地域への移住者数：男性 | 男性・年代別 | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 5～9歳 | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 80代～ |
| **北海道**（札幌市） | 1 北海道 | 29,829 (100.0%) | 1,282 (4.3%) | 2,309 (7.7%) | 7,457 (25.0%) | 6,817 (22.9%) | 4,900 (16.4%) | 4,114 (13.8%) | 2,238 (7.5%) | 523 (1.8%) | 189 (0.6%) |
| **東北**（仙台市・新潟市） | 2 青森県 | 2,423 (100.0%) | 104 (4.3%) | 95 (3.9%) | 566 (23.4%) | 494 (20.4%) | 398 (16.4%) | 368 (15.2%) | 319 (13.2%) | 69 (2.8%) | 10 (0.4%) |
| | 3 岩手県 | 3,879 (100.0%) | 172 (4.4%) | 171 (4.4%) | 986 (25.4%) | 837 (21.6%) | 511 (13.2%) | 504 (13.0%) | 539 (13.9%) | 137 (3.5%) | 22 (0.6%) |
| | 4 宮城県 | 2,425 (100.0%) | 119 (4.9%) | 160 (6.6%) | 608 (25.1%) | 546 (22.5%) | 368 (15.2%) | 294 (12.1%) | 266 (11.0%) | 56 (2.3%) | 8 (0.3%) |
| | 5 秋田県 | 5,126 (100.0%) | 232 (4.5%) | 211 (4.1%) | 1,564 (30.5%) | 1,095 (21.4%) | 642 (12.5%) | 519 (10.1%) | 677 (13.2%) | 161 (3.1%) | 25 (0.5%) |
| | 6 山形県 | 2,891 (100.0%) | 124 (4.3%) | 159 (5.5%) | 946 (32.7%) | 657 (22.7%) | 347 (12.0%) | 247 (8.5%) | 295 (10.2%) | 97 (3.4%) | 19 (0.7%) |
| | 7 福島県 | 1,988 (100.0%) | 79 (4.0%) | 68 (3.4%) | 581 (29.2%) | 378 (19.0%) | 216 (10.9%) | 233 (11.7%) | 333 (16.8%) | 73 (3.7%) | 27 (1.4%) |
| | 15 新潟県 | 5,406 (100.0%) | 255 (4.7%) | 208 (3.8%) | 1,514 (28.0%) | 1,262 (23.3%) | 753 (13.9%) | 679 (12.6%) | 588 (10.9%) | 120 (2.2%) | 26 (0.5%) |
| **関東**（埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県の非過疎市町村及び一部過疎市町村） | 8 茨城県 | 349 (100.0%) | 12 (3.4%) | 13 (3.7%) | 66 (18.9%) | 72 (20.6%) | 37 (10.6%) | 39 (11.2%) | 80 (22.9%) | 28 (8.0%) | 2 (0.6%) |
| | 9 栃木県 | 350 (100.0%) | 12 (3.4%) | 7 (2.0%) | 87 (24.9%) | 72 (20.6%) | 54 (15.4%) | 47 (13.4%) | 56 (16.0%) | 15 (4.3%) | 0 (0.0%) |
| | 10 群馬県 | 1,142 (100.0%) | 34 (3.0%) | 73 (6.4%) | 261 (22.9%) | 236 (20.7%) | 146 (12.8%) | 133 (11.6%) | 191 (16.7%) | 48 (4.2%) | 20 (1.8%) |
| | 11 埼玉県 | 170 (100.0%) | 14 (8.2%) | 24 (14.1%) | 21 (12.4%) | 30 (17.6%) | 14 (8.2%) | 14 (8.2%) | 20 (11.8%) | 14 (8.2%) | 19 (11.2%) |
| | 12 千葉県 | 3,659 (100.0%) | 201 (5.5%) | 453 (12.4%) | 884 (24.2%) | 568 (15.5%) | 358 (9.8%) | 311 (8.5%) | 592 (16.2%) | 183 (5.0%) | 109 (3.0%) |
| | 13 東京都 | 1,505 (100.0%) | 72 (4.8%) | 167 (11.1%) | 220 (14.6%) | 341 (22.7%) | 233 (15.5%) | 237 (15.7%) | 131 (8.7%) | 70 (4.7%) | 33 (2.2%) |
| | 19 山梨県 | 893 (100.0%) | 32 (3.6%) | 42 (4.7%) | 208 (23.3%) | 165 (18.5%) | 95 (10.6%) | 103 (11.5%) | 179 (20.0%) | 50 (5.6%) | 19 (2.1%) |
| | 20 長野県 | 2,296 (100.0%) | 93 (4.1%) | 140 (6.1%) | 555 (24.2%) | 488 (21.3%) | 248 (10.8%) | 245 (10.7%) | 401 (17.5%) | 105 (4.6%) | 21 (0.9%) |
| **東海**（岐阜県・愛知県・三重県の非過疎市町村及び一部過疎市町村＋静岡市・浜松市） | 21 岐阜県 | 3,570 (100.0%) | 252 (7.1%) | 174 (4.9%) | 781 (21.9%) | 949 (26.6%) | 505 (14.1%) | 394 (11.0%) | 326 (9.1%) | 114 (3.2%) | 74 (2.1%) |
| | 22 静岡県 | 980 (100.0%) | 45 (4.6%) | 48 (4.9%) | 221 (22.6%) | 188 (19.2%) | 122 (12.4%) | 134 (13.7%) | 163 (16.6%) | 50 (5.1%) | 9 (0.9%) |
| | 23 愛知県 | 982 (100.0%) | 51 (5.2%) | 139 (14.2%) | 150 (15.3%) | 214 (21.8%) | 100 (10.2%) | 106 (10.8%) | 159 (16.2%) | 40 (4.1%) | 23 (2.3%) |
| | 24 三重県 | 3,496 (100.0%) | 147 (4.2%) | 425 (12.2%) | 691 (19.8%) | 734 (21.0%) | 497 (14.2%) | 424 (12.1%) | 356 (10.2%) | 126 (3.6%) | 96 (2.7%) |
| **北陸** | 16 富山県 | 540 (100.0%) | 28 (5.2%) | 16 (3.0%) | 184 (34.1%) | 120 (22.2%) | 75 (13.9%) | 59 (10.9%) | 43 (8.0%) | 11 (2.0%) | 4 (0.7%) |
| | 17 石川県 | 1,019 (100.0%) | 25 (2.5%) | 247 (24.2%) | 243 (23.8%) | 175 (17.2%) | 78 (7.7%) | 77 (7.6%) | 131 (12.9%) | 36 (3.5%) | 7 (0.7%) |
| | 18 福井県 | 156 (100.0%) | 7 (4.5%) | 5 (3.2%) | 58 (37.2%) | 26 (16.7%) | 17 (10.9%) | 9 (5.8%) | 30 (19.2%) | 3 (1.9%) | 1 (0.6%) |
| **近畿**（京都府・大阪府・兵庫県の非過疎市町村及び一部過疎市町村） | 25 滋賀県 | 36 (100.0%) | 1 (2.8%) | 2 (5.6%) | 5 (13.9%) | 8 (22.2%) | 4 (11.1%) | 6 (16.7%) | 7 (19.4%) | 1 (2.8%) | 2 (5.6%) |
| | 26 京都府 | 3,347 (100.0%) | 206 (6.2%) | 444 (13.3%) | 866 (25.9%) | 680 (20.3%) | 341 (10.2%) | 285 (8.5%) | 328 (9.8%) | 117 (3.5%) | 80 (2.4%) |
| | 27 大阪府 | 142 (100.0%) | 12 (8.5%) | 15 (10.6%) | 12 (8.5%) | 52 (36.6%) | 23 (16.2%) | 5 (3.5%) | 13 (9.2%) | 8 (5.6%) | 2 (1.4%) |
| | 28 兵庫県 | 3,342 (100.0%) | 224 (6.7%) | 215 (6.4%) | 786 (23.5%) | 772 (23.1%) | 357 (10.7%) | 322 (9.6%) | 422 (12.6%) | 143 (4.3%) | 101 (3.0%) |
| | 29 奈良県 | 1,775 (100.0%) | 112 (6.3%) | 314 (17.7%) | 266 (15.0%) | 348 (19.6%) | 216 (12.2%) | 206 (11.6%) | 216 (12.2%) | 66 (3.7%) | 31 (1.7%) |
| | 30 和歌山県 | 3,923 (100.0%) | 167 (4.3%) | 355 (9.0%) | 1,004 (25.6%) | 821 (20.9%) | 519 (13.2%) | 360 (9.2%) | 508 (12.9%) | 142 (3.6%) | 47 (1.2%) |
| **中国**（岡山市・広島市） | 31 鳥取県 | 591 (100.0%) | 22 (3.7%) | 21 (3.6%) | 171 (28.9%) | 122 (20.6%) | 43 (7.3%) | 75 (12.7%) | 108 (18.3%) | 20 (3.4%) | 9 (1.5%) |
| | 32 島根県 | 5,544 (100.0%) | 201 (3.6%) | 356 (6.4%) | 1,237 (22.3%) | 1,293 (23.3%) | 847 (15.3%) | 659 (11.9%) | 757 (13.7%) | 163 (2.9%) | 31 (0.6%) |
| | 33 岡山県 | 4,863 (100.0%) | 266 (5.5%) | 447 (9.2%) | 1,161 (23.9%) | 976 (20.1%) | 497 (10.2%) | 553 (11.4%) | 737 (15.2%) | 150 (3.1%) | 76 (1.6%) |
| | 34 広島県 | 5,904 (100.0%) | 319 (5.4%) | 487 (8.2%) | 1,501 (25.4%) | 1,331 (22.5%) | 662 (11.2%) | 575 (9.7%) | 724 (12.3%) | 181 (3.1%) | 124 (2.1%) |
| | 35 山口県 | 2,349 (100.0%) | 84 (3.6%) | 118 (5.0%) | 563 (24.0%) | 457 (19.5%) | 286 (12.2%) | 274 (11.7%) | 454 (19.3%) | 94 (4.0%) | 19 (0.8%) |
| **四国** | 36 徳島県 | 911 (100.0%) | 46 (5.0%) | 59 (6.5%) | 207 (22.7%) | 154 (16.9%) | 92 (10.1%) | 104 (11.4%) | 190 (20.9%) | 43 (4.7%) | 16 (1.8%) |
| | 37 香川県 | 1,018 (100.0%) | 41 (4.0%) | 40 (3.9%) | 306 (30.1%) | 197 (19.4%) | 118 (11.6%) | 105 (10.3%) | 157 (15.4%) | 42 (4.1%) | 12 (1.2%) |
| | 38 愛媛県 | 2,805 (100.0%) | 125 (4.5%) | 215 (7.7%) | 622 (22.2%) | 514 (18.3%) | 292 (10.4%) | 325 (11.6%) | 563 (20.1%) | 124 (4.4%) | 25 (0.9%) |
| | 39 高知県 | 2,032 (100.0%) | 60 (3.0%) | 332 (16.3%) | 436 (21.5%) | 331 (16.3%) | 180 (8.9%) | 207 (10.2%) | 387 (19.0%) | 85 (4.2%) | 14 (0.7%) |
| **九州**（北九州市・福岡市・熊本市） | 40 福岡県 | 5,640 (100.0%) | 342 (6.1%) | 395 (7.0%) | 1,292 (22.9%) | 1,289 (22.9%) | 691 (12.3%) | 609 (10.8%) | 721 (12.8%) | 185 (3.3%) | 116 (2.1%) |
| | 41 佐賀県 | 765 (100.0%) | 41 (5.4%) | 33 (4.3%) | 202 (26.4%) | 161 (21.0%) | 84 (11.0%) | 77 (10.1%) | 135 (17.6%) | 26 (3.4%) | 6 (0.8%) |
| | 42 長崎県 | 4,161 (100.0%) | 224 (5.4%) | 219 (5.3%) | 920 (22.1%) | 859 (20.6%) | 573 (13.8%) | 522 (12.5%) | 651 (15.6%) | 169 (4.1%) | 24 (0.6%) |
| | 43 熊本県 | 6,054 (100.0%) | 357 (5.9%) | 342 (5.6%) | 1,394 (23.0%) | 1,268 (20.9%) | 770 (12.7%) | 752 (12.4%) | 885 (14.6%) | 221 (3.7%) | 65 (1.1%) |
| | 44 大分県 | 5,181 (100.0%) | 230 (4.4%) | 332 (6.4%) | 1,206 (23.3%) | 1,105 (21.3%) | 615 (11.9%) | 605 (11.7%) | 854 (16.5%) | 195 (3.8%) | 39 (0.8%) |
| | 45 宮崎県 | 2,057 (100.0%) | 115 (5.6%) | 138 (6.7%) | 426 (20.7%) | 420 (20.4%) | 216 (10.5%) | 276 (13.4%) | 357 (17.4%) | 98 (4.8%) | 11 (0.5%) |
| | 46 鹿児島県 | 8,918 (100.0%) | 448 (5.0%) | 380 (4.3%) | 1,679 (18.8%) | 1,659 (18.6%) | 1,211 (13.6%) | 1,227 (13.8%) | 1,731 (19.4%) | 491 (5.5%) | 92 (1.0%) |
| **沖縄** | 47 沖縄県 | 1,869 (100.0%) | 99 (5.3%) | 93 (5.0%) | 416 (22.3%) | 435 (23.3%) | 306 (16.4%) | 231 (12.4%) | 230 (12.3%) | 46 (2.5%) | 13 (0.7%) |
| | 合計 | 148,301 (100.0%) | 7,134 (4.8%) | 10,706 (7.2%) | 35,530 (24.0%) | 31,716 (21.4%) | 19,657 (13.3%) | 17,650 (11.9%) | 19,248 (13.0%) | 4,939 (3.3%) | 1,718 (1.2%) |

## ②女性

■都市部から過疎地域への移住者の属性

| 地域ブロック（各ブロック内での「都市部」） | H12 | 都市部から過疎地域への移住者数：女性 | 女性・年代別 | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 5～9歳 | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 80代～ |
| **北海道**（札幌市） | 1 北海道 | 29,292 (100.0%) | 2,124 (7.3%) | 2,372 (8.1%) | 9,775 (33.4%) | 7,593 (25.9%) | 2,689 (9.2%) | 2,310 (7.9%) | 1,282 (4.4%) | 649 (2.2%) | 498 (1.7%) |
| **東北**（仙台市・新潟市） | 2 青森県 | 2,986 (100.0%) | 291 (9.7%) | 214 (7.2%) | 992 (33.2%) | 758 (25.4%) | 235 (7.9%) | 204 (6.8%) | 200 (6.7%) | 68 (2.3%) | 24 (0.8%) |
| | 3 岩手県 | 5,388 (100.0%) | 468 (8.7%) | 412 (7.6%) | 1,800 (33.4%) | 1,318 (24.5%) | 500 (9.3%) | 369 (6.8%) | 333 (6.2%) | 128 (2.4%) | 60 (1.1%) |
| | 4 宮城県 | 2,953 (100.0%) | 213 (7.2%) | 199 (6.7%) | 1,132 (38.3%) | 725 (24.6%) | 227 (7.7%) | 190 (6.4%) | 155 (5.2%) | 68 (2.3%) | 44 (1.5%) |
| | 5 秋田県 | 6,346 (100.0%) | 473 (7.5%) | 389 (6.1%) | 2,265 (35.7%) | 1,510 (23.8%) | 532 (8.4%) | 465 (7.3%) | 458 (7.2%) | 181 (2.9%) | 73 (1.2%) |
| | 6 山形県 | 3,221 (100.0%) | 245 (7.6%) | 210 (6.5%) | 1,200 (37.3%) | 715 (22.2%) | 267 (8.3%) | 241 (7.5%) | 221 (6.9%) | 76 (2.4%) | 46 (1.4%) |
| | 7 福島県 | 2,378 (100.0%) | 146 (6.1%) | 140 (5.9%) | 835 (35.1%) | 528 (22.2%) | 195 (8.2%) | 215 (9.0%) | 198 (8.3%) | 84 (3.5%) | 37 (1.6%) |
| | 15 新潟県 | 5,998 (100.0%) | 401 (6.7%) | 341 (5.7%) | 2,345 (39.1%) | 1,512 (25.2%) | 436 (7.3%) | 399 (6.7%) | 329 (5.5%) | 137 (2.3%) | 98 (1.6%) |
| **関東**（埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県の非過疎市町村及び一部過疎市町村） | 8 茨城県 | 363 (100.0%) | 22 (6.1%) | 20 (5.5%) | 105 (28.9%) | 66 (18.2%) | 33 (9.1%) | 48 (13.2%) | 42 (11.6%) | 14 (3.9%) | 13 (3.6%) |
| | 9 栃木県 | 346 (100.0%) | 16 (4.6%) | 19 (5.5%) | 113 (32.7%) | 67 (19.4%) | 32 (9.2%) | 38 (11.0%) | 38 (11.0%) | 14 (4.0%) | 9 (2.6%) |
| | 10 群馬県 | 1,303 (100.0%) | 65 (5.0%) | 83 (6.4%) | 456 (35.0%) | 270 (20.7%) | 111 (8.5%) | 117 (9.0%) | 110 (8.4%) | 51 (3.9%) | 40 (3.1%) |
| | 11 埼玉県 | 311 (100.0%) | 33 (10.6%) | 17 (5.5%) | 71 (22.8%) | 53 (17.0%) | 26 (8.4%) | 16 (5.1%) | 17 (5.5%) | 20 (6.4%) | 58 (18.6%) |
| | 12 千葉県 | 3,820 (100.0%) | 287 (7.5%) | 359 (9.4%) | 1,035 (27.1%) | 781 (20.4%) | 303 (7.9%) | 322 (8.4%) | 287 (7.5%) | 174 (4.6%) | 272 (7.1%) |
| | 13 東京都 | 1,161 (100.0%) | 80 (6.9%) | 81 (7.0%) | 233 (20.1%) | 279 (24.0%) | 111 (9.6%) | 98 (8.4%) | 57 (4.9%) | 77 (6.6%) | 145 (12.5%) |
| | 19 山梨県 | 1,043 (100.0%) | 64 (6.1%) | 71 (6.8%) | 265 (25.4%) | 231 (22.1%) | 101 (9.7%) | 117 (11.2%) | 114 (10.9%) | 39 (3.7%) | 41 (3.9%) |
| | 20 長野県 | 3,080 (100.0%) | 169 (5.5%) | 231 (7.5%) | 1,090 (35.4%) | 710 (23.1%) | 259 (8.4%) | 291 (9.4%) | 197 (6.4%) | 77 (2.5%) | 56 (1.8%) |
| **東海**（岐阜県・愛知県・三重県の非過疎市町村及び一部過疎市町村＋静岡市・浜松市） | 21 岐阜県 | 5,169 (100.0%) | 408 (7.9%) | 355 (6.9%) | 1,949 (37.7%) | 1,314 (25.4%) | 371 (7.2%) | 314 (6.1%) | 205 (4.0%) | 129 (2.5%) | 124 (2.4%) |
| | 22 静岡県 | 1,138 (100.0%) | 67 (5.9%) | 64 (5.6%) | 383 (33.7%) | 233 (20.5%) | 99 (8.7%) | 120 (10.5%) | 95 (8.3%) | 53 (4.7%) | 24 (2.1%) |
| | 23 愛知県 | 1,291 (100.0%) | 98 (7.6%) | 160 (12.4%) | 373 (28.9%) | 266 (20.6%) | 105 (8.1%) | 109 (8.4%) | 67 (5.2%) | 51 (4.0%) | 62 (4.8%) |
| | 24 三重県 | 3,916 (100.0%) | 273 (7.0%) | 350 (8.9%) | 1,350 (34.5%) | 871 (22.2%) | 247 (6.3%) | 271 (6.9%) | 246 (6.3%) | 154 (3.9%) | 154 (3.9%) |
| **北陸** | 16 富山県 | 518 (100.0%) | 24 (4.6%) | 31 (6.0%) | 246 (47.5%) | 115 (22.2%) | 38 (7.3%) | 28 (5.4%) | 23 (4.4%) | 11 (2.1%) | 2 (0.4%) |
| | 17 石川県 | 991 (100.0%) | 55 (5.5%) | 69 (7.0%) | 360 (36.3%) | 201 (20.3%) | 78 (7.9%) | 104 (10.5%) | 63 (6.4%) | 41 (4.1%) | 20 (2.0%) |
| | 18 福井県 | 232 (100.0%) | 17 (7.3%) | 9 (3.9%) | 89 (38.4%) | 52 (22.4%) | 17 (7.3%) | 21 (9.1%) | 17 (7.3%) | 4 (1.7%) | 6 (2.6%) |
| **近畿**（京都府・大阪府・兵庫県の非過疎市町村及び一部過疎市町村） | 25 滋賀県 | 97 (100.0%) | 5 (5.2%) | 2 (2.1%) | 42 (43.3%) | 18 (18.6%) | 9 (9.3%) | 14 (14.4%) | 5 (5.2%) | 1 (1.0%) | 1 (1.0%) |
| | 26 京都府 | 4,481 (100.0%) | 347 (7.7%) | 448 (10.0%) | 1,364 (30.4%) | 1,047 (23.4%) | 336 (7.5%) | 339 (7.6%) | 240 (5.4%) | 164 (3.7%) | 196 (4.4%) |
| | 27 大阪府 | 295 (100.0%) | 25 (8.5%) | 28 (9.5%) | 65 (22.0%) | 67 (22.7%) | 30 (10.2%) | 27 (9.2%) | 15 (5.1%) | 15 (5.1%) | 23 (7.8%) |
| | 28 兵庫県 | 5,148 (100.0%) | 375 (7.3%) | 299 (5.8%) | 1,744 (33.9%) | 1,220 (23.7%) | 371 (7.2%) | 385 (7.5%) | 279 (5.4%) | 197 (3.8%) | 278 (5.4%) |
| | 29 奈良県 | 2,468 (100.0%) | 193 (7.8%) | 164 (6.6%) | 706 (28.6%) | 601 (24.4%) | 215 (8.7%) | 200 (8.1%) | 150 (6.1%) | 107 (4.3%) | 132 (5.3%) |
| | 30 和歌山県 | 4,891 (100.0%) | 344 (7.0%) | 272 (5.6%) | 1,678 (34.3%) | 1,116 (22.8%) | 347 (7.1%) | 446 (9.1%) | 409 (8.4%) | 183 (3.7%) | 96 (2.0%) |
| **中国**（岡山市・広島市） | 31 鳥取県 | 868 (100.0%) | 56 (6.5%) | 61 (7.0%) | 327 (37.7%) | 143 (16.5%) | 71 (8.2%) | 85 (9.8%) | 72 (8.3%) | 29 (3.3%) | 24 (2.8%) |
| | 32 島根県 | 5,082 (100.0%) | 322 (6.3%) | 367 (7.2%) | 1,904 (37.5%) | 1,019 (20.1%) | 398 (7.8%) | 475 (9.3%) | 382 (7.5%) | 154 (3.0%) | 61 (1.2%) |
| | 33 岡山県 | 6,129 (100.0%) | 417 (6.8%) | 691 (11.3%) | 2,040 (33.3%) | 1,181 (19.3%) | 453 (7.4%) | 591 (9.6%) | 421 (6.9%) | 169 (2.8%) | 166 (2.7%) |
| | 34 広島県 | 6,369 (100.0%) | 400 (6.3%) | 533 (8.4%) | 2,152 (33.8%) | 1,373 (21.6%) | 503 (7.9%) | 583 (9.2%) | 413 (6.5%) | 206 (3.2%) | 206 (3.2%) |
| | 35 山口県 | 2,704 (100.0%) | 180 (6.7%) | 192 (7.1%) | 877 (32.4%) | 496 (18.3%) | 230 (8.5%) | 343 (12.7%) | 257 (9.5%) | 76 (2.8%) | 53 (2.0%) |
| **四国** | 36 徳島県 | 1,237 (100.0%) | 74 (6.0%) | 73 (5.9%) | 419 (33.9%) | 248 (20.0%) | 96 (7.8%) | 134 (10.8%) | 100 (8.1%) | 56 (4.5%) | 37 (3.0%) |
| | 37 香川県 | 1,060 (100.0%) | 67 (6.3%) | 61 (5.8%) | 407 (38.4%) | 185 (17.5%) | 82 (7.7%) | 97 (9.2%) | 85 (8.0%) | 46 (4.3%) | 30 (2.8%) |
| | 38 愛媛県 | 3,464 (100.0%) | 213 (6.1%) | 249 (7.2%) | 1,147 (33.1%) | 703 (20.3%) | 266 (7.7%) | 351 (10.1%) | 351 (10.1%) | 142 (4.1%) | 42 (1.2%) |
| | 39 高知県 | 2,271 (100.0%) | 134 (5.9%) | 183 (8.1%) | 668 (29.4%) | 403 (17.7%) | 174 (7.7%) | 279 (12.3%) | 276 (12.2%) | 104 (4.6%) | 50 (2.2%) |
| **九州**（北九州市・福岡市・熊本市） | 40 福岡県 | 6,413 (100.0%) | 491 (7.7%) | 523 (8.2%) | 1,701 (26.5%) | 1,468 (22.9%) | 619 (9.7%) | 650 (10.1%) | 512 (8.0%) | 239 (3.7%) | 210 (3.3%) |
| | 41 佐賀県 | 932 (100.0%) | 63 (6.8%) | 66 (7.1%) | 316 (33.9%) | 184 (19.7%) | 85 (9.1%) | 85 (9.1%) | 74 (7.9%) | 38 (4.1%) | 21 (2.3%) |
| | 42 長崎県 | 5,516 (100.0%) | 368 (6.7%) | 370 (6.7%) | 1,835 (33.3%) | 1,236 (22.4%) | 465 (8.4%) | 466 (8.4%) | 479 (8.7%) | 219 (4.0%) | 78 (1.4%) |
| | 43 熊本県 | 7,322 (100.0%) | 515 (7.0%) | 544 (7.4%) | 2,402 (32.8%) | 1,664 (22.7%) | 610 (8.3%) | 635 (8.7%) | 571 (7.8%) | 247 (3.4%) | 134 (1.8%) |
| | 44 大分県 | 5,638 (100.0%) | 397 (7.0%) | 411 (7.3%) | 1,749 (31.0%) | 1,137 (20.2%) | 506 (9.0%) | 709 (12.6%) | 478 (8.5%) | 164 (2.9%) | 87 (1.5%) |
| | 45 宮崎県 | 2,225 (100.0%) | 159 (7.1%) | 199 (8.9%) | 644 (28.9%) | 426 (19.1%) | 197 (8.9%) | 235 (10.6%) | 260 (11.7%) | 74 (3.3%) | 31 (1.4%) |
| | 46 鹿児島県 | 10,481 (100.0%) | 759 (7.2%) | 869 (8.3%) | 2,590 (24.7%) | 2,119 (20.2%) | 1,029 (9.8%) | 1,224 (11.7%) | 1,282 (12.2%) | 429 (4.1%) | 180 (1.7%) |
| **沖縄** | 47 沖縄県 | 1,875 (100.0%) | 207 (11.0%) | 165 (8.8%) | 702 (37.4%) | 529 (28.2%) | 143 (7.6%) | 74 (3.9%) | 30 (1.6%) | 17 (0.9%) | 8 (0.4%) |
| | 合計 | 170,210 (100.0%) | 12,150 (7.1%) | 12,966 (7.6%) | 55,941 (32.9%) | 38,751 (22.8%) | 14,247 (8.4%) | 14,834 (8.7%) | 11,895 (7.0%) | 5,376 (3.2%) | 4,050 (2.4%) |

■都市部から過疎地域への移住者の属性

※H12＜H22に網掛け

| 地域ブロック（各ブロック内での「都市部」） | H22 | 都市部から過疎地域への移住者数：女性 | 女性・年代別 | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 5～9歳 | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 80代～ |
| **北海道**（札幌市） | 1 北海道 | 21,068 (100.0%) | 1,343 (6.4%) | 1,330 (6.3%) | 5,576 (26.5%) | 6,096 (28.9%) | 2,399 (11.4%) | 1,738 (8.2%) | 1,462 (6.9%) | 546 (2.6%) | 578 (2.7%) |
| **東北**（仙台市・新潟市） | 2 青森県 | 1,564 (100.0%) | 92 (5.9%) | 90 (5.8%) | 424 (27.1%) | 391 (25.0%) | 164 (10.5%) | 144 (9.2%) | 175 (11.2%) | 58 (3.7%) | 26 (1.7%) |
| | 3 岩手県 | 3,024 (100.0%) | 175 (5.8%) | 143 (4.7%) | 913 (30.2%) | 758 (25.1%) | 285 (9.4%) | 284 (9.4%) | 306 (10.1%) | 101 (3.3%) | 59 (2.0%) |
| | 4 宮城県 | 1,947 (100.0%) | 131 (6.7%) | 86 (4.4%) | 577 (29.6%) | 538 (27.6%) | 189 (9.7%) | 164 (8.4%) | 151 (7.8%) | 50 (2.6%) | 61 (3.1%) |
| | 5 秋田県 | 4,100 (100.0%) | 217 (5.3%) | 154 (3.8%) | 1,322 (32.2%) | 1,061 (25.9%) | 361 (8.8%) | 326 (8.0%) | 422 (10.3%) | 151 (3.7%) | 86 (2.1%) |
| | 6 山形県 | 2,287 (100.0%) | 128 (5.6%) | 104 (4.5%) | 831 (36.3%) | 608 (26.6%) | 169 (7.4%) | 135 (5.9%) | 201 (8.8%) | 67 (2.9%) | 44 (1.9%) |
| | 7 福島県 | 1,629 (100.0%) | 88 (5.4%) | 61 (3.7%) | 515 (31.6%) | 352 (21.6%) | 133 (8.2%) | 126 (7.7%) | 218 (13.4%) | 75 (4.6%) | 61 (3.7%) |
| | 15 新潟県 | 4,032 (100.0%) | 210 (5.2%) | 152 (3.8%) | 1,367 (33.9%) | 1,167 (28.9%) | 313 (7.8%) | 284 (7.0%) | 347 (8.6%) | 109 (2.7%) | 83 (2.1%) |
| **関東**（埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県の非過疎市町村及び一部過疎市町村） | 8 茨城県 | 277 (100.0%) | 17 (6.1%) | 6 (2.2%) | 55 (19.9%) | 68 (24.5%) | 14 (5.1%) | 33 (11.9%) | 57 (20.6%) | 16 (5.8%) | 11 (4.0%) |
| | 9 栃木県 | 217 (100.0%) | 10 (4.6%) | 7 (3.2%) | 60 (27.6%) | 52 (24.0%) | 19 (8.8%) | 24 (11.1%) | 32 (14.7%) | 11 (5.1%) | 2 (0.9%) |
| | 10 群馬県 | 922 (100.0%) | 41 (4.4%) | 32 (3.5%) | 258 (28.0%) | 189 (20.5%) | 73 (7.9%) | 83 (9.0%) | 139 (15.1%) | 52 (5.6%) | 55 (6.0%) |
| | 11 埼玉県 | 231 (100.0%) | 15 (6.5%) | 18 (7.8%) | 33 (14.3%) | 46 (19.9%) | 11 (4.8%) | 16 (6.9%) | 11 (4.8%) | 15 (6.5%) | 66 (28.6%) |
| | 12 千葉県 | 3,199 (100.0%) | 178 (5.6%) | 239 (7.5%) | 582 (18.2%) | 692 (21.6%) | 296 (9.3%) | 238 (7.4%) | 446 (13.9%) | 172 (5.4%) | 356 (11.1%) |
| | 13 東京都 | 1,211 (100.0%) | 64 (5.3%) | 105 (8.7%) | 206 (17.0%) | 282 (23.3%) | 109 (9.0%) | 84 (6.9%) | 96 (7.9%) | 66 (5.5%) | 199 (16.4%) |
| | 19 山梨県 | 696 (100.0%) | 29 (4.2%) | 32 (4.6%) | 131 (18.8%) | 161 (23.1%) | 51 (7.3%) | 67 (9.6%) | 136 (19.5%) | 53 (7.6%) | 36 (5.2%) |
| | 20 長野県 | 1,928 (100.0%) | 108 (5.6%) | 100 (5.2%) | 494 (25.6%) | 471 (24.4%) | 162 (8.4%) | 182 (9.4%) | 266 (13.8%) | 81 (4.2%) | 64 (3.3%) |
| **東海**（岐阜県・愛知県・三重県の非過疎市町村及び一部過疎市町村＋静岡市・浜松市） | 21 岐阜県 | 3,581 (100.0%) | 262 (7.3%) | 200 (5.6%) | 1,006 (28.1%) | 1,047 (29.2%) | 298 (8.3%) | 210 (5.9%) | 215 (6.0%) | 137 (3.8%) | 206 (5.8%) |
| | 22 静岡県 | 768 (100.0%) | 28 (3.6%) | 39 (5.1%) | 190 (24.7%) | 196 (25.5%) | 56 (7.3%) | 93 (12.1%) | 110 (14.3%) | 28 (3.6%) | 28 (3.6%) |
| | 23 愛知県 | 856 (100.0%) | 68 (7.9%) | 78 (9.1%) | 174 (20.3%) | 205 (23.9%) | 75 (8.8%) | 73 (8.5%) | 99 (11.6%) | 33 (3.9%) | 51 (6.0%) |
| | 24 三重県 | 2,631 (100.0%) | 161 (6.1%) | 179 (6.8%) | 623 (23.7%) | 633 (24.1%) | 215 (8.2%) | 216 (8.2%) | 234 (8.9%) | 127 (4.8%) | 243 (9.2%) |
| **北陸** | 16 富山県 | 444 (100.0%) | 31 (7.0%) | 19 (4.3%) | 174 (39.2%) | 122 (27.5%) | 37 (8.3%) | 20 (4.5%) | 27 (6.1%) | 7 (1.6%) | 7 (1.6%) |
| | 17 石川県 | 676 (100.0%) | 31 (4.6%) | 45 (6.7%) | 194 (28.7%) | 151 (22.3%) | 52 (7.7%) | 69 (10.2%) | 81 (12.0%) | 31 (4.6%) | 22 (3.3%) |
| | 18 福井県 | 146 (100.0%) | 10 (6.8%) | 4 (2.7%) | 56 (38.4%) | 27 (18.5%) | 13 (8.9%) | 14 (9.6%) | 16 (11.0%) | 2 (1.4%) | 4 (2.7%) |
| **近畿**（京都府・大阪府・兵庫県の非過疎市町村及び一部過疎市町村） | 25 滋賀県 | 42 (100.0%) | 1 (2.4%) | 0 (0.0%) | 17 (40.5%) | 8 (19.0%) | 5 (11.9%) | 2 (4.8%) | 5 (11.9%) | 2 (4.8%) | 2 (4.8%) |
| | 26 京都府 | 3,186 (100.0%) | 188 (5.9%) | 271 (8.5%) | 779 (24.5%) | 747 (23.4%) | 264 (8.3%) | 218 (6.8%) | 259 (8.1%) | 130 (4.1%) | 330 (10.4%) |
| | 27 大阪府 | 183 (100.0%) | 12 (6.6%) | 16 (8.7%) | 25 (13.7%) | 59 (32.2%) | 17 (9.3%) | 14 (7.7%) | 11 (6.0%) | 12 (6.6%) | 17 (9.3%) |
| | 28 兵庫県 | 3,550 (100.0%) | 208 (5.9%) | 195 (5.5%) | 978 (27.5%) | 916 (25.8%) | 267 (7.5%) | 279 (7.9%) | 275 (7.7%) | 125 (3.5%) | 307 (8.6%) |
| | 29 奈良県 | 1,507 (100.0%) | 95 (6.3%) | 96 (6.4%) | 318 (21.1%) | 359 (23.8%) | 144 (9.6%) | 142 (9.4%) | 138 (9.2%) | 75 (5.0%) | 140 (9.3%) |
| | 30 和歌山県 | 3,101 (100.0%) | 176 (5.7%) | 185 (6.0%) | 833 (26.9%) | 796 (25.7%) | 313 (10.1%) | 249 (8.0%) | 298 (9.6%) | 132 (4.3%) | 119 (3.8%) |
| **中国**（岡山市・広島市） | 31 鳥取県 | 564 (100.0%) | 29 (5.1%) | 25 (4.4%) | 186 (33.0%) | 103 (18.3%) | 45 (8.0%) | 54 (9.6%) | 81 (14.4%) | 21 (3.7%) | 20 (3.5%) |
| | 32 島根県 | 3,569 (100.0%) | 186 (5.2%) | 179 (5.0%) | 1,052 (29.5%) | 915 (25.6%) | 272 (7.6%) | 283 (7.9%) | 472 (13.2%) | 126 (3.5%) | 84 (2.4%) |
| | 33 岡山県 | 4,351 (100.0%) | 238 (5.5%) | 333 (7.7%) | 1,182 (27.2%) | 973 (22.4%) | 360 (8.3%) | 408 (9.4%) | 495 (11.4%) | 156 (3.6%) | 206 (4.7%) |
| | 34 広島県 | 4,845 (100.0%) | 284 (5.9%) | 330 (6.8%) | 1,205 (24.9%) | 1,250 (25.8%) | 368 (7.6%) | 410 (8.5%) | 474 (9.8%) | 190 (3.9%) | 334 (6.9%) |
| | 35 山口県 | 1,906 (100.0%) | 87 (4.6%) | 73 (3.8%) | 436 (22.9%) | 451 (23.7%) | 203 (10.7%) | 250 (13.1%) | 302 (15.8%) | 61 (3.2%) | 43 (2.3%) |
| **四国** | 36 徳島県 | 827 (100.0%) | 33 (4.0%) | 44 (5.3%) | 206 (24.9%) | 175 (21.2%) | 63 (7.6%) | 91 (11.0%) | 113 (13.7%) | 54 (6.5%) | 48 (5.8%) |
| | 37 香川県 | 909 (100.0%) | 35 (3.9%) | 32 (3.5%) | 297 (32.7%) | 205 (22.6%) | 76 (8.4%) | 87 (9.6%) | 116 (12.8%) | 40 (4.4%) | 21 (2.3%) |
| | 38 愛媛県 | 2,327 (100.0%) | 133 (5.7%) | 141 (6.1%) | 587 (25.2%) | 499 (21.4%) | 188 (8.1%) | 241 (10.4%) | 363 (15.6%) | 123 (5.3%) | 52 (2.2%) |
| | 39 高知県 | 1,426 (100.0%) | 61 (4.3%) | 98 (6.9%) | 353 (24.8%) | 277 (19.4%) | 87 (6.1%) | 156 (10.9%) | 280 (19.6%) | 75 (5.3%) | 39 (2.7%) |
| **九州**（北九州市・福岡市・熊本市） | 40 福岡県 | 4,862 (100.0%) | 340 (7.0%) | 319 (6.6%) | 1,132 (23.3%) | 1,246 (25.6%) | 428 (8.8%) | 395 (8.1%) | 466 (9.6%) | 203 (4.2%) | 333 (6.8%) |
| | 41 佐賀県 | 658 (100.0%) | 37 (5.6%) | 40 (6.1%) | 172 (26.1%) | 159 (24.2%) | 49 (7.4%) | 85 (12.9%) | 75 (11.4%) | 20 (3.0%) | 21 (3.2%) |
| | 42 長崎県 | 3,382 (100.0%) | 210 (6.2%) | 163 (4.8%) | 851 (25.2%) | 819 (24.2%) | 309 (9.1%) | 338 (10.0%) | 430 (12.7%) | 163 (4.8%) | 99 (2.9%) |
| | 43 熊本県 | 5,547 (100.0%) | 353 (6.4%) | 284 (5.1%) | 1,423 (25.7%) | 1,405 (25.3%) | 495 (8.9%) | 561 (10.1%) | 622 (11.2%) | 206 (3.7%) | 198 (3.6%) |
| | 44 大分県 | 4,000 (100.0%) | 222 (5.6%) | 179 (4.5%) | 982 (24.6%) | 966 (24.2%) | 325 (8.1%) | 477 (11.9%) | 582 (14.6%) | 160 (4.0%) | 107 (2.7%) |
| | 45 宮崎県 | 1,647 (100.0%) | 101 (6.1%) | 97 (5.9%) | 426 (25.9%) | 356 (21.6%) | 137 (8.3%) | 174 (10.6%) | 266 (16.2%) | 61 (3.7%) | 29 (1.8%) |
| | 46 鹿児島県 | 7,256 (100.0%) | 398 (5.5%) | 436 (6.0%) | 1,562 (21.5%) | 1,546 (21.3%) | 708 (9.8%) | 912 (12.6%) | 1,126 (15.5%) | 400 (5.5%) | 168 (2.3%) |
| **沖縄** | 47 沖縄県 | 1,808 (100.0%) | 90 (5.0%) | 59 (3.3%) | 584 (32.3%) | 555 (30.7%) | 190 (10.5%) | 159 (8.8%) | 117 (6.5%) | 31 (1.7%) | 23 (1.3%) |
| | 合計 | 118,887 (100.0%) | 6,954 (5.8%) | 6,818 (5.7%) | 31,347 (26.4%) | 30,098 (25.3%) | 10,807 (9.1%) | 10,608 (8.9%) | 12,613 (10.6%) | 4,554 (3.8%) | 5,088 (4.3%) |

## （３）都市部から過疎地域への移住者の世帯構成　〔１－３（２）⑦参照〕

■ 都市部から過疎地域への移住者の世帯構成

| 地域ブロック（各ブロック内での「都市部」） | H12 | 都市部から過疎地域への移住者数 | 世帯の家族類型 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 核家族世帯 | | | | | | 核家族以外の世帯 | | 非親族を含む世帯 | | 単独世帯 | |
| | | | 夫婦のみの世帯 | | 夫婦と子供から成る世帯 | | 男親又は女親と子供から成る世帯 | | | | | | | |
| **北海道**（札幌市） | 1 北海道 | 70,059 (100.0%) | 10,169 | (14.5%) | 22,489 | (32.1%) | 4,648 | (6.6%) | 6,379 | (9.1%) | 445 | (0.6%) | 21,914 | (31.3%) |
| **東北**（仙台市・新潟市） | 2 青森県 | 6,977 (100.0%) | 698 | (10.0%) | 2,039 | (29.2%) | 723 | (10.4%) | 2,223 | (31.9%) | 24 | (0.3%) | 928 | (13.3%) |
| | 3 岩手県 | 12,379 (100.0%) | 1,365 | (11.0%) | 3,632 | (29.3%) | 1,209 | (9.8%) | 3,732 | (30.1%) | 48 | (0.4%) | 2,152 | (17.4%) |
| | 4 宮城県 | 6,464 (100.0%) | 683 | (10.6%) | 1,615 | (25.0%) | 473 | (7.3%) | 2,182 | (33.8%) | 22 | (0.3%) | 1,260 | (19.5%) |
| | 5 秋田県 | 14,041 (100.0%) | 1,651 | (11.8%) | 4,090 | (29.1%) | 1,232 | (8.8%) | 4,573 | (32.6%) | 76 | (0.5%) | 2,275 | (16.2%) |
| | 6 山形県 | 7,074 (100.0%) | 794 | (11.2%) | 1,965 | (27.8%) | 475 | (6.7%) | 2,483 | (35.1%) | 25 | (0.4%) | 1,143 | (16.2%) |
| | 7 福島県 | 5,304 (100.0%) | 719 | (13.6%) | 1,354 | (25.5%) | 409 | (7.7%) | 1,736 | (32.7%) | 18 | (0.3%) | 987 | (18.6%) |
| | 15 新潟県 | 13,620 (100.0%) | 1,501 | (11.0%) | 3,827 | (28.1%) | 889 | (6.5%) | 4,082 | (30.0%) | 39 | (0.3%) | 2,973 | (21.8%) |
| **関東**（埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県の非過疎市町村及び一部過疎市町村） | 8 茨城県 | 816 (100.0%) | 126 | (15.4%) | 229 | (28.1%) | 64 | (7.8%) | 279 | (34.2%) | 3 | (0.4%) | 100 | (12.3%) |
| | 9 栃木県 | 777 (100.0%) | 127 | (16.3%) | 187 | (24.1%) | 38 | (4.9%) | 204 | (26.3%) | 2 | (0.3%) | 194 | (25.0%) |
| | 10 群馬県 | 3,123 (100.0%) | 446 | (14.3%) | 704 | (22.5%) | 192 | (6.1%) | 643 | (20.6%) | 35 | (1.1%) | 742 | (23.8%) |
| | 11 埼玉県 | 605 (100.0%) | 44 | (7.3%) | 142 | (23.5%) | 39 | (6.4%) | 166 | (27.4%) | 3 | (0.5%) | 84 | (13.9%) |
| | 12 千葉県 | 8,019 (100.0%) | 946 | (11.8%) | 1,892 | (23.6%) | 420 | (5.2%) | 2,061 | (25.7%) | 39 | (0.5%) | 1,844 | (23.0%) |
| | 13 東京都 | 2,479 (100.0%) | 315 | (12.7%) | 803 | (32.4%) | 127 | (5.1%) | 248 | (10.0%) | 9 | (0.4%) | 545 | (22.0%) |
| | 19 山梨県 | 2,400 (100.0%) | 370 | (15.4%) | 722 | (30.1%) | 188 | (7.8%) | 548 | (22.8%) | 16 | (0.7%) | 444 | (18.5%) |
| | 20 長野県 | 6,789 (100.0%) | 968 | (14.3%) | 1,990 | (29.3%) | 337 | (5.0%) | 1,569 | (23.1%) | 54 | (0.8%) | 1,604 | (23.6%) |
| **東海**（岐阜県・愛知県・三重県の非過疎市町村及び一部過疎市町村＋静岡市・浜松市） | 21 岐阜県 | 10,869 (100.0%) | 964 | (8.9%) | 3,086 | (28.4%) | 508 | (4.7%) | 3,591 | (33.0%) | 34 | (0.3%) | 1,852 | (17.0%) |
| | 22 静岡県 | 2,487 (100.0%) | 389 | (15.6%) | 600 | (24.1%) | 165 | (6.6%) | 685 | (27.5%) | 27 | (1.1%) | 560 | (22.5%) |
| | 23 愛知県 | 2,726 (100.0%) | 279 | (10.2%) | 662 | (24.3%) | 78 | (2.9%) | 839 | (30.8%) | 8 | (0.3%) | 381 | (14.0%) |
| | 24 三重県 | 8,197 (100.0%) | 1,101 | (13.4%) | 2,540 | (31.0%) | 506 | (6.2%) | 1,580 | (19.3%) | 24 | (0.3%) | 1,865 | (22.8%) |
| **北陸** | 16 富山県 | 1,296 (100.0%) | 108 | (8.3%) | 336 | (25.9%) | 68 | (5.2%) | 492 | (38.0%) | 5 | (0.4%) | 258 | (19.9%) |
| | 17 石川県 | 2,269 (100.0%) | 253 | (11.2%) | 529 | (23.3%) | 167 | (7.4%) | 742 | (32.7%) | 10 | (0.4%) | 488 | (21.5%) |
| | 18 福井県 | 595 (100.0%) | 44 | (7.4%) | 188 | (31.6%) | 39 | (6.6%) | 180 | (30.3%) | 0 | (0.0%) | 79 | (13.3%) |
| **近畿**（京都府・大阪府・兵庫県の非過疎市町村及び一部過疎市町村） | 25 滋賀県 | 192 (100.0%) | 42 | (21.9%) | 57 | (29.7%) | 13 | (6.8%) | 55 | (28.6%) | 0 | (0.0%) | 25 | (13.0%) |
| | 26 京都府 | 9,058 (100.0%) | 997 | (11.0%) | 3,031 | (33.5%) | 444 | (4.9%) | 2,259 | (24.9%) | 20 | (0.2%) | 1,554 | (17.2%) |
| | 27 大阪府 | 524 (100.0%) | 53 | (10.1%) | 253 | (48.3%) | 21 | (4.0%) | 157 | (30.0%) | 0 | (0.0%) | 15 | (2.9%) |
| | 28 兵庫県 | 10,071 (100.0%) | 1,269 | (12.6%) | 3,146 | (31.2%) | 504 | (5.0%) | 2,851 | (28.3%) | 29 | (0.3%) | 1,438 | (14.3%) |
| | 29 奈良県 | 5,138 (100.0%) | 604 | (11.8%) | 1,663 | (32.4%) | 273 | (5.3%) | 1,340 | (26.1%) | 16 | (0.3%) | 746 | (14.5%) |
| | 30 和歌山県 | 10,835 (100.0%) | 1,819 | (16.8%) | 3,931 | (36.3%) | 841 | (7.8%) | 1,692 | (15.6%) | 77 | (0.7%) | 1,996 | (18.4%) |
| **中国**（岡山市・広島市） | 31 鳥取県 | 1,844 (100.0%) | 207 | (11.2%) | 464 | (25.2%) | 126 | (6.8%) | 771 | (41.8%) | 9 | (0.5%) | 207 | (11.2%) |
| | 32 島根県 | 11,360 (100.0%) | 1,526 | (13.4%) | 3,537 | (31.1%) | 837 | (7.4%) | 2,978 | (26.2%) | 46 | (0.4%) | 1,979 | (17.4%) |
| | 33 岡山県 | 13,046 (100.0%) | 1,613 | (12.4%) | 3,678 | (28.2%) | 699 | (5.4%) | 3,500 | (26.8%) | 44 | (0.3%) | 2,670 | (20.5%) |
| | 34 広島県 | 14,172 (100.0%) | 1,813 | (12.8%) | 4,429 | (31.3%) | 901 | (6.4%) | 3,220 | (22.7%) | 53 | (0.4%) | 2,541 | (17.9%) |
| | 35 山口県 | 5,850 (100.0%) | 958 | (16.4%) | 1,876 | (32.1%) | 618 | (10.6%) | 1,295 | (22.1%) | 14 | (0.2%) | 962 | (16.4%) |
| **四国** | 36 徳島県 | 2,749 (100.0%) | 410 | (14.9%) | 853 | (31.0%) | 287 | (10.4%) | 723 | (26.3%) | 12 | (0.4%) | 386 | (14.0%) |
| | 37 香川県 | 2,335 (100.0%) | 283 | (12.1%) | 796 | (34.1%) | 197 | (8.4%) | 595 | (25.5%) | 10 | (0.4%) | 423 | (18.1%) |
| | 38 愛媛県 | 7,805 (100.0%) | 1,210 | (15.5%) | 2,775 | (35.6%) | 875 | (11.2%) | 1,599 | (20.5%) | 41 | (0.5%) | 1,181 | (15.1%) |
| | 39 高知県 | 5,442 (100.0%) | 843 | (15.5%) | 1,566 | (28.8%) | 527 | (9.7%) | 1,019 | (18.7%) | 20 | (0.4%) | 1,144 | (21.0%) |
| **九州**（北九州市・福岡市・熊本市） | 40 福岡県 | 13,454 (100.0%) | 1,742 | (12.9%) | 5,142 | (38.2%) | 1,200 | (8.9%) | 2,797 | (20.8%) | 53 | (0.4%) | 1,874 | (13.9%) |
| | 41 佐賀県 | 1,998 (100.0%) | 202 | (10.1%) | 615 | (30.8%) | 212 | (10.6%) | 706 | (35.3%) | 14 | (0.7%) | 213 | (10.7%) |
| | 42 長崎県 | 11,893 (100.0%) | 1,567 | (13.2%) | 3,943 | (33.2%) | 1,357 | (11.4%) | 2,920 | (24.6%) | 48 | (0.4%) | 1,915 | (16.1%) |
| | 43 熊本県 | 15,237 (100.0%) | 1,997 | (13.1%) | 4,811 | (31.6%) | 1,101 | (7.2%) | 4,041 | (26.5%) | 58 | (0.4%) | 2,865 | (18.8%) |
| | 44 大分県 | 12,315 (100.0%) | 1,961 | (15.9%) | 4,121 | (33.5%) | 1,007 | (8.2%) | 2,756 | (22.4%) | 53 | (0.4%) | 2,138 | (17.4%) |
| | 45 宮崎県 | 4,952 (100.0%) | 768 | (15.5%) | 1,680 | (33.9%) | 526 | (10.6%) | 1,157 | (23.4%) | 20 | (0.4%) | 617 | (12.5%) |
| | 46 鹿児島県 | 23,060 (100.0%) | 4,270 | (18.5%) | 8,249 | (35.8%) | 2,668 | (11.6%) | 3,774 | (16.4%) | 140 | (0.6%) | 3,406 | (14.8%) |
| **沖縄** | 47 沖縄県 | 3,978 (100.0%) | 407 | (10.2%) | 1,464 | (36.8%) | 406 | (10.2%) | 573 | (14.4%) | 107 | (2.7%) | 991 | (24.9%) |
| | 合計 | 376,673 (100.0%) | 50,621 | (13.4%) | 117,701 | (31.2%) | 28,634 | (7.6%) | 83,995 | (22.3%) | 1,850 | (0.5%) | 75,958 | (20.2%) |

■ 都市部から過疎地域への移住者の世帯構成

※H12＜H22に網掛け

| 地域ブロック（各ブロック内での「都市部」） | H22 | 都市部から過疎地域への移住者数 | 世帯の家族類型 | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 核家族世帯 | | | | | | 核家族以外の世帯 | | 非親族を含む世帯 | | 単独世帯 | |
| | | | 夫婦のみの世帯 | | 夫婦と子供から成る世帯 | | 男親又は女親と子供から成る世帯 | | | | | | | |
| **北海道**（札幌市） | 1 北海道 | 50,897 (100.0%) | 7,692 | (15.1%) | 14,405 | (28.3%) | 3,724 | (7.3%) | 4,547 | (8.9%) | 715 | (1.4%) | 16,358 | (32.1%) |
| **東北**（仙台市・新潟市） | 2 青森県 | 3,987 (100.0%) | 370 | (9.3%) | 808 | (20.3%) | 472 | (11.8%) | 1,149 | (28.8%) | 51 | (1.3%) | 885 | (22.2%) |
| | 3 岩手県 | 6,903 (100.0%) | 844 | (12.2%) | 1,756 | (25.4%) | 780 | (11.3%) | 2,013 | (29.2%) | 93 | (1.3%) | 1,315 | (19.0%) |
| | 4 宮城県 | 4,372 (100.0%) | 446 | (10.2%) | 1,038 | (23.7%) | 321 | (7.3%) | 1,414 | (32.3%) | 59 | (1.3%) | 935 | (21.4%) |
| | 5 秋田県 | 9,226 (100.0%) | 1,093 | (11.8%) | 2,331 | (25.3%) | 850 | (9.2%) | 3,006 | (32.6%) | 105 | (1.1%) | 1,682 | (18.2%) |
| | 6 山形県 | 5,178 (100.0%) | 587 | (11.3%) | 1,243 | (24.0%) | 438 | (8.5%) | 1,759 | (34.0%) | 57 | (1.1%) | 926 | (17.9%) |
| | 7 福島県 | 3,617 (100.0%) | 474 | (13.1%) | 773 | (21.4%) | 328 | (9.1%) | 1,191 | (32.9%) | 98 | (2.7%) | 655 | (18.1%) |
| | 15 新潟県 | 9,438 (100.0%) | 1,007 | (10.7%) | 2,345 | (24.8%) | 744 | (7.9%) | 2,716 | (28.8%) | 130 | (1.4%) | 2,320 | (24.6%) |
| **関東**（埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県の非過疎市町村及び一部過疎市町村） | 8 茨城県 | 626 (100.0%) | 126 | (20.1%) | 149 | (23.8%) | 44 | (7.0%) | 189 | (30.2%) | 4 | (0.6%) | 85 | (13.6%) |
| | 9 栃木県 | 567 (100.0%) | 80 | (14.1%) | 119 | (21.0%) | 35 | (6.2%) | 121 | (21.3%) | 6 | (1.1%) | 147 | (25.9%) |
| | 10 群馬県 | 2,064 (100.0%) | 333 | (16.1%) | 408 | (19.8%) | 147 | (7.1%) | 439 | (21.3%) | 73 | (3.5%) | 577 | (28.0%) |
| | 11 埼玉県 | 401 (100.0%) | 33 | (8.2%) | 74 | (18.5%) | 32 | (8.0%) | 104 | (25.9%) | 3 | (0.7%) | 26 | (6.5%) |
| | 12 千葉県 | 6,858 (100.0%) | 1,055 | (15.4%) | 1,338 | (19.5%) | 384 | (5.6%) | 1,459 | (21.3%) | 100 | (1.5%) | 1,700 | (24.8%) |
| | 13 東京都 | 2,716 (100.0%) | 306 | (11.3%) | 622 | (22.9%) | 169 | (6.2%) | 190 | (7.0%) | 45 | (1.7%) | 834 | (30.7%) |
| | 19 山梨県 | 1,589 (100.0%) | 308 | (19.4%) | 394 | (24.8%) | 126 | (7.9%) | 325 | (20.5%) | 29 | (1.8%) | 325 | (20.5%) |
| | 20 長野県 | 4,224 (100.0%) | 817 | (19.3%) | 958 | (22.7%) | 280 | (6.6%) | 905 | (21.4%) | 104 | (2.5%) | 1,025 | (24.3%) |
| **東海**（岐阜県・愛知県・三重県の非過疎市町村及び一部過疎市町村＋静岡市・浜松市） | 21 岐阜県 | 7,151 (100.0%) | 684 | (9.6%) | 1,918 | (26.8%) | 369 | (5.2%) | 2,342 | (32.8%) | 87 | (1.2%) | 1,258 | (17.6%) |
| | 22 静岡県 | 1,748 (100.0%) | 282 | (16.1%) | 400 | (22.9%) | 140 | (8.0%) | 375 | (21.5%) | 44 | (2.5%) | 459 | (26.3%) |
| | 23 愛知県 | 1,838 (100.0%) | 271 | (14.7%) | 411 | (22.4%) | 82 | (4.5%) | 535 | (29.1%) | 29 | (1.6%) | 243 | (13.2%) |
| | 24 三重県 | 6,127 (100.0%) | 804 | (13.1%) | 1,508 | (24.6%) | 454 | (7.4%) | 896 | (14.6%) | 53 | (0.9%) | 1,543 | (25.2%) |
| **北陸** | 16 富山県 | 984 (100.0%) | 83 | (8.4%) | 292 | (29.7%) | 68 | (6.9%) | 334 | (33.9%) | 6 | (0.6%) | 179 | (18.2%) |
| | 17 石川県 | 1,695 (100.0%) | 211 | (12.4%) | 329 | (19.4%) | 109 | (6.4%) | 369 | (21.8%) | 21 | (1.2%) | 349 | (20.6%) |
| | 18 福井県 | 302 (100.0%) | 42 | (13.9%) | 61 | (20.2%) | 18 | (6.0%) | 133 | (44.0%) | 6 | (2.0%) | 28 | (9.3%) |
| **近畿**（京都府・大阪府・兵庫県の非過疎市町村及び一部過疎市町村） | 25 滋賀県 | 78 (100.0%) | 9 | (11.5%) | 12 | (15.4%) | 11 | (14.1%) | 18 | (23.1%) | 2 | (2.6%) | 20 | (25.6%) |
| | 26 京都府 | 6,533 (100.0%) | 839 | (12.8%) | 1,736 | (26.6%) | 398 | (6.1%) | 1,221 | (18.7%) | 103 | (1.6%) | 1,310 | (20.1%) |
| | 27 大阪府 | 325 (100.0%) | 56 | (17.2%) | 135 | (41.5%) | 19 | (5.8%) | 66 | (20.3%) | 2 | (0.6%) | 18 | (5.5%) |
| | 28 兵庫県 | 6,892 (100.0%) | 940 | (13.6%) | 1,818 | (26.4%) | 411 | (6.0%) | 1,781 | (25.8%) | 77 | (1.1%) | 1,047 | (15.2%) |
| | 29 奈良県 | 3,282 (100.0%) | 349 | (10.6%) | 747 | (22.8%) | 232 | (7.1%) | 794 | (24.2%) | 68 | (2.1%) | 521 | (15.9%) |
| | 30 和歌山県 | 7,024 (100.0%) | 1,105 | (15.7%) | 2,220 | (31.6%) | 677 | (9.6%) | 1,021 | (14.5%) | 148 | (2.1%) | 1,508 | (21.5%) |
| **中国**（岡山市・広島市） | 31 鳥取県 | 1,155 (100.0%) | 145 | (12.6%) | 251 | (21.7%) | 92 | (8.0%) | 497 | (43.0%) | 12 | (1.0%) | 127 | (11.0%) |
| | 32 島根県 | 9,113 (100.0%) | 1,185 | (13.0%) | 2,129 | (23.4%) | 689 | (7.6%) | 1,909 | (20.9%) | 94 | (1.0%) | 1,679 | (18.4%) |
| | 33 岡山県 | 9,214 (100.0%) | 1,308 | (14.2%) | 2,333 | (25.3%) | 719 | (7.8%) | 2,284 | (24.8%) | 128 | (1.4%) | 1,813 | (19.7%) |
| | 34 広島県 | 10,749 (100.0%) | 1,431 | (13.3%) | 2,865 | (26.7%) | 736 | (6.8%) | 2,118 | (19.7%) | 138 | (1.3%) | 2,039 | (19.0%) |
| | 35 山口県 | 4,255 (100.0%) | 724 | (17.0%) | 1,062 | (25.0%) | 362 | (8.5%) | 827 | (19.4%) | 29 | (0.7%) | 680 | (16.0%) |
| **四国** | 36 徳島県 | 1,738 (100.0%) | 272 | (15.7%) | 381 | (21.9%) | 190 | (10.9%) | 491 | (28.3%) | 25 | (1.4%) | 305 | (17.5%) |
| | 37 香川県 | 1,927 (100.0%) | 302 | (15.7%) | 563 | (29.2%) | 189 | (9.8%) | 386 | (20.0%) | 34 | (1.8%) | 429 | (22.3%) |
| | 38 愛媛県 | 5,132 (100.0%) | 813 | (15.8%) | 1,537 | (29.9%) | 583 | (11.4%) | 1,033 | (20.1%) | 73 | (1.4%) | 902 | (17.6%) |
| | 39 高知県 | 3,458 (100.0%) | 577 | (16.7%) | 812 | (23.5%) | 395 | (11.4%) | 524 | (15.2%) | 41 | (1.2%) | 786 | (22.7%) |
| **九州**（北九州市・福岡市・熊本市） | 40 福岡県 | 10,502 (100.0%) | 1,330 | (12.7%) | 3,201 | (30.5%) | 1,061 | (10.1%) | 1,909 | (18.2%) | 159 | (1.5%) | 1,830 | (17.4%) |
| | 41 佐賀県 | 1,423 (100.0%) | 179 | (12.6%) | 333 | (23.4%) | 161 | (11.3%) | 519 | (36.5%) | 15 | (1.1%) | 175 | (12.3%) |
| | 42 長崎県 | 7,543 (100.0%) | 1,087 | (14.4%) | 2,106 | (27.9%) | 912 | (12.1%) | 1,744 | (23.1%) | 118 | (1.6%) | 1,407 | (18.7%) |
| | 43 熊本県 | 11,601 (100.0%) | 1,644 | (14.2%) | 3,257 | (28.1%) | 1,002 | (8.6%) | 2,926 | (25.2%) | 144 | (1.2%) | 2,318 | (20.0%) |
| | 44 大分県 | 9,181 (100.0%) | 1,536 | (16.7%) | 2,578 | (28.1%) | 786 | (8.6%) | 1,940 | (21.1%) | 153 | (1.7%) | 1,831 | (19.9%) |
| | 45 宮崎県 | 3,704 (100.0%) | 601 | (16.2%) | 1,179 | (31.8%) | 418 | (11.3%) | 747 | (20.2%) | 75 | (2.0%) | 536 | (14.5%) |
| | 46 鹿児島県 | 16,174 (100.0%) | 3,028 | (18.7%) | 4,917 | (30.4%) | 2,092 | (12.9%) | 2,296 | (14.2%) | 326 | (2.0%) | 3,007 | (18.6%) |
| **沖縄** | 47 沖縄県 | 3,677 (100.0%) | 552 | (15.0%) | 991 | (27.0%) | 361 | (9.8%) | 354 | (9.6%) | 177 | (4.8%) | 1,205 | (32.8%) |
| | 合計 | 267,188 (100.0%) | 37,960 | (14.2%) | 70,843 | (26.5%) | 22,610 | (8.5%) | 53,916 | (20.2%) | 4,059 | (1.5%) | 59,347 | (22.2%) |

## １－６．過疎区分別集計値（参考表）

### （１）都市部から過疎地域への移住者の数等

■ 都市部から過疎地域への移住者の状況　　※H12＜H22に網掛け

| 過疎区分 | | | 全域過疎の過疎区域 | | みなし過疎の過疎区域 | | 一部過疎の過疎区域 | | 合計 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | H12 | H22 | H12 | H22 | H12 | H22 | H12 | H22 |
| 過疎地域への移住者数（A） | | | 847,955<br>(100.0%) | 670,346<br>(100.0%) | 132,086<br>(100.0%) | 106,951<br>(100.0%) | 91,824<br>(100.0%) | 65,470<br>(100.0%) | 1,071,865<br>(100.0%) | 842,767<br>(100.0%) |
| うち都市部から過疎地域への移住者数（B） | | | 292,028<br>(34.4%) | 209,899<br>(31.3%) | 47,353<br>(35.9%) | 33,212<br>(31.1%) | 37,292<br>(40.6%) | 24,077<br>(36.8%) | 376,673<br>(35.1%) | 267,188<br>(31.7%) |
| 転入元別内訳① | 三大都市圏から | | 191,949<br>[65.7%] | 132,703<br>[63.2%] | 35,183<br>[74.3%] | 23,626<br>[71.1%] | 29,298<br>[78.6%] | 18,457<br>[76.7%] | 256,430<br>[68.1%] | 174,786<br>[65.4%] |
| | | 首都圏から | 96,403<br>[33.0%] | 67,162<br>[32.0%] | 18,384<br>[38.8%] | 11,966<br>[36.0%] | 12,351<br>[33.1%] | 8,071<br>[33.5%] | 127,138<br>[33.8%] | 87,199<br>[32.6%] |
| | | 中京圏から | 28,865<br>[9.9%] | 21,276<br>[10.1%] | 4,829<br>[10.2%] | 3,481<br>[10.5%] | 6,156<br>[16.5%] | 4,051<br>[16.8%] | 39,850<br>[10.6%] | 28,808<br>[10.8%] |
| | | 関西圏から | 66,681<br>[22.8%] | 44,265<br>[21.1%] | 11,970<br>[25.3%] | 8,179<br>[24.6%] | 10,791<br>[28.9%] | 6,335<br>[26.3%] | 89,442<br>[23.7%] | 58,779<br>[22.0%] |
| | 大都市から（三大都市圏内を除く） | | 100,079<br>[34.3%] | 77,196<br>[36.8%] | 12,170<br>[25.7%] | 9,586<br>[28.9%] | 7,994<br>[21.4%] | 5,620<br>[23.3%] | 120,243<br>[31.9%] | 92,402<br>[34.6%] |
| 内訳② | 同一地域ブロックの都市部から | | 133,668<br>[45.8%] | 102,186<br>[48.7%] | 20,626<br>[43.6%] | 14,586<br>[43.9%] | 18,781<br>[50.4%] | 12,574<br>[52.2%] | 173,075<br>[45.9%] | 129,346<br>[48.4%] |
| | 他の地域ブロックの都市部から | | 158,360<br>[54.2%] | 107,713<br>[51.3%] | 26,727<br>[56.4%] | 18,626<br>[56.1%] | 18,511<br>[49.6%] | 11,503<br>[47.8%] | 203,598<br>[54.1%] | 137,842<br>[51.6%] |
| 内訳③ | 同一都道府県の都市部から | | 91,411<br>[31.3%] | 71,326<br>[34.0%] | 9,096<br>[19.2%] | 6,721<br>[20.2%] | 9,779<br>[26.2%] | 6,438<br>[26.7%] | 110,286<br>[29.3%] | 84,485<br>[31.6%] |
| | 他の都道府県の都市部から | | 200,617<br>[68.7%] | 138,573<br>[66.0%] | 38,257<br>[80.8%] | 26,491<br>[79.8%] | 27,513<br>[73.8%] | 17,639<br>[73.3%] | 266,387<br>[70.7%] | 182,703<br>[68.4%] |

※( )内はAを基数としている。〔 〕内はBを基数としている。
※「都市部」には、過疎地域市町村のうち全域過疎とみなし過疎を含まず、一部過疎市町村は全域を含む。

### （２）都市部から過疎地域への移住者の属性

#### ｉ）性別

■ 都市部から過疎地域への移住者の属性　　※H12＜H22に網掛け

| 過疎区分 | | 全域過疎の過疎区域 | | みなし過疎の過疎区域 | | 一部過疎の過疎区域 | | 合計 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | H12 | H22 | H12 | H22 | H12 | H22 | H12 | H22 |
| 都市部から過疎地域への移住者数 | | 292,028<br>(100.0%) | 209,899<br>(100.0%) | 47,353<br>(100.0%) | 33,212<br>(100.0%) | 37,292<br>(100.0%) | 24,077<br>(100.0%) | 376,673<br>(100.0%) | 267,188<br>(100.0%) |
| 性別 | 男性 | 161,373<br>(55.3%) | 117,715<br>(56.1%) | 25,451<br>(53.7%) | 17,873<br>(53.8%) | 19,639<br>(52.7%) | 12,713<br>(52.8%) | 206,463<br>(54.8%) | 148,301<br>(55.5%) |
| | 女性 | 130,655<br>(44.7%) | 92,184<br>(43.9%) | 21,902<br>(46.3%) | 15,339<br>(46.2%) | 17,653<br>(47.3%) | 11,364<br>(47.2%) | 170,210<br>(45.2%) | 118,887<br>(44.5%) |

※「都市部」には、過疎地域市町村のうち全域過疎とみなし過疎を含まず、一部過疎市町村は全域を含む。

ⅱ） 年代別

■ 都市部から過疎地域への移住者の属性　　※H12＜H22に網掛け

| 過疎区分 | | 全域過疎の過疎区域 | | みなし過疎の過疎区域 | | 一部過疎の過疎区域 | | 合計 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | H12 | H22 | H12 | H22 | H12 | H22 | H12 | H22 |
| 都市部から過疎地域への移住者数 | | 292,028 | 209,899 | 47,353 | 33,212 | 37,292 | 24,077 | 376,673 | 267,188 |
| | | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) |
| 年代別 | 5～9歳 | 18,874 | 10,996 | 3,535 | 1,822 | 2,535 | 1,270 | 24,944 | 14,088 |
| | | (6.5%) | (5.2%) | (7.5%) | (5.5%) | (6.8%) | (5.3%) | (6.6%) | (5.3%) |
| | 10代 | 23,239 | 13,771 | 3,858 | 2,283 | 2,777 | 1,470 | 29,874 | 17,524 |
| | | (8.0%) | (6.6%) | (8.1%) | (6.9%) | (7.4%) | (6.1%) | (7.9%) | (6.6%) |
| | 20代 | 92,012 | 51,995 | 15,696 | 9,470 | 11,019 | 5,412 | 118,727 | 66,877 |
| | | (31.5%) | (24.8%) | (33.1%) | (28.5%) | (29.5%) | (22.5%) | (31.5%) | (25.0%) |
| | 30代 | 64,383 | 48,578 | 10,944 | 8,111 | 7,501 | 5,125 | 82,828 | 61,814 |
| | | (22.0%) | (23.1%) | (23.1%) | (24.4%) | (20.1%) | (21.3%) | (22.0%) | (23.1%) |
| | 40代 | 32,250 | 24,453 | 4,900 | 3,631 | 3,974 | 2,380 | 41,124 | 30,464 |
| | | (11.0%) | (11.6%) | (10.3%) | (10.9%) | (10.7%) | (9.9%) | (10.9%) | (11.4%) |
| | 50代 | 28,344 | 22,644 | 3,813 | 2,949 | 4,049 | 2,665 | 36,206 | 28,258 |
| | | (9.7%) | (10.8%) | (8.1%) | (8.9%) | (10.9%) | (11.1%) | (9.6%) | (10.6%) |
| | 60代 | 21,442 | 24,771 | 2,953 | 3,216 | 3,597 | 3,874 | 27,992 | 31,861 |
| | | (7.3%) | (11.8%) | (6.2%) | (9.7%) | (9.6%) | (16.1%) | (7.4%) | (11.9%) |
| | 70代 | 7,377 | 7,339 | 1,062 | 1,010 | 1,213 | 1,144 | 9,652 | 9,493 |
| | | (2.5%) | (3.5%) | (2.2%) | (3.0%) | (3.3%) | (4.8%) | (2.6%) | (3.6%) |
| | 80代～ | 4,107 | 5,349 | 592 | 720 | 627 | 737 | 5,326 | 6,806 |
| | | (1.4%) | (2.5%) | (1.3%) | (2.2%) | (1.7%) | (3.1%) | (1.4%) | (2.5%) |

※「都市部」には、過疎地域市町村のうち全域過疎とみなし過疎を含まず、一部過疎市町村は全域を含む。

■ 都市部から過疎地域への移住者の属性　　※H12＜H22に網掛け

| 過疎区分 | | 全域過疎の過疎区域 | | みなし過疎の過疎区域 | | 一部過疎の過疎区域 | | 合計 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | H12 | H22 | H12 | H22 | H12 | H22 | H12 | H22 |
| 男性・年代別 | 都市部から過疎地域への移住者数 ： 男性 | 161,373 (100.0%) | 117,715 (100.0%) | 25,451 (100.0%) | 17,873 (100.0%) | 19,639 (100.0%) | 12,713 (100.0%) | 206,463 (100.0%) | 148,301 (100.0%) |
| | 5～9歳 | 9,710 (6.0%) | 5,592 (4.8%) | 1,783 (7.0%) | 917 (5.1%) | 1,301 (6.6%) | 625 (4.9%) | 12,794 (6.2%) | 7,134 (4.8%) |
| | 10代 | 13,310 (8.2%) | 8,544 (7.3%) | 2,143 (8.4%) | 1,371 (7.7%) | 1,455 (7.4%) | 791 (6.2%) | 16,908 (8.2%) | 10,706 (7.2%) |
| | 20代 | 49,116 (30.4%) | 27,902 (23.7%) | 8,067 (31.7%) | 4,863 (27.2%) | 5,603 (28.5%) | 2,765 (21.7%) | 62,786 (30.4%) | 35,530 (24.0%) |
| | 30代 | 34,491 (21.4%) | 25,198 (21.4%) | 5,732 (22.5%) | 4,027 (22.5%) | 3,854 (19.6%) | 2,491 (19.6%) | 44,077 (21.3%) | 31,716 (21.4%) |
| | 40代 | 21,315 (13.2%) | 15,956 (13.6%) | 3,134 (12.3%) | 2,273 (12.7%) | 2,428 (12.4%) | 1,428 (11.2%) | 26,877 (13.0%) | 19,657 (13.3%) |
| | 50代 | 16,934 (10.5%) | 14,354 (12.2%) | 2,276 (8.9%) | 1,796 (10.0%) | 2,162 (11.0%) | 1,500 (11.8%) | 21,372 (10.4%) | 17,650 (11.9%) |
| | 60代 | 12,285 (7.6%) | 14,957 (12.7%) | 1,691 (6.6%) | 1,954 (10.9%) | 2,121 (10.8%) | 2,337 (18.4%) | 16,097 (7.8%) | 19,248 (13.0%) |
| | 70代 | 3,233 (2.0%) | 3,832 (3.3%) | 473 (1.9%) | 504 (2.8%) | 570 (2.9%) | 603 (4.7%) | 4,276 (2.1%) | 4,939 (3.3%) |
| | 80代～ | 979 (0.6%) | 1,377 (1.2%) | 152 (0.6%) | 168 (0.9%) | 145 (0.7%) | 173 (1.4%) | 1,276 (0.6%) | 1,718 (1.2%) |
| 女性・年代別 | 都市部から過疎地域への移住者数 ： 女性 | 130,655 (100.0%) | 92,184 (100.0%) | 21,902 (100.0%) | 15,339 (100.0%) | 17,653 (100.0%) | 11,364 (100.0%) | 170,210 (100.0%) | 118,887 (100.0%) |
| | 5～9歳 | 9,164 (7.0%) | 5,404 (5.9%) | 1,752 (8.0%) | 905 (5.9%) | 1,234 (7.0%) | 645 (5.7%) | 12,150 (7.1%) | 6,954 (5.8%) |
| | 10代 | 9,929 (7.6%) | 5,227 (5.7%) | 1,715 (7.8%) | 912 (5.9%) | 1,322 (7.5%) | 679 (6.0%) | 12,966 (7.6%) | 6,818 (5.7%) |
| | 20代 | 42,896 (32.8%) | 24,093 (26.1%) | 7,629 (34.8%) | 4,607 (30.0%) | 5,416 (30.7%) | 2,647 (23.3%) | 55,941 (32.9%) | 31,347 (26.4%) |
| | 30代 | 29,892 (22.9%) | 23,380 (25.4%) | 5,212 (23.8%) | 4,084 (26.6%) | 3,647 (20.7%) | 2,634 (23.2%) | 38,751 (22.8%) | 30,098 (25.3%) |
| | 40代 | 10,935 (8.4%) | 8,497 (9.2%) | 1,766 (8.1%) | 1,358 (8.9%) | 1,546 (8.8%) | 952 (8.4%) | 14,247 (8.4%) | 10,807 (9.1%) |
| | 50代 | 11,410 (8.7%) | 8,290 (9.0%) | 1,537 (7.0%) | 1,153 (7.5%) | 1,887 (10.7%) | 1,165 (10.3%) | 14,834 (8.7%) | 10,608 (8.9%) |
| | 60代 | 9,157 (7.0%) | 9,814 (10.6%) | 1,262 (5.8%) | 1,262 (8.2%) | 1,476 (8.4%) | 1,537 (13.5%) | 11,895 (7.0%) | 12,613 (10.6%) |
| | 70代 | 4,144 (3.2%) | 3,507 (3.8%) | 589 (2.7%) | 506 (3.3%) | 643 (3.6%) | 541 (4.8%) | 5,376 (3.2%) | 4,554 (3.8%) |
| | 80代～ | 3,128 (2.4%) | 3,972 (4.3%) | 440 (2.0%) | 552 (3.6%) | 482 (2.7%) | 564 (5.0%) | 4,050 (2.4%) | 5,088 (4.3%) |

※「都市部」には、過疎地域市町村のうち全域過疎とみなし過疎を含まず、一部過疎市町村は全域を含む。

## （３）都市部から過疎地域への移住者の世帯構成

■ 都市部から過疎地域への移住者の世帯構成　　※H12＜H22に網掛け

| 過疎区分 | | | 全域過疎の過疎区域 | | みなし過疎の過疎区域 | | 一部過疎の過疎区域 | | 合計 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | H12 | H22 | H12 | H22 | H12 | H22 | H12 | H22 |
| 都市部から過疎地域への移住者数 | | | 292,028 | 209,899 | 47,353 | 33,212 | 37,292 | 24,077 | 376,673 | 267,188 |
| | | | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) | (100.0%) |
| 世帯の家族類型 | 核家族世帯 | 夫婦のみの世帯 | 40,010 | 30,084 | 5,505 | 4,227 | 5,106 | 3,649 | 50,621 | 37,960 |
| | | | (13.7%) | (14.3%) | (11.6%) | (12.7%) | (13.7%) | (15.2%) | (13.4%) | (14.2%) |
| | | 夫婦と子供から成る世帯 | 91,278 | 55,747 | 15,494 | 9,122 | 10,929 | 5,974 | 117,701 | 70,843 |
| | | | (31.3%) | (26.6%) | (32.7%) | (27.5%) | (29.3%) | (24.8%) | (31.2%) | (26.5%) |
| | | 男親又は女親と子供から成る世帯 | 22,244 | 17,728 | 3,504 | 2,746 | 2,886 | 2,136 | 28,634 | 22,610 |
| | | | (7.6%) | (8.4%) | (7.4%) | (8.3%) | (7.7%) | (8.9%) | (7.6%) | (8.5%) |
| | 核家族以外の世帯 | | 60,620 | 39,141 | 12,151 | 8,019 | 11,224 | 6,756 | 83,995 | 53,916 |
| | | | (20.8%) | (18.6%) | (25.7%) | (24.1%) | (30.1%) | (28.1%) | (22.3%) | (20.2%) |
| | 非親族を含む世帯 | | 1,485 | 3,129 | 229 | 543 | 136 | 387 | 1,850 | 4,059 |
| | | | (0.5%) | (1.5%) | (0.5%) | (1.6%) | (0.4%) | (1.6%) | (0.5%) | (1.5%) |
| | 単独世帯 | | 61,517 | 48,664 | 8,926 | 6,897 | 5,515 | 3,786 | 75,958 | 59,347 |
| | | | (21.1%) | (23.2%) | (18.8%) | (20.8%) | (14.8%) | (15.7%) | (20.2%) | (22.2%) |

※「都市部」には、過疎地域市町村のうち全域過疎とみなし過疎を含まず、一部過疎市町村は全域を含む。

## （４）地図でみる都市部から過疎地域への移住の状況

### ｉ）過疎地域の区域の総人口に占める都市部からの移住者の割合〔１－４（１）〕

■ 区域の総人口に占める都市部からの移住者の割合

| 過疎区分 | | 全域過疎の過疎区域 | | みなし過疎の過疎区域 | | 一部過疎の過疎区域 | | 合計 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | H12 | H22 | H12 | H22 | H12 | H22 | H12 | H22 |
| 区域数 | | 1,057 (100.0%) | 1,057 (100.0%) | 139 (100.0%) | 139 (100.0%) | 292 (100.0%) | 292 (100.0%) | 1,488 (100.0%) | 1,488 (100.0%) |
| 区域の総人口に占める都市部からの移住者の割合 | 5%以上 | 147 (13.9%) | 94 (8.9%) | 12 (8.6%) | 9 (6.5%) | 32 (11.0%) | 14 (4.8%) | 191 (12.8%) | 117 (7.9%) |
| | 3%以上　5%未満 | 259 (24.5%) | 184 (17.4%) | 22 (15.8%) | 13 (9.4%) | 58 (19.9%) | 48 (16.4%) | 339 (22.8%) | 245 (16.5%) |
| | 1%以上　3%未満 | 625 (59.1%) | 679 (64.2%) | 93 (66.9%) | 91 (65.5%) | 186 (63.7%) | 183 (62.7%) | 904 (60.8%) | 953 (64.0%) |
| | 1%未満 | 25 (2.4%) | 100 (9.5%) | 12 (8.6%) | 26 (18.7%) | 16 (5.5%) | 47 (16.1%) | 53 (3.6%) | 173 (11.6%) |
| | 0% | 1 (0.1%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 1 (0.1%) | 0 (0.0%) |

■ 区域の総人口に占める都市部からの移住者の割合の変化

| | | 全域過疎の過疎区域 | みなし過疎の過疎区域 | 一部過疎の過疎区域 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 区域数 | | 1,057 (100.0%) | 139 (100.0%) | 292 (100.0%) | 1,488 (100.0%) |
| 区域の総人口に占める都市部からの移住者の割合の変化 | 拡大（H12＜H22） | 171 (16.2%) | 23 (16.5%) | 55 (18.8%) | 249 (16.7%) |
| | 5ポイント以上 | 5 (0.5%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 5 (0.3%) |
| | 1ポイント以上 5ポイント未満 | 26 (2.5%) | 3 (2.2%) | 5 (1.7%) | 34 (2.3%) |
| | 0.5ポイント以上 1ポイント未満 | 27 (2.6%) | 4 (2.9%) | 9 (3.1%) | 40 (2.7%) |
| | 0.5ポイント未満 | 113 (10.7%) | 16 (11.5%) | 41 (14.0%) | 170 (11.4%) |
| | 縮小（H12≧H22） | 886 (83.8%) | 116 (83.5%) | 237 (81.2%) | 1,239 (83.3%) |

## ⅱ）過疎地域の区域の 20 代男性人口に占める、都市部からの 20 代男性移住者の割合〔１－４（２）〕

■ 区域の20代男性人口に占める都市部からの20代男性移住者の割合

| 過疎区分 | | 全域過疎の過疎区域 | | みなし過疎の過疎区域 | | 一部過疎の過疎区域 | | 合計 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | H12 | H22 | H12 | H22 | H12 | H22 | H12 | H22 |
| 区域数 | | 1,057<br>(100.0%) | 1,057<br>(100.0%) | 139<br>(100.0%) | 139<br>(100.0%) | 292<br>(100.0%) | 292<br>(100.0%) | 1,488<br>(100.0%) | 1,488<br>(100.0%) |
| 区域の20代男性人口に占める都市部からの20代男性移住者の割合 | 30%以上 | 31<br>(2.9%) | 22<br>(2.1%) | 2<br>(1.4%) | 0<br>(0.0%) | 3<br>(1.0%) | 3<br>(1.0%) | 36<br>(2.4%) | 25<br>(1.7%) |
| | 20%以上30%未満 | 64<br>(6.1%) | 45<br>(4.3%) | 9<br>(6.5%) | 6<br>(4.3%) | 22<br>(7.5%) | 9<br>(3.1%) | 95<br>(6.4%) | 60<br>(4.0%) |
| | 10%以上20%未満 | 425<br>(40.2%) | 289<br>(27.3%) | 23<br>(16.5%) | 20<br>(14.4%) | 84<br>(28.8%) | 63<br>(21.6%) | 532<br>(35.8%) | 372<br>(25.0%) |
| | 10%未満 | 535<br>(50.6%) | 683<br>(64.6%) | 105<br>(75.5%) | 111<br>(79.9%) | 183<br>(62.7%) | 207<br>(70.9%) | 823<br>(55.3%) | 1,001<br>(67.3%) |
| | 0% | 2<br>(0.2%) | 18<br>(1.7%) | 0<br>(0.0%) | 2<br>(1.4%) | 0<br>(0.0%) | 10<br>(3.4%) | 2<br>(0.1%) | 30<br>(2.0%) |

■ 区域の20代男性人口に占める都市部からの20代男性移住者の割合の変化

| | | | 全域過疎の過疎区域 | みなし過疎の過疎区域 | 一部過疎の過疎区域 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 区域数 | | | 1,057<br>(100.0%) | 139<br>(100.0%) | 292<br>(100.0%) | 1,488<br>(100.0%) |
| 区域の20代男性人口に占める都市部からの20代男性移住者の割合の変化 | 拡大（H12＜H22） | | 282<br>(26.7%) | 39<br>(28.1%) | 69<br>(23.6%) | 390<br>(26.2%) |
| | | 10ポイント以上 | 16<br>(1.5%) | 1<br>(0.7%) | 1<br>(0.3%) | 18<br>(1.2%) |
| | | 5ポイント以上10ポイント未満 | 34<br>(3.2%) | 4<br>(2.9%) | 12<br>(4.1%) | 50<br>(3.4%) |
| | | 1ポイント以上5ポイント未満 | 146<br>(13.8%) | 16<br>(11.5%) | 39<br>(13.4%) | 201<br>(13.5%) |
| | | 1ポイント未満 | 86<br>(8.1%) | 18<br>(12.9%) | 17<br>(5.8%) | 121<br>(8.1%) |
| | 縮小（H12≧H22） | | 775<br>(73.3%) | 100<br>(71.9%) | 223<br>(76.4%) | 1,098<br>(73.8%) |

## iii）過疎地域の区域の 20 代女性人口に占める、都市部からの 20 代女性移住者の割合〔１－４（３)〕

■ 区域の20代女性人口に占める都市部からの20代女性移住者の割合

| 過疎区分 | | 全域過疎の過疎区域 | | みなし過疎の過疎区域 | | 一部過疎の過疎区域 | | 合計 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | H12 | H22 | H12 | H22 | H12 | H22 | H12 | H22 |
| 区域数 | | 1,057 (100.0%) | 1,057 (100.0%) | 139 (100.0%) | 139 (100.0%) | 292 (100.0%) | 292 (100.0%) | 1,488 (100.0%) | 1,488 (100.0%) |
| 区域の20代女性人口に占める都市部からの20代女性移住者の割合 | 30%以上 | 38 (3.6%) | 23 (2.2%) | 2 (1.4%) | 0 (0.0%) | 11 (3.8%) | 4 (1.4%) | 51 (3.4%) | 27 (1.8%) |
| | 20%以上30%未満 | 90 (8.5%) | 60 (5.7%) | 10 (7.2%) | 9 (6.5%) | 22 (7.5%) | 10 (3.4%) | 122 (8.2%) | 79 (5.3%) |
| | 10%以上20%未満 | 378 (35.8%) | 289 (27.3%) | 28 (20.1%) | 24 (17.3%) | 76 (26.0%) | 61 (20.9%) | 482 (32.4%) | 374 (25.1%) |
| | 10%未満 | 544 (51.5%) | 667 (63.1%) | 99 (71.2%) | 105 (75.5%) | 179 (61.3%) | 203 (69.5%) | 822 (55.2%) | 975 (65.5%) |
| | 0% | 7 (0.7%) | 18 (1.7%) | 0 (0.0%) | 1 (0.7%) | 4 (1.4%) | 14 (4.8%) | 11 (0.7%) | 33 (2.2%) |

■ 区域の20代女性人口に占める都市部からの20代女性移住者の割合の変化

| | | | 全域過疎の過疎区域 | みなし過疎の過疎区域 | 一部過疎の過疎区域 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 区域数 | | | 1,057 (100.0%) | 139 (100.0%) | 292 (100.0%) | 1,488 (100.0%) |
| 区域の20代女性人口に占める都市部からの20代女性移住者の割合の変化 | 拡大（H12＜H22） | | 282 (26.7%) | 40 (28.8%) | 71 (24.3%) | 393 (26.4%) |
| | | 10ポイント以上 | 21 (2.0%) | 1 (0.7%) | 7 (2.4%) | 29 (1.9%) |
| | | 5ポイント以上10ポイント未満 | 38 (3.6%) | 2 (1.4%) | 9 (3.1%) | 49 (3.3%) |
| | | 1ポイント以上5ポイント未満 | 127 (12.0%) | 28 (20.1%) | 38 (13.0%) | 193 (13.0%) |
| | | 1ポイント未満 | 96 (9.1%) | 9 (6.5%) | 17 (5.8%) | 122 (8.2%) |
| | 縮小（H12≧H22） | | 775 (73.3%) | 99 (71.2%) | 221 (75.7%) | 1,095 (73.6%) |

## ⅳ）過疎地域の区域の 30 代男性人口に占める、都市部からの 30 代男性移住者の割合〔１－４（４)〕

■ 区域の30代男性人口に占める都市部からの30代男性移住者の割合

| 過疎区分 | | 全域過疎の過疎区域 | | みなし過疎の過疎区域 | | 一部過疎の過疎区域 | | 合計 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | H12 | H22 | H12 | H22 | H12 | H22 | H12 | H22 |
| 区域数 | | 1,057<br>(100.0%) | 1,057<br>(100.0%) | 139<br>(100.0%) | 139<br>(100.0%) | 292<br>(100.0%) | 292<br>(100.0%) | 1,488<br>(100.0%) | 1,488<br>(100.0%) |
| 区域の30代男性人口に占める都市部からの30代男性移住者の割合 | 20%以上 | 37<br>(3.5%) | 22<br>(2.1%) | 2<br>(1.4%) | 0<br>(0.0%) | 8<br>(2.7%) | 4<br>(1.4%) | 47<br>(3.2%) | 26<br>(1.7%) |
| | 10%以上20%未満 | 195<br>(18.4%) | 124<br>(11.7%) | 16<br>(11.5%) | 14<br>(10.1%) | 39<br>(13.4%) | 22<br>(7.5%) | 250<br>(16.8%) | 160<br>(10.8%) |
| | 5%以上10%未満 | 449<br>(42.5%) | 343<br>(32.5%) | 37<br>(26.6%) | 28<br>(20.1%) | 100<br>(34.2%) | 74<br>(25.3%) | 586<br>(39.4%) | 445<br>(29.9%) |
| | 5%未満 | 370<br>(35.0%) | 549<br>(51.9%) | 82<br>(59.0%) | 94<br>(67.6%) | 141<br>(48.3%) | 175<br>(59.9%) | 593<br>(39.9%) | 818<br>(55.0%) |
| | 0% | 6<br>(0.6%) | 19<br>(1.8%) | 2<br>(1.4%) | 3<br>(2.2%) | 4<br>(1.4%) | 17<br>(5.8%) | 12<br>(0.8%) | 39<br>(2.6%) |

■ 区域の30代男性人口に占める都市部からの30代男性移住者の割合の変化

| | | | 全域過疎の過疎区域 | みなし過疎の過疎区域 | 一部過疎の過疎区域 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 区域数 | | | 1,057<br>(100.0%) | 139<br>(100.0%) | 292<br>(100.0%) | 1,488<br>(100.0%) |
| 区域の30代男性人口に占める都市部からの30代男性移住者の割合の変化 | 拡大（H12＜H22） | | 258<br>(24.4%) | 33<br>(23.7%) | 78<br>(26.7%) | 369<br>(24.8%) |
| | | 10ポイント以上 | 10<br>(0.9%) | 0<br>(0.0%) | 3<br>(1.0%) | 13<br>(0.9%) |
| | | 5ポイント以上10ポイント未満 | 21<br>(2.0%) | 3<br>(2.2%) | 4<br>(1.4%) | 28<br>(1.9%) |
| | | 1ポイント以上5ポイント未満 | 127<br>(12.0%) | 14<br>(10.1%) | 49<br>(16.8%) | 190<br>(12.8%) |
| | | 1ポイント未満 | 100<br>(9.5%) | 16<br>(11.5%) | 22<br>(7.5%) | 138<br>(9.3%) |
| | 縮小（H12≧H22） | | 799<br>(75.6%) | 106<br>(76.3%) | 214<br>(73.3%) | 1,119<br>(75.2%) |

ｖ）過疎地域の区域の 30 代女性人口に占める、都市部からの 30 代女性移住者の割合〔１－４（５）〕

■ 区域の30代女性人口に占める都市部からの30代女性移住者の割合

| 過疎区分 | | 全域過疎の過疎区域 | | みなし過疎の過疎区域 | | 一部過疎の過疎区域 | | 合計 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | H12 | H22 | H12 | H22 | H12 | H22 | H12 | H22 |
| 区域数 | | 1,057 (100.0%) | 1,057 (100.0%) | 139 (100.0%) | 139 (100.0%) | 292 (100.0%) | 292 (100.0%) | 1,488 (100.0%) | 1,488 (100.0%) |
| 区域の30代女性人口に占める都市部からの30代女性移住者の割合 | 20%以上 | 25 (2.4%) | 21 (2.0%) | 2 (1.4%) | 3 (2.2%) | 6 (2.1%) | 4 (1.4%) | 33 (2.2%) | 28 (1.9%) |
| | 10%以上20%未満 | 166 (15.7%) | 144 (13.6%) | 17 (12.2%) | 10 (7.2%) | 48 (16.4%) | 45 (15.4%) | 231 (15.5%) | 199 (13.4%) |
| | 5%以上10%未満 | 368 (34.8%) | 335 (31.7%) | 35 (25.2%) | 28 (20.1%) | 74 (25.3%) | 76 (26.0%) | 477 (32.1%) | 439 (29.5%) |
| | 5%未満 | 484 (45.8%) | 531 (50.2%) | 84 (60.4%) | 90 (64.7%) | 160 (54.8%) | 156 (53.4%) | 728 (48.9%) | 777 (52.2%) |
| | 0% | 14 (1.3%) | 26 (2.5%) | 1 (0.7%) | 8 (5.8%) | 4 (1.4%) | 11 (3.8%) | 19 (1.3%) | 45 (3.0%) |

■ 区域の30代女性人口に占める都市部からの30代女性移住者の割合の変化

| | | | 全域過疎の過疎区域 | みなし過疎の過疎区域 | 一部過疎の過疎区域 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 区域数 | | | 1,057 (100.0%) | 139 (100.0%) | 292 (100.0%) | 1,488 (100.0%) |
| 区域の30代女性人口に占める都市部からの30代女性移住者の割合の変化 | 拡大（H12＜H22） | | 419 (39.6%) | 48 (34.5%) | 131 (44.9%) | 598 (40.2%) |
| | | 10ポイント以上 | 6 (0.6%) | 1 (0.7%) | 1 (0.3%) | 8 (0.5%) |
| | | 5ポイント以上10ポイント未満 | 36 (3.4%) | 1 (0.7%) | 14 (4.8%) | 51 (3.4%) |
| | | 1ポイント以上5ポイント未満 | 223 (21.1%) | 23 (16.5%) | 64 (21.9%) | 310 (20.8%) |
| | | 1ポイント未満 | 154 (14.6%) | 23 (16.5%) | 52 (17.8%) | 229 (15.4%) |
| | 縮小（H12≧H22） | | 638 (60.4%) | 91 (65.5%) | 161 (55.1%) | 890 (59.8%) |

## vi）過疎地域の区域の過疎地域の区域の 60 代人口に占める、都市部からの 60 代移住者の割合〔１－４（６）〕

■ 区域の60代人口に占める都市部からの60代移住者の割合

| 過疎区分 | | 全域過疎の過疎区域 | | みなし過疎の過疎区域 | | 一部過疎の過疎区域 | | 合計 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | H12 | H22 | H12 | H22 | H12 | H22 | H12 | H22 |
| 区域数 | | 1,057<br>(100.0%) | 1,057<br>(100.0%) | 139<br>(100.0%) | 139<br>(100.0%) | 292<br>(100.0%) | 292<br>(100.0%) | 1,488<br>(100.0%) | 1,488<br>(100.0%) |
| 区域の60代人口に占める都市部からの60代移住者の割合 | 10%以上 | 2<br>(0.2%) | 10<br>(0.9%) | 0<br>(0.0%) | 1<br>(0.7%) | 0<br>(0.0%) | 4<br>(1.4%) | 2<br>(0.1%) | 15<br>(1.0%) |
| | 5%以上10%未満 | 22<br>(2.1%) | 69<br>(6.5%) | 1<br>(0.7%) | 5<br>(3.6%) | 12<br>(4.1%) | 11<br>(3.8%) | 35<br>(2.4%) | 85<br>(5.7%) |
| | 1%以上5%未満 | 643<br>(60.8%) | 747<br>(70.7%) | 63<br>(45.3%) | 79<br>(56.8%) | 171<br>(58.6%) | 197<br>(67.5%) | 877<br>(58.9%) | 1,023<br>(68.8%) |
| | 1%未満 | 372<br>(35.2%) | 221<br>(20.9%) | 74<br>(53.2%) | 53<br>(38.1%) | 99<br>(33.9%) | 74<br>(25.3%) | 545<br>(36.6%) | 348<br>(23.4%) |
| | 0% | 18<br>(1.7%) | 10<br>(0.9%) | 1<br>(0.7%) | 1<br>(0.7%) | 10<br>(3.4%) | 6<br>(2.1%) | 29<br>(1.9%) | 17<br>(1.1%) |

■ 区域の60代人口に占める都市部からの60代移住者の割合の変化

| | | | 全域過疎の過疎区域 | みなし過疎の過疎区域 | 一部過疎の過疎区域 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 区域数 | | | 1,057<br>(100.0%) | 139<br>(100.0%) | 292<br>(100.0%) | 1,488<br>(100.0%) |
| 区域の60代人口に占める都市部からの60代移住者の割合の変化 | 拡大（H12＜H22） | | 746<br>(70.6%) | 88<br>(63.3%) | 184<br>(63.0%) | 1,018<br>(68.4%) |
| | | 10ポイント以上 | 7<br>(0.7%) | 1<br>(0.7%) | 0<br>(0.0%) | 8<br>(0.5%) |
| | | 5ポイント以上10ポイント未満 | 6<br>(0.6%) | 1<br>(0.7%) | 2<br>(0.7%) | 9<br>(0.6%) |
| | | 1ポイント以上5ポイント未満 | 250<br>(23.7%) | 22<br>(15.8%) | 67<br>(22.9%) | 339<br>(22.8%) |
| | | 1ポイント未満 | 483<br>(45.7%) | 64<br>(46.0%) | 115<br>(39.4%) | 662<br>(44.5%) |
| | 縮小（H12≧H22） | | 311<br>(29.4%) | 51<br>(36.7%) | 108<br>(37.0%) | 470<br>(31.6%) |

# 第２章　都市部の住民の意識調査

## ２－１．調査の概要

### （１）調査の目的

「田園回帰」の全体像を把握するため、「実際に生じている都市部から過疎地域への人口移動」だけでなく、潜在的な「都市住民の農山漁村地域に対する関心の高まり」という局面からも分析する必要がある。

このため、現在、都市に居住する住民に対してアンケート調査を実施し、過疎地域（アンケートでは、住民に分かりやすいよう「農山漁村地域※」とする。）への関心や移住に対する意向等について調査を実施した。

※本アンケート調査において、「農山漁村地域」とは、「都市部から離れており、周辺に農地や森林、海岸等の自然豊かな環境が広がる地域のこと」と定義した。

### （２）調査の実施方法

#### ①調査対象

東京都特別区及び政令市に居住する 20 歳～64 歳の在住者　3,116 人

・サンプル数は、調査対象となる地域（５ブロック）及び年代（５階層）による人口構成比に応じて割付

・男女のサンプル数の割付は各ブロック、年代で同数とする

#### ②調査方法

インターネット調査（ネットリサーチ会社のモニターを対象としたアンケート）

#### ③実施期間

平成 29 年１月

#### ④主な調査項目

・農山漁村地域に対する意識や関わり（農山漁村に対する印象、農山漁村との関わり等）

・農山漁村地域への移住意向（移住意向の有無、移住に必要な条件、移住に対する不安等）

・「田園回帰」の促進に向けた施策等（農山漁村地域への移住を後押しする施策等）

・回答者属性

### （３）有効回答数

| 対象自治体 | 地域ブロック | 北海道・東北 | | | 関　東 | | | 東　海 | | | 関　西 | | | 中国・九州 | | | 合　計 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 構成都市 | 札幌市<br>仙台市<br>新潟市 | | | さいたま市<br>千葉市<br>特別区<br>横浜市<br>川崎市<br>相模原市 | | | 静岡市<br>浜松市<br>名古屋市 | | | 京都市<br>大阪市<br>堺市<br>神戸市 | | | 岡山市<br>広島市<br>北九州市<br>福岡市<br>熊本市 | | | | | |
| 有効回答数 | | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 |
| | 計 | 162 | 162 | 324 | 761 | 761 | 1,522 | 157 | 157 | 314 | 266 | 266 | 532 | 212 | 212 | 424 | 1,558 | 1,558 | 3,116 |
| | 20～29歳 | 30 | 30 | 60 | 147 | 147 | 294 | 29 | 29 | 58 | 52 | 52 | 104 | 41 | 41 | 82 | 299 | 299 | 598 |
| | 30～39歳 | 37 | 37 | 74 | 185 | 185 | 370 | 36 | 36 | 72 | 60 | 60 | 120 | 49 | 49 | 98 | 367 | 367 | 734 |
| | 40～49歳 | 41 | 41 | 82 | 209 | 209 | 418 | 42 | 42 | 84 | 71 | 71 | 142 | 54 | 54 | 108 | 417 | 417 | 834 |
| | 50～59歳 | 34 | 34 | 68 | 152 | 152 | 304 | 33 | 33 | 66 | 55 | 55 | 110 | 44 | 44 | 88 | 318 | 318 | 636 |
| | 60～64歳 | 20 | 20 | 40 | 68 | 68 | 136 | 17 | 17 | 34 | 28 | 28 | 56 | 24 | 24 | 48 | 157 | 157 | 314 |

※調査対象の抽出は、上記の５ブロックで行ったが、次ページ以降の分析にあたっては、「北海道」、「東北」、「関東」、「東海」、「関西」、「中国」、「九州」の７ブロックで行った。

## （４）設問一覧

| 設　問 | 回答形式 | 頁 NO |
|---|---|---|
| 問 1. あなたは、農山漁村地域のご出身ですか。 | 単一 | 83 |
| 問 2. あなたは、直近の5年間で、農山漁村地域をどのくらいの頻度で訪れていますか。 | 単一 | 84 |
| 問 3.【問 2 で農山漁村地域を訪れていると回答した人のみ】<br>あなたが農山漁村地域を訪れる理由や目的は何ですか。 | 複数 | 85 |
| 問 4. あなたは、直近の5年間で、農山漁村地域に対して、直接訪れる以外に何か関わりを持っていますか。 | 複数 | 87 |
| 問 5. あなたは、子育てに適しているのは都市地域だと思いますか、それとも農山漁村地域だと思いますか。 | 単一 | 89 |
| 問 6. あなたは、現在お住いの地域の生活環境に満足していますか。 | 単一 | 90 |
| 問 7. あなたは、現在お住まいの地域に住み続けたいですか、それとも別の地域へ移住したいですか。 | 単一 | 91 |
| 問 8.【問 7 で「どちらかといえば別の地域へ移住したい」・「別の地域へ移住したい」と回答した人のみ】<br>現在の地域との比較で考えた場合、どのような地域に移住をしたいですか。 | 複数 | 92 |
| 問 9. あなたは、農山漁村地域に移住してみたいと思いますか。あなたご自身のお考えとしてお答えください。 | 単一 | 94 |
| 問 10.【問 9 で農山漁村地域への移住意向を示した人のみ】<br>あなたが移住したい（移住を予定している）農山漁村地域はどのような地域ですか。 | 複数 | 97 |
| 問 11.【問 9 で農山漁村地域への移住意向を示した人のみ】<br>あなたは、いつ頃（どのようなタイミングで）農山漁村地域への移住を実現したいとお考えですか。<br>1. 農山漁村地域への移住を考えているタイミングについて全て挙げてください。<br>2. その中で、あなたが最も希望する移住のタイミングをひとつ選んでください。 | 複数<br>単一 | 101 |
| 問 12.【問 9 で農山漁村地域への移住意向を示した人のみ】<br>あなたは、農山漁村地域に移住した場合、移住先ではどのくらい住む予定ですか。 | 単一 | 107 |
| 問 13.【問 9 で農山漁村地域への移住意向を示した人のみ】<br>あなたが農山漁村地域に移住したいと思う理由は何ですか。 | 複数 | 109 |
| 問 14.【問 9 で農山漁村地域への移住意向を示した人のみ】<br>あなたが農山漁村地域に移住する上で必要な条件は何ですか。<br>1. 農山漁村地域に移住する上で必要な条件をすべて挙げてください。<br>2. その中で、最も重視する条件をひとつ選んでください。 | 複数<br>単一 | 113 |
| 問 15.【問 9 で農山漁村地域への移住意向を示した人のみ】<br>あなたは、農山漁村地域に移住したら、どのような仕事に就きたいですか。 | 複数 | 122 |
| 問 16.【問 9 で農山漁村地域への移住意向を示した人のみ】<br>あなたは、農山漁村地域に移住したら、どのような暮らしをしたいですか。 | 複数 | 126 |
| 問 17.【問 9 で農山漁村地域への移住意向を示した人のみ】<br>あなたは、農山漁村地域への移住に対し、何か不安や懸念をお持ちですか。 | 複数 | 130 |
| 問 18.【問 9 で農山漁村地域への移住意向を示さなかった人のみ】<br>あなたが農山漁村地域に移住してみたいと思わないのはなぜですか。 | 複数 | 134 |
| 問 19. あなたは、農山漁村地域の自治体がどのような施策を行っていれば、先ほどご回答いただいたような農山漁村地域への移住に対する不安や懸念が解消され、移住してみたいと思うようになりますか。 | 複数 | 137 |
| 問 20. あなたは、移り住む以外の方法で、今後農山漁村地域とどのような関わりを持ちたいとお考えになりますか。 | 複数 | 141 |

## ２－２．調査結果のポイント

### （１）農山漁村地域との関わり

○農山漁村地域の出身又は生活経験があると回答した割合は、23.7%である。

○直近の5年間で農山漁村地域を訪れたと回答した割合は、56.8%であり、その回答の中では、「年に1～2回」の来訪頻度が 18.3%で最も割合が高い。また、若い年代ほど、訪れる頻度が高い。

○農山漁村地域を訪れる理由や目的は、全ての年代で「旅行・観光・レジャー・レクリエーションのため」の割合が最も高い。

○農山漁村地域が子育てに適していると回答した割合は、22.9%であり、30代男性及び20代女性の回答の割合が他の年代と比べ高い。

### （２）都市地域での生活に対する満足度と将来的な移住意向

○現在の都市地域での生活環境に満足していると回答した割合は、84.3%であり、年代が高くなるほど、その割合が高く、若い年代ほど不満があると回答した割合が高い。

○現在の住まいの地域から移住したいと回答した割合は、24.1%であり、若い年代ほど、その割合が高く、年代が高くなるほど、都市地域に住み続けたいと回答する割合が高い。

○移住先としては、女性は、30 代では、「現在の地域より生活は不便でも自然が豊かな地域」の割合が最も高く、他の年代では、「歩いて暮らせるような日常生活が便利な地域」の割合が最も高い。一方で男性は、30代、50代及び60代では、「現在の地域より生活は不便でも自然が豊かな地域」の割合が最も高く、20代及び 40 代では、「歩いて暮らせるような日常生活が便利な地域」の割合が最も高い。

### （３）農山漁村地域への移住意向

○農山漁村地域に移住してみたいと回答した割合は、30.6%（以下、「移住意向のある者」とする。）であり、男女別では男性が、年代別では、若い世代で割合が高く、20 代及び 30 代男性では、4割超でほぼ同じ割合であり、20 代女性では、3割を超えている。また、農山漁村地域出身又は生活経験がある者をみると、20 代及び 30 代男性の約 70%、20 代女性の約 60%が農山漁村地域へ移住してみたいと回答している。

○移住意向のある者のうち、最も希望する移住のタイミングは、全ての年代で「具体的な時期は考えていない」の割合が最も高い。性別・年代別でみると、男性は 20 代、30 代及び 60 代で、女性は 20 代で「条件が整えばすぐにでも」の割合が高い。また、50 代男性と 30 代～50 代女性では「自分又は配偶者が退職したら」が、60 代女性では「配偶者との離・死別など家族構成に変化があったら」が 34.8%と高い。

○移住したい理由を性別・年代別でみると、男女ともに全ての年代で、「気候や自然環境に恵まれたところで暮らしたいから」の割合が最も高い。次いで、40 代及び 50 代男性では、「都会の喧騒を離れて静かなところで暮らしたいから」が、30 代、50 代及び 60 代女性では、「環境にやさしい暮らし（ロハス）やゆっくりとした暮らし（スローライフ）、自給自足の生活を送りたいから」の割合が高い。

○移住先での居住期間については、「ライフステージの各段階で、その時々の条件に合う地域を選んで移り住みたい」が 29.4%で最も割合が高い。一方、「ずっと農山漁村地域で暮らしたい（定住したい）」の回答は、23.2%であり、男性は全ての年代で女性より高い。

### （４）農山漁村地域への移住条件等

○移住したい地域を性別・年代別でみると、若い世代では男女ともに、「自分の出身地」の割合が高い。一方、男性は 50 代で、「出身地ではないが、過去に観光などでよく訪れたり滞在したことがある地域」、60 代で、「テレビやインターネット等の情報を通じて魅力を感じている地域」の割合が最も高く、50 代及び 60 代女性では、「具体的なイメージはない・決めていない」の割合が最も高い。

○移住する上で最も重視する条件については、20 代～50 代の男女ともに、「生活が維持できる仕事（収入）があること」の割合が最も高い。また、60 代女性では、「病院や診療所、介護施設など医療・福祉の環境が整っていること」の割合が最も高い。

○移住に対する不安や懸念については、男女ともに 30 代～50 代で、「生活を維持していけるだけの収入が得られるか」の割合が最も高く、農山漁村地域への移住意向で条件が合えば移住してもよいとする者の半数以上が同回答である。また、女性は、全ての年代で、「都市部へのアクセス手段が確保できるか」、「移住先での人間関係がうまく構築できるか」などが男性より高く、このほかの項目でも男性より回答の割合が高い。

○移住後にどのような仕事に就きたいかについては、男性は 20 代、50 代及び 60 代で、女性は 20 代及び 30 代で「持っている資格や知識、スキルを活かせる仕事に就きたい」の割合が最も高く、農山漁村地域への移住意向で条件が合えば移住してもよいとする者の4割近くが同回答である。また、30 代及び 40 代男性では、「役場や地元の会社に就職し、フルタイムで働きたい」、40 代及び 50 代女性では、「役場や地元の会社に就職し、パートタイムやアルバイトとして働きたい」の割合が最も高い。

○移住後にどのような暮らしをしたいかについては、男性は全ての年代で、「趣味やレジャーを楽しみたい」の割合が最も高い。一方、女性は 30 代で、「家族や親族、友人との時間を大切にしたい」、60 代で、「趣味としての農作業等を楽しみたい」の割合が最も高い。

○農山漁村地域に移住してみたいと思わない回答者の理由は、20 代～40 代男性では、「希望する条件・内容の仕事（働き口）がないから」、20～50 代女性では、「買い物、娯楽など日常生活に必要なサービスや生活関連施設が十分ではなさそうだから」の割合が最も高い。また、女性は全ての年代で、「都市部へのアクセス手段が十分ではなさそうだから」、「移住先の気候や風土に順応できるか不安だから」、「野生の動物や虫・昆虫などが出没しないか」、「今の都市地域での生活に不満がないから」の割合が男性より高い。

### （５）農山漁村地域への移住促進に必要な自治体施策

○農山漁村地域への移住を促すために必要な自治体の施策の中では、「仕事（働き口）の紹介」が 34.9%で最も割合が高く、農山漁村地域への移住意向で条件が合えば移住してもよいとする者の5割以上が同回答である。また、若い世代を中心に、「「お試し居住」などの移住体験」の割合が高く、このほか、20 代～40 代の女性では、「出産・子育てに係る支援」や「教育に係る支援」など、ほとんどの項目で同年代の男性と比べ割合が高い。

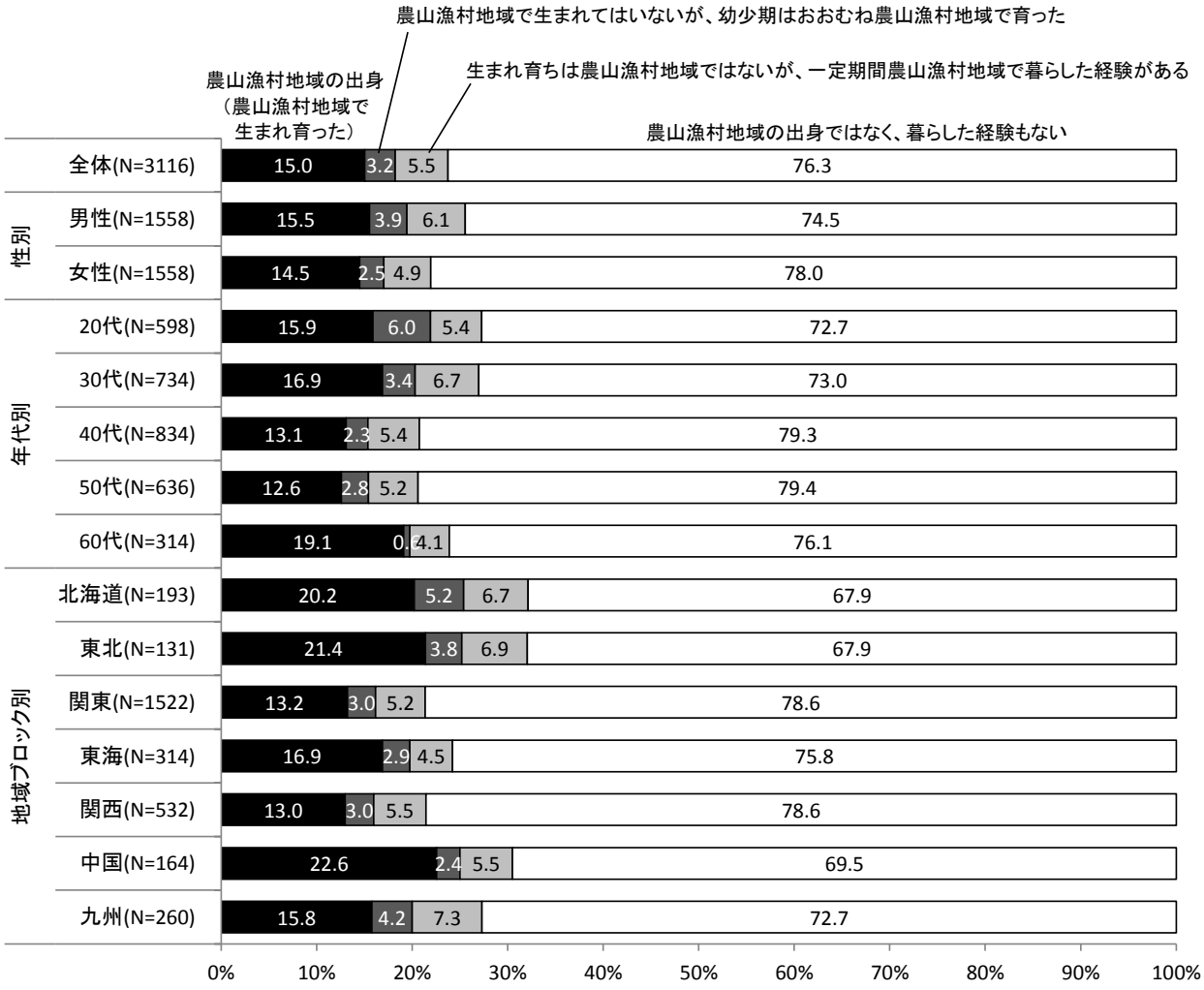
○移住以外の方法による農山漁村地域との今後の関わり方については、「都市地域で生活しつつ、観光などのために農山漁村地域を時々訪れたり、滞在したりする暮らしがしたい」が 23.3%で最も割合が高い。また、男性は全ての年代で、「都市地域での住まいのほかに、農山漁村地域にも住宅をもって行き来する暮らしがしたい」及び「地域の情報を得たり地域での活動を間接的にサポートしたい」の割合が女性より高い。一方、女性は全ての年代で、「都市地域で生活しつつ、観光などのために農山漁村地域を時々訪れたり、滞在したりする暮らしがしたい」、「都市地域で開催される農山漁村地域関連のイベントに参加したり、アンテナショップ等を訪れて、商品や特産品を購入したい」の割合が男性より高い。

2－3. 調査結果

**問1. あなたは、農山漁村地域のご出身ですか。（○はひとつ）**

► 全体で、農山漁村地域の出身又は生活経験があると回答した割合は、「農山漁村地域の出身」（15.0%）、「農山漁村地域で生まれてはいないが、幼少期はおおむね農山漁村地域で育った」（3.2%）及び「生まれ育ちは農山漁村地域ではないが、一定期間農山漁村地域で暮らした経験がある」（5.5%）の割合を合わせた、23.7%である。

► 地域ブロック別でみると、関東及び関西では、「農山漁村地域の出身」の割合が他のブロックと比べやや低い。

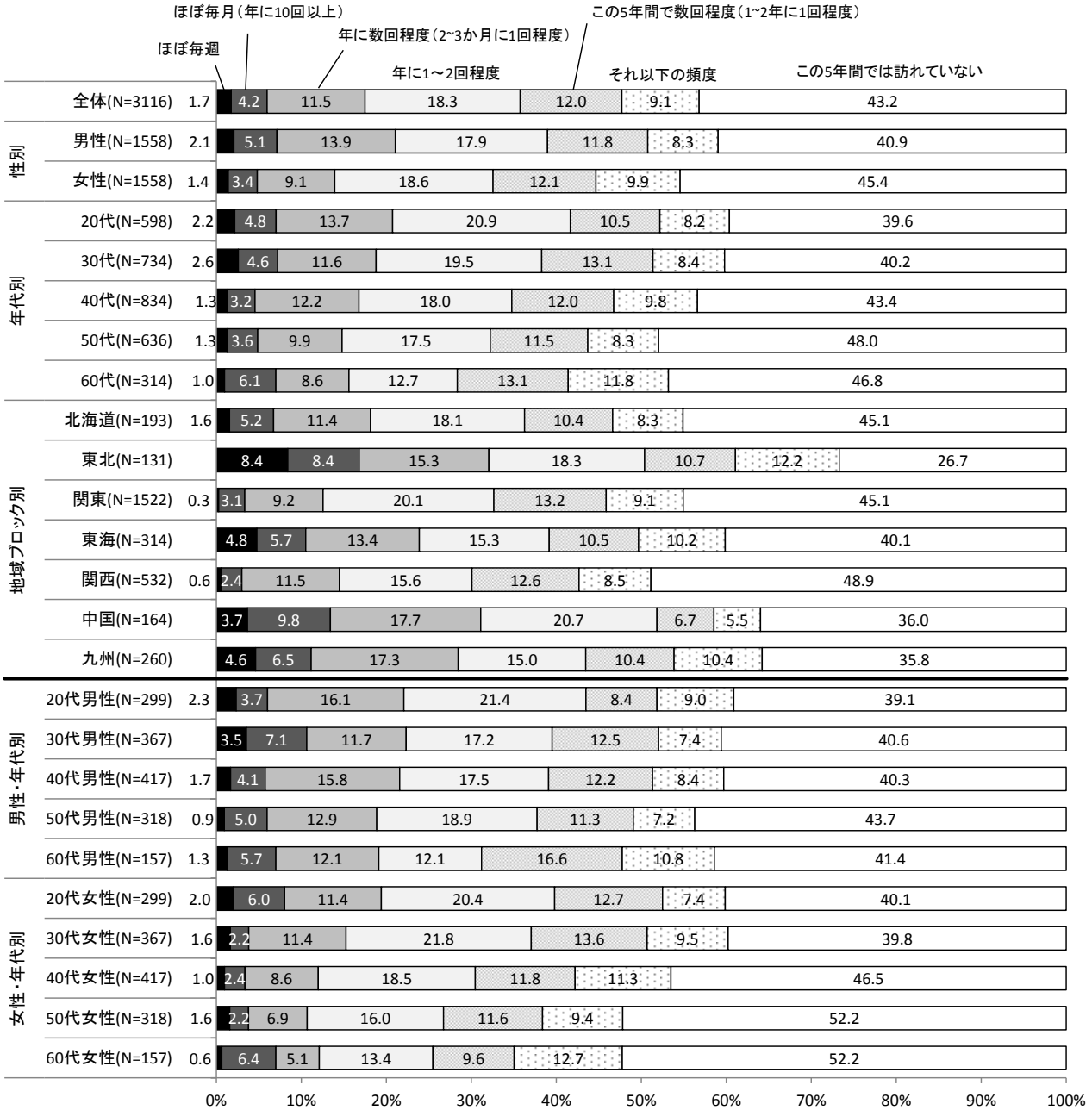


**問2. あなたは、直近の５年間で、農山漁村地域をどのくらいの頻度で訪れていますか。（○はひとつ）**

► 全体で、農山漁村地域を訪れていると回答した割合は、「ほぼ毎週」から「それ以下の頻度」までの割合を合わせた 56.8%である。また、農山漁村地域を訪れていると回答した中では、「年に１～２回程度」が 18.3%であり、最も割合が高い。

► 年代別でみると、若い年代の方が農山漁村地域を訪れている割合が高く、訪れる頻度の多い回答の割合が高い。

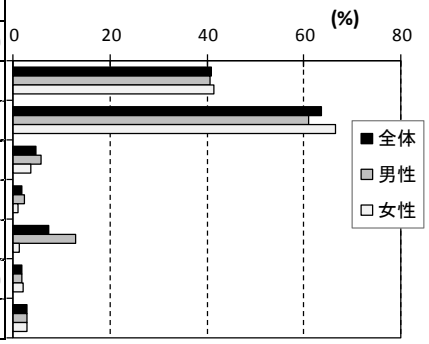
► 性別・年代別でみると、30 代男性及び 20 代女性では、訪れる頻度の多い「ほぼ毎週」、「ほぼ毎月（年に 10 回以上）」の割合が高い。



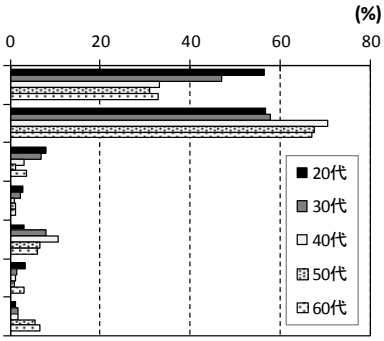
**問3.　問 2 で農山漁村地域を訪れていると回答した方（「ほぼ毎週」から「それ以下の頻度」までの回答者）におうかがいします。**
**あなたが農山漁村地域を訪れる理由や目的は何ですか。（○はいくつでも）**

- ► 全体では、「旅行・観光・レジャー・レクリエーションのため」が 63.7%で最も割合が高く、次いで、「親族の家の手伝いや世話、帰省のため」が 41.0%となっている。
- ► 年代別でみると、全ての年代で「旅行・観光・レジャー・レクリエーションのため」が最も割合が高い。また、20 代及び 30 代では、他の年代と比べ割合が高い項目が多い。
- ► 性別・年代別でみると、20 代男性では、「親族の家の手伝いや世話、帰省のため」が 57.1%と最も割合が高い。また、20 代及び 30 代男性では、「農作業や祭りなどの地域活動に参加するため」が 10%以上あり、同年代の女性と比べ割合が高い。

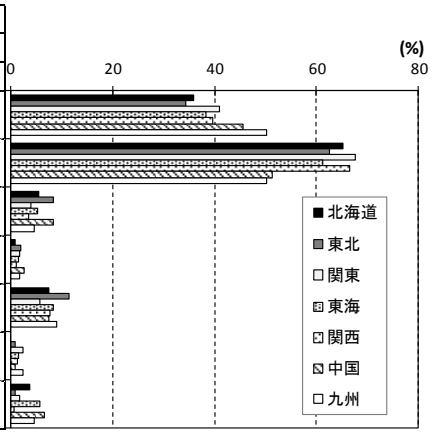
| | 全体 | 男性 | 女性 |
|---|---|---|---|
| 全体(N) | 1,770 | 920 | 850 |
| 親族の家の手伝いや世話、帰省のため | 41.0 | 40.7 | 41.3 |
| 旅行・観光・レジャー・レクリエーションのため | 63.7 | 61.1 | 66.6 |
| 農作業や祭りなどの地域活動に参加するため | 4.7 | 5.8 | 3.6 |
| 都市地域のほかに農山漁村地域にも住居があるため | 1.7 | 2.3 | 1.1 |
| 仕事（出張・営業等）のため | 7.2 | 12.8 | 1.2 |
| 地域貢献活動やボランティア活動に参加するため | 1.9 | 1.7 | 2.0 |
| 上記以外の目的で | 2.8 | 2.8 | 2.7 |



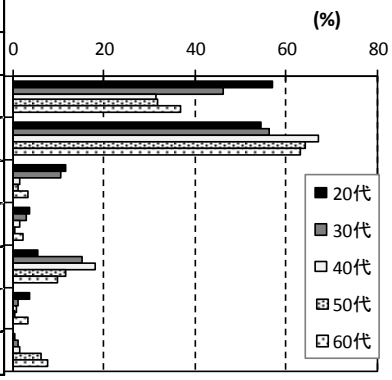

| | 年代別 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 |
| 全体(N) | 361 | 439 | 472 | 331 | 167 |
| 親族の家の手伝いや世話、帰省のため | 56.5 | 46.9 | 33.3 | 31.1 | 32.9 |
| 旅行・観光・レジャー・レクリエーションのため | 56.8 | 57.9 | 70.6 | 67.7 | 67.1 |
| 農作業や祭りなどの地域活動に参加するため | 8.0 | 6.8 | 3.2 | 1.2 | 3.6 |
| 都市地域のほかに農山漁村地域にも住居があるため | 2.8 | 2.3 | 0.8 | 1.2 | 1.2 |
| 仕事（出張・営業等）のため | 3.0 | 8.0 | 10.6 | 6.6 | 6.0 |
| 地域貢献活動やボランティア活動に参加するため | 3.3 | 1.6 | 1.3 | 0.9 | 3.0 |
| 上記以外の目的で | 1.1 | 1.8 | 1.7 | 5.4 | 6.6 |



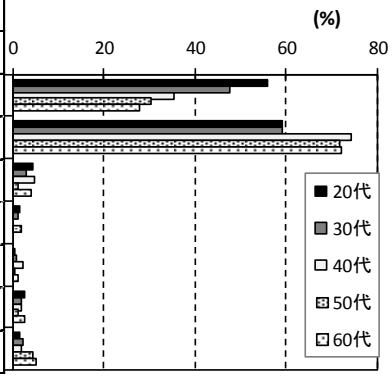

| | 地域ブロック別 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 関西 | 中国 | 九州 |
| 全体(N) | 106 | 96 | 836 | 188 | 272 | 105 | 167 |
| 親族の家の手伝いや世話、帰省のため | 35.8 | 34.4 | 40.9 | 38.3 | 39.7 | 45.7 | 50.3 |
| 旅行・観光・レジャー・レクリエーションのため | 65.1 | 62.5 | 67.6 | 61.2 | 66.5 | 51.4 | 50.3 |
| 農作業や祭りなどの地域活動に参加するため | 5.7 | 8.3 | 3.9 | 5.3 | 3.7 | 8.6 | 4.8 |
| 都市地域のほかに農山漁村地域にも住居があるため | 0.9 | 2.1 | 1.8 | 1.6 | 1.1 | 2.9 | 1.8 |
| 仕事（出張・営業等）のため | 7.5 | 11.5 | 5.9 | 8.5 | 7.7 | 7.6 | 9.0 |
| 地域貢献活動やボランティア活動に参加するため | 0.0 | 1.0 | 2.4 | 1.6 | 1.5 | 1.0 | 2.4 |
| 上記以外の目的で | 3.8 | 1.0 | 1.9 | 5.9 | 0.7 | 6.7 | 4.8 |



| | 男性 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 |
| 全体(N) | 182 | 218 | 249 | 179 | 92 |
| 親族の家の手伝いや世話、帰省のため | 57.1 | 46.3 | 31.3 | 31.8 | 37.0 |
| 旅行・観光・レジャー・レクリエーションのため | 54.4 | 56.4 | 67.1 | 64.2 | 63.0 |
| 農作業や祭りなどの地域活動に参加するため | 11.5 | 10.6 | 1.6 | 1.1 | 3.3 |
| 都市地域のほかに農山漁村地域にも住居があるため | 3.8 | 3.2 | 1.6 | 0.6 | 2.2 |
| 仕事(出張・営業等)のため | 5.5 | 15.1 | 18.1 | 11.7 | 9.8 |
| 地域貢献活動やボランティア活動に参加するため | 3.8 | 1.4 | 0.8 | 0.6 | 3.3 |
| 上記以外の目的で | 0.5 | 1.4 | 1.6 | 6.1 | 7.6 |



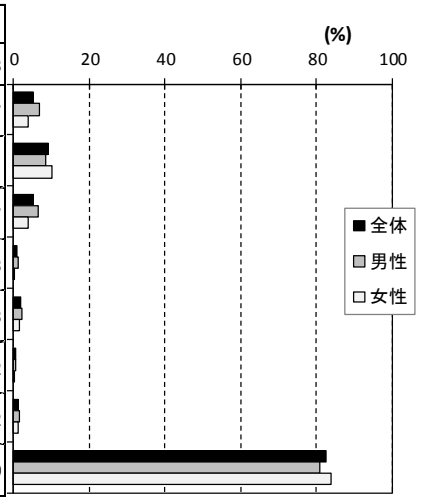

| | 女性 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 |
| 全体(N) | 179 | 221 | 223 | 152 | 75 |
| 親族の家の手伝いや世話、帰省のため | 55.9 | 47.5 | 35.4 | 30.3 | 28.0 |
| 旅行・観光・レジャー・レクリエーションのため | 59.2 | 59.3 | 74.4 | 71.7 | 72.0 |
| 農作業や祭りなどの地域活動に参加するため | 4.5 | 3.2 | 4.9 | 1.3 | 4.0 |
| 都市地域のほかに農山漁村地域にも住居があるため | 1.7 | 1.4 | 0.0 | 2.0 | 0.0 |
| 仕事(出張・営業等)のため | 0.6 | 0.9 | 2.2 | 0.7 | 1.3 |
| 地域貢献活動やボランティア活動に参加するため | 2.8 | 1.8 | 1.8 | 1.3 | 2.7 |
| 上記以外の目的で | 1.7 | 2.3 | 1.8 | 4.6 | 5.3 |



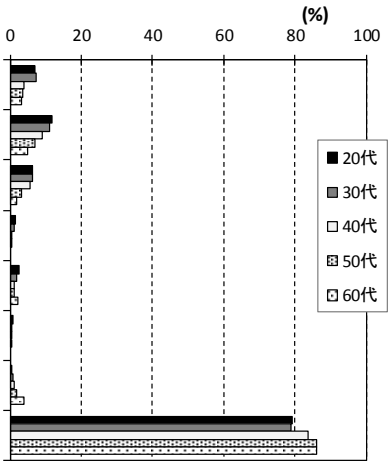
**問4. あなたは、直近の５年間で、農山漁村地域に対して、直接訪れる以外に何か関わりを持っていますか。（○はいくつでも）**

- ► 全体で、何か関わりを持っていると回答した中では、「都市地域で開催される農山漁村地域関連のイベントに参加したり、アンテナショップ等を訪れて、商品や特産品を購入している」が 9.2%と最も割合が高い。
- ► 年代別でみると、若い年代ほど関わりを持つと回答した割合が高い傾向にある。
- ► 地域ブロック別でみると、関東では、「都市地域で開催される農山漁村地域間連のイベントに参加したり、アンテナショップ等を訪れて、商品や特産品を購入している」（10.8%）及び「出身地や関わりのある農山漁村地域に「ふるさと納税」をしている」（6.1%）の割合が他の地域ブロックと比べやや高い。
- ► 性別・年代別でみると、20 代及び 30 代男性では、「特定の農山漁村地域の人や団体等と交流を持ち、定期的に情報を交換したり、農産物・特産物などを直接購入している」が、10%以上あり、同年代の女性と比べ割合が高い。

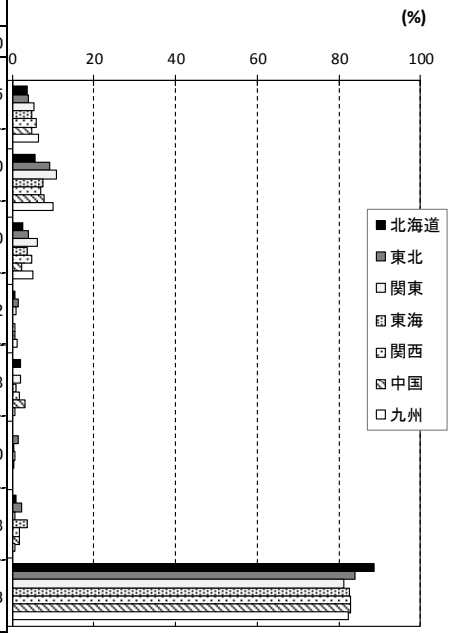
| | 全体 | 男性 | 女性 |
|---|---|---|---|
| 全体(N) | 3,116 | 1,558 | 1,558 |
| 特定の農山漁村地域の人や団体等と交流を持ち、定期的に情報を交換したり、農産物・特産品などを直接購入している | 5.2 | 6.7 | 3.7 |
| 都市地域で開催される農山漁村地域関連のイベントに参加したり、アンテナショップ等を訪れて、商品や特産品を購入している | 9.2 | 8.3 | 10.1 |
| 出身地や関わりのある農山漁村地域に「ふるさと納税」をしている | 5.1 | 6.4 | 3.7 |
| 農山漁村地域で地域おこし活動を行うNPOなどに寄付をしている | 0.8 | 1.3 | 0.3 |
| 同郷会（都市部で行う同じ地域の出身者の集まり）に参加している | 1.7 | 2.1 | 1.3 |
| 特定の農山漁村地域の団体等の会員に登録している | 0.4 | 0.6 | 0.2 |
| 上記以外の関わりを持っている | 1.3 | 1.3 | 1.2 |
| 特に農山漁村地域との関わりはない | 82.4 | 80.8 | 84.0 |



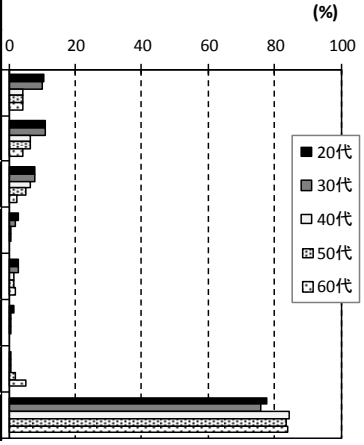

| | 年代別 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 |
| 全体(N) | 598 | 734 | 834 | 636 | 314 |
| 特定の農山漁村地域の人や団体等と交流を持ち、定期的に情報を交換したり、農産物・特産品などを直接購入している | 7.0 | 7.4 | 4.0 | 3.6 | 3.2 |
| 都市地域で開催される農山漁村地域関連のイベントに参加したり、アンテナショップ等を訪れて、商品や特産品を購入している | 11.7 | 11.0 | 9.1 | 6.9 | 5.1 |
| 出身地や関わりのある農山漁村地域に「ふるさと納税」をしている | 6.2 | 6.4 | 5.6 | 3.3 | 1.9 |
| 農山漁村地域で地域おこし活動を行うNPOなどに寄付をしている | 1.5 | 1.2 | 0.5 | 0.3 | 0.0 |
| 同郷会（都市部で行う同じ地域の出身者の集まり）に参加している | 2.7 | 1.9 | 1.1 | 1.1 | 2.2 |
| 特定の農山漁村地域の団体等の会員に登録している | 0.7 | 0.5 | 0.2 | 0.3 | 0.0 |
| 上記以外の関わりを持っている | 0.3 | 0.8 | 1.1 | 1.7 | 3.8 |
| 特に農山漁村地域との関わりはない | 79.3 | 78.7 | 83.7 | 86.0 | 86.0 |



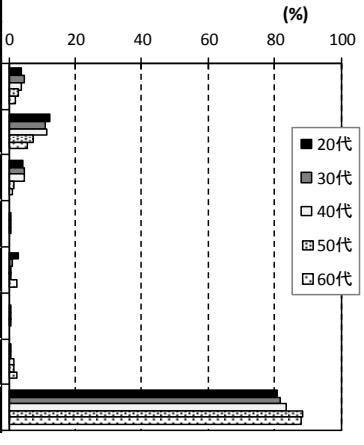
| | 地域ブロック別 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 関西 | 中国 | 九州 |
| 全体(N) | 193 | 131 | 1,522 | 314 | 532 | 164 | 260 |
| 特定の農山漁村地域の人や団体等と交流を持ち、定期的に情報を交換したり、農産物・特産品などを直接購入している | 3.6 | 3.8 | 5.2 | 4.8 | 5.8 | 4.9 | 6.5 |
| 都市地域で開催される農山漁村地域関連のイベントに参加したり、アンテナショップ等を訪れて、商品や特産品を購入している | 5.7 | 9.2 | 10.8 | 7.6 | 7.0 | 7.9 | 10.0 |
| 出身地や関わりのある農山漁村地域に「ふるさと納税」をしている | 2.6 | 3.8 | 6.1 | 3.8 | 4.9 | 2.4 | 5.0 |
| 農山漁村地域で地域おこし活動を行うNPOなどに寄付をしている | 0.5 | 1.5 | 0.9 | 0.0 | 0.8 | 0.6 | 1.2 |
| 同郷会（都市部で行う同じ地域の出身者の集まり）に参加している | 2.1 | 0.0 | 2.0 | 1.0 | 1.7 | 3.0 | 0.8 |
| 特定の農山漁村地域の団体等の会員に登録している | 0.0 | 1.5 | 0.5 | 0.6 | 0.2 | 0.0 | 0.0 |
| 上記以外の関わりを持っている | 1.0 | 2.3 | 0.6 | 3.8 | 1.7 | 1.8 | 0.8 |
| 特に農山漁村地域との関わりはない | 88.6 | 84.0 | 81.2 | 82.5 | 82.9 | 82.9 | 82.3 |




| | 男性 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 |
| 全体(N) | 299 | 367 | 417 | 318 | 157 |
| 特定の農山漁村地域の人や団体等と交流を持ち、定期的に情報を交換したり、農産物・特産品などを直接購入している | 10.4 | 10.1 | 4.1 | 4.1 | 4.5 |
| 都市地域で開催される農山漁村地域関連のイベントに参加したり、アンテナショップ等を訪れて、商品や特産品を購入している | 11.0 | 11.2 | 6.7 | 6.6 | 4.5 |
| 出身地や関わりのある農山漁村地域に「ふるさと納税」をしている | 8.0 | 7.9 | 6.5 | 5.0 | 2.5 |
| 農山漁村地域で地域おこし活動を行うNPOなどに寄付をしている | 3.0 | 2.2 | 0.5 | 0.3 | 0.0 |
| 同郷会（都市部で行う同じ地域の出身者の集まり）に参加している | 2.7 | 2.7 | 1.4 | 1.6 | 1.9 |
| 特定の農山漁村地域の団体等の会員に登録している | 1.3 | 0.8 | 0.2 | 0.3 | 0.0 |
| 上記以外の関わりを持っている | 0.3 | 0.8 | 0.7 | 1.9 | 5.1 |
| 特に農山漁村地域との関わりはない | 77.6 | 75.7 | 84.2 | 83.6 | 84.1 |




| | 女性 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 |
| 全体(N) | 299 | 367 | 417 | 318 | 157 |
| 特定の農山漁村地域の人や団体等と交流を持ち、定期的に情報を交換したり、農産物・特産品などを直接購入している | 3.7 | 4.6 | 3.8 | 3.1 | 1.9 |
| 都市地域で開催される農山漁村地域関連のイベントに参加したり、アンテナショップ等を訪れて、商品や特産品を購入している | 12.4 | 10.9 | 11.5 | 7.2 | 5.7 |
| 出身地や関わりのある農山漁村地域に「ふるさと納税」をしている | 4.3 | 4.9 | 4.8 | 1.6 | 1.3 |
| 農山漁村地域で地域おこし活動を行うNPOなどに寄付をしている | 0.0 | 0.3 | 0.5 | 0.3 | 0.0 |
| 同郷会（都市部で行う同じ地域の出身者の集まり）に参加している | 2.7 | 1.1 | 0.7 | 0.6 | 2.5 |
| 特定の農山漁村地域の団体等の会員に登録している | 0.0 | 0.3 | 0.2 | 0.3 | 0.0 |
| 上記以外の関わりを持っている | 0.3 | 0.8 | 1.4 | 1.6 | 2.5 |
| 特に農山漁村地域との関わりはない | 80.9 | 81.7 | 83.2 | 88.4 | 87.9 |

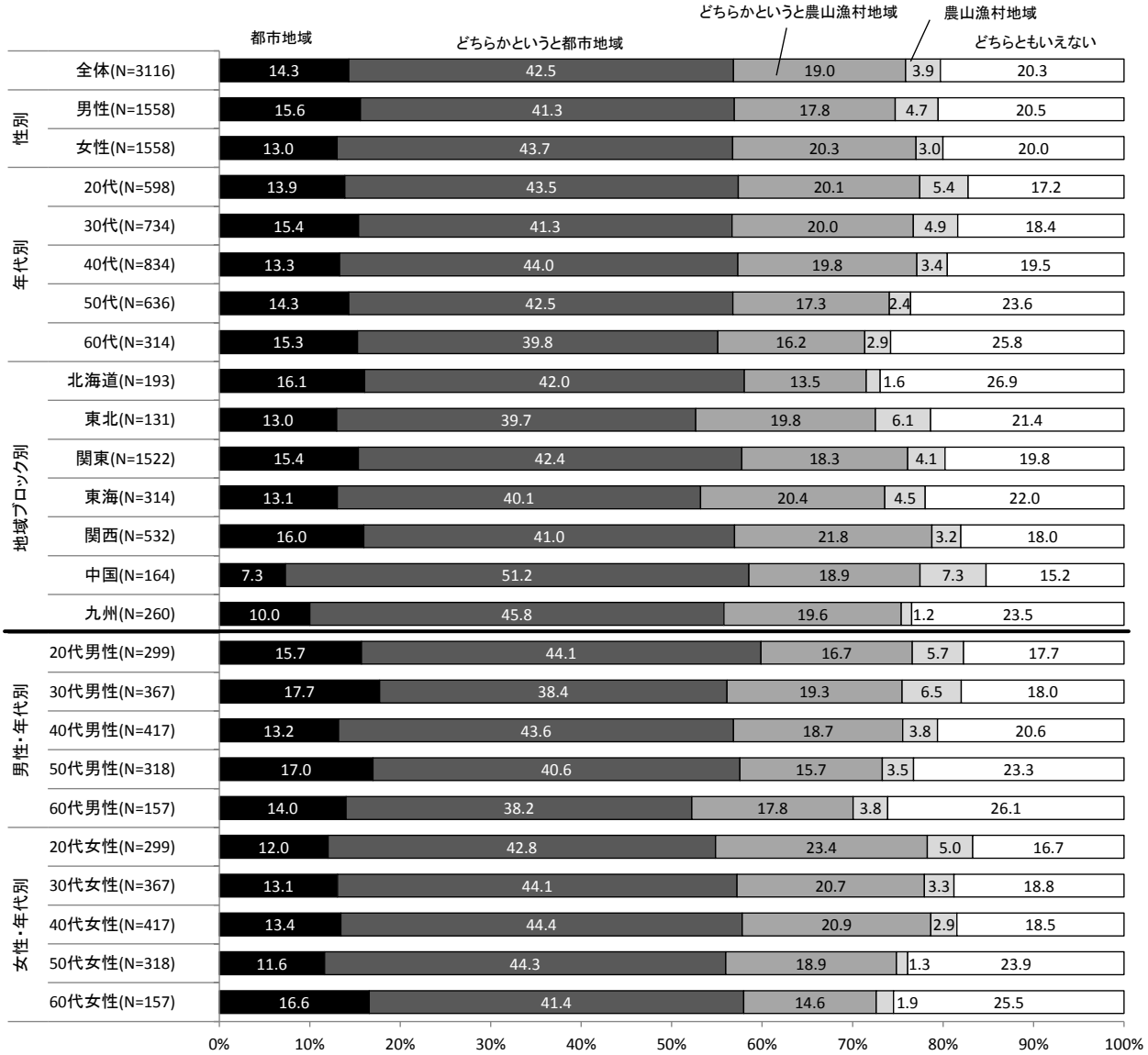


**問5. あなたは、子育てに適しているのは都市地域だと思いますか、それとも農山漁村地域だと思いますか。（○はひとつ）**

► 全体で、農山漁村地域が子育てに適していると回答した割合は、「農山漁村地域」（3.9%）及び「どちらかというと農山漁村地域」（19.0%）を合わせた 22.9%である。

► 年代別でみると、20 代及び 30 代では、農山漁村地域が子育てに適していると回答した割合が他の年代と比べ高い。

► 性別・年代別でみると、30 代男性及び 20 代女性で、農山漁村地域が子育てに適していると回答した割合が他の年代と比べ高い。



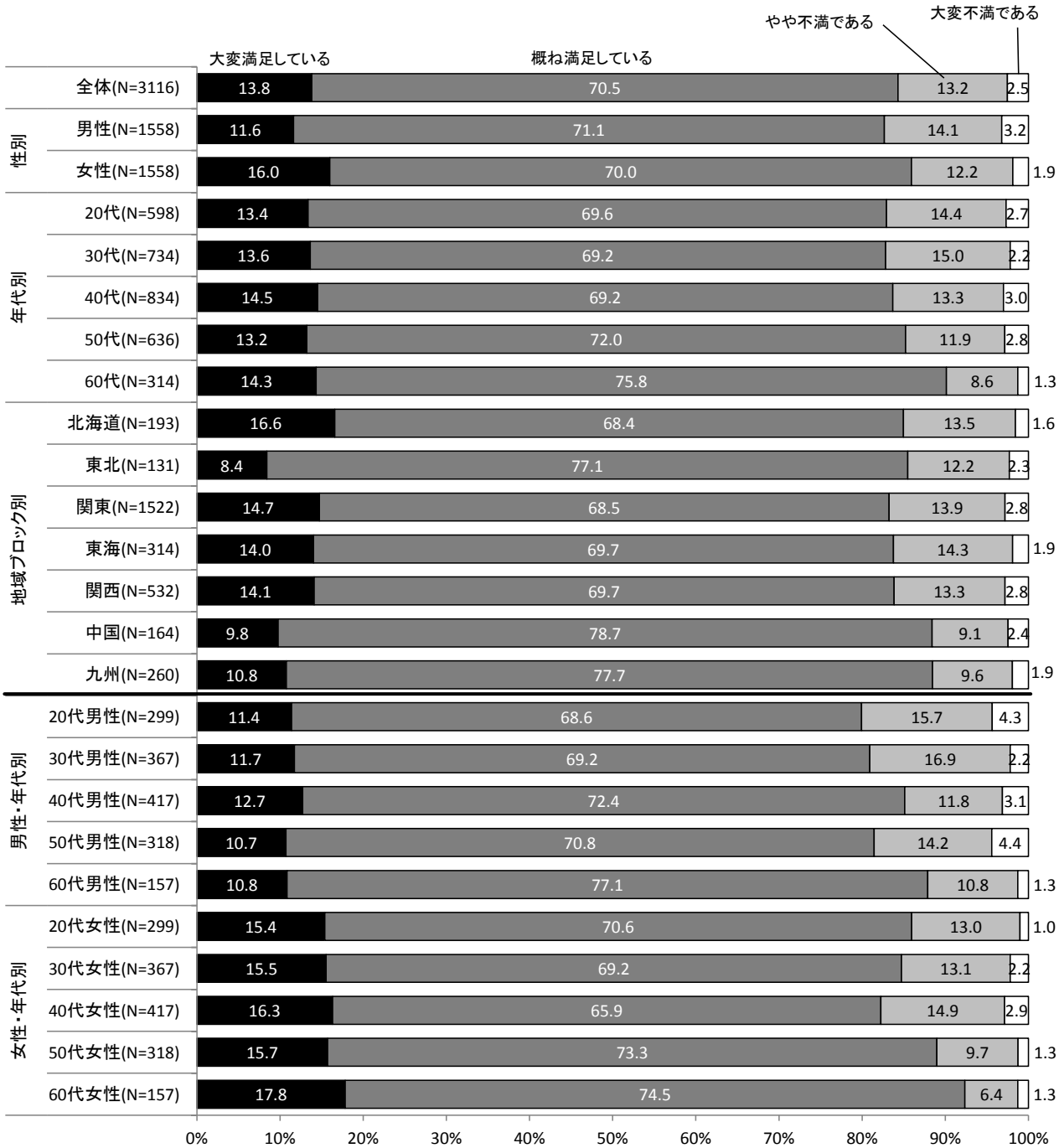
**問6. あなたは、現在お住いの地域の生活環境に満足していますか。（○はひとつ）**

► 全体で、満足していると回答した割合は、「大変満足している」（13.8%）及び「概ね満足している」（70.5%）を合わせた 84.3%である。

► 男女別でみると、女性の方が男性よりも満足していると回答した割合が高い。

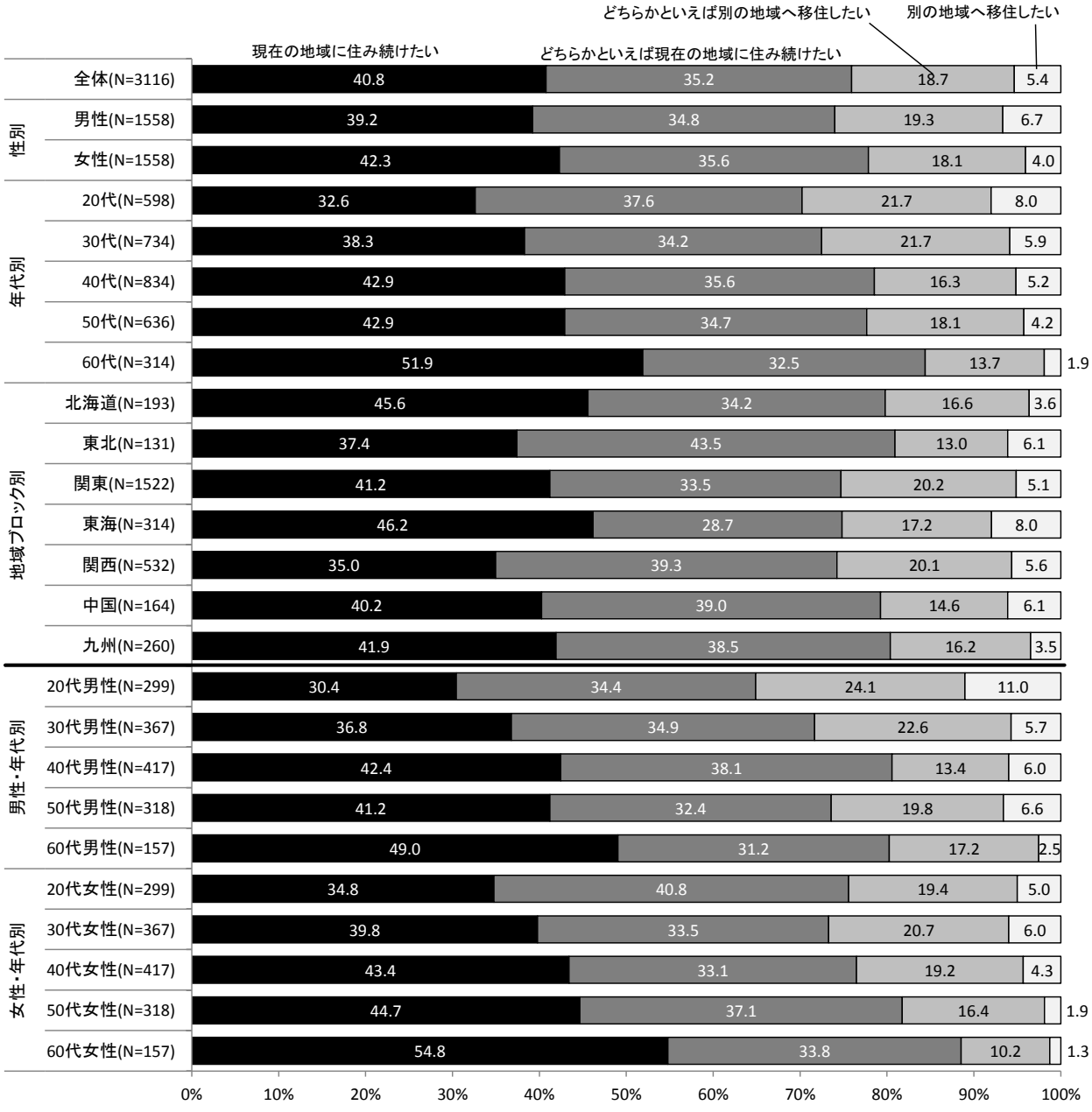
► 年代別でみると、年代が高くなるほど、満足していると回答した割合が高い。その一方で、若い年代ほど不満があると回答した割合が高い。

► 性別・年代別でみると、女性の 20 代から 40 代までは、年代が高くなるにつれて、不満があると回答した割合が高い。また、全ての年代で、「大変満足している」の割合が男性と比べ高い。



**問7. あなたは、現在お住まいの地域に住み続けたいですか、それとも別の地域へ移住したいですか。（○はひとつ）**

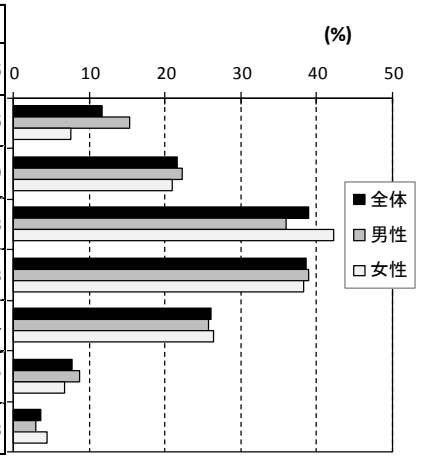
- ► 全体で、移住したいと回答した割合は、「別の地域へ移住したい」（5.4%）と「どちらかといえば別の地域へ移住したい」（18.7%）を合わせた 24.1%である。
- ► 男女別でみると、男性の方が女性よりも移住したいと回答した割合がやや高い。
- ► 年代別でみると、若い年代ほど、移住したいと回答した割合が高い。その一方で、年代が高くなるほど、住み続けたいと回答する割合が高い。
- ► 地域ブロック別でみると、関東、東海及び関西では移住したいと回答した割合が 25%以上あり、他の地域ブロックと比べると割合が高い。
- ► 性別・年代別でみると、20 代男性及び 30 代女性で移住したいと回答した割合が、他の年代と比べ高い。



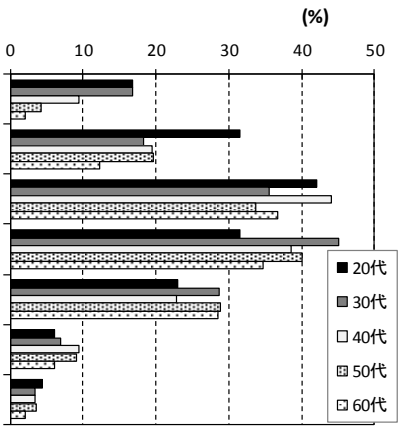
**問8. 問 7 で「どちらかといえば別の地域へ移住したい」又は「別の地域へ移住したい」と回答された方におうかがいします。**
**現在の地域との比較で考えた場合、どのような地域に移住をしたいですか。（○はいくつでも）**

- ► 全体では、「歩いて暮らせるような日常生活が便利な地域」及び「現在の地域より生活は不便でも自然が豊かな地域」がほぼ同じ割合で、最も高い割合を占めている。
- ► 男女別でみると、女性は「歩いて暮らせるような日常生活が便利な地域」が 42.3%で最も割合が高く、男性は「現在の地域より生活は不便でも自然が豊かな地域」が 39.0%で最も割合が高い。
- ► 年代別でみると、20 代、40 代及び 60 代では、「歩いて暮らせるような日常生活が便利な地域」が、30 代及び 50 代では、「現在の地域より生活は不便でも自然が豊かな地域」の割合が最も高い。
- ► 地域ブロック別でみると、関東と関西では、「現在の地域より生活は不便でも自然が豊かな地域」が約 4 割あり、高い割合を占めている。また、中国は「現在の地域より都市機能が充実した地域」が 47.1%あり、他の地域ブロックと比べ最も割合が高い。
- ► 性別・年代別でみると、女性は 30 代では、「現在の地域より生活は不便でも自然が豊かな地域」の割合が最も高く、他の年代では、「歩いて暮らせるような日常生活が便利な地域」の割合が最も高い。男性は、30 代、50 代及び 60 代では、「現在の地域より生活は不便でも自然が豊かな地域」の割合が最も高く、20 代及び 40 代では、「歩いて暮らせるような日常生活が便利な地域」の割合が最も高い。

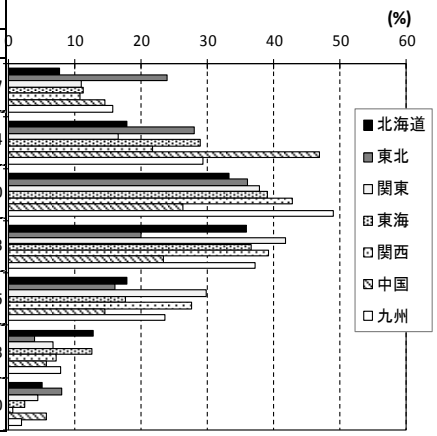
| | 全体 | 男性 | 女性 |
|---|---|---|---|
| 全体(N) | 750 | 405 | 345 |
| 現在の地域より若い世代や子どもが多い地域 | 11.7 | 15.3 | 7.5 |
| 現在の地域より都市機能が充実した地域 | 21.6 | 22.2 | 20.9 |
| 歩いて暮らせるような日常生活が便利な地域 | 38.9 | 36.0 | 42.3 |
| 現在の地域より生活は不便でも自然が豊かな地域 | 38.7 | 39.0 | 38.3 |
| 現在の地域より生活は不便でも環境にやさしい暮らし（ロハス）やゆっくりとした暮らし（スローライフ）が送れる地域 | 26.0 | 25.7 | 26.4 |
| 離島や山間部など、現在の地域ではできない暮らしが送れる地域 | 7.7 | 8.6 | 6.7 |
| その他 | 3.6 | 3.0 | 4.3 |



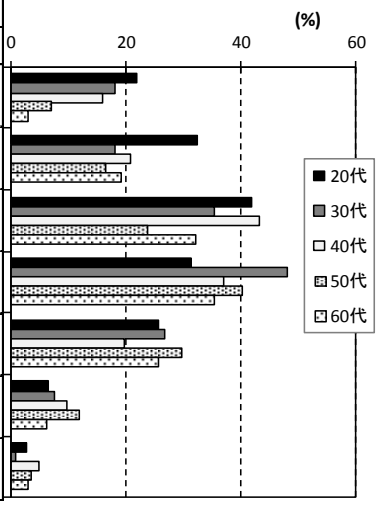

| | 年代別 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 |
| 全体(N) | 178 | 202 | 179 | 142 | 49 |
| 現在の地域より若い世代や子どもが多い地域 | 16.9 | 16.8 | 9.5 | 4.2 | 2.0 |
| 現在の地域より都市機能が充実した地域 | 31.5 | 18.3 | 19.6 | 19.7 | 12.2 |
| 歩いて暮らせるような日常生活が便利な地域 | 42.1 | 35.6 | 44.1 | 33.8 | 36.7 |
| 現在の地域より生活は不便でも自然が豊かな地域 | 31.5 | 45.0 | 38.5 | 40.1 | 34.7 |
| 現在の地域より生活は不便でも環境にやさしい暮らし（ロハス）やゆっくりとした暮らし（スローライフ）が送れる地域 | 23.0 | 28.7 | 22.9 | 28.9 | 28.6 |
| 離島や山間部など、現在の地域ではできない暮らしが送れる地域 | 6.2 | 6.9 | 9.5 | 9.2 | 6.1 |
| その他 | 4.5 | 3.5 | 3.4 | 3.5 | 2.0 |



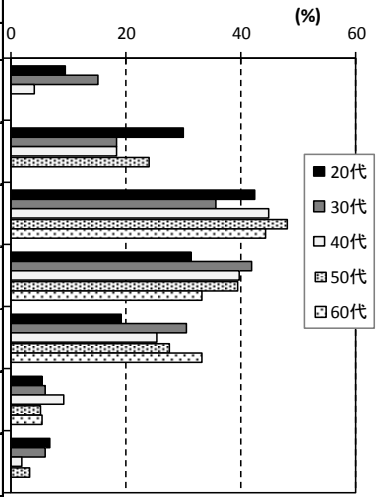
| | 地域ブロック別 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 関西 | 中国 | 九州 |
| 全体(N) | 39 | 25 | 385 | 79 | 137 | 34 | 51 |
| 現在の地域より若い世代や子どもが多い地域 | 7.7 | 24.0 | 10.9 | 11.4 | 10.9 | 14.7 | 15.7 |
| 現在の地域より都市機能が充実した地域 | 17.9 | 28.0 | 16.6 | 29.1 | 21.9 | 47.1 | 29.4 |
| 歩いて暮らせるような日常生活が便利な地域 | 33.3 | 36.0 | 37.9 | 39.2 | 43.1 | 26.5 | 49.0 |
| 現在の地域より生活は不便でも自然が豊かな地域 | 35.9 | 20.0 | 41.8 | 36.7 | 39.4 | 23.5 | 37.3 |
| 現在の地域より生活は不便でも環境にやさしい暮らし(ロハス)やゆっくりとした暮らし(スローライフ)が送れる地域 | 17.9 | 16.0 | 29.9 | 17.7 | 27.7 | 14.7 | 23.5 |
| 離島や山間部など、現在の地域ではできない暮らしが送れる地域 | 12.8 | 4.0 | 6.8 | 12.7 | 7.3 | 5.9 | 7.8 |
| その他 | 5.1 | 8.0 | 4.4 | 2.5 | 0.7 | 5.9 | 2.0 |




| | 男性 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 |
| 全体(N) | 105 | 104 | 81 | 84 | 31 |
| 現在の地域より若い世代や子どもが多い地域 | 21.9 | 18.3 | 16.0 | 7.1 | 3.2 |
| 現在の地域より都市機能が充実した地域 | 32.4 | 18.3 | 21.0 | 16.7 | 19.4 |
| 歩いて暮らせるような日常生活が便利な地域 | 41.9 | 35.6 | 43.2 | 23.8 | 32.3 |
| 現在の地域より生活は不便でも自然が豊かな地域 | 31.4 | 48.1 | 37.0 | 40.5 | 35.5 |
| 現在の地域より生活は不便でも環境にやさしい暮らし(ロハス)やゆっくりとした暮らし(スローライフ)が送れる地域 | 25.7 | 26.9 | 19.8 | 29.8 | 25.8 |
| 離島や山間部など、現在の地域ではできない暮らしが送れる地域 | 6.7 | 7.7 | 9.9 | 11.9 | 6.5 |
| その他 | 2.9 | 1.0 | 4.9 | 3.6 | 3.2 |

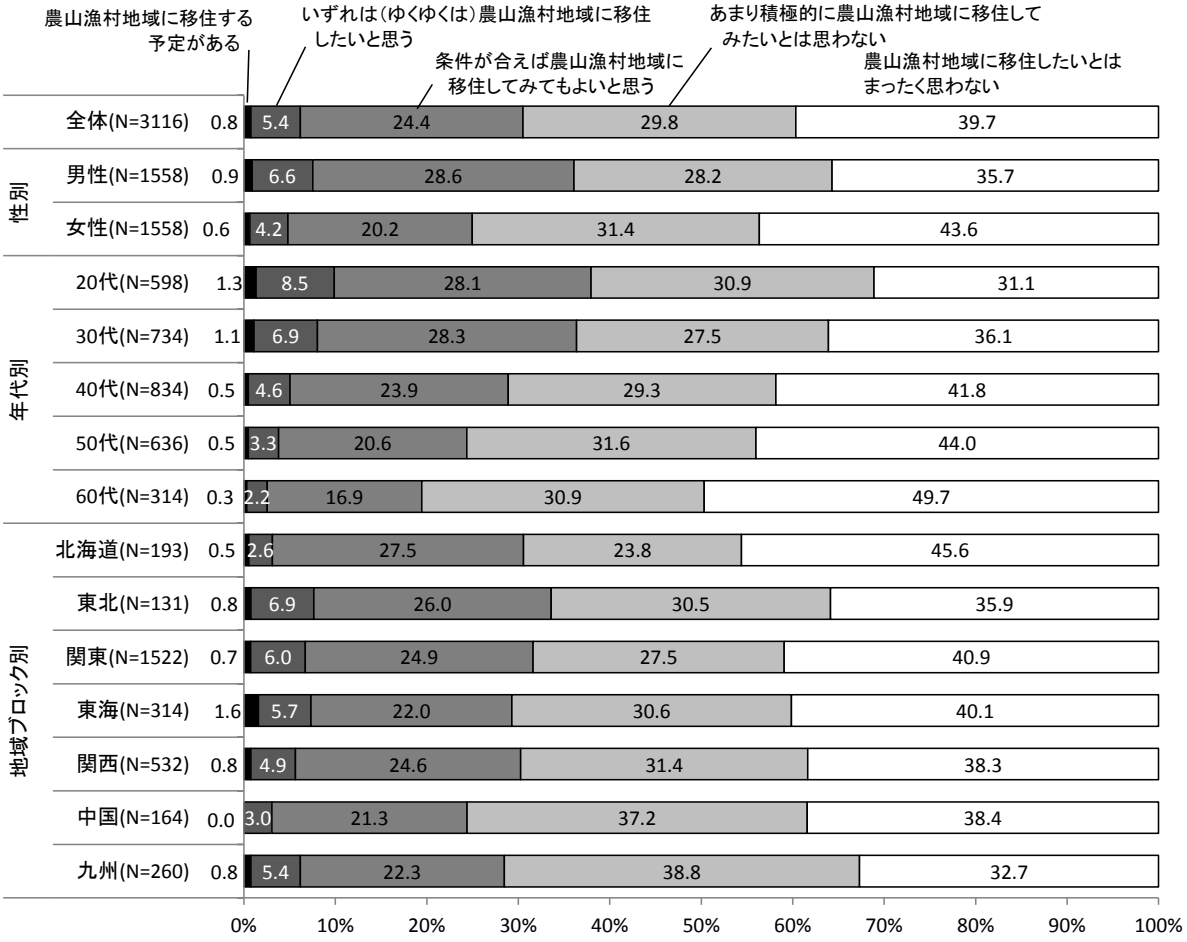



| | 女性 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 |
| 全体(N) | 73 | 98 | 98 | 58 | 18 |
| 現在の地域より若い世代や子どもが多い地域 | 9.6 | 15.3 | 4.1 | 0.0 | 0.0 |
| 現在の地域より都市機能が充実した地域 | 30.1 | 18.4 | 18.4 | 24.1 | 0.0 |
| 歩いて暮らせるような日常生活が便利な地域 | 42.5 | 35.7 | 44.9 | 48.3 | 44.4 |
| 現在の地域より生活は不便でも自然が豊かな地域 | 31.5 | 41.8 | 39.8 | 39.7 | 33.3 |
| 現在の地域より生活は不便でも環境にやさしい暮らし(ロハス)やゆっくりとした暮らし(スローライフ)が送れる地域 | 19.2 | 30.6 | 25.5 | 27.6 | 33.3 |
| 離島や山間部など、現在の地域ではできない暮らしが送れる地域 | 5.5 | 6.1 | 9.2 | 5.2 | 5.6 |
| その他 | 6.8 | 6.1 | 2.0 | 3.4 | 0.0 |

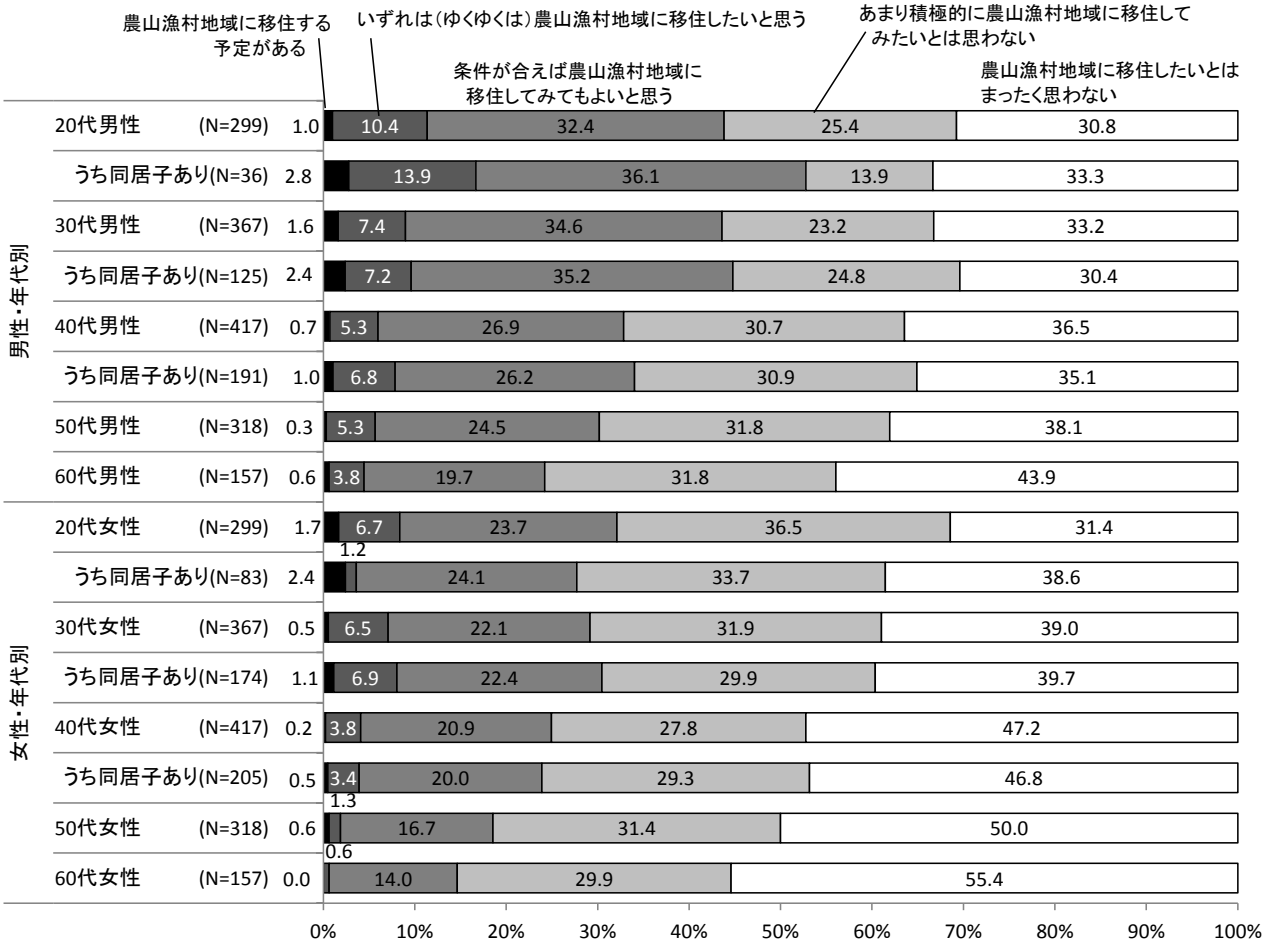


**問9. あなたは、農山漁村地域に移住してみたいと思いますか。あなたご自身のお考えとしてお答えください。（○はひとつ）**

► 全体で、農山漁村地域に移住してみたいと回答した割合は、「農山漁村地域に移住する予定がある」（0.8%）、「いずれは（ゆくゆくは）農山漁村地域に移住したい」（5.4%）及び「条件が合えば農山漁村地域移住してみてもよい」（24.4%）を合わせた 30.6%である。
► 男女別でみると、男性の方が女性よりも農山漁村地域へ移住してみたいと回答した割合が高い。
► 年代別では、若い世代の方が、農山漁村地域へ移住してみたいと回答した割合が高い。
► 地域ブロック別でみると、北海道、東北、関東及び関西では、農山漁村地域へ移住してみたいと回答した割合が３割以上ある。



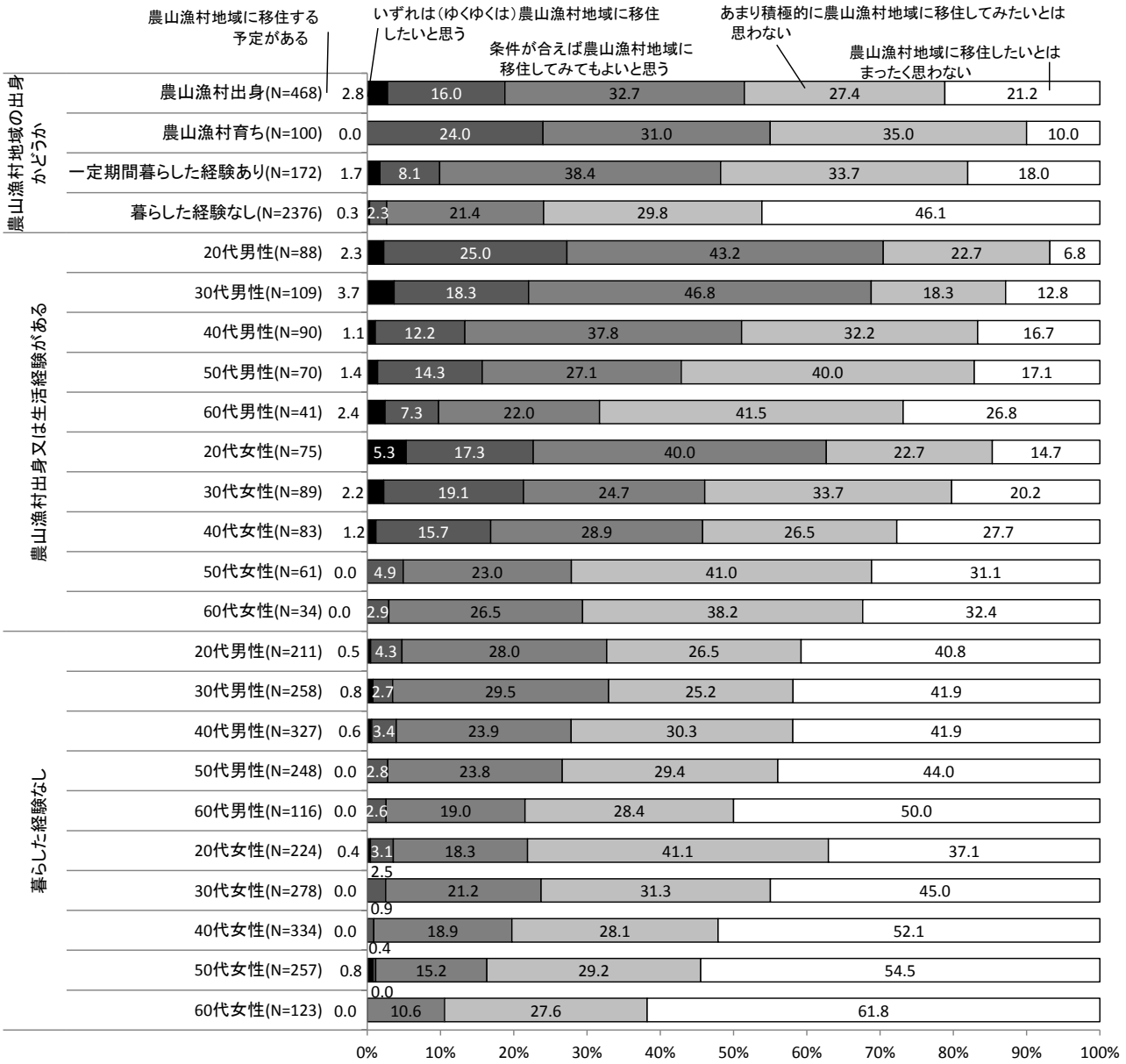
► 性別・年代別でみると、20 代及び 30 代男性では、農山漁村地域へ移住してみたいと回答した割合が 4 割以上で、ほぼ同じ割合となっており、他の年代と比べ高い。一方女性では、20 代で農山漁村地域へ移住してみたいと回答した割合が、他の年代と比べ高い。また、20 代～40 代の男女で、同居の子がいる場合をみると、20 代～40 代男性、30 代女性では、農山漁村地域へ移住してみたいと回答した割合が高い　。



► 農山漁村地域の出身かどうかでみると、農山漁村地域へ移住してみたいと回答した割合は、農山漁村地域で生まれてはいないが、幼少期はおおむね農山漁村地域で育った者（以下、「農山漁村育ち」）が 55.0%で、最も割合が高い。その一方、農山漁村地域の出身ではなく暮らした経験もない者（以下、「暮らした経験なし」）は、農山漁村地域へ移住したいと回答した割合が 24.0%で最も割合が低い。

► 農山漁村地域出身又は生活経験がある者をみると、20 代及び 30 代男性の約 70%、20 代女性の約 60%が農山漁村地域へ移住してみたいと回答しており、他の年代と比べ割合が高い。

► 暮らした経験なしの者をみると、全体の傾向と同様に、若い世代の方が、農山漁村地域へ移住してみたいと回答した割合が高い。



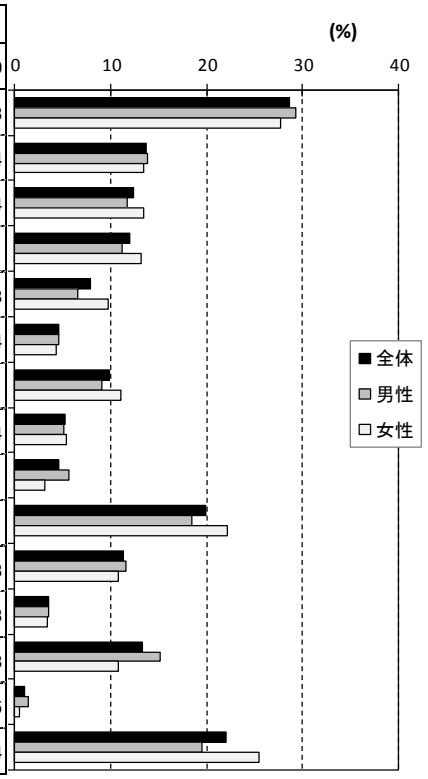

「農山漁村出身」・・・農山漁村地域の出身
「農山漁村育ち」・・・農山漁村地域で生まれてはいないが、幼少期はおおむね農山漁村地域で育った
「一定期間暮らした経験あり」・・・生まれ育ちは農山漁村地域ではないが、一定期間農山漁村地域で暮らした経験がある
「暮らした経験なし」・・・農山漁村地域の出身ではなく、暮らした経験もない
「農山漁村出身又は生活経験がある」・・・「農山漁村出身」、「農山漁村育ち」及び「一定期間暮らした経験あり」の合計。

【以降、問 10～問 17 は、問 9 で農山漁村地域への移住してみたいと回答した者のみ】

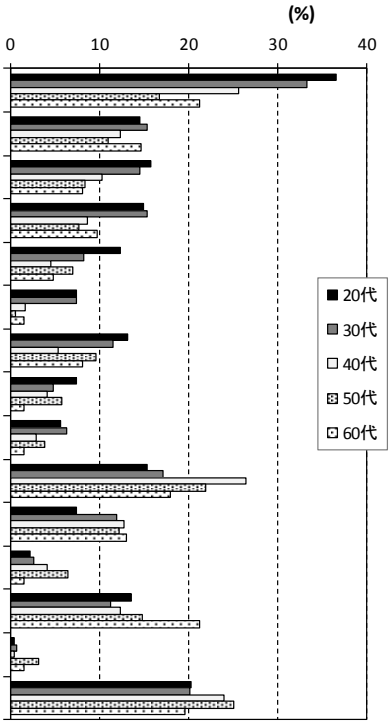
**問10. あなたが移住したい（移住を予定している）農山漁村地域はどのような地域ですか。（○はいくつでも）**

- ► 全体では、「自分の出身地」の回答が 28.7%で最も割合が高く、次いで、「具体的なイメージはない・決めていない」が 22.0%、「出身地ではないが、過去に観光などでよく訪れたり滞在したことがある地域」が 20.0%と続いている。
- ► 年代別でみると、若い世代では「自分の出身地」を回答する割合が高く、40 代及び 50 代では「出身地ではないが、過去に観光などでよく訪れたり滞在したことがある地域」の回答が他の年代に比べ高い。
- ► 性別・年代別でみると、男性は 50 代では、「出身地ではないが、過去に観光などでよく訪れたり滞在したことがある地域」、60 代では、「テレビやインターネット等の情報を通じて魅力を感じている地域」の割合が最も高い。その一方で、50 代及び 60 代女性では、「具体的なイメージはない・決めていない」の割合が最も高い。
- ► 農山漁村地域への移住意向の程度別にみると、移住予定がある者及びいずれ（ゆくゆくは）移住したいとする者では、「自分の出身地」の割合が最も高い。一方で、条件が合えば移住してもよいとする者は、「具体的なイメージはない・決めていない」が最も高く、次いで、「自分の出身地」、「出身地ではないが、過去に観光などでよく訪れたり滞在したことがある地域」が続いている。

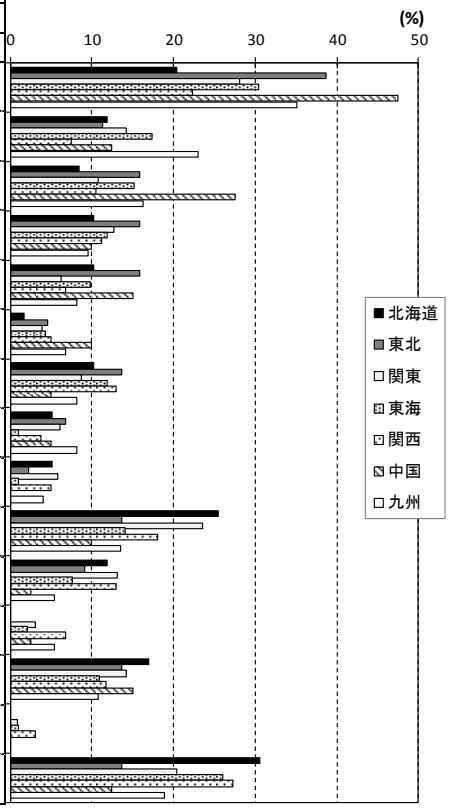
| | 全体 | 男性 | 女性 |
|---|---|---|---|
| 全体(N) | 951 | 562 | 389 |
| 自分の出身地 | 28.7 | 29.4 | 27.8 |
| 配偶者の出身地 | 13.7 | 13.9 | 13.4 |
| 自分や配偶者の出身地の近く | 12.4 | 11.7 | 13.4 |
| 自分の親や配偶者の親などの親族の出身地 | 12.0 | 11.2 | 13.1 |
| 自分の親や配偶者の親が住んでいる地域 | 7.9 | 6.6 | 9.8 |
| 子どもなどの面倒を見てくれる親族が住んでいる地域 | 4.5 | 4.6 | 4.4 |
| 友人や知り合いが住んでいる地域 | 9.9 | 9.1 | 11.1 |
| 出身地ではないが、幼少期によく訪れたことがある、なじみのある地域 | 5.3 | 5.2 | 5.4 |
| 出身地ではないが、学生時代や転勤などで一定期間住んだことのある、なじみのある地域 | 4.6 | 5.7 | 3.1 |
| 出身地ではないが、過去に観光などでよく訪れたり滞在したことがある地域 | 20.0 | 18.5 | 22.1 |
| 出身地ではないが、この数年来、何度か行き来している、なじみのある地域 | 11.3 | 11.6 | 10.8 |
| 移住相談窓口で話を聞いたり、移住体験ツアーに参加したことのある地域 | 3.5 | 3.6 | 3.3 |
| 上記以外で、テレビやインターネット等の情報を通じて魅力を感じている地域 | 13.4 | 15.1 | 10.8 |
| その他 | 1.1 | 1.4 | 0.5 |
| 具体的なイメージはない・決めていない | 22.0 | 19.6 | 25.4 |



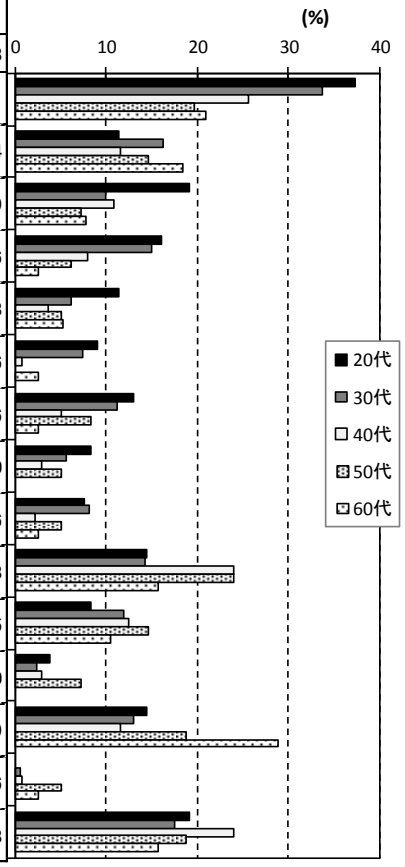
| | 年代別 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 |
| 全体(N) | 227 | 267 | 241 | 155 | 61 |
| 自分の出身地 | 36.6 | 33.3 | 25.7 | 16.8 | 21.3 |
| 配偶者の出身地 | 14.5 | 15.4 | 12.4 | 11.0 | 14.8 |
| 自分や配偶者の出身地の近く | 15.9 | 14.6 | 10.4 | 8.4 | 8.2 |
| 自分の親や配偶者の親などの親族の出身地 | 15.0 | 15.4 | 8.7 | 7.7 | 9.8 |
| 自分の親や配偶者の親が住んでいる地域 | 12.3 | 8.2 | 4.6 | 7.1 | 4.9 |
| 子どもなどの面倒を見てくれる親族が住んでいる地域 | 7.5 | 7.5 | 1.7 | 0.6 | 1.6 |
| 友人や知り合いが住んでいる地域 | 13.2 | 11.6 | 5.4 | 9.7 | 8.2 |
| 出身地ではないが、幼少期によく訪れたことがある、なじみのある地域 | 7.5 | 4.9 | 4.1 | 5.8 | 1.6 |
| 出身地ではないが、学生時代や転勤などで一定期間住んだことのある、なじみのある地域 | 5.7 | 6.4 | 2.9 | 3.9 | 1.6 |
| 出身地ではないが、過去に観光などでよく訪れたり滞在したことがある地域 | 15.4 | 17.2 | 26.6 | 21.9 | 18.0 |
| 出身地ではないが、この数年来、何度か行き来している、なじみのある地域 | 7.5 | 12.0 | 12.9 | 12.3 | 13.1 |
| 移住相談窓口で話を聞いたり、移住体験ツアーに参加したことのある地域 | 2.2 | 2.6 | 4.1 | 6.5 | 1.6 |
| 上記以外で、テレビやインターネット等の情報を通じて魅力を感じている地域 | 13.7 | 11.2 | 12.4 | 14.8 | 21.3 |
| その他 | 0.4 | 0.7 | 0.4 | 3.2 | 1.6 |
| 具体的なイメージはない・決めていない | 20.3 | 20.2 | 24.1 | 25.2 | 19.7 |



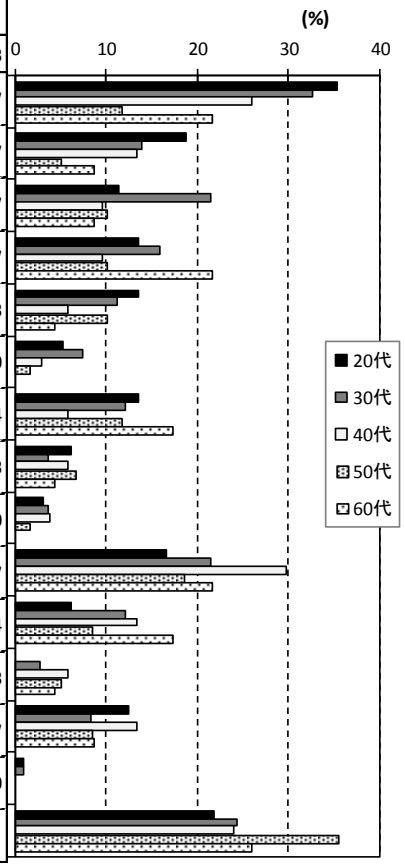

| | 地域ブロック別 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 関西 | 中国 | 九州 |
| 全体(N) | 59 | 44 | 481 | 92 | 161 | 40 | 74 |
| 自分の出身地 | 20.3 | 38.6 | 28.1 | 30.4 | 22.4 | 47.5 | 35.1 |
| 配偶者の出身地 | 11.9 | 11.4 | 14.1 | 17.4 | 7.5 | 12.5 | 23.0 |
| 自分や配偶者の出身地の近く | 8.5 | 15.9 | 10.8 | 15.2 | 10.6 | 27.5 | 16.2 |
| 自分の親や配偶者の親などの親族の出身地 | 10.2 | 15.9 | 12.7 | 12.0 | 11.2 | 10.0 | 9.5 |
| 自分の親や配偶者の親が住んでいる地域 | 10.2 | 15.9 | 6.2 | 9.8 | 6.8 | 15.0 | 8.1 |
| 子どもなどの面倒を見てくれる親族が住んでいる地域 | 1.7 | 4.5 | 4.0 | 4.3 | 5.0 | 10.0 | 6.8 |
| 友人や知り合いが住んでいる地域 | 10.2 | 13.6 | 8.7 | 12.0 | 13.0 | 5.0 | 8.1 |
| 出身地ではないが、幼少期によく訪れたことがある、なじみのある地域 | 5.1 | 6.8 | 6.0 | 1.1 | 3.7 | 5.0 | 8.1 |
| 出身地ではないが、学生時代や転勤などで一定期間住んだことのある、なじみのある地域 | 5.1 | 2.3 | 5.8 | 1.1 | 5.0 | 0.0 | 4.1 |
| 出身地ではないが、過去に観光などでよく訪れたり滞在したことがある地域 | 25.4 | 13.6 | 23.5 | 14.1 | 18.0 | 10.0 | 13.5 |
| 出身地ではないが、この数年来、何度か行き来している、なじみのある地域 | 11.9 | 9.1 | 13.1 | 7.6 | 13.0 | 2.5 | 5.4 |
| 移住相談窓口で話を聞いたり、移住体験ツアーに参加したことのある地域 | 0.0 | 0.0 | 3.1 | 2.2 | 6.8 | 2.5 | 5.4 |
| 上記以外で、テレビやインターネット等の情報を通じて魅力を感じている地域 | 16.9 | 13.6 | 14.1 | 10.9 | 11.8 | 15.0 | 10.8 |
| その他 | 0.0 | 0.0 | 0.8 | 1.1 | 3.1 | 0.0 | 0.0 |
| 具体的なイメージはない・決めていない | 30.5 | 13.6 | 20.4 | 26.1 | 27.3 | 12.5 | 18.9 |



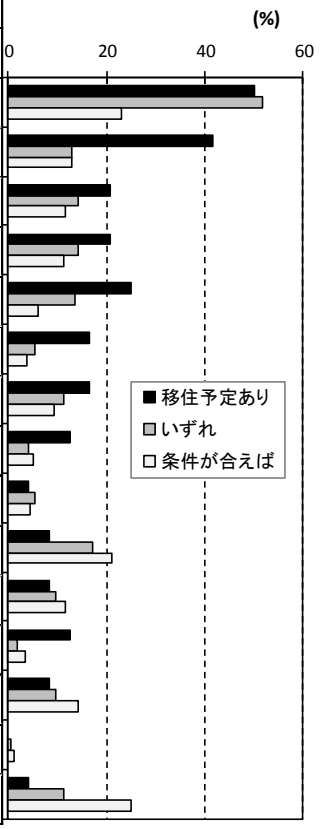
| | 男性 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 |
| 全体(N) | 131 | 160 | 137 | 96 | 38 |
| 自分の出身地 | 37.4 | 33.8 | 25.5 | 19.8 | 21.1 |
| 配偶者の出身地 | 11.5 | 16.3 | 11.7 | 14.6 | 18.4 |
| 自分や配偶者の出身地の近く | 19.1 | 10.0 | 10.9 | 7.3 | 7.9 |
| 自分の親や配偶者の親などの親族の出身地 | 16.0 | 15.0 | 8.0 | 6.3 | 2.6 |
| 自分の親や配偶者の親が住んでいる地域 | 11.5 | 6.3 | 3.6 | 5.2 | 5.3 |
| 子どもなどの面倒を見てくれる親族が住んでいる地域 | 9.2 | 7.5 | 0.7 | 0.0 | 2.6 |
| 友人や知り合いが住んでいる地域 | 13.0 | 11.3 | 5.1 | 8.3 | 2.6 |
| 出身地ではないが、幼少期によく訪れたことがある、なじみのある地域 | 8.4 | 5.6 | 2.9 | 5.2 | 0.0 |
| 出身地ではないが、学生時代や転勤などで一定期間住んだことのある、なじみのある地域 | 7.6 | 8.1 | 2.2 | 5.2 | 2.6 |
| 出身地ではないが、過去に観光などでよく訪れたり滞在したことがある地域 | 14.5 | 14.4 | 24.1 | 24.0 | 15.8 |
| 出身地ではないが、この数年来、何度か行き来している、なじみのある地域 | 8.4 | 11.9 | 12.4 | 14.6 | 10.5 |
| 移住相談窓口で話を聞いたり、移住体験ツアーに参加したことのある地域 | 3.8 | 2.5 | 2.9 | 7.3 | 0.0 |
| 上記以外で、テレビやインターネット等の情報を通じて魅力を感じている地域 | 14.5 | 13.1 | 11.7 | 18.8 | 28.9 |
| その他 | 0.0 | 0.6 | 0.7 | 5.2 | 2.6 |
| 具体的なイメージはない・決めていない | 19.1 | 17.5 | 24.1 | 18.8 | 15.8 |




| | 女性 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 |
| 全体(N) | 96 | 107 | 104 | 59 | 23 |
| 自分の出身地 | 35.4 | 32.7 | 26.0 | 11.9 | 21.7 |
| 配偶者の出身地 | 18.8 | 14.0 | 13.5 | 5.1 | 8.7 |
| 自分や配偶者の出身地の近く | 11.5 | 21.5 | 9.6 | 10.2 | 8.7 |
| 自分の親や配偶者の親などの親族の出身地 | 13.5 | 15.9 | 9.6 | 10.2 | 21.7 |
| 自分の親や配偶者の親が住んでいる地域 | 13.5 | 11.2 | 5.8 | 10.2 | 4.3 |
| 子どもなどの面倒を見てくれる親族が住んでいる地域 | 5.2 | 7.5 | 2.9 | 1.7 | 0.0 |
| 友人や知り合いが住んでいる地域 | 13.5 | 12.1 | 5.8 | 11.9 | 17.4 |
| 出身地ではないが、幼少期によく訪れたことがある、なじみのある地域 | 6.3 | 3.7 | 5.8 | 6.8 | 4.3 |
| 出身地ではないが、学生時代や転勤などで一定期間住んだことのある、なじみのある地域 | 3.1 | 3.7 | 3.8 | 1.7 | 0.0 |
| 出身地ではないが、過去に観光などでよく訪れたり滞在したことがある地域 | 16.7 | 21.5 | 29.8 | 18.6 | 21.7 |
| 出身地ではないが、この数年来、何度か行き来している、なじみのある地域 | 6.3 | 12.1 | 13.5 | 8.5 | 17.4 |
| 移住相談窓口で話を聞いたり、移住体験ツアーに参加したことのある地域 | 0.0 | 2.8 | 5.8 | 5.1 | 4.3 |
| 上記以外で、テレビやインターネット等の情報を通じて魅力を感じている地域 | 12.5 | 8.4 | 13.5 | 8.5 | 8.7 |
| その他 | 1.0 | 0.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 具体的なイメージはない・決めていない | 21.9 | 24.3 | 24.0 | 35.6 | 26.1 |



| | 農山漁村地域への移住意向 | | |
|---|---|---|---|
| | 移住予定あり | いずれ | 条件が合えば |
| 全体(N) | 24 | 168 | 759 |
| 自分の出身地 | 50.0 | 51.8 | 22.9 |
| 配偶者の出身地 | 41.7 | 13.1 | 12.9 |
| 自分や配偶者の出身地の近く | 20.8 | 14.3 | 11.7 |
| 自分の親や配偶者の親などの親族の出身地 | 20.8 | 14.3 | 11.2 |
| 自分の親や配偶者の親が住んでいる地域 | 25.0 | 13.7 | 6.1 |
| 子どもなどの面倒を見てくれる親族が住んでいる地域 | 16.7 | 5.4 | 4.0 |
| 友人や知り合いが住んでいる地域 | 16.7 | 11.3 | 9.4 |
| 出身地ではないが、幼少期によく訪れたことがある、なじみのある地域 | 12.5 | 4.2 | 5.3 |
| 出身地ではないが、学生時代や転勤などで一定期間住んだことのある、なじみのある地域 | 4.2 | 5.4 | 4.5 |
| 出身地ではないが、過去に観光などでよく訪れたり滞在したことがある地域 | 8.3 | 17.3 | 20.9 |
| 出身地ではないが、この数年来、何度か行き来している、なじみのある地域 | 8.3 | 9.5 | 11.7 |
| 移住相談窓口で話を聞いたり、移住体験ツアーに参加したことのある地域 | 12.5 | 1.8 | 3.6 |
| 上記以外で、テレビやインターネット等の情報を通じて魅力を感じている地域 | 8.3 | 9.5 | 14.4 |
| その他 | 0.0 | 0.6 | 1.2 |
| 具体的なイメージはない・決めていない | 4.2 | 11.3 | 24.9 |

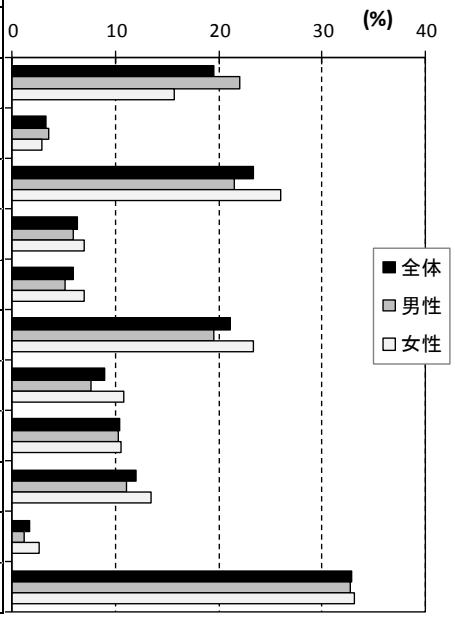



「移住予定あり」・・・農山漁村地域に移住する予定がある
「いずれ」・・・いずれは（ゆくゆくは）農山漁村地域に移住したいと思う
「条件が合えば」・・・条件が合えば農山漁村地域に移住してみてもよいと思う

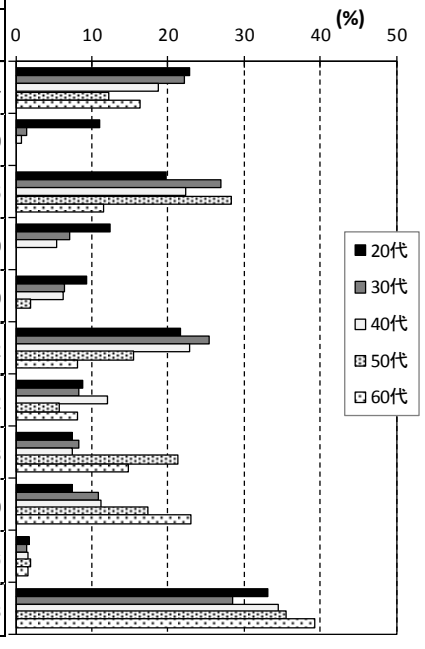
**問11. あなたは、いつ頃（どのようなタイミングで）農山漁村地域への移住を実現したいとお考えですか。**
**１．農山漁村地域への移住を考えているタイミングについて全て挙げてください。（○はいくつでも）**

- ► 全体では、「具体的な時期は考えていない」が 32.9%で最も割合が高く、次いで、「自分又は配偶者が退職したら」が 23.3%、「子育てが終わったら」が 21.1%、「条件が整えばすぐにでも」が 19.5%と続いている。
- ► 男女別でみると、「具体的な時期は考えていない」を除くと、男性では、「条件が整えばすぐにでも」が最も高く、女性では「自分又は配偶者が退職したら」の割合が最も高い。
- ► 年代別でみると、20 代では、「条件が整えばすぐにでも」の割合が高い。
- ► 地域ブロック別でみると、北海道では、「具体的な時期は考えていない」が５割以上あり、他の地域ブロックと比べ割合が高い。

| | 全体 | 男性 | 女性 |
|---|---|---|---|
| 全体(N) | 951 | 562 | 389 |
| 条件が整えばすぐにでも | 19.5 | 22.1 | 15.7 |
| 自分が今通っている大学等を卒業したら | 3.3 | 3.6 | 2.8 |
| 自分又は配偶者が（定年・早期）退職したら | 23.3 | 21.5 | 26.0 |
| 子どもが小・中学校へ進学するタイミングに合わせて（子どもを連れて移住） | 6.3 | 5.9 | 6.9 |
| 子どもが高校や大学等へ進学するタイミングに合わせて（子どもと離れて移住） | 5.9 | 5.2 | 6.9 |
| 子育てが終わったら（子どもが自立したら） | 21.1 | 19.6 | 23.4 |
| 自分や配偶者の親の介護などが必要となったら | 8.9 | 7.7 | 10.8 |
| 自分や配偶者の親の介護などが不要になったら | 10.4 | 10.3 | 10.5 |
| 配偶者との離・死別など家族構成に変化があったら | 12.0 | 11.0 | 13.4 |
| その他 | 1.7 | 1.1 | 2.6 |
| 具体的な時期は考えていない | 32.9 | 32.7 | 33.2 |




| | 年代別 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 |
| 全体(N) | 227 | 267 | 241 | 155 | 61 |
| 条件が整えばすぐにでも | 22.9 | 22.1 | 18.7 | 12.3 | 16.4 |
| 自分が今通っている大学等を卒業したら | 11.0 | 1.5 | 0.8 | 0.0 | 0.0 |
| 自分又は配偶者が（定年・早期）退職したら | 19.8 | 27.0 | 22.4 | 28.4 | 11.5 |
| 子どもが小・中学校へ進学するタイミングに合わせて（子どもを連れて移住） | 12.3 | 7.1 | 5.4 | 0.0 | 0.0 |
| 子どもが高校や大学等へ進学するタイミングに合わせて（子どもと離れて移住） | 9.3 | 6.4 | 6.2 | 1.9 | 0.0 |
| 子育てが終わったら（子どもが自立したら） | 21.6 | 25.5 | 22.8 | 15.5 | 8.2 |
| 自分や配偶者の親の介護などが必要となったら | 8.8 | 8.2 | 12.0 | 5.8 | 8.2 |
| 自分や配偶者の親の介護などが不要になったら | 7.5 | 8.2 | 7.5 | 21.3 | 14.8 |
| 配偶者との離・死別など家族構成に変化があったら | 7.5 | 10.9 | 11.2 | 17.4 | 23.0 |
| その他 | 1.8 | 1.5 | 1.7 | 1.9 | 1.6 |
| 具体的な時期は考えていない | 33.0 | 28.5 | 34.4 | 35.5 | 39.3 |



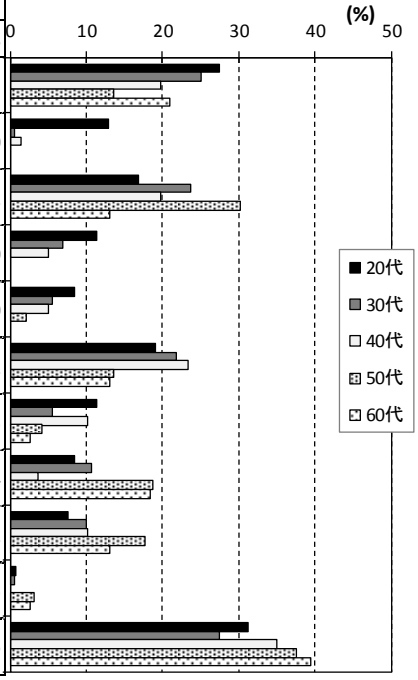
| | 地域ブロック別 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 関西 | 中国 | 九州 |
| 全体(N) | 59 | 44 | 481 | 92 | 161 | 40 | 74 |
| 条件が整えばすぐにでも | 13.6 | 29.5 | 21.0 | 19.6 | 16.1 | 10.0 | 20.3 |
| 自分が今通っている大学等を卒業したら | 0.0 | 4.5 | 2.7 | 3.3 | 5.6 | 7.5 | 1.4 |
| 自分又は配偶者が(定年・早期)退職したら | 28.8 | 25.0 | 23.7 | 20.7 | 24.8 | 20.0 | 17.6 |
| 子どもが小・中学校へ進学するタイミングに合わせて(子どもを連れて移住) | 5.1 | 4.5 | 6.2 | 4.3 | 8.1 | 7.5 | 6.8 |
| 子どもが高校や大学等へ進学するタイミングに合わせて(子どもと離れて移住) | 5.1 | 13.6 | 5.4 | 3.3 | 6.8 | 5.0 | 6.8 |
| 子育てが終わったら(子どもが自立したら) | 15.3 | 15.9 | 22.2 | 19.6 | 21.1 | 22.5 | 23.0 |
| 自分や配偶者の親の介護などが必要となったら | 8.5 | 6.8 | 9.1 | 5.4 | 8.7 | 15.0 | 10.8 |
| 自分や配偶者の親の介護などが不要になったら | 8.5 | 11.4 | 12.1 | 8.7 | 11.8 | 0.0 | 5.4 |
| 配偶者との離・死別など家族構成に変化があったら | 13.6 | 9.1 | 12.9 | 8.7 | 13.7 | 5.0 | 10.8 |
| その他 | 1.7 | 0.0 | 1.5 | 5.4 | 1.2 | 2.5 | 0.0 |
| 具体的な時期は考えていない | 52.5 | 31.8 | 30.4 | 34.8 | 31.7 | 35.0 | 33.8 |



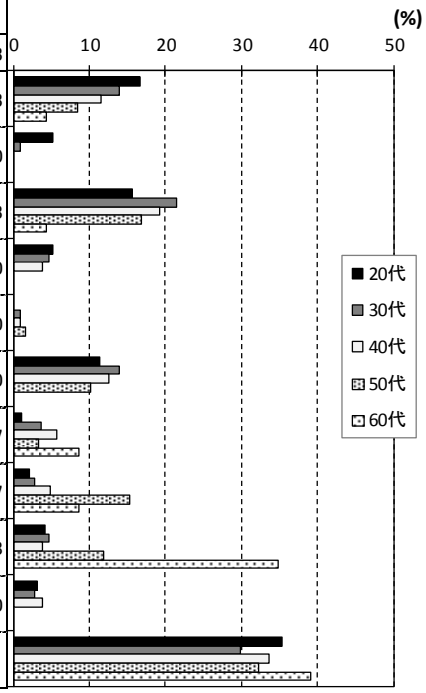

► 性別・年代別でみると、「具体的な時期は考えていない」を除くと、男性は 20 代及び 30 代で、女性は 20 代で、「条件が整えばすぐにでも」の割合が最も高い。

► 農山漁村地域への移住意向の程度別にみると、条件が合えば移住してもよいとする者は、「自分又は配偶者が（定年・早期）退職したら」、「子育てが終わったら」の割合が、他の移住意向の者と比べ高い。

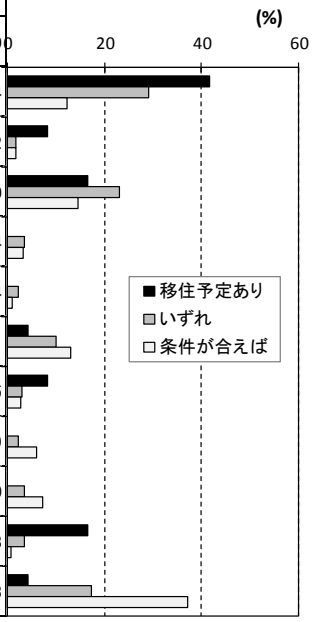
| | 男性 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 |
| 全体(N) | 131 | 160 | 137 | 96 | 38 |
| 条件が整えばすぐにでも | 27.5 | 25.0 | 19.7 | 13.5 | 21.1 |
| 自分が今通っている大学等を卒業したら | 13.0 | 0.6 | 1.5 | 0.0 | 0.0 |
| 自分又は配偶者が(定年・早期)退職したら | 16.8 | 23.8 | 19.7 | 30.2 | 13.2 |
| 子どもが小・中学校へ進学するタイミングに合わせて(子どもを連れて移住) | 11.5 | 6.9 | 5.1 | 0.0 | 0.0 |
| 子どもが高校や大学等へ進学するタイミングに合わせて(子どもと離れて移住) | 8.4 | 5.6 | 5.1 | 2.1 | 0.0 |
| 子育てが終わったら(子どもが自立したら) | 19.1 | 21.9 | 23.4 | 13.5 | 13.2 |
| 自分や配偶者の親の介護などが必要となったら | 11.5 | 5.6 | 10.2 | 4.2 | 2.6 |
| 自分や配偶者の親の介護などが不要になったら | 8.4 | 10.6 | 3.6 | 18.8 | 18.4 |
| 配偶者との離・死別など家族構成に変化があったら | 7.6 | 10.0 | 10.2 | 17.7 | 13.2 |
| その他 | 0.8 | 0.6 | 0.0 | 3.1 | 2.6 |
| 具体的な時期は考えていない | 31.3 | 27.5 | 35.0 | 37.5 | 39.5 |



| | 女性 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 |
| 全体(N) | 96 | 107 | 104 | 59 | 23 |
| 条件が整えばすぐにでも | 16.7 | 14.0 | 11.5 | 8.5 | 4.3 |
| 自分が今通っている大学等を卒業したら | 5.2 | 0.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 自分又は配偶者が(定年・早期)退職したら | 15.6 | 21.5 | 19.2 | 16.9 | 4.3 |
| 子どもが小・中学校へ進学するタイミングに合わせて(子どもを連れて移住) | 5.2 | 4.7 | 3.8 | 0.0 | 0.0 |
| 子どもが高校や大学等へ進学するタイミングに合わせて(子どもと離れて移住) | 0.0 | 0.9 | 1.0 | 1.7 | 0.0 |
| 子育てが終わったら(子どもが自立したら) | 11.5 | 14.0 | 12.5 | 10.2 | 0.0 |
| 自分や配偶者の親の介護などが必要となったら | 1.0 | 3.7 | 5.8 | 3.4 | 8.7 |
| 自分や配偶者の親の介護などが不要になったら | 2.1 | 2.8 | 4.8 | 15.3 | 8.7 |
| 配偶者との離・死別など家族構成に変化があったら | 4.2 | 4.7 | 3.8 | 11.9 | 34.8 |
| その他 | 3.1 | 2.8 | 3.8 | 0.0 | 0.0 |
| 具体的な時期は考えていない | 35.4 | 29.9 | 33.7 | 32.2 | 39.1 |




| | 農山漁村地域への移住意向 | | |
|---|---|---|---|
| | 移住予定あり | いずれ | 条件が合えば |
| 全体(N) | 24 | 168 | 759 |
| 条件が整えばすぐにでも | 41.7 | 34.5 | 15.4 |
| 自分が今通っている大学等を卒業したら | 12.5 | 2.4 | 3.2 |
| 自分又は配偶者が(定年・早期)退職したら | 25.0 | 29.2 | 22.0 |
| 子どもが小・中学校へ進学するタイミングに合わせて(子どもを連れて移住) | 4.2 | 10.7 | 5.4 |
| 子どもが高校や大学等へ進学するタイミングに合わせて(子どもと離れて移住) | 8.3 | 7.7 | 5.4 |
| 子育てが終わったら(子どもが自立したら) | 12.5 | 22.6 | 21.1 |
| 自分や配偶者の親の介護などが必要となったら | 16.7 | 14.3 | 7.5 |
| 自分や配偶者の親の介護などが不要になったら | 4.2 | 8.9 | 10.9 |
| 配偶者との離・死別など家族構成に変化があったら | 4.2 | 8.3 | 13.0 |
| その他 | 16.7 | 3.6 | 0.8 |
| 具体的な時期は考えていない | 4.2 | 17.3 | 37.3 |

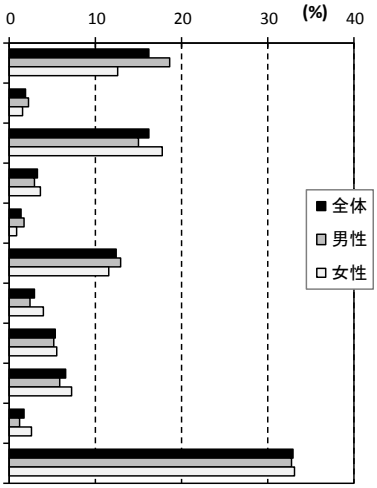



「移住予定あり」・・・農山漁村地域に移住する予定がある
「いずれ」・・・いずれは（ゆくゆくは）農山漁村地域に移住したいと思う
「条件が合えば」・・・条件が合えば農山漁村地域に移住してみてもよいと思う

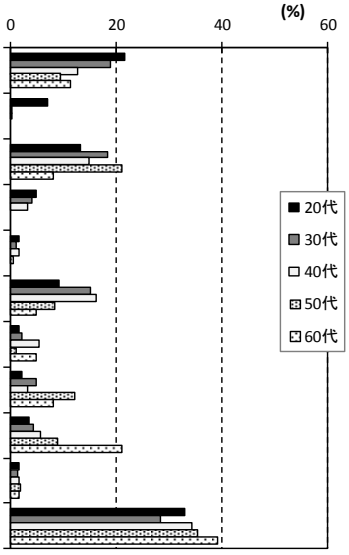
**問 11. あなたは、いつ頃（どのようなタイミングで）農山漁村地域への移住を実現したいとお考えですか。**
**２．その中で、あなたが最も希望する移住のタイミングをひとつ選んでください。（○はひとつ）**

- ► 年代別でみると、「具体的な時期は考えていない」を除くと、20 及び 30 代では、「条件が整えばすぐにでも」、50 代では、「自分又は配偶者が退職したら」、40 代では、「子育てが終わったら」、60 代では、「配偶者との離・死別など家族構成に変化があったら」の割合が最も高い。
- ► 地域ブロック別でみると、東北では、「条件が整えばすぐにでも」の回答が 27.3%あり、他の地域ブロックと比べ割合が高い。
- ► 性別・年代別でみると、男性は 20 代、30 代及び 60 代で、女性は 20 代で、「条件が整えばすぐにでも」の割合が高い。また、50 代男性と 30 代～50 代女性では、「自分又は配偶者が退職したら」が高く、60 代女性では「配偶者との離・死別など家族構成に変化があったら」が 34.8%と最も割合が高い。
- ► 農山漁村地域への移住意向の程度別にみると、条件が合えば移住してもよいとする者は、「自分又は配偶者が退職したら」、「子育てが終わったら」の割合が高い。

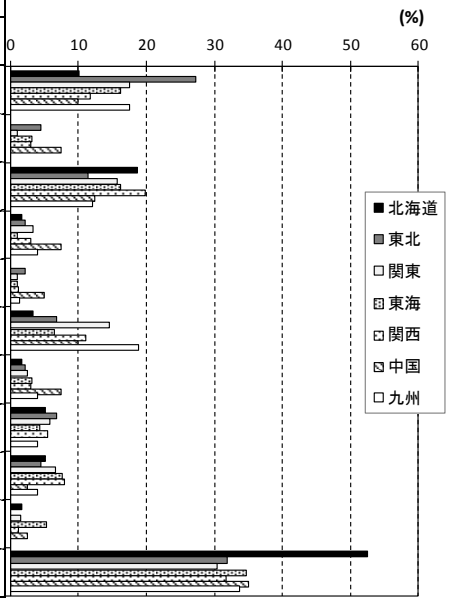
| | 全体 | 男性 | 女性 |
|---|---|---|---|
| 全体(N) | 951 | 562 | 389 |
| 条件が整えばすぐにでも | 16.1 | 18.5 | 12.6 |
| 自分が今通っている大学等を卒業したら | 1.9 | 2.1 | 1.5 |
| 自分又は配偶者が（定年・早期）退職したら | 16.1 | 14.9 | 17.7 |
| 子どもが小・中学校へ進学するタイミングに合わせて（子どもを連れて移住） | 3.2 | 2.8 | 3.6 |
| 子どもが高校や大学等へ進学するタイミングに合わせて（子どもと離れて移住） | 1.3 | 1.6 | 0.8 |
| 子育てが終わったら（子どもが自立したら） | 12.3 | 12.8 | 11.6 |
| 自分や配偶者の親の介護などが必要となったら | 2.9 | 2.3 | 3.9 |
| 自分や配偶者の親の介護などが不要になったら | 5.3 | 5.2 | 5.4 |
| 配偶者との離・死別など家族構成に変化があったら | 6.4 | 5.9 | 7.2 |
| その他 | 1.7 | 1.1 | 2.6 |
| 具体的な時期は考えていない | 32.9 | 32.7 | 33.2 |



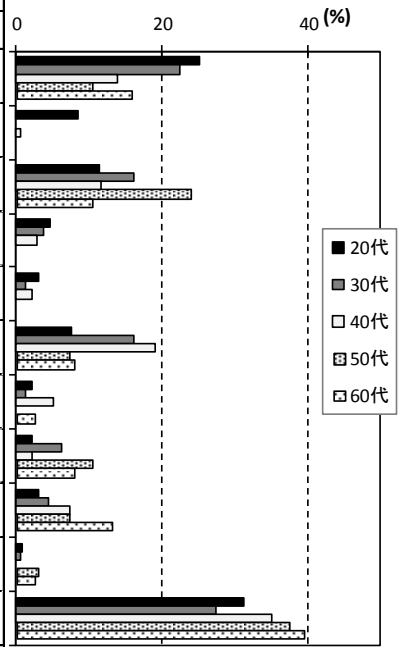

| | 年代別 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 |
| 全体(N) | 227 | 267 | 241 | 155 | 61 |
| 条件が整えばすぐにでも | 21.6 | 19.1 | 12.9 | 9.7 | 11.5 |
| 自分が今通っている大学等を卒業したら | 7.0 | 0.4 | 0.4 | 0.0 | 0.0 |
| 自分又は配偶者が（定年・早期）退職したら | 13.2 | 18.4 | 14.9 | 21.3 | 8.2 |
| 子どもが小・中学校へ進学するタイミングに合わせて（子どもを連れて移住） | 4.8 | 4.1 | 3.3 | 0.0 | 0.0 |
| 子どもが高校や大学等へ進学するタイミングに合わせて（子どもと離れて移住） | 1.8 | 1.1 | 1.7 | 0.6 | 0.0 |
| 子育てが終わったら（子どもが自立したら） | 9.3 | 15.4 | 16.2 | 8.4 | 4.9 |
| 自分や配偶者の親の介護などが必要となったら | 1.8 | 2.2 | 5.4 | 1.3 | 4.9 |
| 自分や配偶者の親の介護などが不要になったら | 2.2 | 4.9 | 3.3 | 12.3 | 8.2 |
| 配偶者との離・死別など家族構成に変化があったら | 3.5 | 4.5 | 5.8 | 9.0 | 21.3 |
| その他 | 1.8 | 1.5 | 1.7 | 1.9 | 1.6 |
| 具体的な時期は考えていない | 33.0 | 28.5 | 34.4 | 35.5 | 39.3 |



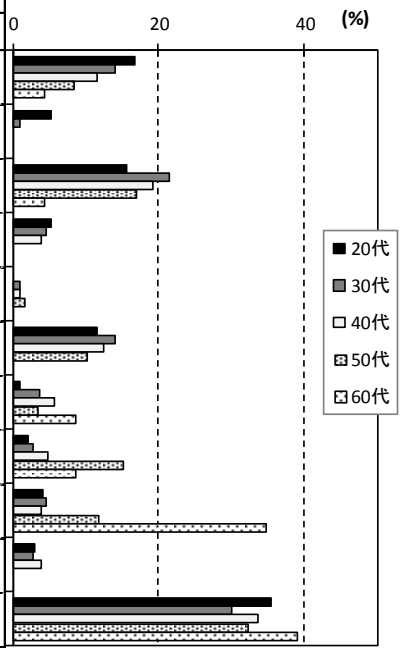
| | 地域ブロック別 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 関西 | 中国 | 九州 |
| 全体(N) | 59 | 44 | 481 | 92 | 161 | 40 | 74 |
| 条件が整えばすぐにでも | 10.2 | 27.3 | 17.5 | 16.3 | 11.8 | 10.0 | 17.6 |
| 自分が今通っている大学等を卒業したら | 0.0 | 4.5 | 1.0 | 3.3 | 3.1 | 7.5 | 0.0 |
| 自分又は配偶者が（定年・早期）退職したら | 18.6 | 11.4 | 15.8 | 16.3 | 19.9 | 12.5 | 12.2 |
| 子どもが小・中学校へ進学するタイミングに合わせて（子どもを連れて移住） | 1.7 | 2.3 | 3.3 | 1.1 | 3.1 | 7.5 | 4.1 |
| 子どもが高校や大学等へ進学するタイミングに合わせて（子どもと離れて移住） | 0.0 | 2.3 | 1.0 | 1.1 | 1.2 | 5.0 | 1.4 |
| 子育てが終わったら（子どもが自立したら） | 3.4 | 6.8 | 14.6 | 6.5 | 11.2 | 10.0 | 18.9 |
| 自分や配偶者の親の介護などが必要となったら | 1.7 | 2.3 | 2.5 | 3.3 | 3.1 | 7.5 | 4.1 |
| 自分や配偶者の親の介護などが不要になったら | 5.1 | 6.8 | 5.8 | 4.3 | 5.6 | 0.0 | 4.1 |
| 配偶者との離・死別など家族構成に変化があったら | 5.1 | 4.5 | 6.7 | 7.6 | 8.1 | 2.5 | 4.1 |
| その他 | 1.7 | 0.0 | 1.5 | 5.4 | 1.2 | 2.5 | 0.0 |
| 具体的な時期は考えていない | 52.5 | 31.8 | 30.4 | 34.8 | 31.7 | 35.0 | 33.8 |



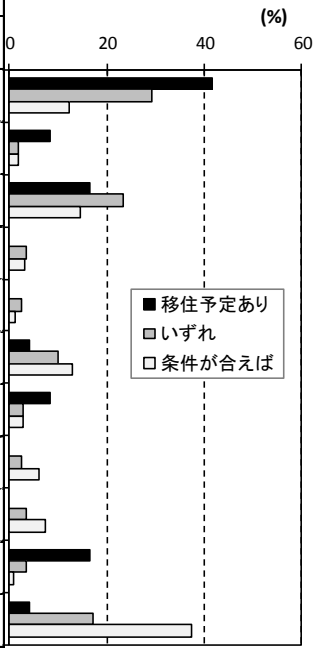

| | 男性 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 |
| 全体(N) | 131 | 160 | 137 | 96 | 38 |
| 条件が整えばすぐにでも | 25.2 | 22.5 | 13.9 | 10.4 | 15.8 |
| 自分が今通っている大学等を卒業したら | 8.4 | 0.0 | 0.7 | 0.0 | 0.0 |
| 自分又は配偶者が（定年・早期）退職したら | 11.5 | 16.3 | 11.7 | 24.0 | 10.5 |
| 子どもが小・中学校へ進学するタイミングに合わせて（子どもを連れて移住） | 4.6 | 3.8 | 2.9 | 0.0 | 0.0 |
| 子どもが高校や大学等へ進学するタイミングに合わせて（子どもと離れて移住） | 3.1 | 1.3 | 2.2 | 0.0 | 0.0 |
| 子育てが終わったら（子どもが自立したら） | 7.6 | 16.3 | 19.0 | 7.3 | 7.9 |
| 自分や配偶者の親の介護などが必要となったら | 2.3 | 1.3 | 5.1 | 0.0 | 2.6 |
| 自分や配偶者の親の介護などが不要になったら | 2.3 | 6.3 | 2.2 | 10.4 | 7.9 |
| 配偶者との離・死別など家族構成に変化があったら | 3.1 | 4.4 | 7.3 | 7.3 | 13.2 |
| その他 | 0.8 | 0.6 | 0.0 | 3.1 | 2.6 |
| 具体的な時期は考えていない | 31.3 | 27.5 | 35.0 | 37.5 | 39.5 |



| | 女性 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 |
| 全体(N) | 96 | 107 | 104 | 59 | 23 |
| 条件が整えばすぐにでも | 16.7 | 14.0 | 11.5 | 8.5 | 4.3 |
| 自分が今通っている大学等を卒業したら | 5.2 | 0.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 自分又は配偶者が(定年・早期)退職したら | 15.6 | 21.5 | 19.2 | 16.9 | 4.3 |
| 子どもが小・中学校へ進学するタイミングに合わせて(子どもを連れて移住) | 5.2 | 4.7 | 3.8 | 0.0 | 0.0 |
| 子どもが高校や大学等へ進学するタイミングに合わせて(子どもと離れて移住) | 0.0 | 0.9 | 1.0 | 1.7 | 0.0 |
| 子育てが終わったら(子どもが自立したら) | 11.5 | 14.0 | 12.5 | 10.2 | 0.0 |
| 自分や配偶者の親の介護などが必要となったら | 1.0 | 3.7 | 5.8 | 3.4 | 8.7 |
| 自分や配偶者の親の介護などが不要になったら | 2.1 | 2.8 | 4.8 | 15.3 | 8.7 |
| 配偶者との離・死別など家族構成に変化があったら | 4.2 | 4.7 | 3.8 | 11.9 | 34.8 |
| その他 | 3.1 | 2.8 | 3.8 | 0.0 | 0.0 |
| 具体的な時期は考えていない | 35.4 | 29.9 | 33.7 | 32.2 | 39.1 |



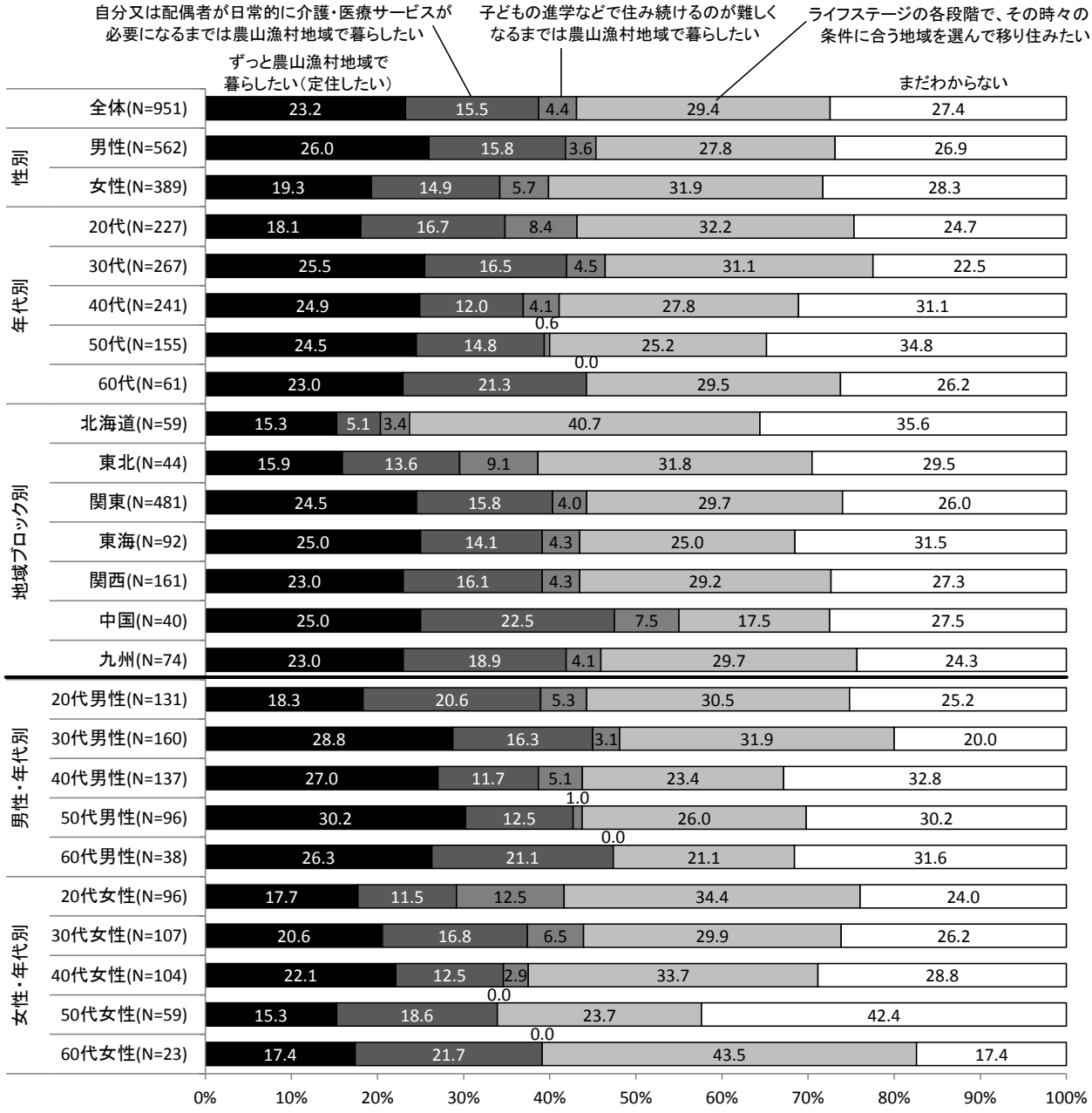

| | 農山漁村地域への移住意向 | | |
|---|---|---|---|
| | 移住予定あり | いずれ | 条件が合えば |
| 全体(N) | 24 | 168 | 759 |
| 条件が整えばすぐにでも | 41.7 | 29.2 | 12.4 |
| 自分が今通っている大学等を卒業したら | 8.3 | 1.8 | 1.7 |
| 自分又は配偶者が(定年・早期)退職したら | 16.7 | 23.2 | 14.5 |
| 子どもが小・中学校へ進学するタイミングに合わせて(子どもを連れて移住) | 0.0 | 3.6 | 3.2 |
| 子どもが高校や大学等へ進学するタイミングに合わせて(子どもと離れて移住) | 0.0 | 2.4 | 1.1 |
| 子育てが終わったら(子どもが自立したら) | 4.2 | 10.1 | 13.0 |
| 自分や配偶者の親の介護などが必要となったら | 8.3 | 3.0 | 2.8 |
| 自分や配偶者の親の介護などが不要になったら | 0.0 | 2.4 | 6.1 |
| 配偶者との離・死別など家族構成に変化があったら | 0.0 | 3.6 | 7.2 |
| その他 | 16.7 | 3.6 | 0.8 |
| 具体的な時期は考えていない | 4.2 | 17.3 | 37.3 |




「移住予定あり」・・・農山漁村地域に移住する予定がある
「いずれ」・・・いずれは（ゆくゆくは）農山漁村地域に移住したいと思う
「条件が合えば」・・・条件が合えば農山漁村地域に移住してみてもよいと思う

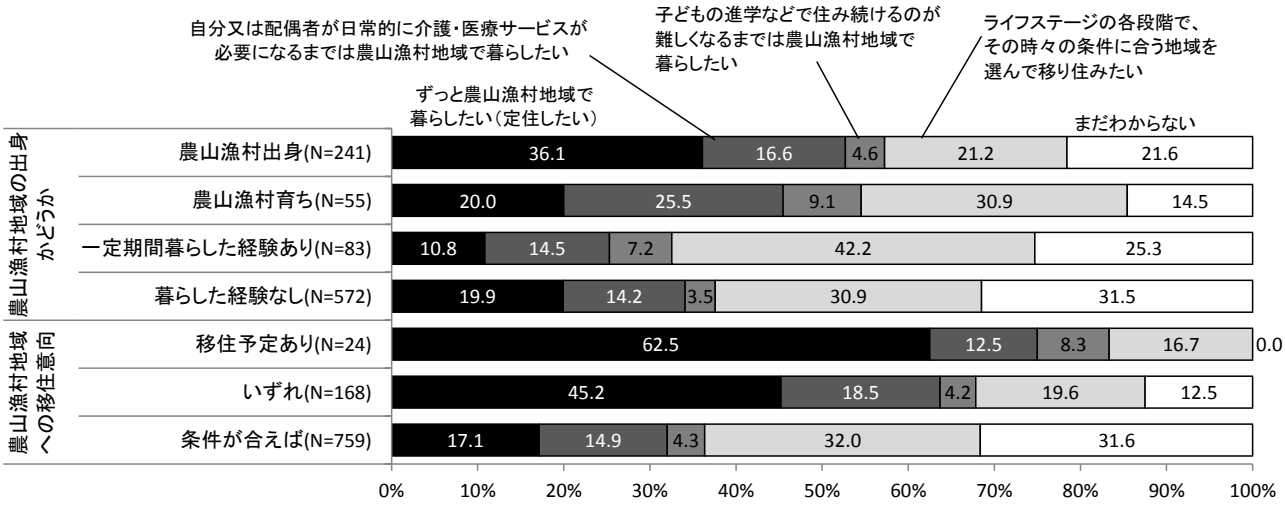
**問12. あなたは、農山漁村地域に移住した場合、移住先ではどのくらい住む予定ですか。（○はひとつ）**

- ► 全体では、「ライフステージの各段階で、その時々の条件に合う地域を選んで移り住みたい」が29.4%で最も割合が高い。次いで、「まだわからない」（27.4%）、「ずっと農山漁村地域で暮らしたい（定住したい）」（23.2%）と続いている。
- ► 男女別でみると、男性の方が、「ずっと農山漁村地域で暮らしたい（定住したい）」の割合が高い。
- ► 地域ブロック別でみると、北海道では「ライフステージの各段階で、その時々の条件に合う地域を選んで移り住みたい」が 40.7%であり、他のブロックと比べ割合が高い。また、北海道と東北では、「ずっと農山漁村地域で暮らしたい（定住したい）」と回答する割合が低い。
- ► 性別・年代別でみると、男性は全ての年代で、「ずっと農山漁村地域で暮らしたい（定住したい）」の割合が女性より高い。



► 農山漁村地域の出身かどうかでみると、「ずっと農山漁村地域で暮らしたい（定住したい）」は、農山漁村出身者が 36.1%で、最も割合が高い。また、一定期間暮らした経験ありの者は、「ライフステージの各段階で、その時々の条件に合う地域を選んで移り住みたい」が 42.2%で、最も割合が高い。

► 農山漁村地域への移住意向の程度別にみると、条件が合えば移住してもよいとする者は、「ライフステージの各段階で、その時々の条件に合う地域を選んで移り住みたい」が 32.0%で最も割合が高い。

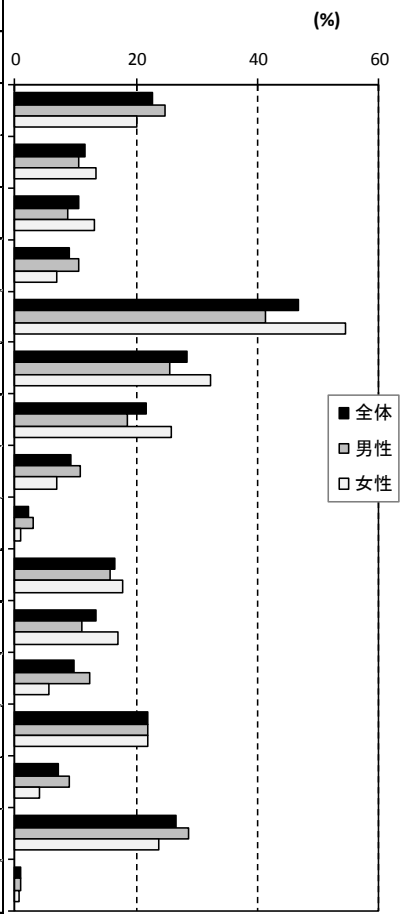



「農山漁村出身」・・・農山漁村地域の出身
「農山漁村育ち」・・・農山漁村地域で生まれてはいないが、幼少期はおおむね農山漁村地域で育った
「一定期間暮らした経験あり」・・・生まれ育ちは農山漁村地域ではないが、一定期間農山漁村地域で暮らした経験がある
「暮らした経験なし」・・・農山漁村地域の出身ではなく、暮らした経験もない
「移住予定あり」・・・農山漁村地域に移住する予定がある
「いずれ」・・・いずれは（ゆくゆくは）農山漁村地域に移住したいと思う
「条件が合えば」・・・条件が合えば農山漁村地域に移住してみてもよいと思う

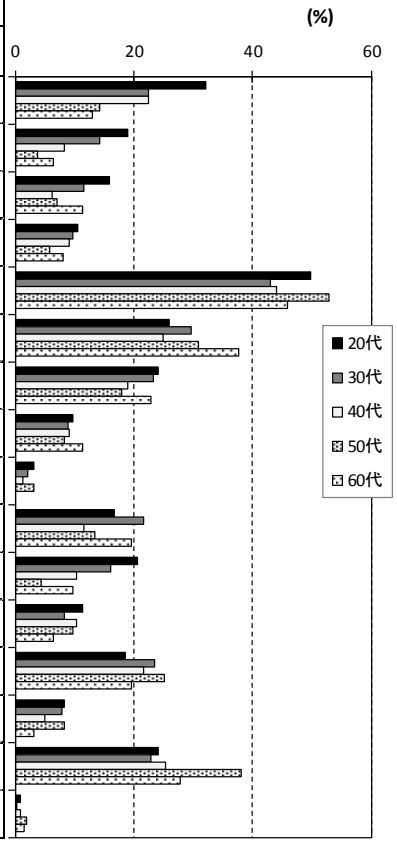
**問13. あなたが農山漁村地域に移住したいと思う理由は何ですか。（○はいくつでも）**

- ► 全体では、「気候や自然環境に恵まれたところで暮らしたいから」が 46.7%であり最も高く、次いで、「環境にやさしい暮らし（ロハス）やゆっくりとした暮らし（スローライフ）、自給自足の生活を送りたいから」が 28.3%、「都会の喧騒を離れて静かなところで暮らしたいから」が 26.6%と続いている。
- ► 男女別でみると、「ふるさと（出身地）で暮らしたいから」は男性の方が、「安くて新鮮で安心・安全な食料が手に入るから」は女性の方が高い割合となっている。
- ► 年代別でみると、50 代では、「気候や自然環境に恵まれたところで暮らしたいから」が 5 割以上、「都会の喧騒を離れて静かなところで暮らしたいから」は 4 割近くあり、他の年代と比べ割合が高い。また、若い世代ほど「ふるさと（出身地）で暮らしたいから」の割合が高い。
- ► 性別・年代別でみると、男女ともに全ての年代で、「気候や自然環境に恵まれたところで暮らしたいから」の割合が最も高い。次いで、40 代及び 50 代男性では、「都会の喧騒を離れて静かなところで暮らしたいから」が、30 代、50 代及び 60 代女性では、「環境にやさしい暮らし（ロハス）やゆっくりとした暮らし（スローライフ）、自給自足の生活を送りたいから」の割合が高い。
- ► 農山漁村地域への移住意向の程度別でみると、移住予定がある者では、「家族と一緒に暮らしたいから」の割合が最も高く、次いで「ふるさと（出身地）で暮らしたいから」が続いている。また、条件が合えば移住してもよいとする者は、「気候や自然環境に恵まれたところで暮らしたいから」の割合が最も高い。

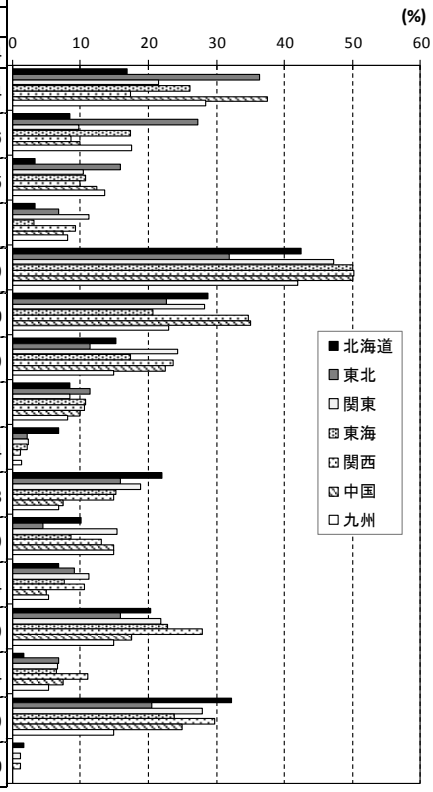
| | 全体 | 男性 | 女性 |
|---|---|---|---|
| 全体(N) | 951 | 562 | 389 |
| ふるさと(出身地)で暮らしたいから | 22.8 | 24.7 | 20.1 |
| 家族(配偶者、子ども、親)と一緒に暮らしたいから(一緒に暮らす必要があるから) | 11.7 | 10.5 | 13.4 |
| 家族や親せきが近くにいるところで暮らしたいから | 10.5 | 8.7 | 13.1 |
| ふるさとではないが、なじみのある地域で暮らしたいから | 9.0 | 10.5 | 6.9 |
| 気候や自然環境に恵まれたところで暮らしたいから | 46.7 | 41.3 | 54.5 |
| 環境にやさしい暮らし(ロハス)やゆっくりとした暮らし(スローライフ)、自給自足の生活を送りたいから | 28.3 | 25.4 | 32.4 |
| 安くて新鮮で安心・安全な食料が手に入るから | 21.6 | 18.7 | 25.7 |
| 農作業など都市地域ではできない仕事がしたいから | 9.3 | 10.9 | 6.9 |
| 自分の資格や知識、スキルを活かした仕事や活動がしたいから | 2.2 | 3.0 | 1.0 |
| 都市地域より安くて広い土地や住宅が手に入るから | 16.5 | 15.7 | 17.7 |
| 豊かな自然に恵まれた良好な環境の中で子どもを育てたいから | 13.5 | 11.0 | 17.0 |
| アウトドアスポーツ(サーフィン・ダイビング・トレッキング・スキー等)中心の暮らしがしたいから | 9.7 | 12.5 | 5.7 |
| 働き方や暮らし方を変えたいから | 21.9 | 21.9 | 21.9 |
| 新しい土地で新しい人間関係を築きたいから | 7.0 | 9.1 | 4.1 |
| 都会の喧騒を離れて静かなところで暮らしたいから | 26.6 | 28.6 | 23.7 |
| その他 | 0.9 | 1.1 | 0.8 |



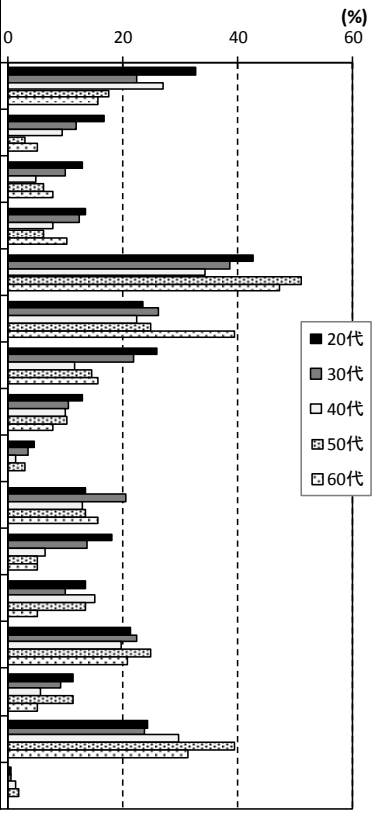
| | 年代別 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 |
| 全体(N) | 227 | 267 | 241 | 155 | 61 |
| ふるさと(出身地)で暮らしたいから | 32.2 | 22.5 | 22.4 | 14.2 | 13.1 |
| 家族(配偶者、子ども、親)と一緒に暮らしたいから(一緒に暮らす必要があるから) | 18.9 | 14.2 | 8.3 | 3.9 | 6.6 |
| 家族や親せきが近くにいるところで暮らしたいから | 15.9 | 11.6 | 6.2 | 7.1 | 11.5 |
| ふるさとではないが、なじみのある地域で暮らしたいから | 10.6 | 9.7 | 9.1 | 5.8 | 8.2 |
| 気候や自然環境に恵まれたところで暮らしたいから | 49.8 | 43.1 | 44.0 | 52.9 | 45.9 |
| 環境にやさしい暮らし(ロハス)やゆっくりとした暮らし(スローライフ)、自給自足の生活を送りたいから | 26.0 | 29.6 | 24.9 | 31.0 | 37.7 |
| 安くて新鮮で安心・安全な食料が手に入るから | 24.2 | 23.2 | 19.1 | 18.1 | 23.0 |
| 農作業など都市地域ではできない仕事がしたいから | 9.7 | 9.0 | 9.1 | 8.4 | 11.5 |
| 自分の資格や知識、スキルを活かした仕事や活動がしたいから | 3.1 | 2.2 | 1.2 | 3.2 | 0.0 |
| 都市地域より安くて広い土地や住宅が手に入るから | 16.7 | 21.7 | 11.6 | 13.5 | 19.7 |
| 豊かな自然に恵まれた良好な環境の中で子どもを育てたいから | 20.7 | 16.1 | 10.4 | 4.5 | 9.8 |
| アウトドアスポーツ(サーフィン・ダイビング・トレッキング・スキー等)中心の暮らしがしたいから | 11.5 | 8.2 | 10.4 | 9.7 | 6.6 |
| 働き方や暮らし方を変えたいから | 18.5 | 23.6 | 21.6 | 25.2 | 19.7 |
| 新しい土地で新しい人間関係を築きたいから | 8.4 | 7.9 | 5.0 | 8.4 | 3.3 |
| 都会の喧騒を離れて静かなところで暮らしたいから | 24.2 | 22.8 | 25.3 | 38.1 | 27.9 |
| その他 | 0.9 | 0.4 | 0.8 | 1.9 | 1.6 |



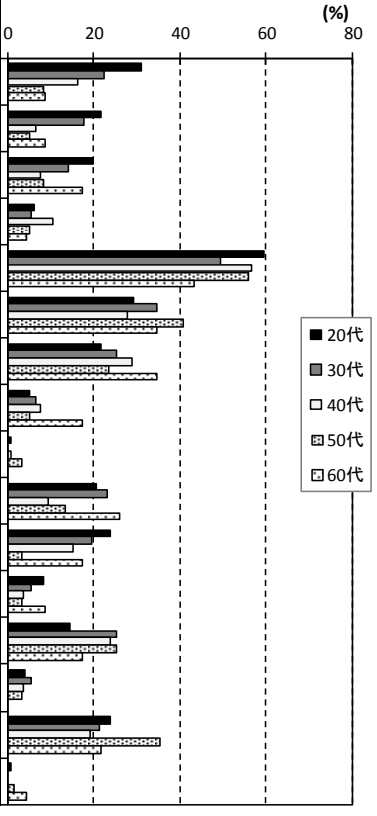

| | 地域ブロック別 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 関西 | 中国 | 九州 |
| 全体(N) | 59 | 44 | 481 | 92 | 161 | 40 | 74 |
| ふるさと(出身地)で暮らしたいから | 16.9 | 36.4 | 21.4 | 26.1 | 17.4 | 37.5 | 28.4 |
| 家族(配偶者、子ども、親)と一緒に暮らしたいから(一緒に暮らす必要があるから) | 8.5 | 27.3 | 9.8 | 17.4 | 8.7 | 10.0 | 17.6 |
| 家族や親せきが近くにいるところで暮らしたいから | 3.4 | 15.9 | 10.4 | 10.9 | 9.9 | 12.5 | 13.5 |
| ふるさとではないが、なじみのある地域で暮らしたいから | 3.4 | 6.8 | 11.2 | 3.3 | 9.3 | 7.5 | 8.1 |
| 気候や自然環境に恵まれたところで暮らしたいから | 42.4 | 31.8 | 47.2 | 50.0 | 50.3 | 50.0 | 41.9 |
| 環境にやさしい暮らし(ロハス)やゆっくりとした暮らし(スローライフ)、自給自足の生活を送りたいから | 28.8 | 22.7 | 28.3 | 20.7 | 34.8 | 35.0 | 23.0 |
| 安くて新鮮で安心・安全な食料が手に入るから | 15.3 | 11.4 | 24.3 | 17.4 | 23.6 | 22.5 | 14.9 |
| 農作業など都市地域ではできない仕事がしたいから | 8.5 | 11.4 | 8.5 | 10.9 | 10.6 | 10.0 | 8.1 |
| 自分の資格や知識、スキルを活かした仕事や活動がしたいから | 6.8 | 2.3 | 2.3 | 2.2 | 1.2 | 0.0 | 1.4 |
| 都市地域より安くて広い土地や住宅が手に入るから | 22.0 | 15.9 | 18.9 | 15.2 | 14.9 | 7.5 | 6.8 |
| 豊かな自然に恵まれた良好な環境の中で子どもを育てたいから | 10.2 | 4.5 | 15.4 | 8.7 | 13.0 | 15.0 | 14.9 |
| アウトドアスポーツ(サーフィン・ダイビング・トレッキング・スキー等)中心の暮らしがしたいから | 6.8 | 9.1 | 11.2 | 7.6 | 10.6 | 5.0 | 5.4 |
| 働き方や暮らし方を変えたいから | 20.3 | 15.9 | 21.8 | 22.8 | 28.0 | 17.5 | 14.9 |
| 新しい土地で新しい人間関係を築きたいから | 1.7 | 6.8 | 6.7 | 6.5 | 11.2 | 7.5 | 5.4 |
| 都会の喧騒を離れて静かなところで暮らしたいから | 32.2 | 20.5 | 27.9 | 23.9 | 29.8 | 25.0 | 14.9 |
| その他 | 1.7 | 0.0 | 1.2 | 0.0 | 1.2 | 0.0 | 0.0 |



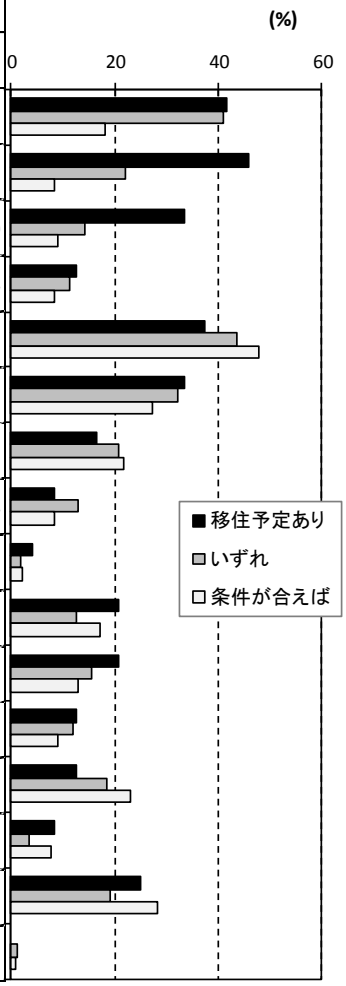
| | 男性 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 |
| 全体(N) | 131 | 160 | 137 | 96 | 38 |
| ふるさと(出身地)で暮らしたいから | 32.8 | 22.5 | 27.0 | 17.7 | 15.8 |
| 家族(配偶者、子ども、親)と一緒に暮らしたいから(一緒に暮らす必要があるから) | 16.8 | 11.9 | 9.5 | 3.1 | 5.3 |
| 家族や親せきが近くにいるところで暮らしたいから | 13.0 | 10.0 | 5.1 | 6.3 | 7.9 |
| ふるさとではないが、なじみのある地域で暮らしたいから | 13.7 | 12.5 | 8.0 | 6.3 | 10.5 |
| 気候や自然環境に恵まれたところで暮らしたいから | 42.7 | 38.8 | 34.3 | 51.0 | 47.4 |
| 環境にやさしい暮らし(ロハス)やゆっくりとした暮らし(スローライフ)、自給自足の生活を送りたいから | 23.7 | 26.3 | 22.6 | 25.0 | 39.5 |
| 安くて新鮮で安心・安全な食料が手に入るから | 26.0 | 21.9 | 11.7 | 14.6 | 15.8 |
| 農作業など都市地域ではできない仕事がしたいから | 13.0 | 10.6 | 10.2 | 10.4 | 7.9 |
| 自分の資格や知識、スキルを活かした仕事や活動がしたいから | 4.6 | 3.8 | 1.5 | 3.1 | 0.0 |
| 都市地域より安くて広い土地や住宅が手に入るから | 13.7 | 20.6 | 13.1 | 13.5 | 15.8 |
| 豊かな自然に恵まれた良好な環境の中で子どもを育てたいから | 18.3 | 13.8 | 6.6 | 5.2 | 5.3 |
| アウトドアスポーツ(サーフィン・ダイビング・トレッキング・スキー等)中心の暮らしがしたいから | 13.7 | 10.0 | 15.3 | 13.5 | 5.3 |
| 働き方や暮らし方を変えたいから | 21.4 | 22.5 | 19.7 | 25.0 | 21.1 |
| 新しい土地で新しい人間関係を築きたいから | 11.5 | 9.4 | 5.8 | 11.5 | 5.3 |
| 都会の喧騒を離れて静かなところで暮らしたいから | 24.4 | 23.8 | 29.9 | 39.6 | 31.6 |
| その他 | 0.8 | 0.6 | 1.5 | 2.1 | 0.0 |




| | 女性 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 |
| 全体(N) | 96 | 107 | 104 | 59 | 23 |
| ふるさと(出身地)で暮らしたいから | 31.3 | 22.4 | 16.3 | 8.5 | 8.7 |
| 家族(配偶者、子ども、親)と一緒に暮らしたいから(一緒に暮らす必要があるから) | 21.9 | 17.8 | 6.7 | 5.1 | 8.7 |
| 家族や親せきが近くにいるところで暮らしたいから | 19.8 | 14.0 | 7.7 | 8.5 | 17.4 |
| ふるさとではないが、なじみのある地域で暮らしたいから | 6.3 | 5.6 | 10.6 | 5.1 | 4.3 |
| 気候や自然環境に恵まれたところで暮らしたいから | 59.4 | 49.5 | 56.7 | 55.9 | 43.5 |
| 環境にやさしい暮らし(ロハス)やゆっくりとした暮らし(スローライフ)、自給自足の生活を送りたいから | 29.2 | 34.6 | 27.9 | 40.7 | 34.8 |
| 安くて新鮮で安心・安全な食料が手に入るから | 21.9 | 25.2 | 28.8 | 23.7 | 34.8 |
| 農作業など都市地域ではできない仕事がしたいから | 5.2 | 6.5 | 7.7 | 5.1 | 17.4 |
| 自分の資格や知識、スキルを活かした仕事や活動がしたいから | 1.0 | 0.0 | 1.0 | 3.4 | 0.0 |
| 都市地域より安くて広い土地や住宅が手に入るから | 20.8 | 23.4 | 9.6 | 13.6 | 26.1 |
| 豊かな自然に恵まれた良好な環境の中で子どもを育てたいから | 24.0 | 19.6 | 15.4 | 3.4 | 17.4 |
| アウトドアスポーツ(サーフィン・ダイビング・トレッキング・スキー等)中心の暮らしがしたいから | 8.3 | 5.6 | 3.8 | 3.4 | 8.7 |
| 働き方や暮らし方を変えたいから | 14.6 | 25.2 | 24.0 | 25.4 | 17.4 |
| 新しい土地で新しい人間関係を築きたいから | 4.2 | 5.6 | 3.8 | 3.4 | 0.0 |
| 都会の喧騒を離れて静かなところで暮らしたいから | 24.0 | 21.5 | 19.2 | 35.6 | 21.7 |
| その他 | 1.0 | 0.0 | 0.0 | 1.7 | 4.3 |



| | 農山漁村地域への移住意向 | | |
|---|---|---|---|
| | 移住予定あり | いずれ | 条件が合えば |
| 全体(N) | 24 | 168 | 759 |
| ふるさと(出身地)で暮らしたいから | 41.7 | 41.1 | 18.2 |
| 家族(配偶者、子ども、親)と一緒に暮らしたいから(一緒に暮らす必要があるから) | 45.8 | 22.0 | 8.3 |
| 家族や親せきが近くにいるところで暮らしたいから | 33.3 | 14.3 | 9.0 |
| ふるさとではないが、なじみのある地域で暮らしたいから | 12.5 | 11.3 | 8.4 |
| 気候や自然環境に恵まれたところで暮らしたいから | 37.5 | 43.5 | 47.7 |
| 環境にやさしい暮らし(ロハス)やゆっくりとした暮らし(スローライフ)、自給自足の生活を送りたいから | 33.3 | 32.1 | 27.3 |
| 安くて新鮮で安心・安全な食料が手に入るから | 16.7 | 20.8 | 21.9 |
| 農作業など都市地域ではできない仕事がしたいから | 8.3 | 13.1 | 8.4 |
| 自分の資格や知識、スキルを活かした仕事や活動がしたいから | 4.2 | 1.8 | 2.2 |
| 都市地域より安くて広い土地や住宅が手に入るから | 20.8 | 12.5 | 17.3 |
| 豊かな自然に恵まれた良好な環境の中で子どもを育てたいから | 20.8 | 15.5 | 12.8 |
| アウトドアスポーツ(サーフィン・ダイビング・トレッキング・スキー等)中心の暮らしがしたいから | 12.5 | 11.9 | 9.1 |
| 働き方や暮らし方を変えたいから | 12.5 | 18.5 | 22.9 |
| 新しい土地で新しい人間関係を築きたいから | 8.3 | 3.6 | 7.8 |
| 都会の喧騒を離れて静かなところで暮らしたいから | 25.0 | 19.0 | 28.3 |
| その他 | 0.0 | 1.2 | 0.9 |



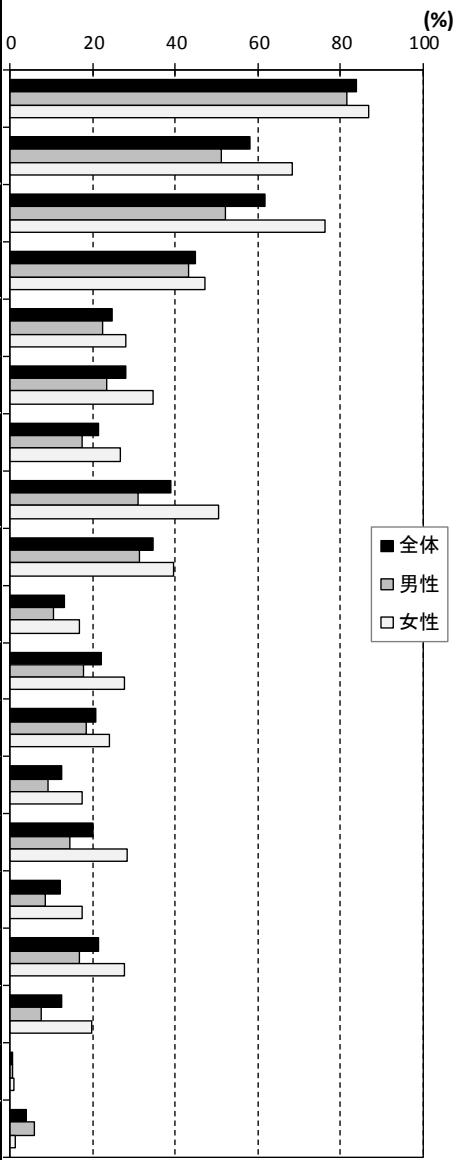

「移住予定あり」・・・農山漁村地域に移住する予定がある
「いずれ」・・・いずれは（ゆくゆくは）農山漁村地域に移住したいと思う
「条件が合えば」・・・条件が合えば農山漁村地域に移住してみてもよいと思う

**問14. あなたが農山漁村地域に移住する上で必要な条件は何ですか。**

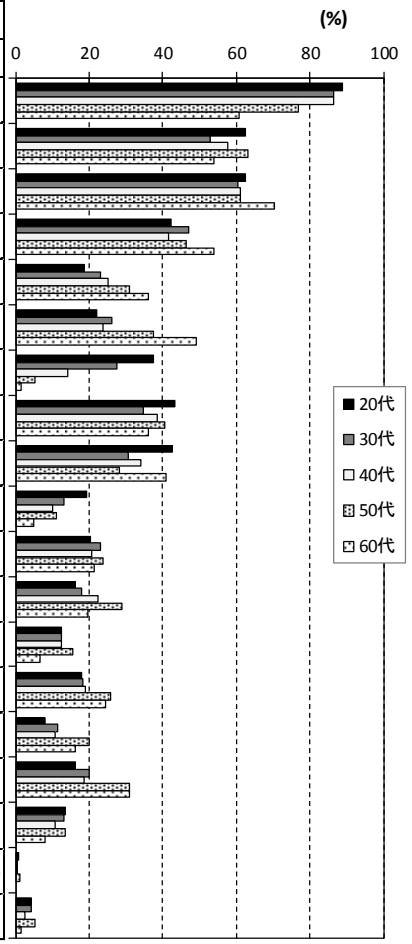
**１．農山漁村地域に移住する上で必要な条件をすべて挙げてください。（○はいくつでも）**

- ► 全体では、「生活が維持できる仕事（収入）があること」が 83.8%と最も割合が高く、次いで、「病院や診療所、介護施設など医療・福祉の環境が整っていること」が 61.8%、「買い物や娯楽などの日常生活に必要なサービスや生活関連施設があること」が 58.1%と続いている。
- ► 男女別でみると、女性では「病院や診療所、介護施設など医療・福祉の環境が整っていること」、「買い物や娯楽などの日常生活に必要なサービスや生活関連施設があること」及び「バスや鉄道など生活していく上で必要な公共交通が確保されていること」の割合が男性より高い。
- ► 性別・年代別でみると、20 代及び 30 代女性は「子育てに必要な保育・教育施設や環境が整っていること」の割合が同年代の男性と比べ高い。
- ► 農山漁村地域への移住意向の程度別でみると、条件が合えば移住してもよいとする者は、「居住に必要な家屋や土地を安く入手できること」、「バスや鉄道など生活していく上で必要な公共交通が確保されていること」、「都市部とのアクセスが確保されていること」の割合が、他の移住意向の者と比べ高い。

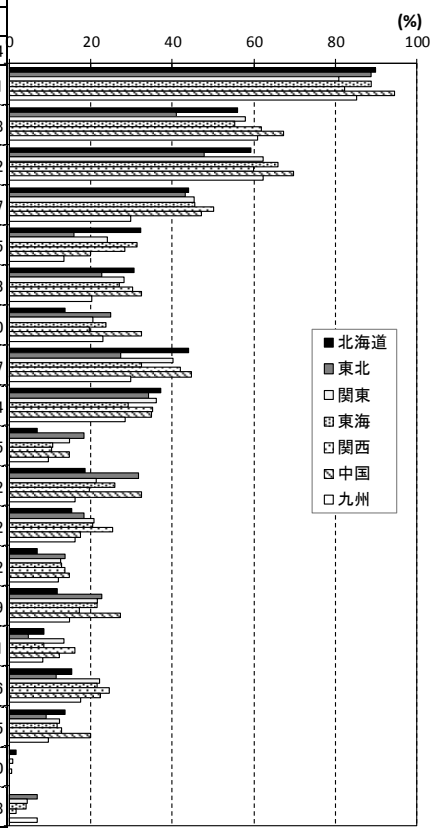
| | 全体 | 男性 | 女性 |
|---|---|---|---|
| 全体(N) | 951 | 562 | 389 |
| 生活が維持できる仕事（収入）があること | 83.8 | 81.7 | 86.9 |
| 買い物や娯楽などの日常生活に必要なサービスや生活関連施設があること | 58.1 | 51.1 | 68.4 |
| 病院や診療所、介護施設など医療・福祉の環境が整っていること | 61.8 | 52.0 | 76.1 |
| 居住に必要な家屋や土地を安く入手できること | 44.9 | 43.2 | 47.3 |
| 居住に必要な空き家や賃貸住宅の斡旋・仲介が受けられること | 24.7 | 22.4 | 28.0 |
| 大がかりな改修等をしなくてもすぐに住める家があること | 27.9 | 23.3 | 34.4 |
| 子育てに必要な保育・教育施設や環境が整っていること | 21.2 | 17.4 | 26.7 |
| バスや鉄道など生活していく上で必要な公共交通が確保されていること | 38.8 | 30.8 | 50.4 |
| 都市部とのアクセスが確保されていること | 34.7 | 31.3 | 39.6 |
| 文化イベントや趣味の場などが充実していること | 12.9 | 10.3 | 16.7 |
| 移住に必要な費用の補助や奨励金などの自治体の支援があること | 21.9 | 17.8 | 27.8 |
| 居住地の検討に必要な情報が入手できること | 20.6 | 18.3 | 23.9 |
| 何年か行き来して知り合いができたり、生活していける目途が立っていること | 12.5 | 9.1 | 17.5 |
| 移住に先立ち、色々なことを相談できるサポート体制が整っていること | 20.1 | 14.4 | 28.3 |
| 本格的に移住する前に、試しに移住体験ができるツアーや制度があること | 12.2 | 8.5 | 17.5 |
| 移住後の暮らしをサポートしてくれる相談体制が整っていること | 21.2 | 16.7 | 27.8 |
| 移住先の地域に同世代の住民がいること | 12.4 | 7.5 | 19.5 |
| その他 | 0.6 | 0.5 | 0.8 |
| 特にない | 3.8 | 5.7 | 1.0 |



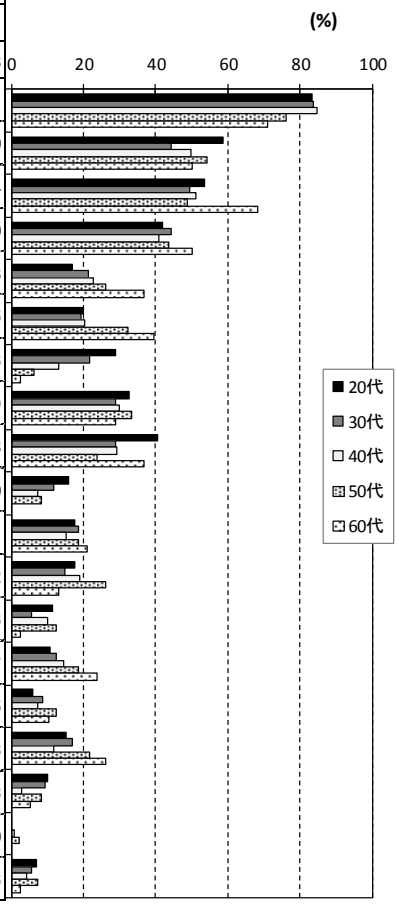
| | 年代別 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 |
| 全体(N) | 227 | 267 | 241 | 155 | 61 |
| 生活が維持できる仕事（収入）があること | 89.0 | 86.5 | 86.3 | 76.8 | 60.7 |
| 買い物や娯楽などの日常生活に必要なサービスや生活関連施設があること | 62.6 | 52.8 | 57.7 | 63.2 | 54.1 |
| 病院や診療所、介護施設など医療・福祉の環境が整っていること | 62.6 | 60.3 | 61.0 | 61.3 | 70.5 |
| 居住に必要な家屋や土地を安く入手できること | 42.3 | 47.2 | 41.5 | 46.5 | 54.1 |
| 居住に必要な空き家や賃貸住宅の斡旋・仲介が受けられること | 18.5 | 23.2 | 25.3 | 31.0 | 36.1 |
| 大がかりな改修等をしなくてもすぐに住める家があること | 22.0 | 26.2 | 23.7 | 37.4 | 49.2 |
| 子育てに必要な保育・教育施設や環境が整っていること | 37.4 | 27.7 | 14.1 | 5.2 | 1.6 |
| バスや鉄道など生活していく上で必要な公共交通が確保されていること | 43.2 | 34.8 | 38.6 | 40.6 | 36.1 |
| 都市部とのアクセスが確保されていること | 42.7 | 30.7 | 34.0 | 28.4 | 41.0 |
| 文化イベントや趣味の場などが充実していること | 19.4 | 13.1 | 10.0 | 11.0 | 4.9 |
| 移住に必要な費用の補助や奨励金などの自治体の支援があること | 20.3 | 23.2 | 20.7 | 23.9 | 21.3 |
| 居住地の検討に必要な情報が入手できること | 16.3 | 18.0 | 22.4 | 29.0 | 19.7 |
| 何年か行き来して知り合いができたり、生活していける目途が立っていること | 12.3 | 12.4 | 12.4 | 15.5 | 6.6 |
| 移住に先立ち、色々なことを相談できるサポート体制が整っていること | 18.1 | 18.4 | 19.1 | 25.8 | 24.6 |
| 本格的に移住する前に、試しに移住体験ができるツアーや制度があること | 7.9 | 11.6 | 10.8 | 20.0 | 16.4 |
| 移住後の暮らしをサポートしてくれる相談体制が整っていること | 16.3 | 19.9 | 18.7 | 31.0 | 31.1 |
| 移住先の地域に同世代の住民がいること | 13.7 | 13.1 | 10.8 | 13.5 | 8.2 |
| その他 | 0.9 | 0.4 | 0.4 | 1.3 | 0.0 |
| 特にない | 4.4 | 4.1 | 2.5 | 5.2 | 1.6 |



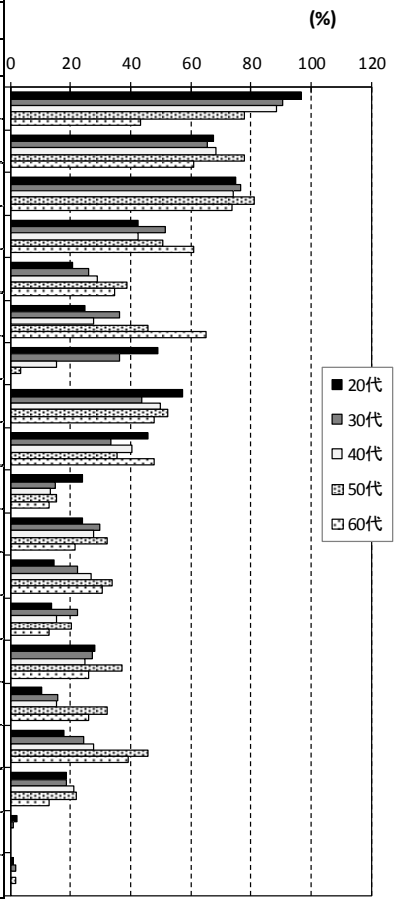

| | 地域ブロック別 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 関西 | 中国 | 九州 |
| 全体(N) | 59 | 44 | 481 | 92 | 161 | 40 | 74 |
| 生活が維持できる仕事（収入）があること | 89.8 | 88.6 | 80.9 | 89.1 | 82.6 | 95.0 | 85.1 |
| 買い物や娯楽などの日常生活に必要なサービスや生活関連施設があること | 55.9 | 40.9 | 58.0 | 55.4 | 62.1 | 67.5 | 60.8 |
| 病院や診療所、介護施設など医療・福祉の環境が整っていること | 59.3 | 47.7 | 62.4 | 66.3 | 60.2 | 70.0 | 62.2 |
| 居住に必要な家屋や土地を安く入手できること | 44.1 | 43.2 | 45.3 | 45.7 | 50.3 | 47.5 | 29.7 |
| 居住に必要な空き家や賃貸住宅の斡旋・仲介が受けられること | 32.2 | 15.9 | 24.1 | 31.5 | 28.6 | 20.0 | 13.5 |
| 大がかりな改修等をしなくてもすぐに住める家があること | 30.5 | 22.7 | 28.1 | 27.2 | 30.4 | 32.5 | 20.3 |
| 子育てに必要な保育・教育施設や環境が整っていること | 13.6 | 25.0 | 20.6 | 23.9 | 19.9 | 32.5 | 23.0 |
| バスや鉄道など生活していく上で必要な公共交通が確保されていること | 44.1 | 27.3 | 40.1 | 32.6 | 42.2 | 45.0 | 29.7 |
| 都市部とのアクセスが確保されていること | 37.3 | 34.1 | 36.2 | 29.3 | 35.4 | 35.0 | 28.4 |
| 文化イベントや趣味の場などが充実していること | 6.8 | 18.2 | 14.8 | 10.9 | 10.6 | 15.0 | 9.5 |
| 移住に必要な費用の補助や奨励金などの自治体の支援があること | 18.6 | 31.8 | 21.2 | 26.1 | 19.9 | 32.5 | 16.2 |
| 居住地の検討に必要な情報が入手できること | 15.3 | 18.2 | 20.8 | 20.7 | 25.5 | 17.5 | 16.2 |
| 何年か行き来して知り合いができたり、生活していける目途が立っていること | 6.8 | 13.6 | 12.5 | 13.0 | 13.7 | 15.0 | 12.2 |
| 移住に先立ち、色々なことを相談できるサポート体制が整っていること | 11.9 | 22.7 | 21.6 | 21.7 | 17.4 | 27.5 | 14.9 |
| 本格的に移住する前に、試しに移住体験ができるツアーや制度があること | 8.5 | 4.5 | 13.3 | 8.7 | 16.1 | 12.5 | 8.1 |
| 移住後の暮らしをサポートしてくれる相談体制が整っていること | 15.3 | 11.4 | 22.0 | 21.7 | 24.8 | 22.5 | 17.6 |
| 移住先の地域に同世代の住民がいること | 13.6 | 9.1 | 12.3 | 12.0 | 13.0 | 20.0 | 9.5 |
| その他 | 1.7 | 0.0 | 0.8 | 0.0 | 0.6 | 0.0 | 0.0 |
| 特にない | 0.0 | 6.8 | 4.4 | 4.3 | 1.9 | 0.0 | 6.8 |



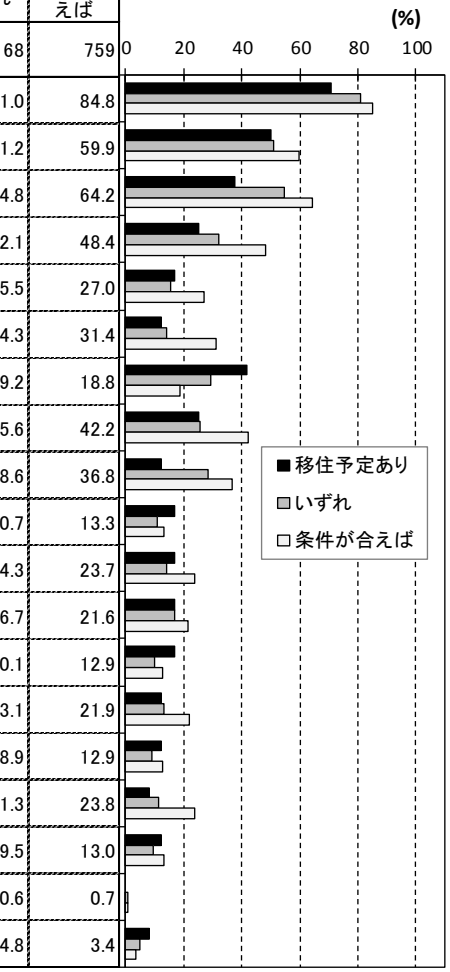
| | 男性 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 |
| 全体(N) | 131 | 160 | 137 | 96 | 38 |
| 生活が維持できる仕事（収入）があること | 83.2 | 83.8 | 84.7 | 76.0 | 71.1 |
| 買い物や娯楽などの日常生活に必要なサービスや生活関連施設があること | 58.8 | 44.4 | 49.6 | 54.2 | 50.0 |
| 病院や診療所、介護施設など医療・福祉の環境が整っていること | 53.4 | 49.4 | 51.1 | 49.0 | 68.4 |
| 居住に必要な家屋や土地を安く入手できること | 42.0 | 44.4 | 40.9 | 43.8 | 50.0 |
| 居住に必要な空き家や賃貸住宅の斡旋・仲介が受けられること | 16.8 | 21.3 | 22.6 | 26.0 | 36.8 |
| 大がかりな改修等をしなくてもすぐに住める家があること | 19.8 | 19.4 | 20.4 | 32.3 | 39.5 |
| 子育てに必要な保育・教育施設や環境が整っていること | 29.0 | 21.9 | 13.1 | 6.3 | 2.6 |
| バスや鉄道など生活していく上で必要な公共交通が確保されていること | 32.8 | 28.8 | 29.9 | 33.3 | 28.9 |
| 都市部とのアクセスが確保されていること | 40.5 | 28.8 | 29.2 | 24.0 | 36.8 |
| 文化イベントや趣味の場などが充実していること | 16.0 | 11.9 | 7.3 | 8.3 | 0.0 |
| 移住に必要な費用の補助や奨励金などの自治体の支援があること | 17.6 | 18.8 | 15.3 | 18.8 | 21.1 |
| 居住地の検討に必要な情報が入手できること | 17.6 | 15.0 | 19.0 | 26.0 | 13.2 |
| 何年か行き来して知り合いができたり、生活していける目途が立っていること | 11.5 | 5.6 | 10.2 | 12.5 | 2.6 |
| 移住に先立ち、色々なことを相談できるサポート体制が整っていること | 10.7 | 12.5 | 14.6 | 18.8 | 23.7 |
| 本格的に移住する前に、試しに移住体験ができるツアーや制度があること | 6.1 | 8.8 | 7.3 | 12.5 | 10.5 |
| 移住後の暮らしをサポートしてくれる相談体制が整っていること | 15.3 | 16.9 | 11.7 | 21.9 | 26.3 |
| 移住先の地域に同世代の住民がいること | 9.9 | 9.4 | 2.9 | 8.3 | 5.3 |
| その他 | 0.0 | 0.0 | 0.7 | 2.1 | 0.0 |
| 特にない | 6.9 | 5.6 | 4.4 | 7.3 | 2.6 |



| | 女性 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 |
| 全体(N) | 96 | 107 | 104 | 59 | 23 |
| 生活が維持できる仕事（収入）があること | 96.9 | 90.7 | 88.5 | 78.0 | 43.5 |
| 買い物や娯楽などの日常生活に必要なサービスや生活関連施設があること | 67.7 | 65.4 | 68.3 | 78.0 | 60.9 |
| 病院や診療所、介護施設など医療・福祉の環境が整っていること | 75.0 | 76.6 | 74.0 | 81.4 | 73.9 |
| 居住に必要な家屋や土地を安く入手できること | 42.7 | 51.4 | 42.3 | 50.8 | 60.9 |
| 居住に必要な空き家や賃貸住宅の斡旋・仲介が受けられること | 20.8 | 26.2 | 28.8 | 39.0 | 34.8 |
| 大がかりな改修等をしなくてもすぐに住める家があること | 25.0 | 36.4 | 27.9 | 45.8 | 65.2 |
| 子育てに必要な保育・教育施設や環境が整っていること | 49.0 | 36.4 | 15.4 | 3.4 | 0.0 |
| バスや鉄道など生活していく上で必要な公共交通が確保されていること | 57.3 | 43.9 | 50.0 | 52.5 | 47.8 |
| 都市部とのアクセスが確保されていること | 45.8 | 33.6 | 40.4 | 35.6 | 47.8 |
| 文化イベントや趣味の場などが充実していること | 24.0 | 15.0 | 13.5 | 15.3 | 13.0 |
| 移住に必要な費用の補助や奨励金などの自治体の支援があること | 24.0 | 29.9 | 27.9 | 32.2 | 21.7 |
| 居住地の検討に必要な情報が入手できること | 14.6 | 22.4 | 26.9 | 33.9 | 30.4 |
| 何年か行き来して知り合いができたり、生活していける目途が立っていること | 13.5 | 22.4 | 15.4 | 20.3 | 13.0 |
| 移住に先立ち、色々なことを相談できるサポート体制が整っていること | 28.1 | 27.1 | 25.0 | 37.3 | 26.1 |
| 本格的に移住する前に、試しに移住体験ができるツアーや制度があること | 10.4 | 15.9 | 15.4 | 32.2 | 26.1 |
| 移住後の暮らしをサポートしてくれる相談体制が整っていること | 17.7 | 24.3 | 27.9 | 45.8 | 39.1 |
| 移住先の地域に同世代の住民がいること | 18.8 | 18.7 | 21.2 | 22.0 | 13.0 |
| その他 | 2.1 | 0.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 特にない | 1.0 | 1.9 | 0.0 | 1.7 | 0.0 |



| | 農山漁村地域への移住意向 | | |
|---|---|---|---|
| | 移住予定あり | いずれ | 条件が合えば |
| 全体(N) | 24 | 168 | 759 |
| 生活が維持できる仕事（収入）があること | 70.8 | 81.0 | 84.8 |
| 買い物や娯楽などの日常生活に必要なサービスや生活関連施設があること | 50.0 | 51.2 | 59.9 |
| 病院や診療所、介護施設など医療・福祉の環境が整っていること | 37.5 | 54.8 | 64.2 |
| 居住に必要な家屋や土地を安く入手できること | 25.0 | 32.1 | 48.4 |
| 居住に必要な空き家や賃貸住宅の斡旋・仲介が受けられること | 16.7 | 15.5 | 27.0 |
| 大がかりな改修等をしなくてもすぐに住める家があること | 12.5 | 14.3 | 31.4 |
| 子育てに必要な保育・教育施設や環境が整っていること | 41.7 | 29.2 | 18.8 |
| バスや鉄道など生活していく上で必要な公共交通が確保されていること | 25.0 | 25.6 | 42.2 |
| 都市部とのアクセスが確保されていること | 12.5 | 28.6 | 36.8 |
| 文化イベントや趣味の場などが充実していること | 16.7 | 10.7 | 13.3 |
| 移住に必要な費用の補助や奨励金などの自治体の支援があること | 16.7 | 14.3 | 23.7 |
| 居住地の検討に必要な情報が入手できること | 16.7 | 16.7 | 21.6 |
| 何年か行き来して知り合いができたり、生活していける目途が立っていること | 16.7 | 10.1 | 12.9 |
| 移住に先立ち、色々なことを相談できるサポート体制が整っていること | 12.5 | 13.1 | 21.9 |
| 本格的に移住する前に、試しに移住体験ができるツアーや制度があること | 12.5 | 8.9 | 12.9 |
| 移住後の暮らしをサポートしてくれる相談体制が整っていること | 8.3 | 11.3 | 23.8 |
| 移住先の地域に同世代の住民がいること | 12.5 | 9.5 | 13.0 |
| その他 | 0.0 | 0.6 | 0.7 |
| 特にない | 8.3 | 4.8 | 3.4 |

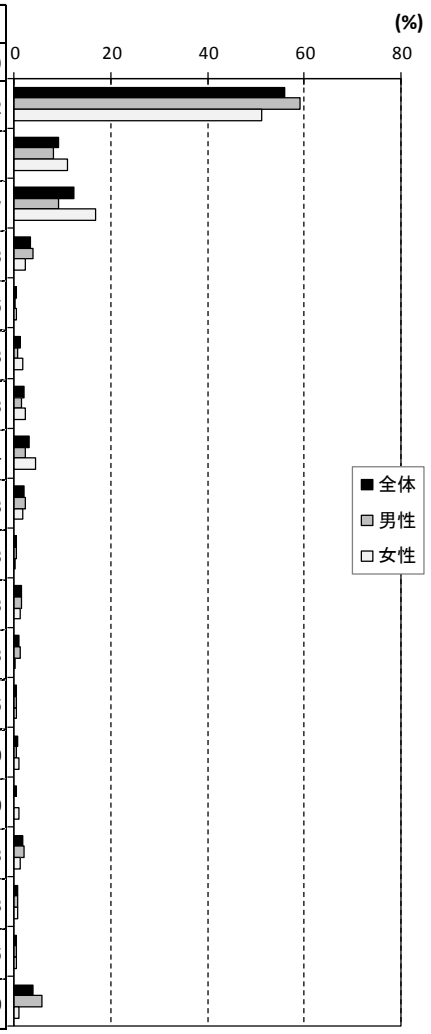



「移住予定あり」・・・農山漁村地域に移住する予定がある
「いずれ」・・・いずれは（ゆくゆくは）農山漁村地域に移住したいと思う
「条件が合えば」・・・条件が合えば農山漁村地域に移住してみてもよいと思う

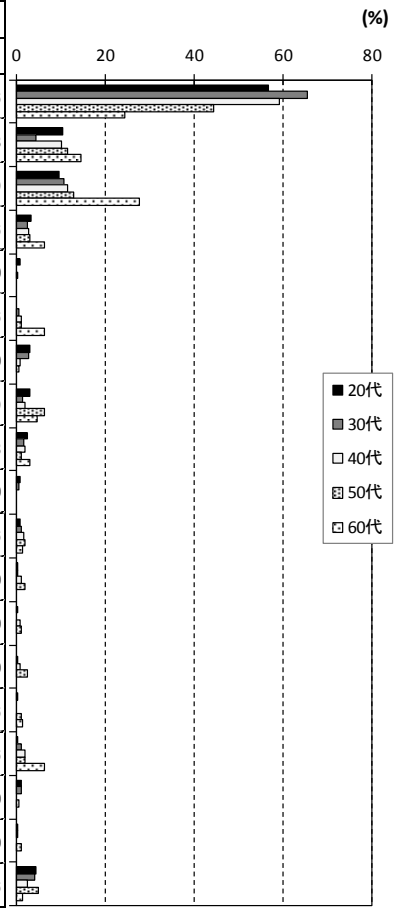
**問 14. あなたが農山漁村地域に移住する上で必要な条件は何ですか。**
**２．その中で、最も重視する条件をひとつ選んでください。（○はひとつ）**

- ► 全体では、「生活が維持できる仕事（収入）があること」が５割超あり、他の項目と比べ突出して割合が高い。
- ► 年代別でみると、「生活が維持できる仕事（収入）があること」は若い世代ほど高く、30 代が最も高い。
- ► 地域ブロック別でみると、東北及び九州では、「生活が維持できる仕事（収入）があること」の割合が６割を超えており、他のブロックと比べ高い。
- ► 性別・年代別でみると、20 代～50 代男女ともに、「生活が維持できる仕事（収入）があること」の割合が最も高い。また、60 代女性では、「病院や診療所、介護施設など医療・福祉の環境が整っていること」の割合が最も高い。
- ► 農山漁村地域への移住意向の程度別でみると、条件が合えば移住してもよいとする者は、「生活が維持できる仕事（収入）があること」の割合が最も高く、次いで、「病院や診療所、介護施設など医療・福祉の環境が整っていること」が続いている。

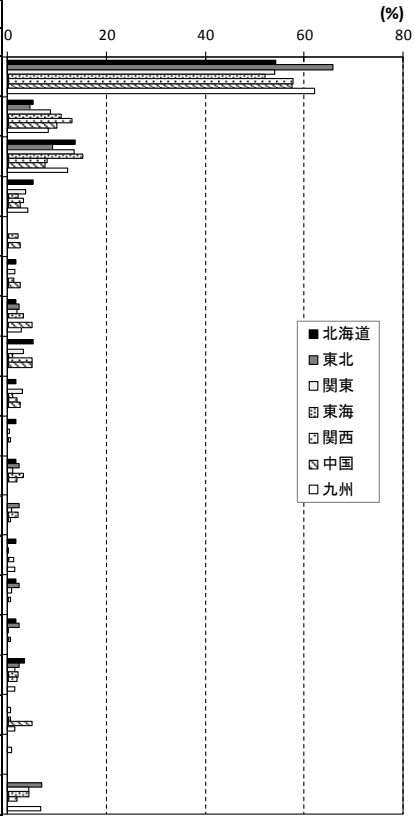
| | 全体 | 男性 | 女性 |
|---|---|---|---|
| 全体(N) | 951 | 562 | 389 |
| 生活が維持できる仕事（収入）があること | 55.8 | 59.1 | 51.2 |
| 買い物や娯楽などの日常生活に必要なサービスや生活関連施設があること | 9.3 | 8.0 | 11.1 |
| 病院や診療所、介護施設など医療・福祉の環境が整っていること | 12.2 | 9.1 | 16.7 |
| 居住に必要な家屋や土地を安く入手できること | 3.3 | 3.9 | 2.3 |
| 居住に必要な空き家や賃貸住宅の斡旋・仲介が受けられること | 0.3 | 0.2 | 0.5 |
| 大がかりな改修等をしなくてもすぐに住める家があること | 1.2 | 0.7 | 1.8 |
| 子育てに必要な保育・教育施設や環境が整っていること | 1.9 | 1.6 | 2.3 |
| バスや鉄道など生活していく上で必要な公共交通が確保されていること | 3.0 | 2.1 | 4.4 |
| 都市部とのアクセスが確保されていること | 2.1 | 2.3 | 1.8 |
| 文化イベントや趣味の場などが充実していること | 0.4 | 0.5 | 0.3 |
| 移住に必要な費用の補助や奨励金などの自治体の支援があること | 1.4 | 1.4 | 1.3 |
| 居住地の検討に必要な情報が入手できること | 0.8 | 1.2 | 0.3 |
| 何年か行き来して知り合いができたり、生活していける目途が立っていること | 0.5 | 0.5 | 0.5 |
| 移住に先立ち、色々なことを相談できるサポート体制が整っていること | 0.7 | 0.5 | 1.0 |
| 本格的に移住する前に、試しに移住体験ができるツアーや制度があること | 0.4 | 0.0 | 1.0 |
| 移住後の暮らしをサポートしてくれる相談体制が整っていること | 1.7 | 2.0 | 1.3 |
| 移住先の地域に同世代の住民がいること | 0.7 | 0.7 | 0.8 |
| その他 | 0.4 | 0.4 | 0.5 |
| 特にない | 3.8 | 5.7 | 1.0 |



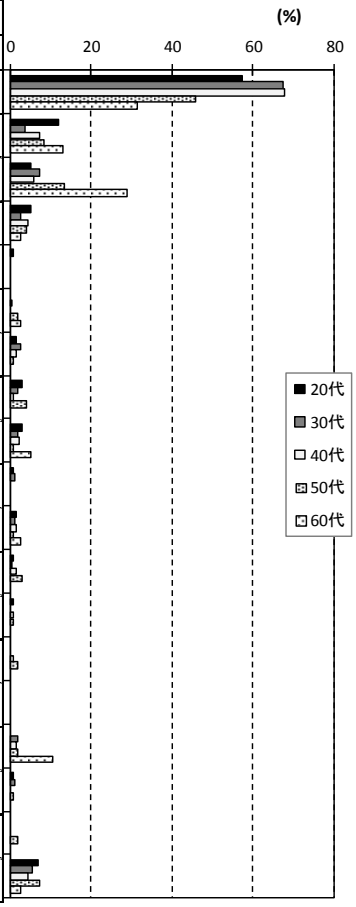
| | 年代別 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 |
| 全体(N) | 227 | 267 | 241 | 155 | 61 |
| 生活が維持できる仕事（収入）があること | 56.8 | 65.5 | 59.3 | 44.5 | 24.6 |
| 買い物や娯楽などの日常生活に必要なサービスや生活関連施設があること | 10.6 | 4.5 | 10.4 | 11.6 | 14.8 |
| 病院や診療所、介護施設など医療・福祉の環境が整っていること | 9.7 | 10.9 | 11.6 | 12.9 | 27.9 |
| 居住に必要な家屋や土地を安く入手できること | 3.5 | 2.6 | 2.9 | 3.2 | 6.6 |
| 居住に必要な空き家や賃貸住宅の斡旋・仲介が受けられること | 0.9 | 0.0 | 0.4 | 0.0 | 0.0 |
| 大がかりな改修等をしなくてもすぐに住める家があること | 0.0 | 0.7 | 1.2 | 1.3 | 6.6 |
| 子育てに必要な保育・教育施設や環境が整っていること | 3.1 | 3.0 | 0.8 | 0.6 | 0.0 |
| バスや鉄道など生活していく上で必要な公共交通が確保されていること | 3.1 | 1.5 | 2.1 | 6.5 | 4.9 |
| 都市部とのアクセスが確保されていること | 2.6 | 1.9 | 2.1 | 1.3 | 3.3 |
| 文化イベントや趣味の場などが充実していること | 0.9 | 0.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 移住に必要な費用の補助や奨励金などの自治体の支援があること | 0.9 | 1.1 | 1.7 | 1.9 | 1.6 |
| 居住地の検討に必要な情報が入手できること | 0.4 | 0.4 | 1.2 | 1.9 | 0.0 |
| 何年か行き来して知り合いができたり、生活していける目途が立っていること | 0.4 | 0.0 | 0.8 | 1.3 | 0.0 |
| 移住に先立ち、色々なことを相談できるサポート体制が整っていること | 0.0 | 0.4 | 0.8 | 2.6 | 0.0 |
| 本格的に移住する前に、試しに移住体験ができるツアーや制度があること | 0.4 | 0.0 | 0.0 | 1.3 | 1.6 |
| 移住後の暮らしをサポートしてくれる相談体制が整っていること | 0.4 | 1.1 | 2.1 | 1.9 | 6.6 |
| 移住先の地域に同世代の住民がいること | 1.3 | 1.1 | 0.0 | 0.6 | 0.0 |
| その他 | 0.4 | 0.4 | 0.0 | 1.3 | 0.0 |
| 特にない | 4.4 | 4.1 | 2.5 | 5.2 | 1.6 |



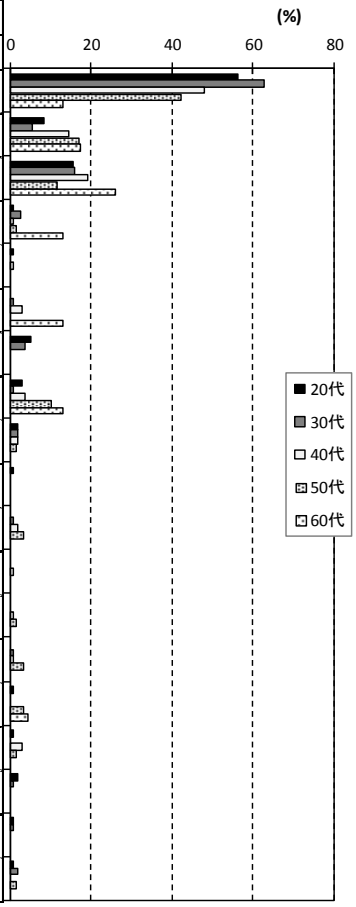

| | 地域ブロック別 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 関西 | 中国 | 九州 |
| 全体(N) | 59 | 44 | 481 | 92 | 161 | 40 | 74 |
| 生活が維持できる仕事（収入）があること | 54.2 | 65.9 | 54.1 | 52.2 | 57.8 | 57.5 | 62.2 |
| 買い物や娯楽などの日常生活に必要なサービスや生活関連施設があること | 5.1 | 4.5 | 8.7 | 10.9 | 13.0 | 10.0 | 8.1 |
| 病院や診療所、介護施設など医療・福祉の環境が整っていること | 13.6 | 9.1 | 13.5 | 15.2 | 8.1 | 7.5 | 12.2 |
| 居住に必要な家屋や土地を安く入手できること | 5.1 | 0.0 | 3.5 | 2.2 | 3.1 | 2.5 | 4.1 |
| 居住に必要な空き家や賃貸住宅の斡旋・仲介が受けられること | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.2 | 0.0 | 2.5 | 0.0 |
| 大がかりな改修等をしなくてもすぐに住める家があること | 1.7 | 0.0 | 1.5 | 0.0 | 1.2 | 2.5 | 0.0 |
| 子育てに必要な保育・教育施設や環境が整っていること | 1.7 | 2.3 | 1.9 | 3.3 | 0.0 | 5.0 | 2.7 |
| バスや鉄道など生活していく上で必要な公共交通が確保されていること | 5.1 | 0.0 | 3.1 | 1.1 | 5.0 | 5.0 | 0.0 |
| 都市部とのアクセスが確保されていること | 1.7 | 0.0 | 2.9 | 1.1 | 1.9 | 2.5 | 0.0 |
| 文化イベントや趣味の場などが充実していること | 1.7 | 0.0 | 0.4 | 0.0 | 0.6 | 0.0 | 0.0 |
| 移住に必要な費用の補助や奨励金などの自治体の支援があること | 1.7 | 2.3 | 1.0 | 3.3 | 1.9 | 0.0 | 0.0 |
| 居住地の検討に必要な情報が入手できること | 0.0 | 2.3 | 0.8 | 2.2 | 0.6 | 0.0 | 0.0 |
| 何年か行き来して知り合いができたり、生活していける目途が立っていること | 1.7 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 1.2 | 0.0 | 1.4 |
| 移住に先立ち、色々なことを相談できるサポート体制が整っていること | 1.7 | 2.3 | 0.8 | 0.0 | 0.6 | 0.0 | 0.0 |
| 本格的に移住する前に、試しに移住体験ができるツアーや制度があること | 1.7 | 2.3 | 0.2 | 0.0 | 0.6 | 0.0 | 0.0 |
| 移住後の暮らしをサポートしてくれる相談体制が整っていること | 3.4 | 2.3 | 1.5 | 2.2 | 1.9 | 0.0 | 1.4 |
| 移住先の地域に同世代の住民がいること | 0.0 | 0.0 | 0.6 | 0.0 | 0.6 | 5.0 | 1.4 |
| その他 | 0.0 | 0.0 | 0.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 特にない | 0.0 | 6.8 | 4.4 | 4.3 | 1.9 | 0.0 | 6.8 |



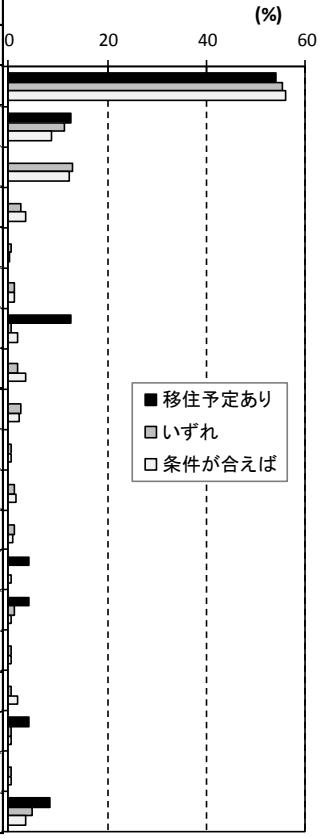
| | 男性 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 |
| 全体(N) | 131 | 160 | 137 | 96 | 38 |
| 生活が維持できる仕事（収入）があること | 57.3 | 67.5 | 67.9 | 45.8 | 31.6 |
| 買い物や娯楽などの日常生活に必要なサービスや生活関連施設があること | 12.2 | 3.8 | 7.3 | 8.3 | 13.2 |
| 病院や診療所、介護施設など医療・福祉の環境が整っていること | 5.3 | 7.5 | 5.8 | 13.5 | 28.9 |
| 居住に必要な家屋や土地を安く入手できること | 5.3 | 2.5 | 4.4 | 4.2 | 2.6 |
| 居住に必要な空き家や賃貸住宅の斡旋・仲介が受けられること | 0.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 大がかりな改修等をしなくてもすぐに住める家があること | 0.0 | 0.6 | 0.0 | 2.1 | 2.6 |
| 子育てに必要な保育・教育施設や環境が整っていること | 1.5 | 2.5 | 1.5 | 1.0 | 0.0 |
| バスや鉄道など生活していく上で必要な公共交通が確保されていること | 3.1 | 1.9 | 0.7 | 4.2 | 0.0 |
| 都市部とのアクセスが確保されていること | 3.1 | 1.9 | 2.2 | 1.0 | 5.3 |
| 文化イベントや趣味の場などが充実していること | 0.8 | 1.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 移住に必要な費用の補助や奨励金などの自治体の支援があること | 1.5 | 1.3 | 1.5 | 1.0 | 2.6 |
| 居住地の検討に必要な情報が入手できること | 0.8 | 0.6 | 1.5 | 3.1 | 0.0 |
| 何年か行き来して知り合いができたり、生活していける目途が立っていること | 0.8 | 0.0 | 0.7 | 1.0 | 0.0 |
| 移住に先立ち、色々なことを相談できるサポート体制が整っていること | 0.0 | 0.0 | 0.7 | 2.1 | 0.0 |
| 本格的に移住する前に、試しに移住体験ができるツアーや制度があること | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 移住後の暮らしをサポートしてくれる相談体制が整っていること | 0.0 | 1.9 | 1.5 | 2.1 | 10.5 |
| 移住先の地域に同世代の住民がいること | 0.8 | 1.3 | 0.0 | 1.0 | 0.0 |
| その他 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.1 | 0.0 |
| 特にない | 6.9 | 5.6 | 4.4 | 7.3 | 2.6 |




| | 女性 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 |
| 全体(N) | 96 | 107 | 104 | 59 | 23 |
| 生活が維持できる仕事（収入）があること | 56.3 | 62.6 | 48.1 | 42.4 | 13.0 |
| 買い物や娯楽などの日常生活に必要なサービスや生活関連施設があること | 8.3 | 5.6 | 14.4 | 16.9 | 17.4 |
| 病院や診療所、介護施設など医療・福祉の環境が整っていること | 15.6 | 15.9 | 19.2 | 11.9 | 26.1 |
| 居住に必要な家屋や土地を安く入手できること | 1.0 | 2.8 | 1.0 | 1.7 | 13.0 |
| 居住に必要な空き家や賃貸住宅の斡旋・仲介が受けられること | 1.0 | 0.0 | 1.0 | 0.0 | 0.0 |
| 大がかりな改修等をしなくてもすぐに住める家があること | 0.0 | 0.9 | 2.9 | 0.0 | 13.0 |
| 子育てに必要な保育・教育施設や環境が整っていること | 5.2 | 3.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| バスや鉄道など生活していく上で必要な公共交通が確保されていること | 3.1 | 0.9 | 3.8 | 10.2 | 13.0 |
| 都市部とのアクセスが確保されていること | 2.1 | 1.9 | 1.9 | 1.7 | 0.0 |
| 文化イベントや趣味の場などが充実していること | 1.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 移住に必要な費用の補助や奨励金などの自治体の支援があること | 0.0 | 0.9 | 1.9 | 3.4 | 0.0 |
| 居住地の検討に必要な情報が入手できること | 0.0 | 0.0 | 1.0 | 0.0 | 0.0 |
| 何年か行き来して知り合いができたり、生活していける目途が立っていること | 0.0 | 0.0 | 1.0 | 1.7 | 0.0 |
| 移住に先立ち、色々なことを相談できるサポート体制が整っていること | 0.0 | 0.9 | 1.0 | 3.4 | 0.0 |
| 本格的に移住する前に、試しに移住体験ができるツアーや制度があること | 1.0 | 0.0 | 0.0 | 3.4 | 4.3 |
| 移住後の暮らしをサポートしてくれる相談体制が整っていること | 1.0 | 0.0 | 2.9 | 1.7 | 0.0 |
| 移住先の地域に同世代の住民がいること | 2.1 | 0.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| その他 | 1.0 | 0.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 特にない | 1.0 | 1.9 | 0.0 | 1.7 | 0.0 |



| | 農山漁村地域への移住意向 | | |
|---|---|---|---|
| | 移住予定あり | いずれ | 条件が合えば |
| 全体(N) | 24 | 168 | 759 |
| 生活が維持できる仕事（収入）があること | 54.2 | 55.4 | 56.0 |
| 買い物や娯楽などの日常生活に必要なサービスや生活関連施設があること | 12.5 | 11.3 | 8.7 |
| 病院や診療所、介護施設など医療・福祉の環境が整っていること | 0.0 | 13.1 | 12.4 |
| 居住に必要な家屋や土地を安く入手できること | 0.0 | 2.4 | 3.6 |
| 居住に必要な空き家や賃貸住宅の斡旋・仲介が受けられること | 0.0 | 0.6 | 0.3 |
| 大がかりな改修等をしなくてもすぐに住める家があること | 0.0 | 1.2 | 1.2 |
| 子育てに必要な保育・教育施設や環境が整っていること | 12.5 | 0.6 | 1.8 |
| バスや鉄道など生活していく上で必要な公共交通が確保されていること | 0.0 | 1.8 | 3.4 |
| 都市部とのアクセスが確保されていること | 0.0 | 2.4 | 2.1 |
| 文化イベントや趣味の場などが充実していること | 0.0 | 0.6 | 0.4 |
| 移住に必要な費用の補助や奨励金などの自治体の支援があること | 0.0 | 1.2 | 1.4 |
| 居住地の検討に必要な情報が入手できること | 0.0 | 1.2 | 0.8 |
| 何年か行き来して知り合いができたり、生活していける目途が立っていること | 4.2 | 0.0 | 0.5 |
| 移住に先立ち、色々なことを相談できるサポート体制が整っていること | 4.2 | 1.2 | 0.5 |
| 本格的に移住する前に、試しに移住体験ができるツアーや制度があること | 0.0 | 0.6 | 0.4 |
| 移住後の暮らしをサポートしてくれる相談体制が整っていること | 0.0 | 0.6 | 2.0 |
| 移住先の地域に同世代の住民がいること | 4.2 | 0.6 | 0.7 |
| その他 | 0.0 | 0.6 | 0.4 |
| 特にない | 8.3 | 4.8 | 3.4 |

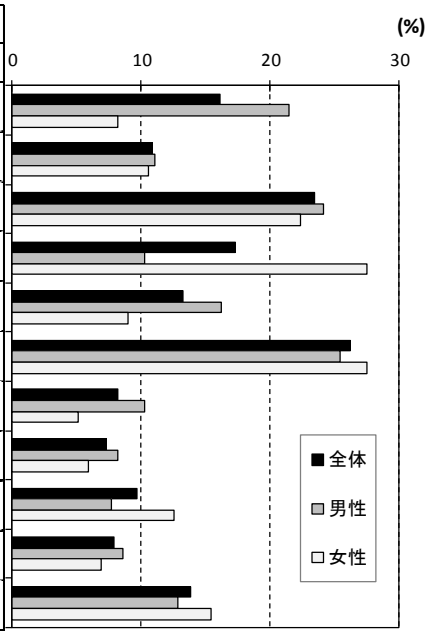



「移住予定あり」・・・農山漁村地域に移住する予定がある
「いずれ」・・・いずれは（ゆくゆくは）農山漁村地域に移住したいと思う
「条件が合えば」・・・条件が合えば農山漁村地域に移住してみてもよいと思う

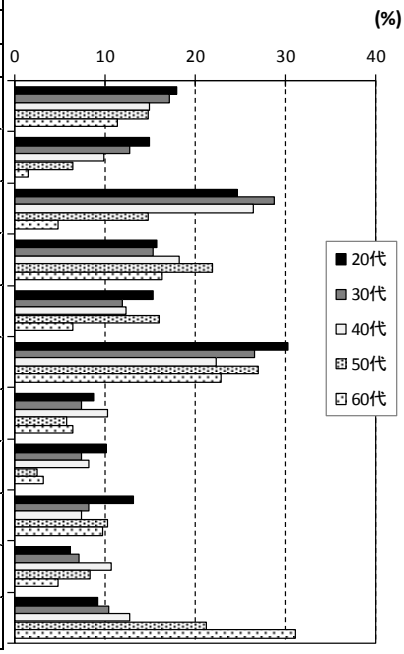
**問15. あなたは、農山漁村地域に移住したら、どのような仕事に就きたいですか。（○はいくつでも）**

- ► 全体では、「持っている資格や知識、スキルが活かせる仕事に就きたい」が 26.3%で最も高く、次いで、「役場や地元の会社に就職し、フルタイムで働きたい」が 23.4%と続いている。
- ► 男女別にみると、男性では、「農林水産業に従事したい（生業として）」の割合が高く、女性では、「役場や地元の会社に就職し、パートタイムやアルバイトとして働きたい」の割合が高い。
- ► 年代別でみると、20 代、50 代及び 60 代では、「持っている資格や知識、スキルを活かせる仕事に就きたい」の割合が最も高い。
- ► 性別・年代別でみると、男性は 20 代、50 代及び 60 代で、女性は 20 代及び 30 代で、「持っている資格や知識、スキルを活かせる仕事に就きたい」の割合が最も高い。また、30 代及び 40 代男性は、「役場や地元の会社に就職し、フルタイムで働きたい」の割合が最も高い。一方 40 代及び 50 代女性は、「役場や地元の会社に就職し、パートタイムやアルバイトとして働きたい」の割合が最も高く、60 代女性では、「特に仕事はしない」の割合が最も高い。
- ► 農山漁村地域への移住意向の程度別でみると、移住予定がある者は、「農林水産業に従事したい（生業として）」が 37.5%で最も割合が高い。また、条件が合えば移住してもよいとする者といずれ（ゆくゆく）は移住したいとする者は、「持っている資格や知識、スキルが活かせる仕事に就きたい」の割合が最も高い。

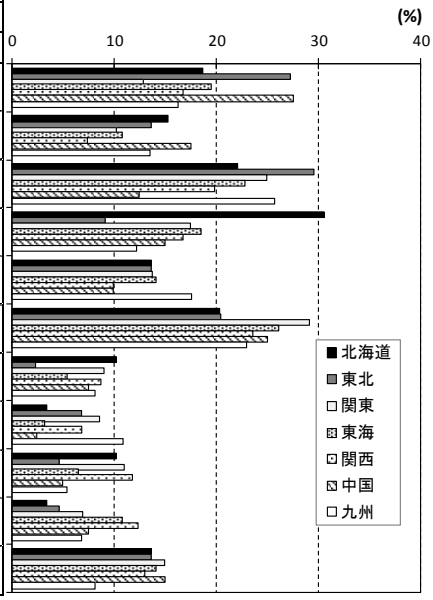
| | 全体 | 男性 | 女性 |
|---|---|---|---|
| 全体(N) | 951 | 562 | 389 |
| 農林水産業に従事したい（生業として） | 16.1 | 21.5 | 8.2 |
| 農家レストランや民宿などの宿泊施設を開きたい | 10.8 | 11.0 | 10.5 |
| 役場や地元の会社に就職し、フルタイムで働きたい | 23.4 | 24.2 | 22.4 |
| 役場や地元の会社に就職し、パートタイムやアルバイトとして働きたい | 17.4 | 10.3 | 27.5 |
| 持っている資格や知識、スキルを活かして新たに起業したい | 13.2 | 16.2 | 9.0 |
| 持っている資格や知識、スキルが活かせる仕事に就きたい | 26.3 | 25.4 | 27.5 |
| 今の仕事（自営業・自由業）を移住先の農山漁村地域で続けたい | 8.2 | 10.3 | 5.1 |
| 今の勤め先での仕事を移住先の農山漁村地域で続けたい | 7.3 | 8.2 | 5.9 |
| 会社等には就職せず、家業や家族の仕事を手伝いたい | 9.7 | 7.7 | 12.6 |
| 上記以外の働き方で仕事をしたい | 7.9 | 8.5 | 6.9 |
| 特に仕事はしない（移住先の農山漁村地域で働くつもりはない） | 13.9 | 12.8 | 15.4 |



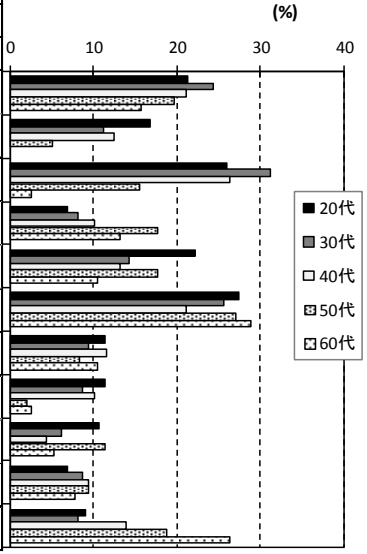
| | 年代別 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 |
| 全体(N) | 227 | 267 | 241 | 155 | 61 |
| 農林水産業に従事したい（生業として） | 18.1 | 17.2 | 14.9 | 14.8 | 11.5 |
| 農家レストランや民宿などの宿泊施設を開きたい | 15.0 | 12.7 | 10.0 | 6.5 | 1.6 |
| 役場や地元の会社に就職し、フルタイムで働きたい | 24.7 | 28.8 | 26.6 | 14.8 | 4.9 |
| 役場や地元の会社に就職し、パートタイムやアルバイトとして働きたい | 15.9 | 15.4 | 18.3 | 21.9 | 16.4 |
| 持っている資格や知識、スキルを活かして新たに起業したい | 15.4 | 12.0 | 12.4 | 16.1 | 6.6 |
| 持っている資格や知識、スキルが活かせる仕事に就きたい | 30.4 | 26.6 | 22.4 | 27.1 | 23.0 |
| 今の仕事（自営業・自由業）を移住先の農山漁村地域で続けたい | 8.8 | 7.5 | 10.4 | 5.8 | 6.6 |
| 今の勤め先での仕事を移住先の農山漁村地域で続けたい | 10.1 | 7.5 | 8.3 | 2.6 | 3.3 |
| 会社等には就職せず、家業や家族の仕事を手伝いたい | 13.2 | 8.2 | 7.5 | 10.3 | 9.8 |
| 上記以外の働き方で仕事をしたい | 6.2 | 7.1 | 10.8 | 8.4 | 4.9 |
| 特に仕事はしない（移住先の農山漁村地域で働くつもりはない） | 9.3 | 10.5 | 12.9 | 21.3 | 31.1 |



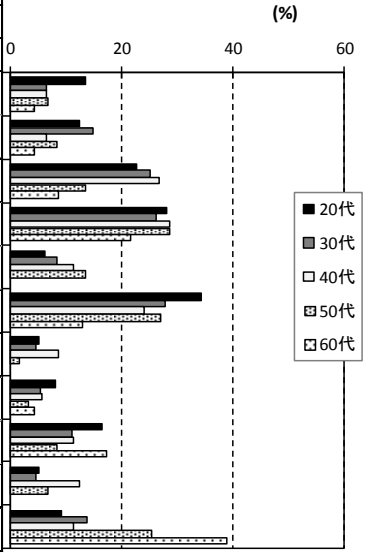

| | 地域ブロック別 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 関西 | 中国 | 九州 |
| 全体(N) | 59 | 44 | 481 | 92 | 161 | 40 | 74 |
| 農林水産業に従事したい（生業として） | 18.6 | 27.3 | 12.9 | 19.6 | 16.8 | 27.5 | 16.2 |
| 農家レストランや民宿などの宿泊施設を開きたい | 15.3 | 13.6 | 10.2 | 10.9 | 7.5 | 17.5 | 13.5 |
| 役場や地元の会社に就職し、フルタイムで働きたい | 22.0 | 29.5 | 24.9 | 22.8 | 19.9 | 12.5 | 25.7 |
| 役場や地元の会社に就職し、パートタイムやアルバイトとして働きたい | 30.5 | 9.1 | 17.5 | 18.5 | 16.8 | 15.0 | 12.2 |
| 持っている資格や知識、スキルを活かして新たに起業したい | 13.6 | 13.6 | 13.7 | 14.1 | 9.9 | 10.0 | 17.6 |
| 持っている資格や知識、スキルが活かせる仕事に就きたい | 20.3 | 20.5 | 29.1 | 26.1 | 23.6 | 25.0 | 23.0 |
| 今の仕事（自営業・自由業）を移住先の農山漁村地域で続けたい | 10.2 | 2.3 | 8.9 | 5.4 | 8.7 | 7.5 | 8.1 |
| 今の勤め先での仕事を移住先の農山漁村地域で続けたい | 3.4 | 6.8 | 8.5 | 3.3 | 6.8 | 2.5 | 10.8 |
| 会社等には就職せず、家業や家族の仕事を手伝いたい | 10.2 | 4.5 | 11.0 | 6.5 | 11.8 | 5.0 | 5.4 |
| 上記以外の働き方で仕事をしたい | 3.4 | 4.5 | 6.9 | 10.9 | 12.4 | 7.5 | 6.8 |
| 特に仕事はしない（移住先の農山漁村地域で働くつもりはない） | 13.6 | 13.6 | 15.0 | 14.1 | 13.0 | 15.0 | 8.1 |



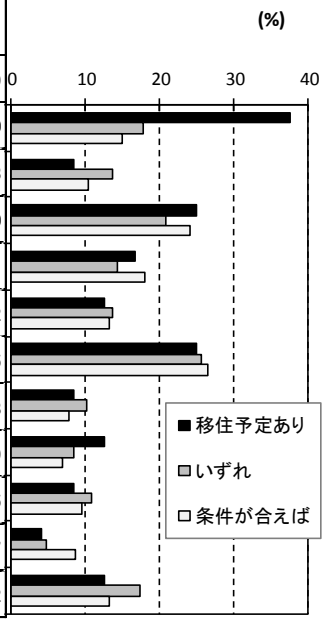
| | 男性 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 |
| 全体(N) | 131 | 160 | 137 | 96 | 38 |
| 農林水産業に従事したい（生業として） | 21.4 | 24.4 | 21.2 | 19.8 | 15.8 |
| 農家レストランや民宿などの宿泊施設を開きたい | 16.8 | 11.3 | 12.4 | 5.2 | 0.0 |
| 役場や地元の会社に就職し、フルタイムで働きたい | 26.0 | 31.3 | 26.3 | 15.6 | 2.6 |
| 役場や地元の会社に就職し、パートタイムやアルバイトとして働きたい | 6.9 | 8.1 | 10.2 | 17.7 | 13.2 |
| 持っている資格や知識、スキルを活かして新たに起業したい | 22.1 | 14.4 | 13.1 | 17.7 | 10.5 |
| 持っている資格や知識、スキルが活かせる仕事に就きたい | 27.5 | 25.6 | 21.2 | 27.1 | 28.9 |
| 今の仕事（自営業・自由業）を移住先の農山漁村地域で続けたい | 11.5 | 9.4 | 11.7 | 8.3 | 10.5 |
| 今の勤め先での仕事を移住先の農山漁村地域で続けたい | 11.5 | 8.8 | 10.2 | 2.1 | 2.6 |
| 会社等には就職せず、家業や家族の仕事を手伝いたい | 10.7 | 6.3 | 4.4 | 11.5 | 5.3 |
| 上記以外の働き方で仕事をしたい | 6.9 | 8.8 | 9.5 | 9.4 | 7.9 |
| 特に仕事はしない（移住先の農山漁村地域で働くつもりはない） | 9.2 | 8.1 | 13.9 | 18.8 | 26.3 |




| | 女性 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 |
| 全体(N) | 96 | 107 | 104 | 59 | 23 |
| 農林水産業に従事したい（生業として） | 13.5 | 6.5 | 6.7 | 6.8 | 4.3 |
| 農家レストランや民宿などの宿泊施設を開きたい | 12.5 | 15.0 | 6.7 | 8.5 | 4.3 |
| 役場や地元の会社に就職し、フルタイムで働きたい | 22.9 | 25.2 | 26.9 | 13.6 | 8.7 |
| 役場や地元の会社に就職し、パートタイムやアルバイトとして働きたい | 28.1 | 26.2 | 28.8 | 28.8 | 21.7 |
| 持っている資格や知識、スキルを活かして新たに起業したい | 6.3 | 8.4 | 11.5 | 13.6 | 0.0 |
| 持っている資格や知識、スキルが活かせる仕事に就きたい | 34.4 | 28.0 | 24.0 | 27.1 | 13.0 |
| 今の仕事（自営業・自由業）を移住先の農山漁村地域で続けたい | 5.2 | 4.7 | 8.7 | 1.7 | 0.0 |
| 今の勤め先での仕事を移住先の農山漁村地域で続けたい | 8.3 | 5.6 | 5.8 | 3.4 | 4.3 |
| 会社等には就職せず、家業や家族の仕事を手伝いたい | 16.7 | 11.2 | 11.5 | 8.5 | 17.4 |
| 上記以外の働き方で仕事をしたい | 5.2 | 4.7 | 12.5 | 6.8 | 0.0 |
| 特に仕事はしない（移住先の農山漁村地域で働くつもりはない） | 9.4 | 14.0 | 11.5 | 25.4 | 39.1 |



| | 農山漁村地域への移住意向 | | |
|---|---|---|---|
| | 移住予定あり | いずれ | 条件が合えば |
| 全体(N) | 24 | 168 | 759 |
| 農林水産業に従事したい（生業として） | 37.5 | 17.9 | 15.0 |
| 農家レストランや民宿などの宿泊施設を開きたい | 8.3 | 13.7 | 10.3 |
| 役場や地元の会社に就職し、フルタイムで働きたい | 25.0 | 20.8 | 24.0 |
| 役場や地元の会社に就職し、パートタイムやアルバイトとして働きたい | 16.7 | 14.3 | 18.1 |
| 持っている資格や知識、スキルを活かして新たに起業したい | 12.5 | 13.7 | 13.2 |
| 持っている資格や知識、スキルが活かせる仕事に就きたい | 25.0 | 25.6 | 26.5 |
| 今の仕事（自営業・自由業）を移住先の農山漁村地域で続けたい | 8.3 | 10.1 | 7.8 |
| 今の勤め先での仕事を移住先の農山漁村地域で続けたい | 12.5 | 8.3 | 6.9 |
| 会社等には就職せず、家業や家族の仕事を手伝いたい | 8.3 | 10.7 | 9.5 |
| 上記以外の働き方で仕事をしたい | 4.2 | 4.8 | 8.7 |
| 特に仕事はしない（移住先の農山漁村地域で働くつもりはない） | 12.5 | 17.3 | 13.2 |

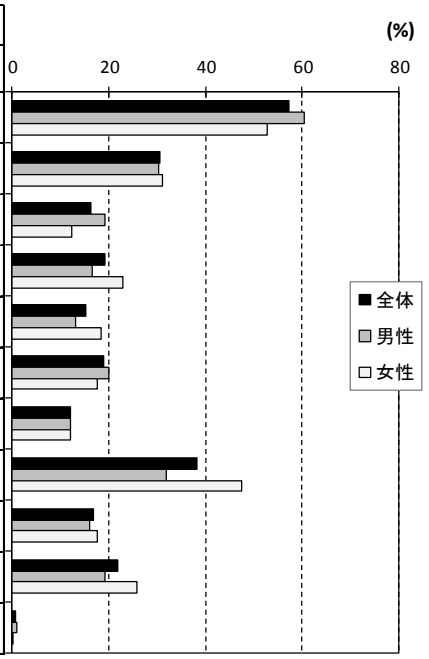



「移住予定あり」・・・農山漁村地域に移住する予定がある
「いずれ」・・・いずれは（ゆくゆくは）農山漁村地域に移住したいと思う
「条件が合えば」・・・条件が合えば農山漁村地域に移住してみてもよいと思う

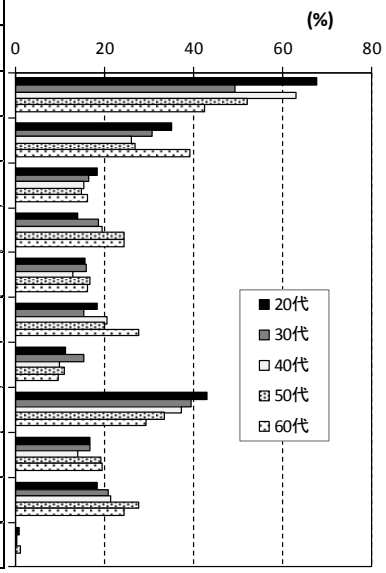
**問16. あなたは、農山漁村地域に移住したら、どのような暮らしをしたいですか。（○はいくつでも）**

- ► 全体では、「趣味やレジャーを楽しみたい」が 57.3%と最も高く、次いで、「家族や親族、友人との時間を大切にしたい」が 38.3%、「趣味としての農作業等を楽しみたい」が 30.6%と続いている。
- ► 年代別でみると、若い世代ほど、「家族や親族、友人との時間を大切にしたい」の割合が高い。その一方で、年代が高くなるほど、「地域の人たちと触れ合い、地域活動に参画したい」の割合が高い。
- ► 性別・年代別でみると、男性は、全ての年代で「趣味やレジャーを楽しみたい」の割合が最も高い。一方、女性は 30 代では、「家族や親族、友人との時間を大切にしたい」、60 代では、「趣味としての農作業等を楽しみたい」の割合が最も高い。
- ► 農山漁村地域への移住意向の程度別でみると、全ての者で、「趣味やレジャーを楽しみたい」の割合が最も高い。また、条件が合えば移住してもよいとする者は、「家族や親族、友人との時間を大切にしたい」、「趣味としての農作業等を楽しみたい」の割合が高い。
- ► 一方、移住予定がある者では、「自分のスキルを活かして地域貢献活動をしたい」や「地域の人たちと触れ合い、地域活動に参画したい」、「地域の伝統工芸や地域文化を継承する活動に関わりたい」など、地域との関わりを重視した暮らし方についての意向が高い。

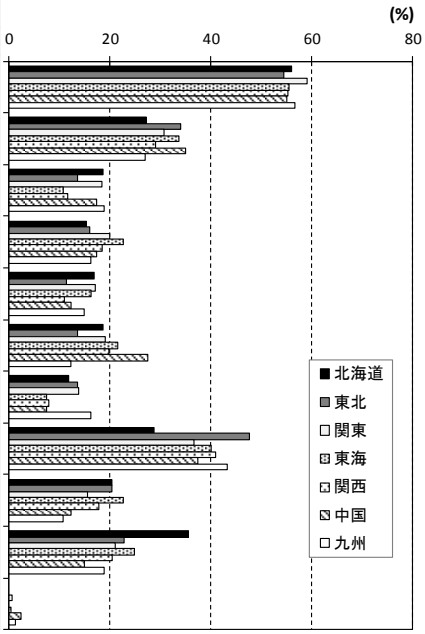
| | 全体 | 男性 | 女性 |
|---|---|---|---|
| 全体(N) | 951 | 562 | 389 |
| 趣味やレジャーを楽しみたい | 57.3 | 60.5 | 52.7 |
| 趣味としての農作業等を楽しみたい | 30.6 | 30.2 | 31.1 |
| 自分のスキルを活かして地域貢献活動をしたい | 16.4 | 19.2 | 12.3 |
| 地域の人たちと触れ合い、地域活動に参画したい | 19.1 | 16.5 | 22.9 |
| 地域の伝統工芸や地域文化を継承する活動に関わりたい | 15.4 | 13.2 | 18.5 |
| 自然環境を守る活動をしたい | 19.0 | 20.1 | 17.5 |
| 同じように都市地域から移住してきた人や都市部から訪れる人と一緒に新しい活動を展開したい | 12.0 | 11.9 | 12.1 |
| 家族や親族、友人との時間を大切にしたい | 38.3 | 31.9 | 47.6 |
| 自給自足の生活を送りたい | 16.7 | 16.0 | 17.7 |
| 静かな環境の中で病気の療養や健康の増進を図りたい | 21.9 | 19.2 | 25.7 |
| その他 | 0.6 | 0.9 | 0.3 |



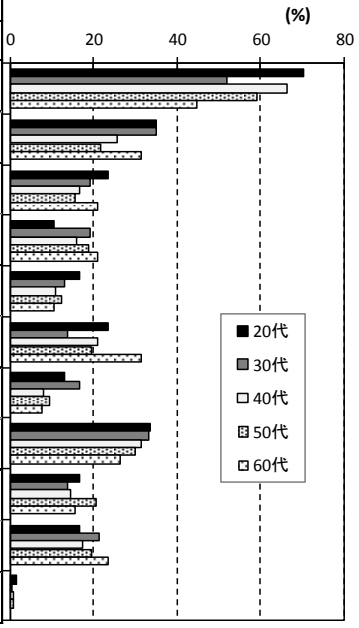
| | 年代別 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 |
| 全体(N) | 227 | 267 | 241 | 155 | 61 |
| 趣味やレジャーを楽しみたい | 67.8 | 49.4 | 63.1 | 52.3 | 42.6 |
| 趣味としての農作業等を楽しみたい | 35.2 | 30.7 | 26.1 | 27.1 | 39.3 |
| 自分のスキルを活かして地域貢献活動をしたい | 18.5 | 16.5 | 15.4 | 14.8 | 16.4 |
| 地域の人たちと触れ合い、地域活動に参画したい | 14.1 | 18.7 | 19.5 | 24.5 | 24.6 |
| 地域の伝統工芸や地域文化を継承する活動に関わりたい | 15.9 | 16.1 | 12.9 | 16.8 | 16.4 |
| 自然環境を守る活動をしたい | 18.5 | 15.4 | 20.7 | 20.0 | 27.9 |
| 同じように都市地域から移住してきた人や都市部から訪れる人と一緒に新しい活動を展開したい | 11.5 | 15.4 | 10.0 | 11.0 | 9.8 |
| 家族や親族、友人との時間を大切にしたい | 43.2 | 39.7 | 37.3 | 33.5 | 29.5 |
| 自給自足の生活を送りたい | 16.7 | 16.9 | 14.1 | 19.4 | 19.7 |
| 静かな環境の中で病気の療養や健康の増進を図りたい | 18.5 | 21.0 | 21.6 | 27.7 | 24.6 |
| その他 | 0.9 | 0.4 | 0.4 | 1.3 | 0.0 |



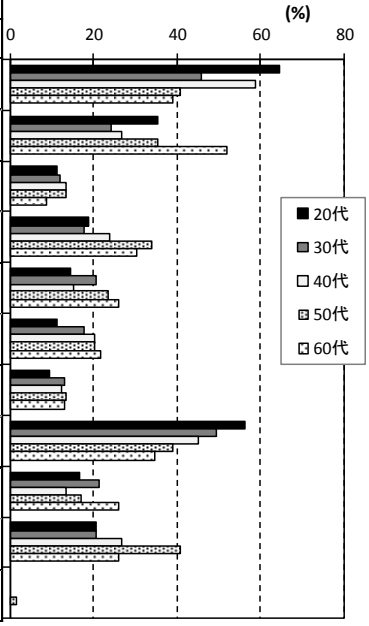

| | 地域ブロック別 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 関西 | 中国 | 九州 |
| 全体(N) | 59 | 44 | 481 | 92 | 161 | 40 | 74 |
| 趣味やレジャーを楽しみたい | 55.9 | 54.5 | 59.0 | 55.4 | 55.3 | 55.0 | 56.8 |
| 趣味としての農作業等を楽しみたい | 27.1 | 34.1 | 30.8 | 33.7 | 29.2 | 35.0 | 27.0 |
| 自分のスキルを活かして地域貢献活動をしたい | 18.6 | 13.6 | 18.5 | 10.9 | 11.8 | 17.5 | 18.9 |
| 地域の人たちと触れ合い、地域活動に参画したい | 15.3 | 15.9 | 20.0 | 22.8 | 18.6 | 17.5 | 16.2 |
| 地域の伝統工芸や地域文化を継承する活動に関わりたい | 16.9 | 11.4 | 17.0 | 16.3 | 11.2 | 12.5 | 14.9 |
| 自然環境を守る活動をしたい | 18.6 | 13.6 | 19.1 | 21.7 | 19.9 | 27.5 | 12.2 |
| 同じように都市地域から移住してきた人や都市部から訪れる人と一緒に新しい活動を展開したい | 11.9 | 13.6 | 13.7 | 7.6 | 8.1 | 7.5 | 16.2 |
| 家族や親族、友人との時間を大切にしたい | 28.8 | 47.7 | 36.6 | 40.2 | 41.0 | 37.5 | 43.2 |
| 自給自足の生活を送りたい | 20.3 | 20.5 | 15.6 | 22.8 | 18.0 | 12.5 | 10.8 |
| 静かな環境の中で病気の療養や健康の増進を図りたい | 35.6 | 22.7 | 21.0 | 25.0 | 20.5 | 15.0 | 18.9 |
| その他 | 0.0 | 0.0 | 0.6 | 0.0 | 0.6 | 2.5 | 1.4 |



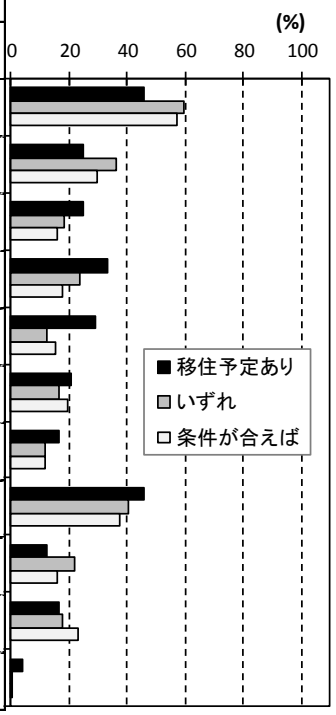
| | 男性 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 |
| 全体(N) | 131 | 160 | 137 | 96 | 38 |
| 趣味やレジャーを楽しみたい | 70.2 | 51.9 | 66.4 | 59.4 | 44.7 |
| 趣味としての農作業等を楽しみたい | 35.1 | 35.0 | 25.5 | 21.9 | 31.6 |
| 自分のスキルを活かして地域貢献活動をしたい | 23.7 | 19.4 | 16.8 | 15.6 | 21.1 |
| 地域の人たちと触れ合い、地域活動に参画したい | 10.7 | 19.4 | 16.1 | 18.8 | 21.1 |
| 地域の伝統工芸や地域文化を継承する活動に関わりたい | 16.8 | 13.1 | 10.9 | 12.5 | 10.5 |
| 自然環境を守る活動をしたい | 23.7 | 13.8 | 21.2 | 19.8 | 31.6 |
| 同じように都市地域から移住してきた人や都市部から訪れる人と一緒に新しい活動を展開したい | 13.0 | 16.9 | 8.0 | 9.4 | 7.9 |
| 家族や親族、友人との時間を大切にしたい | 33.6 | 33.1 | 31.4 | 30.2 | 26.3 |
| 自給自足の生活を送りたい | 16.8 | 13.8 | 14.6 | 20.8 | 15.8 |
| 静かな環境の中で病気の療養や健康の増進を図りたい | 16.8 | 21.3 | 17.5 | 19.8 | 23.7 |
| その他 | 1.5 | 0.6 | 0.7 | 1.0 | 0.0 |




| | 女性 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 |
| 全体(N) | 96 | 107 | 104 | 59 | 23 |
| 趣味やレジャーを楽しみたい | 64.6 | 45.8 | 58.7 | 40.7 | 39.1 |
| 趣味としての農作業等を楽しみたい | 35.4 | 24.3 | 26.9 | 35.6 | 52.2 |
| 自分のスキルを活かして地域貢献活動をしたい | 11.5 | 12.1 | 13.5 | 13.6 | 8.7 |
| 地域の人たちと触れ合い、地域活動に参画したい | 18.8 | 17.8 | 24.0 | 33.9 | 30.4 |
| 地域の伝統工芸や地域文化を継承する活動に関わりたい | 14.6 | 20.6 | 15.4 | 23.7 | 26.1 |
| 自然環境を守る活動をしたい | 11.5 | 17.8 | 20.2 | 20.3 | 21.7 |
| 同じように都市地域から移住してきた人や都市部から訪れる人と一緒に新しい活動を展開したい | 9.4 | 13.1 | 12.5 | 13.6 | 13.0 |
| 家族や親族、友人との時間を大切にしたい | 56.3 | 49.5 | 45.2 | 39.0 | 34.8 |
| 自給自足の生活を送りたい | 16.7 | 21.5 | 13.5 | 16.9 | 26.1 |
| 静かな環境の中で病気の療養や健康の増進を図りたい | 20.8 | 20.6 | 26.9 | 40.7 | 26.1 |
| その他 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.7 | 0.0 |



| | 農山漁村地域への移住意向 | | |
|---|---|---|---|
| | 移住予定あり | いずれ | 条件が合えば |
| 全体(N) | 24 | 168 | 759 |
| 趣味やレジャーを楽しみたい | 45.8 | 59.5 | 57.2 |
| 趣味としての農作業等を楽しみたい | 25.0 | 36.3 | 29.5 |
| 自分のスキルを活かして地域貢献活動をしたい | 25.0 | 18.5 | 15.7 |
| 地域の人たちと触れ合い、地域活動に参画したい | 33.3 | 23.8 | 17.7 |
| 地域の伝統工芸や地域文化を継承する活動に関わりたい | 29.2 | 12.5 | 15.5 |
| 自然環境を守る活動をしたい | 20.8 | 16.7 | 19.5 |
| 同じように都市地域から移住してきた人や都市部から訪れる人と一緒に新しい活動を展開したい | 16.7 | 11.9 | 11.9 |
| 家族や親族、友人との時間を大切にしたい | 45.8 | 40.5 | 37.5 |
| 自給自足の生活を送りたい | 12.5 | 22.0 | 15.7 |
| 静かな環境の中で病気の療養や健康の増進を図りたい | 16.7 | 17.9 | 22.9 |
| その他 | 4.2 | 0.6 | 0.5 |

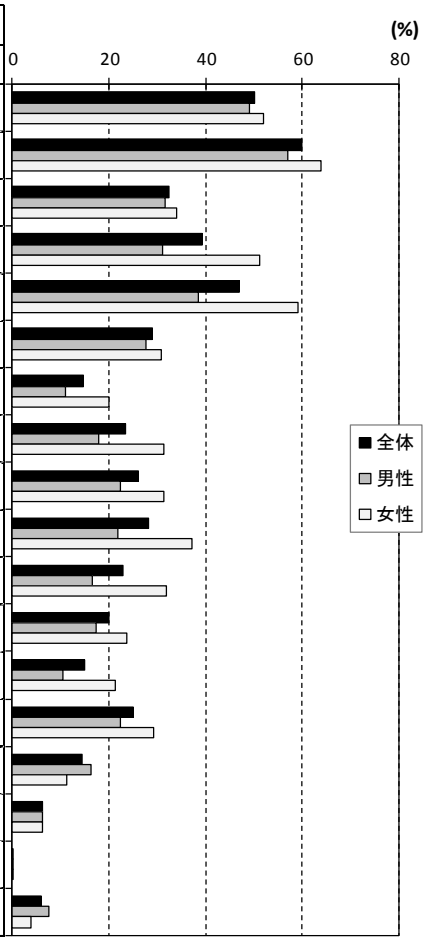



「移住予定あり」・・・農山漁村地域に移住する予定がある
「いずれ」・・・いずれは（ゆくゆくは）農山漁村地域に移住したいと思う
「条件が合えば」・・・条件が合えば農山漁村地域に移住してみてもよいと思う

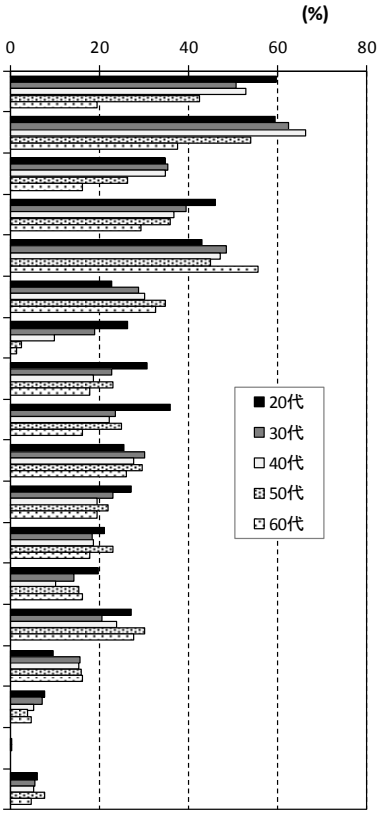
**問17. あなたは、農山漁村地域への移住に対し、何か不安や懸念をお持ちですか。（○はいくつでも）**

- ► 全体では、「生活を維持していけるだけの収入が得られるか」が 59.8%で最も高く、次いで、「希望する条件・内容の仕事（働き口）があるか」が 50.3%、「病院や診療所、介護施設など医療・福祉の環境が整っているか」が 46.9%と続いている。
- ► 男女別でみると、女性は、ほとんどの項目で男性よりも不安や懸念を持つ回答の割合が高い。
- ► 年代別でみると、若い世代ほど、仕事や収入への不安があると回答する割合が高い。
- ► 性別・年代別でみると、男女ともに 30 代～50 代で、「生活を維持していけるだけの収入が得られるか」の割合が最も高い。また、女性は全ての年代で、「都市部へのアクセス手段が確保できるか」、「移住先での人間関係がうまく構築できるか」、「移住先の気候や風土に順応できるか」、「野生の動物や虫・昆虫などが出没しないか」の割合が男性より高い。
- ► 農山漁村地域への移住意向の程度別にみると、移住予定がある者は「特に不安なことや懸念していることはない」が 25.0%で、他の移住意向の者と比べ割合が高い。一方、条件が合えば移住してもよいとする者は、他の移住意向の者と比べ、ほぼすべての項目で割合が高く、特に、収入や働き口については、半数以上が不安や懸念を持っている。また、仕事や収入面、生活関連施設や医療・福祉体制への不安などは、移住意向の程度による差がみられるが、「定住するために必要な住居が確保できるか」や「移住先での人間関係がうまく構築できるか（地域にうまくとけこめるか）」などではあまり差はみられず、移住予定がある者でも、約３割は不安があると回答している。

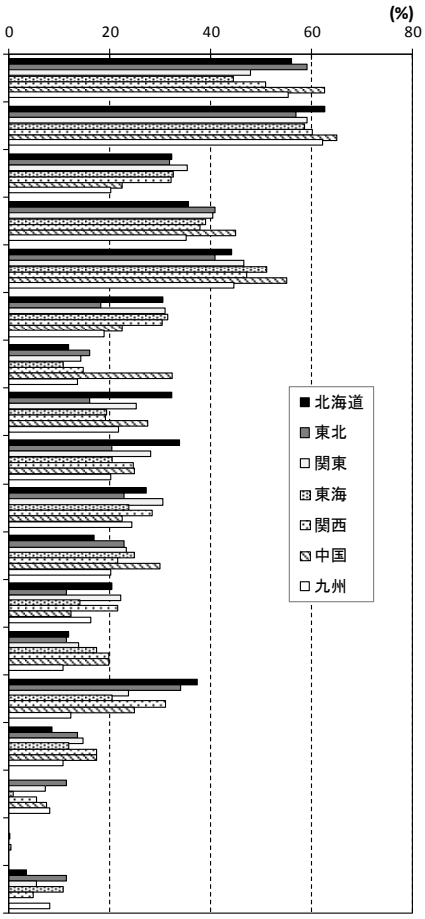
| | 全体 | 男性 | 女性 |
|---|---|---|---|
| 全体(N) | 951 | 562 | 389 |
| 希望する条件・内容の仕事（働き口）があるか | 50.3 | 49.1 | 51.9 |
| 生活を維持していけるだけの収入が得られるか | 59.8 | 56.9 | 64.0 |
| 収入に対して生活コスト（物価・光熱費・住居費・交通費など）が高くつくのではないか | 32.5 | 31.5 | 33.9 |
| 買い物、娯楽など日常生活に必要なサービスや生活関連施設があるか | 39.3 | 31.1 | 51.2 |
| 病院や診療所、介護施設など医療・福祉の環境が整っているか | 46.9 | 38.4 | 59.1 |
| 定住するために必要な住居が確保できるか | 29.0 | 27.8 | 30.8 |
| 子育て環境（保育・教育施設）が十分か | 14.7 | 11.0 | 20.1 |
| 地域内で移動するための交通手段が確保できるか | 23.4 | 18.0 | 31.4 |
| 都市部へのアクセス手段が確保できるか | 26.1 | 22.4 | 31.4 |
| 移住先での人間関係がうまく構築できるか（地域にうまくとけこめるか） | 28.2 | 21.9 | 37.3 |
| 災害対策や緊急時の危機管理体制は十分か | 22.8 | 16.5 | 31.9 |
| 移住先の気候や風土に順応できるか | 19.9 | 17.3 | 23.7 |
| 野生の動物や虫・昆虫などが出没しないか | 14.9 | 10.5 | 21.3 |
| 将来にわたり生活環境が維持されるか（住み続けられるか） | 25.1 | 22.2 | 29.3 |
| 配偶者の同意が得られるか | 14.3 | 16.4 | 11.3 |
| 配偶者以外の同居家族（子どもや親、兄弟姉妹など）の同意が得られるか | 6.2 | 6.2 | 6.2 |
| その他 | 0.2 | 0.2 | 0.3 |
| 特に不安なことや懸念していることはない | 6.0 | 7.5 | 3.9 |



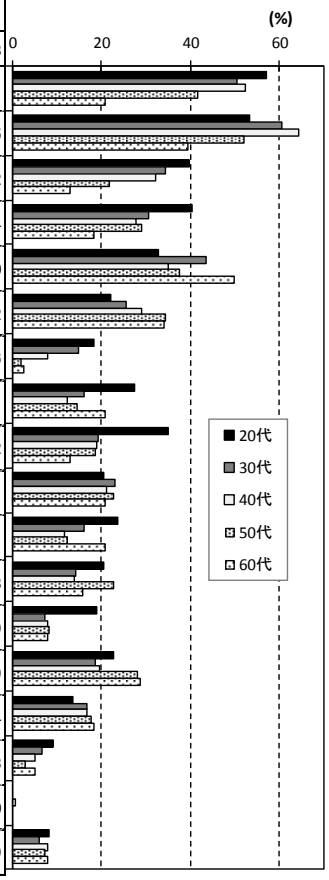
| | 年代別 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 |
| 全体(N) | 227 | 267 | 241 | 155 | 61 |
| 希望する条件・内容の仕事（働き口）があるか | 59.9 | 50.9 | 53.1 | 42.6 | 19.7 |
| 生活を維持していけるだけの収入が得られるか | 59.5 | 62.5 | 66.4 | 54.2 | 37.7 |
| 収入に対して生活コスト（物価・光熱費・住居費・交通費など）が高くつくのではないか | 34.8 | 35.6 | 34.9 | 26.5 | 16.4 |
| 買い物、娯楽など日常生活に必要なサービスや生活関連施設があるか | 46.3 | 39.7 | 36.9 | 36.1 | 29.5 |
| 病院や診療所、介護施設など医療・福祉の環境が整っているか | 43.2 | 48.7 | 47.3 | 45.2 | 55.7 |
| 定住するために必要な住居が確保できるか | 22.9 | 28.8 | 30.3 | 34.8 | 32.8 |
| 子育て環境（保育・教育施設）が十分か | 26.4 | 19.1 | 10.0 | 2.6 | 1.6 |
| 地域内で移動するための交通手段が確保できるか | 30.8 | 22.8 | 18.7 | 23.2 | 18.0 |
| 都市部へのアクセス手段が確保できるか | 36.1 | 23.6 | 22.4 | 25.2 | 16.4 |
| 移住先での人間関係がうまく構築できるか（地域にうまくとけこめるか） | 25.6 | 30.3 | 27.8 | 29.7 | 26.2 |
| 災害対策や緊急時の危機管理体制は十分か | 27.3 | 23.2 | 19.5 | 21.9 | 19.7 |
| 移住先の気候や風土に順応できるか | 21.1 | 18.4 | 18.7 | 23.2 | 18.0 |
| 野生の動物や虫・昆虫などが出没しないか | 19.8 | 14.2 | 10.4 | 15.5 | 16.4 |
| 将来にわたり生活環境が維持されるか（住み続けられるか） | 27.3 | 20.6 | 24.1 | 30.3 | 27.9 |
| 配偶者の同意が得られるか | 9.7 | 15.7 | 15.4 | 16.1 | 16.4 |
| 配偶者以外の同居家族（子どもや親、兄弟姉妹など）の同意が得られるか | 7.9 | 7.1 | 5.4 | 3.9 | 4.9 |
| その他 | 0.0 | 0.4 | 0.4 | 0.0 | 0.0 |
| 特に不安なことや懸念していることはない | 6.2 | 5.6 | 5.4 | 7.7 | 4.9 |



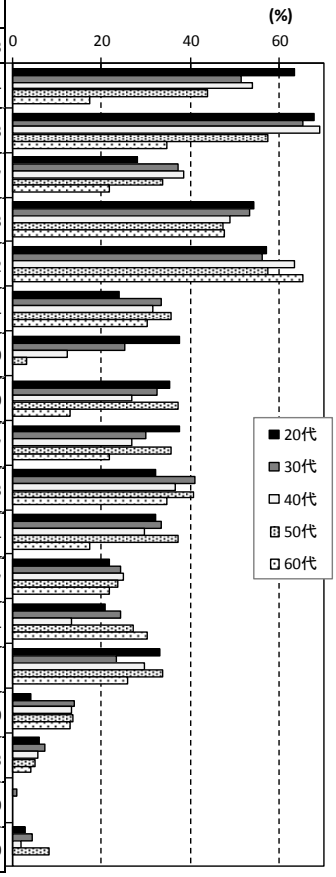

| | 地域ブロック別 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 関西 | 中国 | 九州 |
| 全体(N) | 59 | 44 | 481 | 92 | 161 | 40 | 74 |
| 希望する条件・内容の仕事（働き口）があるか | 55.9 | 59.1 | 47.8 | 44.6 | 50.9 | 62.5 | 55.4 |
| 生活を維持していけるだけの収入が得られるか | 62.7 | 56.8 | 59.0 | 58.7 | 60.2 | 65.0 | 62.2 |
| 収入に対して生活コスト（物価・光熱費・住居費・交通費など）が高くつくのではないか | 32.2 | 31.8 | 35.3 | 32.6 | 32.3 | 22.5 | 20.3 |
| 買い物、娯楽など日常生活に必要なサービスや生活関連施設があるか | 35.6 | 40.9 | 40.3 | 39.1 | 37.9 | 45.0 | 35.1 |
| 病院や診療所、介護施設など医療・福祉の環境が整っているか | 44.1 | 40.9 | 46.6 | 51.1 | 47.2 | 55.0 | 44.6 |
| 定住するために必要な住居が確保できるか | 30.5 | 18.2 | 31.0 | 31.5 | 30.4 | 22.5 | 18.9 |
| 子育て環境（保育・教育施設）が十分か | 11.9 | 15.9 | 14.3 | 10.9 | 14.9 | 32.5 | 13.5 |
| 地域内で移動するための交通手段が確保できるか | 32.2 | 15.9 | 25.2 | 19.6 | 19.3 | 27.5 | 21.6 |
| 都市部へのアクセス手段が確保できるか | 33.9 | 20.5 | 28.1 | 20.7 | 24.8 | 25.0 | 20.3 |
| 移住先での人間関係がうまく構築できるか（地域にうまくとけこめるか） | 27.1 | 22.7 | 30.6 | 23.9 | 28.6 | 22.5 | 24.3 |
| 災害対策や緊急時の危機管理体制は十分か | 16.9 | 22.7 | 23.3 | 25.0 | 21.7 | 30.0 | 20.3 |
| 移住先の気候や風土に順応できるか | 20.3 | 11.4 | 22.2 | 14.1 | 21.7 | 12.5 | 16.2 |
| 野生の動物や虫・昆虫などが出没しないか | 11.9 | 11.4 | 13.7 | 17.4 | 19.9 | 20.0 | 10.8 |
| 将来にわたり生活環境が維持されるか（住み続けられるか） | 37.3 | 34.1 | 23.7 | 20.7 | 31.1 | 25.0 | 12.2 |
| 配偶者の同意が得られるか | 8.5 | 13.6 | 14.8 | 12.0 | 17.4 | 17.5 | 10.8 |
| 配偶者以外の同居家族（子どもや親、兄弟姉妹など）の同意が得られるか | 0.0 | 11.4 | 7.3 | 1.1 | 5.6 | 7.5 | 8.1 |
| その他 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 0.6 | 0.0 | 0.0 |
| 特に不安なことや懸念していることはない | 3.4 | 11.4 | 5.4 | 10.9 | 5.0 | 0.0 | 8.1 |



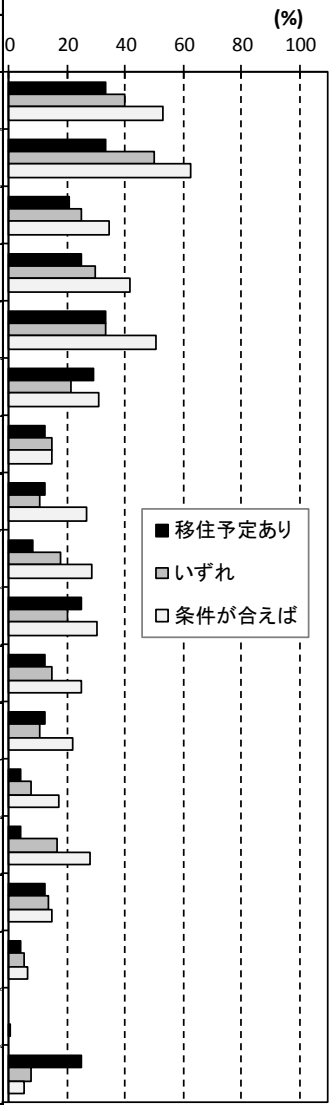
| | 男性 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 |
| 全体(N) | 131 | 160 | 137 | 96 | 38 |
| 希望する条件・内容の仕事（働き口）があるか | 57.3 | 50.6 | 52.6 | 41.7 | 21.1 |
| 生活を維持していけるだけの収入が得られるか | 53.4 | 60.6 | 64.2 | 52.1 | 39.5 |
| 収入に対して生活コスト（物価・光熱費・住居費・交通費など）が高くつくのではないか | 39.7 | 34.4 | 32.1 | 21.9 | 13.2 |
| 買い物、娯楽など日常生活に必要なサービスや生活関連施設があるか | 40.5 | 30.6 | 27.7 | 29.2 | 18.4 |
| 病院や診療所、介護施設など医療・福祉の環境が整っているか | 32.8 | 43.8 | 35.0 | 37.5 | 50.0 |
| 定住するために必要な住居が確保できるか | 22.1 | 25.6 | 29.2 | 34.4 | 34.2 |
| 子育て環境（保育・教育施設）が十分か | 18.3 | 15.0 | 8.0 | 2.1 | 2.6 |
| 地域内で移動するための交通手段が確保できるか | 27.5 | 16.3 | 12.4 | 14.6 | 21.1 |
| 都市部へのアクセス手段が確保できるか | 35.1 | 19.4 | 19.0 | 18.8 | 13.2 |
| 移住先での人間関係がうまく構築できるか（地域にうまくとけこめるか） | 20.6 | 23.1 | 21.2 | 22.9 | 21.1 |
| 災害対策や緊急時の危機管理体制は十分か | 23.7 | 16.3 | 11.7 | 12.5 | 21.1 |
| 移住先の気候や風土に順応できるか | 20.6 | 14.4 | 13.9 | 22.9 | 15.8 |
| 野生の動物や虫・昆虫などが出没しないか | 19.1 | 7.5 | 8.0 | 8.3 | 7.9 |
| 将来にわたり生活環境が維持されるか（住み続けられるか） | 22.9 | 18.8 | 19.7 | 28.1 | 28.9 |
| 配偶者の同意が得られるか | 13.7 | 16.9 | 16.8 | 17.7 | 18.4 |
| 配偶者以外の同居家族（子どもや親、兄弟姉妹など）の同意が得られるか | 9.2 | 6.9 | 5.1 | 3.1 | 5.3 |
| その他 | 0.0 | 0.0 | 0.7 | 0.0 | 0.0 |
| 特に不安なことや懸念していることはない | 8.4 | 6.3 | 8.0 | 7.3 | 7.9 |




| | 女性 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 |
| 全体(N) | 96 | 107 | 104 | 59 | 23 |
| 希望する条件・内容の仕事（働き口）があるか | 63.5 | 51.4 | 53.8 | 44.1 | 17.4 |
| 生活を維持していけるだけの収入が得られるか | 67.7 | 65.4 | 69.2 | 57.6 | 34.8 |
| 収入に対して生活コスト（物価・光熱費・住居費・交通費など）が高くつくのではないか | 28.1 | 37.4 | 38.5 | 33.9 | 21.7 |
| 買い物、娯楽など日常生活に必要なサービスや生活関連施設があるか | 54.2 | 53.3 | 49.0 | 47.5 | 47.8 |
| 病院や診療所、介護施設など医療・福祉の環境が整っているか | 57.3 | 56.1 | 63.5 | 57.6 | 65.2 |
| 定住するために必要な住居が確保できるか | 24.0 | 33.6 | 31.7 | 35.6 | 30.4 |
| 子育て環境（保育・教育施設）が十分か | 37.5 | 25.2 | 12.5 | 3.4 | 0.0 |
| 地域内で移動するための交通手段が確保できるか | 35.4 | 32.7 | 26.9 | 37.3 | 13.0 |
| 都市部へのアクセス手段が確保できるか | 37.5 | 29.9 | 26.9 | 35.6 | 21.7 |
| 移住先での人間関係がうまく構築できるか（地域にうまくとけこめるか） | 32.3 | 41.1 | 36.5 | 40.7 | 34.8 |
| 災害対策や緊急時の危機管理体制は十分か | 32.3 | 33.6 | 29.8 | 37.3 | 17.4 |
| 移住先の気候や風土に順応できるか | 21.9 | 24.3 | 25.0 | 23.7 | 21.7 |
| 野生の動物や虫・昆虫などが出没しないか | 20.8 | 24.3 | 13.5 | 27.1 | 30.4 |
| 将来にわたり生活環境が維持されるか（住み続けられるか） | 33.3 | 23.4 | 29.8 | 33.9 | 26.1 |
| 配偶者の同意が得られるか | 4.2 | 14.0 | 13.5 | 13.6 | 13.0 |
| 配偶者以外の同居家族（子どもや親、兄弟姉妹など）の同意が得られるか | 6.3 | 7.5 | 5.8 | 5.1 | 4.3 |
| その他 | 0.0 | 0.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 特に不安なことや懸念していることはない | 3.1 | 4.7 | 1.9 | 8.5 | 0.0 |



| | 農山漁村地域への移住意向 | | |
|---|---|---|---|
| | 移住予定あり | いずれ | 条件が合えば |
| 全体(N) | 24 | 168 | 759 |
| 希望する条件・内容の仕事(働き口)があるか | 33.3 | 39.9 | 53.1 |
| 生活を維持していけるだけの収入が得られるか | 33.3 | 50.0 | 62.8 |
| 収入に対して生活コスト(物価・光熱費・住居費・交通費など)が高くつくのではないか | 20.8 | 25.0 | 34.5 |
| 買い物、娯楽など日常生活に必要なサービスや生活関連施設があるか | 25.0 | 29.8 | 41.9 |
| 病院や診療所、介護施設など医療・福祉の環境が整っているか | 33.3 | 33.3 | 50.3 |
| 定住するために必要な住居が確保できるか | 29.2 | 21.4 | 30.7 |
| 子育て環境(保育・教育施設)が十分か | 12.5 | 14.9 | 14.8 |
| 地域内で移動するための交通手段が確保できるか | 12.5 | 10.7 | 26.6 |
| 都市部へのアクセス手段が確保できるか | 8.3 | 17.9 | 28.5 |
| 移住先での人間関係がうまく構築できるか(地域にうまくとけこめるか) | 25.0 | 20.2 | 30.0 |
| 災害対策や緊急時の危機管理体制は十分か | 12.5 | 14.9 | 24.9 |
| 移住先の気候や風土に順応できるか | 12.5 | 10.7 | 22.1 |
| 野生の動物や虫・昆虫などが出没しないか | 4.2 | 7.7 | 16.9 |
| 将来にわたり生活環境が維持されるか(住み続けられるか) | 4.2 | 16.7 | 27.7 |
| 配偶者の同意が得られるか | 12.5 | 13.7 | 14.5 |
| 配偶者以外の同居家族(子どもや親、兄弟姉妹など)の同意が得られるか | 4.2 | 5.4 | 6.5 |
| その他 | 0.0 | 0.0 | 0.3 |
| 特に不安なことや懸念していることはない | 25.0 | 7.7 | 5.0 |



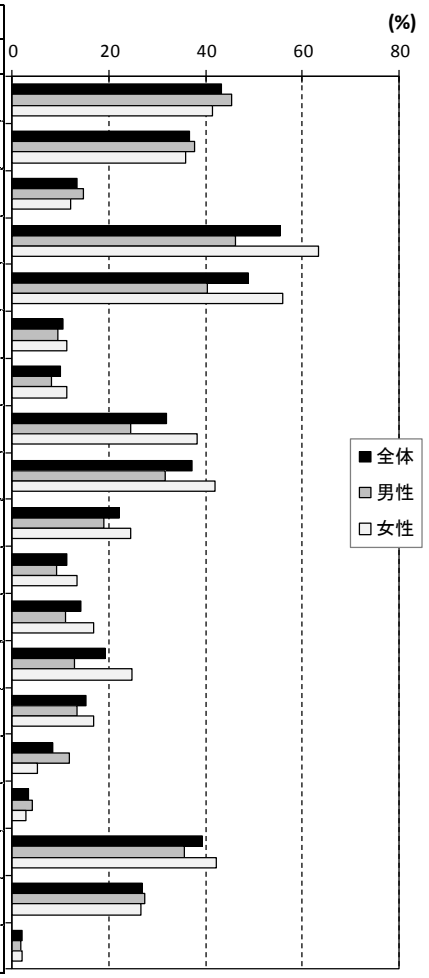

「移住予定あり」・・・農山漁村地域に移住する予定がある
「いずれ」・・・いずれは（ゆくゆくは）農山漁村地域に移住したいと思う
「条件が合えば」・・・条件が合えば農山漁村地域に移住してみてもよいと思う

【問 18 は、問 9 で農山漁村への移住意向を示さなかった人のみ】

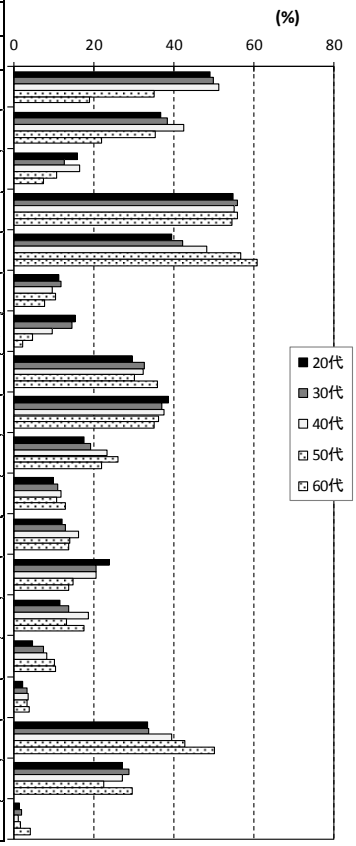
**問18. あなたが農山漁村地域に移住してみたいと思わないのはなぜですか。（○はいくつでも）**

- ► 全体では、「買い物、娯楽など日常生活に必要なサービスや生活関連施設が十分ではなさそうだから」が 55.5%で最も割合が高く、次いで、「病院や診療所、介護施設など医療・福祉の環境が十分ではなさそうだから」が 48.9%、「希望する条件・内容の仕事（働き口）がなさそうだから」が 43.3%と続いている。
- ► 年代別でみると、若い世代ほど、仕事や収入への不安があると回答する割合が高い。その一方で年代が高くなるほど、「病院や診療所、介護施設など医療・福祉の環境が十分ではなさそうだから」及び「今の都市地域での生活に不満がないから」の割合が高い。
- ► 性別・年代別でみると、20 代～40 代男性では、「希望する条件・内容の仕事（働き口）がないから」の割合が最も高い。一方、20～50 代女性では、「買い物、娯楽など日常生活に必要なサービスや生活関連施設が十分ではなさそうだから」の割合が最も高い。また、女性は全ての年代で、「都市部へのアクセス手段が十分ではなさそうだから」、「移住先の気候や風土に順応できるか不安だから」、「野生の動物や虫・昆虫などが出没しないか」、「今の都市地域での生活に不満がないから」の割合が男性より高い。

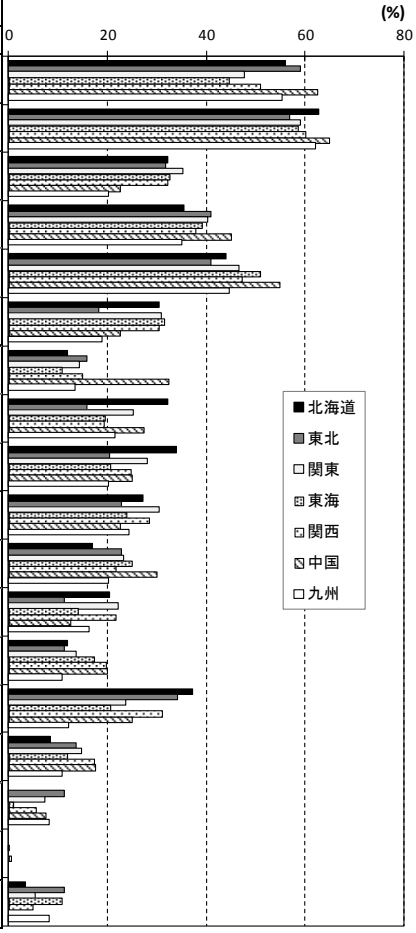
| | 全体 | 男性 | 女性 |
|---|---|---|---|
| 全体(N) | 2,165 | 996 | 1,169 |
| 希望する条件・内容の仕事（働き口）がなさそうだから | 43.3 | 45.5 | 41.5 |
| 生活を維持していけるだけの収入が得られそうにないから | 36.7 | 37.7 | 35.9 |
| 収入に対して生活コスト（物価・光熱費・住居費・交通費など）が高くつきそうだから | 13.3 | 14.8 | 12.1 |
| 買い物、娯楽など日常生活に必要なサービスや生活関連施設が十分ではなさそうだから | 55.5 | 46.1 | 63.5 |
| 病院や診療所、介護施設など医療・福祉の環境が十分ではなさそうだから | 48.9 | 40.5 | 56.0 |
| 希望する条件の住居が確保できるかわからないから | 10.4 | 9.3 | 11.3 |
| 子育て環境（保育・教育施設）が十分ではなさそうだから | 9.8 | 8.1 | 11.3 |
| 地域内での移動の交通手段が十分ではなさそうだから | 31.9 | 24.5 | 38.2 |
| 都市部へのアクセス手段が十分ではなさそうだから | 37.1 | 31.6 | 41.8 |
| 移住先での人間関係がうまく構築できるか（地域にとけこめるか）不安だから | 22.0 | 19.0 | 24.6 |
| 災害対策や緊急時の危機管理体制に不安があるから | 11.3 | 9.0 | 13.3 |
| 移住先の気候や風土に順応できるか不安だから | 14.1 | 10.9 | 16.9 |
| 野生の動物や虫・昆虫などが出没しそうだから | 19.2 | 12.8 | 24.6 |
| 将来にわたり生活環境が維持されるか（住み続けられるか）不安だから | 15.2 | 13.4 | 16.7 |
| 配偶者の同意が得られそうにないから | 8.3 | 11.8 | 5.2 |
| 配偶者以外の同居家族（子どもや親、兄弟姉妹など）の同意が得られそうにないから | 3.4 | 4.0 | 2.9 |
| 今の都市地域での生活に不満がないから | 39.2 | 35.6 | 42.3 |
| 都市地域での暮らし以上の魅力を感じないから | 26.9 | 27.3 | 26.5 |
| その他 | 1.9 | 1.8 | 2.1 |



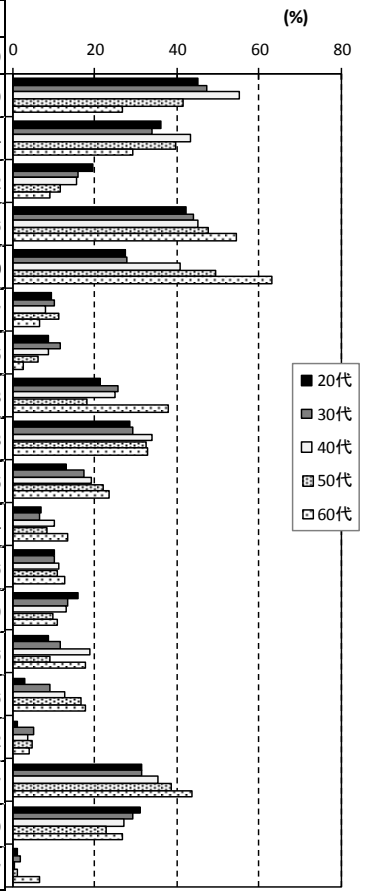
| | 年代別 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 |
| 全体(N) | 371 | 467 | 593 | 481 | 253 |
| 希望する条件・内容の仕事（働き口）がなさそうだから | 49.1 | 50.1 | 51.4 | 35.1 | 19.0 |
| 生活を維持していけるだけの収入が得られそうにないから | 36.9 | 38.5 | 42.5 | 35.3 | 22.1 |
| 収入に対して生活コスト（物価・光熱費・住居費・交通費など）が高くつきそうだから | 15.9 | 12.8 | 16.5 | 10.8 | 7.5 |
| 買い物、娯楽など日常生活に必要なサービスや生活関連施設が十分ではなさそうだから | 55.0 | 55.9 | 55.3 | 56.1 | 54.5 |
| 病院や診療所、介護施設など医療・福祉の環境が十分ではなさそうだから | 39.6 | 42.4 | 48.2 | 56.8 | 60.9 |
| 希望する条件の住居が確保できるかわからないから | 11.3 | 11.8 | 9.6 | 10.6 | 7.9 |
| 子育て環境（保育・教育施設）が十分ではなさそうだから | 15.4 | 14.8 | 9.8 | 4.8 | 2.4 |
| 地域内での移動の交通手段が十分ではなさそうだから | 29.6 | 32.8 | 32.4 | 30.1 | 36.0 |
| 都市部へのアクセス手段が十分ではなさそうだから | 38.8 | 37.0 | 37.6 | 36.4 | 35.2 |
| 移住先での人間関係がうまく構築できるか（地域にとけこめるか）不安だから | 17.5 | 19.3 | 23.4 | 26.2 | 22.1 |
| 災害対策や緊急時の危機管理体制に不安があるから | 10.0 | 11.1 | 12.0 | 10.8 | 13.0 |
| 移住先の気候や風土に順応できるか不安だから | 12.1 | 13.1 | 16.4 | 14.1 | 13.8 |
| 野生の動物や虫・昆虫などが出没しそうだから | 24.0 | 20.8 | 20.6 | 15.0 | 13.8 |
| 将来にわたり生活環境が維持されるか（住み続けられるか）不安だから | 11.6 | 13.7 | 18.9 | 13.3 | 17.8 |
| 配偶者の同意が得られそうにないから | 4.9 | 7.5 | 8.3 | 10.4 | 10.7 |
| 配偶者以外の同居家族（子どもや親、兄弟姉妹など）の同意が得られそうにないから | 2.4 | 3.4 | 3.7 | 3.5 | 4.0 |
| 今の都市地域での生活に不満がないから | 33.4 | 33.8 | 39.5 | 42.8 | 50.2 |
| 都市地域での暮らし以上の魅力を感じないから | 27.2 | 28.9 | 27.3 | 22.7 | 29.6 |
| その他 | 1.6 | 1.9 | 1.2 | 1.9 | 4.3 |



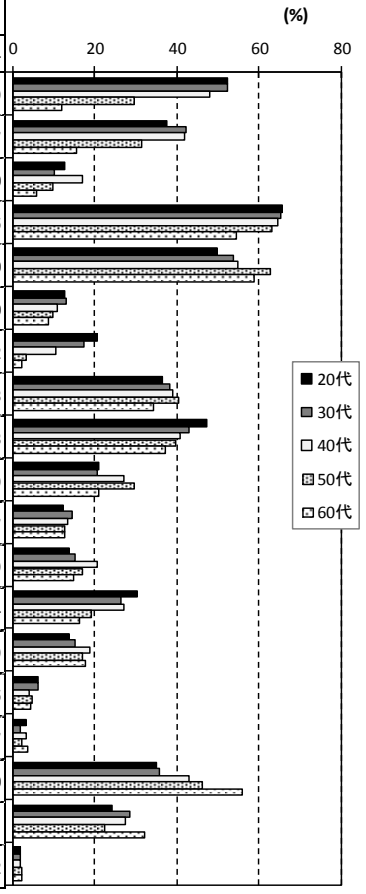

| | 地域ブロック別 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 関西 | 中国 | 九州 |
| 全体(N) | 59 | 44 | 481 | 92 | 161 | 40 | 74 |
| 希望する条件・内容の仕事（働き口）があるか | 55.9 | 59.1 | 47.8 | 44.6 | 50.9 | 62.5 | 55.4 |
| 生活を維持していけるだけの収入が得られるか | 62.7 | 56.8 | 59.0 | 58.7 | 60.2 | 65.0 | 62.2 |
| 収入に対して生活コスト（物価・光熱費・住居費・交通費など）が高くつくのではないか | 32.2 | 31.8 | 35.3 | 32.6 | 32.3 | 22.5 | 20.3 |
| 買い物、娯楽など日常生活に必要なサービスや生活関連施設があるか | 35.6 | 40.9 | 40.3 | 39.1 | 37.9 | 45.0 | 35.1 |
| 病院や診療所、介護施設など医療・福祉の環境が整っているか | 44.1 | 40.9 | 46.6 | 51.1 | 47.2 | 55.0 | 44.6 |
| 定住するために必要な住居が確保できるか | 30.5 | 18.2 | 31.0 | 31.5 | 30.4 | 22.5 | 18.9 |
| 子育て環境（保育・教育施設）が十分か | 11.9 | 15.9 | 14.3 | 10.9 | 14.9 | 32.5 | 13.5 |
| 地域内で移動するための交通手段が確保できるか | 32.2 | 15.9 | 25.2 | 19.6 | 19.3 | 27.5 | 21.6 |
| 都市部へのアクセス手段が確保できるか | 33.9 | 20.5 | 28.1 | 20.7 | 24.8 | 25.0 | 20.3 |
| 移住先での人間関係がうまく構築できるか（地域にうまくとけこめるか） | 27.1 | 22.7 | 30.6 | 23.9 | 28.6 | 22.5 | 24.3 |
| 災害対策や緊急時の危機管理体制は十分か | 16.9 | 22.7 | 23.3 | 25.0 | 21.7 | 30.0 | 20.3 |
| 移住先の気候や風土に順応できるか | 20.3 | 11.4 | 22.2 | 14.1 | 21.7 | 12.5 | 16.2 |
| 野生の動物や虫・昆虫などが出没しないか | 11.9 | 11.4 | 13.7 | 17.4 | 19.9 | 20.0 | 10.8 |
| 将来にわたり生活環境が維持されるか（住み続けられるか） | 37.3 | 34.1 | 23.7 | 20.7 | 31.1 | 25.0 | 12.2 |
| 配偶者の同意が得られるか | 8.5 | 13.6 | 14.8 | 12.0 | 17.4 | 17.5 | 10.8 |
| 配偶者以外の同居家族（子どもや親、兄弟姉妹など）の同意が得られるか | 0.0 | 11.4 | 7.3 | 1.1 | 5.6 | 7.5 | 8.1 |
| その他 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 0.6 | 0.0 | 0.0 |
| 特に不安なことや懸念していることはない | 3.4 | 11.4 | 5.4 | 10.9 | 5.0 | 0.0 | 8.1 |



| | 男性 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 |
| 全体(N) | 168 | 207 | 280 | 222 | 119 |
| 希望する条件・内容の仕事(働き口)がなさそうだから | 45.2 | 47.3 | 55.4 | 41.4 | 26.9 |
| 生活を維持していけるだけの収入が得られそうにないから | 36.3 | 33.8 | 43.2 | 39.6 | 29.4 |
| 収入に対して生活コスト(物価・光熱費・住居費・交通費など)が高くつきそうだから | 19.6 | 15.9 | 15.7 | 11.7 | 9.2 |
| 買い物、娯楽など日常生活に必要なサービスや生活関連施設が十分ではなさそうだから | 42.3 | 44.0 | 45.0 | 47.7 | 54.6 |
| 病院や診療所、介護施設など医療・福祉の環境が十分ではなさそうだから | 27.4 | 28.0 | 40.7 | 49.5 | 63.0 |
| 希望する条件の住居が確保できるかわからないから | 9.5 | 10.1 | 8.2 | 11.3 | 6.7 |
| 子育て環境(保育・教育施設)が十分ではなさそうだから | 8.9 | 11.6 | 8.9 | 6.3 | 2.5 |
| 地域内での移動の交通手段が十分ではなさそうだから | 21.4 | 25.6 | 25.0 | 18.0 | 37.8 |
| 都市部へのアクセス手段が十分ではなさそうだから | 28.6 | 29.5 | 33.9 | 32.4 | 32.8 |
| 移住先での人間関係がうまく構築できるか(地域にとけこめるか)不安だから | 13.1 | 17.4 | 19.3 | 22.1 | 23.5 |
| 災害対策や緊急時の危機管理体制に不安があるから | 7.1 | 6.8 | 10.4 | 8.6 | 13.4 |
| 移住先の気候や風土に順応できるか不安だから | 10.1 | 10.1 | 11.4 | 10.8 | 12.6 |
| 野生の動物や虫・昆虫などが出没しそうだから | 16.1 | 13.5 | 13.2 | 9.9 | 10.9 |
| 将来にわたり生活環境が維持されるか(住み続けられるか)不安だから | 8.9 | 11.6 | 18.9 | 9.0 | 17.6 |
| 配偶者の同意が得られそうにないから | 3.0 | 9.2 | 12.9 | 16.7 | 17.6 |
| 配偶者以外の同居家族(子どもや親、兄弟姉妹など)の同意が得られそうにないから | 1.2 | 5.3 | 3.9 | 5.0 | 4.2 |
| 今の都市地域での生活に不満がないから | 31.5 | 31.4 | 35.4 | 38.7 | 43.7 |
| 都市地域での暮らし以上の魅力を感じないから | 31.0 | 29.5 | 27.1 | 23.0 | 26.9 |
| その他 | 1.2 | 1.9 | 0.4 | 1.4 | 6.7 |




| | 女性 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 |
| 全体(N) | 203 | 260 | 313 | 259 | 134 |
| 希望する条件・内容の仕事(働き口)がなさそうだから | 52.2 | 52.3 | 47.9 | 29.7 | 11.9 |
| 生活を維持していけるだけの収入が得られそうにないから | 37.4 | 42.3 | 41.9 | 31.7 | 15.7 |
| 収入に対して生活コスト(物価・光熱費・住居費・交通費など)が高くつきそうだから | 12.8 | 10.4 | 17.3 | 10.0 | 6.0 |
| 買い物、娯楽など日常生活に必要なサービスや生活関連施設が十分ではなさそうだから | 65.5 | 65.4 | 64.5 | 63.3 | 54.5 |
| 病院や診療所、介護施設など医療・福祉の環境が十分ではなさそうだから | 49.8 | 53.8 | 55.0 | 62.9 | 59.0 |
| 希望する条件の住居が確保できるかわからないから | 12.8 | 13.1 | 10.9 | 10.0 | 9.0 |
| 子育て環境(保育・教育施設)が十分ではなさそうだから | 20.7 | 17.3 | 10.5 | 3.5 | 2.2 |
| 地域内での移動の交通手段が十分ではなさそうだから | 36.5 | 38.5 | 39.0 | 40.5 | 34.3 |
| 都市部へのアクセス手段が十分ではなさそうだから | 47.3 | 43.1 | 40.9 | 39.8 | 37.3 |
| 移住先での人間関係がうまく構築できるか(地域にとけこめるか)不安だから | 21.2 | 20.8 | 27.2 | 29.7 | 20.9 |
| 災害対策や緊急時の危機管理体制に不安があるから | 12.3 | 14.6 | 13.4 | 12.7 | 12.7 |
| 移住先の気候や風土に順応できるか不安だから | 13.8 | 15.4 | 20.8 | 17.0 | 14.9 |
| 野生の動物や虫・昆虫などが出没しそうだから | 30.5 | 26.5 | 27.2 | 19.3 | 16.4 |
| 将来にわたり生活環境が維持されるか(住み続けられるか)不安だから | 13.8 | 15.4 | 18.8 | 17.0 | 17.9 |
| 配偶者の同意が得られそうにないから | 6.4 | 6.2 | 4.2 | 5.0 | 4.5 |
| 配偶者以外の同居家族(子どもや親、兄弟姉妹など)の同意が得られそうにないから | 3.4 | 1.9 | 3.5 | 2.3 | 3.7 |
| 今の都市地域での生活に不満がないから | 35.0 | 35.8 | 43.1 | 46.3 | 56.0 |
| 都市地域での暮らし以上の魅力を感じないから | 24.1 | 28.5 | 27.5 | 22.4 | 32.1 |
| その他 | 2.0 | 1.9 | 1.9 | 2.3 | 2.2 |

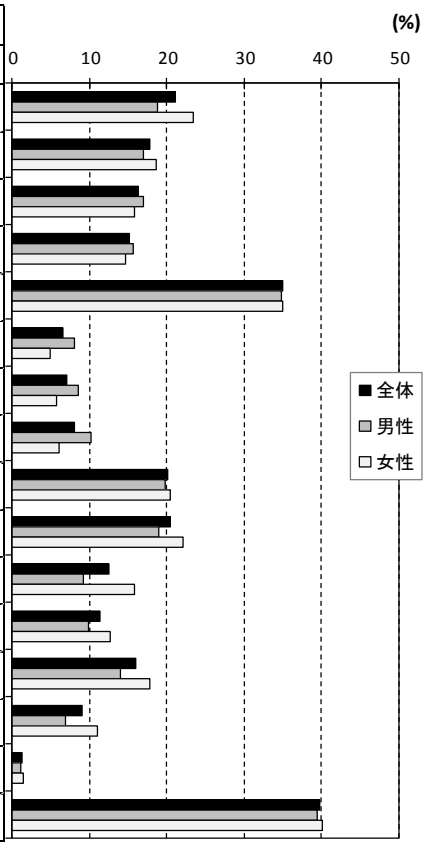


【以降、すべての人が回答】

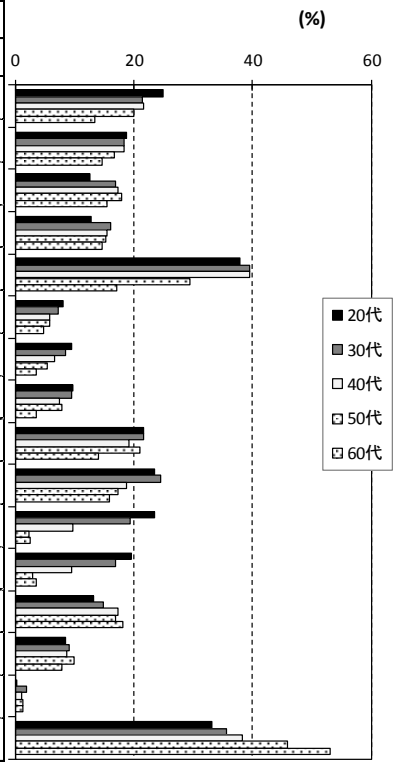
**問19. あなたは、農山漁村地域の自治体がどのような施策を行っていれば、先ほどご回答いただいたような農山漁村地域への移住に対する不安や懸念が解消され、移住してみたいと思うようになりますか。（○はいくつでも）**

- ► 全体の中から具体的な施策をみると、「仕事（働き口）の紹介」が 34.9%で最も割合が高く、次いで、「「お試し居住」などの移住体験」が 21.1%、「移住後の暮らしに対する支援（定住奨励金、家賃補助、子どもの医療費助成など）」が 20.5%と続いている。
- ► 年代別にみると、若い世代では、「仕事（働き口）の紹介」「「お試し居住」などの移住体験」の割合が高い傾向にある。その一方で、年代が高くなるにつれ、「特にない」及び「移住先の地域に関する情報の提供」の割合が高い。
- ► 性別・年代別でみると、「特にない」を除くと、20 代～40 代の男女ともに「仕事（働き口）の紹介」が最も割合が高い。また、20 代～40 代の女性は、「出産・子育てに係る支援」や「教育に係る支援」など、ほとんどの項目で同年代の男性よりも割合が高い。
- ► 農山漁村地域への移住意向の有無別でみると、移住意向がある者は、各項目の回答の割合が移住意向のない者と比べ高く、「仕事（働き口）の紹介」が約５割で最も高く、次いで「「お試し居住」などの移住体験」、「移住や移住後の暮らしに関する総合的な相談窓口」と続いている。
- ► 農山漁村地域への移住意向の程度別でみると、条件が合えば移住してもよいとする者は、ほとんどの項目で他の移住意向の者と比べ高く、「仕事（働き口）の紹介」が５割以上で最も高い。また、「移住先の地域に関する情報の提供」の割合が高い。

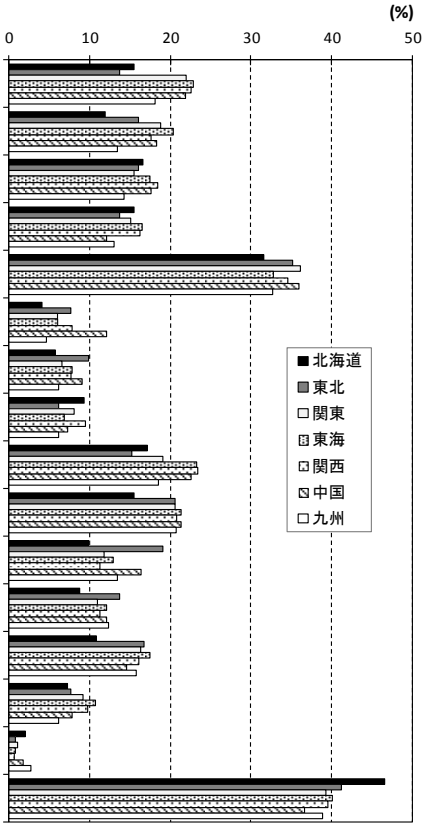
| | 全体 | 男性 | 女性 |
|---|---|---|---|
| 全体(N) | 3,116 | 1,558 | 1,558 |
| 「お試し居住」などの移住体験 | 21.1 | 18.8 | 23.4 |
| 移住や移住後の暮らしに関する総合的な相談窓口 | 17.8 | 17.0 | 18.5 |
| 空き家情報の提供や斡旋、紹介 | 16.3 | 16.9 | 15.8 |
| 公的賃貸住宅（定住促進住宅など）の優先的な斡旋 | 15.1 | 15.6 | 14.6 |
| 仕事（働き口）の紹介 | 34.9 | 34.9 | 35.0 |
| 農林漁業体験・研修 | 6.5 | 8.1 | 4.9 |
| 農林水産業への就業に向けた支援（土地の提供、受入農家の紹介など） | 7.1 | 8.5 | 5.7 |
| 起業支援（起業・創業に係る費用の助成、店舗物件等の斡旋、改装費補助など） | 8.1 | 10.1 | 6.0 |
| 移住に係る費用の補助（空き家の改修費の補助など） | 20.1 | 19.8 | 20.3 |
| 移住後の暮らしに対する支援（定住奨励金、家賃補助、子どもの医療費助成など） | 20.5 | 18.9 | 22.1 |
| 出産・子育てに係る支援（出産費用や健診費用の助成、保育料無料、児童手当など） | 12.4 | 9.1 | 15.7 |
| 教育に係る支援（高校等への通学費補助、下宿費用の助成、奨学資金貸与など） | 11.3 | 9.9 | 12.7 |
| 移住先の地域に関する情報の提供 | 15.9 | 14.1 | 17.8 |
| 地域住民との交流会の開催など、地域とのつながり・つなぎづくりに関するサポート | 9.0 | 6.9 | 11.0 |
| その他 | 1.3 | 1.0 | 1.5 |
| 特にない | 39.8 | 39.5 | 40.1 |



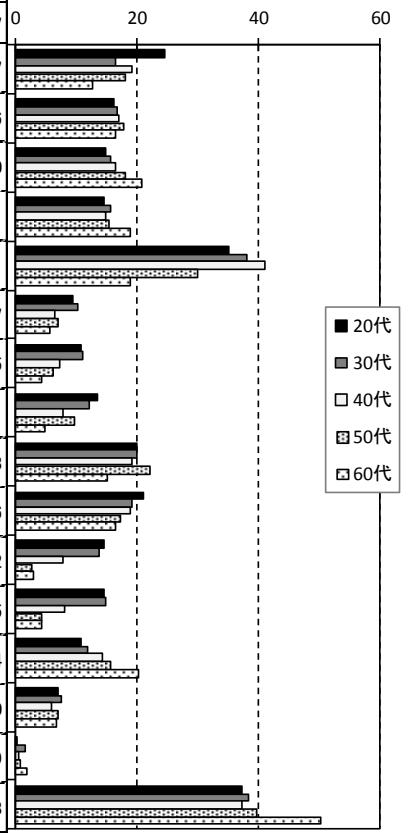
| | 年代別 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 |
| 全体(N) | 598 | 734 | 834 | 636 | 314 |
| 「お試し居住」などの移住体験 | 24.9 | 21.5 | 21.7 | 20.0 | 13.4 |
| 移住や移住後の暮らしに関する総合的な相談窓口 | 18.7 | 18.4 | 18.5 | 16.8 | 14.6 |
| 空き家情報の提供や斡旋、紹介 | 12.7 | 17.0 | 17.4 | 17.9 | 15.6 |
| 公的賃貸住宅(定住促進住宅など)の優先的な斡旋 | 12.9 | 16.2 | 15.6 | 15.4 | 14.6 |
| 仕事(働き口)の紹介 | 38.0 | 39.5 | 39.4 | 29.6 | 17.2 |
| 農林漁業体験・研修 | 8.0 | 7.4 | 5.8 | 5.8 | 4.8 |
| 農林水産業への就業に向けた支援(土地の提供、受入農家の紹介など) | 9.5 | 8.6 | 6.7 | 5.3 | 3.5 |
| 起業支援(起業・創業に係る費用の助成、店舗物件等の斡旋、改装費補助など) | 9.7 | 9.5 | 7.4 | 7.9 | 3.5 |
| 移住に係る費用の補助(空き家の改修費の補助など) | 21.6 | 21.7 | 19.2 | 21.1 | 14.0 |
| 移住後の暮らしに対する支援(定住奨励金、家賃補助、子どもの医療費助成など) | 23.6 | 24.5 | 18.8 | 17.3 | 15.9 |
| 出産・子育てに係る支援(出産費用や健診費用の助成、保育料無料、児童手当など) | 23.4 | 19.5 | 9.7 | 2.4 | 2.5 |
| 教育に係る支援(高校等への通学費補助、下宿費用の助成、奨学資金貸与など) | 19.6 | 17.0 | 9.6 | 3.0 | 3.5 |
| 移住先の地域に関する情報の提供 | 13.2 | 14.9 | 17.3 | 17.0 | 18.2 |
| 地域住民との交流会の開催など、地域とのつながり・つなぎづくりに関するサポート | 8.5 | 9.1 | 8.8 | 9.9 | 8.0 |
| その他 | 0.3 | 2.0 | 1.2 | 1.3 | 1.3 |
| 特にない | 33.1 | 35.7 | 38.4 | 45.9 | 53.2 |



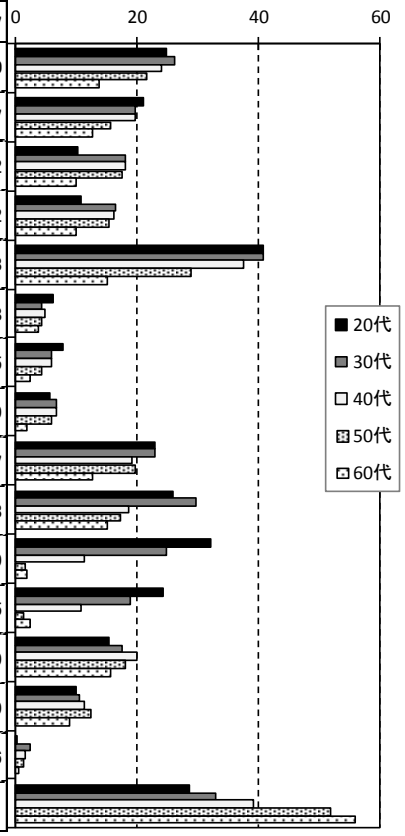

| | 地域ブロック別 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 関西 | 中国 | 九州 |
| 全体(N) | 193 | 131 | 1,522 | 314 | 532 | 164 | 260 |
| 「お試し居住」などの移住体験 | 15.5 | 13.7 | 21.9 | 22.9 | 22.6 | 22.0 | 18.1 |
| 移住や移住後の暮らしに関する総合的な相談窓口 | 11.9 | 16.0 | 18.9 | 20.4 | 17.7 | 18.3 | 13.5 |
| 空き家情報の提供や斡旋、紹介 | 16.6 | 16.0 | 15.6 | 17.5 | 18.4 | 17.7 | 14.2 |
| 公的賃貸住宅(定住促進住宅など)の優先的な斡旋 | 15.5 | 13.7 | 15.0 | 16.6 | 16.4 | 12.2 | 13.1 |
| 仕事(働き口)の紹介 | 31.6 | 35.1 | 36.1 | 32.8 | 34.6 | 36.0 | 32.7 |
| 農林漁業体験・研修 | 4.1 | 7.6 | 6.0 | 6.1 | 7.9 | 12.2 | 4.6 |
| 農林水産業への就業に向けた支援(土地の提供、受入農家の紹介など) | 5.7 | 9.9 | 6.6 | 8.0 | 7.7 | 9.1 | 6.2 |
| 起業支援(起業・創業に係る費用の助成、店舗物件等の斡旋、改装費補助など) | 9.3 | 6.1 | 8.1 | 7.0 | 9.6 | 7.3 | 6.2 |
| 移住に係る費用の補助(空き家の改修費の補助など) | 17.1 | 15.3 | 19.1 | 23.2 | 23.5 | 22.6 | 18.5 |
| 移住後の暮らしに対する支援(定住奨励金、家賃補助、子どもの医療費助成など) | 15.5 | 20.6 | 20.6 | 21.3 | 20.9 | 21.3 | 20.8 |
| 出産・子育てに係る支援(出産費用や健診費用の助成、保育料無料、児童手当など) | 9.8 | 19.1 | 11.8 | 13.1 | 11.3 | 16.5 | 13.5 |
| 教育に係る支援(高校等への通学費補助、下宿費用の助成、奨学資金貸与など) | 8.8 | 13.7 | 11.0 | 12.1 | 11.3 | 12.2 | 12.3 |
| 移住先の地域に関する情報の提供 | 10.9 | 16.8 | 16.3 | 17.5 | 16.2 | 14.6 | 15.8 |
| 地域住民との交流会の開催など、地域とのつながり・つなぎづくりに関するサポート | 7.3 | 7.6 | 9.2 | 10.8 | 9.8 | 7.9 | 6.2 |
| その他 | 2.1 | 0.8 | 1.1 | 1.0 | 0.8 | 1.8 | 2.7 |
| 特にない | 46.6 | 41.2 | 39.3 | 40.1 | 39.5 | 36.6 | 38.8 |



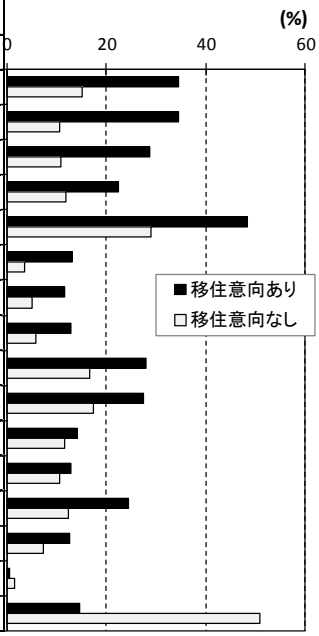
| | 男性 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 |
| 全体(N) | 299 | 367 | 417 | 318 | 157 |
| 「お試し居住」などの移住体験 | 24.7 | 16.6 | 19.2 | 18.2 | 12.7 |
| 移住や移住後の暮らしに関する総合的な相談窓口 | 16.4 | 16.9 | 17.0 | 17.9 | 16.6 |
| 空き家情報の提供や斡旋、紹介 | 15.1 | 15.8 | 16.5 | 18.2 | 21.0 |
| 公的賃貸住宅(定住促進住宅など)の優先的な斡旋 | 14.7 | 15.8 | 14.9 | 15.4 | 19.1 |
| 仕事(働き口)の紹介 | 35.1 | 38.1 | 41.2 | 30.2 | 19.1 |
| 農林漁業体験・研修 | 9.7 | 10.4 | 6.5 | 7.2 | 5.7 |
| 農林水産業への就業に向けた支援(土地の提供、受入農家の紹介など) | 11.0 | 11.2 | 7.4 | 6.3 | 4.5 |
| 起業支援(起業・創業に係る費用の助成、店舗物件等の斡旋、改装費補助など) | 13.7 | 12.3 | 7.9 | 9.7 | 5.1 |
| 移住に係る費用の補助(空き家の改修費の補助など) | 20.1 | 20.2 | 19.2 | 22.3 | 15.3 |
| 移住後の暮らしに対する支援(定住奨励金、家賃補助、子どもの医療費助成など) | 21.1 | 19.3 | 18.9 | 17.3 | 16.6 |
| 出産・子育てに係る支援(出産費用や健診費用の助成、保育料無料、児童手当など) | 14.7 | 13.9 | 7.9 | 2.8 | 3.2 |
| 教育に係る支援(高校等への通学費補助、下宿費用の助成、奨学資金貸与など) | 14.7 | 15.0 | 8.2 | 4.4 | 4.5 |
| 移住先の地域に関する情報の提供 | 11.0 | 12.0 | 14.4 | 15.7 | 20.4 |
| 地域住民との交流会の開催など、地域とのつながり・つなぎづくりに関するサポート | 7.0 | 7.6 | 6.0 | 7.2 | 7.0 |
| その他 | 0.3 | 1.6 | 0.7 | 0.9 | 1.9 |
| 特にない | 37.5 | 38.4 | 37.4 | 39.9 | 50.3 |




| | 女性 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 |
| 全体(N) | 299 | 367 | 417 | 318 | 157 |
| 「お試し居住」などの移住体験 | 25.1 | 26.4 | 24.2 | 21.7 | 14.0 |
| 移住や移住後の暮らしに関する総合的な相談窓口 | 21.1 | 19.9 | 19.9 | 15.7 | 12.7 |
| 空き家情報の提供や斡旋、紹介 | 10.4 | 18.3 | 18.2 | 17.6 | 10.2 |
| 公的賃貸住宅(定住促進住宅など)の優先的な斡旋 | 11.0 | 16.6 | 16.3 | 15.4 | 10.2 |
| 仕事(働き口)の紹介 | 40.8 | 40.9 | 37.6 | 28.9 | 15.3 |
| 農林漁業体験・研修 | 6.4 | 4.4 | 5.0 | 4.4 | 3.8 |
| 農林水産業への就業に向けた支援(土地の提供、受入農家の紹介など) | 8.0 | 6.0 | 6.0 | 4.4 | 2.5 |
| 起業支援(起業・創業に係る費用の助成、店舗物件等の斡旋、改装費補助など) | 5.7 | 6.8 | 7.0 | 6.0 | 1.9 |
| 移住に係る費用の補助(空き家の改修費の補助など) | 23.1 | 23.2 | 19.2 | 19.8 | 12.7 |
| 移住後の暮らしに対する支援(定住奨励金、家賃補助、子どもの医療費助成など) | 26.1 | 29.7 | 18.7 | 17.3 | 15.3 |
| 出産・子育てに係る支援(出産費用や健診費用の助成、保育料無料、児童手当など) | 32.1 | 25.1 | 11.5 | 1.9 | 1.9 |
| 教育に係る支援(高校等への通学費補助、下宿費用の助成、奨学資金貸与など) | 24.4 | 19.1 | 11.0 | 1.6 | 2.5 |
| 移住先の地域に関する情報の提供 | 15.4 | 17.7 | 20.1 | 18.2 | 15.9 |
| 地域住民との交流会の開催など、地域とのつながり・つなぎづくりに関するサポート | 10.0 | 10.6 | 11.5 | 12.6 | 8.9 |
| その他 | 0.3 | 2.5 | 1.7 | 1.6 | 0.6 |
| 特にない | 28.8 | 33.0 | 39.3 | 51.9 | 56.1 |



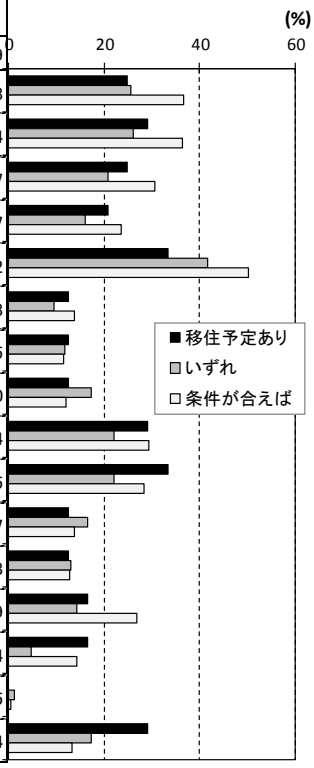
| | 農山漁村地域への移住意向の有無 | |
|---|---|---|
| | 移住意向あり | 移住意向なし |
| 全体(N) | 951 | 2,165 |
| 「お試し居住」などの移住体験 | 34.5 | 15.2 |
| 移住や移住後の暮らしに関する総合的な相談窓口 | 34.4 | 10.5 |
| 空き家情報の提供や斡旋、紹介 | 28.8 | 10.9 |
| 公的賃貸住宅(定住促進住宅など)の優先的な斡旋 | 22.3 | 11.9 |
| 仕事(働き口)の紹介 | 48.3 | 29.1 |
| 農林漁業体験・研修 | 13.0 | 3.6 |
| 農林水産業への就業に向けた支援(土地の提供、受入農家の紹介など) | 11.6 | 5.1 |
| 起業支援(起業・創業に係る費用の助成、店舗物件等の斡旋、改装費補助など) | 12.9 | 5.9 |
| 移住に係る費用の補助(空き家の改修費の補助など) | 28.1 | 16.6 |
| 移住後の暮らしに対する支援(定住奨励金、家賃補助、子どもの医療費助成など) | 27.4 | 17.4 |
| 出産・子育てに係る支援(出産費用や健診費用の助成、保育料無料、児童手当など) | 14.2 | 11.6 |
| 教育に係る支援(高校等への通学費補助、下宿費用の助成、奨学資金貸与など) | 12.8 | 10.6 |
| 移住先の地域に関する情報の提供 | 24.4 | 12.2 |
| 地域住民との交流会の開催など、地域とのつながり・つなぎづくりに関するサポート | 12.7 | 7.3 |
| その他 | 0.6 | 1.5 |
| 特にない | 14.5 | 50.9 |




「移住意向あり」・・・「農山漁村地域に移住する予定がある」、「いずれは（ゆくゆくは）農山漁村地域に移住したいと思う」及び「条件が合えば農山漁村地域に移住してみてもよいと思う」の合計

「移住意向なし」・・・「あまり積極的に農山漁村地域に移住してみたいとは思わない」及び「農山漁村地域に移住したいとはまったく思わない」の合計

| | 農山漁村地域への移住意向 | | |
|---|---|---|---|
| | 移住予定あり | いずれ | 条件が合えば |
| 全体(N) | 24 | 168 | 759 |
| 「お試し居住」などの移住体験 | 25.0 | 25.6 | 36.8 |
| 移住や移住後の暮らしに関する総合的な相談窓口 | 29.2 | 26.2 | 36.4 |
| 空き家情報の提供や斡旋、紹介 | 25.0 | 20.8 | 30.7 |
| 公的賃貸住宅(定住促進住宅など)の優先的な斡旋 | 20.8 | 16.1 | 23.7 |
| 仕事(働き口)の紹介 | 33.3 | 41.7 | 50.2 |
| 農林漁業体験・研修 | 12.5 | 9.5 | 13.8 |
| 農林水産業への就業に向けた支援(土地の提供、受入農家の紹介など) | 12.5 | 11.9 | 11.5 |
| 起業支援(起業・創業に係る費用の助成、店舗物件等の斡旋、改装費補助など) | 12.5 | 17.3 | 12.0 |
| 移住に係る費用の補助(空き家の改修費の補助など) | 29.2 | 22.0 | 29.4 |
| 移住後の暮らしに対する支援(定住奨励金、家賃補助、子どもの医療費助成など) | 33.3 | 22.0 | 28.5 |
| 出産・子育てに係る支援(出産費用や健診費用の助成、保育料無料、児童手当など) | 12.5 | 16.7 | 13.7 |
| 教育に係る支援(高校等への通学費補助、下宿費用の助成、奨学資金貸与など) | 12.5 | 13.1 | 12.8 |
| 移住先の地域に関する情報の提供 | 16.7 | 14.3 | 26.9 |
| 地域住民との交流会の開催など、地域とのつながり・つなぎづくりに関するサポート | 16.7 | 4.8 | 14.4 |
| その他 | 0.0 | 1.2 | 0.5 |
| 特にない | 29.2 | 17.3 | 13.4 |

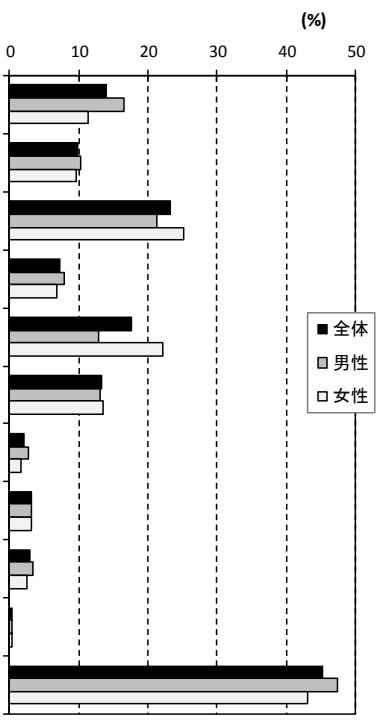



「移住予定あり」・・・農山漁村地域に移住する予定がある
「いずれ」・・・いずれは（ゆくゆくは）農山漁村地域に移住したいと思う
「条件が合えば」・・・条件が合えば農山漁村地域に移住してみてもよいと思う

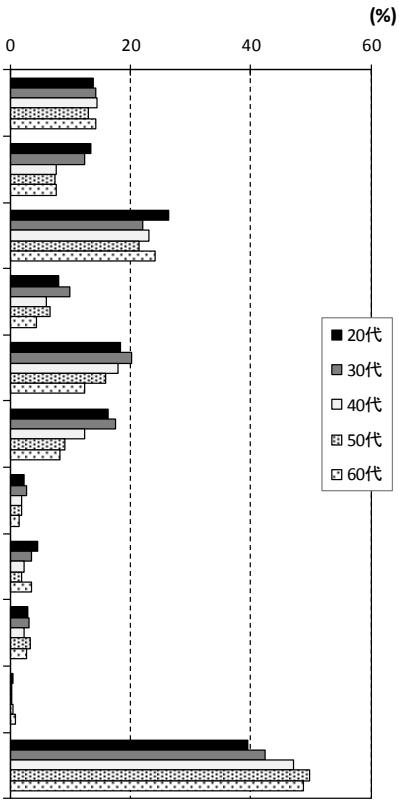
**問20. あなたは、移り住む以外の方法で、今後農山漁村地域とどのような関わりを持ちたいとお考えになりますか。（○はいくつでも）**

- ► 全体で、関わりを持ちたいと回答した中では、「都市地域で生活しつつ、観光などのために農山漁村地域を時々訪れたり、滞在したりする暮らしがしたい」が 23.3%で最も割合が高く、次いで、「都市地域で開催される農山漁村地域関連のイベントに参加したり、アンテナショップ等を訪れて、商品や特産品を購入したい」が 17.6%、「都市地域での住まいのほかに、農山漁村地域にも住宅をもって行き来する暮らし（二地域居住）がしたい」が 14.0%と続いている。
- ► 年代別でみると、若い世代では「都市地域で開催される農山漁村地域関連のイベントに参加したり、アンテナショップ等を訪れて、商品や特産品を購入したい」及び「出身地や関わりのある農山漁村地域に「ふるさと納税」をしたい」の割合が高い傾向にある。
- ► 性別・年代別でみると、男性は全ての年代で、「都市地域での住まいのほかに、農山漁村地域にも住宅をもって行き来する暮らし（二地域居住）がしたい」及び「地域の情報を得たり地域での活動を間接的にサポートしたい（特定の農山漁村地域の団体等の会員になるなど)」が、また、20 代～50 代男性では、「特に農山漁村地域との関わりを持ちたいとは思わない」の割合が女性より高い。一方、女性は全ての年代で、「都市地域で生活しつつ、観光などのために農山漁村地域を時々訪れたり、滞在したりする暮らしがしたい」、「都市地域で開催される農山漁村地域関連のイベントに参加したり、アンテナショップ等を訪れて、商品や特産品を購入したい」の割合が男性より高い。
- ► 農山漁村地域への移住意向の有無別でみると、移住意向がある者の８割は関わりを持ちたいと回答している。一方、移住意向のない者では、「特に関わりを持ちたいとは思わない」が 56.8%で最も割合が高い。
- ► 農産漁村地域への移住意向の程度別でみると、移住予定がある者は、ほとんどの項目で他の移住意向の者と比べ割合が高い。また、条件が合えば移住してもよいとする者は、「都市地域で生活しつつ、観光などのために農山漁村地域を時々訪れたり、滞在したりする暮らしがしたい」の割合が、他の移住意向の者と比べると高い。

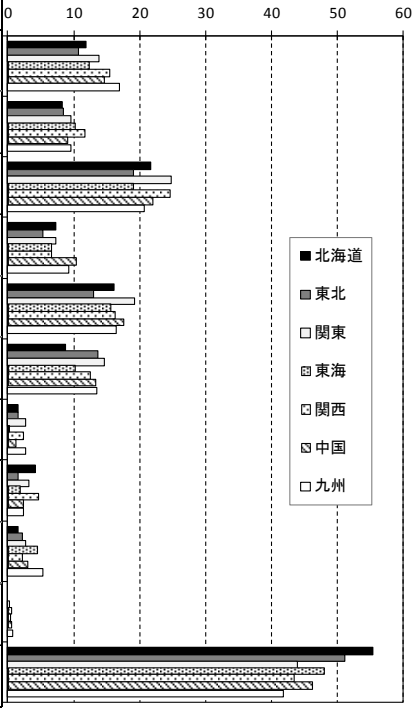
| | 全体 | 男性 | 女性 |
|---|---|---|---|
| 全体(N) | 3,116 | 1,558 | 1,558 |
| 都市地域での住まいのほかに、農山漁村地域にも住宅をもって行き来する暮らし(二地域居住)がしたい | 14.0 | 16.6 | 11.4 |
| 都市地域で生活しつつ、地域活動(農作業、祭りなど)への参加や地元の人との交流のため、農山漁村地域を訪れたり滞在したりする暮らしがしたい | 9.9 | 10.2 | 9.6 |
| 都市地域で生活しつつ、観光などのために農山漁村地域を時々訪れたり、滞在したりする暮らしがしたい | 23.3 | 21.4 | 25.2 |
| 特定の農山漁村地域の人や団体・グループ等と交流を持ち、定期的に情報を交換したり、農産物等を直接購入したい | 7.3 | 7.8 | 6.8 |
| 都市地域で開催される農山漁村地域関連のイベントに参加したり、アンテナショップ等を訪れて、商品や特産品を購入したい | 17.6 | 13.0 | 22.2 |
| 出身地や関わりのある農山漁村地域に「ふるさと納税」をしたい | 13.3 | 13.1 | 13.4 |
| 農山漁村地域で地域おこし活動を行うNPOなどに寄付をしたい | 2.2 | 2.6 | 1.7 |
| 同郷会(都市部で行う同じ地域の出身者の集まり)などに参加したい | 3.2 | 3.1 | 3.2 |
| 地域の情報を得たり地域での活動を間接的にサポートしたい(特定の農山漁村地域の団体等の会員になるなど) | 2.9 | 3.3 | 2.5 |
| その他の関わりを持ちたい | 0.4 | 0.4 | 0.4 |
| 特に農山漁村地域との関わりを持ちたいとは思わない | 45.3 | 47.4 | 43.1 |



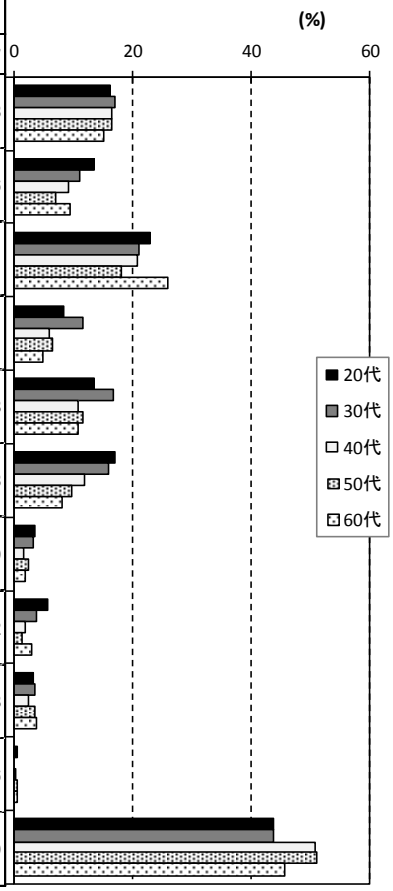
| | 年代別 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 |
| 全体(N) | 598 | 734 | 834 | 636 | 314 |
| 都市地域での住まいのほかに、農山漁村地域にも住宅をもって行き来する暮らし(二地域居住)がしたい | 13.9 | 14.3 | 14.4 | 13.1 | 14.3 |
| 都市地域で生活しつつ、地域活動(農作業、祭りなど)への参加や地元の人との交流のため、農山漁村地域を訪れたり滞在したりする暮らしがしたい | 13.4 | 12.4 | 7.8 | 7.5 | 7.6 |
| 都市地域で生活しつつ、観光などのために農山漁村地域を時々訪れたり、滞在したりする暮らしがしたい | 26.4 | 22.1 | 23.0 | 21.5 | 24.2 |
| 特定の農山漁村地域の人や団体・グループ等と交流を持ち、定期的に情報を交換したり、農産物等を直接購入したい | 8.0 | 9.9 | 6.1 | 6.6 | 4.5 |
| 都市地域で開催される農山漁村地域関連のイベントに参加したり、アンテナショップ等を訪れて、商品や特産品を購入したい | 18.4 | 20.3 | 17.9 | 15.9 | 12.4 |
| 出身地や関わりのある農山漁村地域に「ふるさと納税」をしたい | 16.2 | 17.6 | 12.4 | 9.1 | 8.3 |
| 農山漁村地域で地域おこし活動を行うNPOなどに寄付をしたい | 2.3 | 2.9 | 1.9 | 1.9 | 1.6 |
| 同郷会(都市部で行う同じ地域の出身者の集まり)などに参加したい | 4.7 | 3.7 | 2.4 | 2.0 | 3.5 |
| 地域の情報を得たり地域での活動を間接的にサポートしたい(特定の農山漁村地域の団体等の会員になるなど) | 3.0 | 3.1 | 2.3 | 3.5 | 2.9 |
| その他の関わりを持ちたい | 0.5 | 0.1 | 0.2 | 0.5 | 1.0 |
| 特に農山漁村地域との関わりを持ちたいとは思わない | 39.6 | 42.4 | 47.1 | 49.8 | 48.7 |



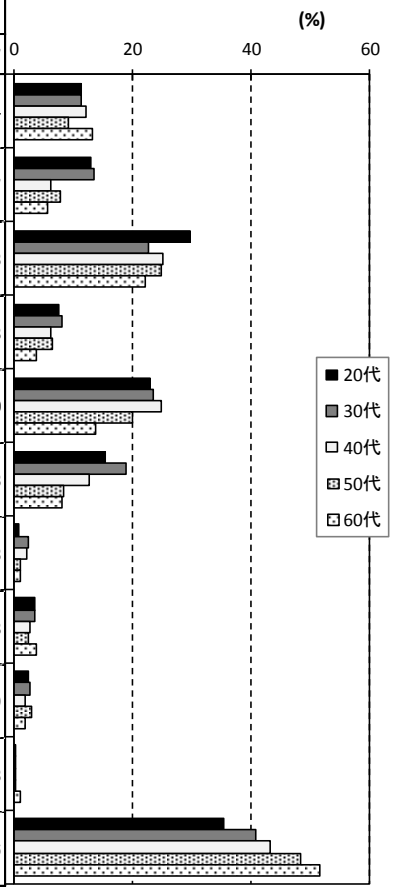

| | 地域ブロック別 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 関西 | 中国 | 九州 |
| 全体(N) | 193 | 131 | 1,522 | 314 | 532 | 164 | 260 |
| 都市地域での住まいのほかに、農山漁村地域にも住宅をもって行き来する暮らし(二地域居住)がしたい | 11.9 | 10.7 | 13.8 | 12.4 | 15.4 | 14.6 | 16.9 |
| 都市地域で生活しつつ、地域活動(農作業、祭りなど)への参加や地元の人との交流のため、農山漁村地域を訪れたり滞在したりする暮らしがしたい | 8.3 | 8.4 | 9.7 | 10.2 | 11.7 | 9.1 | 9.6 |
| 都市地域で生活しつつ、観光などのために農山漁村地域を時々訪れたり、滞在したりする暮らしがしたい | 21.8 | 19.1 | 24.8 | 19.1 | 24.6 | 22.0 | 20.8 |
| 特定の農山漁村地域の人や団体・グループ等と交流を持ち、定期的に情報を交換したり、農産物等を直接購入したい | 7.3 | 5.3 | 7.2 | 6.7 | 6.6 | 10.4 | 9.2 |
| 都市地域で開催される農山漁村地域関連のイベントに参加したり、アンテナショップ等を訪れて、商品や特産品を購入したい | 16.1 | 13.0 | 19.2 | 15.6 | 16.4 | 17.7 | 16.5 |
| 出身地や関わりのある農山漁村地域に「ふるさと納税」をしたい | 8.8 | 13.7 | 14.6 | 10.2 | 12.6 | 13.4 | 13.5 |
| 農山漁村地域で地域おこし活動を行うNPOなどに寄付をしたい | 1.6 | 1.5 | 2.6 | 0.3 | 2.4 | 1.2 | 2.7 |
| 同郷会(都市部で行う同じ地域の出身者の集まり)などに参加したい | 4.1 | 1.5 | 3.2 | 1.9 | 4.7 | 2.4 | 2.3 |
| 地域の情報を得たり地域での活動を間接的にサポートしたい(特定の農山漁村地域の団体等の会員になるなど) | 1.6 | 2.3 | 2.6 | 4.5 | 2.3 | 3.0 | 5.4 |
| その他の関わりを持ちたい | 0.0 | 0.0 | 0.3 | 0.6 | 0.4 | 0.6 | 0.8 |
| 特に農山漁村地域との関わりを持ちたいとは思わない | 55.4 | 51.1 | 44.0 | 48.1 | 43.4 | 46.3 | 41.9 |



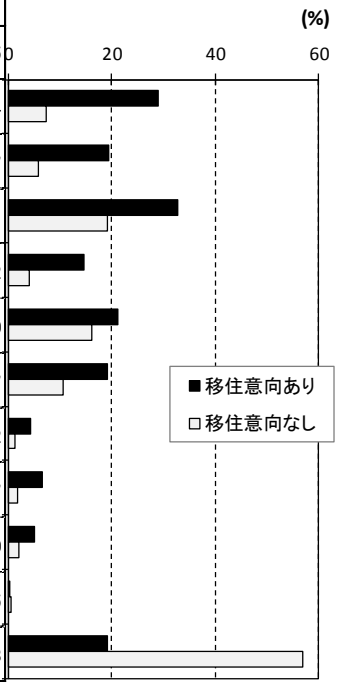
| | 男性 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 |
| 全体(N) | 299 | 367 | 417 | 318 | 157 |
| 都市地域での住まいのほかに、農山漁村地域にも住宅をもって行き来する暮らし(二地域居住)がしたい | 16.4 | 17.2 | 16.5 | 16.7 | 15.3 |
| 都市地域で生活しつつ、地域活動(農作業、祭りなど)への参加や地元の人との交流のため、農山漁村地域を訪れたり滞在したりする暮らしがしたい | 13.7 | 11.2 | 9.4 | 7.2 | 9.6 |
| 都市地域で生活しつつ、観光などのために農山漁村地域を時々訪れたり、滞在したりする暮らしがしたい | 23.1 | 21.3 | 20.9 | 18.2 | 26.1 |
| 特定の農山漁村地域の人や団体・グループ等と交流を持ち、定期的に情報を交換したり、農産物等を直接購入したい | 8.4 | 11.7 | 6.0 | 6.6 | 5.1 |
| 都市地域で開催される農山漁村地域関連のイベントに参加したり、アンテナショップ等を訪れて、商品や特産品を購入したい | 13.7 | 16.9 | 10.8 | 11.6 | 10.8 |
| 出身地や関わりのある農山漁村地域に「ふるさと納税」をしたい | 17.1 | 16.1 | 12.0 | 9.7 | 8.3 |
| 農山漁村地域で地域おこし活動を行うNPOなどに寄付をしたい | 3.7 | 3.3 | 1.7 | 2.5 | 1.9 |
| 同郷会(都市部で行う同じ地域の出身者の集まり)などに参加したい | 5.7 | 3.8 | 1.9 | 1.6 | 3.2 |
| 地域の情報を得たり地域での活動を間接的にサポートしたい(特定の農山漁村地域の団体等の会員になるなど) | 3.3 | 3.5 | 2.6 | 3.8 | 3.8 |
| その他の関わりを持ちたい | 0.7 | 0.0 | 0.2 | 0.6 | 0.6 |
| 特に農山漁村地域との関わりを持ちたいとは思わない | 43.8 | 43.9 | 50.8 | 51.3 | 45.9 |




| | 女性 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 |
| 全体(N) | 299 | 367 | 417 | 318 | 157 |
| 都市地域での住まいのほかに、農山漁村地域にも住宅をもって行き来する暮らし(二地域居住)がしたい | 11.4 | 11.4 | 12.2 | 9.4 | 13.4 |
| 都市地域で生活しつつ、地域活動(農作業、祭りなど)への参加や地元の人との交流のため、農山漁村地域を訪れたり滞在したりする暮らしがしたい | 13.0 | 13.6 | 6.2 | 7.9 | 5.7 |
| 都市地域で生活しつつ、観光などのために農山漁村地域を時々訪れたり、滞在したりする暮らしがしたい | 29.8 | 22.9 | 25.2 | 24.8 | 22.3 |
| 特定の農山漁村地域の人や団体・グループ等と交流を持ち、定期的に情報を交換したり、農産物等を直接購入したい | 7.7 | 8.2 | 6.2 | 6.6 | 3.8 |
| 都市地域で開催される農山漁村地域関連のイベントに参加したり、アンテナショップ等を訪れて、商品や特産品を購入したい | 23.1 | 23.7 | 24.9 | 20.1 | 14.0 |
| 出身地や関わりのある農山漁村地域に「ふるさと納税」をしたい | 15.4 | 19.1 | 12.7 | 8.5 | 8.3 |
| 農山漁村地域で地域おこし活動を行うNPOなどに寄付をしたい | 1.0 | 2.5 | 2.2 | 1.3 | 1.3 |
| 同郷会(都市部で行う同じ地域の出身者の集まり)などに参加したい | 3.7 | 3.5 | 2.9 | 2.5 | 3.8 |
| 地域の情報を得たり地域での活動を間接的にサポートしたい(特定の農山漁村地域の団体等の会員になるなど) | 2.7 | 2.7 | 1.9 | 3.1 | 1.9 |
| その他の関わりを持ちたい | 0.3 | 0.3 | 0.2 | 0.3 | 1.3 |
| 特に農山漁村地域との関わりを持ちたいとは思わない | 35.5 | 40.9 | 43.4 | 48.4 | 51.6 |



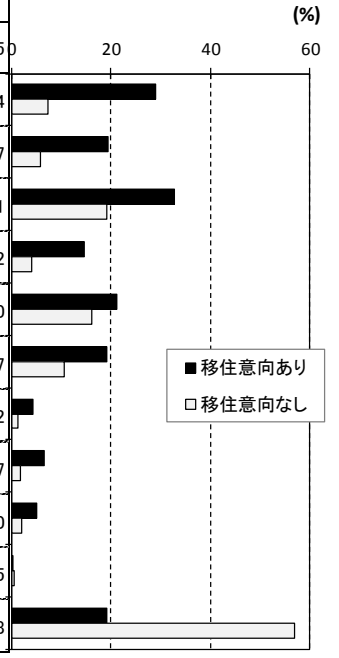
| | 農山漁村地域への移住意向の有無 | |
|---|---|---|
| | 移住意向あり | 移住意向なし |
| 全体(N) | 951 | 2,165 |
| 都市地域での住まいのほかに、農山漁村地域にも住宅をもって行き来する暮らし(二地域居住)がしたい | 29.0 | 7.4 |
| 都市地域で生活しつつ、地域活動(農作業、祭りなど)への参加や地元の人との交流のため、農山漁村地域を訪れたり滞在したりする暮らしがしたい | 19.5 | 5.7 |
| 都市地域で生活しつつ、観光などのために農山漁村地域を時々訪れたり、滞在したりする暮らしがしたい | 32.8 | 19.1 |
| 特定の農山漁村地域の人や団体・グループ等と交流を持ち、定期的に情報を交換したり、農産物等を直接購入したい | 14.5 | 4.2 |
| 都市地域で開催される農山漁村地域関連のイベントに参加したり、アンテナショップ等を訪れて、商品や特産品を購入したい | 21.1 | 16.0 |
| 出身地や関わりのある農山漁村地域に「ふるさと納税」をしたい | 19.1 | 10.7 |
| 農山漁村地域で地域おこし活動を行うNPOなどに寄付をしたい | 4.4 | 1.2 |
| 同郷会(都市部で行う同じ地域の出身者の集まり)などに参加したい | 6.5 | 1.7 |
| 地域の情報を得たり地域での活動を間接的にサポートしたい(特定の農山漁村地域の団体等の会員になるなど) | 5.0 | 2.0 |
| その他の関わりを持ちたい | 0.1 | 0.5 |
| 特に農山漁村地域との関わりを持ちたいとは思わない | 19.0 | 56.8 |




「移住意向あり」・・・「農山漁村地域に移住する予定がある」、「いずれは（ゆくゆくは）農山漁村地域に移住したいと思う」及び「条件が合えば農山漁村地域に移住してみてもよいと思う」の合計

「移住意向なし」・・・「あまり積極的に農山漁村地域に移住してみたいとは思わない」及び「農山漁村地域に移住したいとはまったく思わない」の合計

| | 農山漁村地域への移住意向の有無 | |
|---|---|---|
| | 移住意向あり | 移住意向なし |
| 全体(N) | 951 | 2,165 |
| 都市地域での住まいのほかに、農山漁村地域にも住宅をもって行き来する暮らし(二地域居住)がしたい | 29.0 | 7.4 |
| 都市地域で生活しつつ、地域活動(農作業、祭りなど)への参加や地元の人との交流のため、農山漁村地域を訪れたり滞在したりする暮らしがしたい | 19.5 | 5.7 |
| 都市地域で生活しつつ、観光などのために農山漁村地域を時々訪れたり、滞在したりする暮らしがしたい | 32.8 | 19.1 |
| 特定の農山漁村地域の人や団体・グループ等と交流を持ち、定期的に情報を交換したり、農産物等を直接購入したい | 14.5 | 4.2 |
| 都市地域で開催される農山漁村地域関連のイベントに参加したり、アンテナショップ等を訪れて、商品や特産品を購入したい | 21.1 | 16.0 |
| 出身地や関わりのある農山漁村地域に「ふるさと納税」をしたい | 19.1 | 10.7 |
| 農山漁村地域で地域おこし活動を行うNPOなどに寄付をしたい | 4.4 | 1.2 |
| 同郷会(都市部で行う同じ地域の出身者の集まり)などに参加したい | 6.5 | 1.7 |
| 地域の情報を得たり地域での活動を間接的にサポートしたい(特定の農山漁村地域の団体等の会員になるなど) | 5.0 | 2.0 |
| その他の関わりを持ちたい | 0.1 | 0.5 |
| 特に農山漁村地域との関わりを持ちたいとは思わない | 19.0 | 56.8 |



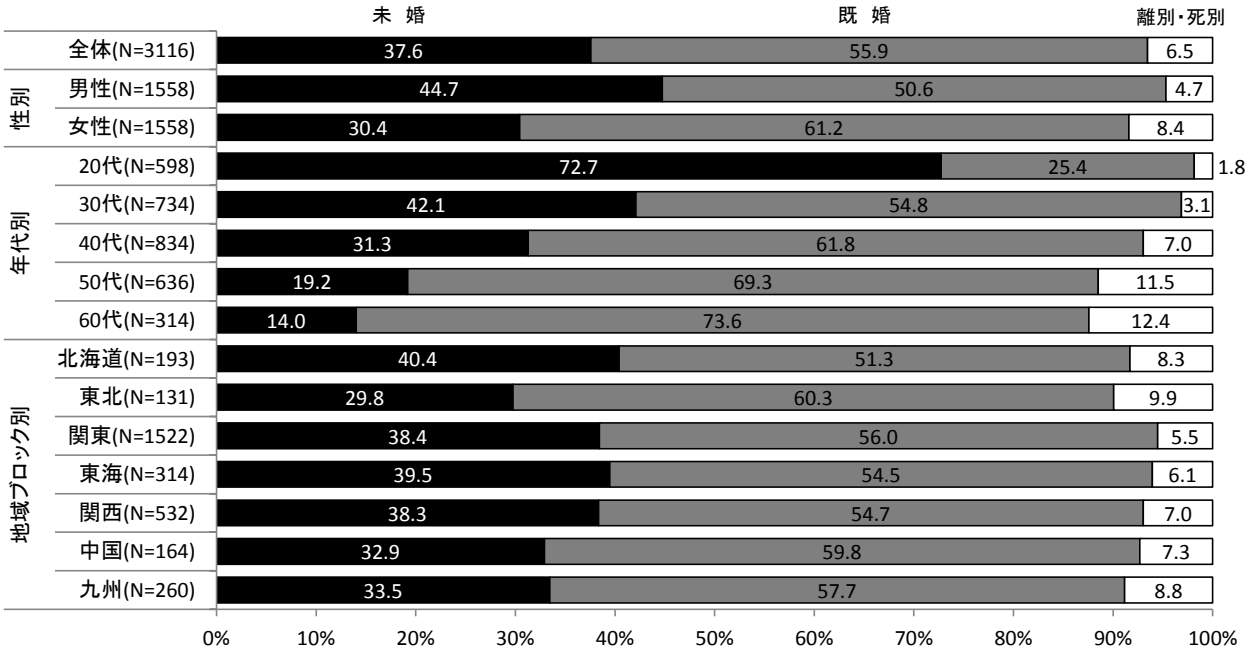

「移住予定あり」・・・農山漁村地域に移住する予定がある
「いずれ」・・・いずれは（ゆくゆくは）農山漁村地域に移住したいと思う
「条件が合えば」・・・条件が合えば農山漁村地域に移住してみてもよいと思う

## ＜回答者属性＞

### 【再掲：有効回答数】

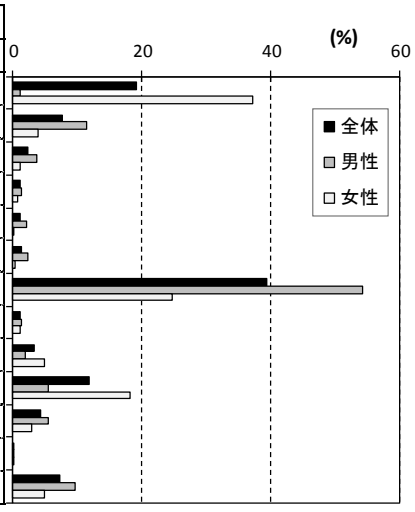
| 対象自治体 | 地域ブロック | 北海道・東北 | | | 関 東 | | | 東 海 | | | 関 西 | | | 中国・九州 | | | 合 計 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 構成都市 | 札幌市<br>仙台市<br>新潟市 | | | さいたま市<br>千葉市<br>特別区<br>横浜市<br>川崎市<br>相模原市 | | | 静岡市<br>浜松市<br>名古屋市 | | | 京都市<br>大阪市<br>堺市<br>神戸市 | | | 岡山市<br>広島市<br>北九州市<br>福岡市<br>熊本市 | | | | | |
| 有効回答数 | | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 |
| | 計 | 162 | 162 | 324 | 761 | 761 | 1,522 | 157 | 157 | 314 | 266 | 266 | 532 | 212 | 212 | 424 | 1,558 | 1,558 | 3,116 |
| | 20～29歳 | 30 | 30 | 60 | 147 | 147 | 294 | 29 | 29 | 58 | 52 | 52 | 104 | 41 | 41 | 82 | 299 | 299 | 598 |
| | 30～39歳 | 37 | 37 | 74 | 185 | 185 | 370 | 36 | 36 | 72 | 60 | 60 | 120 | 49 | 49 | 98 | 367 | 367 | 734 |
| | 40～49歳 | 41 | 41 | 82 | 209 | 209 | 418 | 42 | 42 | 84 | 71 | 71 | 142 | 54 | 54 | 108 | 417 | 417 | 834 |
| | 50～59歳 | 34 | 34 | 68 | 152 | 152 | 304 | 33 | 33 | 66 | 55 | 55 | 110 | 44 | 44 | 88 | 318 | 318 | 636 |
| | 60～64歳 | 20 | 20 | 40 | 68 | 68 | 136 | 17 | 17 | 34 | 28 | 28 | 56 | 24 | 24 | 48 | 157 | 157 | 314 |

### 【婚姻状況】



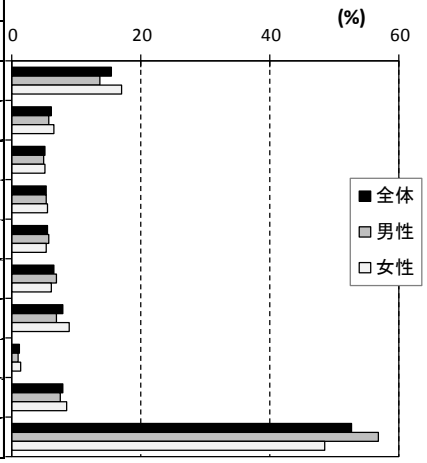

### 【職業】

| | 全体 | 男性 | 女性 |
|---|---|---|---|
| 全体(N) | 3,116 | 1,558 | 1,558 |
| 専業主婦（主夫） | 19.2 | 1.1 | 37.2 |
| 自営業・自由業 | 7.6 | 11.4 | 3.8 |
| 公務員 | 2.4 | 3.7 | 1.0 |
| 教職員 | 1.0 | 1.3 | 0.7 |
| 会社経営者 | 1.1 | 2.1 | 0.1 |
| 会社役員 | 1.3 | 2.3 | 0.4 |
| 会社員 | 39.5 | 54.2 | 24.7 |
| フリーター | 1.1 | 1.2 | 1.0 |
| 派遣社員 | 3.4 | 1.8 | 4.9 |
| パート・アルバイト | 11.8 | 5.5 | 18.1 |
| 大学生・大学院生・専門学校生 | 4.2 | 5.5 | 3.0 |
| 浪人生・予備校生 | 0.1 | 0.1 | 0.1 |
| その他 | 7.3 | 9.6 | 4.9 |

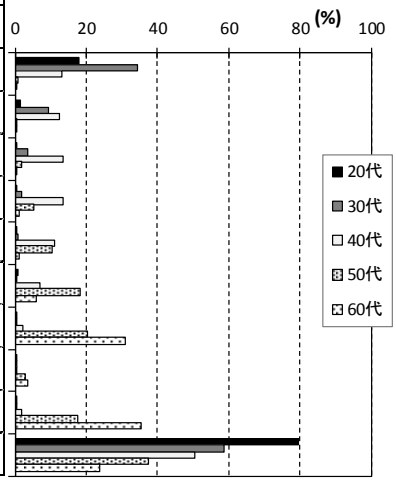


## 【同居している子どもの有無】

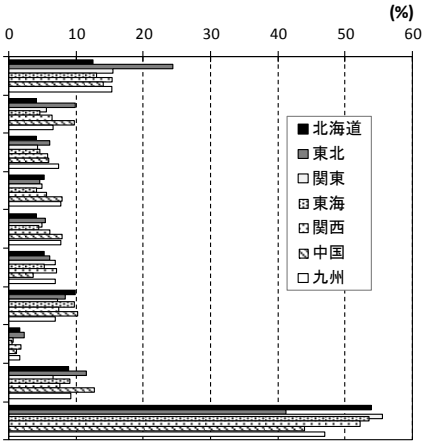
| | 全体 | 男性 | 女性 |
|---|---|---|---|
| 全体(N) | 3,116 | 1,558 | 1,558 |
| 小学生未満 | 15.3 | 13.6 | 17.0 |
| 小学校低学年 | 6.1 | 5.7 | 6.4 |
| 小学校高学年 | 5.0 | 4.9 | 5.1 |
| 中学生 | 5.3 | 5.3 | 5.4 |
| 高校生 | 5.5 | 5.7 | 5.3 |
| その他の学生(大学生・大学院生・専門学校生など) | 6.5 | 6.8 | 6.1 |
| その他(働いている子ども) | 7.9 | 6.9 | 8.9 |
| その他(働いていない子ども) | 1.1 | 1.0 | 1.2 |
| 子どもはいるが同居していない | 7.9 | 7.4 | 8.4 |
| 子どもはいない | 52.7 | 56.9 | 48.6 |



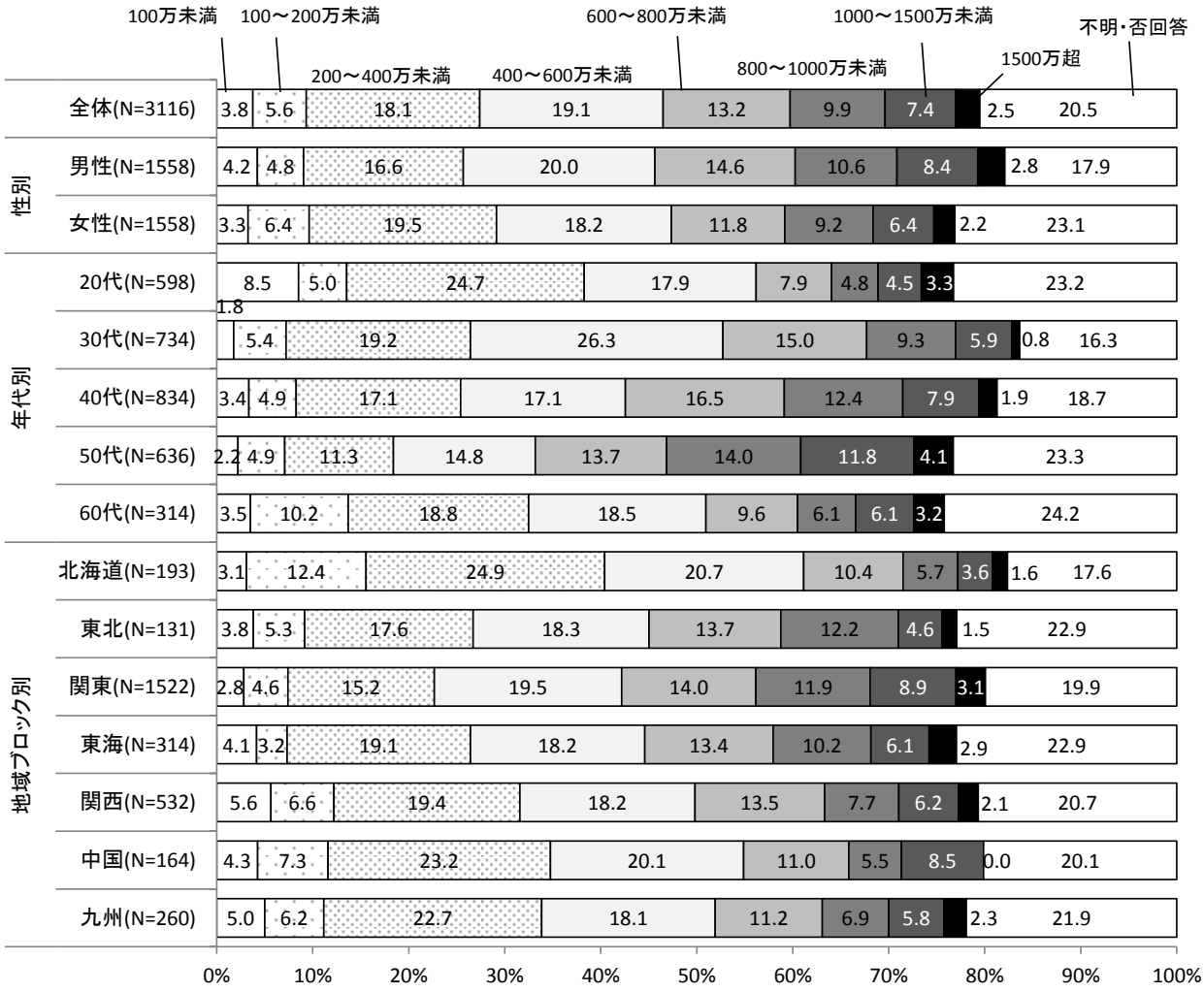

| | 年代別 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 |
| 全体(N) | 598 | 734 | 834 | 636 | 314 |
| 小学生未満 | 18.1 | 34.5 | 13.2 | 0.8 | 0.3 |
| 小学校低学年 | 1.5 | 9.5 | 12.5 | 0.6 | 0.6 |
| 小学校高学年 | 0.5 | 3.5 | 13.7 | 1.7 | 0.6 |
| 中学生 | 0.3 | 1.8 | 13.7 | 5.2 | 1.3 |
| 高校生 | 0.5 | 0.7 | 11.2 | 10.4 | 1.3 |
| その他の学生(大学生・大学院生・専門学校生など) | 1.0 | 0.1 | 7.1 | 18.2 | 6.1 |
| その他(働いている子ども) | 0.2 | 0.1 | 2.2 | 20.3 | 30.9 |
| その他(働いていない子ども) | 0.2 | 0.3 | 0.1 | 3.0 | 3.5 |
| 子どもはいるが同居していない | 0.5 | 0.5 | 1.9 | 17.8 | 35.4 |
| 子どもはいない | 79.6 | 58.7 | 50.6 | 37.6 | 23.9 |




| | 地域ブロック別 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 関西 | 中国 | 九州 |
| 全体(N) | 193 | 131 | 1,522 | 314 | 532 | 164 | 260 |
| 小学生未満 | 12.4 | 24.4 | 15.4 | 13.1 | 15.4 | 14.0 | 15.4 |
| 小学校低学年 | 4.1 | 9.9 | 5.6 | 4.8 | 6.6 | 9.8 | 6.5 |
| 小学校高学年 | 4.1 | 6.1 | 4.3 | 4.8 | 5.8 | 6.1 | 7.3 |
| 中学生 | 5.2 | 4.6 | 4.9 | 4.1 | 5.6 | 7.9 | 7.7 |
| 高校生 | 4.1 | 5.3 | 5.0 | 4.5 | 6.2 | 7.9 | 7.7 |
| その他の学生(大学生・大学院生・専門学校生など) | 5.2 | 6.1 | 6.8 | 5.4 | 7.1 | 3.7 | 6.9 |
| その他(働いている子ども) | 9.8 | 8.4 | 7.2 | 9.9 | 7.5 | 10.4 | 6.9 |
| その他(働いていない子ども) | 1.6 | 2.3 | 0.7 | 0.6 | 1.9 | 1.2 | 1.5 |
| 子どもはいるが同居していない | 8.8 | 11.5 | 6.6 | 9.2 | 7.7 | 12.8 | 9.2 |
| 子どもはいない | 53.9 | 41.2 | 55.5 | 53.5 | 52.3 | 43.9 | 46.9 |



【世帯収入（年収）】


100万未満
100～200万未満
200～400万未満
400～600万未満
600～800万未満
800～1000万未満
1000～1500万未満
1500万超
不明・否回答
全体(N=3116) 3.8 5.6 18.1 19.1 13.2 9.9 7.4 2.5 20.5
性別
男性(N=1558) 4.2 4.8 16.6 20.0 14.6 10.6 8.4 2.8 17.9
女性(N=1558) 3.3 6.4 19.5 18.2 11.8 9.2 6.4 2.2 23.1
年代別
20代(N=598) 8.5 5.0 24.7 17.9 7.9 4.8 4.5 3.3 23.2
30代(N=734) 1.8 5.4 19.2 26.3 15.0 9.3 5.9 0.8 16.3
40代(N=834) 3.4 4.9 17.1 17.1 16.5 12.4 7.9 1.9 18.7
50代(N=636) 2.2 4.9 11.3 14.8 13.7 14.0 11.8 4.1 23.3
60代(N=314) 3.5 10.2 18.8 18.5 9.6 6.1 6.1 3.2 24.2
地域ブロック別
北海道(N=193) 3.1 12.4 24.9 20.7 10.4 5.7 3.6 1.6 17.6
東北(N=131) 3.8 5.3 17.6 18.3 13.7 12.2 4.6 1.5 22.9
関東(N=1522) 2.8 4.6 15.2 19.5 14.0 11.9 8.9 3.1 19.9
東海(N=314) 4.1 3.2 19.1 18.2 13.4 10.2 6.1 2.9 22.9
関西(N=532) 5.6 6.6 19.4 18.2 13.5 7.7 6.2 2.1 20.7
中国(N=164) 4.3 7.3 23.2 20.1 11.0 5.5 8.5 0.0 20.1
九州(N=260) 5.0 6.2 22.7 18.1 11.2 6.9 5.8 2.3 21.9
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

## ２－４．調査票

### 農山漁村地域に関するアンケート

このアンケートは、都市部にお住まいの皆さんが**「農山漁村地域」**※に対して、

どのような関心をお持ちかなどを把握するため、総務省において実施するものです。

ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

**※ここでの「農山漁村地域」とは、都市部から離れており、**
**周辺に農地や森林、海岸等の自然豊かな環境が広がる地域のこと。**

お忙しいところ恐れ入りますが、下記アンケートにご協力お願いいたします。

**■あなたの農山漁村地域に対する関心等についておうかがいします。**

**※ここでの「農山漁村地域」とは、都市部から離れており、周辺に農地や森林、海岸等の**
**自然豊かな環境が広がる地域のこと。**

**Q1 あなたは、農山漁村地域のご出身ですか。（ひとつだけ）**
**【必須入力】**

- ○ 1. 農山漁村地域の出身（農山漁村地域で生まれ育った）
- ○ 2. 農山漁村地域で生まれてはいないが、幼少期はおおむね農山漁村地域で育った
- ○ 3. 生まれ育ちは農山漁村地域ではないが、一定期間農山漁村地域で暮らした経験がある
- ○ 4. 農山漁村地域の出身ではなく、暮らした経験もない

**Q2 あなたは、直近の5年間で、農山漁村地域をどのくらいの頻度で訪れていますか。（ひとつだけ）**
**【必須入力】**

- ○ 1. ほぼ毎週
- ○ 2. ほぼ毎月（年に10回以上）
- ○ 3. 年に数回程度（2～3か月に1回程度）
- ○ 4. 年に1～2回程度
- ○ 5. この5年間で数回程度（1～2年に1回程度）
- ○ 6. それ以下の頻度
- ○ 7. この5年間では訪れていない

**Q3** 前問で【それ以下の頻度】とお答えの方におうかがいします。
あなたが農山漁村地域を訪れる理由や目的は何ですか。(いくつでも)
【必須入力】

- ☐ 1. 親族の家の手伝いや世話、帰省のため
- ☐ 2. 旅行・観光・レジャー・レクリエーションのため
- ☐ 3. 農作業や祭りなどの地域活動に参加するため
- ☐ 4. 都市地域のほかに農山漁村地域にも住居があるため
- ☐ 5. 仕事(出張・営業等)のため
- ☐ 6. 地域貢献活動やボランティア活動に参加するため
- ☐ 7. 上記以外の目的で

**Q4** あなたは、直近の5年間で、農山漁村地域に対して、直接訪れる以外に何か関わりを持っていますか。(いくつでも)
【必須入力】

- ☐ 1. 特定の農山漁村地域の人や団体等と交流を持ち、定期的に情報を交換したり、農産物・特産品などを直接購入している
- ☐ 2. 都市地域で開催される農山漁村地域関連のイベントに参加したり、アンテナショップ等を訪れて、商品や特産品を購入している
- ☐ 3. 出身地や関わりのある農山漁村地域に「ふるさと納税」をしている
- ☐ 4. 農山漁村地域で地域おこし活動を行うNPOなどに寄付をしている
- ☐ 5. 同郷会(都市部で行う同じ地域の出身者の集まり)に参加している
- ☐ 6. 特定の農山漁村地域の団体等の会員に登録している
- ☐ 7. 上記以外の関わりを持っている
- ☐ 8. 特に農山漁村地域との関わりはない

**Q5** あなたは、子育てに適しているのは都市地域だと思いますか、それとも農山漁村地域だと思いますか。(ひとつだけ)
【必須入力】

| 1<br>都市地域 | 2<br>どちらかというと<br>都市地域 | 3<br>どちらかというと<br>農山漁村地域 | 4<br>農山漁村地域 | 5<br>どちらともいえない |
|---|---|---|---|---|
| ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

■あなたの農山漁村地域への移住についてのお考えなどをおうかがいします。

**Q6** あなたは、現在お住いの地域の生活環境に満足していますか。(ひとつだけ)
【必須入力】

| 1<br>大変満足している | 2<br>概ね満足している | 3<br>やや不満である | 4<br>大変不満である |
|---|---|---|---|
| ○ | ○ | ○ | ○ |

**Q7** あなたは、現在お住まいの地域に住み続けたいですか、それとも別の地域へ移住したいですか。(ひとつだけ)
【必須入力】

- ○ 1. 現在の地域に住み続けたい
- ○ 2. どちらかといえば現在の地域に住み続けたい
- ○ 3. どちらかといえば別の地域へ移住したい
- ○ 4. 別の地域へ移住したい

**Q8** **前問で【どちらかといえば別の地域へ移住したい】と回答された方におうかがいします。**
**現在の地域との比較で考えた場合、どのような地域に移住をしたいですか。(いくつでも)**
**【必須入力】**

- ☐ 1. 現在の地域より若い世代や子どもが多い地域
- ☐ 2. 現在の地域より都市機能が充実した地域
- ☐ 3. 歩いて暮らせるような日常生活が便利な地域
- ☐ 4. 現在の地域より生活は不便でも自然が豊かな地域
- ☐ 5. 現在の地域より生活は不便でも環境にやさしい暮らし(ロハス)やゆっくりとした暮らし(スローライフ)が送れる地域
- ☐ 6. 離島や山間部など、現在の地域ではできない暮らしが送れる地域
- ☐ 7. その他

**Q9** **あなたは、農山漁村地域に移住してみたいと思いますか。**
**あなたご自身のお考えとしてお答えください。(ひとつだけ)**
**【必須入力】**

- ○ 1. 農山漁村地域に移住する予定がある
- ○ 2. いずれは(ゆくゆくは)農山漁村地域に移住したいと思う
- ○ 3. 条件が合えば農山漁村地域に移住してみてもよいと思う
- ○ 4. あまり積極的に農山漁村地域に移住してみたいとは思わない
- ○ 5. 農山漁村地域に移住したいとはまったく思わない

**Q10からQ17までは、前問で【農山漁村地域に移住する予定がある】とお答えの方にうかがいます。**
**Q10からQ17までは、前問で【いずれは(ゆくゆくは)農山漁村地域に移住したいと思う】とお答えの方にうかがいます。**
**Q10からQ17までは、前問で【条件が合えば農山漁村地域に移住してみてもよいと思う】とお答えの方にうかがいます。**

**Q10** **あなたが移住したい(移住を予定している)農山漁村地域はどのような地域ですか。(いくつでも)**
**【必須入力】**

- ☐ 1. 自分の出身地
- ☐ 2. 配偶者の出身地
- ☐ 3. 自分や配偶者の出身地の近く
- ☐ 4. 自分の親や配偶者の親などの親族の出身地
- ☐ 5. 自分の親や配偶者の親が住んでいる地域
- ☐ 6. 子どもなどの面倒を見てくれる親族が住んでいる地域
- ☐ 7. 友人や知り合いが住んでいる地域
- ☐ 8. 出身地ではないが、幼少期によく訪れたことがある、なじみのある地域
- ☐ 9. 出身地ではないが、学生時代や転勤などで一定期間住んだことのある、なじみのある地域
- ☐ 10. 出身地ではないが、過去に観光などでよく訪れたり滞在したことがある地域
- ☐ 11. 出身地ではないが、この数年来、何度か行き来している、なじみのある地域
- ☐ 12. 移住相談窓口で話を聞いたり、移住体験ツアーに参加したことのある地域
- ☐ 13. 上記以外で、テレビやインターネット等の情報を通じて魅力を感じている地域
- ☐ 14. その他

- ☐ 15. 具体的なイメージはない・決めていない

**Q11** あなたは、いつ頃(どのようなタイミングで)農山漁村地域への移住を実現したいとお考えですか。
【1】農山漁村地域への移住を考えているタイミングについてすべて挙げてください。(いくつでも)
【2】その中で、あなたが最も希望する移住のタイミングをひとつ選んでください。(ひとつだけ)
※縦方向に回答してください。各項目で矢印(↓)方向にそれぞれ選択してください。
【必須入力】

| | 1<br>移住を考えている<br>タイミング(いくつでも) | 2<br>最も希望する移住の<br>タイミング(ひとつだけ) |
|---|---|---|
| | ↓ | ↓ |
| 1. 条件が整えばすぐにでも | ☐ | ○ |
| 2. 自分が今通っている大学等を卒業したら | ☐ | ○ |
| 3. 自分又は配偶者が(定年・早期)退職したら | ☐ | ○ |
| 4. 子どもが小・中学校へ進学するタイミングに合わせて(子どもを連れて移住) | ☐ | ○ |
| 5. 子どもが高校や大学等へ進学するタイミングに合わせて(子どもと離れて移住) | ☐ | ○ |
| 6. 子育てが終わったら(子どもが自立したら) | ☐ | ○ |
| 7. 自分や配偶者の親の介護などが必要となったら | ☐ | ○ |
| 8. 自分や配偶者の親の介護などが不要になったら | ☐ | ○ |
| 9. 配偶者との離・死別など家族構成に変化があったら | ☐ | ○ |
| 10. その他 | ☐ | ○ |
| | | |
| 11. 具体的な時期は考えていない | ☐ | ○ |

**Q12** あなたは、農山漁村地域に移住した場合、移住先ではどのくらい住む予定ですか。(ひとつだけ)
【必須入力】

○ 1. ずっと農山漁村地域で暮らしたい(定住したい)
○ 2. 自分又は配偶者が日常的に介護・医療サービスが必要になるまでは農山漁村地域で暮らしたい
○ 3. 子どもの進学などで住み続けるのが難しくなるまでは農山漁村地域で暮らしたい
○ 4. ライフステージの各段階で、その時々の条件に合う地域を選んで移り住みたい
○ 5. その他
○ 6. まだわからない

**Q13** **あなたが農山漁村地域に移住したいと思う理由は何ですか。(いくつでも)**
**【必須入力】**

- ☐ 1. ふるさと(出身地)で暮らしたいから
- ☐ 2. 家族(配偶者、子ども、親)と一緒に暮らしたいから(一緒に暮らす必要があるから)
- ☐ 3. 家族や親せきが近くにいるところで暮らしたいから
- ☐ 4. ふるさとではないが、なじみのある地域で暮らしたいから
- ☐ 5. 気候や自然環境に恵まれたところで暮らしたいから
- ☐ 6. 環境にやさしい暮らし(ロハス)やゆっくりとした暮らし(スローライフ)、自給自足の生活を送りたいから
- ☐ 7. 安くて新鮮で安心・安全な食料が手に入るから
- ☐ 8. 農作業など都市地域ではできない仕事がしたいから
- ☐ 9. 自分の資格や知識、スキルを活かした仕事や活動がしたいから
- ☐ 10. 都市地域より安くて広い土地や住宅が手に入るから
- ☐ 11. 豊かな自然に恵まれた良好な環境の中で子どもを育てたいから
- ☐ 12. アウトドアスポーツ(サーフィン・ダイビング・トレッキング・スキー等)中心の暮らしがしたいから
- ☐ 13. 働き方や暮らし方を変えたいから
- ☐ 14. 新しい土地で新しい人間関係を築きたいから
- ☐ 15. 都会の喧騒を離れて静かなところで暮らしたいから
- ☐ 16. その他 [ ]

**Q14** **あなたが農山漁村地域に移住する上で必要な条件は何ですか。**
**【1】農山漁村地域に移住する上で必要な条件をすべて挙げてください。(いくつでも)**
**【2】その中で、最も重視する条件をひとつ選んでください。(ひとつだけ)**
**※縦方向に回答してください。各項目で矢印(↓)方向にそれぞれ選択してください。**
**【必須入力】**

| | 1<br>必要な条件<br>(いくつでも)<br>↓ | 2<br>最も重視する条件<br>(ひとつだけ)<br>↓ |
|---|---|---|
| 1. 生活が維持できる仕事(収入)があること | ☐ | ○ |
| 2. 買い物や娯楽などの日常生活に必要なサービスや生活関連施設があること | ☐ | ○ |
| 3. 病院や診療所、介護施設など医療・福祉の環境が整っていること | ☐ | ○ |
| 4. 居住に必要な家屋や土地を安く入手できること | ☐ | ○ |
| 5. 居住に必要な空き家や賃貸住宅の斡旋・仲介が受けられること | ☐ | ○ |
| 6. 大がかりな改修等をしなくてもすぐに住める家があること | ☐ | ○ |
| 7. 子育てに必要な保育・教育施設や環境が整っていること | ☐ | ○ |
| 8. バスや鉄道など生活していく上で必要な公共交通が確保されていること | ☐ | ○ |
| 9. 都市部とのアクセスが確保されていること | ☐ | ○ |
| 10. 文化イベントや趣味の場などが充実していること | ☐ | ○ |
| 11. 移住に必要な費用の補助や奨励金などの自治体の支援があること | ☐ | ○ |
| 12. 居住地の検討に必要な情報が入手できること | ☐ | ○ |
| 13. 何年か行き来して知り合いができたり、生活していける目途が立っていること | ☐ | ○ |
| 14. 移住に先立ち、色々なことを相談できるサポート体制が整っていること | ☐ | ○ |
| 15. 本格的に移住する前に、試しに移住体験ができるツアーや制度があること | ☐ | ○ |
| 16. 移住後の暮らしをサポートしてくれる相談体制が整っていること | ☐ | ○ |
| 17. 移住先の地域に同世代の住民がいること | ☐ | ○ |
| 18. その他 | ☐ [ ] | ○ |
| | | |
| 19. 特にない | ☐ | ○ |

**Q15** あなたは、農山漁村地域に移住したら、どのような仕事に就きたいですか。(いくつでも)
【必須入力】

- ☐ 1. 農林水産業に従事したい(生業として)
- ☐ 2. 農家レストランや民宿などの宿泊施設を開きたい
- ☐ 3. 役場や地元の会社に就職し、フルタイムで働きたい
- ☐ 4. 役場や地元の会社に就職し、パートタイムやアルバイトとして働きたい
- ☐ 5. 持っている資格や知識、スキルを活かして新たに起業したい
- ☐ 6. 持っている資格や知識、スキルが活かせる仕事に就きたい
- ☐ 7. 今の仕事(自営業・自由業)を移住先の農山漁村地域で続けたい
- ☐ 8. 今の勤め先での仕事を移住先の農山漁村地域で続けたい
- ☐ 9. 会社等には就職せず、家業や家族の仕事を手伝いたい
- ☐ 10. 上記以外の働き方で仕事をしたい

- ☐ 11. 特に仕事はしない(移住先の農山漁村地域で働くつもりはない)

**Q16** あなたは、農山漁村地域に移住したら、どのような暮らしをしたいですか。(いくつでも)
【必須入力】

- ☐ 1. 趣味やレジャーを楽しみたい
- ☐ 2. 趣味としての農作業等を楽しみたい
- ☐ 3. 自分のスキルを活かして地域貢献活動をしたい
- ☐ 4. 地域の人たちと触れ合い、地域活動に参画したい
- ☐ 5. 地域の伝統工芸や地域文化を継承する活動に関わりたい
- ☐ 6. 自然環境を守る活動をしたい
- ☐ 7. 同じように都市地域から移住してきた人や都市部から訪れる人と一緒に新しい活動を展開したい
- ☐ 8. 家族や親族、友人との時間を大切にしたい
- ☐ 9. 自給自足の生活を送りたい
- ☐ 10. 静かな環境の中で病気の療養や健康の増進を図りたい
- ☐ 11. その他 [ ]

**Q17** あなたは、農山漁村地域への移住に対し、何か不安や懸念をお持ちですか。(いくつでも)
【必須入力】

- ☐ 1. 希望する条件・内容の仕事(働き口)があるか
- ☐ 2. 生活を維持していけるだけの収入が得られるか
- ☐ 3. 収入に対して生活コスト(物価・光熱費・住居費・交通費など)が高くつくのではないか
- ☐ 4. 買い物、娯楽など日常生活に必要なサービスや生活関連施設があるか
- ☐ 5. 病院や診療所、介護施設など医療・福祉の環境が整っているか
- ☐ 6. 定住するために必要な住居が確保できるか
- ☐ 7. 子育て環境(保育・教育施設)が十分か
- ☐ 8. 地域内で移動するための交通手段が確保できるか
- ☐ 9. 都市部へのアクセス手段が確保できるか
- ☐ 10. 移住先での人間関係がうまく構築できるか(地域にうまくとけこめるか)
- ☐ 11. 災害対策や緊急時の危機管理体制は十分か
- ☐ 12. 移住先の気候や風土に順応できるか
- ☐ 13. 野生の動物や虫・昆虫などが出没しないか
- ☐ 14. 将来にわたり生活環境が維持されるか(住み続けられるか)
- ☐ 15. 配偶者の同意が得られるか
- ☐ 16. 配偶者以外の同居家族(子どもや親、兄弟姉妹など)の同意が得られるか
- ☐ 17. その他 [ ]
- ☐ 18. 特に不安なことや懸念していることはない

この設問は、Q19で【あまり積極的に農山漁村地域に移住してみたいとは思わない】とお答えの方にうかがいます。
この設問は、Q19で【農山漁村地域に移住したいとはまったく思わない】とお答えの方にうかがいます。

**Q18 あなたが農山漁村地域に移住してみたいと思わないのはなぜですか。(いくつでも)**
【必須入力】

- ☐ 1. 希望する条件・内容の仕事(働き口)がなさそうだから
- ☐ 2. 生活を維持していけるだけの収入が得られそうにないから
- ☐ 3. 収入に対して生活コスト(物価・光熱費・住居費・交通費など)が高くつきそうだから
- ☐ 4. 買い物、娯楽など日常生活に必要なサービスや生活関連施設が十分ではなさそうだから
- ☐ 5. 病院や診療所、介護施設など医療・福祉の環境が十分ではなさそうだから
- ☐ 6. 希望する条件の住居が確保できるかわからないから
- ☐ 7. 子育て環境(保育・教育施設)が十分ではなさそうだから
- ☐ 8. 地域内での移動の交通手段が十分ではなさそうだから
- ☐ 9. 都市部へのアクセス手段が十分ではなさそうだから
- ☐ 10. 移住先での人間関係がうまく構築できるか(地域にとけこめるか)不安だから
- ☐ 11. 災害対策や緊急時の危機管理体制に不安があるから
- ☐ 12. 移住先の気候や風土に順応できるか不安だから
- ☐ 13. 野生の動物や虫・昆虫などが出没しそうだから
- ☐ 14. 将来にわたり生活環境が維持されるか(住み続けられるか)不安だから
- ☐ 15. 配偶者の同意が得られそうにないから
- ☐ 16. 配偶者以外の同居家族(子どもや親、兄弟姉妹など)の同意が得られそうにないから
- ☐ 17. 今の都市地域での生活に不満がないから
- ☐ 18. 都市地域での暮らし以上の魅力を感じないから
- ☐ 19. その他 [ ]

ここからは、すべての方にうかがいます。

**Q19 あなたは、農山漁村地域の自治体がどのような施策を行っていれば、先ほどご回答いただいたような農山漁村地域への移住に対する不安や懸念が解消され、移住してみたいと思うようになりますか。(いくつでも)**
【必須入力】

- ☐ 1. 「お試し居住」などの移住体験
- ☐ 2. 移住や移住後の暮らしに関する総合的な相談窓口
- ☐ 3. 空き家情報の提供や斡旋、紹介
- ☐ 4. 公的賃貸住宅(定住促進住宅など)の優先的な斡旋
- ☐ 5. 仕事(働き口)の紹介
- ☐ 6. 農林漁業体験・研修
- ☐ 7. 農林水産業への就業に向けた支援(土地の提供、受入農家の紹介など)
- ☐ 8. 起業支援(起業・創業に係る費用の助成、店舗物件等の斡旋、改装費補助など)
- ☐ 9. 移住に係る費用の補助(空き家の改修費の補助など)
- ☐ 10. 移住後の暮らしに対する支援(定住奨励金、家賃補助、子どもの医療費助成など)
- ☐ 11. 出産・子育てに係る支援(出産費用や健診費用の助成、保育料無料、児童手当など)
- ☐ 12. 教育に係る支援(高校等への通学費補助、下宿費用の助成、奨学資金貸与など)
- ☐ 13. 移住先の地域に関する情報の提供
- ☐ 14. 地域住民との交流会の開催など、地域とのつながり・つなぎづくりに関するサポート
- ☐ 15. その他 [ ]

- ☐ 16. 特にない

**Q20** **あなたは、移り住む以外の方法で、今後農山漁村地域とどのような関わりを持ちたいとお考えになりますか。(いくつでも)**

【必須入力】

- ☐ 1. 都市地域での住まいのほかに、農山漁村地域にも住宅をもって行き来する暮らし(二地域居住)がしたい
- ☐ 2. 都市地域で生活しつつ、地域活動(農作業、祭りなど)への参加や地元の人との交流のため、農山漁村地域を訪れたり滞在したりする暮らしがしたい
- ☐ 3. 都市地域で生活しつつ、観光などのために農山漁村地域を時々訪れたり、滞在したりする暮らしがしたい
- ☐ 4. 特定の農山漁村地域の人や団体・グループ等と交流を持ち、定期的に情報を交換したり、農産物等を直接購入したい
- ☐ 5. 都市地域で開催される農山漁村地域関連のイベントに参加したり、アンテナショップ等を訪れて、商品や特産品を購入したい
- ☐ 6. 出身地や関わりのある農山漁村地域に「ふるさと納税」をしたい
- ☐ 7. 農山漁村地域で地域おこし活動を行うNPOなどに寄付をしたい
- ☐ 8. 同郷会(都市部で行う同じ地域の出身者の集まり)などに参加したい
- ☐ 9. 地域の情報を得たり地域での活動を間接的にサポートしたい(特定の農山漁村地域の団体等の会員になるなど)
- ☐ 10. その他の関わりを持ちたい [ ]
- ☐ 11. 特に農山漁村地域との関わりを持ちたいとは思わない

## ■最後に、あなたご自身についておうかがいします。

**Q21** **あなたの現在のお仕事はどれにあたりますか。(ひとつだけ)**
**※複数あてはまる場合は、その中で主な職業をお答えください。**

【必須入力】

- ○ 1. 専業主婦(主夫)
- ○ 2. 自営業・自由業
- ○ 3. 公務員
- ○ 4. 教職員
- ○ 5. 会社経営者
- ○ 6. 会社役員
- ○ 7. 会社員
- ○ 8. フリーター
- ○ 9. 派遣社員
- ○ 10. パート・アルバイト
- ○ 11. 大学生・大学院生・専門学校生
- ○ 12. 浪人生・予備校生
- ○ 13. その他

**Q22** **あなたは現在ご結婚されていますか。(ひとつだけ)**

【必須入力】

- ○ 1. 未婚
- ○ 2. 既婚
- ○ 3. 離別・死別

Q23 **あなたが現在同居しているお子さんについてお答えください。(いくつでも)**
**※あなたから見た続柄でお答えください。**
【必須入力】

- ☐ 1. 小学生未満
- ☐ 2. 小学校低学年
- ☐ 3. 小学校高学年
- ☐ 4. 中学生
- ☐ 5. 高校生
- ☐ 6. その他の学生(大学生・大学院生・専門学校生など)
- ☐ 7. その他(働いている子ども)
- ☐ 8. その他(働いていない子ども)

- ☐ 9. 子どもはいるが同居していない

- ☐ 10. 子どもはいない

Q24 **あなたの世帯の現在の収入(年収)はどれくらいですか。(ひとつだけ)**
【必須入力】

- ○ 1. 100万円未満
- ○ 2. 100～200万円未満
- ○ 3. 200～400万円未満
- ○ 4. 400～600万円未満
- ○ 5. 600～800万円未満
- ○ 6. 800～1000万円未満
- ○ 7. 1000～1500万円未満
- ○ 8. 1500万円以上
- ○ 9. わからない・答えたくない

# 第３章　現地ヒアリング調査

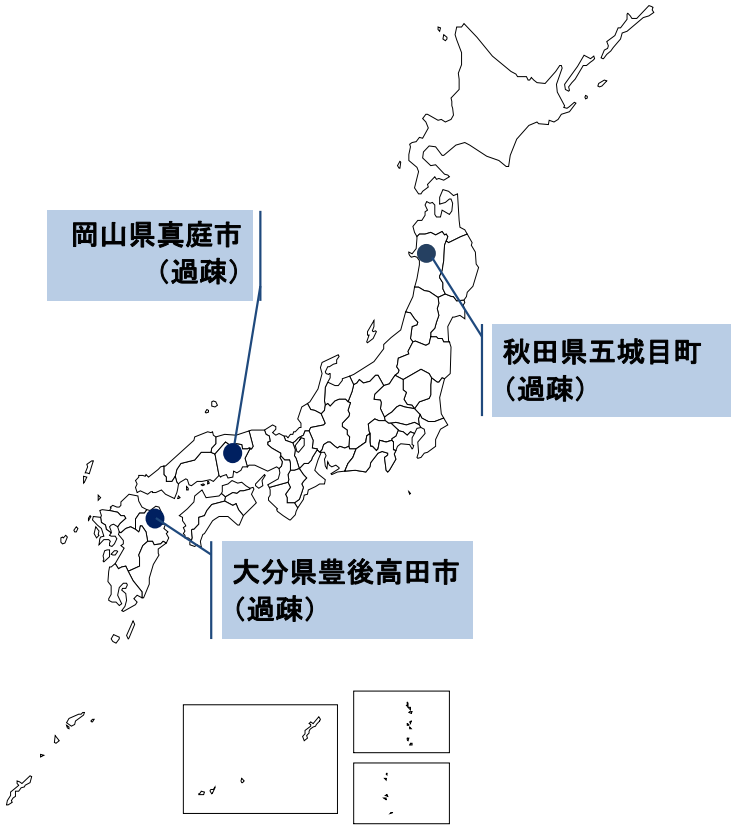
## ３－１．調査の概要

### （１）調査の目的

「田園回帰」の要因を分析するため、近年都市部からの移住が顕著にみられる地域を対象に移住促進策に力を入れており、若年層の人口増など、特徴的な人口動態がみられる市町村に対し、現地ヒアリング調査を実施した。

### （２）調査の対象

近年の人口動態と市町村の移住・定住促進施策の両面から特徴的な動きがみられる以下の過疎地域市町村を抽出し、現地ヒアリング調査を実施した。



## ３－２．秋田県五城目町　現地ヒアリング調査結果

### （１）地域概況




（出典：五城目町HPより）

| 国勢調査 | 平成 22 年 | 平成 27 年 | 平成27年度決算 | |
|---|---|---|---|---|
| 人　　口 | 10,516 人 | 9,463 人 | 財政力指数 | 0.25 |
| 世 帯 数 | 3,733 世帯 | 3,573 世帯 | 実質公債費比率 | 8.4% |
| 面　　積 | 214.94km$^2$ | 214.92km$^2$ | 経常収支比率 | 90.5% |

・秋田県の中央部、八郎湖（大潟村）の東方に位置し、秋田市と能代市からそれぞれ約30km（約40分）。

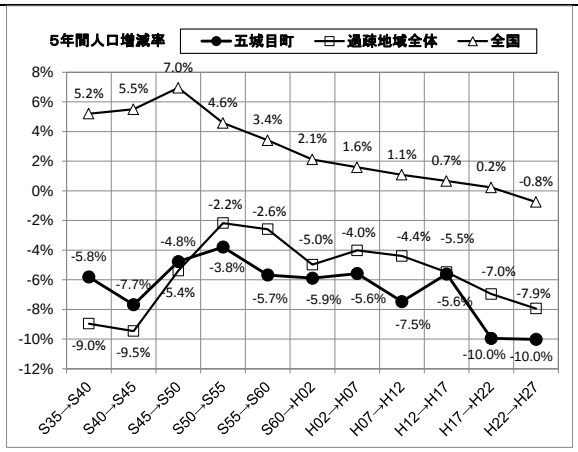
・急峻な山岳地帯から肥沃な水田地帯まで豊かな自然を活かした農林業が盛ん。一方で、県北と県央を結ぶ街道の要所として、製材、家具、建具、打刃物、醸造業と商店街が発達し、湖東部における商工業都市を形成。

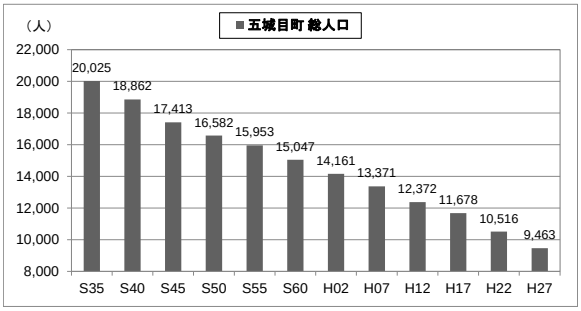
**人口動向**

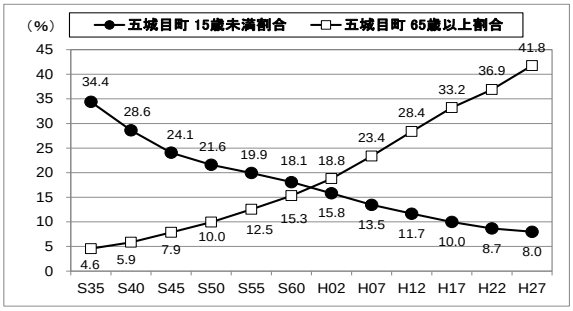
・昭和35年には2万人を超えていた人口は、平成2年には15,000人を割り込み、さらに平成27年には9,463人と昭和35年時点の人口の半数程度に減少。

・5年間人口増減率をみると、昭和35～50年は過疎地域全体ほどの減少はみられなかったが、その後は過疎地域全体を上回る減少率が続いており、平成17～22年以降は-10.0%と人口減の傾向が強まっている。

・昭和35年には4.6%と低かった65歳以上割合は、平成2年に15歳未満割合を上回り、平成27年には40%を超え、41.8%となっている。



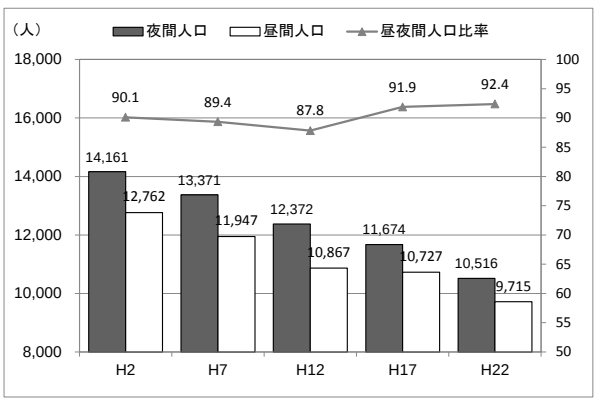

（出典：各年国勢調査）

**昼夜間人口比率**

・昼夜間人口比率は毎年100を下回っており、平成12年までは低下傾向にあったが、その後上昇傾向に転じ、平成22年は92.4と平成2年より2.3ポイント上昇。

＜就業者・通学者の状況＞

・近隣の秋田市に就業するものが多い。また、町内に高校が1校あるものの、町外への通学者がほとんどである。




（出典：各年国勢調査）

## （２）近年の転入の動向

**住民基本台帳による転出入の状況**

・近年の社会動態をみると、毎年200～250人程度の転入者がある一方、300人前後の転出者があることから、社会減が続いている。

| | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 転入者数(人) | 262 | 187 | 248 | 213 | 223 | 206 |
| 転出者数(人) | 295 | 291 | 280 | 294 | 301 | 276 |
| 社会増減(人) | −33 | −104 | −32 | −81 | −78 | −70 |

（出典）「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」（総務省）

※転入者数・転出者数は、H24までは各年度集計（4/1～翌年3/31の間の転出入）、H25以降は各年集計（同年1/1～12/31の間の転出入）。

**国勢調査による移動率の状況**

・コーホート純移動率をみると、10～14 歳（期末時点）は近年3期間連続で転入超過となっており、直近の平成 22～27 年の期間では 5～9 歳、25～29 歳、60～69 歳（いずれも期末時点）も転入超過。

| 年齢区分 | S60→H2 | H2→H7 | H7→H12 | H12→H17 | H17→H22 | H22→H27 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 〔期首〕0 ～ 4歳 →〔期末〕5 ～ 9歳 | △ 1.74 | **5.85** | **1.23** | △ 1.17 | △ 2.46 | **1.02** |
| 〔期首〕5 ～ 9歳 →〔期末〕10～14歳 | △ 0.43 | **3.44** | △ 1.76 | **0.28** | **1.62** | **2.35** |
| 〔期首〕10～14歳→〔期末〕15～19歳 | △ 16.08 | △ 14.06 | △ 14.75 | △ 17.12 | △ 16.44 | △ 18.17 |
| 〔期首〕15～19歳→〔期末〕20～24歳 | △ 33.72 | △ 32.21 | △ 36.69 | △ 32.05 | △ 38.95 | △ 35.96 |
| 〔期首〕20～24歳→〔期末〕25～29歳 | △ 5.27 | △ 8.78 | △ 8.13 | △ 1.48 | △ 5.40 | **2.30** |
| 〔期首〕25～29歳→〔期末〕30～34歳 | △ 3.59 | △ 8.13 | △ 6.81 | △ 0.25 | △ 7.73 | △ 6.61 |
| 〔期首〕30～34歳→〔期末〕35～39歳 | △ 1.98 | **1.84** | **1.10** | **0.62** | △ 11.45 | △ 9.82 |
| 〔期首〕35～39歳→〔期末〕40～44歳 | △ 3.22 | △ 0.63 | △ 0.29 | **2.80** | △ 1.13 | △ 2.20 |
| 〔期首〕40～44歳→〔期末〕45～49歳 | △ 1.63 | △ 2.09 | **0.21** | △ 0.83 | △ 0.29 | △ 0.44 |
| 〔期首〕45～49歳→〔期末〕50～54歳 | △ 1.27 | △ 0.92 | △ 0.91 | △ 1.03 | △ 0.72 | △ 1.66 |
| 〔期首〕50～54歳→〔期末〕55～59歳 | △ 2.96 | **0.63** | △ 1.47 | **2.13** | △ 2.91 | △ 1.06 |
| 〔期首〕55～59歳→〔期末〕60～64歳 | △ 0.75 | △ 0.86 | **1.67** | **3.13** | △ 1.42 | **1.63** |
| 〔期首〕60～64歳→〔期末〕65～69歳 | **2.29** | **0.73** | △ 2.05 | **1.48** | △ 0.52 | **1.11** |
| 〔期首〕65～69歳→〔期末〕70～74歳 | △ 1.31 | △ 0.43 | △ 0.87 | **2.75** | **0.53** | △ 0.73 |
| 〔期首〕70～74歳→〔期末〕75～79歳 | △ 2.37 | △ 1.69 | △ 2.78 | **1.58** | △ 3.54 | △ 0.10 |
| 〔期首〕75～79歳→〔期末〕80～84歳 | △ 0.71 | △ 1.12 | △ 0.22 | **1.90** | **0.94** | △ 3.16 |

（出典：各年国勢調査より集計）

**国勢調査による移住者の状況**

・国勢調査の移動人口集計から近年の移住者（5年前の常住地が当該市町村以外の者）の状況をみると、平成12年の移住者数は660人（常住人口の5.3%）、平成22年は579人（同5.5%）。

・移住者の性別をみると女性の方がやや多い。

・年齢階層別の割合をみると、20代が最も多くの割合を占めているが、平成12年は33.0%、平成22年は27.3%であり、やや低下している。一方で30代の割合は、平成12年は22.6%、平成22年は26.1%であり、拡大している。

・移住元別に割合をみると、同一県からの移住者は他県からの移住者より多くの割合を占め、平成22年には7割近くまで拡大している。

・三大都市圏からの移住者の割合は、平成12年の17.0%から平成22年の14.0%と低下し、同様に大都市からの移住者の割合も、平成12年の14.8%から平成22年の9.8%と低下している。

・家族類型別の割合をみると、核家族以外の世帯が3割超と最も多くの割合を占め、次いで夫婦と子供から成る世帯が多い。

| | | 五城目町 | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | H12 | | H22 | |
| 常住者数 | | 12,372 | | 10,516 | |
| 移住者総数 (N) | | 660 | (100.0%) | 579 | (100.0%) |
| 性別 | 男 | 314 | (47.6%) | 286 | (49.4%) |
| | 女 | 346 | (52.4%) | 293 | (50.6%) |
| 年齢5歳階級別 | 5～9歳 | 45 | (6.8%) | 34 | (5.9%) |
| | 10～14歳 | 22 | (3.3%) | 20 | (3.5%) |
| | 15～19歳 | 23 | (3.5%) | 9 | (1.6%) |
| | 20～24歳 | 76 | (11.5%) | 50 | (8.6%) |
| | 25～29歳 | 142 | (21.5%) | 108 | (18.7%) |
| | 30～34歳 | 87 | (13.2%) | 92 | (15.9%) |
| | 35～39歳 | 62 | (9.4%) | 59 | (10.2%) |
| | 40～44歳 | 52 | (7.9%) | 45 | (7.8%) |
| | 45～49歳 | 41 | (6.2%) | 35 | (6.0%) |
| | 50～54歳 | 24 | (3.6%) | 32 | (5.5%) |
| | 55～59歳 | 17 | (2.6%) | 23 | (4.0%) |
| | 60～64歳 | 17 | (2.6%) | 19 | (3.3%) |
| | 65～69歳 | 16 | (2.4%) | 7 | (1.2%) |
| | 70～74歳 | 12 | (1.8%) | 11 | (1.9%) |
| | 75～79歳 | 10 | (1.5%) | 10 | (1.7%) |
| | 80～84歳 | 7 | (1.1%) | 14 | (2.4%) |
| | 85歳以上 | 7 | (1.1%) | 11 | (1.9%) |
| 移住元・全体 | 同一県から | 420 | (63.6%) | 394 | (68.0%) |
| | 同一県の県庁所在地から | 162 | (24.5%) | 175 | (30.2%) |
| | 他県から | 240 | (36.4%) | 185 | (32.0%) |
| | 他県の大都市から | 98 | (14.8%) | 57 | (9.8%) |
| | 同一ブロックから | 491 | (74.4%) | 456 | (78.8%) |
| | 同一ブロックの大都市から | 25 | (3.8%) | 19 | (3.3%) |
| | 三大都市圏から | 112 | (17.0%) | 81 | (14.0%) |
| | 三大都市圏の大都市から | 65 | (9.8%) | 37 | (6.4%) |
| | 大都市から | 98 | (14.8%) | 57 | (9.8%) |
| | 三大都市圏以外の大都市から | 33 | (5.0%) | 20 | (3.5%) |
| | 県庁所在地から | 239 | (36.2%) | 217 | (37.5%) |
| | 三大都市圏の県庁所在地から | 24 | (3.6%) | 13 | (2.2%) |
| 家族類型 | 夫婦のみの世帯 | 71 | (10.8%) | 67 | (11.6%) |
| | 夫婦と子供から成る世帯 | 185 | (28.0%) | 135 | (23.3%) |
| | 男親又は女親と子供から成る世帯 | 46 | (7.0%) | 58 | (10.0%) |
| | 核家族以外の世帯 | 231 | (35.0%) | 182 | (31.4%) |
| | 非親族を含む世帯 | 0 | (0.0%) | 1 | (0.2%) |
| | 単独世帯 | 101 | (15.3%) | 101 | (17.4%) |
| | 不詳 | 26 | (3.9%) | 35 | (6.0%) |

（出典：各年国勢調査より集計）

**五城目町が考える要因等**

・近年、地域活性化支援センターの設置や移住起業の推進などにより、町外からの子連れ世帯の転入が増えている。

## （３）移住・定住の促進に係る対策の概要

**※主要・特徴的な施策・制度を抜粋**

| | |
|---|---|
| 移住・定住促進に係る方針や庁内体制の整備 | **●「まち・ひと・しごと創生総合戦略」における移住・定住対策の具体化**<br>・平成 23 年度に「五城目町総合発展計画」を策定し、人口減少と高齢化が予測を大きく上回る速さで進んでいることに鑑み、定住対策を重点目標のひとつに掲げ、町民アンケートで要望の高かった「就労の場の確保」を軸とした対策を講じた。<br>・平成26年度から地方創生総合戦略の策定に向け、町の人口動向を分析する中で、若年世代を中心とした移住・定住対策について検討を重ね、それまでの定住対策を発展的に取り込みながら、施策を具体化して総合戦略に位置付けた。<br>・移住・定住対策はまちづくり課が所掌しており、このほか、後述する「BABAME BASE」（ばばめベース）の管理運営や町内 71 集落の活性化対策、乗り合いタクシーの運行など幅広く担当。 |
| 空き家の斡旋 | **●空き家利活用事業**<br>・地域おこし協力隊の 1 名が担当業務として、町内の空き家を把握し、移住希望者に空き家情報を紹介している。空き家への移住者の入居実績は毎年3～5件程度である。<br>・町内の家屋の1割程度（300～400 戸）が空き家となっているが、多くは老朽化し、防寒対策が不十分であるため、すぐに住める状態のものは1割程度（30～40 戸）である。<br>・平成 28 年度は町内の不動産業者と連携し、地域おこし協力隊が把握した空き家のマップ化や情報発信に着手している。 |
| 移住者の住まいの確保等に係る補助・融資 | **●五城目町移住起業者生活支援事業補助金（H27～）**<br>・移住者に冬季の積雪等に慣れてもらうことが定住に繋がるとの考えから、町外から移住して、町内で起業や事業所の移転等をする人に対し、移住後の1年間に限り、家賃や除排雪作業のための経費を上限 12 万円、補助率 1/2 で補助している。 |
| 就職・就農支援 | **●廃校舎を活用したシェアオフィスの整備（H25～）**<br>・平成 15 年 3 月に閉校した馬場目小学校は築 13 年であり、まだ新しかったことから、同校舎の活用方策をまちづくり課で検討し、当時総合計画の策定のために実施した町民アンケート調査で「働く場がほしい」との声が高かったことを踏まえ、起業者やコミュニティ活動などを実施する事業者を支援する場として、平成 25 年 10 月に地域活性化支援センター「BABAME BASE」を開設（総務省の地域の元気臨時交付金を活用）した。<br>・その背景には、長年大企業の誘致を行ってきたが、なかなか芳しい成果が得られなかったことがあり、平成 24 年度に実施した企業誘致調査の結果も踏まえ、大企業誘致から小規模な事業所の起業支援へ方針を転換し、姉妹都市提携をしている千代田区の「ちよだプラットフォームスクエア」（シェアオフィス）をヒントに、同校舎をレンタルオフィスとして活用することとなった。<br>・平成 25 年 10 月のオープン以来、平成 29 年 2 月までに町内外からの事業所の移転や移住者による起業などによって 13 社が入居しており、12 人の雇用（うち町民は 10 名）を創出、また経営者や家族を含めて 17 人の移住につながっている。<br>・同センターは町職員2名が管理しており、地域おこし協力隊（4名、H29.2.3 時点）の活動拠点にもなっている。<br>・オフィスとして「BABAME BASE」を利用する際の使用料は 2 万円/月であり、貸借期間は最長 10 年間となっている。 |

| | |
|---|---|
| 就職・就農支援 | **●五城目町移住者起業等支援事業補助金（H27～）**<br>・町外から移住し、当年度中に起業や事業所移転をする人、又は移住して3年以内の人で当年度中に起業する人に対し、対象経費の 1/2 以内で補助金を交付（上限 50 万円）している。<br>・平成 28 年度は（H29 年 2 月時点で）2 件の利用がある。<br>**●五城目町新規雇用奨励金（H18～、H28 に見直し・改正）**<br>・平成 18 年度から、農林業や製造業の担い手不足に対し退職者の再雇用を促進するための事業として、新たに町民を雇用する事業者に対し、雇用奨励金を交付していたが、平成 27 年度から総合戦略に基づき、同事業を移住・定住対策の一環として内容を見直した。<br>・支援メニューは農林業関係事業所とそれ以外に分かれており、農林業関係事業所については、担い手の確保を図る観点から、町民かどうかは問わず新たに正規雇用した事業所に対して、新規雇用一人あたり 50 万円の奨励金を交付、事業所あたりの上限は 50 万円としている。<br>・一方、農林業以外の事業所については、新たに町民を正職員として雇用した場合は 30 万円/人、町外在住者を雇用した場合は 10 万円/人を、1事業所あたり上限 120 万円で交付している（H28 は地方創生加速化交付金、H29 からは過疎債ソフト事業を活用予定）。<br>・平成 28 年度は（H29.2 時点で）5 社（12 人）の利用がある。 |
| 「お試し居住」や移住体験 | **●五城目町起業希望者移住体験事業（H27～）**<br>・県外に住所を有し、町内で起業を希望する人に対して町内視察に係る旅費や宿泊費を補助している（上限 2 万円、1/2 補助）。<br>・平成 28 年度は（H29 年 2 月時点で）2 件の利用がある。 |
| 情報発信 | **●移住・定住に係る情報発信（H27～）**<br>・移住支援マガジン『五城目暮らしウォーカー』を発行している。<br>・主に町出身者や大都市圏などの住民を対象に、五城目の暮らしに関する情報サイト（「五城目 HUB」）を構築して情報提供している。 |

### （４）移住者ヒアリングの結果

■対象者

| 移住者 | 世帯構成 | 移住年 | 移住タイプ | 出身 | 前住地 | 現在の職業等 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| A さん(夫) | 夫婦・子 | H26.4 | 家族連れ Iターン | 東京都 | 東京都 | 起業家（BABAME BASE 入居） |
| B さん(妻) | | | | 秋田県秋田市 | | 地域おこし協力隊(H26～28) |
| C さん（男性） | 単身(未婚) | H28.5 | 単身 Iターン | 秋田県大仙市 | 島根県海士町 | IT 起業社員（BABAME BASE 入居） |
| D さん(夫) | 夫婦・子 4 | H27.8 | 家族連れ Iターン | 神奈川県 | 秋田県秋田市 | 企業研修・経営コンサル（BABAME BASE 入居） |
| E さん(妻) | | | | 東京都 | | |
| F さん(夫) | 夫婦・子 2 | H28.4 | 家族連れ Iターン | 大阪府 | 大阪府 | NPO 役員・合同会社起業（BABAME BASE 入居） |
| G さん(妻) | | | | | | |
| H さん（男性） | 単身(未婚) | H27.8 | 単身 Iターン | 秋田県井川町 | 栃木県 | シェアビレッジ管理人 |
| I さん(夫) | 夫婦 | H25.12 | 単身 Iターン | 東京都 | 東京都 | 地域おこし協力隊(H26～28) |
| J さん(妻) | | H26.12 | 単身 Iターン | 石川県 | 秋田県 | 町に移住後結婚。起業家 |
| K さん（男性） | 妻・子 2 | H27.7 | 家族連れ Uターン | 秋田県五城目町 | 香川県 | 地域おこし協力隊(H27～28) ギャラリー開設・合同会社起業 |
| L さん（女性） | 単身(未婚) | H26.12 | 単身 Iターン | 山形県 | 山形県 | 集落支援員(H26～28) H29 からは役場職員 |
| M さん（女性） | 単身(未婚) | H26.5 | 単身 Iターン | 東京都 | 東京都 | 地域おこし協力隊(H26～28) |

■まとめ

| | |
|---|---|
| 移住の動機やきっかけ | ■平成 25 年 10 月の地域活性化支援センター「BABAME BASE」の開設が契機となって、町外から若い起業家が次々と移住した。同センターを活動拠点とする同世代の地域おこし協力隊との連携も図られている。<br>■起業家や地域おこし協力隊は、いずれも移住前に先行移住者と顔見知りであり、五城目町への来訪を契機に町の自然環境や景観等に魅せられるとともに、その環境の中で同世代若者が活躍できる場や機会があることで、事業や活動の新たな可能性や挑戦意欲として受け止め、移住を決意しているケースが多い。 |
| 移住後の職業やライフスタイル | ■「BABAME BASE」に入居している事業者や地域おこし協力隊は、東京や大阪などの大都市出身者が多く、いずれも移住前の職業やスキルを活かしながら、同センターを拠点に自ら創設した団体の事業や新たな移住促進も含めた地域づくり活動を展開している。 |
| 地域との関わり方 | ■「BABAME BASE」に入居した移住者の企業のひとつは、クラウドファンディングによる古民家の活用事業や地域外との交流事業を手掛けている。また、地域おこし協力隊も IT 技術や教育、子育てなど着任前の経験や知識を活かしながら実務面で地域づくり活動に参画しており、地元からも評価されている。 |
| 今後の居住意向 | ■ヒアリングした転入者は 20～30 代と若いため、老後などあまり先の展望は明確には持っていないものの、総じて現在の暮らしの満足度は高く、居住の継続意向は高い。特に子連れで移住した夫婦は、自然環境や地域とのつながりの深さも含め、都市部にはない子育て環境としての良さを評価している。 |
| 移住者の意見等 | ■移住にあたっては、①楽しく暮らせる環境、②大人の働く場、③子どもの教育の場の3つが必要であり、②大人の働く場として「BABAME BASE」という起業拠点施設があったことは、移住のひとつの決め手だった。<br>■自分達は町の環境や人間関係に惹かれて移住したが、子どもたちに町への定住を強要するつもりはない。<br>■地域発の魅力がないと若い人は来ない。移住希望者はそれぞれやりたいことの「火種」を抱えている。それに火をつける地域側の内発的な動きがあれば移住に繋がるのではないか。<br>■支援金や補助を頼りに移住した訳ではないので、行政支援策はあまり期待していない。空き家も移住者向けに改修して定住促進を図るよりは、人伝手で斡旋していった方が地域のためにもなると思う。 |

## ３－３．岡山県真庭市　現地ヒアリング調査結果

### （１）地域概況




（出典：真庭市HPより）

| 国勢調査 | 平成 22 年 | 平成 27 年 | 平成27年度決算 | |
|---|---|---|---|---|
| 人　　口 | 48,964 人 | 46,124 人 | 財政力指数 | 0.31 |
| 世 帯 数 | 16,458 世帯 | 16,084 世帯 | 実質公債費比率 | 9.2% |
| 面　　積 | 828.43km$^2$ | 828.53km$^2$ | 経常収支比率 | 83.1% |

・平成17年に勝山町、落合町、湯原町、久世町、美甘村、川上村、八束村、中和村、北房町の9町村が合併して誕生。面積は県内最大。

・岡山県北部、中国山地のほぼ中央に位置し、北は鳥取県に接する。

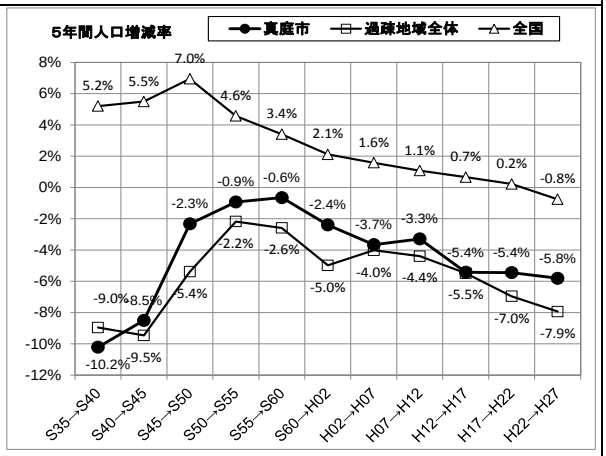
・北部エリアは湯原温泉や勝山町並み保存地区、蒜山高原などの観光エリアを形成しており、蒜山高原では酪農も盛ん。南部エリアは農林業が中心で、木質バイオマス産業の中心地を形成。

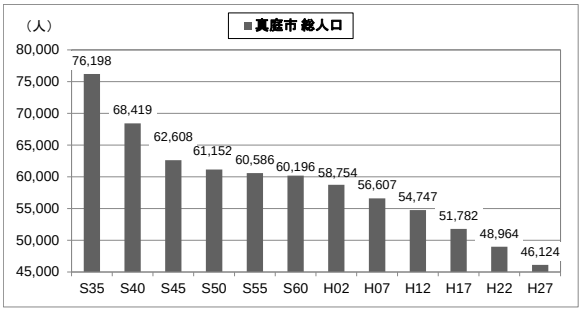
**人口動向**

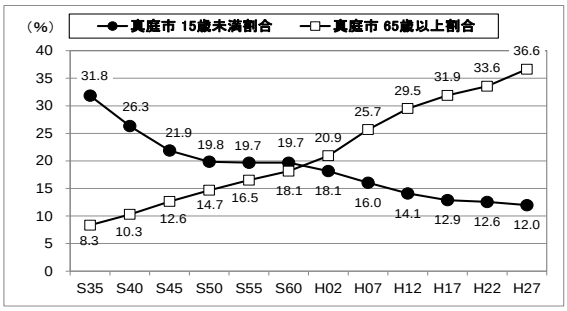
・昭和35年には76,198人を数えた人口は、平成22年に5万人を割り込み、平成27年には46,124人と昭和35年時点の6割程度に減少。

・5年間人口増減率をみると、昭和35～45年に急激な減少はあったが、昭和40～45年以降の減少率は過疎地域全体より小さい。昭和60～平成2年に減少傾向がやや強まり、平成12～17年以降はマイナス5％台で推移。

・昭和35年には8.3％であった65歳以上割合は、平成2年に15歳未満割合を上回り、平成17年には30％を超え、平成27年には36.6％となっている。



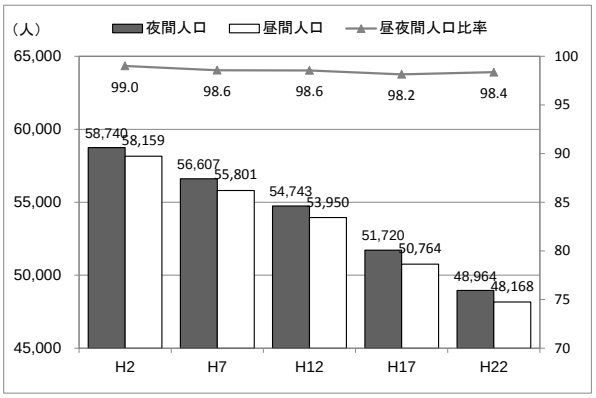

（出典：各年国勢調査）

**昼夜間人口比率**

・昼夜間人口比率は100を下回っており、平成2年以降低下傾向にあったが、平成22年は98.4と0.2ポイント上昇。

＜就業者・通学者の状況＞

・市内に高校はあるが、津山市や高梁市など近隣市に通学している者が多い。




（出典：各年国勢調査）

## （２）近年の転入の動向

**住民基本台帳による転出入の状況**

・近年の社会動態をみると、毎年900人前後の転入者がある一方、転出者は年間1,000人を超えており、社会減が続いている。平成25年以降は社会減の傾向がやや強まっている。

| | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 転入者数（人） | 946 | 918 | 924 | 927 | 882 | 892 |
| 転出者数（人） | 1,071 | 1,050 | 1,124 | 1,086 | 1,085 | 1,200 |
| 社会増減（人） | −125 | −132 | −200 | −159 | −203 | −308 |

（出典）「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」（総務省）
※転入者数・転出者数は、H24までは各年度集計（4/1～翌年3/31の間の転出入）、H25以降は各年集計（同年1/1～12/31の間の転出入）。

**国勢調査による移動率の状況**

・コーホート純移動率をみると、5～9歳、25～39歳、45～69歳、75～84歳（いずれも期末時点）と幅広い世代が転入超過となっており、特に若年層の伸びが大きい。

| 年齢区分 | S60→H2 | H2→H7 | H7→H12 | H12→H17 | H17→H22 | H22→H27 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 〔期首〕0～4歳→〔期末〕5～9歳 | **2.08** | **4.45** | **2.29** | **2.01** | **1.54** | **1.98** |
| 〔期首〕5～9歳→〔期末〕10～14歳 | **0.29** | **0.96** | **0.67** | △ 0.57 | △ 0.79 | △ 0.64 |
| 〔期首〕10～14歳→〔期末〕15～19歳 | △ 21.31 | △ 21.46 | △ 20.72 | △ 23.02 | △ 20.17 | △ 19.02 |
| 〔期首〕15～19歳→〔期末〕20～24歳 | △ 39.33 | △ 36.93 | △ 35.61 | △ 39.29 | △ 40.01 | △ 35.78 |
| 〔期首〕20～24歳→〔期末〕25～29歳 | **19.64** | **22.14** | **25.77** | **16.80** | **15.86** | **19.75** |
| 〔期首〕25～29歳→〔期末〕30～34歳 | **2.13** | **3.53** | **3.67** | △ 3.04 | **0.91** | **2.34** |
| 〔期首〕30～34歳→〔期末〕35～39歳 | **2.03** | **1.96** | **1.23** | △ 0.99 | **1.34** | **2.35** |
| 〔期首〕35～39歳→〔期末〕40～44歳 | **0.41** | **0.92** | **1.55** | **0.82** | **0.43** | △ 0.47 |
| 〔期首〕40～44歳→〔期末〕45～49歳 | **2.15** | △ 0.15 | **0.18** | **0.03** | △ 1.25 | **0.25** |
| 〔期首〕45～49歳→〔期末〕50～54歳 | **1.35** | △ 0.67 | **2.45** | △ 0.11 | △ 0.28 | **0.79** |
| 〔期首〕50～54歳→〔期末〕55～59歳 | **0.83** | **0.13** | **1.45** | **0.06** | **0.61** | **1.18** |
| 〔期首〕55～59歳→〔期末〕60～64歳 | **0.86** | **0.18** | **2.24** | **3.48** | **1.56** | **3.18** |
| 〔期首〕60～64歳→〔期末〕65～69歳 | **0.70** | **0.99** | **1.47** | **1.37** | △ 0.04 | **1.26** |
| 〔期首〕65～69歳→〔期末〕70～74歳 | **0.22** | **3.39** | **1.22** | **0.67** | **1.03** | △ 0.48 |
| 〔期首〕70～74歳→〔期末〕75～79歳 | △ 0.18 | **1.48** | **1.61** | **0.10** | **1.34** | **1.27** |
| 〔期首〕75～79歳→〔期末〕80～84歳 | **1.09** | **1.43** | **3.09** | **1.09** | **1.15** | **0.85** |

（出典：各年国勢調査より集計）

**国勢調査による移住者の状況**

・国勢調査の移動人口集計から近年の移住者（5年前の常住地が当該市町村以外の者）の状況をみると、平成12年の移住者は3,726人（常住人口の約6.8％）、平成22年の移住者は2,668人（同5.4％）。
・移住者の性別をみると女性の方がやや多い。
・移住者の年齢階層の割合をみると、20代が最も多くを占めているが、平成12年の35.0％から平成22年には29.0％とやや低下しており、代わって30代の割合が平成12年の21.1％から平成22年には26.0％と拡大している。
・移住元別に割合をみると、平成12年、平成22年とも同一県からの移住者の割合が他県からの移住者よりやや高い。
・三大都市圏からの移住者の割合は、平成12年の27.0％から平成22年の24.3％とやや低下しているが、大都市からの移住者の割合は、平成12年、平成22年ともに3割程度で変わらない。
・家族類型の割合をみると、核家族以外の世帯が最も割合が高く、次いで夫婦と子供から成る世帯となっている。

（出典：各年国勢調査より集計）

| | | 真庭市 | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | H12 | | H22 | |
| 常住者数 | | 54,747 | | 48,964 | |
| 移住者総数（N） | | 3,726 | (100.0%) | 2,668 | (100.0%) |
| 性別 | 男 | 1,833 | (49.2%) | 1,249 | (46.8%) |
| | 女 | 1,893 | (50.8%) | 1,419 | (53.2%) |
| 年齢5歳階級別 | 5～9歳 | 227 | (6.1%) | 174 | (6.5%) |
| | 10～14歳 | 141 | (3.8%) | 78 | (2.9%) |
| | 15～19歳 | 176 | (4.7%) | 92 | (3.4%) |
| | 20～24歳 | 484 | (13.0%) | 250 | (9.4%) |
| | 25～29歳 | 820 | (22.0%) | 524 | (19.6%) |
| | 30～34歳 | 463 | (12.4%) | 421 | (15.8%) |
| | 35～39歳 | 326 | (8.7%) | 272 | (10.2%) |
| | 40～44歳 | 203 | (5.4%) | 143 | (5.4%) |
| | 45～49歳 | 150 | (4.0%) | 86 | (3.2%) |
| | 50～54歳 | 196 | (5.3%) | 110 | (4.1%) |
| | 55～59歳 | 140 | (3.8%) | 116 | (4.3%) |
| | 60～64歳 | 120 | (3.2%) | 140 | (5.2%) |
| | 65～69歳 | 76 | (2.0%) | 66 | (2.5%) |
| | 70～74歳 | 44 | (1.2%) | 44 | (1.6%) |
| | 75～79歳 | 49 | (1.3%) | 33 | (1.2%) |
| | 80～84歳 | 38 | (1.0%) | 41 | (1.5%) |
| | 85歳以上 | 73 | (2.0%) | 78 | (2.9%) |
| 移住元・全体 | 同一県から | 1,875 | (50.3%) | 1,413 | (53.0%) |
| | 同一県の県庁所在地から | 617 | (16.6%) | 459 | (17.2%) |
| | 他県から | 1,851 | (49.7%) | 1,255 | (47.0%) |
| | 他県の大都市から | 512 | (13.7%) | 347 | (13.0%) |
| | 同一ブロックから | 2,266 | (60.8%) | 1,711 | (64.1%) |
| | 同一ブロックの大都市から | 683 | (18.3%) | 497 | (18.6%) |
| | 三大都市圏から | 1,006 | (27.0%) | 649 | (24.3%) |
| | 三大都市圏の大都市から | 414 | (11.1%) | 285 | (10.7%) |
| | 大都市から | 1,129 | (30.3%) | 806 | (30.2%) |
| | 三大都市圏以外の大都市から | 715 | (19.2%) | 521 | (19.5%) |
| | 県庁所在地から | 610 | (16.4%) | 835 | (31.3%) |
| | 三大都市圏の県庁所在地から | 348 | (9.3%) | 221 | (8.3%) |
| 家族類型 | 夫婦のみの世帯 | 417 | (11.2%) | 283 | (10.6%) |
| | 夫婦と子供から成る世帯 | 995 | (26.7%) | 724 | (27.1%) |
| | 男親又は女親と子供から成る世帯 | 208 | (5.6%) | 204 | (7.6%) |
| | 核家族以外の世帯 | 1,095 | (29.4%) | 742 | (27.8%) |
| | 非親族を含む世帯 | 15 | (0.4%) | 42 | (1.6%) |
| | 単独世帯 | 682 | (18.3%) | 512 | (19.2%) |
| | 不詳 | 314 | (8.4%) | 161 | (6.0%) |

**真庭市が考える要因等**

・近年、バイオマス関連企業などでの、若い年齢層の市外者雇用が多くみられる。

## （３）移住・定住の促進に係る対策の概要

**※主要・特徴的な施策・制度を抜粋**

| | |
|---|---|
| 移住・定住促進に係る方針や庁内体制の整備 | **●移住・定住を促進するための庁内推進体制の構築**<br>・観光産業やバイオマス政策、農業振興、環境交流等の各分野において展開してきた交流事業をより効率的かつ継続的に実施するため、平成 26 年 3 月に「真庭市交流定住推進計画」を策定した。<br>・同計画に基づき、平成 27 年度に総合政策部に「交流定住推進課」を新設し、産業振興等の各課における事業を交流・定住という観点から同課事業に集約整理するなど、多岐に亘る担当課における交流定住促進施策を総合的に推進するための体制を構築した。<br>・バイオマス発電に代表される「大きな里山資本主義」と各地域で取り組みが始まっている「小さな里山資本主義」があり、この二つが連携し、影響し合って「真庭市の里山資本主義」が育つまちを目指している。「小さな里山資本主義」が地域振興と交流定住の核となるものと考えている。 |
| 移住・定住に関する相談窓口の設置 | **●移住・定住に係るワンストップサービスの提供**<br>・庁内の推進体制の構築と並行し、移住相談窓口として「交流定住センター」を設置し、専任職員を配置して移住・定住に係るワンストップサービスを提供している。<br>・「交流定住センター」の運営は、地域おこし協力隊が立ち上げた地域づくり会社（一般社団法人コミュニティデザイン）に指定管理委託。外部からの移住相談に応じるとともに、市内の様々な団体や地域組織、集落支援員、地域おこし協力隊、民間事業所等をつなぐ地域ネットワークの繋ぎ役としての役割を担っており、そうした繋がりの中から多様な生活体験プログラムを紹介する移住体験ツアーを企画・実施するなどの取組を展開している。 |
| 空き家の斡旋 | **●空き家情報バンクの構築（H26～）**<br>・市内の空き家を活用した移住・定住を促進するため、「真庭市空き家情報バンク」制度を運用している。登録物件は、民間の不動産情報サイト『住まいる岡山』に掲載された物件に「空き家情報バンク」登録物件であることを付記する形で広く紹介している。<br>・これまでに 72 件の物件が登録されており、売買と賃貸を合わせた成約件数は 18 件である。<br>**●自治会を通じた空き家情報の収集とあっせんの促進**<br>・活用可能な空き家物件の掘り起こしと「空き家情報バンク」への登録促進を図るとともに、同バンクを活用した移住に繋げるため、自治会に対し、空き家情報の収集や空き家所有者と移住希望者の仲介等への協力を呼び掛けており、自治会による移住者の受け入れ体制の整備をおこなっている。 |
| 移住者の住まいの確保等に係る補助・融資等 | **●中古住宅取得補助金（H27～）**<br>・平成 27 年度から、移住者が転入後3年未満に自らが住むための中古住宅を購入した場合、その取得費用の 1/3 を補助する事業を創設。扶養等による加算により最大で上限 100 万円まで補助。なお、平成 28 年度予算（1,000 万円）に対し、9月末時点で予算枠に達する申請があり、単身移住者の利用が多い。<br>**●空き家活用定住促進補助金（H28～）**<br>・定住の意思がある転入希望者や転入後1年未満の者、あるいは空き家の所有者が、市内施工業者に発注して定住を目的とした空き家の改修を行う場合、その工事費の 1/4（上限 100 万円）を補助。<br>・平成 28 年度は 1,000 万円の予算を組んだところ、10 月末時点でほぼ予算枠に達しており、転入者と市内の空き家所有者の利用が半数ずつみられる。<br>**●空き家家財道具等撤去補助金（H28～）**<br>・「空き家情報バンク」への登録促進と良質な空き家の確保による移住・定住促進を図るため、「空き家情報バンク」に登録された物件を条件として、その所有者または利用者が家財道具等を撤去するためにかかった費用を 10/10（上限 12 万円）補助。<br>・上限金額（12 万円）は、平均的な一般家庭にある家具調度品を処分する際に係る費用の見積から設定しており、平成 28 年度は 20 件分（240 万円）の予算に対し、平成 29 年 1 月末までの利用実績は 5 件となっている。 |

**就職・就農支援**

**●新規就農支援のための研修制度「起農スクール」(H28～)**

・市内で農業をしたい人を対象として、東京で開講している新規就農支援研修。平成 29 年度以降は真庭市で「起農塾」を開催し、農業体験を行う予定。

**●起業支援事業補助金(H21～)**

・市内で独創性及び発展性をもって起業する人(転入者に限らない)に対し、対象経費の 1/2 以内で補助金を交付(上限 100 万円、真庭商工会主催の「まにわ創業塾」を受講し特定創業支援事業証明書を取得した場合は上限 150 万円)。毎年 10～15 件程度の利用申請がある。

**●真庭なりわい塾(H28～)**

・中和地区をフィールドに、農山村において昔から紡がれてきた「なりわい」を学びながら、持続可能なライフスタイルを模索・創造する人材育成塾として平成 28 年 5 月に開講した。真庭市、中和地域づくり委員会、NPO 法人共存の森ネットワークの3者で組織する実行委員会が運営。

・カリキュラムは2年間で、1年目は基礎講座として、5月から翌年1月まで月1回(年9回)、土日に1泊2日で真庭市中和地区を訪れ、フィールドワーク等を通じて地域住民と交流しながら農山村の暮らしを学び、将来の生き方や働き方について考える。2年目は実践講座として、具体的に有機農業や特産品開発などを学びながら、地域の課題やその解決を模索するプロジェクトプランを実践する講座が予定されている。講師には中和地区に移住し農業を営むⅠターンの若者や、地域振興組織を立ち上げ、スモールビジネスを展開している移住者などが名を連ねており、先輩移住者の実体験を学ぶことで「人が人を呼ぶ」定住促進の仕組みの構築も企図している。

・県内外から定員の3倍近い応募があり、書類選考と面接により 25 名の受講者を決定。世代は 20～30 代が中心で、男女比は半々であり、半数以上は大阪・京都から毎月真庭市に通っている。1年目を終えた塾生のほとんどが、2年目の実践講座の受講を希望している。

・「なりわい塾」は、農山村での新たな暮らしを志向する若者の定住を促進するだけでなく、塾生との交流を通じて地域の側にも移住者を受け入れる土壌や気運を醸成する効果を期待している。

**「お試し居住」や移住体験**

**●「真庭市お試し住宅」の整備(H26～)**

・市への移住を検討している人が、市の風土や気候を体感し、地域住民との交流や生活体験、仕事や住宅を探すための拠点施設として、市内の4地域に5つの「お試し住宅」を整備している

・施設は古民家から旧教員住宅など様々であり、運営方法も市直営から指定管理委託、民営まで多様で、運営主体により料金や利用可能期間も異なる(最長は「中和お試し住宅」の1年間)。

**■真庭市お試し住宅一覧**

| 地域 | 施設名 ※( )内は部屋数 | 運営 | 料金 | 実績(件) | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | H27 | H28 |
| 北房 | 北房教員住宅(1) | 真庭市交流定住推進課(直営) | 3 万円/月 | 2 | 3 |
| 久世 | まにわっしょい古民館(1) | まにワッショイ(民営) | 要相談 | 2 | 2 |
| 美甘 | クリエイト菅谷(1) | クリエイト菅谷(指定管理) | 2,500 円/日 | 3 | 2 |
| 中和 | 中和お試し住宅(3) | (一社)アシタカ(有償賃貸借契約) | 2万円/月～ | 1 | 3 |
| | 中和ファーマーズビレッジ(1) | 真庭市蒜山振興局(直営) | 3 万円/月 | 0 | 0 |

**情報発信**

**●移住・定住に係る情報発信**

・「交流定住センター」の開設とあわせ、移住・定住関連の情報発信サイト「真庭市交流・定住推進サイト」を構築、また移住・定住をサポートするための情報誌『真庭で暮らそう』を発行し、移住者の暮らしや移住支援施策等を紹介するなど、様々なメディアを通じて情報発信している。

### （４）移住者ヒアリングの結果

■対象者

| 移住者 | 世帯構成 | 移住年 | 移住タイプ | 出身・前住地 | 現在の職業等 |
|---|---|---|---|---|---|
| A さん<br>（40代男性） | 妻、子 | H26.1 | 夫婦とも<br>I ターン | 真庭市生まれ、大阪府育ち<br>大阪府より移住 | 地域づくり法人設立、カフェ起業<br>地域おこし協力隊（H26～28） |
| B さん<br>（30代男性） | 妻、子 | H19 | U ターン<br>（妻 I ターン） | 兵庫県生まれ、真庭市育ち<br>鳥取県より移住 | 養鶏業を経て現在は地域づくり<br>法人職員、家業（家具店）手伝い |
| C さん<br>（30代男性） | 妻、子 | H28.3 | I ターン<br>（妻 U ターン） | 大阪府生まれ・育ち、<br>大阪府より移住 | フリーライター、地域おこし協力隊<br>（H28～30） |
| D さん<br>（30代男性） | 妻、子 | H21.3 | I ターン<br>（妻 U ターン） | 大阪府生まれ・育ち、<br>大阪府より移住 | 観光協会職員を経て地域振興法<br>人設立、集落支援員（H27～） |
| E さん<br>（30代男性） | 妻 | H23.8 | 夫婦とも<br>I ターン | 東京都生まれ・育ち、<br>千葉県より移住 | 農業、農業生産法人設立、<br>カフェ兼直売所・加工所開業 |

■まとめ

| | |
|---|---|
| 移住の動機やきっかけ | ■都市部からの I ターン者はいずれも、多忙な生活や経済至上主義的な考え方に疑問を感じ、家族との時間や地域との関わりを大切にした生活や豊かな自然の中での暮らしやなりわいを求め、地方移住を検討。<br>■自ら、真庭市の事業情報（地域おこし協力隊の募集や農業研修など）をキャッチし、移住に至っている。 |
| 移住後の職業やライフスタイル | ■移住者の多くは民間での事業経験があり、自ら仕事を作る力を持っていたため、移住先に一定の収入が得られる仕事があるかどうかは重要な決定要件となってはいなかった。<br>■都市部での生活とは異なるライフスタイルの実現という明確な目的意識のもと、移住後すぐに理想的な暮らしが実現できた人ばかりではないが、明確な自己実現イメージをもっていたため、年月はかかっても志向性がぶれることはなく、結果的にそれぞれ目指したライフスタイルを実現している。<br>■今回ヒアリングを行った移住者は、「真庭なりわい塾」の講師を務めたり、市の移住促進パンフレットや移住情報サイトなどで移住成功事例として積極的に各自のライフスタイルを発信するなどしており、こうした情報発信が移住希望者の呼び込みに大いに寄与している。 |
| 地域との関わり方 | ■移住者（I ターン）が地域おこし協力隊や集落支援員として地域に関わる役割を得たことが、地域へのスムーズなとけ込みや幅広い人脈づくりという点で有効に作用しており、その中から新たな活動やビジネスが生まれている。 |
| 今後の居住意向 | ■豊かな地域性や様々なりわいを展開し得る多彩な資源があることなどから、総じて移住後の生活への満足度が高く、定住したいと考えている。 |
| 移住者の意見等 | ■東日本大震災後の西日本への移住の動きは落ち着きつつあるように感じている。震災を機に移住しようという意思を持った人は、あらかた動いて落ち着いたのではないか。<br>■移住者の受け入れに消極的な地域では空き家物件情報もあまり出てこない。移住における最大の課題は住まいの確保であり、どうしても賃貸物件が多い市中心部の方が移住しやすいのが実態である。<br>■職の確保も重要だが、移住者は自分で仕事を作り自立を目指すことが大切である。そのため、地域振興を目的として設立された法人では、移住者を雇用するのではなく業務を委託することで移住者の仕事づくりと自立をサポートしている。<br>■高齢世代は非常に協力的で応援してくれるが、同世代の人の協力が得にくい。移住者は巻き込みやすいが、自分も含め移住者だけで活動すると地域住民からの反発も予想されるため、非常に気を遣っている。<br>■HP やカフェ等で自分たちの暮らしを発信するうち、共感者が増え、良質な水で豆腐作りをしたいと考えていた女性や工芸家など、中和地区に移住する人が増えている。 |

## ３－４．大分県豊後高田市　現地ヒアリング調査結果

### （１）地域概況




（出典：豊後高田市HPより）

| 国勢調査 | 平成 22 年 | 平成 27 年 | 平成27年度決算 | |
|---|---|---|---|---|
| 人　　口 | 23,906 人 | 22,853 人 | 財政力指数 | 0.29 |
| 世 帯 数 | 9,665 世帯 | 9,572 世帯 | 実質公債費比率 | 8.3% |
| 面　　積 | 206.65km$^2$ | 206.24km$^2$ | 経常収支比率 | 89.1% |

・平成17年に1市2町（豊後高田市、真玉町、香々地町）が合併し誕生。

・大分県の北東部、国東半島の西側に位置し、大分市まで約60km、北九州市まで約90km。北は周防灘に面し、瀬戸内式気候に属する。

・山間部及び海岸部の自然景観や農村集落景観、六郷満山文化ゆかりの史跡等、豊かな自然と歴史文化などの地域資源が豊富。

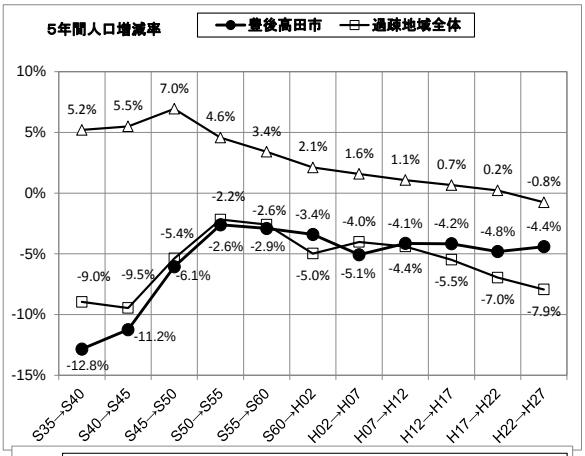
・中心市街地の商店街において、昭和30年代の元気、活気を蘇らせようと、商業と観光の一体的振興策である「昭和の町」づくりに取り組んでいる。

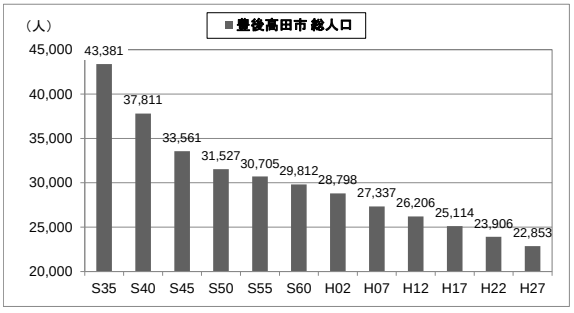
**人口動向**

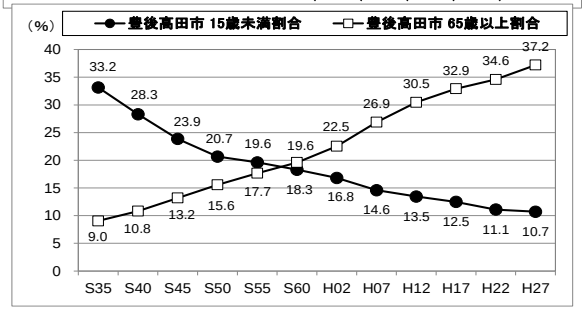
・昭和35年には43,381人を数えた人口は、平成22年に25,000人を割り込み、平成27年には22,853人と昭和35年時点の半数近くに減少。

・5年間人口増減率をみると、昭和35～45年は過疎地域全体を上回る急激な減少がみられたが、その後は減少傾向は改善し、平成2～7年にいったん落ち込むが、平成7～12年以降はマイナス4%台で推移。

・昭和35年には9.0%であった65歳以上割合は、昭和60年に15歳未満割合を上回り、平成12年には30%を超え、平成27年には37.2%となっている。




（出典：各年国勢調査）

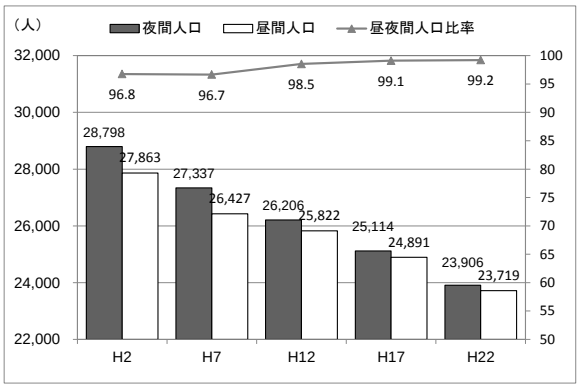
**昼夜間人口比率**

・昼夜間人口比率は100を下回っているが、平成7年以降に上昇傾向となり、平成22年は99.2と平成2年（96.8）より2.4ポイント上昇。

＜就業者・通学者の状況＞

・通勤による流出入者数の状況は、近隣自治体から豊後高田市内への通勤流入者が流出者数を上回っており、通学による流出入者数の状況は、多くの若者が豊後高田市外の学校へ通学している。

（出典：平成27年豊後高田市人口ビジョンから一部引用）




（出典：各年国勢調査）

## （２）近年の転入の動向

**住民基本台帳による転出入の状況**

・近年の社会動態をみると、転入者及び転出者ともに増加傾向である。社会増減をみると平成24、25年は社会減であるが、平成26年以降は社会増となっている。

| | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 転入者数（人） | 637 | 756 | 758 | 781 | 849 | 830 |
| 転出者数（人） | 678 | 701 | 769 | 796 | 729 | 823 |
| 社会増減（人） | −41 | 55 | −11 | −15 | 120 | 7 |

（出典）「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」（総務省）
※転入者数・転出者数は、H24までは各年度集計（4/1～翌年3/31の間の転出入）、H25以降は各年集計（同年1/1～12/31の間の転出入）。

**国勢調査による移動率の状況**

・コーホート純移動率をみると、5～14 歳、25～49 歳、55～74 歳（いずれも期末時点）と幅広い世代が近年転入超過。
・特に 25～44 歳及び 55～69 歳（いずれも期末時点）は平成 7～12 年以降4期間連続で転入超過。

| 年齢区分 | S60→H2 | H2→H7 | H7→H12 | H12→H17 | H17→H22 | H22→H27 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 〔期首〕0～4歳→〔期末〕5～9歳 | 3.34 | △ 1.08 | 5.85 | 4.86 | △ 4.42 | 4.56 |
| 〔期首〕5～9歳→〔期末〕10～14歳 | 1.92 | △ 0.21 | 2.74 | 1.60 | △ 3.27 | 4.26 |
| 〔期首〕10～14歳→〔期末〕15～19歳 | △ 19.28 | △ 17.67 | △ 20.81 | △ 21.51 | △ 17.21 | △ 14.30 |
| 〔期首〕15～19歳→〔期末〕20～24歳 | △ 39.10 | △ 31.37 | △ 34.00 | △ 28.94 | △ 22.47 | △ 26.65 |
| 〔期首〕20～24歳→〔期末〕25～29歳 | 17.05 | 5.14 | 10.84 | 10.13 | 8.97 | 12.10 |
| 〔期首〕25～29歳→〔期末〕30～34歳 | 1.67 | △ 1.88 | 3.15 | 1.69 | 0.92 | 5.57 |
| 〔期首〕30～34歳→〔期末〕35～39歳 | 2.28 | △ 1.93 | 2.46 | 2.35 | 0.74 | 4.04 |
| 〔期首〕35～39歳→〔期末〕40～44歳 | 1.64 | 0.51 | 2.94 | 0.38 | 0.27 | 0.02 |
| 〔期首〕40～44歳→〔期末〕45～49歳 | △ 0.23 | △ 0.98 | 0.74 | △ 0.24 | 3.78 | 1.49 |
| 〔期首〕45～49歳→〔期末〕50～54歳 | 0.48 | 1.02 | 2.08 | 2.52 | 2.65 | △ 1.36 |
| 〔期首〕50～54歳→〔期末〕55～59歳 | 0.45 | 1.07 | 1.92 | 4.41 | 2.07 | 1.38 |
| 〔期首〕55～59歳→〔期末〕60～64歳 | 2.58 | 2.60 | 5.13 | 6.43 | 5.03 | 6.62 |
| 〔期首〕60～64歳→〔期末〕65～69歳 | 2.04 | 0.48 | 1.26 | 2.76 | 1.43 | 4.13 |
| 〔期首〕65～69歳→〔期末〕70～74歳 | 0.82 | 2.11 | △ 0.89 | 1.07 | 1.14 | 2.66 |
| 〔期首〕70～74歳→〔期末〕75～79歳 | △ 0.21 | △ 0.30 | 1.92 | 2.35 | 1.40 | △ 0.06 |
| 〔期首〕75～79歳→〔期末〕80～84歳 | △ 1.57 | △ 0.19 | △ 0.22 | △ 0.86 | △ 1.74 | △ 1.72 |

（出典：各年国勢調査より集計）

**国勢調査による移住者の状況**

・国勢調査の移動人口集計から近年の移住者（5年前の常住地が当該市町村以外の者）の状況をみると、平成12年の移住者は2,137人（常住人口の8.2%）、平成22年の移住者は1,971人（同8.2%）。
・移住者の性別をみると女性の方がやや多い。
・移住者の年齢階層の割合をみると、20代が最も多くの割合を占めているが、平成12年は29.5%、平成22年は26.6%であり、やや低下している。一方、30代の割合は、平成12年は20.9%、平成22年は24.7%であり、やや拡大している。
・移住元別に割合をみると、平成12年と平成22年ともに同一県からの移住者の割合が、他県からの移住者の占める割合よりやや高い。
・三大都市圏からの移住者の割合は、平成12年の19.3%から平成22年の16.7%とやや低下し、大都市からの移住者の割合も平成12年の20.2%から平成22年の16.8%とやや低下している。
・家族類型の割合をみると、平成12年は夫婦と子供から成る世帯が35.8%で最も割合が高く、平成22年は単独世帯が28.1%で最も割合が高い。

| | | 豊後高田市 H12 | | 豊後高田市 H22 | |
|---|---|---|---|---|---|
| 常住者数 | | 26,206 | | 23,906 | |
| 移住者総数（N） | | 2,137 | (100.0%) | 1,971 | (100.0%) |
| 性別 | 男 | 1,049 | (49.1%) | 971 | (49.3%) |
| | 女 | 1,088 | (50.9%) | 1,000 | (50.7%) |
| 年齢5歳階級別 | 5～9歳 | 157 | (7.3%) | 104 | (5.3%) |
| | 10～14歳 | 98 | (4.6%) | 46 | (2.3%) |
| | 15～19歳 | 65 | (3.0%) | 45 | (2.3%) |
| | 20～24歳 | 233 | (10.9%) | 225 | (11.4%) |
| | 25～29歳 | 398 | (18.6%) | 299 | (15.2%) |
| | 30～34歳 | 262 | (12.3%) | 285 | (14.5%) |
| | 35～39歳 | 184 | (8.6%) | 202 | (10.2%) |
| | 40～44歳 | 128 | (6.0%) | 106 | (5.4%) |
| | 45～49歳 | 114 | (5.3%) | 93 | (4.7%) |
| | 50～54歳 | 106 | (5.0%) | 83 | (4.2%) |
| | 55～59歳 | 81 | (3.8%) | 100 | (5.1%) |
| | 60～64歳 | 108 | (5.1%) | 125 | (6.3%) |
| | 65～69歳 | 62 | (2.9%) | 76 | (3.9%) |
| | 70～74歳 | 39 | (1.8%) | 42 | (2.1%) |
| | 75～79歳 | 32 | (1.5%) | 33 | (1.7%) |
| | 80～84歳 | 23 | (1.1%) | 42 | (2.1%) |
| | 85歳以上 | 47 | (2.2%) | 65 | (3.3%) |
| 移住元・全体 | 同一県から | 1,113 | (52.1%) | 1,025 | (52.0%) |
| | 同一県の県庁所在地から | 268 | (12.5%) | 241 | (12.2%) |
| | 他県から | 1,024 | (47.9%) | 946 | (48.0%) |
| | 他県の大都市から | 432 | (20.2%) | 332 | (16.8%) |
| | 同一ブロックから | 1,526 | (71.4%) | 1,346 | (68.3%) |
| | 同一ブロックの大都市から | 224 | (10.5%) | 174 | (8.8%) |
| | 三大都市圏から | 412 | (19.3%) | 330 | (16.7%) |
| | 三大都市圏の大都市から | 165 | (7.7%) | 128 | (6.5%) |
| | 大都市から | 432 | (20.2%) | 332 | (16.8%) |
| | 三大都市圏以外の大都市から | 267 | (12.5%) | 204 | (10.4%) |
| | 県庁所在地から | 600 | (28.1%) | 486 | (24.7%) |
| | 三大都市圏の県庁所在地から | 96 | (4.5%) | 85 | (4.3%) |
| 家族類型 | 夫婦のみの世帯 | 304 | (14.2%) | 300 | (15.2%) |
| | 夫婦と子供から成る世帯 | 764 | (35.8%) | 513 | (26.0%) |
| | 男親又は女親と子供から成る世帯 | 159 | (7.4%) | 135 | (6.8%) |
| | 核家族以外の世帯 | 468 | (21.9%) | 286 | (14.5%) |
| | 非親族を含む世帯 | 7 | (0.3%) | 37 | (1.9%) |
| | 単独世帯 | 339 | (15.9%) | 553 | (28.1%) |
| | 不詳 | 96 | (4.5%) | 147 | (7.5%) |

（出典：各年国勢調査より集計）

**豊後高田市が考える要因等**

・10年以上になる、子育て環境や教育環境の整備をはじめとする定住施策と、近年の移住施策の取組が功を奏し、効果を上げつつあると考えられる。

## （３）移住・定住の促進に係る対策の概要

**※主要・特徴的な施策・制度を抜粋**

<table>
<tr><td>移住・定住促進に係る方針や庁内体制の整備</td><td><u>●「人口 3 万人構想」のもとでの移住・定住促進施策の充実と庁内推進体制の構築</u><br>・少子高齢化が進行するなか、若年世代が安心して住み続けられる地域づくりを目指し、平成 14 年度の学校週5日制開始と合わせ、市営の無料塾「学びの 21 世紀塾」を開始するなど、合併前から子育て支援の充実や教育の充実を図ってきた。<br>・こうした取組に加え、平成 23 年度の総合計画の中で「人口 3 万人構想」を掲げ、平成 27 年度には 135 項目にわたる多種多様なきめ細かい移住・定住促進施策を展開している。<br>・平成 25 年度には地域活力創造課を新設し、上記の多岐に亘る移住・定住促進施策を総合的に推進するための体制を構築した。</td></tr>
<tr><td>移住・定住に関する相談窓口の設置</td><td><u>●地域活力創造課におけるワンストップサービスの提供</u><br>・地域活力創造課が外部からの移住相談や移住者からの相談の総合的な窓口となり、相談内容に応じて福祉・産業・教育・子育てなどの関係課への橋渡しを行っている。<br><u>●移住後のフォローアップ体制や「移住者懇話会」の開催</u><br>・地域活力創造課は、移住者が地域コミュニティに早く溶け込めるよう、自治会等に移住者を紹介して顔をつなぐ役割も果たしている。また、市の各種支援制度を利用した移住者に声掛けをして移住後の様子や感想、要望等を聞く「移住者懇話会」を、年1回程度開催しており、実現できる要望は事業化するなど、フォローアップ体制を充実させている。</td></tr>
<tr><td>空き家の斡旋</td><td><u>●空き家バンク事業の構築（H18～）</u><br>・平成 18 年度から市外からの移住希望者に紹介することを前提として空き家を登録してもらう「空き家バンク事業」を運用していたが、平成 20 年度以降は新規の物件登録や同事業を利用した契約数は一桁台にとどまっていた。<br>・そこで、平成 23 年度より「人口 3 万人構想」に基づき移住・定住促進に力を入れることとなったことから、登録物件に対するリフォーム費の補助（詳細は次欄参照）をはじめ、様々な支援制度を創設するとともに、固定資産所有者に対し、こうした事業・制度の周知を図っている。<br>・平成 23 年度以降は毎年 30～40 件の新規物件登録があり、利用希望者数や事業を利用した契約数も増加しており、平成 27 年度末時点で 183 世帯 434 人が同事業を利用して移住している。<br><u>●空き家マッチング奨励金（H24～）</u><br>・市民の皆さんに優良な空き家物件の掘り起こしに協力してもらうため、居住可能な状態の空き家を市に紹介し、当該物件が空き家バンクへの登録に至った場合、紹介者等に奨励金（2 万円）を支給しており、平均 10 件前後が同制度により新規登録に至っている。<br><u>●空き家バンク仲介手数料助成金（H23～）</u><br>・空き家バンク利用者と登録物件所有者が契約に至る場合、トラブル防止のため不動産事業者に賃貸借・売買契約の仲介を依頼する場合、その手数料を補助している（上限 5 万円）。</td></tr>
<tr><td>移住者の住まいの確保等に係る補助・融資等</td><td><u>●空き家リフォーム事業補助金（H23～）</u><br>・平成 23 年度から空き家バンクへの物件登録の増加や良質な物件の確保を図るため、空き家バンク登録物件について、市内業者を利用し、改修や不要物の撤去を行う場合の費用を補助する事業を開始。物件の所有者、利用登録者（入居者）のどちらも活用できる。<br>・当初は改修と不要物の撤去のみが対象だったが、所有者や利用者の意見も踏まえ、平成 27 年度からは仏壇等の撤去、平成 28 年度からはハウスクリーニング費用も対象経費に含めている。
<table>
<tr><td>対象経費</td><td>改修</td><td>不要物の撤去</td><td>仏壇等の撤去</td><td>ハウスクリーニング</td></tr>
<tr><td>上限額</td><td>補助率 1/2、40 万円</td><td>10 万円</td><td>5 万円</td><td>3 万円</td></tr>
</table>
・平成 24 年度以降、予算を上回る利用があるため、毎年度予算を増額している。</td></tr>
</table>

| | |
|---|---|
| 移住者の<br>住まいの確保<br>等に係る<br>補助・融資等 | **●レンタカー費用助成奨励金(H27～)**<br>・移住者懇話会での要望を受け、平成 27 年度より空き家バンク利用者が空き家見学などの目的でレンタカーを利用した場合の費用を 1 日上限 2,500 円(最大 4 日間)助成している。<br>**●お帰りなさい住宅改修補助金(H24～)**<br>・市外に居住していた市内出身者が市内業者を利用して自宅を改修する場合、上限 40 万円(補助率 1/2)で費用を補助している。平成 27 年度は予算(3 件 90 万円)を上回る利用があったため、平成 28 年度は大幅に予算を拡大(10 件 280 万円)し、U ターンの促進を図っている。<br>**●ムーブイン就労家賃支援金(H26～)**<br>・市外から市内への通勤者の転入を促すため、市外からの転入者で市内の事業所に勤務する人に対し、年間 3.6 万円の家賃補助(2 年間まで)を行っている。<br>**●市による住宅団地や定住促進住宅の整備**<br>・平成 25 年度から、市中心部の市有地に定住者向け分譲団地(2か所・計 99 区画)を整備した。学校が集積する文教エリアにあることや坪単価を市場価格より抑えたことなどから、子育て世代を中心に当初予想を上回る応募があり、全区画が完売。購入者の4分の1程度が移住者であった。<br>・県の職員住宅を市が買い上げ、新婚向けにリフォームした新婚さん応援住宅「ハピネス・ステージ」(12 室)や、市内の良質空き家を借り上げリフォームした移住者向けの定住促進住宅「虹いろ住宅」(4 戸)、子育て世帯のための戸建て住宅(住まいるハウス・5 戸)やメゾネットタイプの住宅(エミール城台・18 室)など、様々なタイプの住宅を整備しており、いずれも満室となっている。 |
| 就職・就農支援 | **●起業チャレンジウェルカム支援事業補助金(H27～)**<br>・移住者の起業支援に特化した事業として、移住者(移住予定者)が市内で新たに開業する場合、開業に必要な経費を上限 75 万円(伝統工芸等の創作活動に関しては上限 100 万円)、補助率 1/2 で助成している。<br>**●新規就農に係る農業研修制度とリンクした移住者への研修期間中の生活支援(H25～)**<br>・平成 25 年から、新規就農支援のための段階的な研修システムを構築している。就農希望者は、まず新規就農サポーターのもと 1 日～2 週間の「体験・見極め研修」を行い、その後本格的な農業を目指す人は「アグリチャレンジスクール　新規就農コース」(1～2 年間、受講料無料)へ、家庭菜園程度の小規模農業を目指す人は「(同スクール)直売所出荷コース」(1 年間、受講料 2 千円/年)へ進む。なお、移住者が「新規就農コース」を受講する場合は、研修期間中の家賃助成(2.5 万円/月、補助率 1/2)が受けられる。 |
| 「お試し居住」<br>や移住体験 | **●「半住半旅」田舎暮らし体験事業(H22～)**<br>・移住希望者は、2 週間以内、コテージ「ヴィラ・フロレスタ」に滞在又は 2 泊 3 日以内で農家民泊しながら、空き家探しなどの居住の準備を行うことができる。<br>・この事業は、移住者が「体験・見極め研修」を受講する場合にも活用できる。 |
| 情報発信 | **●様々な媒体を活用した情報発信の充実**<br>・広く市の魅力や支援施策を発信するため、3種類のガイドブック・パンフレットやIJU支援サイト・あるあるネタサイトの構築など、様々な媒体を活用した情報発信の充実を図っており、特に 135 項目の支援施策をひとつにまとめた「定住ガイドブック」は、新年度のスタートと同時に改定版を発行している。 |

### （４）移住者ヒアリングの結果

■対象者

| 移住者 | 世帯構成 | 移住年 | 移住タイプ | 出身・前住地 | 現在の職業等 |
|---|---|---|---|---|---|
| A さん<br>（50 代男性） | 妻 | H28.7 | 夫婦とも<br>I ターン | 大阪府生まれ・育ち、<br>大阪府より移住 | 「昭和の町」で起業（壺焼き芋専門店） |
| B さん<br>（60 代女性） | 夫 | H14.11 | 夫婦とも<br>I ターン | 兵庫県生まれ・育ち、<br>兵庫県より移住 | 「昭和の町」で起業（手作り納豆の店） |
| C さん<br>（30 代女性） | 夫、子 | H26.8 | 夫婦とも<br>I ターン | 大阪府生まれ・育ち、<br>大阪府より移住 | 「昭和の町」で起業（唐揚げ・豚まん・弁当） |
| D さん<br>（40 代女性） | 夫 | H27.2 | 夫婦とも<br>I ターン | 大分県生まれ・育ち<br>国東市より移住 | カフェ・食事処、生花教室、農家民泊（グリーンツーリズム）、ギャラリー運営 |

■まとめ

| | |
|---|---|
| 移住の動機やきっかけ | ■ヒアリングを行ったのはいずれもIターン者であり、移住者の 50～60 代は田舎暮らしへのあこがれから、30～40 代はそれまでとは異なる働き方、暮らし方を求めて、移住を検討するようになった。<br>■「田舎暮らし」をテーマにした雑誌やメディアを通じて豊後高田市を知り、何度か来訪し、豊かな自然環境や交通の利便性、人々の温かさに魅了されたことが決め手となり移住に至っている。 |
| 移住後の職業やライフスタイル | ■住まいについては、市の空き家バンク制度を活用し、起業に当たっては、市や商工会議所の様々な支援策を活用している。<br>■家族との時間を大切にした暮らし、趣味や特技、技能を活かした暮らしなど、移住後の生活で重視することが明確であり、それぞれ目指したライフスタイルを実現し、満足度の高い生活を送っている。<br>■今回ヒアリングを行った移住者はみなテレビや新聞、雑誌など多くのメディアに取り上げられており、「田園回帰」の受け皿としての豊後高田市の魅力発信や次の移住希望者の呼び込みに大いに寄与している。 |
| 地域との関わり方 | ■市が自治会等に移住者を紹介して顔をつなぐ役割も果たしているため、総じて地域との関係は良好である。<br>■また、「昭和の町」を中心に移住者が起業した店が着実に増えているという実績も相まって、地域住民の中にも移住者を受け入れる機運が高まっている。 |
| 今後の居住意向 | ■豊かな自然環境や景観、温暖な気候であることや交通の利便性が高いことなどから、総じて移住後の生活への満足度が極めて高く、定住意向を示している。 |
| 移住者の意見等 | ■都市部での生活では、子供たちと過ごす時間が全く取れない状態だった。夫も 40 歳を過ぎて体も心配になり、このままの暮らし方でよいのかと思うようになり、夫婦で相談した結果、家族の時間が持てる生活に変えようと移住を考えるようになった。移住して思い描いていたとおりの家族中心の生活が送れるようになった。<br>■海・山・温泉があり豊かな生活が送れそうなので気に入った。そして何より、移住相談に行った際、市の職員が明るく挨拶してくれ、親身になっていろいろ相談に乗ってくれたのが大きな決め手になった。また、開業にあたり原材料の調達について市に相談したところ、すぐに担当課につないでくれて、地元の芋農家を紹介してもらい契約することができた。<br>■地域の人がみな親切ですぐに溶け込むことができた。農家民泊（グリーンツーリズム）の受け入れに必要な畑を貸してくれたり、農作物を分けてくれたりするので助かっている。<br>■「昭和の町」が大好きなので、自分たちも「昭和の町」を盛り上げる手伝いがしたいと思っている。 |

# 総括と課題

- このたびの調査研究は、今年度入手できた平成 12 年国勢調査及び平成 22 年国勢調査を用いて分析を行った。
- 全国の総人口が平成 12 年から平成 22 年で 113 万人増加した中、平成７年から平成 12 年と平成 17 年から平成 22 年の人口移動を比較すると、市町村の区域を超えて移動した人数は 316 万人減少している。これは、都市部の就業・雇用環境や少子化なども一因と考えられる。
- しかし、近年の移住は、都市部の暮らしにくさといった都市からの「プッシュ要因」によるものばかりではないと考えられる。都市部の住民アンケートにおいて、農山漁村へ移住したい理由として「気候や自然環境に恵まれたところで暮らしたいから」、「環境にやさしい暮らし(ロハス)やゆっくりとした暮らし(スローライフ)、自給自足の生活を送りたいから」が多く回答あったように、むしろ、過疎地域の暮らしの場としての魅力にひかれる「プル要因」も大きい。
- 都市部の住民の約３割が「農山漁村地域に移住してみたい」と回答し、とりわけ若い世代でその割合が高いこと、約２割が「農山漁村地域が子育てに適している」と回答していることなど、都市部の一定の割合の住民が農山漁村地域で暮らすことの価値を認めていると言える。
- 東京一極集中の統計に合わせ、市町村や集落が「消滅」する、といった悲観的な論がしばしば聞かれるが、一方で、移住者は 20 代が最も多く、平成 22 年には 30 代にも広がりをみせている。とりわけ、過疎地域の４割の区域で 30 代女性の移住が拡大した。さらに、移住者の割合を示す地図からは、中山間地においても、移住者の割合の拡大がみられている。
- また、団塊世代の大量退職に伴うシニア層の移動状況に注目したところ、平成 22 年国勢調査において、過疎地域の７割の区域で、わずかではあるが移住者の割合の拡大が見られた。
- 「田舎暮らし」はもはや夢として語られるレベルではなく、過疎地域において着実に起きている、と言える。
- コーホート分析によると、平成 27 年国勢調査においては、平成 22 年よりも過疎地域における若年層の社会減の傾向が弱まり、期末時 25-29 歳の年代では社会増に転じている。また、社会減の区域がある一方で、社会増の傾向のみられる区域が確かにみられ、さらには、平成 27 年集落調査においても、過去５年間のうち、転入者があった過疎地域の集落は４割にのぼり、中山間地域の集落、市町村役場から遠方にある集落、地形的に行き止まりにある集

落においても約３割の集落に転入者があったところ。

- 今後の課題としては、東日本大震災以降のライフスタイルの見直しなどにより、過疎地域等への移住は大きく加速したと言われているところ、今回の人口移動に関するデータ分析を平成 27 年国勢調査についても行い、移住者の動向がどう変化しているか、平成 12 年から平成 22 年の 30 代の移住割合の拡大が、当該世代固有のものなのか、それとも若者層の意識の変化によるものなのか、平成 27 年はどう展開しているのかなど分析を重ねる必要がある。
- 現地調査における多くのヒアリング対象者が移住の動機として、地域の暮らしの場としての魅力をあげていた。特にＩターンは必ずしも雇用されることを目指した移住とは限らない。過疎地域の地縁的・社会的つながりの強さや、地域の伝統文化や生活文化が、ソーシャルキャピタルとして注目されている。地方においては「ミニ東京」を目指すではなく、個性豊かで多様な地域の魅力を引き出すことが肝要なのではないか。
- 本調査の結果が、特定の区域の人口流入であることや、区域の人口が少ないことによって顕著な変化として捉えられる傾向にあることを差し引いても、過疎地域の地方公共団体にとって、集落や市町村自体の消滅を危惧する声に抗して施策を検討する明るい材料となるとともに、今まで過疎地域の価値として知られていた食料生産、環境保全、水源涵養等の公益的機能に加えて、暮らしの場としての価値を再認識する機会となることを期待したい。